

# 現場説明事項

工事名称 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事（第1期工事）

担当部署 総合政策部 管財課

## 「説明事項」

### 1. 工事目的

本工事は、校舎の老朽化に伴い第1期工事分（中央棟）の建築改造工事を行う。

### 2. 工事概要

特記仕様書、設計図書等による。

### 3. 工事範囲

本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

### 4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 2) 仮設については、学校・学校関係者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については、学校と協議し設置し、定例会議を開催できるスペースも含むこと。
- 3) 工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に違法駐車しないこと。
- 4) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 5) 勝瀬小学校の学校環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、外壁石綿含有塗材の除去、騒音、振動、異臭等、児童・生徒の授業等、放課後児童クラブ運営等に支障があると支障があると思われる工事は、原則学校休業日に行うこと。
- 6) 主な工事期間は、別紙計画工程表及び工事計画図のとおりとし、監督員・教育委員会・学校関係者と十分協議をし、工事を進めること。  
※【A工区】については、9月30日までに契約・検査課の検査を受け、引渡しをすること。  
※例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 7) ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、MSDS（化学物質安全データシート）を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。
- 8) 竣工図の原図は、監督員と協議の上、CADデータを修正したものから作成すること。
- 9) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。

計 画 工 程 表

市立勝瀬小学校大規模改造工事(第1期工事)

H31.4

工事場所		6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月		
学校			夏季休業 7/20~8/25						
		体育館仮置場利用可能期間(ステージ側半面のみ利用可) 6/中~8/20							
【A工区】	屋上防水 6/中旬~8/下旬	●————→				契約検査課検査・引渡し			
	中央棟2・3階 特別教室 6/中旬~8/21	●————→					部分使用検査		
	廊下・階段 7/20~8/21	●————→							
【B工区】	中央棟1階 6/中旬~9/下旬	●————→				部分使用検査		契約検査課検査・引渡し	
	アスベスト材除去工事 外壁改修工事 6/中旬~10/下旬	●	●————→		●————→				
	その他					●————→			

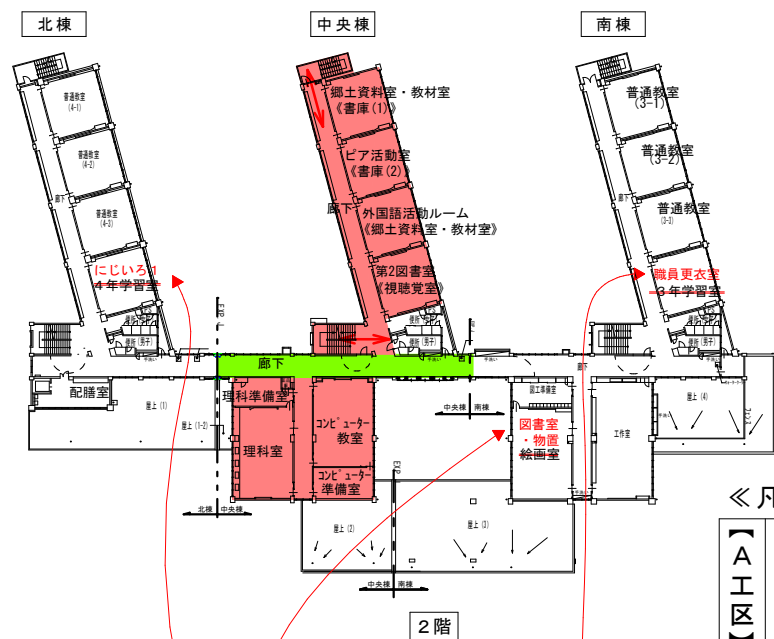
備考 ※調査(内部・外部共)、仮設工事、外壁工事及び校舎内一部の解体は、学校と協議の上、夏季休業前に施工可能とする。

※【A工区】の一部、中央棟2・3階と廊下・階段と特別教室の工事は、8月21日までに、部分使用が出来るよう、現場完了検査(室内濃度測定含む)を受けること。

※【A工区】については、9月30日までに検査を受け、引渡しをすること。

※【B工区】の一部、中央棟1階の工事は、夏季休業終了後も施工可能とするが、9月30日までに、部分使用が出来るよう、現場完了検査(室内濃度測定含む)を受けること。

※騒音、振動、異臭等、児童の授業等に支障があると思われる工事は、原則学校休校日に行うこと。

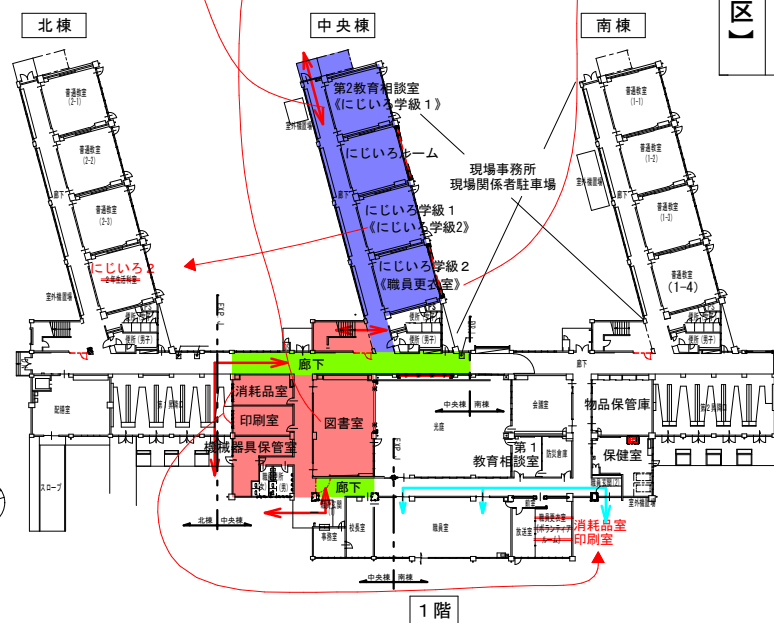


2階

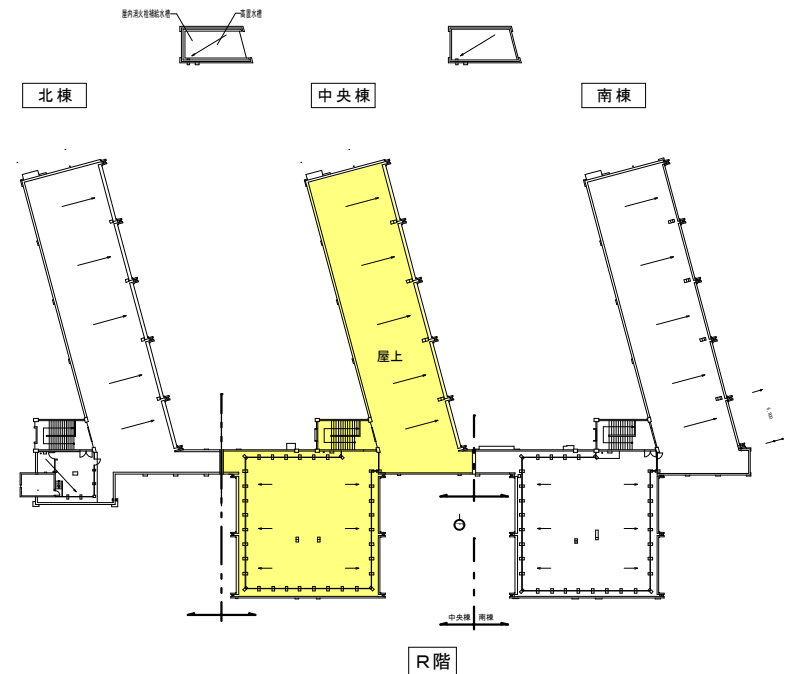
《凡例》時期別工事エリア

【A 工 区】	<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 6/中旬～8/下旬
	<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 6/中旬～8/21
	<span style="background-color: green; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 7/20～8/21
【B 工 区】	<span style="background-color: blue; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 6/中旬～9/下旬
	アスベスト材除去工事 外壁改修工事 6/中旬～10/下旬
	仮設工事 6/中旬～11/中旬
	○(赤字) 仮設教室名 ○(赤字) 改修前の部屋名

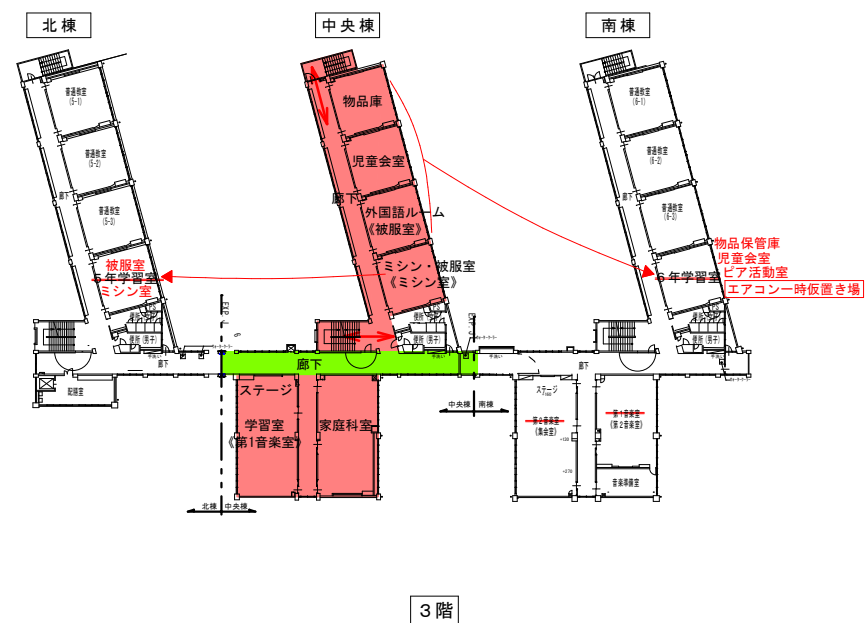
<span style="color: red;">○</span>	仮設教室名
<span style="color: red;">○</span>	改修前の部屋名
<span style="color: green;">↔</span>	生徒主動線
<span style="color: cyan;">↔</span>	教職員主動線
<span style="color: red;">↔</span>	工事関係者主動線



1階



R階



3階

## 備品移動リスト

H31.4 現在

No.	階	教室名	物品名	数量	物品写真	大きさ			一時移設先
						W	D	H	
1	1	にじいろ学級2	アップライトピアノ	1		200	50	100	物品保管庫
2	1	にじいろ学級2	スチール棚	1		200	50	180	物品保管庫
3	1	印刷室	金庫	1		121	61	175	第1教育相談室
4	1	図書室	木製読書机	8		120	52+52	67	物品保管庫
5	1	図書室	椅子	32					物品保管庫
6	1	図書室	木製収納椅子	5		80	40	30	物品保管庫
7	1	図書室	木製椅子	3		40	30	30	物品保管庫
8	1	図書室	図書入りダンボール	150		46	32	19.5	北校舎 屋上階段踊り場
9	1	廊下	スチール下足入	4		90	38	179	保健室前廊下
10	1	廊下	スチール下足入	2		100	40	85	保健室前廊下



## 備品移動リスト

H31.4 現在

No.	階	教室名	物品名	数量	物品写真	大きさ			一時移設先
						W	D	H	
11	2	コンピューター室	OAデスク(教師用)	2		235	80		5年学習室
12	2	コンピューター室	OAデスク	14		120 160	80		5年学習室
13	2	コンピューター室	椅子 生徒用40 先生用1	41					5年学習室
14	2	コンピューター室	電子黒板	1					5年学習室
15	2	コンピューター室	ホワイトボード	1					5年学習室
16	2	コンピューター室	パソコン	35					5年学習室
17	2	コンピューター室	ノートパソコン	5					5年学習室
18	2	コンピューター室	プリンター大	1					5年学習室
19	2	コンピューター室	プリンター小	2					5年学習室
20	2	理科準備室	スチールデスク	1		160	70	70	5年学習室 ※再設置先: コンピューター準備室

## 備品移動リスト

H31.4 現在

No.	階	教室名	物品名	数量	物品写真	大きさ			一時移設先
						W	D	H	
21	2	理科準備室	スチールデスク	1		80	70	70	5年学習室 ※再設置先: コンピューター準備室
22	2	廊下	レリーフ	1		286		188	物品保管庫
23	3	第1音楽室	アップライトピアノ	1		200	50	100	現 第2音楽室 ※再設置なし

1F	207
2F	105
3F	1
合計	313

参考資料

# 設 計 仕 様 書

工事名称 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事(第1期工事)

工事場所 富士見市 大字勝瀬 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称								市立勝瀬小学校大規模改造建築工事(第1期工事)	
請負工事費									
工事概要								大規模改造建築工事(中央棟外部内部全面改修) 防水改修工事、外壁改修工事、建具改修工事、内装改修工事 塗装改修工事、環境配慮改修工事、その他	
総括表							上段	設計変更	
							下段	原設計	
名称	摘要	数量	単位	A工区(8%)	B工区(10%)	合計金額	備	考	
直接工事費									
建築工事		1	式						
計		1	式						
共通仮設費		1	式						
純工事費									
現場経費		1	式						
工事原価									
一般管理費		1	式						
工事価格	スクラップ控除後						・スクラップ控除前	スクラップ控除	
改め									
消費税相当額		1	式						
請負工事費									

積算用紙

							上段	変更設計					
							下段	原設計					
名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	工事共通仮設費												
	準備費	予備調査、敷地整理、 その他に要する費用		1.0		式							
	仮設建物費	現場事務所、倉庫、下小屋 作業員施設等の費用		1.0		式							
	工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に 要する費用		1.0		式							
	環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用		1.0		式						A	(共通仮設費率)
												B	+
	動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排 水設備とその料金の要する費用		支給								A	(積上げ)
												B	
	屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の 処分等の整理清掃に要する費用		1.0		式							
	機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要す る費用		1.0		式							
	その他	材料試験等に要する費用		1.0		式							
	計												

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【A工区】 共通仮設費(積上げ分)						
アスベスト定性分析	報告書作成含む	3	検体			
アスベスト分析試料採取費		3	試料			
室内環境測定	着工前・着工後 揮発性物質 6物質	7	室			
交通誘導員		77	日			
家具備品 一時移設再設置		1	式			A代 - 53
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【B工区】 共通仮設費(積上げ分)						
室内環境測定	着工前・着工後 揮発性物質 6物質	1	室			
ガードフェンス	W1800×H1800	345	m			
キャスターゲート	W6.0m×H2.0m	3	か所			
敷き鉄板	t22	630	m <sup>2</sup>			
養生マット	W=2000	103	m			
碎石敷き	t100	987	m <sup>2</sup>			
仮設物撤去後グラント整地		1	式			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員		22	日			
家具備品 一時移設再設置		1	式			A代 - 54
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
第1期						
i 直接工事費						
A A工区		1	式			
B B工区		1	式			一般工事費 スクラップ控除
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
A 【A工区】						
I 建築工事 (第1期)		1	式			
II 外構工事 (第1期)		1	式			
III 処分 (第1期)		1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
I 【A工区】 建築工事（第1期）						
1 直接仮設						
2 防水改修						
4 建具改修						
5 内装改修						
6 塗装改修						
8 発生材処理						
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	【A工区】 直接仮設					
						A別 - 1
	墨出し	1	式			
	養生	1	式			A別 - 2
	整理清掃後片付け	1	式			A別 - 3
	内部足場	1	式			A別 - 5
	仮設間仕切	1	式			A別 - 6
	仮設材運搬	1	式			A別 - 8
	計					

( P. A - 3 - ) ( )

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
【A工区】						
2 防水改修						
2.1. 撤去		1	式			
2.2. 改修		1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1. 撤去						
(屋根(2))						
EXP.Jカハ <sup>レ</sup> 撤去	アルミ 集積共	6.5	m			
煙突陣笠撤去	鋼板+フレキシブルボード(アスベスト含有) 560×810	4	か所			
煙突陣笠撤去	鋼板+フレキシブルボード(アスベスト含有) 980×550	2	か所			
(屋根(6))						
アルミ笠木撤去		7.3	m			
アルミ水切撤去		15.8	m			
計						



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
2.2. 改修						
a 屋根(2)		1	式			
b 屋根(6)		1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a 屋根(2)						
屋根						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	752	m2			
立上り						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	68.4	m2			
防水押え金物	シート防水用	161	m			
壁付						
防水押え金物	シート防水用	13.5	m			
防水押え金物コーナー	シート防水用	30	か所			
防水押え金物小口蓋	シート防水用	24	か所			
固定板	入隅	174	m			
固定板	出隅	174	m			
屋根						
ウレタン塗膜防水	X-2 平部	3.2	m2			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根(重ね部) ウレタン塗膜防水	X-2 平部	0.5	m2			
立上り ウレタン塗膜防水	X-2 立上り	10.1	m2			
立上り(重ね部) ウレタン塗膜防水	X-2 立上り	1.4	m2			
基礎天端 ウレタン塗膜防水	X-2 平部	5.8	m2			
基礎立下り ウレタン塗膜防水	X-2 立上り	17.3	m2			
基礎立下り(重ね部) ウレタン塗膜防水	X-2 平部	11.9	m2			
改修用ドレイン	豎型 φ100					
	塗膜防水用 撤去共	12	か所			
笠木 取外し・再取付						A代 - 6
	鋼板曲げ加工 W=300	177	m			
EXP.Jカパー	アルミ W=650					
	クリアランス290 屋根-屋根用	3.3	m			
EXP.Jカパー	アルミ W=590					
	クリアランス290 屋根-屋根用	3.3	m			
EXP.Jカパー部嵩上げ						A代 - 3
	W115、180×t80	6.5	m			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
煙突蓋	ステンレス t1.5					
	440×690	4	か所			
煙突蓋	ステンレス t1.5					
	860×430	2	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b 屋根(6)						
屋根						
ウレタン塗膜防水	X-2 平部	28.8	m2			
立上り						
ウレタン塗膜防水	X-2 立上り	15.8	m2			
基礎天端						
ウレタン塗膜防水	X-2 平部	1.9	m2			
基礎立下り						
ウレタン塗膜防水	X-2 立上り	2.7	m2			
改修用ドレイン	横型 φ100					
	塗膜防水用 撤去共	1	か所			
アルミ笠木	W=250	7.3	m			
アルミ水切		15.8	m			
水切取合シーリング*	PU-2 10×10	15.8	m			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	【A工区】 建具改修					
4.1.	撤去	1	式			
4.2.	改修	1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.1. 撤去						
AWD151 片開きドア撤去	W900×H1900 扉のみ 集積共	1	か所			
AD201 額入両開きドア撤去	W1800×H1900 扉のみ 集積共	1	か所			
SD101 煙感連動潜戸付自閉式 防火戸(180度開閉)撤去	W2400×H2495 枠共 集積共	3	か所			
LSD101 ランマ・地窓引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W6610×H2505 枠共 集積共	1	か所			
LSD102 ランマ・地窓引違い 引違いドア付木製パーテーション撤去	W4610×H2505 枠共 集積共	1	か所			
LSD103a ランマ引違い 片開きドア付木製パーテーション撤去	W3405×H2505 枠共 集積共	1	か所			
LSD103b ランマ引違い 片開きドア付木製パーテーション撤去	W2240×H2505 枠共 集積共	1	か所			
LSD109 片引きドア付木製パーテーション撤去	W6510×H2505 枠共 集積共	1	か所			
LSD110 ランマ引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W6600×H2505 枠共 集積共	1	か所			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
LSD111 ランマ引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W6800×H2505 枠共 集積共	1	か所			
LSD112 ランマ引違い 引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W5835×H2505 枠共 集積共	1	か所			
LSD117a 引違いドア撤去	W1625×H1900 枠共 集積共	1	か所			
LSD117b 片引きドア撤去	W1715×H1900 枠共 集積共	1	か所			
SP101a ランマ・地窓引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W7010×H2505 枠共 集積共	3	か所			
SP101c ランマ・地窓引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W7010×H2505 枠共 集積共	5	か所			
SP102 ランマ・地窓引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W6610×H2505 枠共 集積共	1	か所			
SP103 ランマ・地窓引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W6470×H2505 枠共 集積共	1	か所			
WD101 引違い障子撤去	W1650×H1750 枠共 集積共	1	か所			
WD102 片開きドア撤去	W800×H1900 枠共 集積共	1	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
WD106 片開きドア撤去	W800×H1900 扉のみ 集積共	1	か所			
WD107 片開きドア撤去	W800×H1900 枠共 集積共	1	か所			
WD108 3本建て襖撤去	W2480×H1750+W2365×H560 枠共 集積共	1	か所			
WD109 4本建て押入襖撤去	W2480×H1750+W2365×H560 枠共 集積共	1	か所			
WD110a 片開き扉撤去	W450×H1800 扉のみ 集積共	3	か所			
ガラス撤去	集積共	520	m2			
アルミパネル撤去	集積共	6.6	m2			
建具周囲はつり	RC 15cm 集積共	29.4	m			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2. 改修						
a アルミ製建具	新設	1	式			
b アルミ製建具	網戸(レール共)新設	1	式			
c 鋼製建具		1	式			
d 軽量鋼製建具		1	式			
e シャッター		1	式			
f スチールパーテーション		1	式			
g 木製建具		1	式			
h 調整及び清掃等		1	式			
i アルミパネル		1	式			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
j ガラス		1	式			
k その他		1	式			
計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	アルミ製建具					
	新設					
AW102a	カバー工法 撤去共					
排煙窓付片開き窓	W1530×H1730	1	か所			
AW102b	カバー工法 撤去共					
排煙窓付片開き窓	W1530×H1730	1	か所			
	アルミパネル3(設備開口加工)					
AW104	カバー工法 撤去共					
片開き窓	W1930×H1630	1	か所			
AW108	カバー工法 撤去共					
片開き窓	W1790×H1630	1	か所			
AW109b	カバー工法 撤去共					
排煙窓付片開き窓	W1430×H1730	2	か所			
AW109c	カバー工法 撤去共					
排煙窓付片開き窓	W1930×H1730	1	か所			
	アルミパネル3(設備開口加工)					
AW110a	カバー工法 撤去共					
片開き窓	W1630×H1630	1	か所			
AW19b	カバー工法 撤去共					
横軸回転窓	W800×H1900	2	か所			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AWD151 片開きドア	W900×H1900 扉のみ	1	か所			
AD201 額入両開きドア	W1800×H1900 扉のみ	1	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
b	アルミ製建具		網戸(レール共)新設										
	AW3c		網戸(レール共)新設										
	両袖FIX 引違い連窓		W7330×H2420	1			か所						
	AW3d		網戸(レール共)新設										
	両袖FIX 引違い連窓		W7330×H2420	2			か所						
	AW3f		網戸(レール共)新設										
	両袖FIX 引違い連窓		W7330×H2420	1			か所						
	AW7		網戸(レール共)新設										
	上下引違い FIX連窓		W5540×H2445	1			か所						
	AW12		網戸(レール共)新設										
	両袖FIX 2段引違い連窓		W6010×H1440	1			か所						
	AW15		網戸(レール共)新設										
	腰FIX 2段引違い窓		W2270×H2380	1			か所						
	AW17		網戸(レール共)新設										
	上下引違い FIX窓		W1860×H2445	1			か所						
	AW21		網戸(レール共)新設										
	両袖FIX 2段引違い連窓		W6480×H1540	1			か所						
	AW26		網戸(レール共)新設										
	引違い連窓		W3200×H900	1			か所						
	AWD1 中央ランマ付		網戸(レール共)新設										
	片開きドア 2段引違い連窓		W7130×H2600	2			か所						



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AWD2 中央ランマ付 片開きドア 左右引違い連窓	網戸(レール共)新設					
	W6380×H1440	2	か所			
AWD7 ランマ付片開きドア 3段引違い連窓	網戸(レール共)新設					
	W4940×H2600	1	か所			
AWD151 ランマ付片開きドア 袖FIX引違い窓	網戸(レール共)新設					
	W3190×H2600	1	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c 鋼製建具						
SD101 煙感連動潜戸付 自閉式防火戸(180度開閉)	W2400×H2495 枠共	3	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
d 軽量鋼製建具						
LSD101 片引きハンガードア(壁内蔵タイプ)	W930×H2100 枠共	1	か所			
LSD102 片引きハンガードア(壁内蔵タイプ)	W930×H2100 枠共	1	か所			
LSD103a ランマFIX付片開きドア	W850×H2495 枠共	1	か所			
LSD103b ランマFIX付片開きドア	W850×H2495 枠共	1	か所			
LSD109 片引きハンガードア(壁内蔵タイプ)	W930×H2100 枠共	1	か所			
LSD110 片引きハンガードア(壁内蔵タイプ)	W930×H2100 枠共	2	か所			
LSD111 片引きハンガードア(壁内蔵タイプ)	W930×H2100 枠共	1	か所			
LSD112 ランマ引違い 引違いドア	W2000×H2495 枠共	1	か所			
LSD112 片引きハンガードア(壁内蔵タイプ)	W930×H2100 枠共	1	か所			
LSD117a 引違いドア	W2000×H1900 枠共	1	か所			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
e シャッター						
SS101d	レールカバー工法 手動式					
煙感連動 防煙防火シャッター(手動式)	W2790×H2505 撤去共	3	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
f スチールパーテーション						
SP101a ランマ・地窓引違い 片引きドア付スチールパーテーション	W7060×H2485 枠共 掲示板(室内側・廊下側 両面)共	3	か所			
SP101c ランマ・地窓引違い 片引きドア付スチールパーテーション	W7060×H2485 枠共 一部アルミパネル 掲示板(室内側・廊下側 両面)共	5	か所			
SP102 ランマ・引違い 片引きドア付スチールパーテーション	W6670×H2485 枠共 掲示板(廊下側 片面)共	1	か所			
SP103 ランマ・引違い 片引きドア付スチールパーテーション	W6530×H2485 枠共 掲示板(廊下側 片面)共	1	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
g 木製建具						
WD101 引違いドア	合板 W1800×H1900	1	か所			
WD102 片開きドア	合板 W800×H1900	1	か所			
WD106 片開き扉	合板 W800×H1900	1	か所			
WD110a 片開き扉	合板 W450×H1800	3	か所			
WD101 引違いドア枠	W1800×H1900	1	か所			A代 - 7
WD102 片開きドア枠	W800×H1900	1	か所			A代 - 8
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	h	調整及び清掃等											
	AW102a	中央FIX 左右2段引違い連窓	W7100×H1800 戸車・クレセント交換	1			か所						
			調整及び清掃										
	AW102b	中央FIX 左右2段引違い連窓	W7100×H1800 戸車・クレセント交換	1			か所						
			調整及び清掃										
	AW104	両袖FIX 2段引違い連窓	W7240×H2445 戸車・クレセント交換	1			か所						
			調整及び清掃										
	AW109b	両袖FIX 2段引違い連窓	W6760×H1800 戸車・クレセント交換	1			か所						
			調整及び清掃										
	AW109c	中央FIX 左右2段引違い連窓	W6760×H1800 戸車・クレセント交換	1			か所						
			調整及び清掃										



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW110a 両袖FIX 2段引違い窓	W2370×H2445					
	調整及び清掃	1	か所			
AWD151 ランマ付片開きドア+袖FIX引違い窓	W3190×H2600					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW1 中央FIX 左右2段引違い連窓	W7130×H1800					
	戸車・クレセント交換	8	か所			
	調整及び清掃					
AW2b 中央FIX 左右2段引違い連窓	W7100×H1800					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW2c 中央FIX 左右2段引違い連窓	W7100×H1800					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW3c 両袖FIX 引違い連窓	W7330×H2420					
	戸車・クレセント交換	7	か所			
	調整及び清掃					

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW3d 両袖FIX 引違い連窓	W7330×H2420					
	戸車・クレセント交換	2	か所			
	調整及び清掃					
AW3e 両袖FIX 引違い連窓	W7330×H2420					
	戸車・クレセント交換	2	か所			
	調整及び清掃					
AW3f 両袖FIX 引違い連窓	W7330×H2420					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW7 上下引違い FIX連窓	W5540×H2445					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW12 両袖FIX 2段引違い連窓	W6010×H1440					
	調整及び清掃	1	か所			
AW15 腰FIX 2段引違い窓	W2270×H2380					
	調整及び清掃	1	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW16a 両袖FIX 2段引違い連窓	W2370×H2445					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW16b 両袖FIX 2段引違い窓	W2080×H2445					
	戸車・クレセント交換	2	か所			
	調整及び清掃					
AW17 上下引違い FIX窓	W1860×H2445					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW18 3段FIX窓	W1600×H2450					
	調整及び清掃	6	か所			
AW19b 横軸回転窓+FIX窓+ガラリ	W800×H12550					
	調整及び清掃	2	か所			
AW21 両袖FIX 2段引違い連窓	W6480×H1540					
	調整及び清掃	2	か所			
AW22 両袖FIX 2段引違い連窓	W6140×H2445					
	戸車・クレセント交換	2	か所			
	調整及び清掃					

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW26 引違い連窓	W3200×H900					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW27c 2段引違い窓	W1130×H1700					
	調整及び清掃	2	か所			
AW27d 2段引違い窓	W940×H1700					
	調整及び清掃	2	か所			
AW30 2段引違い連窓	W1860×H1700					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW31a 中央FIX 左右2段引違い連窓	W6760×H1800					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW31b 中央FIX 左右2段引違い連窓	W6760×H1800					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW33 上部突出しFIX窓	W800×H1800					
	クレセント交換	2	か所			
	調整及び清掃					
AWD1 中央ランマ付片開きドア 左右引違い連窓	W7130×H2600					
	戸車・クレセント交換	2	か所			
	調整及び清掃					
AWD2 中央ランマ付片開きドア 左右引違い連窓	W6380×H1440					
	調整及び清掃	2	か所			
AWD7 ランマ付片開きドア 3段引違い連窓	W4940×H2600					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AWD14 袖FIX ランマ付片開きドア	W2080×H2500					A代 - 9
	錠前交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AWD18a ランマ付両開きドア	W1300×H2500					A代 - 10
	錠前交換	1	か所			
	調整及び清掃					

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AWD18b ランマ付両開きドア	W1300×H2500					A代 - 11
	錠前交換	2	か所			
	調整及び清掃					
AWD22 袖FIX ランマ付片開きドア	W1370×H2500					A代 - 12
	錠前交換	3	か所			
	調整及び清掃					
SD2 片開きアングルドア	W700×H1200					
	調整	1	か所			
SD4 片開きアングルドア	W800×H1200					
	調整	1	か所			
SD5 片開きアングルドア	W600×H900					
	調整	1	か所			
SD6 片開き点検扉	W400×H600					
	調整	1	か所			
SD7 片開き点検扉	W350×H600					
	調整	1	か所			
SD8 煙感連動 潜戸付自閉式防火戸(90度開閉)	W1890×H2495					
	調整及び清掃	1	か所			
SG1 換気ガラリ	W700×H350					
	調整	1	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
WD9 片開きドア	W800×H1800					
	調整及び清掃	1	か所			
WD10 片引きドア	W887.5×H1860					
	調整及び清掃	1	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
i	アルミパネル						
	AW2b アルミパネル	t3 800×1300 設備開口加工	1	か所			
	AW2c アルミパネル	t3 1600×1300 設備開口加工	1	か所			
	AW3c アルミパネル	t3 290×1120 設備開口加工	21	か所			
	AW3d アルミパネル	t3 290×1120 設備開口加工	6	か所			
	AW3e アルミパネル	t3 290×1120 設備開口加工	8	か所			
	AW3f アルミパネル	t3 290×1120 設備開口加工	4	か所			
	AW16a アルミパネル	t3 265×1200 設備開口加工	1	か所			
	AW31b アルミパネル	t3 750×1300 設備開口加工	1	か所			
	AWD7 アルミパネル	t3 1915×600	1	か所			
	AWD14 アルミパネル	t3 1005×500 設備開口加工	1	か所			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AWD151 アルミパネル	t3 350×800					
	設備開口加工	1	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
j ガラス						
型板ガラス	t4 150×700					
	シーリング・清掃共	2	か所			
網入磨板ガラス	t6.8 2.18㎡以下					
	シーリング・清掃共	3	m2			
学校用強化ガラス	t4 2.0㎡以下					
	シーリング・清掃共	454	m2			
学校用強化ガラス	t4 150×700					
	シーリング・清掃共	12	か所			
学校用強化ガラス	t4 φ500					
	シーリング・清掃共	4	か所			
型板強化ガラス	t4 2.0㎡以下					
	シーリング・清掃共	7	m2			
型板強化ガラス	t4 150×600					
	シーリング・清掃共	1	か所			
型板強化ガラス	t4 150×700					
	シーリング・清掃共	2	か所			
ガラスヒート取替え						
		196	m			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
k	その他												
	DP塗り	鋼製建具面	1級	3.7		m2							
	EP塗り	鋼製建具面		130		m2							
	EP塗替え	鋼製建具面		6.1		m2							
	EP塗り	木製建具面		22.8		m2							
	建具周囲モルタル充填	内部建具		332		m							
	非常用進入口マーク	▽		8		か所							
	開口制限金物			122		か所							
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5	【A工区】 内装改修					
5.1.	撤去	1	式			
5.2.	改修	1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1. 撤去						
床 モルタル撤去	集積共	29.6	m2			
床 カッター入れ	モルタル	140	m			
床 長尺塩ビシート撤去	一般 集積共	2.5	m2			
床 長尺塩ビシート撤去	アスベスト含有 集積共	775	m2			
床 塩ビタイル撤去	アスベスト含有 集積共	40.8	m2			
床 カーペット撤去	集積共	9.2	m2			
床 タイルカーペット撤去	集積共	89.4	m2			
床 フローリングボード撤去	集積共	158.5	m2			
床 畳撤去	一畳 集積共	20	枚			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床 畳撤去	半畳 集積共	1	枚			
床組撤去	つか立て 集積共	50.3	m2			
OAフロー撤去	置床式 集積共	5.2	m2			
上り框撤去	アルミ 集積共	4.8	m			
階段ノンスリップ撤去	アルミ 集積共	140	m			
巾木 モルタル撤去	集積共	2.1	m			
木製巾木撤去	集積共	26.2	m			
壁 モルタル撤去	集積共	56.2	m2			
壁 カッター入れ	モルタル	60.2	m			
壁 タイル撤去	下地モルタル共 集積共	7.3	m2			
壁 合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	120.5	m2			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁 コンクリート撤去	鉄筋切断共 集積共	0.6	m3			
壁 カッター入れ	コンクリート面	21	m			
壁 コンクリートブロック撤去	集積共	0.5	m3			
壁下地撤去	集積共	81.6	m2			
胴縁撤去	集積共	45	m2			
天井 合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	969	m2			
天井 合板・ボード撤去	一重張り アスベスト含有 集積共	233	m2			
天井 合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	76.7	m2			
天井下地撤去	集積共	1624	m2			
カーテンレール撤去	集積共	117	m			
黒板撤去	W2000×H1200 木枠・下地共 集積共	1	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
黒板撤去	W2060×H1240					
	木枠・下地共 集積共	8	か所			
黒板撤去	W3600×H1200					
	木枠・下地共 集積共	1	か所			
黒板撤去	W3600×H1240					
	木枠・下地共 集積共	8	か所			
引分け黒板撤去	W1800×H970					
	木枠・下地共 集積共	1	か所			
スチール上下黒板撤去	W3600×H1800					
	集積共	3	か所			
廊下 展示パネル撤去	W1700×H900					
	集積共	1	か所			
廊下 展示パネル撤去	W1800×H900					
	集積共	1	か所			
掲示板撤去	アルミ枠					
	集積共	39.5	m2			
掲示板撤去	ビニルクロス貼					
	木枠・下地共 集積共	79	m2			
掲示板 コルクシート撤去						
	集積共	9.8	m2			
壁付手摺撤去						
	ステンレス 集積共	48.9	m			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製長押撤去	集積共	36.7	m			
押入床組・棚板撤去	集積共	5.8	m <sup>2</sup>			
校務員室 流し台撤去	W1200×D550×H800 集積共	1	か所			
校務員室 コンロ台撤去	W600×D550×H650 集積共	1	か所			
浴室 浴槽撤去	W950×D700×H650 集積共	1	か所			
図書室 教師用戸棚撤去	W1250×D550×H1960 集積共	1	か所			
図書室 木製カウンター撤去	W600×D600×H850 集積共	5	か所			
図書室 木製本棚撤去	W910×D230/370×H850 集積共	1	か所			
図書室 木製本棚撤去	W1520×D290/500×H1950 集積共	2	か所			
図書室 木製本棚撤去	W1670×D290/500×H1950 集積共	3	か所			
図書室 木製本棚撤去	W1800×D220/350×H850 集積共	2	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
図書室 木製本棚撤去	W1800×D400/700×H1800					
	集積共	1	か所			
図書室 木製本棚撤去	W1800×D500/750×H1120					
	集積共	1	か所			
図書室 木製本棚撤去	W1830×D210/350×H910					
	集積共	1	か所			
図書室 木製本棚撤去	W5460×D300/600×H2400					
	集積共	1	か所			
理科室 実験台撤去	W2940×D750×H700					
	集積共	6	か所			
理科室 教師用実験台撤去	W2400×D900×H850					
	集積共	1	か所			
理科室 教師用戸棚撤去	W1465×D570×H1960					
	集積共	1	か所			
理科室 木製棚撤去	W6650×D450×H900					
	集積共	1	か所			
理科室 木製書架撤去	W1500×D400×H870					
	W1500×D500×H930 集積共	1	か所			
理科室 木製書架撤去	W1800×D400×H900					
	W1800×D500×H900 集積共	1	か所			
理科室 スチール書架撤去	W1760×D400×H1850					
	集積共	1	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
理科室 人研流し・作業台 コンクリート撤去	鉄筋切断共 集積共	1	m3			
理科室 人研流し・作業台 カッター入れ	コンクリート面	25.5	m			
理科室 人研流し・作業台 木製扉撤去	W11990×H250 集積共	1	か所			
理科準備室 スチール書棚撤去	W1200×D600×H1800 集積共	1	か所			
理科準備室 木製書棚撤去	W1800×D815×H680 集積共	1	か所			
理科準備室 木製書棚撤去	W1800×D400×H900 W1800×D520×H900 集積共	1	か所			
理科準備室 木製書棚撤去	W1800×D500×H1120 W1800×D800×H680 集積共	2	か所			
理科準備室 スチール書棚撤去	W880×D430×H880 W880×D540×H960 集積共	1	か所			
理科準備室 電源装置撤去	W450×D500×H750 集積共	1	か所			
第1音楽室 教師用戸棚撤去	W1465×D570×H1960 集積共	1	か所			
第1音楽室 掃除用具入れ撤去	W550×D420×H1930 集積共	1	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
家庭科室 生徒用調理台撤去	W1800×D900×H705					
	集積共	9	か所			
家庭科室 教師用調理台撤去	W1800×D900×H705					
	集積共	1	か所			
家庭科室 教師用戸棚撤去	W1250×D570×H1960					
	集積共	1	か所			
家庭科室 掃除用具入れ撤去	W550×D420×H1930					
	集積共	1	か所			
家庭科室 木製収納棚撤去	W1200×D400×H900					
	集積共	1	か所			
家庭科室 木製棚板撤去	W6200×D270×H650					
	集積共	1	か所			
家庭科室 木製食器棚撤去	W910×D290×H1070					
	W910×D430×H650 集積共	1	か所			
家庭科室 木製食器棚撤去	W1435×D340×H960					
	W1435×D430×H820 集積共	1	か所			
家庭科室 木製食器棚撤去	W1810×D360×H890					
	W1810×D450×H910 集積共	1	か所			
家庭科室 木製食器棚撤去	W1800×D400×H880					
	W1800×D500×H930 集積共	2	か所			
教室 木製棚撤去	W1255×D570×H1940					
	集積共	4	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
教室 木製棚撤去	W1355×D570×H1940					
	集積共	4	か所			
教室 木製棚撤去	W6280×D390×H700					
	集積共	4	か所			
教室 木製棚撤去	W6480×D390×H700					
	集積共	4	か所			
教室 掃除用具入撤去	W550×D500×H1985					
	W550×D500×H1985 集積共	8	か所			
廊下 人研流し コンクリート撤去						
	鉄筋切断共 集積共	0.6	m3			
廊下 人研流し カッター入れ						
	コンクリート面	17.6	m3			
廊下 シューズボックス撤去	W1500×D330×H900					
	集積共	2	か所			
廊下 児童用ロッカー撤去	W6700×D422×H1290					
	集積共	12	か所			
EXP.Jカバー撤去	スチール 壁-壁 W=220					
	集積共	35.3	m			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EXP.カバ撤去	スチール 天井-天井 W=220					
	集積共	27.8	m			
にじいろルーム スチール棚 撤去	W1200×D700×H1800	1	か所			
倉庫(2) 木製棚 撤去	W2000×D500×H1800	1	か所			
コンピューター準備室 木製引出付棚 撤去	W2000×D600×H2000	2	か所			
コンピューター準備室 木製棚 撤去	W2000×D600×1000	1	か所			
郷土資料室・教材室 スチール棚 撤去	W1200×D500×H1800	1	か所			
郷土資料室・教材室 スチール棚 撤去	W1800×D500×H1800	2	か所			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2. 改修						
a 床		1	式			
b 巾木・壁		1	式			
c 天井		1	式			
d その他		1	式			
e 家具		1	式			
f サイン		1	式			
計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a 床						
床 ウレタン系塗床	耐薬品性	2.4	m2			
床 ウレタン系塗床	耐薬品性 下地調整共	227	m2			
床 タイルカーペット	ループパイル 第1種 t6.5 500×500 市松敷	86.9	m2			
床 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法	0.3	m2			
床 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法 下地調整共	91.1	m2			
床 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法 センターライン付	10.4	m2			A代 - 13
床 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法 センターライン付 下地調整共	648	m2			A代 - 13(2)
点字タイル	塩ビ <sup>®</sup> 300角	18	か所			
床 フローリングブロック	1等 なら t15 300角 接着工法	144.5	m2			
床 モルタル塗り	モルタル仕上げ	35.9	m2			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床 モルタル塗り	塗床下地	2.4	m2			
床 モルタル塗り	張物下地	13.5	m2			
床 モルタル塗り	フローリングブロック下地	24	m2			
コンピューター室 OAフローア-端部調整材	置床式 H=40 W=100	11.3	m			
コンピューター室 スロープ	OAフローア-専用 アルミ W1850×D495 (1/12勾配)	1	か所			
コンピューター室 上り框	OAフローア-専用 アルミ W10×H40	5.1	m			
床 無筋コンクリート	Fc-18 S-15 材工共	0.3	m3			A代 - 1
床見切	ステンレス W=10	1.9	m			
階段 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法 センターライン付 下地調整共	53.9	m2			A代 - 14
階段 ハンズリップ	ステンレスタイヤ入り W=35 フラットエンドあり 接着工法	140	m			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b 巾木・壁						
巾木						
モルタル塗り	H=60	2.6	m			
木製巾木	ラワン H=60	57.9	m			A代 - 15
木製巾木	ラワン H=100	2.6	m			A代 - 16
ビニル巾木	H=60	27.2	m			
壁						
モルタル塗り	モルタル仕上げ	29.8	m2			
壁						
モルタル塗り	塗装下地	16.3	m2			
壁						
モルタル塗り	張物下地	1.2	m2			
壁						
モルタル補修		201.6	m2			
壁						
石膏ボード	t9.5 継目処理	21.6	m2			
壁						
石膏ボード	t9.5 目透し	3.4	m2			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁 石膏ボード	t12.5 継目処理	12.7	m2			
壁 石膏ボード	t12.5 目透し	4.3	m2			
壁 硬質石膏ボード	t9.5 突付け	22.7	m2			A代 - 17
壁 シタ合板	t5.5	8.4	m2			
壁 有孔シタ合板	t5.5 目透し	51.6	m2			A代 - 18
壁 ポリ合板	t3.2	1.3	m2			A代 - 19
腰壁 木製巾木	桧 上小節 H=60	388	m			A代 - 20
腰壁 木製腰板貼り	桧 上小節	261.8	m2			
腰壁 木製腰板貼り	桧 上小節 準不燃	55.1	m2			A代 - 21
腰壁 出隅見切	桧 上小節	61.6	m			A代 - 22
腰壁 腰壁見切(上部)	桧 上小節	388	m			A代 - 23

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
腰壁						A代 - 24
腰壁見切(縦部)	桧上小節	136.5	m			
軽鉄壁下地	W=100 @300	30.4	m2			
軽鉄壁下地 開口部補強		1	式			A別 - 9
耐火間仕切	総厚150 LGS100					
	両面強化石膏ボードt12.5+12.5 目透し	91.8	m2			
	上張り目地部専用目地フェルト充填					
耐火間仕切 四周処理		227	m			
耐火間仕切 開口部補強		1	式			A別 - 10
間仕切組						A代 - 25
	W=75 @300	1.8	m2			
間仕切組						A代 - 26
	W=90 @300	5.2	m2			
胴縁組						A代 - 27
	45×18 @450	379.3	m2			
学習室 壁上部見切縁						A代 - 28
	60×25	34.9	m			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンピューター室 壁出隅見切縁	40×40	2.9	m			A代 - 29
廊下 開口跡補修	ガラス充填+D10タテヨコ 300×300×t120	2	か所			A代 - 30
RC-LGS取合シーリング	PS-2 10×10	142	m			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c 天井						
天井 化粧石膏ボード	t9.5	48.9	m2			
天井 化粧石膏ボード	t9.5 910×910	650	m2			
天井 化粧石膏ボード	t9.5 不燃	178	m2			
天井 化粧石膏吸音ボード	t9.5 不燃	27.5	m2			
天井 化粧石膏吸音ボード	t9.5 不燃 角孔	582	m2			
天井 ロックウール吸音板	フラット t9 下地GB-Rt9.5共	189	m2			
天井 ケイ酸カルシウム板	t5 目透し	35.9	m2			
軽鉄天井下地	下地張りなし @225 あと施工アンカー	695	m2			
軽鉄天井下地	下地張りなし @300 あと施工アンカー	781	m2			
軽鉄天井下地 開口補強		1	式			A別 - 11





# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
d その他						
カーテンレール	ステンレス シングル	101	m			
木製長押	70×25	87	m			A代 - 31
掲示板貼付け用幕板	30×30	56.1	m			A代 - 32
壁付手摺	アルミ製ビニル被覆 φ34	61.9	m			
教室 煙突塞ぎ	スチール PL-3 150×150	8	か所			A代 - 33
廊下 スリットカバー	アルミ W=100	10.3	m			A代 - 34
廊下 児童用フック		240	か所			A代 - 35
普通教室(K-1) 黒板	曲面 昇降式 W3600×H1200	5	か所			
普通教室(K-5) 背面黒板	W2060×H970	5	か所			
理科室、被服室、学習室(K-2) スチール上下黒板	W3600×H1800	3	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
家庭科室(K-7)						
スチール上下ホワイトボード	W3600×H1800	1	か所			
理科室(K-4)						
掲示板	アルミ枠 W750×H1200	1	か所			
2・3F廊下、階段室(K-4)						
掲示板	アルミ枠 W1200×H900	4	か所			
図書室(K-4)						
掲示板	アルミ枠 W1400×H1120	1	か所			
家庭科室(K-4)						
掲示板	アルミ枠 W1620×H1200	1	か所			
3F廊下(K-4)						
掲示板	アルミ枠 W1800×H900	2	か所			
1F廊下(K-4)						
掲示板	アルミ枠 W2150×H1120	1	か所			
1F廊下(K-4)						
掲示板	アルミ枠 W2400×H1200	1	か所			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2・3F廊下(K-4) 掲示板	アルミ枠					
	W3600×H900	2	か所			
1F廊下(K-4) 掲示板	アルミ枠					
	W4400×H1200	1	か所			
家庭科室(K-4) 掲示板	アルミ枠					
	W6160×H1200	1	か所			
理科室(K-4) 掲示板	アルミ枠					
	W6560×H1080	1	か所			
1F廊下(K-4) 掲示板	アルミ枠					
	W7200×H1200	2	か所			
3F廊下(K-4) 掲示板	アルミ枠					
	W7320×H1120	1	か所			
2F廊下(K-4) 掲示板	アルミ枠					
	W8000×H1120	1	か所			
2F廊下(K-4) 掲示板	アルミ枠					
	W8860×H1120	1	か所			
1F廊下(K-4) 掲示板	アルミ枠					
	W10540×H1120	1	か所			
ピア活動室、外国語活動ルーム、第2図書室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 39
	W1440×H1180	3	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
被服室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 41
	W1470×H1180	1	か所			
外国語ルーム、児童会室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 42
	W1540×H1180	2	か所			
学習室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 43
	W1600×H1200	1	か所			
ピア活動室、外国語活動ルーム、郷土資料室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 44
	W1655×H970	3	か所			
外国語ルーム、児童会室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 45
	W1855×H970	2	か所			
2・3F普通教室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 46
	W2515×H970	5	か所			
被服室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 47
	W6430×H1030	1	か所			
コンピューター室 掲示板 コルクシート						A代 - 48
		9.8	m2			
機材器具保管庫 木製棚						A代 - 49
	W2100×D600×H1800	2	か所			
機材器具保管庫 木製棚						A代 - 50
	W3500×D600×H1800	1	か所			
機材器具保管庫 木製棚						A代 - 51
	W6900×D600×H1800	1	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EXP.カバー	アルミ W=220					
	クリアランス100 内壁-内壁	15.1	m			
EXP.カバー	アルミ W=220					
	クリアランス100 天井-天井	8.1	m			
小計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
e 家具						
F-02c 教師用戸棚	W1255×D570×H1930	2	か所			
F-02d 教師用戸棚	W1355×D570×H1930	3	か所			
F-02f 教師用戸棚	W1200×D570×H1860	2	か所			
F-02g 教師用戸棚	W1500×D570×H1860	1	か所			
F-13a 壁面傾斜高書架	W6560×D357×H1900	1	か所			
F-13b 壁面傾斜高書架	W3400×D357×H1900	1	か所			
F-13c 壁面傾斜高書架	W3000×D357×H1900	1	か所			
F-13d 壁面傾斜高書架	W4920×D357×H1900	1	か所			
F-14a 壁面傾斜低書架	W6800×D357×H800	1	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
F-14b 壁面傾斜低書架	W1800×D357×H800	1	か所			
F-15 図書カウンター	固定は別途 W2700×D1530×H705	1	か所			
F-16 両面傾斜中書架	固定は別途 W3600×D700×H1100	1	か所			
F-17b 流し台	W2140×D600×H900	3	か所			
F-17f 流し台	W6000×D600×H900	2	か所			
F-18b 背面ロッカー+掃除用具入	W6810×D450×H1930	3	か所			
F-18c 背面ロッカー+掃除用具入	W7053×D450×H1930	2	か所			
F-26a 収納戸棚	W3600×D600×H1860	1	か所			
F-26b 収納戸棚	W5400×D600×H1860	1	か所			
F-27 準備室実験台	W2400×D900×H850	1	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
F-28 収納戸棚	W4500×D600×H1860	1	か所			
F-29 腰高収納	W6000×D450×H1860	1	か所			
F-30 収納戸棚+流し台	W11870×D835×H750	1	か所			
F-31 教師用実験台	W3000×D900×H850	1	か所			
F-32 生徒用実験台	W3000×D900×H760	6	か所			
F-35 掃除用具入	W600×D400×H1860	3	か所			
F-36a 収納戸棚	W3600×D600×H1860	1	か所			
F-36b 収納戸棚	W5000×D600×H1860	1	か所			
F-37 教師用調理台	W2100×D900×H850	1	か所			
F-38 生徒用調理台	W1740×D900×H760	9	か所			
F-39 掃除用具入+ミシン収納	W7000×D600×H1930	1	か所			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
F-40 収納戸棚	W1355×D420×H1930	1	か所			
F-41 生徒用被服机	W1800×D900×H700	6	か所			
F-49 シューズボックス	W(1800+1800)×D330×H800	1	か所			
郷土資料室・教材室 スチールラック	W1800×D450×H1800					
	転落防止処置	12	か所			
郷土資料室・教材室 スチールラック	W1800×D600×H1800					
	転落防止処置	6	か所			
物品庫 スチールラック	W1200×D450×H1800					
	転落防止処置	1	か所			
物品庫 スチールラック	W1800×D450×H1800					
	転落防止処置	6	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
f	サイン												
	A												
	室名表示(木製)突出	W278×D18×H251.4		16		か	所						
	B												
	室名表示(木製)平付	W249×D15×H249		6		か	所						
	C												
	室名表示平付	W210×D15×H210		5		か	所						
	D												
	誘導表示板(大)	W200×H300		4		か	所						
	E												
	誘導表示板(小)	W150×H250		3		か	所						
	F												
	室名表示シート切り文字	H=50		1		か	所						
	I												
	総合案内板 点字表記付	W900×D15×H1200		1		か	所						
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
6 【A工区】 塗装改修						
6.2. 改修	内部	1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.2. 改修	内部					
壁 EP塗り	モルタル面	17	m2			
壁 EP塗替え	モルタル面	1427.5	m2			
天井 EP塗替え	モルタル面	202.4	m2			
巾木 EP塗り	モルタル面 細幅物	2.6	m			
巾木 EP塗替え	モルタル面 細幅物	177	m			
壁 EP塗り	ボード面	166.4	m2			
壁 EP塗替え	ケイカル面	20.9	m2			
天井 EP塗り	ケイカル面	35.9	m2			
EP塗り	鉄部	0.3	m2			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EP塗替え	鉄部	19.6	m2			
EP塗り	木部	52.9	m2			
EP塗替え	木部	144	m2			
EP塗り	木部 細幅物	380	m			
EP塗替え	木部 細幅物	378	m			
CL塗り	木部	7.1	m2			
CL塗替え	木部	97	m2			
CL塗り	木部 細幅物	2.9	m			
CL塗替え	木部 細幅物	8.7	m			
1-UC塗り	フローリングブロック面	144.5	m2			
1-UC塗替え	フローリングブロック面 サンダー掛け共	559	m2			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【A工区】						
8 発生材処理						
発生材運搬	積込み共	1	式			A別 - 12
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【A工区】 II 外構工事（第1期）						
ネットフェンス撤去	H=1200 集積共	16	m			
パーゴラ撤去	単管パイプ組 W7000×D3200×H1800 集積共	1	か所			
花壇立上り コンクリートブロック撤去	t100×1段 集積共	106	m			
高木 伐根・伐採	φ 450 H=12.0m	1	本			
樹木剪定	高木 H=3.0m	4	本			
キュービクル架台基礎		1	式			A代 - 52



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
車椅子用駐車場						
樹脂系すべり止め舗装工	RPN-301	21	㎡			
駐車場						
ライン引き	熔融式 実線15cm	35	m			
車止め	1組 2か所	1	組			
身障者マーク	1700×2000白	1	か所			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
【A工区】 Ⅲ 処分（第1期）						
発生材処分	処分費	1	式			A別 - 13
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B 【B工区】						
I 建築工事 (第1期)		1	式			
III 処分 (第1期)		1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
I	【B工区】 建築工事（第1期）					
1	直接仮設					
3	外壁改修					
4	建具改修					
5	内装改修					
6	塗装改修					
7	環境配慮改修					
8	発生材処理					
	計					

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	【B工区】 直接仮設					
	墨出し	1	式			A別 - 1(2)
	養生	1	式			A別 - 2(2)
	整理清掃後片付け	1	式			A別 - 3(2)
	外部足場	1	式			A別 - 4
	内部足場	1	式			A別 - 5(2)
	仮設間仕切	1	式			A別 - 6(2)
	災害防止	1	式			A別 - 7
	仮設材運搬	1	式			A別 - 8(2)
	計					

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
【B工区】						
3 外壁改修						
3.1. 撤去		1	式			
3.2. 改修		1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.1. 撤去						
コンクリートブロック撤去	コンクリートブレーカ 集積共	0.6	m3			
れんが撤去	コンクリートブレーカ 集積共	2.2	m3			
ネットフェンス撤去	ネットのみ 集積共	98.5	m2			
縦樋撤去	塩ビ 集積共	109	m			
縦樋養生管撤去	鋼管 集積共	18	m			
浄化槽煙突撤去	塩ビ 集積共	13.2	m			
EXP.Jカバー撤去	集積共	38.2	m			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.2. 改修						
庇天端 ウレタン塗膜防水	X-2 平部	2.6	m2			
天井 水性反応硬化形 軒天塗り替え専用仕上塗材	コンクリート面 下地調整共	18.2	m2			
壁 防水型複層塗材E	凸凹状 吹付 アクリル系 コンクリート面 下地調整(C-2)共	1517	m2			
壁 防水型複層塗材E	凸凹状 吹付 アクリル系 モルタル面 下地調整(E)共	23.2	m2			
壁 防水型複層塗材E	凸凹状 吹付 アクリル系 ALC面 下地調整(E)共	4.6	m2			
壁 可とう形改修塗材E	凸凹状 吹付 アクリル系 ECP面 下地清掃共	57.8	m2			
壁 ALC版	縦張り t50 副資材、取付金物共	4.6	m2			
壁 ALC版下地鉄骨	W800×H1200+2800+1800 C-100×50×20×2.3、PL-6、	1	か所			A代 - 4
	L-75×75×6 あと施工アンカー:M12					



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁 モルタル塗り	吹付下地					
	目地切共	23.2	m2			
地巾木 薄塗モルタル塗り						
	仕上	58.7	m2			
地巾木 高圧洗浄						
	10～15mpa程度	58.7	m2			
施工数量調査						
	コンクリート面	1540	m2			
クラック部補修	樹脂注入工法					
	コンクリート面	126	m			
爆裂部補修	充填工法					
	コンクリート面	219	か所			
欠損部補修	充填工法					
	コンクリート面	1	か所			
ネットフェンス						A代 - 5
	ネットのみ H=1500	65.7	m			
竪樋						
	塩ビ φ100	109	m			
EXP.Jカバー	アルミ W=500 1時間耐火					
	クリアランス300 壁-壁	15.7	m			
EXP.Jカバー	アルミ W=220 1時間耐火					
	クリアランス100 壁-壁	22.5	m			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
打継目地シーリング打替え	PU-2 20×10					
	撤去共	614	m			
耐震スリットシーリング打替え	PU-2 20×10					
	撤去共	23.6	m			
建具廻りシーリング打替え	MS-2 15×10					
	撤去共	1060	m			
笠木 取外し・再取付						A代 - 6
	鋼板曲げ加工 W=300	177	m			
ECP上部庇 清掃						
	アルミ W=350	28.9	m			
計						



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.1. 撤去						
SP101b ランマ・地窓引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W7010×H2505 枠共 集積共	3	か所			
SP101c ランマ・地窓引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W7010×H2505 枠共 集積共	1	か所			
ガラス撤去	集積共	23	m2			
計						

## 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2. 改修						
f スチールパーティション		1	式			
j ガラス		1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
f スチールパーテーション						
SP101b ランマ・地窓引違い 片引きドア付スチールパーテーション	W7060×H2485 枠共 一部アルミパネル	3	か所			
	掲示板(室内側・廊下側 両面)共					
SP101c ランマ・地窓引違い 片引きドア付スチールパーテーション	W7060×H2485 枠共 一部アルミパネル	1	か所			
	掲示板(室内側・廊下側 両面)共					
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
j ガラス						
学校用強化ガラス	t4 2.0㎡以下 シーリング・清掃共	19	m2			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5 【B工区】 内装改修						
5.1. 撤去		1	式			
5.2. 改修		1	式			
計						



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1. 撤去						
床 モルタル撤去	集積共	2.8	m2			
床 カッター入れ	モルタル	29	m			
床 長尺塩ビシート撤去	アスベスト含有 集積共	92	m2			
床 塩ビタイル撤去	アスベスト含有 集積共	2.8	m2			
床 フローリングボード撤去	集積共	8.5	m2			
壁 モルタル撤去	集積共	2	m2			
壁 カッター入れ	モルタル	20.1	m			
壁 合板・ボード撤去	一重張り 一般					
	集積共	9.5	m2			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井 合板・ボード撤去	一重張り 一般					
	集積共	95	m2			
天井 合板・ボード撤去	一重張り アスベスト含有					
	集積共	685	m2			
天井下地撤去						
	集積共	303	m2			
カーテンレール撤去						
	集積共	14	m			
黒板撤去	W2060×H1240					
	木枠・下地共 集積共	4	か所			
黒板撤去	W3600×H1240					
	木枠・下地共 集積共	4	か所			
掲示板撤去	アルミ枠					
	集積共	1	m2			
掲示板撤去	ビニルクロス貼					
	木枠・下地共 集積共	26	m2			
木製長押撤去						
	集積共	20	m			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
教室 木製棚撤去	W1455×D570×H1940 集積共	4	か所			
教室 木製棚撤去	W6080×D390×H700 集積共	4	か所			
教室 掃除用具入撤去	W550×D500×H1985 W550×D500×H1985 集積共	4	か所			
にじいろルーム スチール棚 撤去	W1200×D700×H1800	1	か所			
にじいろ学級1 スチール棚 撤去	W1800×D400×H2000	1	か所			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2. 改修						
a 床		1	式			
b 巾木・壁		1	式			
c 天井		1	式			
d その他		1	式			
e 家具		1	式			
f サイン		1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a 床						
床 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法 センターライン付	2.8	m2			A代 - 13
床 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法 センターライン付 下地調整共	92	m2			A代 - 13(2)
床 フローリングブロック	1等 なら t15 300角 接着工法	8.5	m2			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b 巾木・壁						
壁 モルタル塗り	塗装下地	1.4	m2			
壁 モルタル補修		62.4	m2			
壁 石膏ボード	t12.5 目透し	8.4	m2			
腰壁 木製巾木	桧 上小節 H=60	96	m			A代 - 20
腰壁 木製腰板貼り	桧 上小節	17.4	m2			
腰壁 木製腰板貼り	桧 上小節 準不燃	68.3	m2			A代 - 21
腰壁 出隅見切	桧 上小節	17.5	m			A代 - 22
腰壁 腰壁見切(上部)	桧 上小節	96	m			A代 - 23
腰壁 腰壁見切(縦部)	桧 上小節	50.5	m			A代 - 24



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c 天井						
天井 化粧石膏ボード	t9.5 910×910	95	m2			
天井 化粧石膏ボード	t9.5 不燃	50	m2			
天井 化粧石膏吸音ボード	t9.5 不燃 角孔	160	m2			
軽鉄天井下地	下地張りなし @225					
	あと施工アンカー	303	m2			
軽鉄天井下地 開口補強		1	式			A別 - 11(2)
廻り縁	塩ビ	327	m			
天井点検口	アルミ 450角 額縁タイプ	5	か所			
小計						



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
d その他						
カーテンレール	ステンレス シングル	14	m			
木製長押	70×25	92	m			A代 - 31
掲示板貼付け用幕板	30×30	28	m			A代 - 32
教室 煙突塞ぎ	スチール PL-3 150×150	4	か所			A代 - 33
廊下 児童用フック		120	か所			A代 - 35
普通教室(K-1) 黒板	曲面 昇降式 W3600×H1200	4	か所			
普通教室(K-5) 背面黒板	W2060×H970	4	か所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1F廊下(K-4) 掲示板	アルミ枠 W1200×H900	1	か所			
にじいろ学級2、にじいろルーム(K-4) 掲示板	アルミ枠 W1340×H1180	2	か所			
にじいろ学級2、にじいろルーム(K-4) 掲示板	アルミ枠 W1455×H970	2	か所			
にじいろ学級2、にじいろルーム(K-4) 掲示板	アルミ枠 W2515×H970	2	か所			
にじいろ学級1、第2教育相談室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地 W1340×H1180	2	か所			A代 - 38
にじいろ学級1、第2教育相談室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地 W1455×H970	2	か所			A代 - 40
にじいろ学級1、第2教育相談室 掲示板	木枠 合板+胴縁下地 W2515×H970	2	か所			A代 - 46
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
e 家具						
F-02b 教師用戸棚	W1455×D570×H1930	4	か所			
F-17f 流し台	W6000×D600×H900	1	か所			
F-18a 背面ロッカー+掃除用具入	W6630×D450×H1930	4	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
f サイン						
A 室名表示(木製)突出	W278×D18×H251.4	4	か所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
6 【B工区】 塗装改修						
6.1. 改修	外部	1	式			
6.2. 改修	内部	1	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.1. 改修	外部					
DP塗替え	鉄部 細幅物	17	m			
SOP塗替え	鉄部 細幅物	191	m			
小計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.2. 改修	内部					
壁 EP塗り	モルタル面	0.7	m2			
壁 EP塗替え	モルタル面	147.5	m2			
天井 EP塗替え	モルタル面	29.6	m2			
壁 EP塗り	ポर्ट面	9.6	m2			
壁 EP塗替え	ケイカル面	13.9	m2			

## 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EP塗替え	鉄部	0.1	m2			
EP塗り	木部	52.9	m2			
EP塗替え	木部	12	m2			
EP塗り	木部 細幅物	153	m			
EP塗替え	木部 細幅物	63	m			
1-UC塗り	フローリングブロック面	8.5	m2			
1-UC塗替え	フローリングブロック面 サンダー掛け共	229	m2			
1-UC塗り	木部	36	m2			
小計						



## 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	【B工区】 環境配慮改修					
仮設	1階土間養生 開口等養生	1	式			
機械損料	吸引装置含む	1	式			
消耗品等	保護マスク、フィルター、 保護メガネ、手袋等	1	式			
安全衛生設備機器	真空掃除機、フィルター	1	式			
アスベスト作業主任者		1	式			
吹付けアスベスト除去処理	吸引廃材分別、 排水分別及び排水測定費含む	1	式			
	ウォータークリーン工法同等工法					
アスベスト粉塵濃度測定	作業前4点、作業中5点、作業後4点 報告書作成含む	1	式			
諸経費		1	式			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
【B工区】						
8 発生材処理						
発生材運搬	積込み共	1	式			A別 - 12(2)
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
【B工区】 Ⅲ 処分（第1期）						
発生材処分	処分費	1	式			A別 - 13(2)
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 1

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	墨出し												
	墨出し(内部改修)	複合改修		1935		m2							
	計												

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 1(2)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1(2) 墨出し						
墨出し(内部改修)	複合改修	333	m2			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 2

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2	養生												
	養生(屋上防水改修)	塗膜防水・シート防水		792		m2							
	養生(内部改修)	複合改修		1946		m2							
	計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 2(2)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2(2) 養生						
養生(外壁改修)		398	m2			
養生(内部改修)	複合改修	333	m2			
計						



上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 3

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3 整理清掃後片付け						
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	塗膜防水・シート防水	792	m2			
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	1946	m2			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 3(2)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3(2) 整理清掃後片付け						
整理清掃後片付け(外壁改修)		398	m2			
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	333	m2			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 4

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	外部足場												
	枠組本足場(手すり先行方式)	建	枠900 500+240布	1860		m2							
	枠組本足場(手すり先行方式)	建	枠900 500+240布	193		m2							
	安全手すり(手すり先行方式)	枠	組本足場用	199		m							
	計												

上段	変更設計
下段	原設計

# 積算用紙

A別 - 5

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5 内部足場						
内部仕上足場	階高4.0m以下	1840	m2			
内部階段仕上足場		94.5	m2			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 5(2)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5(2) 内部足場						
内部仕上足場	階高4.0m以下	333	m2			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 6

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6 仮設間仕切						
仮設間仕切	B種 軽鉄下地+合板	74.8	m2			
仮設扉取付費	片開き程度	11	か所			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 6(2)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6(2) 仮設間仕切						
仮設間仕切	B種 軽鉄下地+合板	6.5	m2			
仮設扉取付費	片開き程度	1	か所			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 7

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	災害防止												
	養生防護柵(直線部)	枠組本足場用		3.5		m							
	養生シート張り	防災 I 類		1860		m <sup>2</sup>							
	小幅ネット張り(層間塞ぎ)	防災ポリエステル		349		m							
	計												



上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 8

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8 仮設材運搬						
仮設材運搬(内部仕上足場)	3階建て 階高4.0m以下	1840	m2			
仮設材運搬(内部階段仕上足場)		94.5	m2			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 8(2)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8(2) 仮設材運搬						
仮設材運搬(枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠900	2053	m2			
仮設材運搬(安全手すり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	199	m			
仮設材運搬(内部仕上足場)	3階建て 階高4.0m以下	333	m2			
仮設材運搬(養生防護棚)		3.5	m			
仮設材運搬(シート・ネット類)		1860	m2			
仮設材運搬(小幅ネット)		349	m			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 9

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
9 軽鉄壁下地 開口部補強						
軽鉄壁下地 開口部補強	W=100 扉三方 W1800×H1900	1	办所			
計						



上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 11

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
11	軽鉄天井下地 開口補強												
	軽鉄天井下地 開口補強	450×450		31		办	所						
	計												



## 積算用紙

A別 - 12

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	発生材運搬	積込み共					
	発生材積込み	コンクリート類	7.9	m3			
	発生材積込み	木材・内装材類	202	m3			
	発生材積込み	アスベスト含有材	4	m3			
	発生材積込み	樹木	0.5	m3			
	撤去材運搬	コンクリート	2.2	m3			
	撤去材運搬	コンクリート類	5.8	m3			
	撤去材運搬	陶磁器類	2.3	m3			
	撤去材運搬	木材類	48.8	m3			
	撤去材運搬	内装材類	138	m3			

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 12-2

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去材運搬	アスベスト含有材	4	m3			
撤去材運搬	石膏ボード類	8.8	m3			
撤去材運搬	ガラス	1.6	m3			
撤去材運搬	廃プラスチック類	1.5	m3			
撤去材運搬	樹木	0.5	m3			
計						



上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 12(2)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12(2) 発生材運搬	積込み共					
発生材積込み	コンクリート類	0.1	m3			
発生材積込み	木材・内装材類	28	m3			
発生材積込み	アスベスト含有材	6	m3			
撤去材運搬	コンクリート類	0.1	m3			
撤去材運搬	木材類	10	m3			
撤去材運搬	内装材類	19	m3			

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 12(2)-2

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去材運搬	アスベスト含有材	6	m3			
撤去材運搬	ガラス	0.1	m3			
撤去材運搬	吹付けアスベスト廃棄物	1	式			
計						

## 積算用紙

A別 - 13

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	発生材処分	処分費					
	発生材処分	コンクリート	5	t			
	発生材処分	コンクリート類	10	t			
	発生材処分	陶磁器類	4.4	t			
	発生材処分	木材類	48.8	m3			
	発生材処分	内装材類	137	m3			
	発生材処分	アスベスト含有材	4	m3			
	発生材処分	石膏ボード類	8.8	m3			
	発生材処分	廃プラスチック類(塩ビ管)	1.5	m3			
	発生材処分	ガラス	4.3	t			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 13(2)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13(2) 発生材処分	処分費					
発生材処分	コンクリート類	0.2	t			
発生材処分	木材類	10	m3			
発生材処分	内装材類	19	m3			
発生材処分	アスベスト含有材	6	m3			
発生材処分	ガラス	0.2	t			
発生材処分	吹付けアスベスト廃棄物	1	式			

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

A別 - 13(2)-2

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
13(2)-2	有価物売却費	鉄屑		2.6		t							
	有価物売却費	ステンレス屑		86.9		kg							
	有価物売却費	アルミ屑		285		kg							
	計												

## 単価作成用紙

A代 - 1

コンクリート	Fc-18 S-15 材工共			1m3当たり	<b>採用</b>	
1m3当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	Fc-18 S-15	1	m3			
特殊作業員		0.65	人			
その他	(労)×25%	1	式			
計						







### 単価作成用紙

A代 - 4

壁			1か所当たり	
ALC版下地鉄骨	W800×H1200+2800+1800			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量形鋼	C-100×50×20×2.3	44.335	kg			
等辺山形鋼	L-75×75×6	83.433	kg			
切板鋼板	PL-6	11.572	kg			
鉄骨錆止め塗料塗り		132.705	kg			
鉄骨加工組立	工場加工、場内運搬共	132.705	kg			
鉄骨運搬費		132.705	kg			
あと施工アンカー	接着系 M12 横向	30	本			
計						

### 単価作成用紙

A代 - 5

				1m当たり			
ネットフェンス		ネットのみ H=1500				採用	
1m当たり							
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
ネットフェンス	H=1500	1	m				
板金工		0.135	人				
計							



















### 単価作成用紙

A代 - 13(2)

床	無地 t2 熱溶接工法		1m2当たり	
ビニル床シート	センターライン付 下地調整共			採用

1m2当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル床シート	無地 t2 センターライン付	1.05	m2			
接着剤	ビニル系床材用	0.3	kg			
内装工		0.04	人			
その他	(労+材)×19%	1	式			
下地調整		1	m2			
計						

### 単価作成用紙

A代 - 14

階段	無地 t2 熱溶接工法		1m2当たり	
ビニル床シート	センターライン付 下地調整共			採用

1m2当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル床シート	無地 t2 センターライン付	1.08	m2			
接着剤	ビニル系床材用	0.3	kg			
内装工		0.07	人			
その他	(労+材)×19%	1	式			
下地調整		1	m2			
計						

































### 単価作成用紙

A代 - 29

コンピューター室			1m当たり	
壁出隅見切縁	40×40			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	桧 上小節	0.002	m3			
額縁(窓出入口)	施工手間	1	m			
計						

### 単価作成用紙

A代 - 30

廊下	グラウト充填+D10タテヨコ		1か所当たり	
開口跡補修	300×300×t120			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
グラウト充填		0.011	m3			
あと施工アンカー	SD295A D10 下向き	2	本			
あと施工アンカー	SD295A D10 横向き	4	本			
あと施工アンカー	SD295A D10 上向き	2	本			
グラウト注入用型枠	両面	0.3	m			
普通型枠	運搬費共	0.06	m2			
計						









### 単価作成用紙

A代 - 34

廊下			1m当たり	
スリットカバー	アルミ W=100			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミ平板	3×112	1	m			
左官		0.05	人			
その他	(労)×25%	1	式			
計						

### 単価作成用紙

A代 - 35

廊下			1か所当たり	
児童用フック				採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
児童用フック		1	個			
左官		0.008	人			
その他	(労)×25%	1	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

掲示板	合板+胴縁組		1m2当たり	採用
-----	--------	--	--------	----

1m2当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掲示用クロス		1	m2			
壁化粧シート張り手間	モルタル、木部	1	m2			
壁合板張り	ラワン1類 厚さ5.5mm 見え隠れ	1	m2			
平割材	杉 小節	0.004	m3			
胴縁	施工手間	1	m2			
計						

























A代 - 48

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

掲示板			1m2当たり	
コルクシート				採用

1m2当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コルクシート		1	m2			
壁化粧シート張り手間	モルタル、木部	1	m2			
計						







## 単価作成用紙

A代 - 51

機材器具保管庫			1か所当たり	
木製棚	W2100×D600×H1800			<b>採用</b>

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
耐水合板	t9	12.42	m2			
平割材	杉小節	0.301	m3			
造作材施工費	大工4人工	0.301	m3			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

キュービクル基礎架台			1か所当たり	採用
------------	--	--	--------	----

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼材	H-294×200×8×12	0.28	t			
溶融亜鉛メッキ	2種 HDZ50 無加工	0.27	t			
あと施工アンカー	M12(接着系)ユニクロメッキ	12	本			
モルタル金ゴテ		0.96	m <sup>2</sup>			
鋼材加工		0.26	t			
鉄骨運搬		0.26	t			
トラッククレーン	4.9t吊 オペレーター付	1	日			
鉄骨建て方		0.26	t			
計						

## 単価作成用紙

A代 - 53

家具備品			一式	
一時移設再設置				<b>採用</b>

一式						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
印刷室 金庫 一時移設・再設置	W1210×D690×H1750	1	か所			
図書室 木製読書机 一時移設・再設置	1200×(520+520)×H670	8	か所			
図書室 木製椅子 一時移設・再設置		32	か所			
図書室 木製収納椅子 一時移設・再設置	W800×D400×H300	5	か所			
図書室 木製椅子 一時移設・再設置	W400×D300×H300	3	か所			
図書室 ダンボール箱(図書入り)		1	式			
廊下1F スチール下足入 一時移設・再設置	W900×D380×H1790	4	か所			
廊下1F スチール下足入 一時移設・再設置	W1000×D400×H850	2	か所			

## 単価作成用紙

A代 - 53

家具備品				
一時移設再設置				

名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンピューター室 OAデスク 一時移設・再設置	W1600・1200×D800	14	か所			
コンピューター室 OAデスク 一時移設・再設置	W2350×D800	2	か所			
コンピューター室 椅子 一時移設・再設置		41	か所			
コンピューター室 電子黒板 一時移設・再設置		1	か所			
コンピューター室 ホワイトボード 一時移設・再設置		1	か所			
コンピューター室 パソコン 一時移設・再設置		35	か所			
コンピューター室 ノートパソコン 一時移設・再設置		5	か所			
コンピューター室 プリンター大 一時移設・再設置		1	か所			
コンピューター室 プリンター小 一時移設・再設置		2	か所			

### 単価作成用紙

A代 - 53

家具備品				
一時移設再設置				

名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
理科準備室 スチールデスク 一時移設・再設置	W1600×D700×H700	1	か所			
理科準備室 スチールデスク 一時移設・再設置	W800×D700×H700	1	か所			
廊下2F レリーフ 一時移設・再設置	W2860×H1880	1	か所			
学習室《第一音楽室》 アップライトピアノ 移設	W2000×D500×H1000	1	か所			
合計						

## 単価作成用紙

A代 - 54

家具備品			一式	
一時移設再設置				<b>採用</b>

一式						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
にじいろ学級2 アップライトピアノ 一時移設・再設置	W2000×D500×H1000	1	か所			
にじいろ学級2 スチール棚 一時移設・再設置	W2000×D500×H1800	1	か所			
合計						

# 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】

## 図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-0	表紙・図面リスト	A-25	中央棟2階 コンピュータ教室廻り 展開図【改修前・後】	A-57	中央棟 屋根(2)・屋根(6) 防水改修平面図	A-89	サイン詳細図
TA-01	特記仕様書(改修その1)	A-26	中央棟2階 理科室廻り 平面詳細図【改修前・後】	A-58	部分詳細図(防水、屋根関連)	A-90	黒板・掲示板キープラン 1階平面図
TA-02	特記仕様書(改修その2)	A-27	中央棟2階 理科室廻り 展開図【改修前・後】	A-59	部分詳細図(1)	A-91	黒板・掲示板キープラン 2階平面図
TA-03	特記仕様書(改修その3)	A-28	中央棟2階 廊下 展開図【改修前】	A-60	外構図(中庭廻り)	A-92	黒板・掲示板キープラン 3階平面図
TA-04	特記仕様書(改修その4)	A-29	中央棟2階 廊下 展開図【改修後】	A-61	建具キープラン 1階平面図	A-93	黒板・掲示板詳細図
TA-05	特記仕様書(改修その5)	A-30	中央棟3階 学習室 平面詳細図【改修前・後】	A-62	建具キープラン 2階平面図	A-94	外壁・軒裏劣化位置図(1)(中央棟)
TA-06	特記仕様書(改修その6)	A-31	中央棟3階 学習室 展開図【改修前・後】	A-63	建具キープラン 3階平面図	A-95	外壁・軒裏劣化位置図(2)(中央棟)
TA-07	特記仕様書(改修その7)	A-32	中央棟3階 家庭科室 平面詳細図【改修前・後】	A-64	建具キープラン R・PH階平面図	A-96	仮設計画図(参考)【第1期:中央棟】
A-1	案内図・配置図	A-33	中央棟3階 家庭科室 展開図【改修前・後】	A-65	建具表(1) <<SS・SD・LSD>>	A-97	屋内工事計画図(1)<<夏休み期間>>
A-2	外部仕上表(中央棟)	A-34	中央棟3階 廊下 展開図【改修前】	A-66	建具表(2) <<LSD・WD>>	A-98	屋内工事計画図(2)<<夏休み前>>
A-3	内部仕上表(中央棟)(1)	A-35	中央棟3階 廊下 展開図【改修後】	A-67	建具表(3) <<SP・AW>>	A-99	屋内工事計画図(3)<<9月以降>>
A-4	内部仕上表(中央棟)(2)	A-36	中央棟普通教室詳細図(1階にじいろルーム)	A-68	建具表(4) <<AW・AWD・AD>>		
A-5	1階平面図【改修前】	A-37	中央棟普通教室詳細図(1階にじいろ学級1)	A-69	建具表(5) <<AW>>		
A-6	1階平面図【改修後】	A-38	中央棟普通教室詳細図(1階にじいろ学級2)	A-70	建具表(6) <<AW・AWD・SD>>		
A-7	2階平面図【改修前】	A-39	中央棟普通教室詳細図(1階第2教育相談室)	A-71	建具表(7) <<SD・SG・WD>>		
A-8	2階平面図【改修後】	A-40	中央棟普通教室詳細図(2階ピア活動室)	A-72	家具キープラン 1階平面図		
A-9	3階平面図【改修前】	A-41	中央棟普通教室詳細図(2階外国語活動ルーム)	A-73	家具キープラン 2階平面図		
A-10	3階平面図【改修後】	A-42	中央棟普通教室詳細図(2階郷土資料室・教材室)	A-74	家具キープラン 3階平面図		
A-11	R・PH階平面図【改修前・後】	A-43	中央棟普通教室詳細図(2階第2図書館)	A-75	特記仕様書・家具図(1)		
A-12	立面図(中央棟)【改修前】	A-44	中央棟普通教室詳細図(3階外国語ルーム)	A-76	家具図(2)		
A-13	立面図(中央棟)【改修後】	A-45	中央棟普通教室詳細図(3階児童会室)	A-77	家具図(3)		
A-14	矩計図(中央棟)【改修前・後】	A-46	中央棟普通教室詳細図(3階被服室・ミシン室)	A-78	家具図(4)		
A-15	階段詳細図(中央棟)【改修前・後】	A-47	中央棟普通教室詳細図(3階物品庫)	A-79	家具図(5)		
A-16	中央棟1階 印刷室廻り 平面詳細図【改修前・後】	A-48	中央棟1階 廊下 展開図(教室前)【改修前・後】	A-80	家具図(6)		
A-17	中央棟1階 印刷室廻り 展開図【改修前・後】	A-49	中央棟2階 廊下 展開図(教室前)【改修前・後】	A-81	家具図(7)		
A-18	中央棟1階 機械器具保管庫 展開図【改修前】	A-50	中央棟3階 廊下 展開図(教室前)【改修前・後】	A-82	家具図(8)		
A-19	中央棟1階 機械器具保管庫 展開図【改修後】	A-51	1階 天井伏図【改修前】	A-83	家具図(9)		
A-20	中央棟1階 図書室 平面詳細図【改修前・後】	A-52	1階 天井伏図【改修後】	A-84	家具図(10)		
A-21	中央棟1階 図書室 展開図【改修前・後】	A-53	2階 天井伏図【改修前】	A-85	家具図(11)		
A-22	中央棟1階 廊下 展開図【改修前・後】	A-54	2階 天井伏図【改修後】	A-86	サインキープラン 1階平面図		
A-23	中央棟1階 廊下(図書室前) 展開図【改修前・後】	A-55	3階 天井伏図【改修前】	A-87	サインキープラン 2階平面図		
A-24	中央棟2階 コンピュータ教室廻り 平面詳細図【改修前・後】	A-56	3階 天井伏図【改修後】	A-88	サインキープラン 3階平面図		



<p>工事名 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】</p> <p>特記仕様書</p> <p>I 工事概要</p> <p>1. 工事場所 埼玉県富士見市大字勝瀬地内</p> <p>2. 敷地面積 21,718.955 m<sup>2</sup></p> <p>3. 工事種目 (建物概要)</p> <p>棟名称・構造・階数・建築面積・延べ面積</p> <p>南棟 R C造 地上3階(塔屋1階) 2,858 m<sup>2</sup></p> <p>中央棟 R C造 地上3階(塔屋1階) 2,464 m<sup>2</sup></p> <p>北棟 R C造 地上3階(塔屋1階) 1,743 m<sup>2</sup></p> <p>4. 工事内容 【大規模改造工事】</p> <p>A、内部改修工事</p> <p>1) 内装改修工事</p> <p>① 天井改修工事</p> <p>② 床改修工事</p> <p>③ 間仕切改修工事</p> <p>④ 家具改修工事</p> <p>2) 塗装改修工事(床・壁・天井)</p> <p>3) 建具改修工事</p> <p>B、外部改修工事</p> <p>1) 外壁改修工事</p> <p>-1、アスベスト材(外壁吹付け材)撤去工事</p> <p>-2、外壁改修工事</p> <p>2) 防水改修工事</p> <p>3) 外構改修工事</p> <p>5. 工期 契約日から平成31年11月15日まで</p> <p>主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで</p> <p>現場代理人の現場への常駐を要しない期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで</p> <p>現場施工期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで</p> <p>共通費算定上の期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで</p> <p>6. 工事範囲</p> <p>※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。</p> <p>※「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。</p> <p>ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>工事項目</th> <th>大規模改造工事</th> </tr> <tr> <td>2 仮設工事</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3 防水改修工事</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>4 外壁改修工事</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5 建具改修工事</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6 内装改修工事</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>7 塗装改修工事</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>8 耐震改修工事</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>9 環境配慮改修工事</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>10 鉄筋工事</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>11 コンクリート工事</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>II 建築改修工事仕様</p> <p>(1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて埼玉県建築工事特別共通仕様書、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(平成28年版)」及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(平成28年版)」による。</p> <p>(2) 本特記仕様書の表記</p> <p>1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。◎印と※の場合は、◎のみを適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の{ . . . }内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。</p> <p>4) 特記事項に記載の[ . . . ]内の表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事情)平成28年版」(以下「改修標準仕様書」という)の当該項目、当該図表を示す。</p> <p>5) 特記事項に記載の( . . . )内の表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事情)平成28年版」(以下「標準仕様書」という)の当該項目、当該図表を示す。</p> <p>6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、( )内は製品名を示す。</p> <p>7) [G]印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特記調達品を示す。</p> <p>8) 注は標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。</p>	工事項目	大規模改造工事	2 仮設工事	○	3 防水改修工事	○	4 外壁改修工事	○	-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁		-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁		-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	○	-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	○	5 建具改修工事	○	6 内装改修工事	○	7 塗装改修工事	○	8 耐震改修工事	○	9 環境配慮改修工事	○	10 鉄筋工事	○	11 コンクリート工事	○	<p>章 項目</p> <p>① 一般共通事項</p> <p>① 適用基準等</p> <p>・建築工事標準詳細図(国土交通大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版)</p> <p>○埼玉県建築工事実務要覧</p> <p>② 条件明示事項</p> <p>※火災保険等(種類 総合建設工事保険等) [1.1.3]</p> <p>期間 工事完成期日後14日を含む期間</p> <p>③ 工事実績情報の登録</p> <p>※行う ・行わない [1.1.4] [1.1.8]</p> <p>④ 適用区分</p> <p>・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。(1.2.2)</p> <p>・風圧力</p> <p>・風速 (Vc= m/s)</p> <p>・地表面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)</p> <p>・積雪荷重</p> <p>平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表( )</p> <p>⑤ 電気保安技術者</p> <p>※適用する [1.3.3]</p> <p>⑥ 発生材の処理等</p> <p>○構外搬出適正処理 [1.3.12]</p> <p>引き渡しを要するもの(・図示) [1.1.13]</p> <p>注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調査を添えて監督員に報告する。</p> <p>b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。</p> <p>c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)[「産業物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。</p> <p>⑦ 環境への配慮</p> <p>建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <p>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</p> <p>② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</p> <p>③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブテル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。</p> <p>④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>⑧ 材料の品質等</p> <p>本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。</p> <p>材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。</p> <p>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること</p> <p>(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること</p> <p>(3) 安定的な供給が可能であること</p> <p>(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること</p> <p>(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること</p> <p>(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること</p> <p>※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁 平成18年2月15日)に準拠した証明書、監督員に提出する。</p> <p>⑨ 県産品の使用</p> <p>受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。</p> <p>※ 監督員と協議の上、決定する。 [1.6.2] [1.3.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>仮設工事</th> <th>とび作業</th> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>・フタル防水工事作業 ○ウレタン系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ウレタン防水工事作業 ・シリコン防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質フタルシート防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業 ・樹脂接着剤注入作業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>○ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製地下工事作業 ・壁紙作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業 ・吹付け硬質ウレタン断熱工事作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>○建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業 ・構造鉄工事作業</td> </tr> </table> <p>⑩ 技能士</p> <p>次の材料を予備材料として工事完成時に納入する。</p> <p>※監督員の指示による</p> <p>⑪ 予備材料の名称と数量</p> <p>⑫ 完成図等</p> <p>[1.6.1] [1.6.3~5] [1.8.1] [1.8.2] [1.8.3] [表1.8.1]</p> <p>完成図(製本) ※二つ折り(A1版)製本1部、(A3版)製本2部</p> <p>完成図(電子化媒体) ※CD-R、1部(埼玉県建築工事関係情報電子化媒体作成要領による) CADデータの形式 ※SXF(stc) ・DXF ○JWW verについては監督員と協議する。</p> <p>保全に関する資料 提出部数 ※1部 ・部</p> <p>施工図 ・二つ折り(A1版)製本1部提出</p> <p>保証書</p> <p>防水工事 ※屋上防水 ・外壁防水 ・金属屋根</p> <p>建物引き渡し日から10年間、請負者、施工者、材料メーカーの3者連名とし2部提出する。</p> <p>防水工事以外 ・1部提出</p> <p>⑬ 工事写真</p> <p>埼玉県電子納品運用ガイドラインの適用 [1.6.2] [1.6.6]</p> <p>※対象(建築・設備工事電子納品写真作成要領により作成 CD-Rを1部提出)</p> <p>・対象外</p> <p>写真の提出 ○行う(1部) ・行わない</p>	仮設工事	とび作業	防水改修工事	・フタル防水工事作業 ○ウレタン系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ウレタン防水工事作業 ・シリコン防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質フタルシート防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業	外壁改修工事	・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業 ・樹脂接着剤注入作業	建具改修工事	○ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製地下工事作業 ・壁紙作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業 ・吹付け硬質ウレタン断熱工事作業	塗装改修工事	○建築塗装作業	耐震改修工事	・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業 ・構造鉄工事作業	<p>⑭ 完成写真</p> <p>埼玉県電子納品運用ガイドラインの適用 [1.6.2] [1.6.6]</p> <p>※対象(建築・設備工事電子納品写真作成要領により作成 CD-Rを1部提出)</p> <p>・対象外</p> <p>写真アルバム(の提出) ○行う(1部) ・行わない</p> <p>分類・規格 ※カラーキャビネ版 ・カラー全紙パネル</p> <p>撮影箇所 ・監督員と協議の上、決定</p> <p>・外部( )内部( )</p> <p>・外観正面( )</p> <p>着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する</p> <p>撮影者は建築完成写真撮影の実績のある業者とし、監督員の承諾を受けること</p> <p>フィルム原画は撮影業者の保管とする。</p> <p>※行う ・行わない</p> <p>15 施設CADデータの更新</p> <p>※行う ・行わない</p> <p>⑯ 施設使用マニュアルの作成</p> <p>※2部 [1.8.3]</p> <p>注 工事物物の引渡しに際しては、建物を構成する部分で通常取扱いに注意を要するものについては、その使用方法について解説したマニュアルを作成し、施設を管理することとなる者へ引き渡す。</p> <p>⑰ その他</p> <p>※建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。</p> <p>⑱ 仮設工事</p> <p>① 足場その他</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。</p> <p>○内部足場 ・設置する(※脚立、足場板等) ・設置しない</p> <p>○外部足場 ○設置する( ) ・設置しない</p> <p>※足場等つなぎ部の穿孔作業は、集じん装置併用手工具クレン工法により、アスベスト含有付着材が飛散しないよう、適切に処理すること</p> <p>防護シート ○設置する ・設置しない</p> <p>材料、撤去材等の運搬方法 [表2.2.1]</p> <p>種別 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種)</p> <p>C種: 利用可能なエレベーター(・図示)</p> <p>D種: 利用可能な階段(・図示)</p> <p>その他の足場 ( )</p> <p>② 既存部分の養生</p> <p>2.3.1</p> <p>1) 養生の方法等</p> <p>○既存部分 養生の方法(※ビニルシート等、合板等)</p> <p>○既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等)</p> <p>○既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(・ビニルシート等)</p> <p>保管場所 (・図示)</p> <p>○備品、机、ロッカー等の移動(○図示、及び別紙備品移動リストの通り)</p> <p>2) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の措置を行う。</p> <p>③ 仮設間仕切</p> <p>2.3.2 [表2.3.1]</p> <p>1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">2) 仮設間仕切りの種別と材質等</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th></th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・木</td> <td>・せつこうボード(9.5mm)</td> <td>○無し ※有り ○無し</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>○軽量鉄骨</td> <td>○合板(9.0mm)</td> <td>・片面</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>・単管</td> <td>・防火シート</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">充填材: グラスウール32k(厚: 50mm以上)</td> </tr> </table> <p>④ 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>○無し</td> <td>※有り ○無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・片面</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>充填材: グラスウール32k(厚: 50mm以上)</td> </tr> </table> <p>※設置する ・設置しない</p> <p>④ 工事概要案内板</p> <p>⑤ 現場事務所</p> <p>規模 ○構内に新設(定例会議を開催できるスペースも含むこと) [2.4.1]</p> <p>監督員用備品(2名分相当)</p> <p>机 ・椅子 ・書棚 ・黒板 ・製図板等 ・掛時計 ・寒暖計 ・長靴</p> <p>○雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ○安全帯(ハーネスタイプ) ・軍手 ・衣類ロッカー</p> <p>・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機</p> <p>・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター</p> <p>⑥ 工事用水</p> <p>⑦ 工事用電力</p> <p>⑧ 工事用搬入路</p> <p>⑨ 仮囲い</p> <p>⑩ 交通誘導員</p> <p>⑪ 快適トイレ</p> <p>仕様 ※図示</p> <p>⑫ 施工数量調査</p> <p>[1.5.2~3]</p> <p>調査範囲 ○図示の範囲</p> <p>調査方法 ・図示 ○目視</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示</p> <p>調査報告書 提出部数 ・2部</p> <p>⑬ 降雨等に対する養生方法(とい共)</p> <p>[3.1.3]</p> <p>※改修標準仕様書3.1.3(e) (1)~(3)による</p> <p>⑭ 既存防水の処理</p> <p>[3.2.3, 4, 6]</p> <p>既存保護層の撤去 ○行う(範囲) ○図示</p> <p>○行わない</p> <p>既存防水層の撤去 ○行う(範囲) ○図示</p> <p>○行わない</p> <p>露出防水層表面の仕上げ塗装除去 行う(・M4AS・M4ASI・M4C・M4DI・L4X)</p> <p>○行わない</p> <p>⑮ 既存防水層の地下補修</p> <p>[3.2.6]</p> <p>既存地下の補修箇所の形状、長さ、数量等 ○図示</p> <p>POS工法及びPOSII工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置 ※改修標準仕様書3.2.6(d) (3) (vi) ①~③による</p>	2) 仮設間仕切りの種別と材質等		塗装	充填材	種別	下地	仕上げ(厚さmm)		・A種	・木	・せつこうボード(9.5mm)	○無し ※有り ○無し	○B種	○軽量鉄骨	○合板(9.0mm)	・片面	※C種	・単管	・防火シート		充填材: グラスウール32k(厚: 50mm以上)				材質	仕上げ	塗装	充填材	※木製	※合板張り程度	○無し	※有り ○無し			・片面					充填材: グラスウール32k(厚: 50mm以上)	<p>5 アスファルト防水 [3.3.2~5]</p> <p>屋根保護防水</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">防水層の種類</th> <th rowspan="2">断熱材 [G]</th> <th rowspan="2">絶縁用シート</th> <th rowspan="2">立上り部の保護</th> </tr> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">※A1フレックスマン</td> <td rowspan="3">・乾式保護材 ・コクリト押え ・れんが押え</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※A-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・A-3</td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">※70g/m<sup>2</sup>程度</td> <td rowspan="3">・乾式保護材 ・金風板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものを。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※B-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・B-3</td> </tr> <tr> <td>・P2A1</td> <td>・A1-1</td> <td rowspan="3">(材質) ※JIS A 9521による押出法※ウレタン断熱材3種b (※付着材)又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材3種b (※付着材)の保温板3種b (※あり)</td> <td rowspan="3">※70g/m<sup>2</sup>程度</td> <td rowspan="3">・乾式保護材 ・金風板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものを。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※A1-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・A1-3</td> </tr> <tr> <td>・P1B1</td> <td>・B1-1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">※70g/m<sup>2</sup>程度</td> <td rowspan="3">・乾式保護材 ・金風板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものを。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※B1-2</td> </tr> <tr> <td>・T1B1</td> <td>・B1-3</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ</p> <p>こて仕上げ ※水下 80mm以上</p> <p>床タイル張り ※水下 60mm以上</p> <p>・乾式保護材</p> <p>窯業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。</p> <p>金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>屋根露出防水</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">防水層の種類</th> <th rowspan="2">断熱材 [G]</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水の適用 [G]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1</td> <td rowspan="4">/</td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※C-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・C-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・C-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3D</td> <td>・D-1</td> <td rowspan="4">/</td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける</td> </tr> <tr> <td>・POD</td> <td>※D-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない 改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・D-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・D-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> <tr> <td>・PODI</td> <td>・DI-1</td> <td rowspan="4">(材質)</td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける</td> </tr> <tr> <td>・M3DI</td> <td>※DI-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない 改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・M4DI</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない 改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> </table> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※アスファルトルーフィング類製造所の指定による</p> <p>・脱気装置の種類、設置数量 個/m<sup>2</sup></p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・P1E</td> <td>・E-1</td> <td></td> <td>保護層 ・設ける</td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td>※E-2</td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> </table> <p>押え金物の材質及び形状</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>屋根排水溝 ※図示</p> <p>6 改質アスファルトシート防水 [3.4.2, 3]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">防水層の種類</th> <th rowspan="2">断熱材 [G]</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水の適用 [G]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td>・M4AS</td> <td>・AS-T1</td> <td rowspan="4">/</td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・AS-J2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3AS</td> <td>・AS-T4</td> <td rowspan="4">/</td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない 改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設ける</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POAS</td> <td>・AS-T4</td> <td rowspan="4">/</td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない 防湿層</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3ASI</td> <td>・ASI-T1</td> <td rowspan="4">(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの</td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける</td> </tr> <tr> <td>・M4ASI</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない 改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・POASI</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設ける</td> </tr> <tr> <td>・ASI-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※改質アスファルトシート製造所の指定による</p> <p>・脱気装置の種類、設置数量 個/m<sup>2</sup></p> <p>押え金物</p> <p>※改質アスファルト製造所の仕様による</p>	防水層の種類		断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護	工法	種別	・P2A	・A-1	/	※A1フレックスマン	・乾式保護材 ・コクリト押え ・れんが押え		※A-2		・A-3	・P1B	・B-1	/	※70g/m <sup>2</sup> 程度	・乾式保護材 ・金風板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものを。		※B-2		・B-3	・P2A1	・A1-1	(材質) ※JIS A 9521による押出法※ウレタン断熱材3種b (※付着材)又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材3種b (※付着材)の保温板3種b (※あり)	※70g/m <sup>2</sup> 程度	・乾式保護材 ・金風板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものを。		※A1-2		・A1-3	・P1B1	・B1-1	/	※70g/m <sup>2</sup> 程度	・乾式保護材 ・金風板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものを。		※B1-2	・T1B1	・B1-3	防水層の種類		断熱材 [G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用 [G]	備考	工法	種別	種類	使用量	・M4C	・C-1	/	・製造所の指定による	・製造所の指定による				※C-2						・C-3						・C-4					・M3D	・D-1	/	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける	・POD	※D-2				・設けない 改修用ドレン		・D-3				・設けない		・D-4				・設けない	・PODI	・DI-1	(材質)	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける	・M3DI	※DI-2				・設けない 改修用ドレン	・M4DI					・設けない 改修用ドレン						・設けない	工法	種別	施工箇所	備考	・P1E	・E-1		保護層 ・設ける	・P2E	※E-2		・設けない	防水層の種類		断熱材 [G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用 [G]	備考	工法	種別	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1	/	・製造所の指定による	・製造所の指定による				・AS-T2						・AS-J2						・AS-T3					・M3AS	・AS-T4	/	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける		・AS-T4				・設けない 改修用ドレン		・AS-J3				・設ける		・AS-T3				・設けない	・POAS	・AS-T4	/	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける		・AS-J1				・設けない 防湿層		・AS-T3				・設けない		・AS-J3				・設けない	・M3ASI	・ASI-T1	(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける	・M4ASI					・設けない 改修用ドレン	・POASI					・設ける	・ASI-J1					・設けない	<table border="1"> <tr> <th>図面名</th> <th>図面種別</th> </tr> <tr> <td>特記仕様書(改修その1)</td> <td>T A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図面番号</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>S=1: NS(A3版 50%縮小)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>01</td> </tr> </table>	図面名	図面種別	特記仕様書(改修その1)	T A		図面番号	縮尺	S=1: NS(A3版 50%縮小)		01
工事項目	大規模改造工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
2 仮設工事	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
3 防水改修工事	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
4 外壁改修工事	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
5 建具改修工事	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
6 内装改修工事	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
7 塗装改修工事	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
8 耐震改修工事	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
9 環境配慮改修工事	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
10 鉄筋工事	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
11 コンクリート工事	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
仮設工事	とび作業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
防水改修工事	・フタル防水工事作業 ○ウレタン系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ウレタン防水工事作業 ・シリコン防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質フタルシート防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
外壁改修工事	・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業 ・樹脂接着剤注入作業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
建具改修工事	○ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製地下工事作業 ・壁紙作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業 ・吹付け硬質ウレタン断熱工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
塗装改修工事	○建築塗装作業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
耐震改修工事	・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業 ・構造鉄工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
2) 仮設間仕切りの種別と材質等		塗装	充填材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種別	下地	仕上げ(厚さmm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・A種	・木	・せつこうボード(9.5mm)	○無し ※有り ○無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○B種	○軽量鉄骨	○合板(9.0mm)	・片面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
※C種	・単管	・防火シート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
充填材: グラスウール32k(厚: 50mm以上)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
材質	仕上げ	塗装	充填材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
※木製	※合板張り程度	○無し	※有り ○無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		・片面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			充填材: グラスウール32k(厚: 50mm以上)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
防水層の種類		断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
工法	種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・P2A	・A-1	/	※A1フレックスマン	・乾式保護材 ・コクリト押え ・れんが押え																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	※A-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・A-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・P1B	・B-1	/	※70g/m <sup>2</sup> 程度	・乾式保護材 ・金風板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものを。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	※B-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・B-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・P2A1	・A1-1	(材質) ※JIS A 9521による押出法※ウレタン断熱材3種b (※付着材)又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材3種b (※付着材)の保温板3種b (※あり)	※70g/m <sup>2</sup> 程度	・乾式保護材 ・金風板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものを。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	※A1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・A1-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・P1B1	・B1-1	/	※70g/m <sup>2</sup> 程度	・乾式保護材 ・金風板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものを。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	※B1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・T1B1	・B1-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
防水層の種類		断熱材 [G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用 [G]	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
工法	種別		種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・M4C	・C-1	/	・製造所の指定による	・製造所の指定による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	※C-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・C-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・C-4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・M3D	・D-1	/	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・POD	※D-2					・設けない 改修用ドレン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・D-3					・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・D-4					・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・PODI	・DI-1	(材質)	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・M3DI	※DI-2					・設けない 改修用ドレン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・M4DI						・設けない 改修用ドレン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
						・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
工法	種別	施工箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・P1E	・E-1		保護層 ・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・P2E	※E-2		・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
防水層の種類		断熱材 [G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用 [G]	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
工法	種別		種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・M4AS	・AS-T1	/	・製造所の指定による	・製造所の指定による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・AS-T2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・AS-J2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・AS-T3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・M3AS	・AS-T4	/	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・AS-T4					・設けない 改修用ドレン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・AS-J3					・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・AS-T3					・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・POAS	・AS-T4	/	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・AS-J1					・設けない 防湿層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・AS-T3					・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・AS-J3					・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・M3ASI	・ASI-T1	(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・M4ASI						・設けない 改修用ドレン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・POASI						・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ASI-J1						・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
図面名	図面種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
特記仕様書(改修その1)	T A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	図面番号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
縮尺	S=1: NS(A3版 50%縮小)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	01																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													



⑦ 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2~4][表3.5.1~3]				
	防水層の種類				
	工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料 種類 使用量
					高日射反 射率防水 の適用
					備考
	・S-F1				脱気装置 ○設ける ○設けない
	・POS OS4S	・S-F2			脱気装置 ○設ける ○設けない
		・S-M1			脱気装置 ○設ける ○設けない
		OS-M2			○
		・S-M3			○
・S3S	・S-F1			脱気装置 ○設ける ○設けない	
	・S-F2			○	
・M4S	・S-M1			脱気装置 ○設ける ○設けない	
	・S-M2			○	
	・S-M3			○	
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1	(材質)※改修標準仕 様書3.5.2(C)(3)(ii) による	製造所 の指定に よる	製造所 の指定に よる	脱気装置 ○設ける ○設けない
	・S1-F2	(厚さ)・25mm	製造所 の指定に よる	製造所 の指定に よる	改修用ドレ ン ○設ける
	・S1-M1	(材質)※改修標準仕 様書3.5.2(C)(3)(i) による	製造所 の指定に よる	製造所 の指定に よる	脱気装置 ○設ける ○設けない
	・S1-M2	(厚さ)・25mm	製造所 の指定に よる	製造所 の指定に よる	○
屋内防水					
防水層の種類					
種別	施工箇所	保護層 平場の仕上げ塗り		立上り部の保護 仕上げ塗り	
		塗り厚さ	床塗り工法	下地材塗り	
・S-C1			※標準仕様書 15.2.5(b)(2)及 び(3)に準じる	※標準仕様書 15.2.5(C)(1)に 準じる	
屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.2による 絶縁シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は 両面に樹脂を積層加工した鋼板					
脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による 脱気装置の種類 設置数量 個/㎡					
既存防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の 目地処理 ・行う(○・図示) ・行わない PCコンクリート部材の隅部増張り(種別 S-F1,S1-F1の場合) ・行う(○・図示) ・行わない ALCパネル下地の隅部増張り(種別 S-C1の場合) ・行う(○・図示) ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法					
⑧ 塗膜防水 [3.6.2.3]					
工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類 使用量	高日射反 射率防水 の適用	
				備考	
・POX	※X-1 ・X-2		製造所 の指定に よる	製造所 の指定に よる	
OL4X	・X-1 ※X-2		○製造所 の指定に よる	製造所 の指定に よる	
・PIY	※Y-2			保護層 ○設ける ○設けない	
・P2Y	※Y-2			保護層 ○設ける ○設けない	
脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料製造所の指定による 脱気装置の種類 設置数量 個/㎡					
シーリング改修工法の種類 [3.7.2.8]					
○シーリング再充填工法 ・シーリング充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレイカー張り ・適用する ・適用しない ・エッジング材張り ・適用する ・適用しない					
シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。					
施工箇所					
シーリング材の種類(記号)					
シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(a)(1)~(3)による 注 接着性試験を行う。ただし、同じ材料の組合わせで実施した試験成績書がある 場合は、監督員の承諾を受けて試験を省略することができる。					
⑩ といの材種 ※配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ルーフレン [3.8.2.3]					
種別	施工箇所				
・るく屋根用(・縦型・横型)					
・バルコニー用					
・バルコニー中継用					
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.5による たてとい受金具の取付 ※図示 ルーフレンの取付 ※水はげがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填					

⑪ アルミニウム製笠木	種類 ○オープン形式(・押出250形・押出300形・押出350形) ・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式) 本体幅:( )mm 板厚(※2.0mm mm) 表面処理 種別(B-1)種 皮膜等の種類(※標準仕様書表14.2.1による) 着色(・アンバー・ブロンズ・ブラック系) ・ステンカラー) 既存笠木等の撤去 ・行わない 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
⑫ 防水工事施工票	※設置する(各1ヶ所)(施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入)・設置しない
① 施工数量調査	調査範囲 ○外壁改修範囲 ・図示の範囲 調査時期 ・外壁仕上げ等除去前 ○外壁仕上げ等除去後 調査方法 ひび割れの幅及び長さを壁面上に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面上に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面上に表示する。また、既存塗膜と新規塗料との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 調査報告書の部数 ・2部
② ポリマーセメントスラリー	広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (材齢28日) 引張接着性 (材齢28日) 曲げ性能 (材齢28日) 吸水性 (7.2時間) 耐久性 (劣化後強度)
③ 既製調合モルタル	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
④-① ひび割れ部改修工法	○樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(ml/m) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 低 ※200~300 ・130 0.5以上~1.0以下 中 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3未満 低 ・50~100 ・40 0.3以上~0.5未満 低 ・100~200 ・70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0以下 中 ・150~250 ・130 ※エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形 コア抜き検査 ・行う ○行わない 抜き個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 ※図示 ・リカットシール材充填工法 ・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂
④-② 欠損部改修工法	※充填工法 ○エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル
④-③ 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※全面 ・図示の範囲)
④-④ ひび割れ部改修工法	・樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(ml/m) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 低 ※200~300 ・130 0.5以上~1.0以下 中 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3未満 低 ・50~100 ・40 0.3以上~0.5未満 低 ・100~200 ・70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0以下 中 ・150~250 ・130 ※エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形 コア抜き検査 ・行う ○行わない 抜き個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 ※図示 ・リカットシール材充填工法 ・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂
④-⑤ 欠損部改修工法	・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法 既製目地材 ・使用する(形状 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示

4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.2.2][4.4.10~15]
工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 注入口の箇所数(箇所/㎡) 充填量(㎡/箇所) 注入量(㎡/箇所)
一般部 指定部 一般部 指定部	
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※25 - - ※25 -
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ※20 ※12 ※20 - ※25 -
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ※20 ※12 ※20 - ※50 -
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ※16 - - ※25 -
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ※16 ※9 ※16 - -
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ※16 ※9 ※16 - ※50 -
・充填工法	- - - -
・モルタル塗替え工法	- - - -
アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
注入口付アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm
充填工法	・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法	既製目地材 ・使用する(形状 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示
4-3 1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ
2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面) ・樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(ml/m) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.5未満 低 ※200~300 ・130 0.5以上~1.0以下 中 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3未満 低 ・50~100 ・40 0.3以上~0.5未満 低 ・100~200 ・70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0以下 中 ・150~250 ・130 ※エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形 コア抜き検査 ・行う ○行わない 抜き個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 ・図示 ・リカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去面) ・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂
3 欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系 ・タイル張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕様書表4.6.1による タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・行う ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ・外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系
4 浮き部改修工法	[4.2.2][4.5.9~15]
工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 注入口の箇所数(箇所/㎡) 充填量(㎡/箇所) 注入量(㎡/箇所)
一般部 指定部 一般部 指定部	
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※25 - - ※25 -
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ※20 ※12 ※20 - ※25 -
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ※20 ※12 ※20 - ※50 -
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ※16 - - ※25 -
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ※16 ※9 ※16 - -
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ※16 ※9 ※16 - ※50 -
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法	- - - - ※25 -
・タイル部分張替え工法	- - - -
・タイル張替え工法	- - - -
アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
注入口付アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm

5 目地改修工法	・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系 ・タイル張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕様書表4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・行う ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ・外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系		
6 タイルの形状、寸法等	・目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示		
① 所要量の確認	工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書表4.6.1による ・単位面積当たりの塗付け量 表7. による		
② 既存塗膜等の除去 下地処理及び 下地調整	工法 処理範囲 下地面の補修		
・サンダー工法	※図示 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法	
・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa程度以上	※図示		
・塗膜はく離工法	※図示		
・水洗い工法	※図示		
③ 下地調整塗材	○アスベスト除去工法に依る ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル	[4.6.3][表4.6.1] [4.6.3] [4.6.3] [4.1.5][4.2.2][4.6.5]	
④ 仕上げ塗材仕上げ	新規仕上塗材の種類		
種別	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S		・砂壁状 ・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状(・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく
・厚付け 仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E		・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし ・上塗材 ・適用する ・適用しない
○複層 仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ○防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS		・ゆず肌状 ・凸部処理 ○凹凸模様 ・耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 ・上塗材
・可とう形改修用 仕上塗材	○可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE		・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 ・上塗材 ○凹凸模様 ・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・フッ素樹脂 ・外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック
5 マスチック塗材塗り	種別 ・A種 ・B種		[4.1.5][4.7.2][表4.7.1]





7	造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	[6.5.2]
	施工箇所	表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用	
8	床張り用合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ○普通合板	[6.5.2]
	施工箇所	表面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用	
9	接着剤	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ○普通合板	[6.5.3][6.8.2][6.9.3][表6.9.1]
	施工箇所	表面の状態 有効断面係数 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用	
10	防蟻・防蟻処理	防蟻・防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材 適用部位：( )	[6.5.5]
	施工箇所	裏面の状態 防蟻剤による区分 難燃性	
11	軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 野縁の間隔	[6.6.2~4]
	施工箇所	野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 野縁の間隔	
12	軽量鉄骨壁下地	野縁等の種類 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 野縁の間隔	[6.7.3][表6.7.1]
	施工箇所	野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 野縁の間隔	
13	ビニル床シート	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ○普通合板	[6.8.2.3]
	施工箇所	表面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用	

14	ビニル床タイル	JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考	[6.8.2]
	施工箇所	無地・柄物 300×300 450×450 帯電防止 防汚性	
15	ビニル幅木	材質 厚さ(mm) 寸法(mm)	[6.8.2]
	施工箇所	軟質・硬質 ※60・75 ※1.5以上	
16	ゴム床タイル	色柄 厚さ(mm) 寸法(mm)	[6.8.2]
	施工箇所	( ) 3.0・4.5・6.0・9.0	
17	カーペット敷き	織じゅうたん 種別 パイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考	[6.9.3~4][表6.9.1]
	施工箇所	無地・柄物 適用する (性能：※人体帯電電圧3kV以下) 適用しない	
18	合成樹脂塗床	下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm タフテッドカーペット パイル形状 パイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考	[6.10.2~3]
	施工箇所	無地・柄物 適用する (性能：※人体帯電電圧3kV以下) 適用しない	
19	フローリング張り	種別 施工箇所 工法 仕上げの種類	[6.11.2~7]
	施工箇所	○図示 ※平滑仕上げ 防汚仕上げ・つや消し仕上げ 平滑仕上げ 防汚仕上げ	

20	畳敷き	天然木化粧複合フローリング	[6.12.2]
	施工箇所	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	
21	畳敷き	フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ○行う(施工箇所 図示) ※ウレタン樹脂ワックス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	[6.12.2]
	施工箇所	種別 A種・B種・C種・D種(畳床：KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 標準仕様書 表12.6.1による床組 ポリスチレンフォーム床下地(ノンPET)	
22	壁紙張り	種別 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	[6.13.2~3]
	施工箇所	種類 JIS記号 厚さ(mm)、規格等	
23	モルタル塗り	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	[6.15.3, 6]
	施工箇所	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	
24	タイル張り	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	[6.16.2~4]
	施工箇所	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	
25	セルフレベリング材塗り	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	[6.17.2~3]
	施工箇所	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	
26	フリーアクセスフロア	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	(20.2.2)
	施工箇所	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	
27	可動間仕切	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	(20.2.3)
	施工箇所	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	
28	移動間仕切	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	(20.2.4)
	施工箇所	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	
29	トイレブース	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	(20.2.5)
	施工箇所	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	

30 視覚障害者用床タイル (11.2.2)(19.2.2) 31 階段滑り止め (20.2.6) 32 手すり (20.2.8) 33 黒板及びホワイトボード (20.2.8) 34 表示 (20.2.10) 35 ブラインド (20.2.12) 36 ロールスクリーン (20.2.13) 37 カーテン (20.2.14) 38 カーテンレール (20.2.14) 39 ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.14) 40 天井点検口 (20.2.14)

41 床点検口 42 くつふきマット 43 流しユニット 44 鋼製書架及び物品棚 45 屋内掲示板 46 洗面カウンター 47 防煙垂れ壁 48 収納家具 7 塗装改修工事 ① 材料 [7.1.3] ② 下地調整 [7.2.2~7] ③ 錆止め塗料塗り [7.3.2~3]

④ 塗装 8 耐震改修工事 ⑨ 環境配慮改修工事 ⑩ 77ヘト含有吹き付材の除去 (レベル1)

塗装の種類 塗装面 工程 新設 塗替え ⑩ 77ヘト含有吹き付材の除去 (レベル1) 除去対象範囲 除去方法

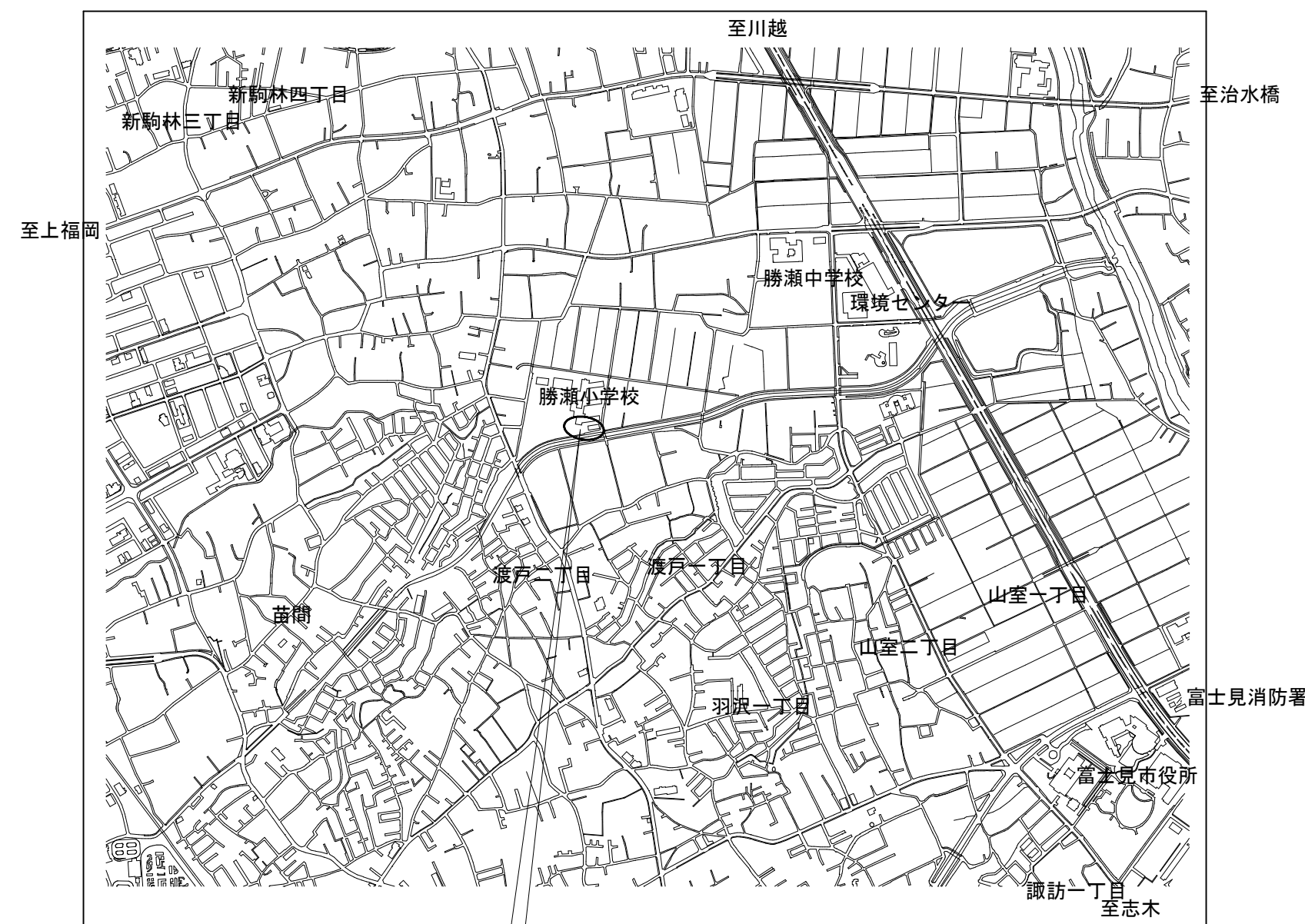
5 77ヘト含有保温材等の除去 (レベル2) 除去工法 ⑥ 77ヘト含有成形板の除去 (レベル3) 7 リラクタントリーセラミックファイバーの処理 8 断熱アスファルト防水改修工事 9 外断熱改修工事 ⑨ ガラス改修工事 10 断熱・防露改修工事 11 屋上緑化改修工事 12 透水性舗装改修工事



	<p>・路床置換処理 置換厚さ ※図示 置換材料の種類、品質※図示</p> <p>・不織布(ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・9.8N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10<sup>-2</sup> cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う(箇所) ・行わない 現場CBR試験 ・行う(箇所) ・行わない 安定土のCBR試験 ・行う 路床締固め度の試験 ・行う 六価クロム溶出試験 ・行う</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ※図示 路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> </tbody> </table> <p>透水性舗装構成及び厚さ ※図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表層</td> <td>・改質アスファルトⅠ型</td> <td>車路、駐車場</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透水性用開粒度アスファルト</td> <td>歩行者用通路</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透水性コンクリート</td> <td></td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透水性インターロッキングブロック</td> <td>・車路、駐車場</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・歩行者用通路</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>敷砂層</td> <td>・砂</td> <td>・車路、駐車場</td> <td>・20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・歩行者用通路</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td>川砂、海砂又は良質山砂 (75μmふるい通過率6%以下)</td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスファルト乳剤(プライムコート)の施工は行わない。</p> <p>・透水性アスファルト舗装 ・ポーラスアスファルト混合物(13) ・開粒度アスファルト混合物(13) [表9.7.6]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ふるいの呼び名</th> <th colspan="2">ふるいの通過質量百分率(%)</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19mm</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>13.2mm</td> <td>90~100</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td>4.75mm</td> <td>11~35</td> <td>20~36</td> </tr> <tr> <td>2.36mm</td> <td>10~20</td> <td>12~25</td> </tr> <tr> <td>300μm</td> <td>—</td> <td>5~13</td> </tr> <tr> <td>75μm</td> <td>3~7</td> <td>3~6</td> </tr> <tr> <td>アスファルト量(%)</td> <td>4~6</td> <td>3.5~5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>基準値 [表9.7.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">基準値</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大粒径(mm)</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安定度(kN)</td> <td>3.43以上</td> <td>3.0以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値(1/100cm)</td> <td></td> <td>20~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率(%)</td> <td>20以上</td> <td>12以上</td> </tr> <tr> <td>動的安定度(回/mm)</td> <td>3,000以上</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>透水係数(cm/s)</td> <td colspan="2">1×10<sup>-2</sup>以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>・不織布(ジオテキスタイル) 敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ※図示</p> <p>舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位・箇所数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位 ・図示 分析調査(第一次判定)箇所数: 箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位 ・図示 分析調査(第二次判定)箇所数: 箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は監督員との協議による</p> <p>(濁水の処理) 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 ・図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入(処理に焼却含む) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>(共通事項) 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、産業物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。</p> <p>(提出書類等) 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。</p> <p>(その他) 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	種別	厚さ(mm)	砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石	再生材	・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石		・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]	区分	種類	部位	厚さ(mm)	表層	・改質アスファルトⅠ型	車路、駐車場	50		・透水性用開粒度アスファルト	歩行者用通路	30		・透水性コンクリート		70		・透水性インターロッキングブロック	・車路、駐車場	80			・歩行者用通路	60	敷砂層	・砂	・車路、駐車場	・20			・歩行者用通路	・30	フィルター層	川砂、海砂又は良質山砂 (75μmふるい通過率6%以下)		100	ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率(%)		車路、駐車場	歩行者用通路	19mm	100	100	13.2mm	90~100	95~100	4.75mm	11~35	20~36	2.36mm	10~20	12~25	300μm	—	5~13	75μm	3~7	3~6	アスファルト量(%)	4~6	3.5~5.5	項目	基準値		車路、駐車場	歩行者用通路	最大粒径(mm)	13		安定度(kN)	3.43以上	3.0以上	フロー値(1/100cm)		20~40	空隙率(%)	20以上	12以上	動的安定度(回/mm)	3,000以上	—	透水係数(cm/s)	1×10 <sup>-2</sup> 以上		種類	採取する部位・箇所数	備考	・PCB含有シーリング	部 位 ・図示 分析調査(第一次判定)箇所数: 箇所		・PCB含有シーリング	部 位 ・図示 分析調査(第二次判定)箇所数: 箇所		<p>⑮ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定</p> <p>※ 測定する ・測定しない 測定する場合は以下による</p> <p>1 測定室 ・監督員の指定する室(8室)</p> <p>2 測定時期 ※工事着手前及び完了後</p> <p>3 検査項目、検査方法及び判定基準 1) 検査項目は、以下ア)~カ)の6品目とする。 ア)ホルムアルデヒド イ)トルエン ウ)キシレン エ)エチルベンゼン オ)スチレン カ)パラジクロロベンゼン</p> <p>2) 検査方法 ①検体の採取方法は吸引方式(アクティブ法)または拡散方式(パッシブ法)による。 ②ホルムアルデヒドについては以下のいずれかの方法による。 ・ジニトロフェニルヒドラン誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法(以下HPLC)により行うものとする。 ・パッシブ採取機器により採取し、HPLCまたはガスクロマトグラフ法(以下GC)あるいはAHMT-吸光度法(以下AHMT-Ab s)のうち採取機器に適合した分析法による。 ③トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンについては、以下のいずれかの方法による。 ・固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法の3種のうちのいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行うものとする。 ・パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適合した分析法による。</p> <p>3) 判定基準 厚生労働省が定める指針値以下とする。(量単位の換算は25℃) ア)ホルムアルデヒドは、100μg/m<sup>3</sup>(0.08ppm)以下であること。 イ)トルエンは、260μg/m<sup>3</sup>(0.07ppm)以下であること。 ウ)キシレンは、370μg/m<sup>3</sup>(0.20ppm)以下であること。 エ)エチルベンゼンは、3,800μg/m<sup>3</sup>(0.86ppm)以下であること。 オ)スチレンは、220μg/m<sup>3</sup>(0.05ppm)以下であること。 カ)パラジクロロベンゼンは、240μg/m<sup>3</sup>(0.04ppm)以下であること。</p> <p>4 採取及び分析 採取及び分析する者は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者とする。</p> <p>5 報告書 報告書は、監督員に2部提出するものとする。</p> <p>① 鉄筋 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SD295A</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>形状等 (5.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>継手方法等 (5.3.4)(5.5.2)(5.5.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接 ・溶接継手</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>・ガス圧接 ・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋( )</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>重ね継手の長さ ※図示による( ) (5.3.4)</p> <p>継手位置図(カットオフ鉄筋の長さ共) ※図示による( ) (5.3.4)</p> <p>④ 鉄筋の定着長さ (5.3.4)</p> <p>⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5)</p> <p>最小かぶり厚さ(自地底から算出を行う) ※図示による( )</p> <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・無し ・有り 適用箇所( ) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する</p> <p>耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・無し ・有り 適用箇所( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ( )mm ・図示による( )</p> <p>鉄筋相互のあき(機械式継手及び溶接継手を除く) (5.3.5)</p> <p>6 機械式継手</p> <p>使用箇所 ・図示による( )</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能 ・A級</p> <p>機械式継手の種類及び工法( ) (5.5.2)</p> <p>鉄筋相互のあき ・図示による( ) (5.3.5)</p> <p>品質の確認方法 ・図示による( ) (5.5.2)</p> <p>不良となった継手の修正方法等 ・図示による( ) (5.5.2)</p> <p>7 溶接継手</p> <p>使用箇所 ・図示による( )</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 (5.5.3)</p> <p>鉄筋相互のあき ・図示による( ) (5.3.5)</p> <p>継手の工法 ・図示による( ) (5.5.3)</p> <p>品質の確認方法 ・図示による( ) ・標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品質計画による (5.5.3)</p> <p>不良となった継手の修正方法等 ・図示による( ) ・標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品質計画による (5.5.3)</p> <p>溶接技術者 ・標準仕様書5.5.3(f)による ・JIS Z 3882(鉄筋の突合せ溶接技術検定における試験方法及び判定基準)による技量を有する者</p> <p>⑧ 各部配筋 (5.3.7)</p> <p>各部配筋 ○図示による( )</p> <p>帯筋 ・図示による( )</p> <p>壁開口部の補強 一般壁 ・図示による( ) 耐力壁 ・図示による( )</p> <p>梁貫通孔の補強 補強形式 ・図示による( ) 梁貫通孔径(各部記号含む)及び配筋識別リスト ・図示による( )</p> <p>柱主筋の柱頭部定着 ・図示による( )</p> <p>9 圧接完了後の試験 (5.4.9)</p> <p>外観試験 ※行う(全数) (5.4.9)</p> <p>採取試験 (5.4.9)(5.4.10)</p> <p>超音波探傷試験 試験ロット : 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数: 1ロットに対して30箇所とし、ロットから無作為に抜き取る。</p> <p>引抜試験 試験ロット : 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする。 試験の箇所数: 1ロットに対して(※3本・5本)とする。</p> <p>⑩ コンクリート工事</p> <p>① コンクリートの種類及び強度 (6.2.1~6.2.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m<sup>3</sup>)</th> <th>スランプ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○24</td> <td>2.3程度</td> <td>○15又は18・18</td> <td>機械基礎等</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>② コンクリートの種別 (6.2.1)</p> <p>種 別 ※Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) Ⅱ類(JIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>③ セメント (6.3.1)</p> <p>種 類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ※使用部位(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする</p> <p>・高炉セメントB種 [G] 使用部位(・1Fより下部(立ち上がり部含む) )</p> <p>・フライアッシュセメントB種 [G] 使用部位( )</p> <p>④ 骨材 (6.3.1)</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B(コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m以下)</p> <p>⑤ 混和材料 (6.3.1)</p> <p>・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(d)(i)による</p> <p>・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(d)(ii)による</p> <p>⑥ 無鉄コンクリート (6.14.1)</p> <p>設計基準強度 ※18(N/mm<sup>2</sup>)</p> <p>スランプ ※15cm又は18cm</p> <p>セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G]</p> <p>適用箇所 (6.2.1)(6.14.1) ※標準仕様書6.14.1(e)による箇所 ・図示による( )</p> <p>7 ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.3)(6.8.2)(9.7.3)</p> <p>目地寸法 ・標準仕様書9.7.3iによる</p> <p>間隔・位置・形状 ・図示による( ) ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する</p> <p>⑧ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	・SD295A	※D16以下		・SD345	※D19以上		種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子				部 位	継手方法	呼び径(mm)	・柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	・重ね継手		基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・ガス圧接 ・重ね継手		その他の鉄筋( )	・重ね継手		設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	スランプ	適用箇所	○24	2.3程度	○15又は18・18	機械基礎等	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	種 別	適用箇所	・A種	※図示による( )	・B種	※図示による( )	・C種	※図示による( )	<p>7 溶接継手</p> <p>使用箇所 ・図示による( )</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 (5.5.3)</p> <p>鉄筋相互のあき ・図示による( ) (5.3.5)</p> <p>継手の工法 ・図示による( ) (5.5.3)</p> <p>品質の確認方法 ・図示による( ) ・標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品質計画による (5.5.3)</p> <p>不良となった継手の修正方法等 ・図示による( ) ・標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品質計画による (5.5.3)</p> <p>溶接技術者 ・標準仕様書5.5.3(f)による ・JIS Z 3882(鉄筋の突合せ溶接技術検定における試験方法及び判定基準)による技量を有する者</p> <p>⑧ 各部配筋 (5.3.7)</p> <p>各部配筋 ○図示による( )</p> <p>帯筋 ・図示による( )</p> <p>壁開口部の補強 一般壁 ・図示による( ) 耐力壁 ・図示による( )</p> <p>梁貫通孔の補強 補強形式 ・図示による( ) 梁貫通孔径(各部記号含む)及び配筋識別リスト ・図示による( )</p> <p>柱主筋の柱頭部定着 ・図示による( )</p> <p>9 圧接完了後の試験 (5.4.9)</p> <p>外観試験 ※行う(全数) (5.4.9)</p> <p>採取試験 (5.4.9)(5.4.10)</p> <p>超音波探傷試験 試験ロット : 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数: 1ロットに対して30箇所とし、ロットから無作為に抜き取る。</p> <p>引抜試験 試験ロット : 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする。 試験の箇所数: 1ロットに対して(※3本・5本)とする。</p> <p>⑩ 軽量コンクリート (6.10.1)(表6.10.1)</p> <p>種類 ・1種 ・2種</p>	<p>9 打増し厚さ(打放し仕上げ部)</p> <p>打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.2) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外壁タイル後張り面の打増し処理 ・20mm</p> <p>打増し範囲 ・図示による( )</p> <p>⑩ 型枠 (6.8.3)</p> <p>せき板の材料及び厚さ ○合板(※12mm ) [G](但し、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」の備考3の表示のある合板型枠を用いる場合に限る) (6.8.3)</p> <p>※コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。</p> <p>・断熱材を兼用した型枠の使用 (6.8.3)</p> <p>・MCR工法用シートの使用 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による( ) (6.8.3)</p> <p>スリーブの材質 ※標準仕様書6.8.3(i)(2)(i)から(iv)による (6.8.3)</p> <p>設置期間及び取外し ※標準仕様書6.8.5による</p> <p>11 コンクリート強度の構造体強度補正 (6.3.2)</p> <p>※補正值 S=3(月日~月日、月日~月日) S=6(月日~月日)</p> <p>12 コンクリートの単位水量測定</p> <p>・行わない ・行う</p> <p>実施要領 (1)単位水量の測定は、150m<sup>3</sup>に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(2)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m<sup>3</sup>以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m<sup>3</sup>を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m<sup>3</sup>以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は測定法による。また、静電容量試験機は該当コンクリート製造所以外の機</p>
種別	厚さ(mm)																																																																																																																																																																													
砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石																																																																																																																																																																													
再生材	・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石																																																																																																																																																																													
	・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																																													
区分	種類	部位	厚さ(mm)																																																																																																																																																																											
表層	・改質アスファルトⅠ型	車路、駐車場	50																																																																																																																																																																											
	・透水性用開粒度アスファルト	歩行者用通路	30																																																																																																																																																																											
	・透水性コンクリート		70																																																																																																																																																																											
	・透水性インターロッキングブロック	・車路、駐車場	80																																																																																																																																																																											
		・歩行者用通路	60																																																																																																																																																																											
敷砂層	・砂	・車路、駐車場	・20																																																																																																																																																																											
		・歩行者用通路	・30																																																																																																																																																																											
フィルター層	川砂、海砂又は良質山砂 (75μmふるい通過率6%以下)		100																																																																																																																																																																											
ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率(%)																																																																																																																																																																													
	車路、駐車場	歩行者用通路																																																																																																																																																																												
19mm	100	100																																																																																																																																																																												
13.2mm	90~100	95~100																																																																																																																																																																												
4.75mm	11~35	20~36																																																																																																																																																																												
2.36mm	10~20	12~25																																																																																																																																																																												
300μm	—	5~13																																																																																																																																																																												
75μm	3~7	3~6																																																																																																																																																																												
アスファルト量(%)	4~6	3.5~5.5																																																																																																																																																																												
項目	基準値																																																																																																																																																																													
	車路、駐車場	歩行者用通路																																																																																																																																																																												
最大粒径(mm)	13																																																																																																																																																																													
安定度(kN)	3.43以上	3.0以上																																																																																																																																																																												
フロー値(1/100cm)		20~40																																																																																																																																																																												
空隙率(%)	20以上	12以上																																																																																																																																																																												
動的安定度(回/mm)	3,000以上	—																																																																																																																																																																												
透水係数(cm/s)	1×10 <sup>-2</sup> 以上																																																																																																																																																																													
種類	採取する部位・箇所数	備考																																																																																																																																																																												
・PCB含有シーリング	部 位 ・図示 分析調査(第一次判定)箇所数: 箇所																																																																																																																																																																													
・PCB含有シーリング	部 位 ・図示 分析調査(第二次判定)箇所数: 箇所																																																																																																																																																																													
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																																																																																																																												
・SD295A	※D16以下																																																																																																																																																																													
・SD345	※D19以上																																																																																																																																																																													
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																																																																																																																											
・溶接金網																																																																																																																																																																														
・鉄筋格子																																																																																																																																																																														
部 位	継手方法	呼び径(mm)																																																																																																																																																																												
・柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・溶接継手	※D19以上																																																																																																																																																																												
耐力壁の鉄筋	・重ね継手																																																																																																																																																																													
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・ガス圧接 ・重ね継手																																																																																																																																																																													
その他の鉄筋( )	・重ね継手																																																																																																																																																																													
設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	スランプ	適用箇所																																																																																																																																																																											
○24	2.3程度	○15又は18・18	機械基礎等																																																																																																																																																																											
・	・	・	・																																																																																																																																																																											
・	・	・	・																																																																																																																																																																											
・	・	・	・																																																																																																																																																																											
・	・	・	・																																																																																																																																																																											
種 別	適用箇所																																																																																																																																																																													
・A種	※図示による( )																																																																																																																																																																													
・B種	※図示による( )																																																																																																																																																																													
・C種	※図示による( )																																																																																																																																																																													
<p>株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11)183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)</p>		<p>委託番号 17-137 設計部長 検 園</p>	<p>日程 2018年3月 担当 製 園</p>	<p>図面名 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図 特記仕様書(改修その6) 縮尺 S=1:NS(A3版 50%縮小)</p>	<p>図面種別 TA 図面番号 06</p>																																																																																																																																																																									

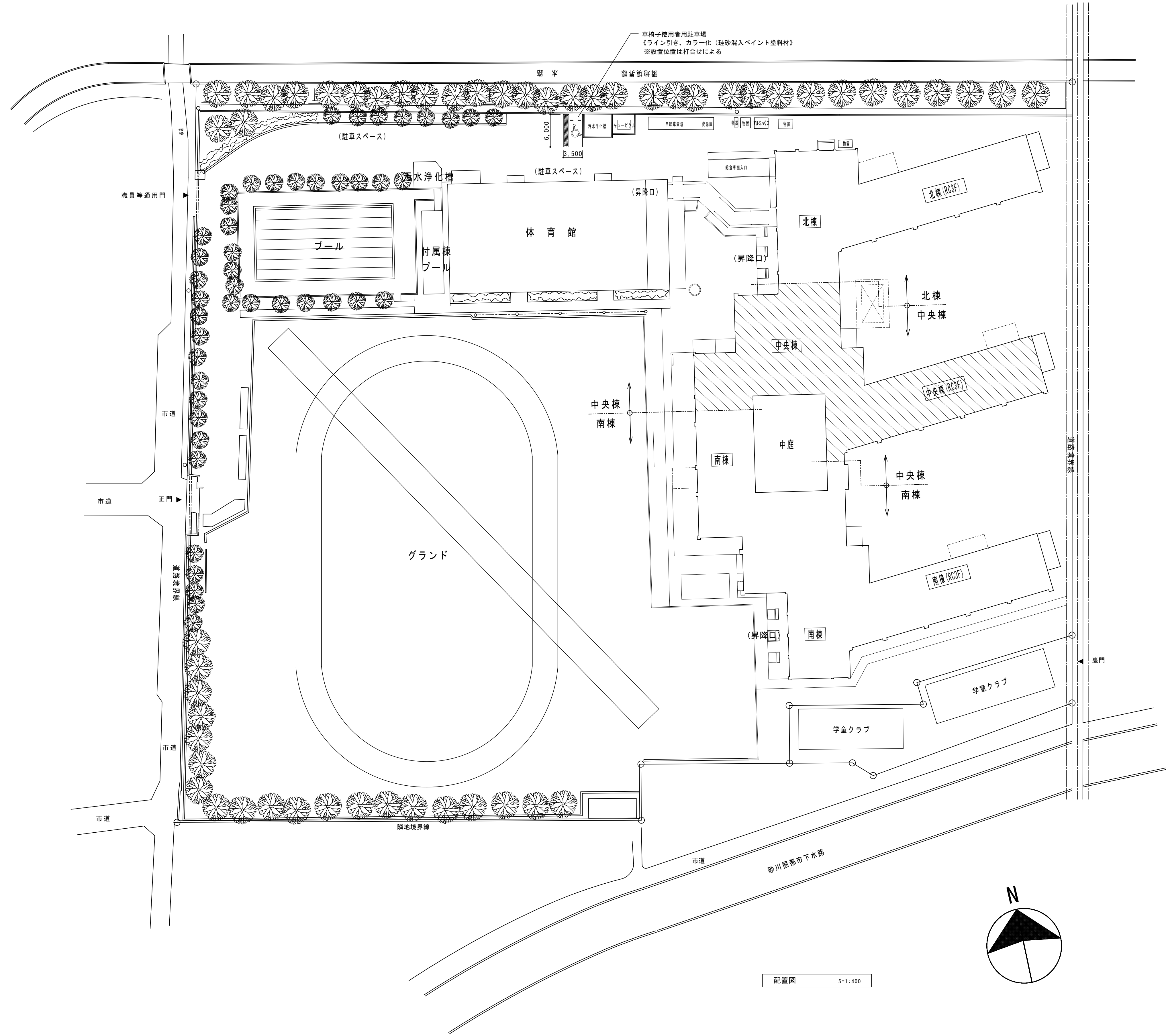
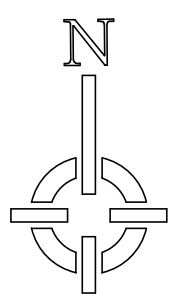
8 耐震改修工事	(一般事項) 1 適用範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事</li> <li>改修標準仕様書における第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分</li> </ul> <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</li> <li>鉄骨プレースの設置工事</li> <li>柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)</li> <li>柱補強工事(鉄線巻き工法又は帯板巻き工法)</li> <li>柱補強工事(連続繊維補強工法)</li> <li>耐震スリット新設工事</li> </ul>	<p>(コンクリート)</p> <p>1 コンクリートの種類及び強度</p> <table border="1"> <tr> <td>普通コンクリート</td> <td>[8.1.3~8.1.4][8.9.2]</td> </tr> <tr> <td>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</td> <td>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</td> <td>スランプ</td> <td>適用箇所</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>2.3程度</td> <td>15又は18・18</td> <td></td> </tr> </table>	普通コンクリート	[8.1.3~8.1.4][8.9.2]	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ	適用箇所	24	2.3程度	15又は18・18		<p>&lt;鉄骨&gt;</p> <p>1 鉄骨製作工場</p> <p>2 施工管理技術者</p> <p>3 鋼材</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨性能機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める( )グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場・監督員の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る) 適用する( )適用しない( )</p> <table border="1"> <tr> <td>種類の記号</td> <td>適用箇所(主要な部分)</td> <td>規格</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による( )</td> </tr> </table>	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格			※JIS規格による( )			※JIS規格による( )			※JIS規格による( )			※JIS規格による( )	<p>15 錆止め塗装</p> <p>塗料の種類 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ※改修標準仕様書 表7.3.1 A種 屋内 改修標準仕様書 表7.3.1 ( )種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 改修標準仕様書 表7.3.2 ( )種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限り) 改修標準仕様書 表7.3.1 A種 耐火被覆材の接着する面への塗装 適用箇所・図示による( ) 塗料の種類 改修標準仕様書 表7.3.1 ( )種 改修標準仕様書 表7.3.2 ( )種</p>	<p>16 耐火被覆</p> <p>種類及び性能</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル			耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板			耐火材巻付け	高断熱ロウケル			ラス張りモルタル塗り				<p>17 建方精度</p> <p>18 アンカーボルト等の設置</p> <p>19 溶融亜鉛めっき</p> <p>20 亜鉛めっきの種類</p> <p>21 亜鉛めっきの種類</p> <p>22 亜鉛めっきの種類</p> <p>23 亜鉛めっきの種類</p> <p>24 亜鉛めっきの種類</p> <p>25 亜鉛めっきの種類</p> <p>26 亜鉛めっきの種類</p> <p>27 亜鉛めっきの種類</p> <p>28 亜鉛めっきの種類</p> <p>29 亜鉛めっきの種類</p> <p>30 亜鉛めっきの種類</p> <p>31 亜鉛めっきの種類</p> <p>32 亜鉛めっきの種類</p> <p>33 亜鉛めっきの種類</p> <p>34 亜鉛めっきの種類</p> <p>35 亜鉛めっきの種類</p> <p>36 亜鉛めっきの種類</p> <p>37 亜鉛めっきの種類</p> <p>38 亜鉛めっきの種類</p> <p>39 亜鉛めっきの種類</p> <p>40 亜鉛めっきの種類</p> <p>41 亜鉛めっきの種類</p> <p>42 亜鉛めっきの種類</p> <p>43 亜鉛めっきの種類</p> <p>44 亜鉛めっきの種類</p> <p>45 亜鉛めっきの種類</p> <p>46 亜鉛めっきの種類</p> <p>47 亜鉛めっきの種類</p> <p>48 亜鉛めっきの種類</p> <p>49 亜鉛めっきの種類</p> <p>50 亜鉛めっきの種類</p> <p>51 亜鉛めっきの種類</p> <p>52 亜鉛めっきの種類</p> <p>53 亜鉛めっきの種類</p> <p>54 亜鉛めっきの種類</p> <p>55 亜鉛めっきの種類</p> <p>56 亜鉛めっきの種類</p> <p>57 亜鉛めっきの種類</p> <p>58 亜鉛めっきの種類</p> <p>59 亜鉛めっきの種類</p> <p>60 亜鉛めっきの種類</p> <p>61 亜鉛めっきの種類</p> <p>62 亜鉛めっきの種類</p> <p>63 亜鉛めっきの種類</p> <p>64 亜鉛めっきの種類</p> <p>65 亜鉛めっきの種類</p> <p>66 亜鉛めっきの種類</p> <p>67 亜鉛めっきの種類</p> <p>68 亜鉛めっきの種類</p> <p>69 亜鉛めっきの種類</p> <p>70 亜鉛めっきの種類</p> <p>71 亜鉛めっきの種類</p> <p>72 亜鉛めっきの種類</p> <p>73 亜鉛めっきの種類</p> <p>74 亜鉛めっきの種類</p> <p>75 亜鉛めっきの種類</p> <p>76 亜鉛めっきの種類</p> <p>77 亜鉛めっきの種類</p> <p>78 亜鉛めっきの種類</p> <p>79 亜鉛めっきの種類</p> <p>80 亜鉛めっきの種類</p> <p>81 亜鉛めっきの種類</p> <p>82 亜鉛めっきの種類</p> <p>83 亜鉛めっきの種類</p> <p>84 亜鉛めっきの種類</p> <p>85 亜鉛めっきの種類</p> <p>86 亜鉛めっきの種類</p> <p>87 亜鉛めっきの種類</p> <p>88 亜鉛めっきの種類</p> <p>89 亜鉛めっきの種類</p> <p>90 亜鉛めっきの種類</p> <p>91 亜鉛めっきの種類</p> <p>92 亜鉛めっきの種類</p> <p>93 亜鉛めっきの種類</p> <p>94 亜鉛めっきの種類</p> <p>95 亜鉛めっきの種類</p> <p>96 亜鉛めっきの種類</p> <p>97 亜鉛めっきの種類</p> <p>98 亜鉛めっきの種類</p> <p>99 亜鉛めっきの種類</p> <p>100 亜鉛めっきの種類</p>
	普通コンクリート	[8.1.3~8.1.4][8.9.2]																																																		
	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ	適用箇所																																																
	24	2.3程度	15又は18・18																																																	
	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格																																																	
			※JIS規格による( )																																																	
			※JIS規格による( )																																																	
			※JIS規格による( )																																																	
			※JIS規格による( )																																																	
	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																
耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル																																																			
耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板																																																			
耐火材巻付け	高断熱ロウケル																																																			
ラス張りモルタル塗り																																																				
2 既存部分の処理等	<p>既存構造体の撤去撤去範囲</p> <p>図示による( )</p> <p>はつり出した鉄筋及び鉄骨の程度</p> <p>図示による( )</p> <p>既存コンクリートの目荒らしの程度</p> <p>[8.21.2][8.22.2][8.23.2][8.24.2]</p> <p>既存コンクリートの目荒らしの程度</p> <p>[8.21.3][8.22.3][8.23.3]</p> <p>既存柱、梁面</p> <p>打抜き面の15~30%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p> <p>既存壁</p> <p>打抜き面の10~15%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p>	<p>2 コンクリートの種別</p> <p>種別</p> <p>※I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)</p> <p>II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p>	<p>4 高力ボルト</p> <p>ボルトの区分</p> <p>トルシア形高力ボルト</p> <p>セットの種類 2種 (S10T)</p> <p>JIS高力ボルト</p> <p>セットの種類 2種 (F10T)</p> <p>高力ボルトの径</p> <p>図示による( )</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1線端距離及びボルト間隔等)</p> <p>すべり係数試験</p> <p>行わない( )</p> <p>行う( )</p> <p>試験方法等</p> <p>図示による( )</p>	<p>16 耐火被覆</p> <p>種類及び性能</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル			耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板			耐火材巻付け	高断熱ロウケル			ラス張りモルタル塗り				<p>17 建方精度</p> <p>18 アンカーボルト等の設置</p> <p>19 溶融亜鉛めっき</p> <p>20 亜鉛めっきの種類</p> <p>21 亜鉛めっきの種類</p> <p>22 亜鉛めっきの種類</p> <p>23 亜鉛めっきの種類</p> <p>24 亜鉛めっきの種類</p> <p>25 亜鉛めっきの種類</p> <p>26 亜鉛めっきの種類</p> <p>27 亜鉛めっきの種類</p> <p>28 亜鉛めっきの種類</p> <p>29 亜鉛めっきの種類</p> <p>30 亜鉛めっきの種類</p> <p>31 亜鉛めっきの種類</p> <p>32 亜鉛めっきの種類</p> <p>33 亜鉛めっきの種類</p> <p>34 亜鉛めっきの種類</p> <p>35 亜鉛めっきの種類</p> <p>36 亜鉛めっきの種類</p> <p>37 亜鉛めっきの種類</p> <p>38 亜鉛めっきの種類</p> <p>39 亜鉛めっきの種類</p> <p>40 亜鉛めっきの種類</p> <p>41 亜鉛めっきの種類</p> <p>42 亜鉛めっきの種類</p> <p>43 亜鉛めっきの種類</p> <p>44 亜鉛めっきの種類</p> <p>45 亜鉛めっきの種類</p> <p>46 亜鉛めっきの種類</p> <p>47 亜鉛めっきの種類</p> <p>48 亜鉛めっきの種類</p> <p>49 亜鉛めっきの種類</p> <p>50 亜鉛めっきの種類</p> <p>51 亜鉛めっきの種類</p> <p>52 亜鉛めっきの種類</p> <p>53 亜鉛めっきの種類</p> <p>54 亜鉛めっきの種類</p> <p>55 亜鉛めっきの種類</p> <p>56 亜鉛めっきの種類</p> <p>57 亜鉛めっきの種類</p> <p>58 亜鉛めっきの種類</p> <p>59 亜鉛めっきの種類</p> <p>60 亜鉛めっきの種類</p> <p>61 亜鉛めっきの種類</p> <p>62 亜鉛めっきの種類</p> <p>63 亜鉛めっきの種類</p> <p>64 亜鉛めっきの種類</p> <p>65 亜鉛めっきの種類</p> <p>66 亜鉛めっきの種類</p> <p>67 亜鉛めっきの種類</p> <p>68 亜鉛めっきの種類</p> <p>69 亜鉛めっきの種類</p> <p>70 亜鉛めっきの種類</p> <p>71 亜鉛めっきの種類</p> <p>72 亜鉛めっきの種類</p> <p>73 亜鉛めっきの種類</p> <p>74 亜鉛めっきの種類</p> <p>75 亜鉛めっきの種類</p> <p>76 亜鉛めっきの種類</p> <p>77 亜鉛めっきの種類</p> <p>78 亜鉛めっきの種類</p> <p>79 亜鉛めっきの種類</p> <p>80 亜鉛めっきの種類</p> <p>81 亜鉛めっきの種類</p> <p>82 亜鉛めっきの種類</p> <p>83 亜鉛めっきの種類</p> <p>84 亜鉛めっきの種類</p> <p>85 亜鉛めっきの種類</p> <p>86 亜鉛めっきの種類</p> <p>87 亜鉛めっきの種類</p> <p>88 亜鉛めっきの種類</p> <p>89 亜鉛めっきの種類</p> <p>90 亜鉛めっきの種類</p> <p>91 亜鉛めっきの種類</p> <p>92 亜鉛めっきの種類</p> <p>93 亜鉛めっきの種類</p> <p>94 亜鉛めっきの種類</p> <p>95 亜鉛めっきの種類</p> <p>96 亜鉛めっきの種類</p> <p>97 亜鉛めっきの種類</p> <p>98 亜鉛めっきの種類</p> <p>99 亜鉛めっきの種類</p> <p>100 亜鉛めっきの種類</p>																											
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																	
耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル																																																			
耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板																																																			
耐火材巻付け	高断熱ロウケル																																																			
ラス張りモルタル塗り																																																				
3 撤去工事の施工内容	<p>※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構体内既存仕上げ躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。</p> <p>※増設部材と接する既存コンクリート面は十分に目荒らしを行う。</p> <p>※塗り仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。</p> <p>なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。</p> <p>※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p> <p>※コンクリート及びびり仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。</p> <p>※増設する部材に接する既存コンクリートは、十分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。はつり工事は構造躯体に影響を与えない方法で丁寧に行うこと。(電気ビッカを用いる等)</p> <p>※コンクリート打設前に粉塵、はつりがら等を清掃し、数日前から充分に水湿めを行う。</p> <p>※既存の躯体状態の確認及び補修</p> <p>石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場処分すること。</p> <p>石膏ボード、フレキシブルボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に準じ、部材が破損しないようにはずしを行い、原形のまま運搬処分すること。</p> <p>以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずで行うこと。</p> <p>床：ビニル系タイルの撤去にあたっては、関係法令に準じ部材が破損しないように温湿後、手はずで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。</p>	<p>3 セメント</p> <p>種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p> <p>使用部位(※下記以外全て)</p> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする</p>	<p>4 高力ボルト</p> <p>ボルトの区分</p> <p>トルシア形高力ボルト</p> <p>セットの種類 2種 (S10T)</p> <p>JIS高力ボルト</p> <p>セットの種類 2種 (F10T)</p> <p>高力ボルトの径</p> <p>図示による( )</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1線端距離及びボルト間隔等)</p> <p>すべり係数試験</p> <p>行わない( )</p> <p>行う( )</p> <p>試験方法等</p> <p>図示による( )</p>	<p>16 耐火被覆</p> <p>種類及び性能</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル			耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板			耐火材巻付け	高断熱ロウケル			ラス張りモルタル塗り				<p>17 建方精度</p> <p>18 アンカーボルト等の設置</p> <p>19 溶融亜鉛めっき</p> <p>20 亜鉛めっきの種類</p> <p>21 亜鉛めっきの種類</p> <p>22 亜鉛めっきの種類</p> <p>23 亜鉛めっきの種類</p> <p>24 亜鉛めっきの種類</p> <p>25 亜鉛めっきの種類</p> <p>26 亜鉛めっきの種類</p> <p>27 亜鉛めっきの種類</p> <p>28 亜鉛めっきの種類</p> <p>29 亜鉛めっきの種類</p> <p>30 亜鉛めっきの種類</p> <p>31 亜鉛めっきの種類</p> <p>32 亜鉛めっきの種類</p> <p>33 亜鉛めっきの種類</p> <p>34 亜鉛めっきの種類</p> <p>35 亜鉛めっきの種類</p> <p>36 亜鉛めっきの種類</p> <p>37 亜鉛めっきの種類</p> <p>38 亜鉛めっきの種類</p> <p>39 亜鉛めっきの種類</p> <p>40 亜鉛めっきの種類</p> <p>41 亜鉛めっきの種類</p> <p>42 亜鉛めっきの種類</p> <p>43 亜鉛めっきの種類</p> <p>44 亜鉛めっきの種類</p> <p>45 亜鉛めっきの種類</p> <p>46 亜鉛めっきの種類</p> <p>47 亜鉛めっきの種類</p> <p>48 亜鉛めっきの種類</p> <p>49 亜鉛めっきの種類</p> <p>50 亜鉛めっきの種類</p> <p>51 亜鉛めっきの種類</p> <p>52 亜鉛めっきの種類</p> <p>53 亜鉛めっきの種類</p> <p>54 亜鉛めっきの種類</p> <p>55 亜鉛めっきの種類</p> <p>56 亜鉛めっきの種類</p> <p>57 亜鉛めっきの種類</p> <p>58 亜鉛めっきの種類</p> <p>59 亜鉛めっきの種類</p> <p>60 亜鉛めっきの種類</p> <p>61 亜鉛めっきの種類</p> <p>62 亜鉛めっきの種類</p> <p>63 亜鉛めっきの種類</p> <p>64 亜鉛めっきの種類</p> <p>65 亜鉛めっきの種類</p> <p>66 亜鉛めっきの種類</p> <p>67 亜鉛めっきの種類</p> <p>68 亜鉛めっきの種類</p> <p>69 亜鉛めっきの種類</p> <p>70 亜鉛めっきの種類</p> <p>71 亜鉛めっきの種類</p> <p>72 亜鉛めっきの種類</p> <p>73 亜鉛めっきの種類</p> <p>74 亜鉛めっきの種類</p> <p>75 亜鉛めっきの種類</p> <p>76 亜鉛めっきの種類</p> <p>77 亜鉛めっきの種類</p> <p>78 亜鉛めっきの種類</p> <p>79 亜鉛めっきの種類</p> <p>80 亜鉛めっきの種類</p> <p>81 亜鉛めっきの種類</p> <p>82 亜鉛めっきの種類</p> <p>83 亜鉛めっきの種類</p> <p>84 亜鉛めっきの種類</p> <p>85 亜鉛めっきの種類</p> <p>86 亜鉛めっきの種類</p> <p>87 亜鉛めっきの種類</p> <p>88 亜鉛めっきの種類</p> <p>89 亜鉛めっきの種類</p> <p>90 亜鉛めっきの種類</p> <p>91 亜鉛めっきの種類</p> <p>92 亜鉛めっきの種類</p> <p>93 亜鉛めっきの種類</p> <p>94 亜鉛めっきの種類</p> <p>95 亜鉛めっきの種類</p> <p>96 亜鉛めっきの種類</p> <p>97 亜鉛めっきの種類</p> <p>98 亜鉛めっきの種類</p> <p>99 亜鉛めっきの種類</p> <p>100 亜鉛めっきの種類</p>																											
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																	
耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル																																																			
耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板																																																			
耐火材巻付け	高断熱ロウケル																																																			
ラス張りモルタル塗り																																																				
4 撤去工事における注意事項	<p>※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構体内既存仕上げ躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。</p> <p>※増設部材と接する既存コンクリート面は十分に目荒らしを行う。</p> <p>※塗り仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。</p> <p>なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。</p> <p>※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p> <p>※コンクリート及びびり仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。</p> <p>※増設する部材に接する既存コンクリートは、十分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。はつり工事は構造躯体に影響を与えない方法で丁寧に行うこと。(電気ビッカを用いる等)</p> <p>※コンクリート打設前に粉塵、はつりがら等を清掃し、数日前から充分に水湿めを行う。</p> <p>※既存の躯体状態の確認及び補修</p> <p>石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場処分すること。</p> <p>石膏ボード、フレキシブルボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に準じ、部材が破損しないようにはずしを行い、原形のまま運搬処分すること。</p> <p>以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずで行うこと。</p> <p>床：ビニル系タイルの撤去にあたっては、関係法令に準じ部材が破損しないように温湿後、手はずで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。</p>	<p>4 骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <p>※A・B(コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m<sup>3</sup>以下)</p>	<p>4 高力ボルト</p> <p>ボルトの区分</p> <p>トルシア形高力ボルト</p> <p>セットの種類 2種 (S10T)</p> <p>JIS高力ボルト</p> <p>セットの種類 2種 (F10T)</p> <p>高力ボルトの径</p> <p>図示による( )</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1線端距離及びボルト間隔等)</p> <p>すべり係数試験</p> <p>行わない( )</p> <p>行う( )</p> <p>試験方法等</p> <p>図示による( )</p>	<p>16 耐火被覆</p> <p>種類及び性能</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル			耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板			耐火材巻付け	高断熱ロウケル			ラス張りモルタル塗り				<p>17 建方精度</p> <p>18 アンカーボルト等の設置</p> <p>19 溶融亜鉛めっき</p> <p>20 亜鉛めっきの種類</p> <p>21 亜鉛めっきの種類</p> <p>22 亜鉛めっきの種類</p> <p>23 亜鉛めっきの種類</p> <p>24 亜鉛めっきの種類</p> <p>25 亜鉛めっきの種類</p> <p>26 亜鉛めっきの種類</p> <p>27 亜鉛めっきの種類</p> <p>28 亜鉛めっきの種類</p> <p>29 亜鉛めっきの種類</p> <p>30 亜鉛めっきの種類</p> <p>31 亜鉛めっきの種類</p> <p>32 亜鉛めっきの種類</p> <p>33 亜鉛めっきの種類</p> <p>34 亜鉛めっきの種類</p> <p>35 亜鉛めっきの種類</p> <p>36 亜鉛めっきの種類</p> <p>37 亜鉛めっきの種類</p> <p>38 亜鉛めっきの種類</p> <p>39 亜鉛めっきの種類</p> <p>40 亜鉛めっきの種類</p> <p>41 亜鉛めっきの種類</p> <p>42 亜鉛めっきの種類</p> <p>43 亜鉛めっきの種類</p> <p>44 亜鉛めっきの種類</p> <p>45 亜鉛めっきの種類</p> <p>46 亜鉛めっきの種類</p> <p>47 亜鉛めっきの種類</p> <p>48 亜鉛めっきの種類</p> <p>49 亜鉛めっきの種類</p> <p>50 亜鉛めっきの種類</p> <p>51 亜鉛めっきの種類</p> <p>52 亜鉛めっきの種類</p> <p>53 亜鉛めっきの種類</p> <p>54 亜鉛めっきの種類</p> <p>55 亜鉛めっきの種類</p> <p>56 亜鉛めっきの種類</p> <p>57 亜鉛めっきの種類</p> <p>58 亜鉛めっきの種類</p> <p>59 亜鉛めっきの種類</p> <p>60 亜鉛めっきの種類</p> <p>61 亜鉛めっきの種類</p> <p>62 亜鉛めっきの種類</p> <p>63 亜鉛めっきの種類</p> <p>64 亜鉛めっきの種類</p> <p>65 亜鉛めっきの種類</p> <p>66 亜鉛めっきの種類</p> <p>67 亜鉛めっきの種類</p> <p>68 亜鉛めっきの種類</p> <p>69 亜鉛めっきの種類</p> <p>70 亜鉛めっきの種類</p> <p>71 亜鉛めっきの種類</p> <p>72 亜鉛めっきの種類</p> <p>73 亜鉛めっきの種類</p> <p>74 亜鉛めっきの種類</p> <p>75 亜鉛めっきの種類</p> <p>76 亜鉛めっきの種類</p> <p>77 亜鉛めっきの種類</p> <p>78 亜鉛めっきの種類</p> <p>79 亜鉛めっきの種類</p> <p>80 亜鉛めっきの種類</p> <p>81 亜鉛めっきの種類</p> <p>82 亜鉛めっきの種類</p> <p>83 亜鉛めっきの種類</p> <p>84 亜鉛めっきの種類</p> <p>85 亜鉛めっきの種類</p> <p>86 亜鉛めっきの種類</p> <p>87 亜鉛めっきの種類</p> <p>88 亜鉛めっきの種類</p> <p>89 亜鉛めっきの種類</p> <p>90 亜鉛めっきの種類</p> <p>91 亜鉛めっきの種類</p> <p>92 亜鉛めっきの種類</p> <p>93 亜鉛めっきの種類</p> <p>94 亜鉛めっきの種類</p> <p>95 亜鉛めっきの種類</p> <p>96 亜鉛めっきの種類</p> <p>97 亜鉛めっきの種類</p> <p>98 亜鉛めっきの種類</p> <p>99 亜鉛めっきの種類</p> <p>100 亜鉛めっきの種類</p>																											
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																	
耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル																																																			
耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板																																																			
耐火材巻付け	高断熱ロウケル																																																			
ラス張りモルタル塗り																																																				
(鉄筋)	<p>鉄筋の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	SD295A	※D16以下		SD345	※D19以上		<p>5 無鉄コンクリート</p> <p>設計基準強度</p> <p>※18(N/mm<sup>2</sup>)</p> <p>スランプ</p> <p>※15cm又は18cm</p> <p>セメントの種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p> <p>高炉セメントB種 [G]</p> <p>フライアッシュセメントB種 [G]</p>	<p>4 高力ボルト</p> <p>ボルトの区分</p> <p>トルシア形高力ボルト</p> <p>セットの種類 2種 (S10T)</p> <p>JIS高力ボルト</p> <p>セットの種類 2種 (F10T)</p> <p>高力ボルトの径</p> <p>図示による( )</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1線端距離及びボルト間隔等)</p> <p>すべり係数試験</p> <p>行わない( )</p> <p>行う( )</p> <p>試験方法等</p> <p>図示による( )</p>	<p>16 耐火被覆</p> <p>種類及び性能</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル			耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板			耐火材巻付け	高断熱ロウケル			ラス張りモルタル塗り				<p>17 建方精度</p> <p>18 アンカーボルト等の設置</p> <p>19 溶融亜鉛めっき</p> <p>20 亜鉛めっきの種類</p> <p>21 亜鉛めっきの種類</p> <p>22 亜鉛めっきの種類</p> <p>23 亜鉛めっきの種類</p> <p>24 亜鉛めっきの種類</p> <p>25 亜鉛めっきの種類</p> <p>26 亜鉛めっきの種類</p> <p>27 亜鉛めっきの種類</p> <p>28 亜鉛めっきの種類</p> <p>29 亜鉛めっきの種類</p> <p>30 亜鉛めっきの種類</p> <p>31 亜鉛めっきの種類</p> <p>32 亜鉛めっきの種類</p> <p>33 亜鉛めっきの種類</p> <p>34 亜鉛めっきの種類</p> <p>35 亜鉛めっきの種類</p> <p>36 亜鉛めっきの種類</p> <p>37 亜鉛めっきの種類</p> <p>38 亜鉛めっきの種類</p> <p>39 亜鉛めっきの種類</p> <p>40 亜鉛めっきの種類</p> <p>41 亜鉛めっきの種類</p> <p>42 亜鉛めっきの種類</p> <p>43 亜鉛めっきの種類</p> <p>44 亜鉛めっきの種類</p> <p>45 亜鉛めっきの種類</p> <p>46 亜鉛めっきの種類</p> <p>47 亜鉛めっきの種類</p> <p>48 亜鉛めっきの種類</p> <p>49 亜鉛めっきの種類</p> <p>50 亜鉛めっきの種類</p> <p>51 亜鉛めっきの種類</p> <p>52 亜鉛めっきの種類</p> <p>53 亜鉛めっきの種類</p> <p>54 亜鉛めっきの種類</p> <p>55 亜鉛めっきの種類</p> <p>56 亜鉛めっきの種類</p> <p>57 亜鉛めっきの種類</p> <p>58 亜鉛めっきの種類</p> <p>59 亜鉛めっきの種類</p> <p>60 亜鉛めっきの種類</p> <p>61 亜鉛めっきの種類</p> <p>62 亜鉛めっきの種類</p> <p>63 亜鉛めっきの種類</p> <p>64 亜鉛めっきの種類</p> <p>65 亜鉛めっきの種類</p> <p>66 亜鉛めっきの種類</p> <p>67 亜鉛めっきの種類</p> <p>68 亜鉛めっきの種類</p> <p>69 亜鉛めっきの種類</p> <p>70 亜鉛めっきの種類</p> <p>71 亜鉛めっきの種類</p> <p>72 亜鉛めっきの種類</p> <p>73 亜鉛めっきの種類</p> <p>74 亜鉛めっきの種類</p> <p>75 亜鉛めっきの種類</p> <p>76 亜鉛めっきの種類</p> <p>77 亜鉛めっきの種類</p> <p>78 亜鉛めっきの種類</p> <p>79 亜鉛めっきの種類</p> <p>80 亜鉛めっきの種類</p> <p>81 亜鉛めっきの種類</p> <p>82 亜鉛めっきの種類</p> <p>83 亜鉛めっきの種類</p> <p>84 亜鉛めっきの種類</p> <p>85 亜鉛めっきの種類</p> <p>86 亜鉛めっきの種類</p> <p>87 亜鉛めっきの種類</p> <p>88 亜鉛めっきの種類</p> <p>89 亜鉛めっきの種類</p> <p>90 亜鉛めっきの種類</p> <p>91 亜鉛めっきの種類</p> <p>92 亜鉛めっきの種類</p> <p>93 亜鉛めっきの種類</p> <p>94 亜鉛めっきの種類</p> <p>95 亜鉛めっきの種類</p> <p>96 亜鉛めっきの種類</p> <p>97 亜鉛めっきの種類</p> <p>98 亜鉛めっきの種類</p> <p>99 亜鉛めっきの種類</p> <p>100 亜鉛めっきの種類</p>																		
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																		
SD295A	※D16以下																																																			
SD345	※D19以上																																																			
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																	
耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル																																																			
耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板																																																			
耐火材巻付け	高断熱ロウケル																																																			
ラス張りモルタル塗り																																																				
1 鉄筋	<p>鉄筋の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	SD295A	※D16以下		SD345	※D19以上		<p>6 無鉄コンクリート</p> <p>設計基準強度</p> <p>※18(N/mm<sup>2</sup>)</p> <p>スランプ</p> <p>※15cm又は18cm</p> <p>セメントの種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p> <p>高炉セメントB種 [G]</p> <p>フライアッシュセメントB種 [G]</p>	<p>4 高力ボルト</p> <p>ボルトの区分</p> <p>トルシア形高力ボルト</p> <p>セットの種類 2種 (S10T)</p> <p>JIS高力ボルト</p> <p>セットの種類 2種 (F10T)</p> <p>高力ボルトの径</p> <p>図示による( )</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1線端距離及びボルト間隔等)</p> <p>すべり係数試験</p> <p>行わない( )</p> <p>行う( )</p> <p>試験方法等</p> <p>図示による( )</p>	<p>16 耐火被覆</p> <p>種類及び性能</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロウケル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル			耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板			耐火材巻付け	高断熱ロウケル			ラス張りモルタル塗り				<p>17 建方精度</p> <p>18 アンカーボルト等の設置</p> <p>19 溶融亜鉛めっき</p> <p>20 亜鉛めっきの種類</p> <p>21 亜鉛めっきの種類</p> <p>22 亜鉛めっきの種類</p> <p>23 亜鉛めっきの種類</p> <p>24 亜鉛めっきの種類</p> <p>25 亜鉛めっきの種類</p> <p>26 亜鉛めっきの種類</p> <p>27 亜鉛めっきの種類</p> <p>28 亜鉛めっきの種類</p> <p>29 亜鉛めっきの種類</p> <p>30 亜鉛めっきの種類</p> <p>31 亜鉛めっきの種類</p> <p>32 亜鉛めっきの種類</p> <p>33 亜鉛めっきの種類</p> <p>34 亜鉛めっきの種類</p> <p>35 亜鉛めっきの種類</p> <p>36 亜鉛めっきの種類</p> <p>37 亜鉛めっきの種類</p> <p>38 亜鉛めっきの種類</p> <p>39 亜鉛めっきの種類</p> <p>40 亜鉛めっきの種類</p> <p>41 亜鉛めっきの種類</p> <p>42 亜鉛めっきの種類</p> <p>43 亜鉛めっきの種類</p> <p>44 亜鉛めっきの種類</p> <p>45 亜鉛めっきの種類</p> <p>46 亜鉛めっきの種類</p> <p>47 亜鉛めっきの種類</p> <p>48 亜鉛めっきの種類</p> <p>49 亜鉛めっきの種類</p> <p>50 亜鉛めっきの種類</p> <p>51 亜鉛めっきの種類</p> <p>52 亜鉛めっきの種類</p> <p>53 亜鉛めっきの種類</p> <p>54 亜鉛めっきの種類</p> <p>55 亜鉛めっきの種類</p> <p>56 亜鉛めっきの種類</p> <p>57 亜鉛めっきの種類</p> <p>58 亜鉛めっきの種類</p> <p>59 亜鉛めっきの種類</p> <p>60 亜鉛めっきの種類</p> <p>61 亜鉛めっきの種類</p> <p>62 亜鉛めっきの種類</p> <p>63 亜鉛めっきの種類</p> <p>64 亜鉛めっきの種類</p> <p>65 亜鉛</p>																		
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																		
SD295A	※D16以下																																																			
SD345	※D19以上																																																			
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																	
耐火材吹付け	乾式吹付ロウケル 半乾式吹付ロウケル 湿式ロウケル																																																			
耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板																																																			
耐火材巻付け	高断熱ロウケル																																																			
ラス張りモルタル塗り																																																				



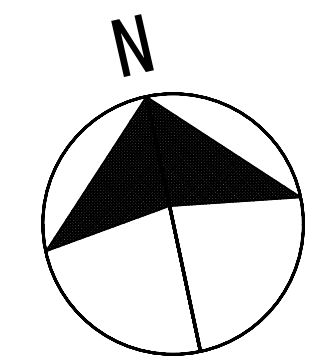


工事場所：埼玉県富士見市大字勝瀬地内

案内図



配置図 S=1:400





**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横田	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図  
 図面名 案内図・配置図

図面種類	A
図面番号	1
縮尺	S=1:400 (A3版 50%縮小)




外部仕上表【中央棟】									
		外 壁		庇・軒裏		建 具		他	
改修前	《一般部》 コンクリート打放し「フジコート吹付けの上吹付タイル(E)★」【既存塗膜撤去】	《廊下DS》 ブロック積み下地「フジコート吹付けの上吹付タイル(E)★」【ブロック・既存塗膜共撤去】	《打継目地》 シーリング【撤去】	《庇》 天端：モルタル防水 【高圧水洗い】 鼻先：コンクリート打放し「フジコート吹付けの上吹付タイル(E)★」【既存塗膜撤去】 軒裏：コンクリート打放しAEPの上「吹付タイル(E)★」【既存塗膜撤去】	《既存建具》 1) アルミ製建具共通事項 フロートガラス【撤去】、ガラスビート【撤去】 2) スチール製建具：SOP塗装	《フェンス》 一屋根ー ネットフェンス H=1500 【ネットのみ撤去】			
	《補強ブレース設置部》 押出成型セメント板の上複層仕上塗材(E)	《柱上・梁上・梁下》 コンクリート打放し「フジコート吹付けの上吹付タイル(E)★」【既存塗膜撤去】	《開口部廻り》 シーリング【撤去】	《職員室前軒裏》 コンクリート打放しAEPの上「吹付タイル(E)★」【既存塗膜撤去】	《新設改修建具部》 1) アルミ製建具 【撤去】	《外壁エキスパンションジョイント金物》 アルミ製 【撤去】 スチール製 【撤去】			
改修後	《一般部》 劣化部補修後下地調整材(C-2)の上防水型複層塗材E【新設】	《廊下DS》 ALC版 t=50 防水型複層塗材 E【新設】	《打継目地》 シーリング【新設】	《庇》 天端：下地調整の上ウレタン塗膜防水 X-2【新設】 鼻先：劣化部補修後下地調整材(C-2)の上防水型複層塗材E【新設】 軒裏：下地調整の上水性反応硬化形軒天塗り替え専用仕上塗材【新設】	《既存建具》 1) アルミ製建具共通事項 強化ガラス t=4.0【新設】、ガラスビート【新設】 2) スチール製建具：下地調整の上DPP	《フェンス》 一屋根ー ネットフェンス H=1500 【ネットのみ新設、骨組：下地調整の上SOP】			
	《補強ブレース設置部》 下地調整の上可とう形改修塗材E (上塗り材は防水形複層塗材と同様の仕上げとする。)	《柱上・梁上・梁下》 劣化部補修後下地調整材(C-2)の上防水型複層塗材E【新設】	《開口部廻り》 シーリング【新設】	《職員室前軒裏》 下地調整の上水性反応硬化形軒天塗り替え専用仕上塗材【新設】	《新設改修建具部》 1) アルミ製建具 【新設】	《外壁エキスパンションジョイント金物》 既存アルミ製 【新設】 アルミ製 【新設】			
	《階段室北面》 レンガ半長さ積み 【撤去】	※「★」印建材はアスベスト含有建材として撤去を行うこと	《地巾木》 コンクリート打ち放しモルタル仕上 【高圧水洗い】						

屋根・屋上													
《中央棟 R階 屋根(2)・(2-2)》				《中央棟 PHR階 屋根(6)》				《中央棟 屋上(2)》					
(建設時)		(前回改修)		(建設時)		(前回改修)		(建設時)		(前回改修)			
改修前	平 場	屋根(2)：砂利敷キ → 撤去 保護モルタル金ゴテ t=15	塗膜防水(仕様不明)【存置】 下地不明	立上り	保護モルタル金ゴテ t=15 アスファルト防水層	塗膜防水(仕様不明)【存置】 下地不明	立上り	保護モルタル金ゴテ アスファルト防水層	塗膜防水(仕様不明)【存置】 下地不明	砂利敷キ → 撤去 アスファルト防水層 ア15 均シモルタル	塗膜防水(仕様不明)【存置】 下地不明		
		屋根(2-2)：t=60豆砂利コンクリート		笠木	プレキャストコンクリート製 【存置】		平場	無し	アルミ製・鋼板曲げ加工(仕様不明) 【撤去】			塗膜防水(仕様不明)【撤去※1】 ※1、パラペット廻りのみ、 その他は【存置】	
		屋根(2)・(2-2)共通： アスファルト防水層 ア15 均シモルタル		ドレイン	鋳鉄製(堅型)100φ		平場	鋳鉄製(堅型)100φ	鋳鉄製(堅型)100φ 【打込み部除き撤去】				既設笠木の上ウレタン塗膜防水 【撤去】
					鋳鉄製(堅型)100φ 【打込み部除き撤去】								鋳鉄製(堅型)100φ 【打込み部除き撤去】
改修後	平 場	《中央棟 R階 屋根(2)・(2-2)》		《中央棟 PHR階 屋根(6)》		《中央棟 屋上(2)》		高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5(絶縁工法) 絶縁マット t=2.0		高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5(絶縁工法) 絶縁マット t=2.0			
		立上り	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5(絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	平場	ウレタン塗膜防水 X-2 高圧洗浄	立上り	ウレタン塗膜防水 X-2 高圧洗浄	平場	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5(絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	立上り	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5(絶縁工法) 絶縁マット t=2.0		
		笠木	鋼板曲げ加工【再取付】	平場		笠木	アルミ製【新設】	平場	アルミ製【新設】	笠木	アルミ製【新設】		
		ドレイン	改修ドレイン(堅型)【新設】	平場		ドレイン	改修ドレイン(横型)【新設】	平場	改修ドレイン(堅型)【新設】	ドレイン	改修ドレイン(堅型)【新設】		

外 構		※共通事項 1. 改修前欄内【○】表示は今回改修内容を示す	
改修前	《中庭(中央棟-南棟間)》 パーゴラ・花壇立上り等工作物【撤去】  《受水槽廻り》  《室外機廻り》		
改修後	《中庭(中央棟-南棟間)》 仮設工事にて整地及び砕石敷き  《受水槽廻り》  《室外機廻り》		

■ 特記事項	■ 耐火認定番号		■ 不燃材料認定番号		■ 略号凡例		■ 軽量鉄骨間仕切り壁リスト							
1) 塗料については、ISO14001に規定された無公害塗料を使用すること。	略号	認定番号	略号	認定番号	略号	仕上材等	略号	仕上材等	記号	使用部位	耐火構造 認定番号	遮音構造 認定番号	ボード張り 範囲	壁 構 成
2) 塗装については、室内環境型とする			ケイ酸カルシウム板	不燃NM-8576、8578	RC	床：欄仕表6.2.4	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り		一般部	FP060NP-0174		スラブ下迄	LGS下地(45mm以上)+両面強化石膏ボード12.5+12.5
3) 内装に使用する建材・塗料材・接着材等については、全て F☆☆☆☆とする。			化粧ケイカル板 t6	不燃NM-8577	CB	コンクリートブロック積み	CL	クリアーラッカー塗り		一般部(目透し)	FP060NP-0289		スラブ下迄	LGS下地(65mm以上)+両面強化石膏ボード12.5+12.5 ※上張り目地部専用目地フェルト充填
4) 工事後のクリーニングは、内装工事が完了した室より順次行い、全室において行う。			石膏ボード t9.5	準不燃QM-9828	GB-R	石こうボード	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り						
5) 仕上材の詳細については、各詳細図を優先する。			石膏ボード t12.5	不燃NM-8619	GB-RH	硬質石こうボード	OS	油性ステイン塗り						
6) 腰壁木板張り部(巾木・見切り材含む)は全てUC塗装とする。			硬質石膏ボード t9.5	不燃NM-1908/NM-1139	GB-D	化粧石こうボード	DP	耐候性塗料塗り						
			耐水石膏ボード t9.5	準不燃QM-9826	GB-S	シーリング石こうボード								
			化粧石膏ボード t9.5	準不燃QM-9824	GB-F	強化石こうボード								
			不燃化粧せっこうボード	不燃NM-0879		ケイカル板	ケイカル板	ケイ酸カルシウム板						
			掲示クロス	準不燃 QM-0824	GW	グラスウール	GW	グラスウール						
			杉板(黒産材) t12.5	準不燃	SOP	合成樹脂調合ペイント	SOP	合成樹脂調合ペイント						
					EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り						
					EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り						
					NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料						

		 <b>株式会社 松下設計</b> 一級建築士事務所 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)		設計番号 17-137 設計：2018年3月 設計部長 検 園 担 当 製 図		<b>市立瀨瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】</b> 設計図		図面名 <b>外部仕上表【中央棟】</b> 縮尺 S=1:NS(A3版 50%縮小)		図面種別 <b>A</b> 図面番号 <b>2</b>	
--	--	--	--	--	--	------------------------------------	--	---	--	-----------------------------------	--



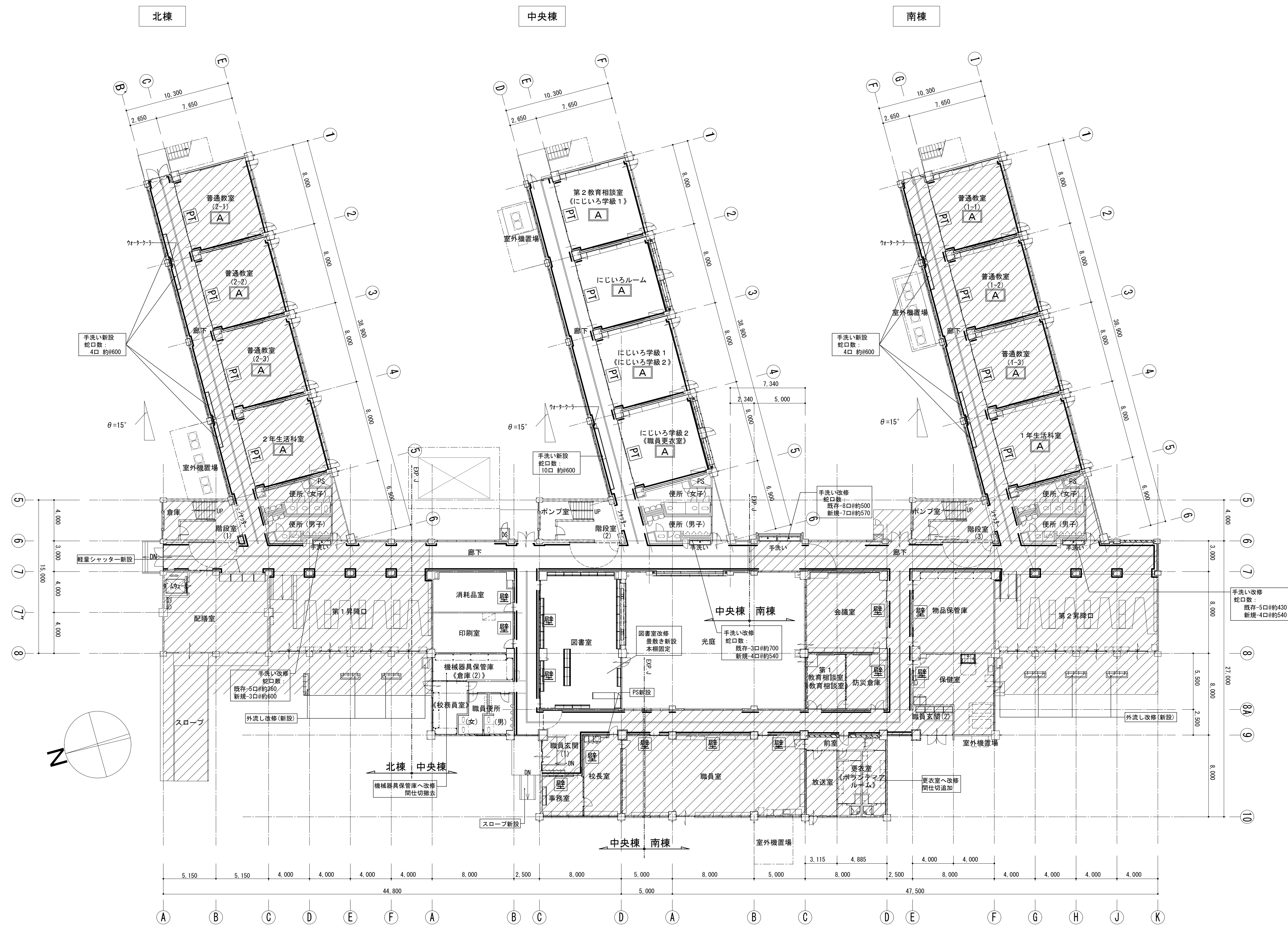
内部仕上表【中央棟】(2)

注記)「★」印建材はアスベスト含有建材として撤去処分すること。

棟	階	室名	床	巾木			壁	柱型	天井			廻り縁	梁型	備考	室名	
				仕上	H	塗装										
中央棟	2階	ピア活動室 《書庫(2)》	改修前	ブナフローリングブロック OSW 【図示部撤去】	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP 合板目透し貼り t=5.5 OP(背面)	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製【撤去】	3000	塩ビ製 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	スチール黒板【撤去】、掲示板【撤去】、清掃具入【撤去】、教師用戸棚【撤去】 本棚【撤去】、木製パーティション【撤去】	ピア活動室 《書庫(2)》
			改修後	サンダー掛けの上 1-UC ブナフローリングブロック t=15.0 1-UC 【図示部新設】	下地調整 下地調整 下地調整 腰壁部:木製【新設】	60	詳細図参照	腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏吸音ボード t=9.5(不燃)角孔一部孔なし【新設】	LGS 【新設】			塩ビ製 【新設】	下地調整の上 EP	
		外国語活動ルーム 《郷土資料室・教材室》	改修前	ブナフローリングブロック OSW 【図示部撤去】	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP 合板目透し貼り t=5.5 OP(背面)	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製【撤去】	3000	塩ビ製 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	スチール黒板【撤去】、掲示板【撤去】、清掃具入【撤去】、教師用戸棚【撤去】 本棚【撤去】、木製パーティション【撤去】、木製内部間仕切り・床組【撤去】	外国語活動ルーム 《郷土資料室・教材室》
			改修後	サンダー掛けの上 1-UC ブナフローリングブロック t=15.0 1-UC 【図示部新設】	下地調整 下地調整 下地調整 腰壁部:木製【新設】	60	詳細図参照	腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏吸音ボード t=9.5(不燃)角孔一部孔なし【新設】	LGS 【新設】			塩ビ製 【新設】	下地調整の上 EP	
		第2図書室 《視聴覚室》	改修前	ブナフローリングブロック OSW 【図示部撤去】	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP 合板目透し貼り t=5.5 OP(背面)	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製【撤去】	3000	塩ビ製 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	スチール黒板【撤去】、掲示板【撤去】、清掃具入【撤去】、教師用戸棚【撤去】 本棚【撤去】、木製パーティション【撤去】	第2図書室 《視聴覚室》
			改修後	サンダー掛けの上 1-UC ブナフローリングブロック t=15.0 1-UC 【図示部新設】	下地調整 下地調整 下地調整 腰壁部:木製【新設】	60	詳細図参照	腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏吸音ボード t=9.5(不燃)角孔一部孔なし【新設】	LGS 【新設】			塩ビ製 【撤去】	下地調整の上 EP	
	3階	学習室 《第1音楽室》	改修前	フローリングブロックOSW【撤去】 ステージ部:フローリングボード【下地組共撤去】	ラワン【撤去】 モルタル金ゴテ	60	OP VP	木下地有孔シナ合板 VP 【図示部 仕上撤去・下地及びブロック共撤去】	モルタル金ゴテ VP	有孔合板 目透し貼り t=4.0 OP(1800×910) 【撤去】※段付天井	木製【撤去】	2900~3000	塩ビ製 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	上下黒板【撤去】、教師用棚【撤去】、掃除用具入れ【撤去】 調理台(生徒用9台、教師用1台)【撤去】、木製パーティション【撤去】	学習室 《第1音楽室》
			改修後	ステージ部:モルタル金ゴテ下地 他部:下地調整の上 フローリングブロック 1-UC【新設】	木製【新設】 下地調整	60	EP EP	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 有孔シナ合板 t=5.5 EP(一部木脚線下地共) LGS下地強化石膏ボード12.5+12.5下地	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	石膏ボード t=9.5+ロックウール吸音板 t=9.0 【新設】※フラット天井	LGS 【新設】	3000	塩ビ製 【新設】	下地調整の上 EP	上下黒板【新設】、教師用棚【新設】、掲示板【新設】、掃除用具入れ【新設】	
		家庭科室 内装制限対象居室	改修前	ウレタン系塗床	ラワン モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP シナ合板 目透し貼り t=5.5 OP	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製	3000	塩ビ製 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	上下黒板【撤去】、掲示板【撤去】、教師用棚【撤去】、掃除用具入れ【撤去】、背面黒板【撤去】 調理台(生徒用9台、教師用1台)【撤去】、木製パーティション【撤去】	家庭科室
			改修後	下地調整 ウレタン系塗床仕上(耐薬品性)	下地調整 下地調整		EP EP	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 合板部:石膏ボード t=9.5目透し EP	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏吸音ボード t=9.5(不燃)角孔一部孔なし【新設】	LGS 【新設】	3000	塩ビ製 【撤去】	下地調整の上 EP	上下黒板(ホワイトボード)【新設】、掲示板【新設】、教師用棚【新設】、掃除用具入れ【新設】 調理台(生徒用9台、教師用1台)【新設】、スチールパーティション【新設】	
		廊下 (6・B通り)	改修前	長尺塩ビシート【撤去】★	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP シナ合板 t=5.5 OP【図示部軸組共撤去】	モルタル金ゴテ VP	化粧石膏ボード t=9.0(910×910)【撤去】	木製【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】		人研ぎ流し【撤去】、センターラインW=100【撤去】 掲示板【撤去】	廊下 (6・B通り)
			改修後	下地調整の上 ビニル床シート t=2.0【新設】 (センターライン付)	下地調整 下地調整		EP EP	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 【壁新設部】 LGS下地強化石膏ボード12.5+12.5目透し EP 腰壁:上記下地の木製腰板貼り	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏ボード t=9.5(910×910)【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【撤去】		手洗い流し【新設】、センターラインW=100(ビニル床シート)【新設】 掲示板【新設】	
廊下 (普通教室前)	改修前	長尺塩ビシート【撤去】★	ラワンOP【図示部撤去】 モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	化粧石膏ボード t=9.0(910×910)【撤去】	木製【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】		生徒用ロッカー【撤去】、センターラインW=100【撤去】	廊下 (E通り)		
	改修後	下地調整の上 ビニル床シート t=2.0【新設】	下地調整 下地調整	60	詳細図参照	腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏ボード t=9.5(910×910)【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【撤去】		手洗い流し【新設】、センターラインW=100(ビニル床シート)【新設】 児童用フック【新設】			
物品庫	改修前	ブナフローリングブロック OSW 【図示部撤去】	ラワン モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP 合板目透し貼り t=5.5 OP(背面)	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製【撤去】	3000	塩ビ製 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	スチール黒板【撤去】、掲示板【撤去】、清掃具入【撤去】、教師用戸棚【撤去】 本棚【撤去】	物品庫		
	改修後	サンダー掛けの上 1-UC ブナフローリングブロック t=15.0 1-UC 【図示部新設】	下地調整 下地調整		EP EP	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP	化粧石膏吸音ボード t=9.5(不燃)角孔一部孔なし【新設】	LGS 【新設】			塩ビ製 【撤去】	下地調整の上 EP		収納棚【新設】	
児童会室	改修前	ブナフローリングブロック OSW 【図示部撤去】	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP 合板目透し貼り t=5.5 OP(背面)	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製【撤去】	3000	塩ビ製 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	スチール黒板【撤去】、掲示板【撤去】、清掃具入【撤去】、教師用戸棚【撤去】 本棚【撤去】、木製パーティション【撤去】	児童会室		
	改修後	サンダー掛けの上 1-UC ブナフローリングブロック t=15.0 1-UC 【図示部新設】	下地調整 下地調整 下地調整 腰壁部:木製【新設】	60	詳細図参照	腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏吸音ボード t=9.5(不燃)角孔一部孔なし【新設】	LGS 【新設】			塩ビ製 【撤去】	下地調整の上 EP		半曲面黒板【新設】、掲示板【新設】、清掃具入【新設】、教師用戸棚【新設】 生徒用ロッカー【新設】、スチールパーティション【新設】	
外国語ルーム 《被服室》	改修前	ブナフローリングブロック OSW 【図示部撤去】	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP 合板目透し貼り t=5.5 OP(背面)	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製【撤去】	3000	塩ビ製 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	スチール黒板【撤去】、掲示板【撤去】、清掃具入【撤去】、教師用戸棚【撤去】 本棚【撤去】、木製パーティション【撤去】	ピア活動室		
	改修後	サンダー掛けの上 1-UC ブナフローリングブロック t=15.0 1-UC 【図示部新設】	下地調整 下地調整 下地調整 腰壁部:木製【新設】	60	詳細図参照	腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏吸音ボード t=9.5(不燃)角孔一部孔なし【新設】	LGS 【新設】			塩ビ製 【撤去】	下地調整の上 EP		半曲面黒板【新設】、掲示板【新設】、清掃具入【新設】、教師用戸棚【新設】 生徒用ロッカー【新設】、スチールパーティション【新設】	
ミシン・被服室 《ミシン室》	改修前	ブナフローリングブロック OSW 【図示部撤去】	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP 合板目透し貼り t=5.5 OP(背面)	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製【撤去】	3000	塩ビ製 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	スチール黒板【撤去】、掲示板【撤去】、清掃具入【撤去】、教師用戸棚【撤去】 本棚【撤去】、木製パーティション【撤去】	被服室・ミシン室		
	改修後	サンダー掛けの上 1-UC ブナフローリングブロック t=15.0 1-UC 【図示部新設】	下地調整 下地調整 下地調整 腰壁部:木製【新設】	60	詳細図参照	腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏吸音ボード t=9.5(不燃)角孔一部孔なし【新設】	LGS 【新設】			塩ビ製 【撤去】	下地調整の上 EP		上下黒板【新設】、掲示板【新設】、清掃具入【新設】、教師用戸棚【新設】 ミシン収納棚【新設】、スチールパーティション【新設】	
共通	階段室(2)	改修前	長尺塩ビシート貼り t=2.0【撤去】★	モルタル金ゴテ	60	VP	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	段裏:プラスチック塗り EP 最上階:化粧石膏ボード貼り【撤去】	直天 LGS【撤去】	—	塩ビ製	モルタル金ゴテ VP	自閉式甲種防火戸【撤去】、防火シャッター【撤去】、手摺:ステンレス製【撤去】 段鼻:ノンスリップ【撤去】、踊り場手摺【撤去】	階段室(2)	
		改修後	下地調整の上 長尺塩ビシート貼り t=2.0【新設】 (センターライン付)	下地調整		EP	下地調整の上 EP	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 最上階:化粧石膏ボード t=9.5(910×910) 【新設】	直天 LGS【新設】				塩ビ製	下地調整の上 EP		自閉式甲種防火戸【撤去】、防火シャッター【新設】、ビニル被覆製【新設】 段鼻:ノンスリップ【新設】、踊り場手摺【新設】

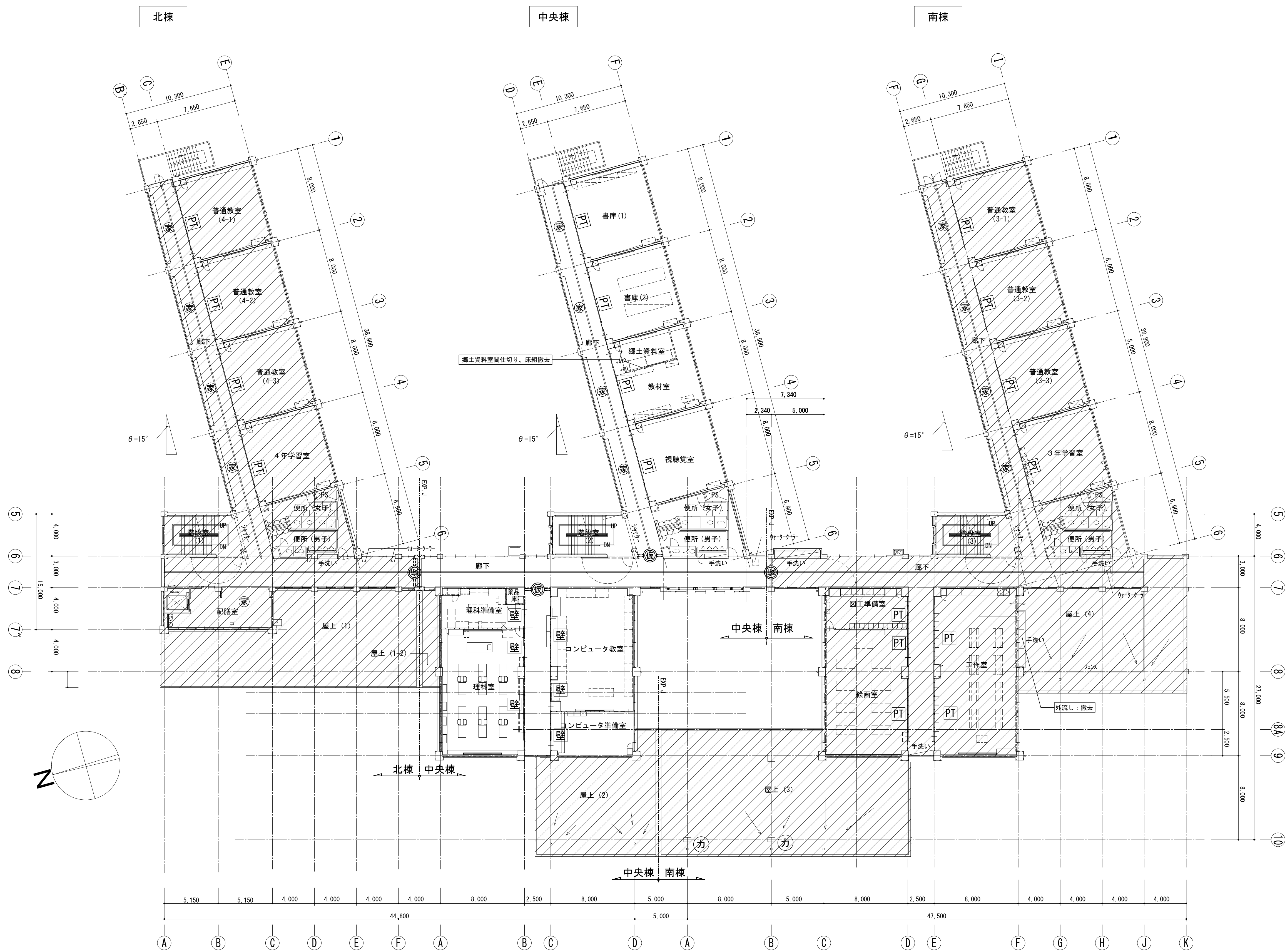






1階平面図 S=1/200

- 【凡例】
- ◀ ▶内は改修前の部屋名を示す
  - ▨ 改修範囲外を示す
  - ▧ 腰壁範囲を示す
  - PT スチールパーティション改修部を示す
  - 壁 防火壁改修部を示す
  - A 普通教室仕様改修部を示す



2階平面図 S=1/200

- 【凡例】
- 改修範囲外を示す
  - 撤去間仕切り壁を示す (PT改修)
  - 撤去間仕切り壁を示す (防火壁改修)
  - 撤去家具を示す (各諸室内を除く)
  - 仮設間仕切りを示す (扉付)
  - 煙突：笠撤去

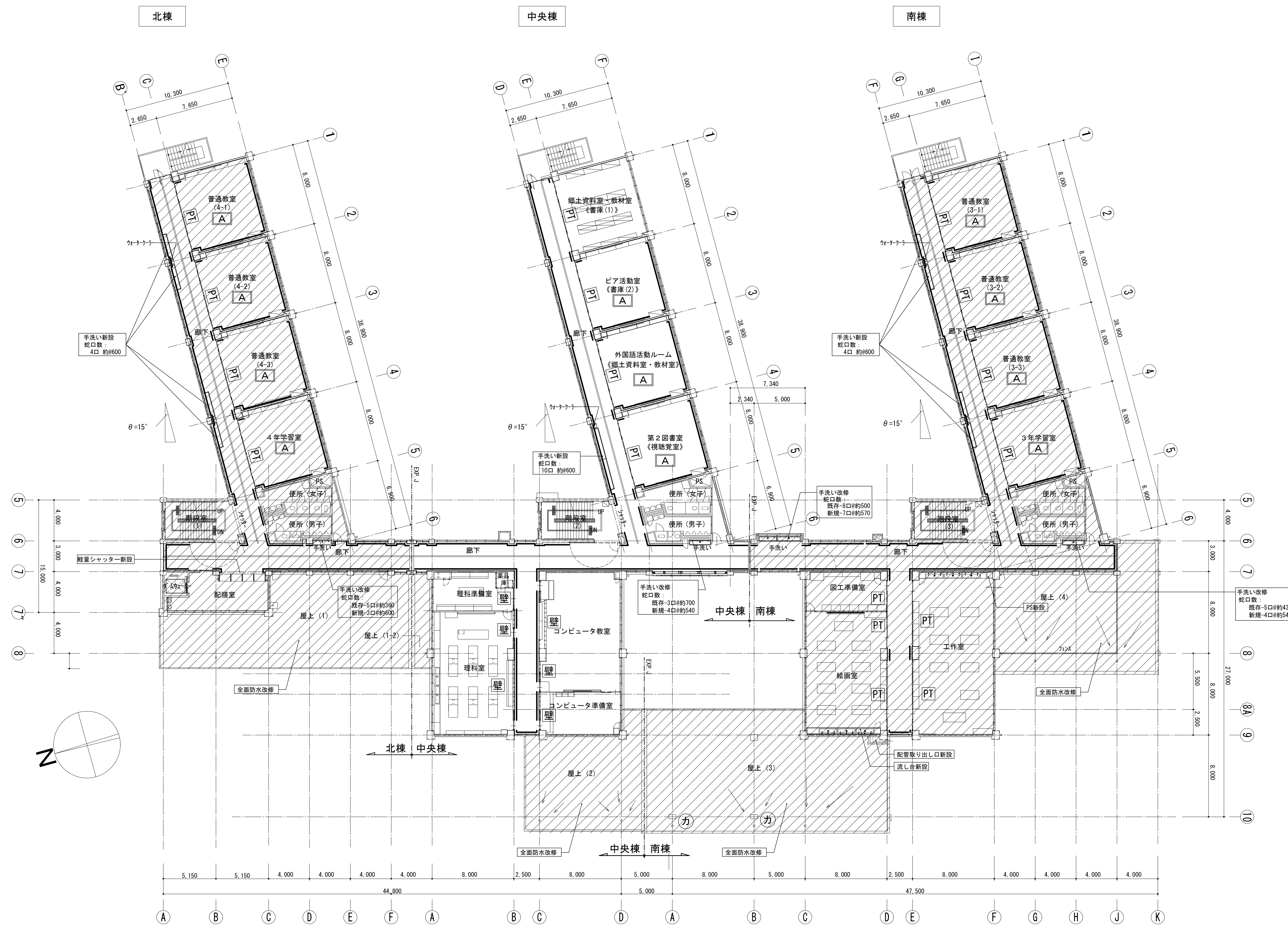

株式会社 松下設計 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)


市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

図面名	2階平面図	図面種別	A
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号	7

【改修前】





2階平面図 S=1/200

- 【凡例】
- ◀ ▶内は改修前の部屋名を示す
  - ▨ 改修範囲外を示す
  - ▩ 腰壁範囲を示す
  - PT スチールパーティション改修部を示す
  - 壁 防火壁改修部を示す
  - A 普通教室仕様改修部を示す
  - カ 煙突：笠新設







3階平面図 S=1/200

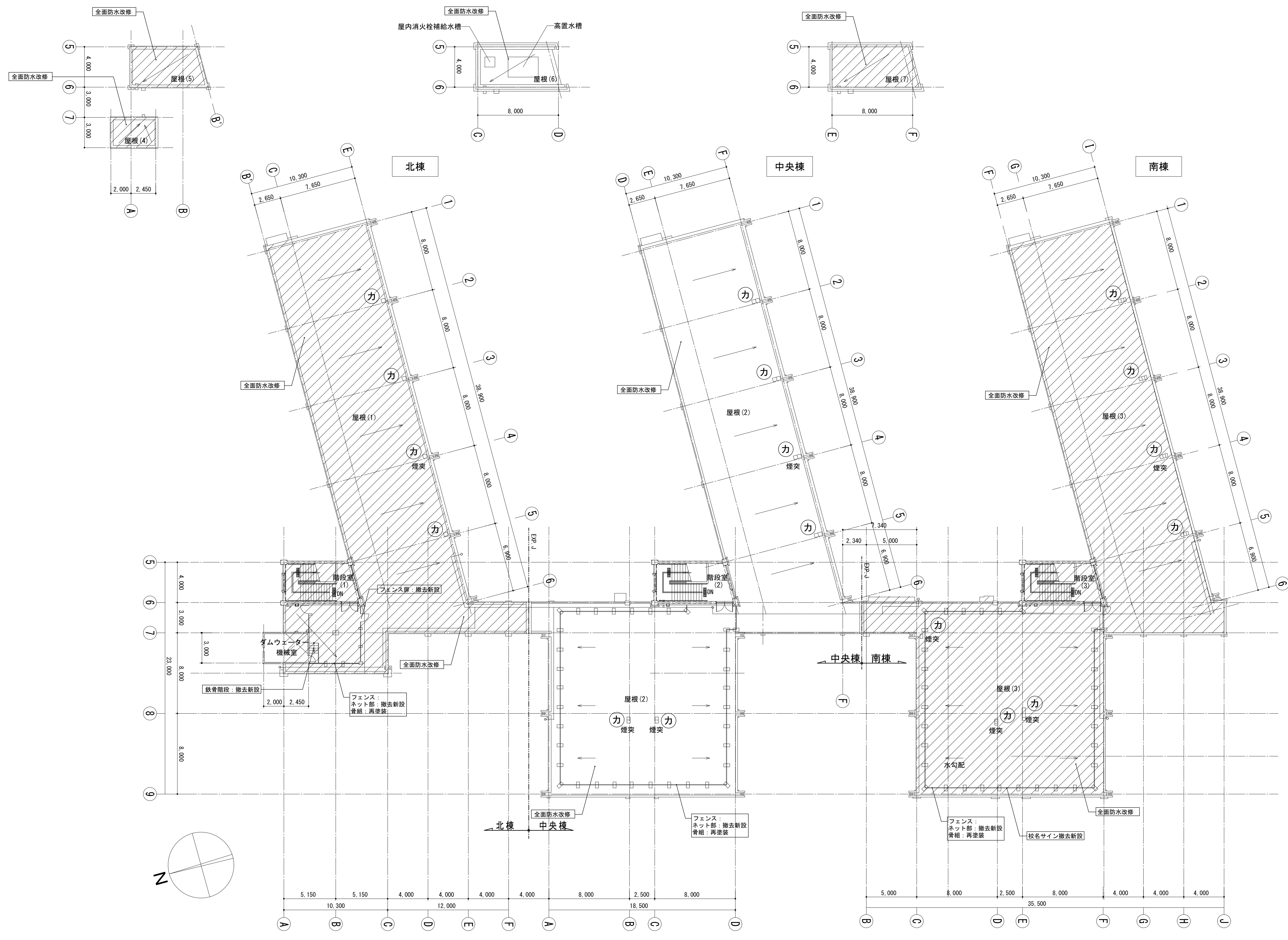
- 【凡例】
- ◀ ▶内は改修前の部屋名を示す
  - ▨ ▨ 改修範囲外を示す
  - 腰壁範囲を示す
  - PT スチールパーティション改修部を示す
  - 壁 防火壁改修部を示す
  - A 普通教室仕様改修室を示す
  - ▲ 非常用出入口に代わる開口部への改修建具を示す


株式会社 松下設計 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号 17-137	日付 2018年3月
設計部長 横田	担当 製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

図面名 3階平面図	図面種別 A
縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号 10



R・PH階平面図 S=1/200

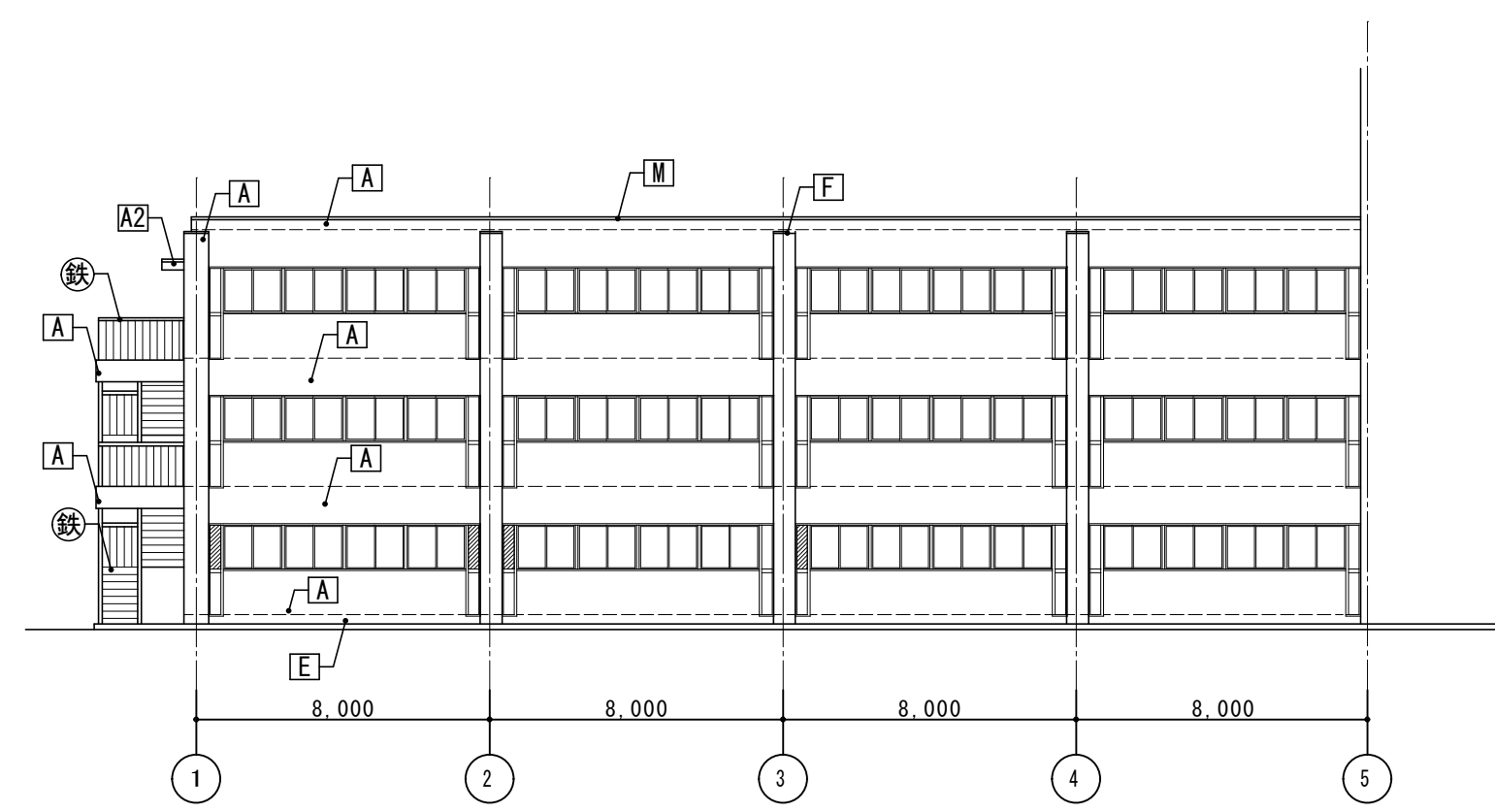
- 【凡例】
- (カ) 煙突：笠撤去・蓋新設
  - ▨ 改修範囲外を示す


株式会社 松下設計 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

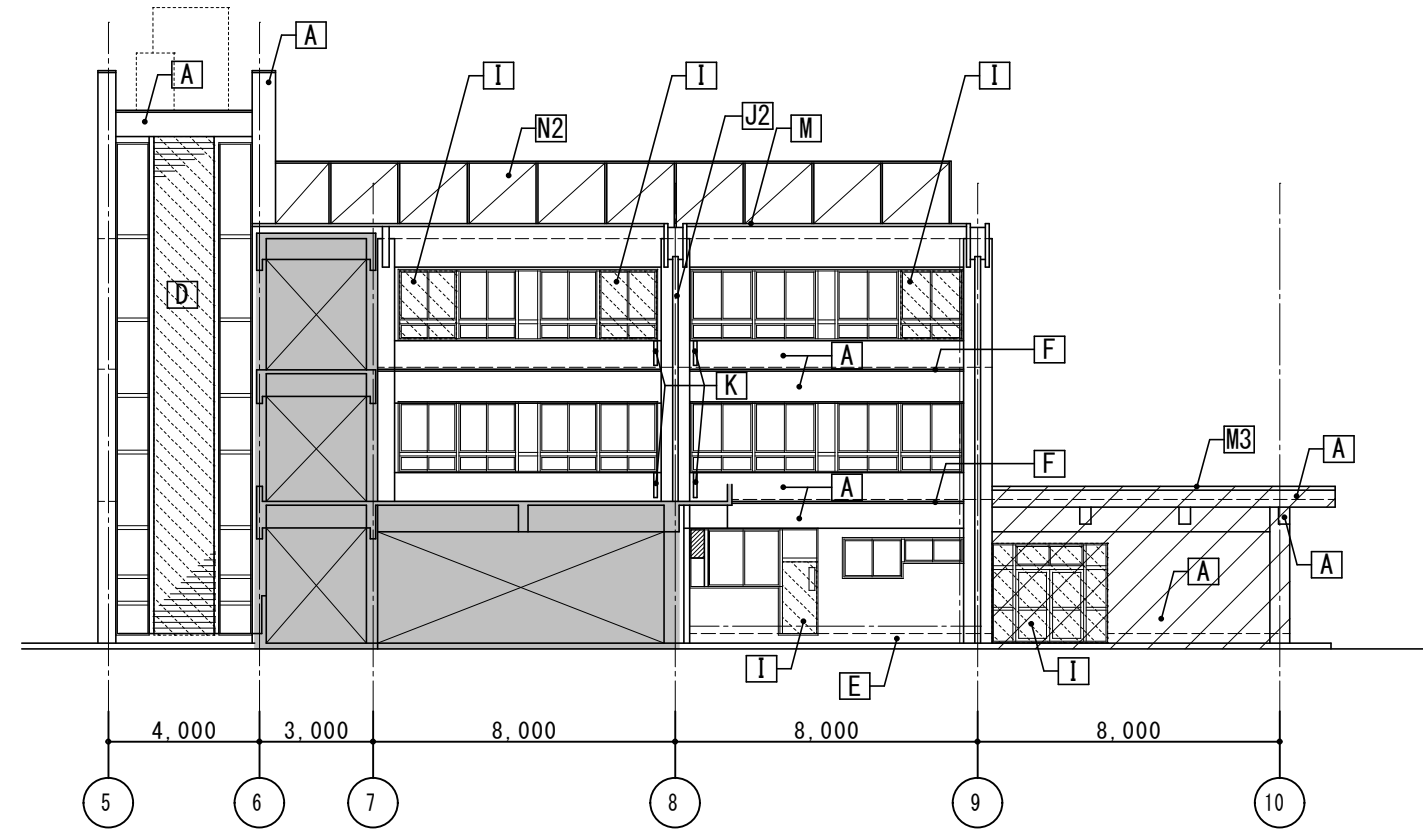

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

図面名	R・PH階平面図	図面種別	A
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号	11

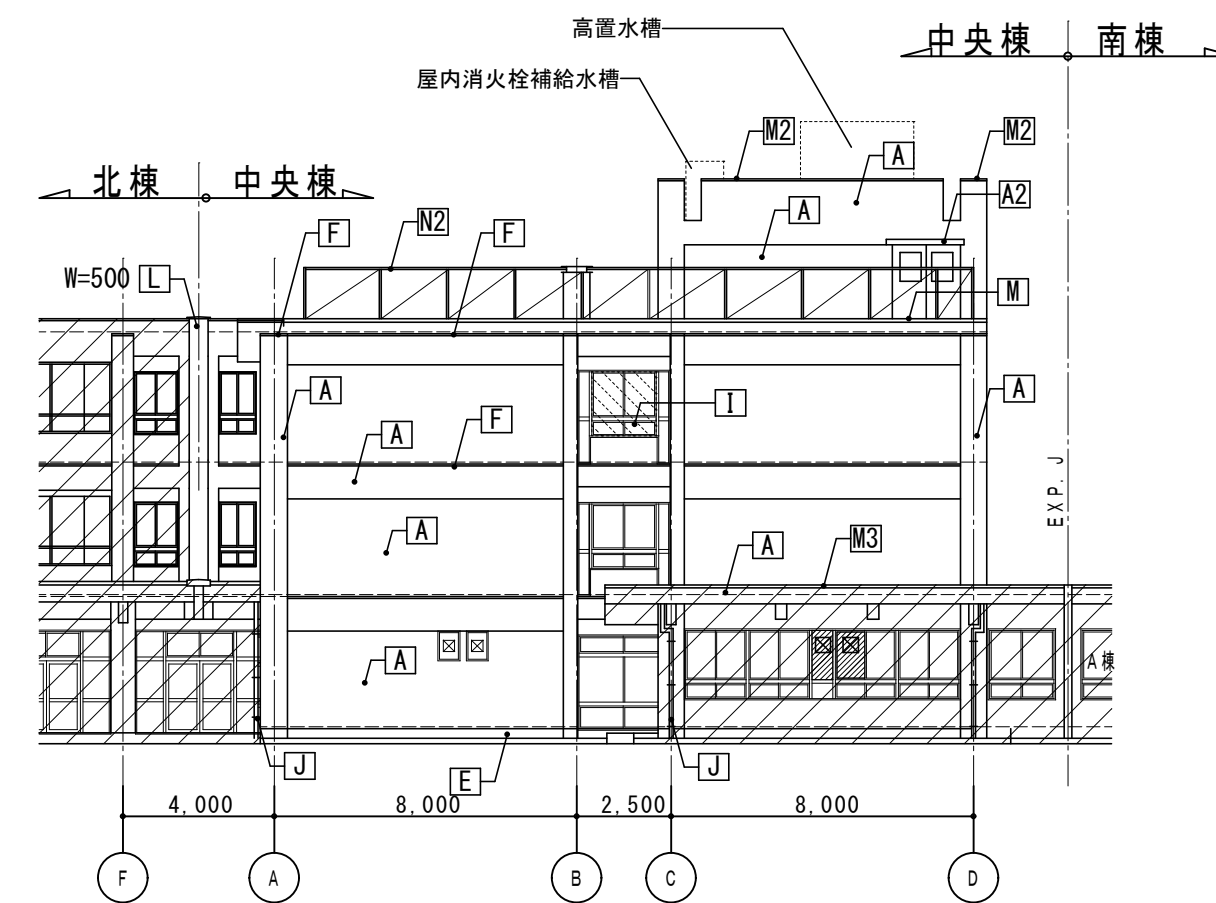




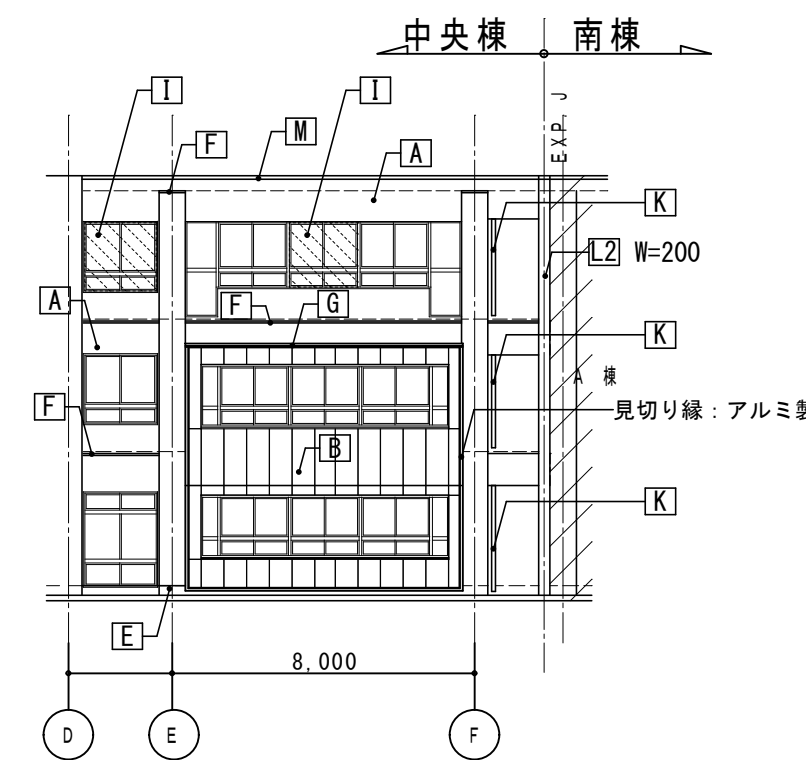
北側立面図1(中央棟) S=1/200



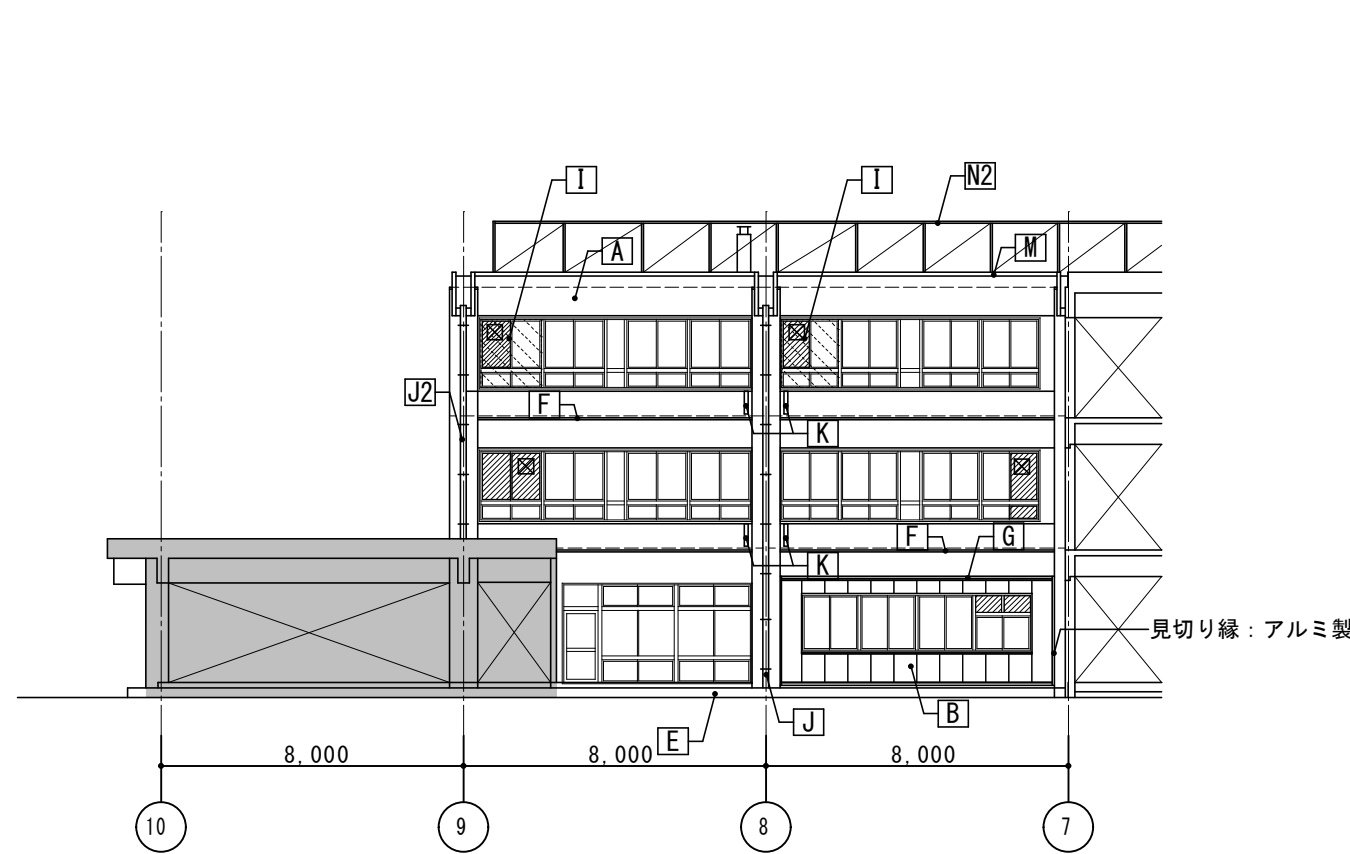
北側立面図2(中央棟) S=1/200



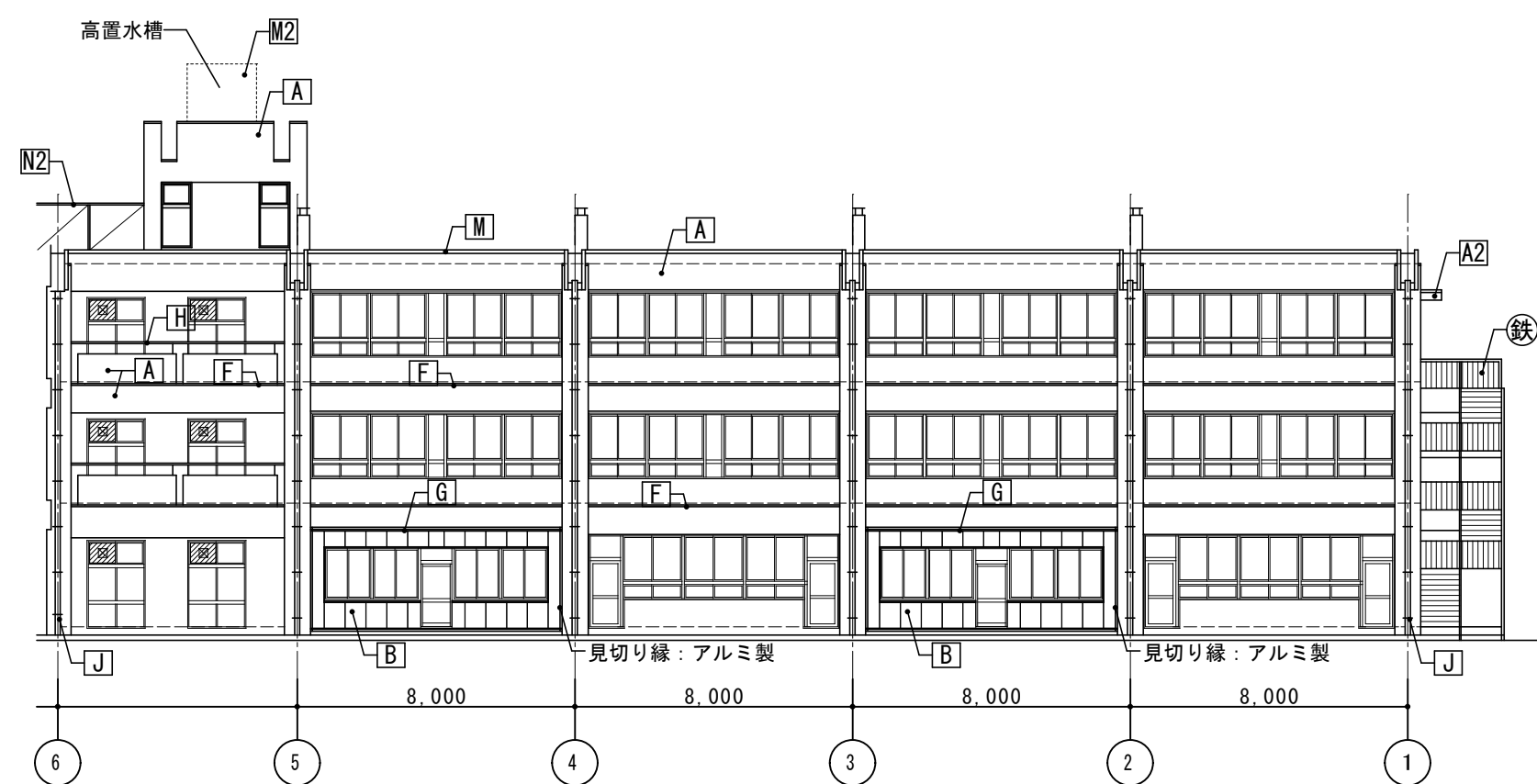
西側立面図1(中央棟) S=1/200



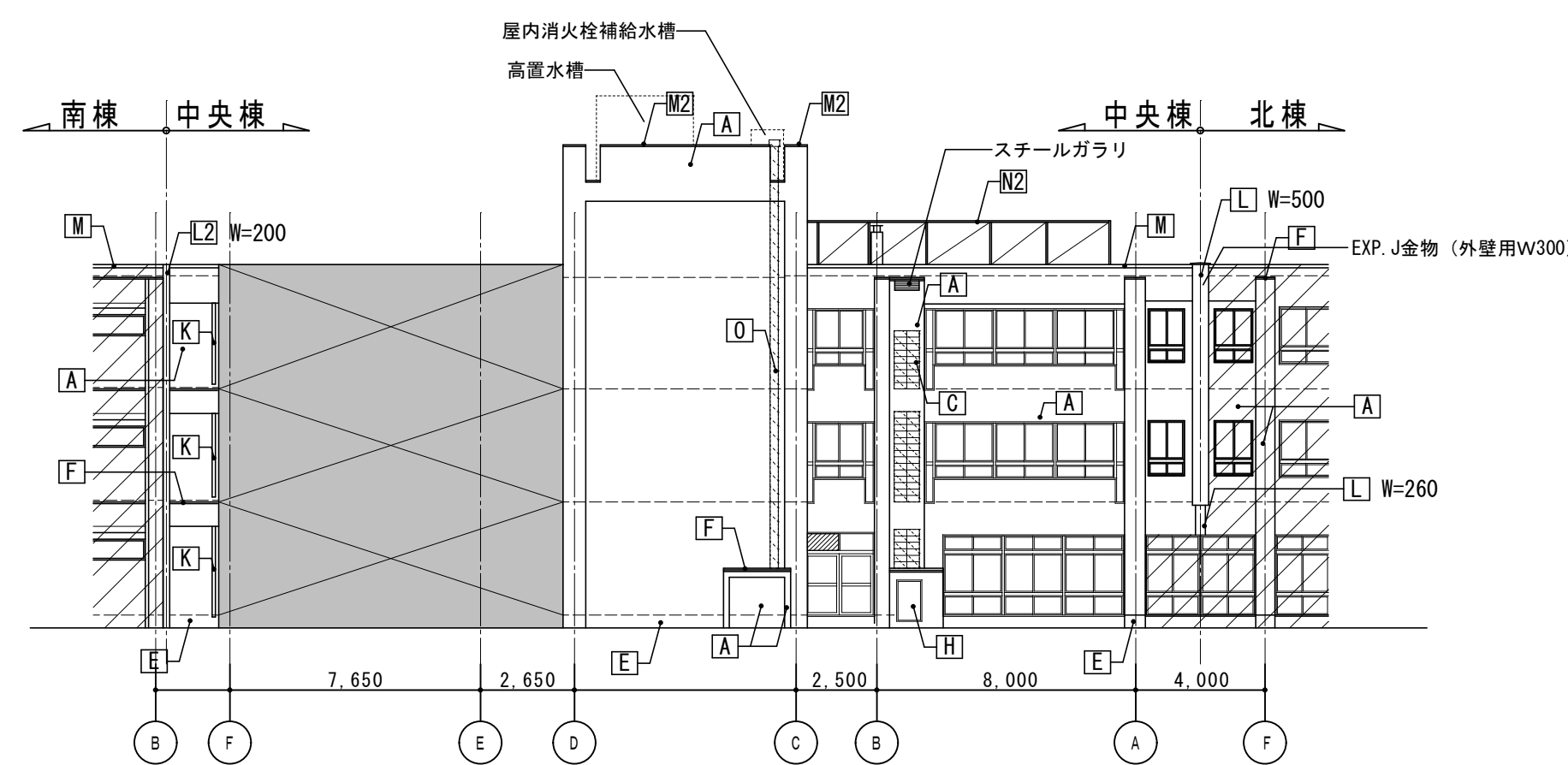
西側立面図2(中央棟) S=1/200



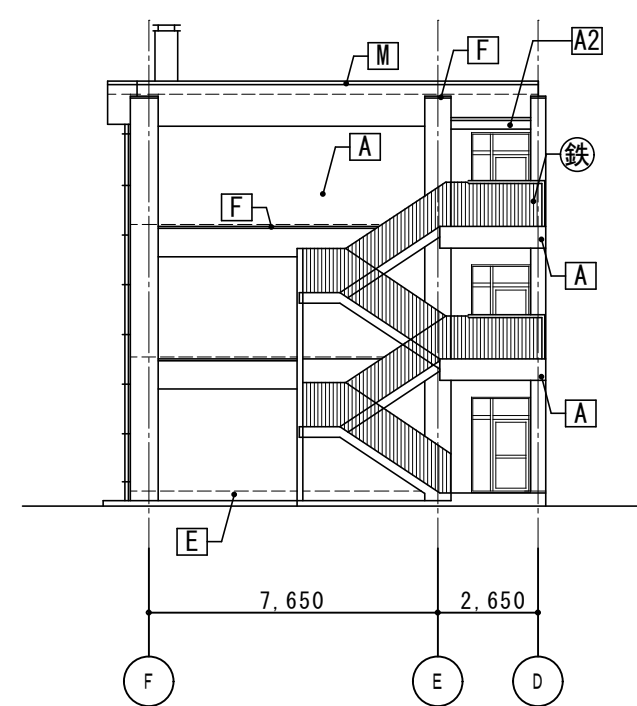
南側立面図1(中央棟) S=1/200



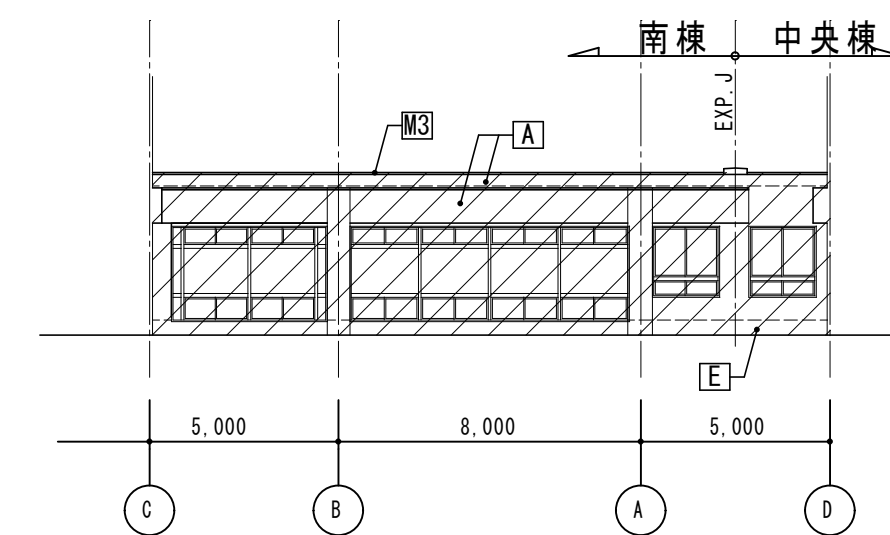
南側立面図2(中央棟) S=1/200



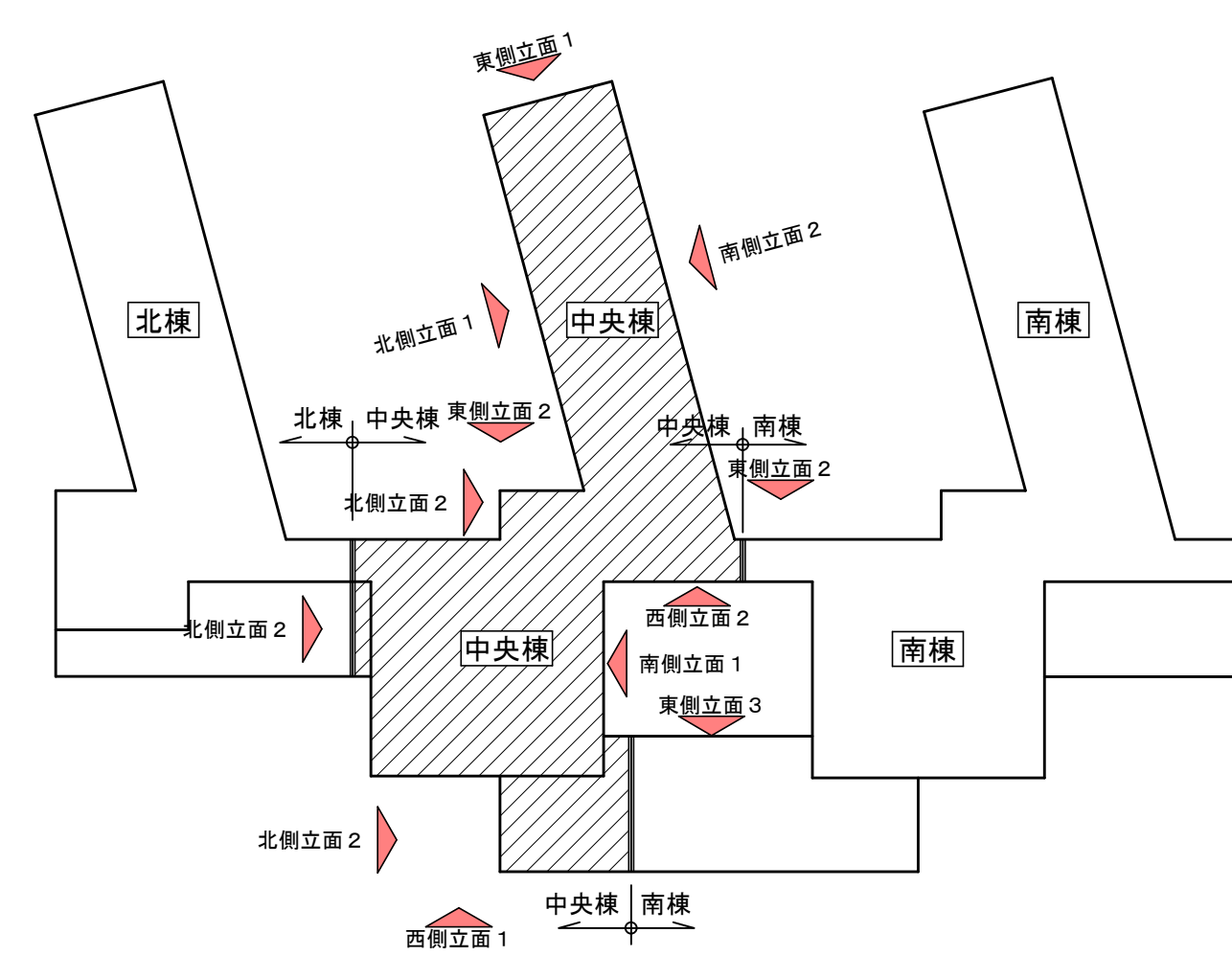
東側立面図2(中央棟) S=1/200



東側立面図1(中央棟) S=1/200



東側立面図3(南棟) S=1/200 (2期)

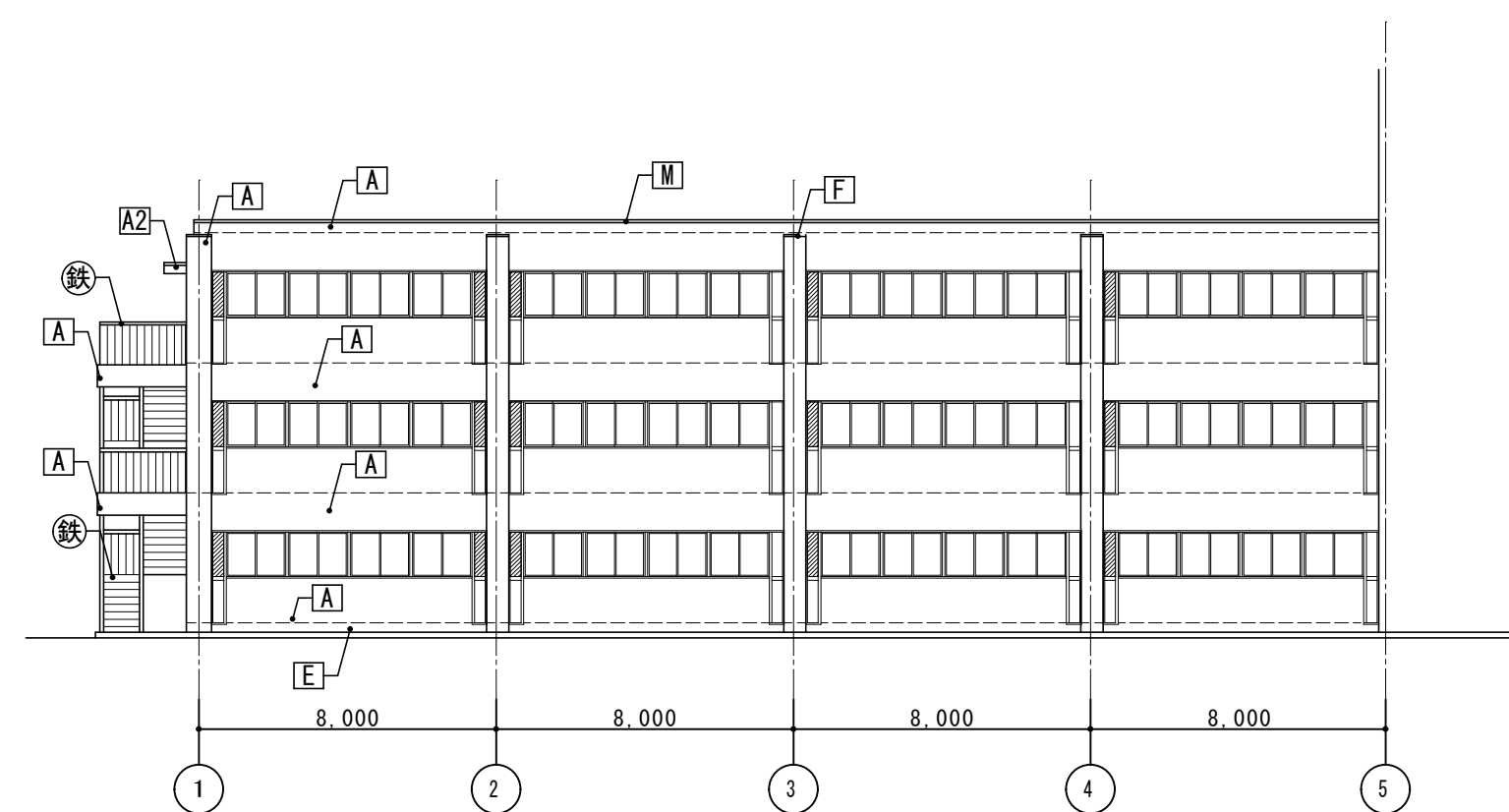


立面キープラン S=1/600

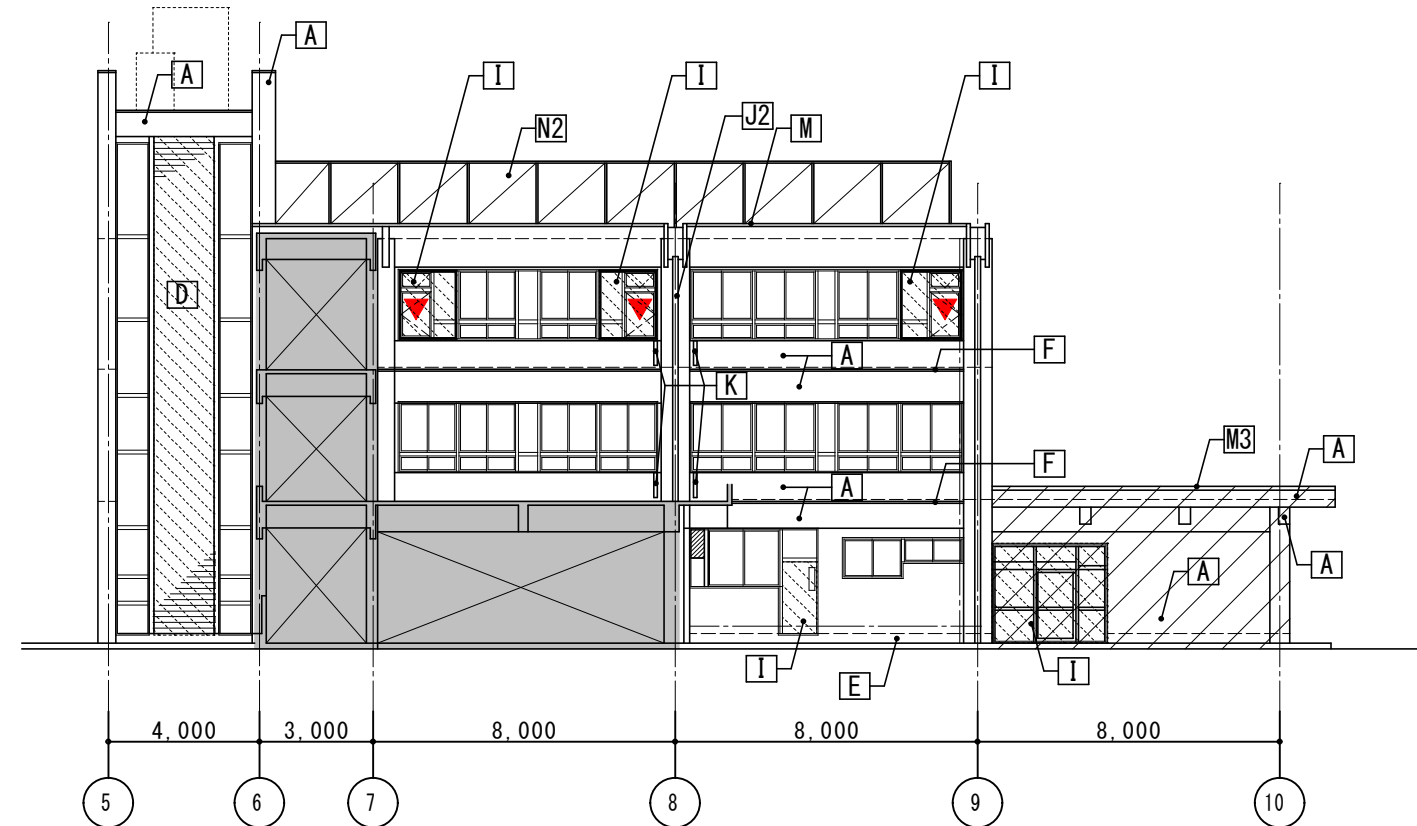
符号	仕上	符号	仕上
[A]	外壁: コンクリート打放しフジコート吹付けの上吹付タイル(E)【撤去】	[K]	耐震スリット: W=30 【シーリング撤去】
[A2]	庇: コンクリート打放しフジコート吹付けの上吹付タイル(E)【撤去】	[L]	EXP. J アルミ製 【撤去】
[B]	外壁: 押出成型セメント板の上複層仕上塗材(E)	[L2]	EXP. J スチール製 【撤去】
[C]	外壁: ブロック積み下地フジコート吹付けの上吹付タイル(E)【ブロック共撤去】	[M]	笠木: 鋼板曲げ加工 W=300【一時撤去】
[D]	外壁: レンガ半長さ積み【撤去】	[M2]	笠木: アルミ製【一時撤去】
[D2]	外壁: レンガ半長さ積みの上塗仕上【レンガ共撤去】	[M3]	笠木: プレキャストコンクリート製【撤去】
[E]	地中木: コンクリート打ち放しモルタル仕上【レンガ共撤去】	[N]	ネットフェンス H=1000【ネットのみ撤去】
[F]	梁型: モルタル下地フジコート吹付け柱上の上吹付タイル(E)【仕上撤去】	[N2]	ネットフェンス H=1500【ネットのみ撤去】
[G]	庇: アルミ製	[N3]	メッシュフェンス H=1000【メッシュのみ撤去】
[H]	手摺: スチール製	[O]	煙突: 浄化槽煙突塩ビ製 250φ【撤去】
[I]	建具: アルミ製【図示部のみ撤去】	[⊗]	鉄骨階段 溶融垂鉛メッキ仕上
[I2]	建具: スチール製		
[J]	縦樋: VP100φ 養生管 SGP125φ FP塗装 H=2000【支持金物共撤去】		
[J2]	縦樋: VP100φ【支持金物共撤去】		

- 【共通事項】
- 1) 打継目地: シーリング撤去
  - 2) 凡例符号「A, A2, G, D2, F」アスベスト含有建材
  - 3) 既存建具廻りシーリング【撤去】
  - 4) 外壁吹付け塗材撤去にあたっては、建設時の塗膜(フジコート)を含め撤去すること。
- 【特記事項】
- 1) 撤去工法: 集塵装置付き超高压水洗工法(100mpa以上)、湿式集塵装置付ディスクグラインダー工法併用(石綿規則第6条但し書き適用工法とする)
  - 2) 作業機関: 過去の実績において、今回採用の工法と同等の作業実績を持ち、その際の石綿粉塵気中濃度測定報告書所有する作業機関とする。また、作業機関の決定にあたっては前記資料等「石綿規則第6条但し書き」の適用工法であることが判る資料等を提示し監督員の承認を得ること。
  - 3) 廃水処理: 環境測定を行い下記に示した値を満たすことを確認すること。
    - ① 浮遊物質量(SS) 180(150)mg/L 未満 ( )内は日平均
    - ② PH 5.8<PH<8.6
    - ③ アスベスト含有量 アスベスト検出限界値50φ/L
  - 4) 吸引装置: ① 吸引圧力/真空圧 -50~90kpa  
② 風量 20~40m3
  - 5) アスベスト粉塵濃度測定
    - ① 測定箇所・測定時期: 施工区画周辺 4点(作業前・作業中・作業後)、作業付近 1点(作業中)
    - ② アスベスト除去は夏休期間中に行うこと。
  - 7) 参考工法: ウォータークリーン工法・ウォータークリーンSG工法又は、同等工法以上
- 【凡例】
- 打継目地を示す
  - 撤去部を示す
  - 改修範囲外を示す

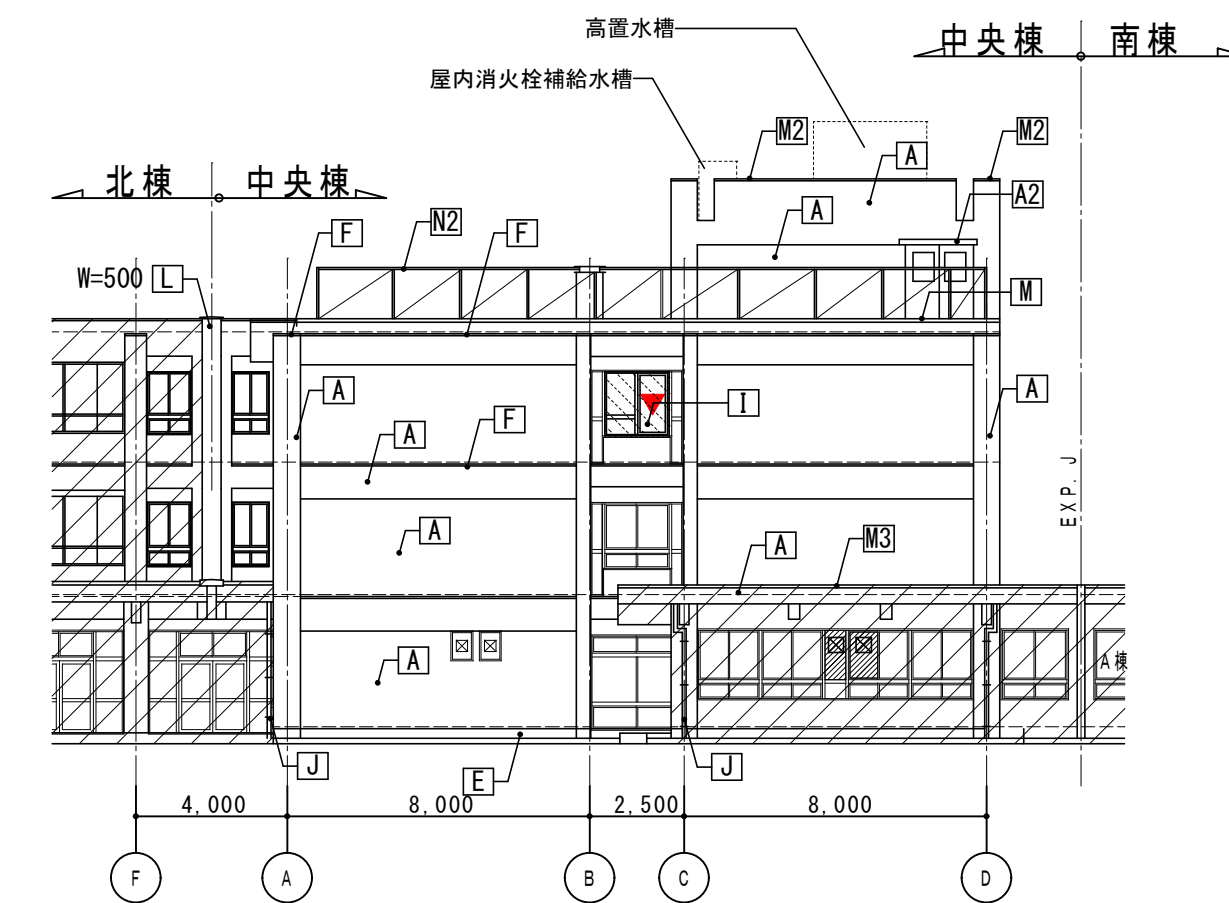




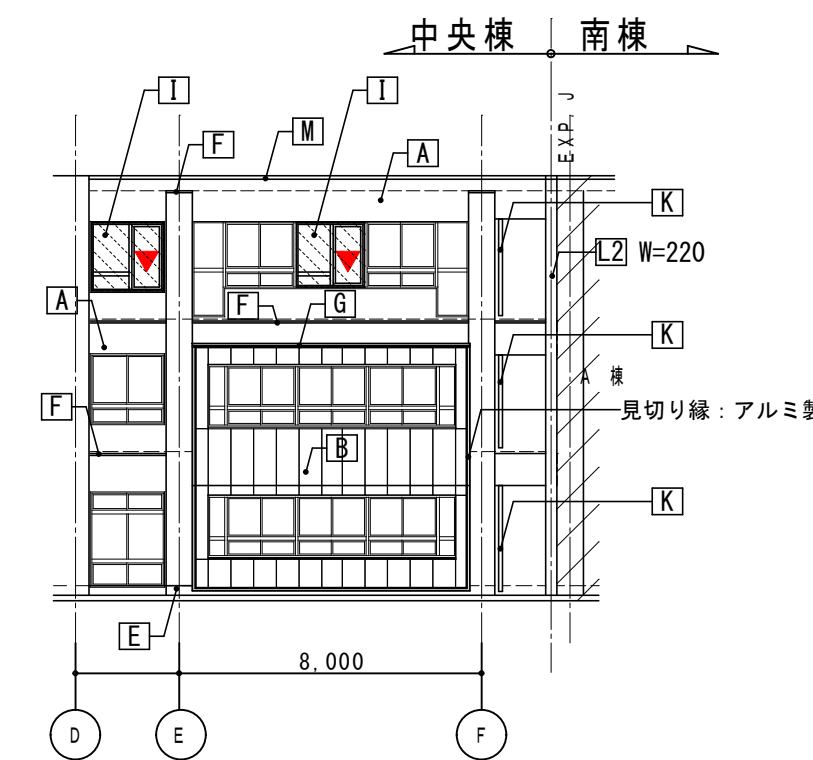
北側立面図1(中央棟) S=1/200



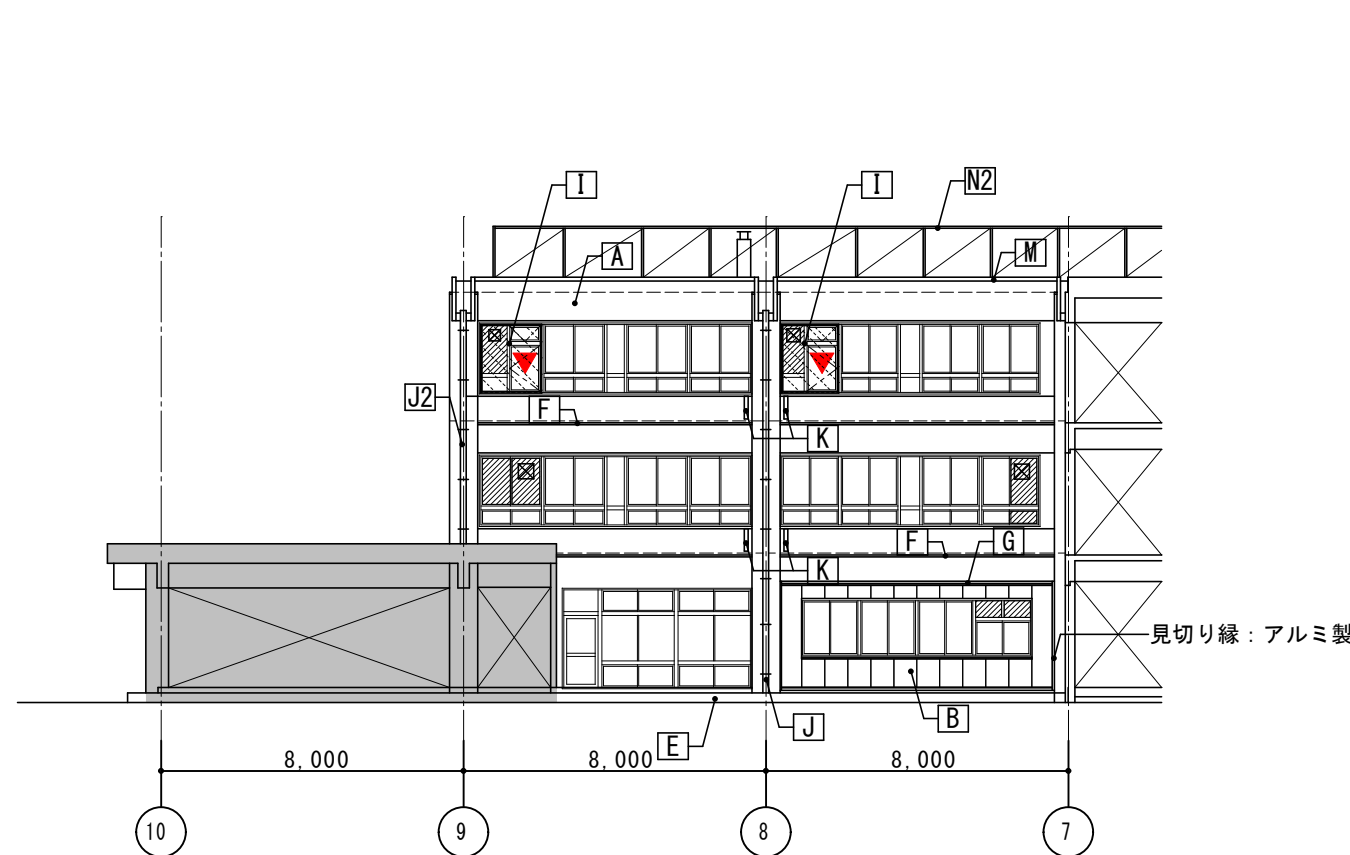
北側立面図2(中央棟) S=1/200



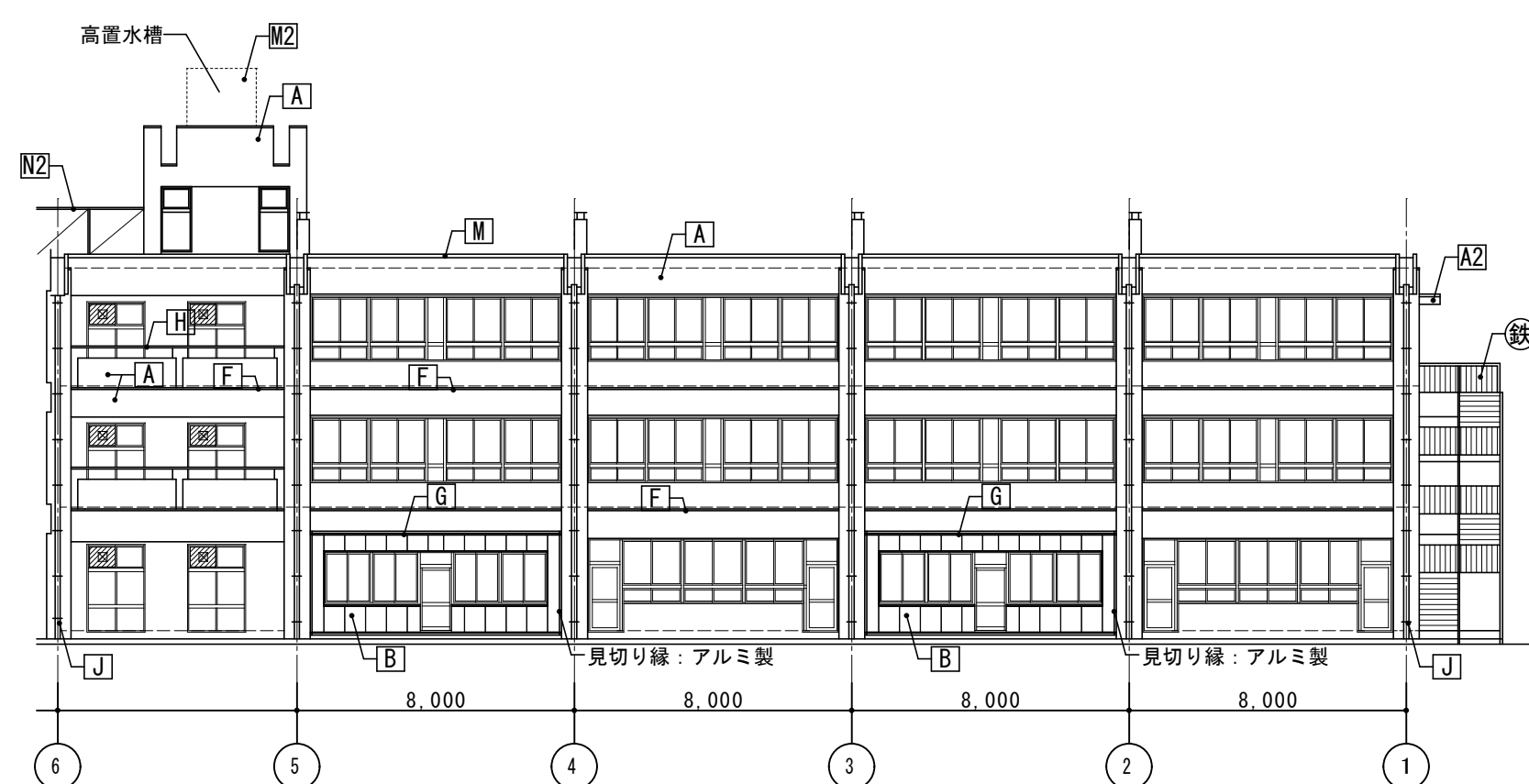
西側立面図1(中央棟) S=1/200



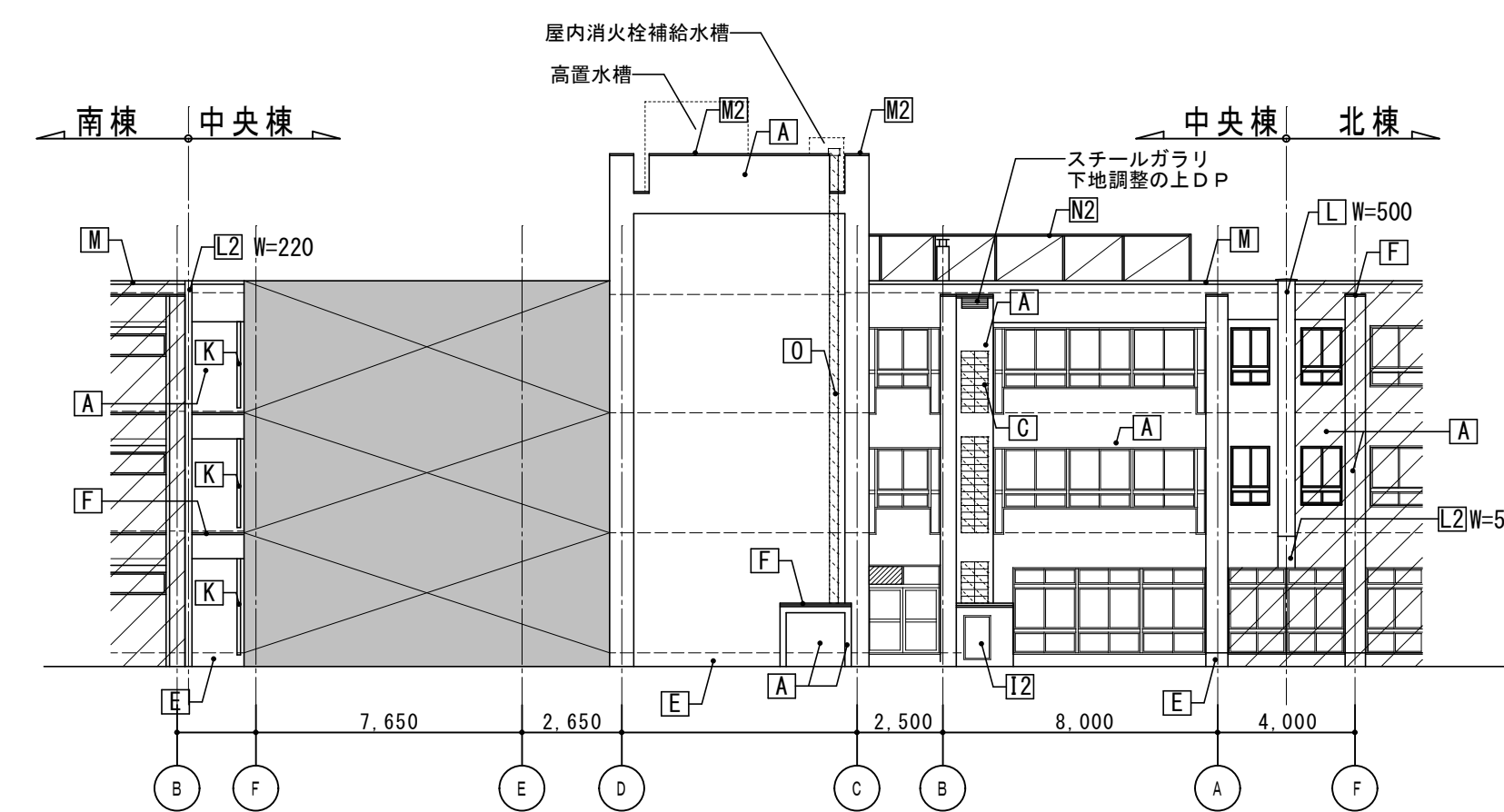
西側立面図2(中央棟) S=1/200



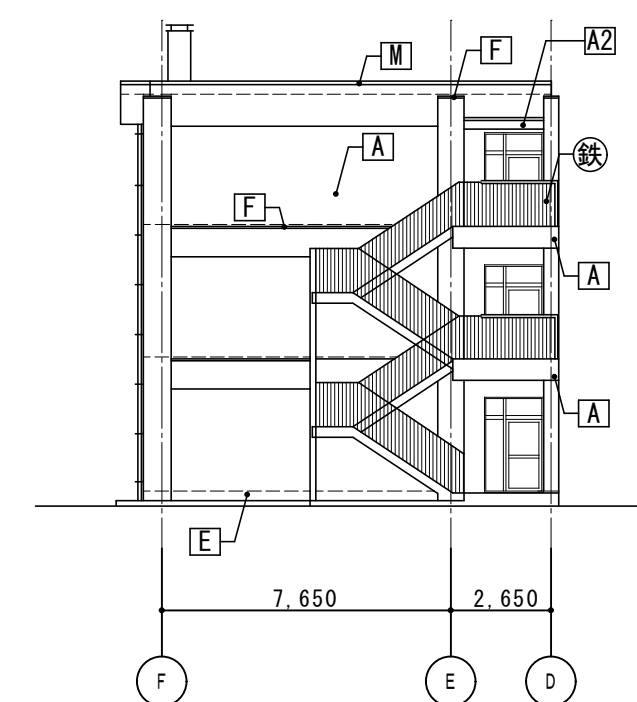
南側立面図1(中央棟) S=1/200



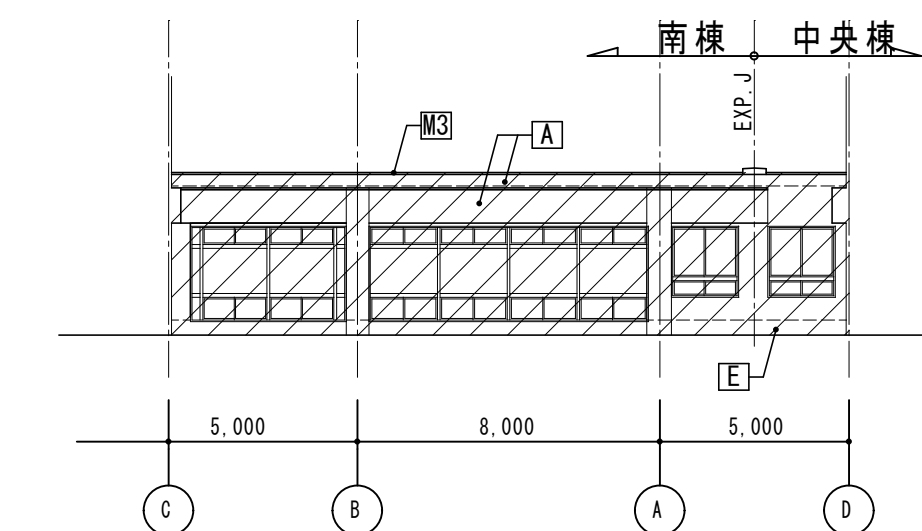
南側立面図2(中央棟) S=1/200



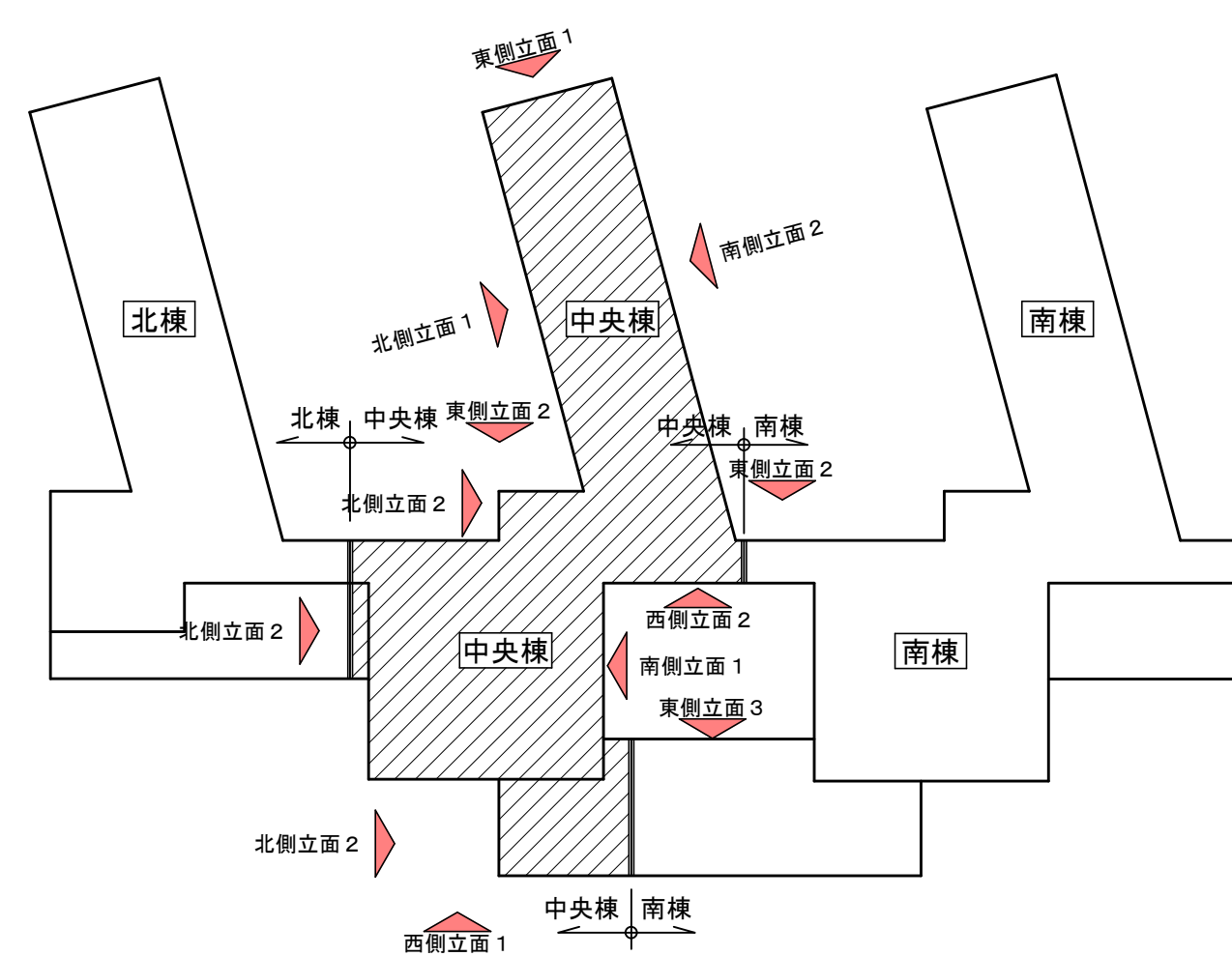
東側立面図2(中央棟) S=1/200



東側立面図1(中央棟) S=1/200



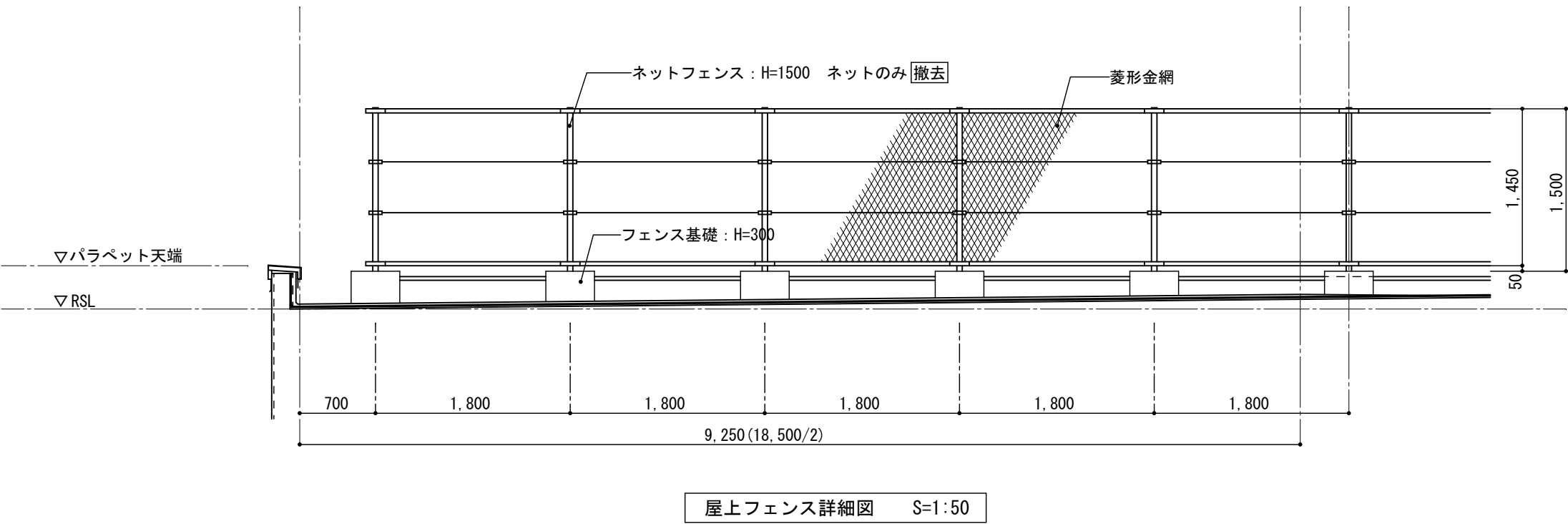
東側立面図3(南棟) S=1/200 (2期)



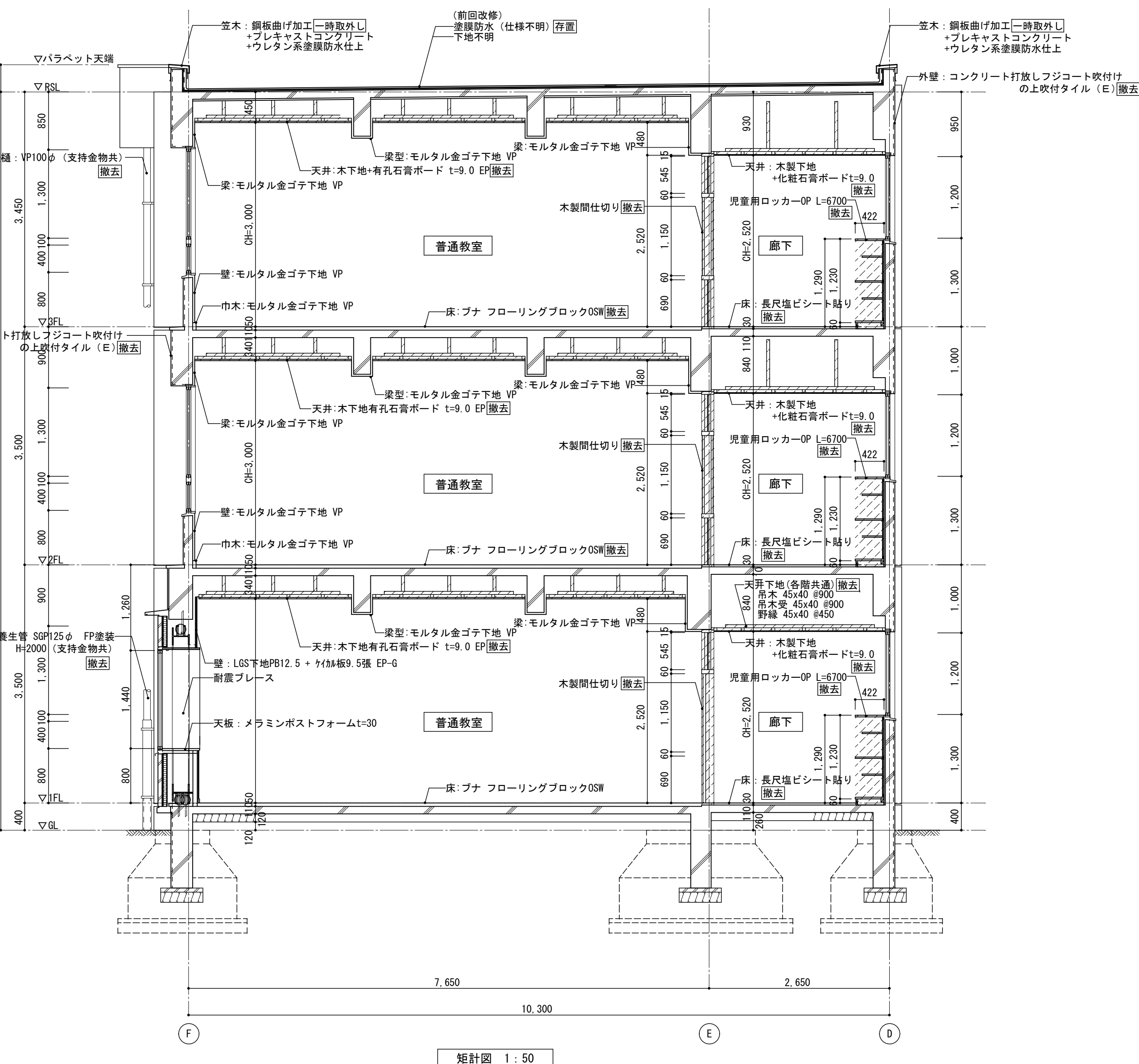
立面キープラン S=1/600

符号	仕上	符号	仕上
[A]	外壁(RC部):劣化部補修後下地調整材C-2の上防水型複層塗材E【新設】	[K]	耐震スリット:W=30【シーリング新設】
[A2]	庇(鼻先・尖端):劣化部補修後下地調整材C-2の上防水型複層塗材E【新設】	[L]	EXP. J アルミ製(1H耐火)【新設】
[B]	外壁(押出成型セメント板部)下地調整の上可とう形改修塗材E【新設】	[L2]	EXP. J アルミ製(1H耐火)【新設】
[C]	外壁(レンガ積み部)ALC版 t=50 防水型複層塗材 E【新設】	[M]	笠木:鋼板曲げ加工 W=300【再取付】
[D]	外壁(レンガ積み部)モルタル目地切下地 防水型複層塗材 E【新設】	[M2]	笠木:アルミ製【再取付】
[D2]	外壁(レンガ積み部)モルタル目地切下地 防水型複層塗材 E【新設】	[M3]	笠木:アルミ製【新設】
[E]	地中木:高圧洗浄の上薄塗モルタル	[N]	ネットフェンス H=1800
[F]	梁型:外壁仕上げに同じ	[N2]	ネット新設、骨組み:下地調整の上SOP
[G]	柱上	[N3]	ネット新設、骨組み:下地調整の上SOP
[H]	底:アルミ製【清掃】	[O]	メッシュフェンス H=1800
[I]	手摺(スチール下地)下地調整の上D.P	[U]	メッシュ新設、骨組み:下地調整の上SOP
[I2]	手摺(スチール下地)下地調整の上D.P	[V]	---
[J]	堅樋:VP100φ(カラー)【支持金物共新設】	[W]	鉄骨階段【既存のまま】
[J2]	堅樋:VP100φ(カラー)【支持金物共新設】	[X]	非常用進入口に代わる開口部

- 【凡例】
- 打継目地を示す
  - 新設部を示す
  - 改修範囲外を示す

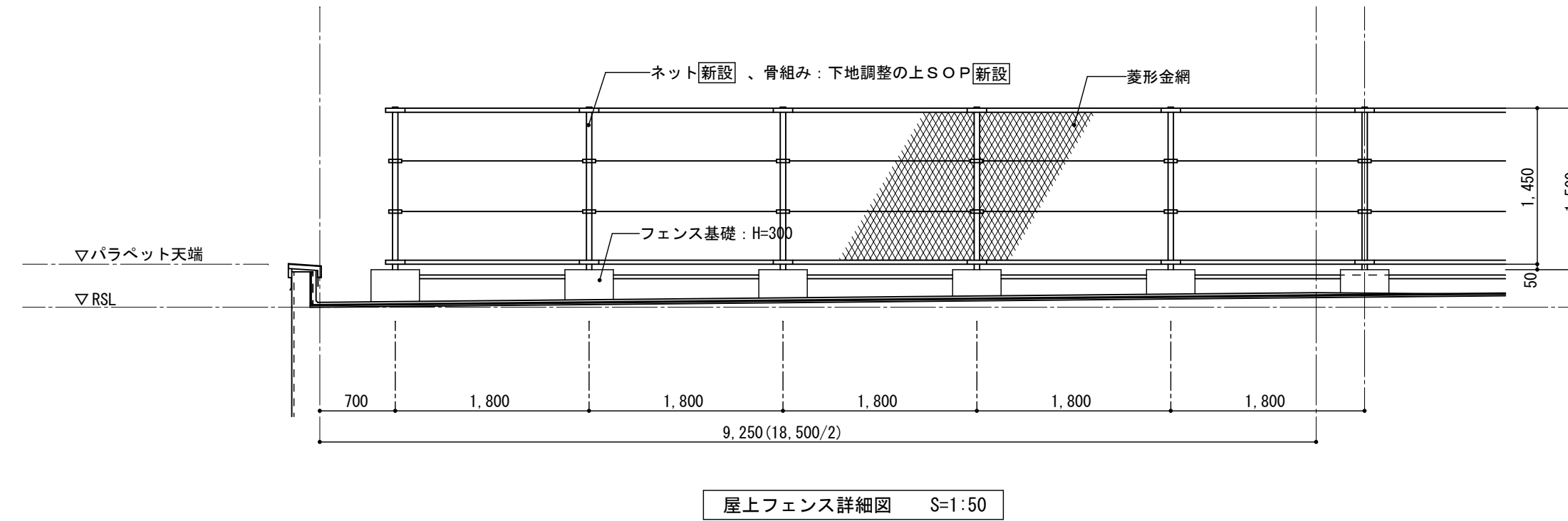


屋上フェンス詳細図 S=1:50

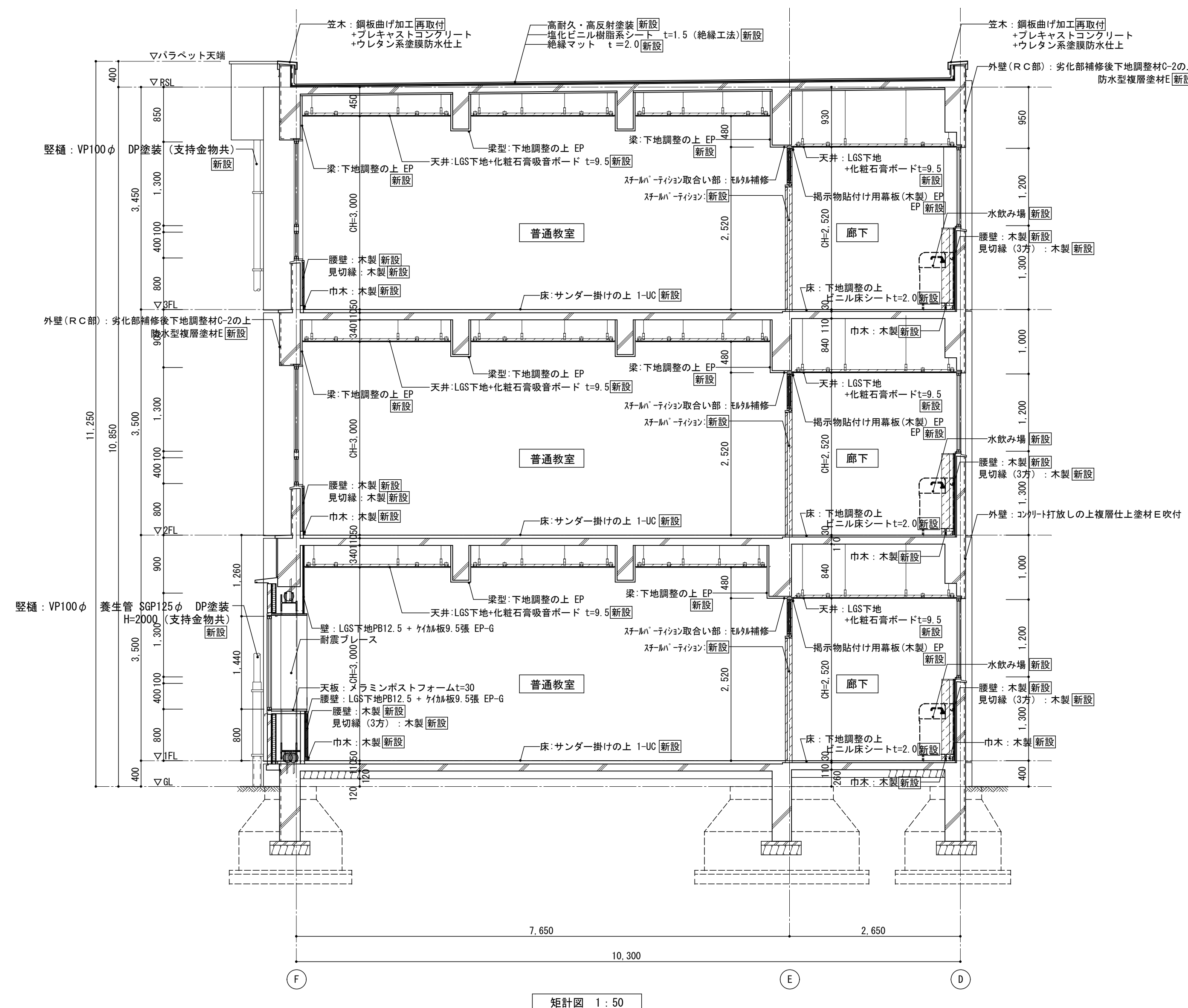


矩計図 1:50

<凡例>  
撤去範囲を示す



屋上フェンス詳細図 S=1:50



矩計図 1:50

<凡例>  
新設範囲を示す

図名	矩計図 (中央棟)
図面種類	A
図面番号	【改修前・後】
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)

株式会社 松下設計 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

図面番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横園	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

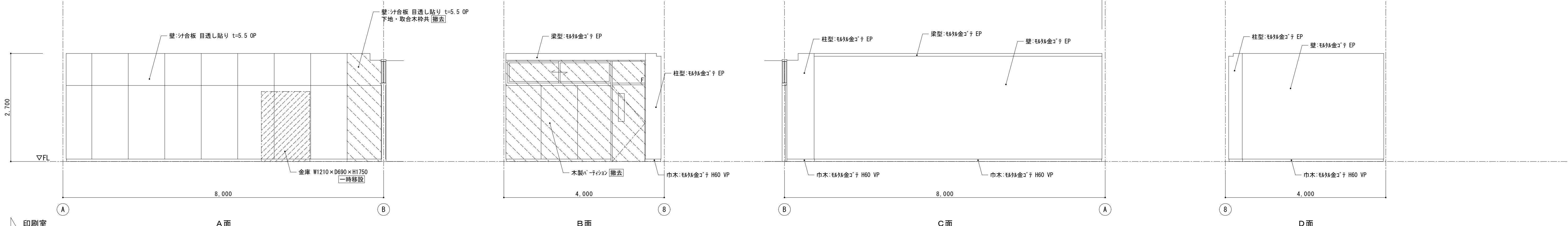
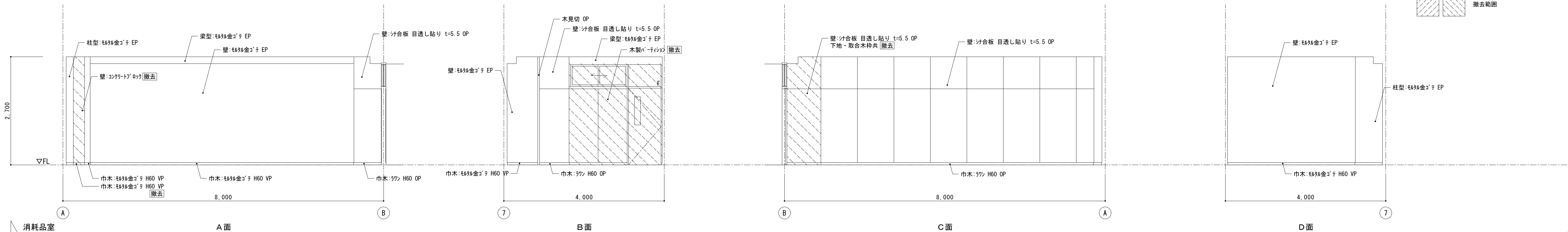
図面名	矩計図 (中央棟)	図面種類	A
図面番号	【改修前・後】	図面番号	
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	縮尺	1/4



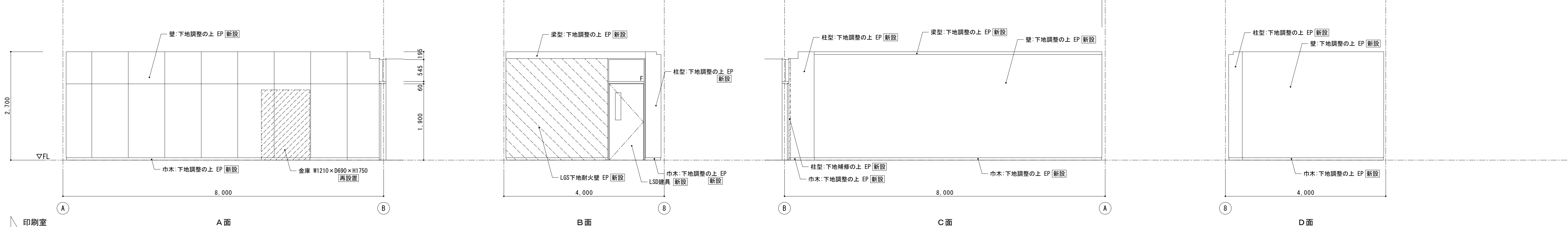
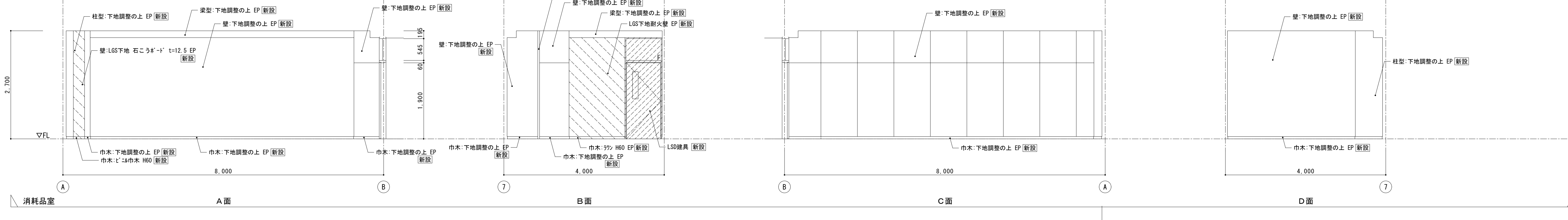




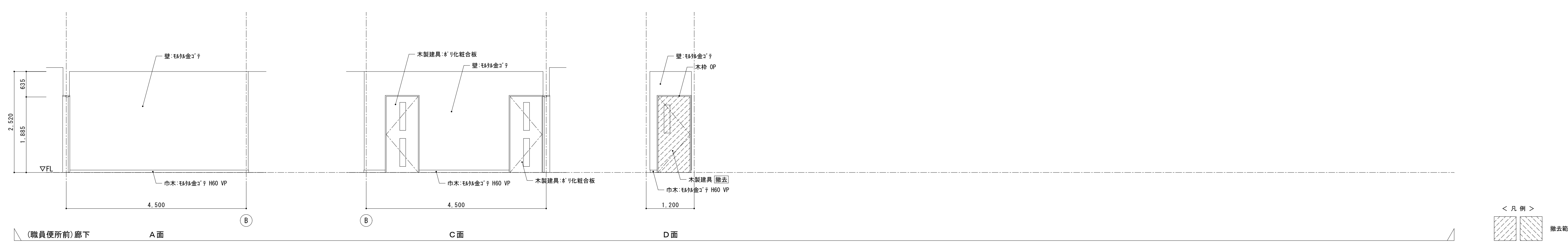
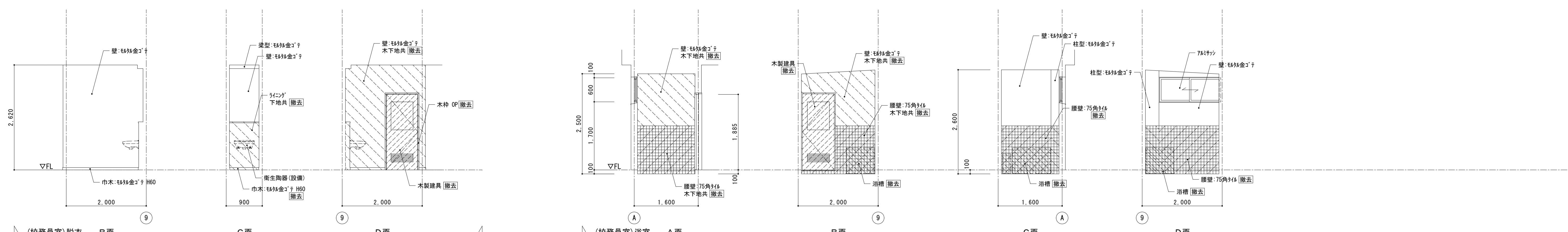
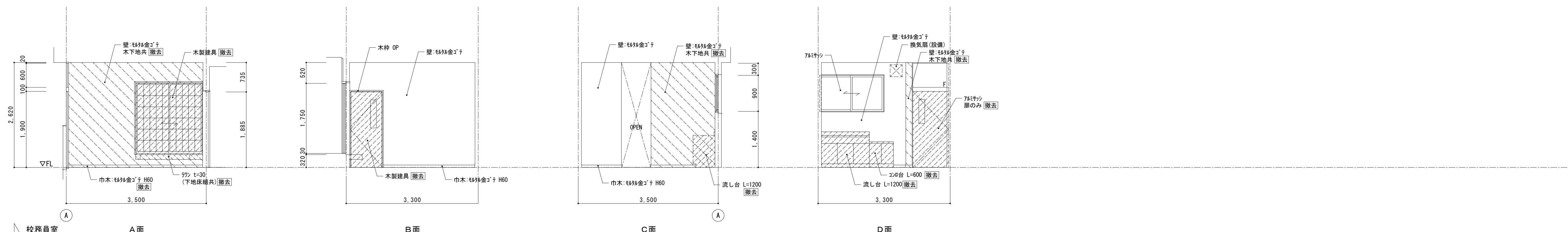
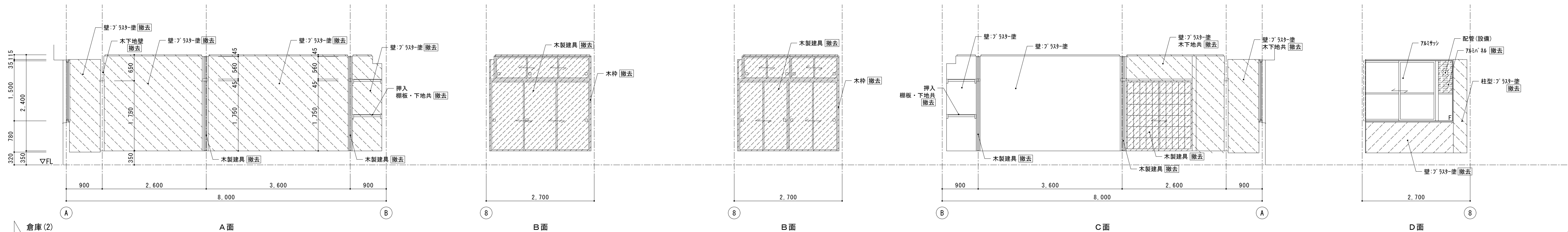
< 凡例 >  
撤去範囲




< 凡例 >  
新設範囲

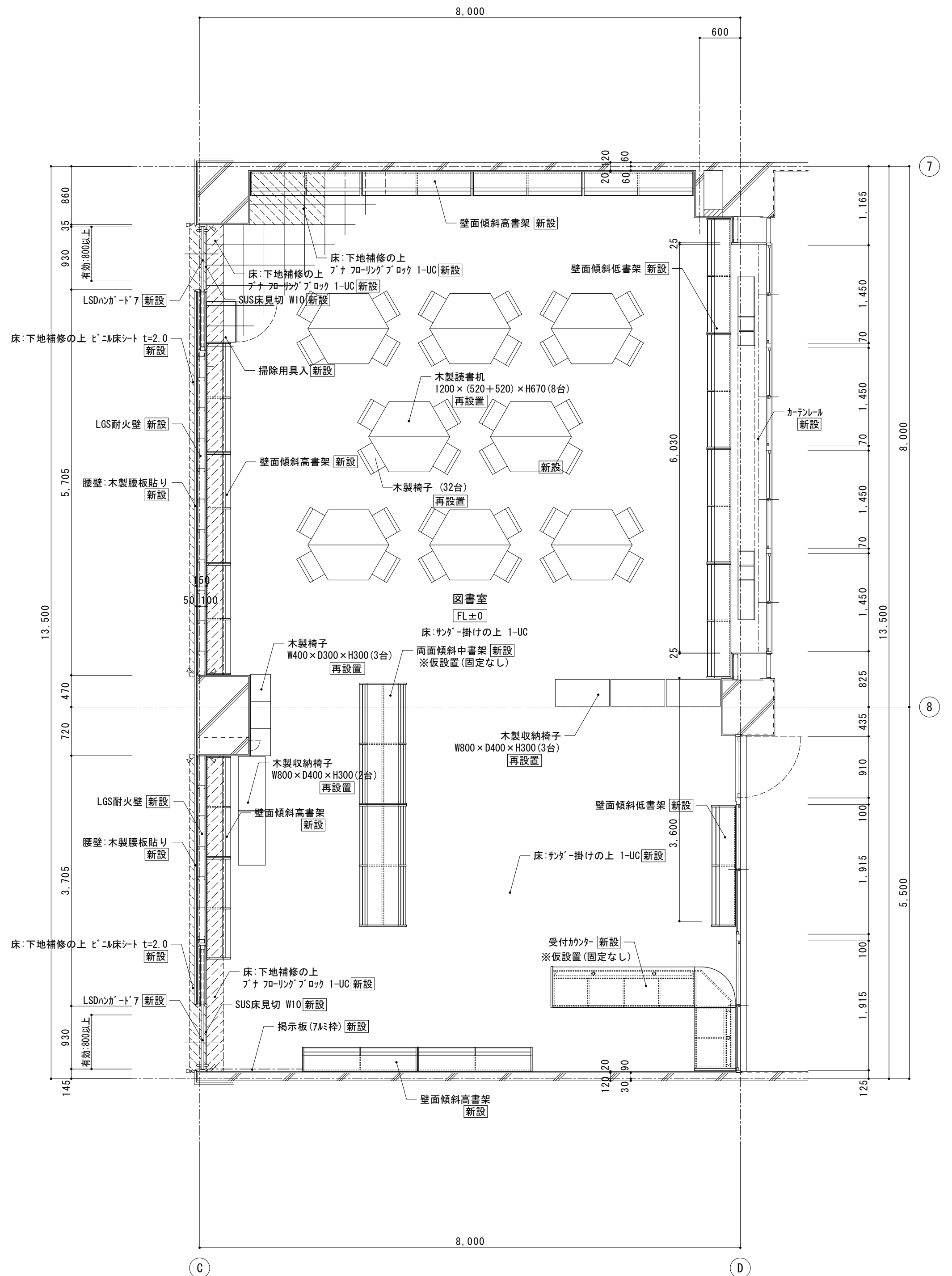
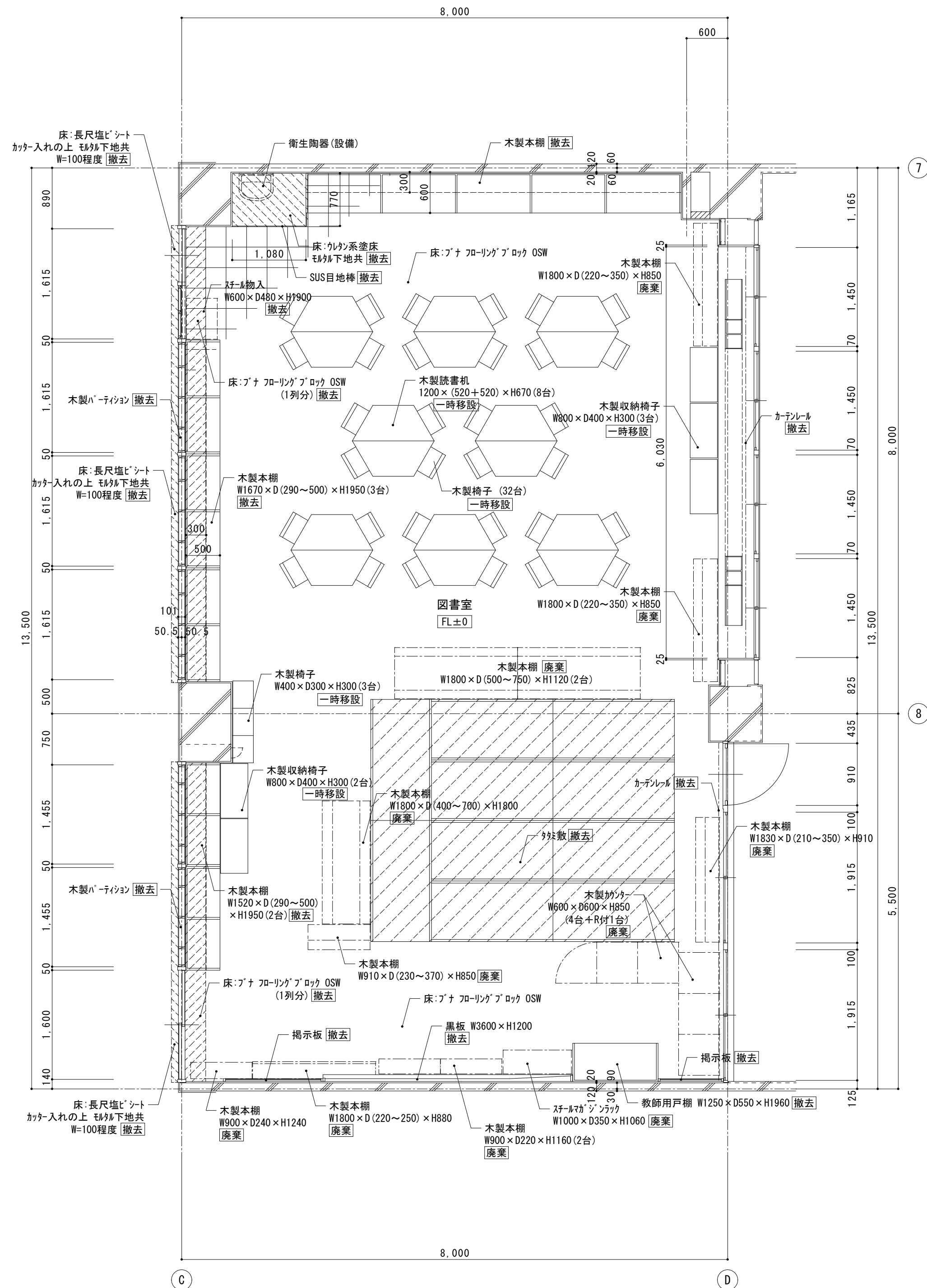
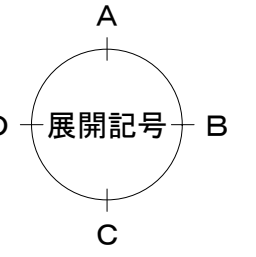
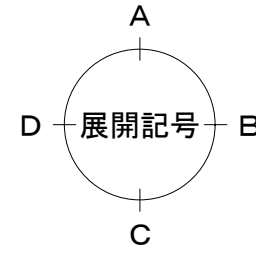






< 凡例 >  
 撤去範囲





< 凡例 >  
床撤去範囲

< 凡例 >  
床新設範囲  
シーリング (RC-LGS壁取合 等)

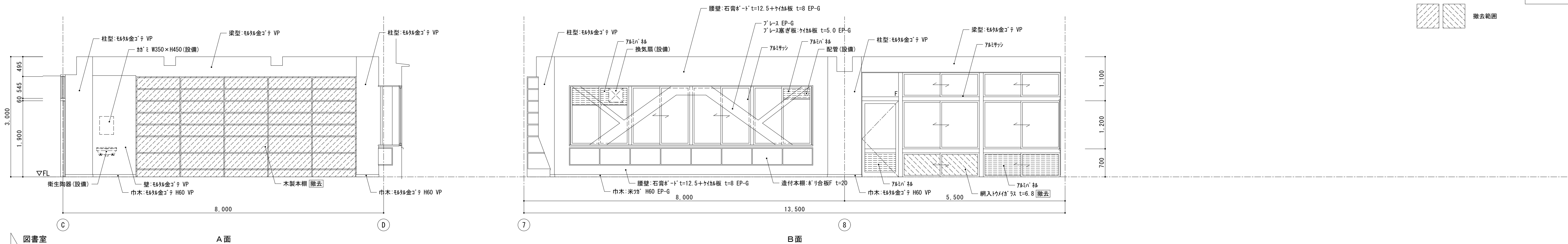

**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横岡	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

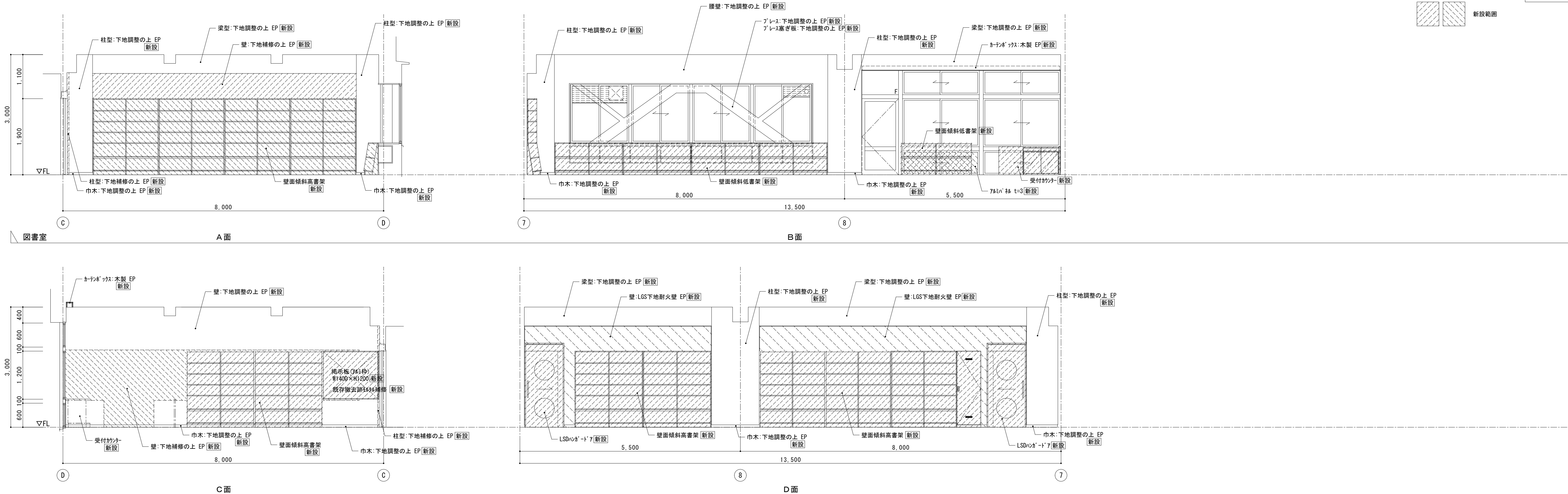
図面名	中央棟1階 図書室 平面詳細図	図面種別	A
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号	20

< 凡例 >  
撤去範囲



図書室

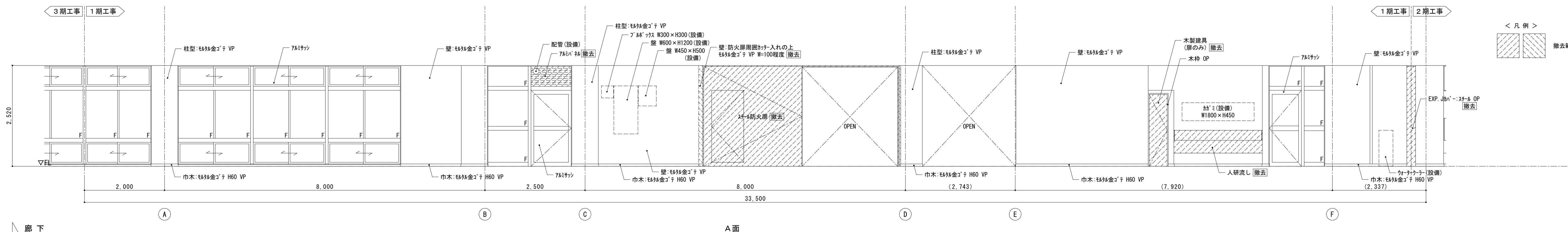
< 凡例 >  
新設範囲



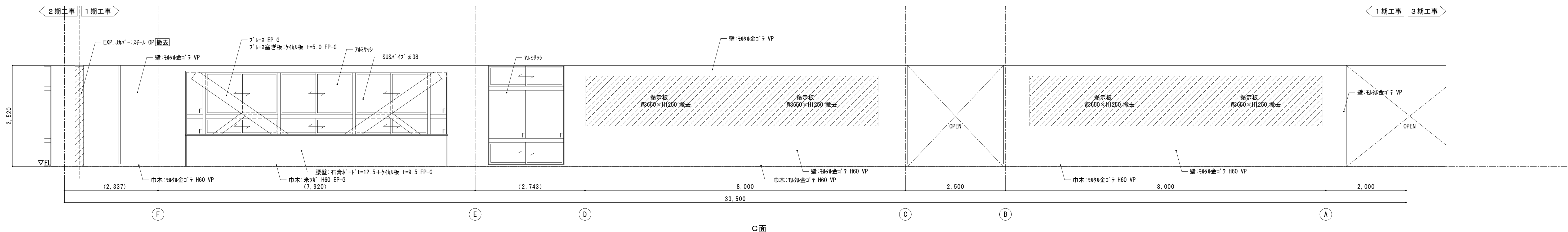
図書室

 <p>株式会社 松下設計        〒200-0001 東京都千代田区千代田1-1-1        TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103        管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)</p>	委託番号 17-137 設計部長 橋岡 樹 担当 製図	日付 2018年3月 設計 橋岡 樹 製図 橋岡 樹	図面名 中央棟1階 図書室 展開図 図面種別 A 図面番号 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	21
	株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録 (11) 183 〒200-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)			市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

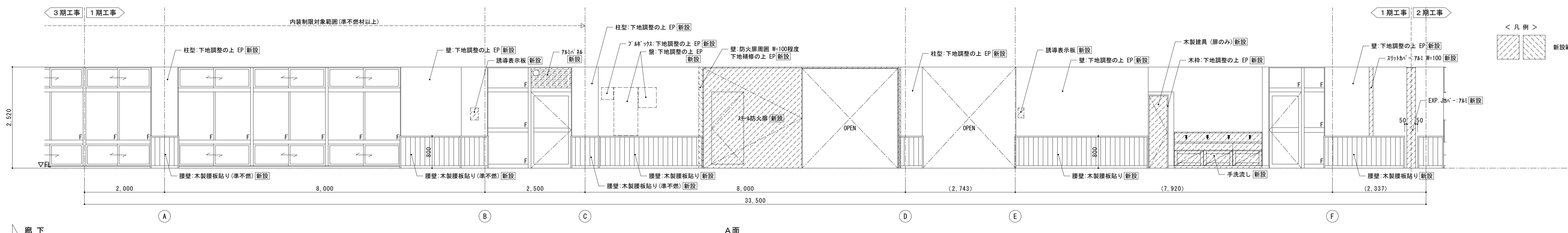




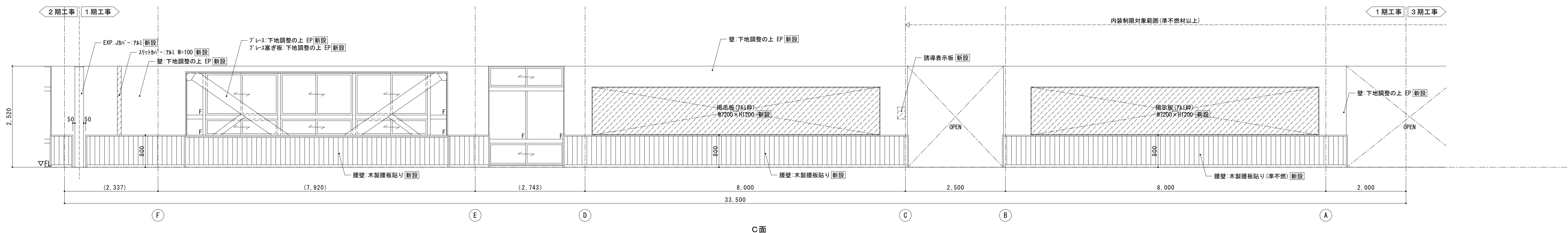
廊下



C面



廊下

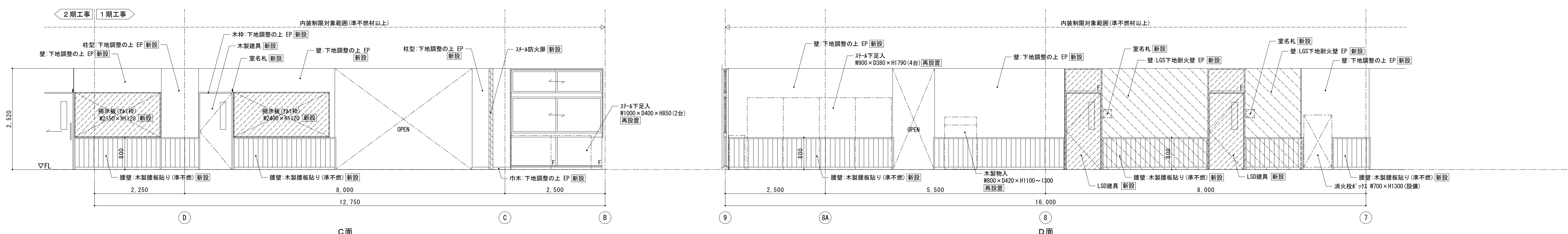
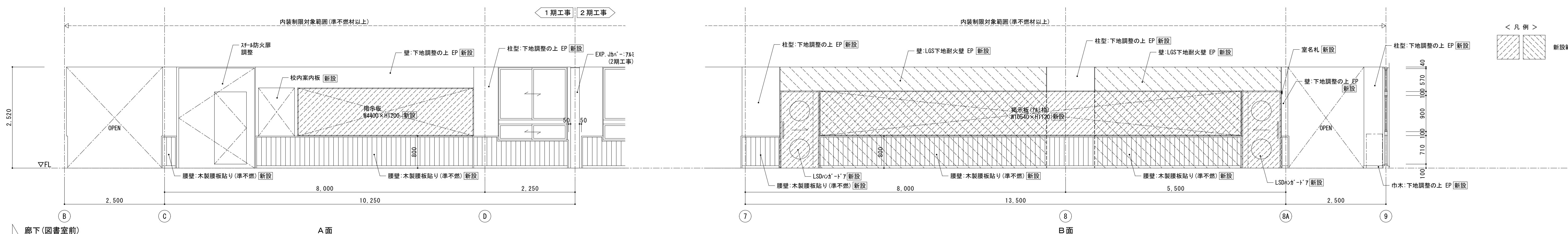
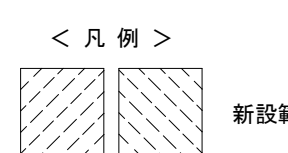
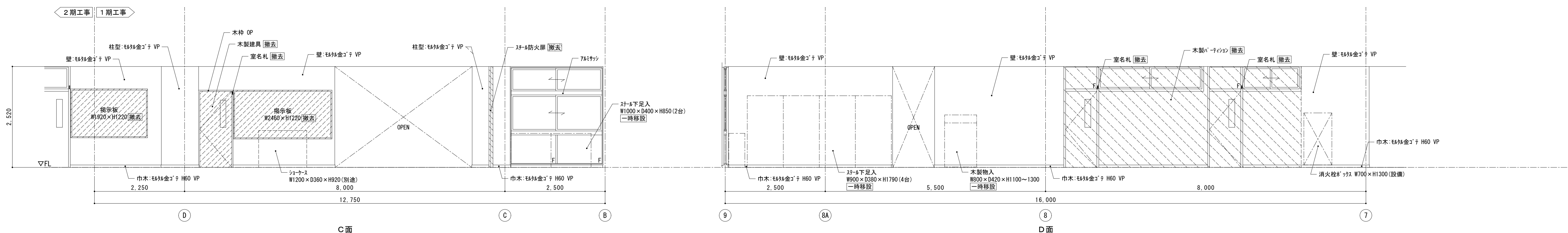
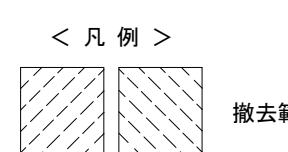
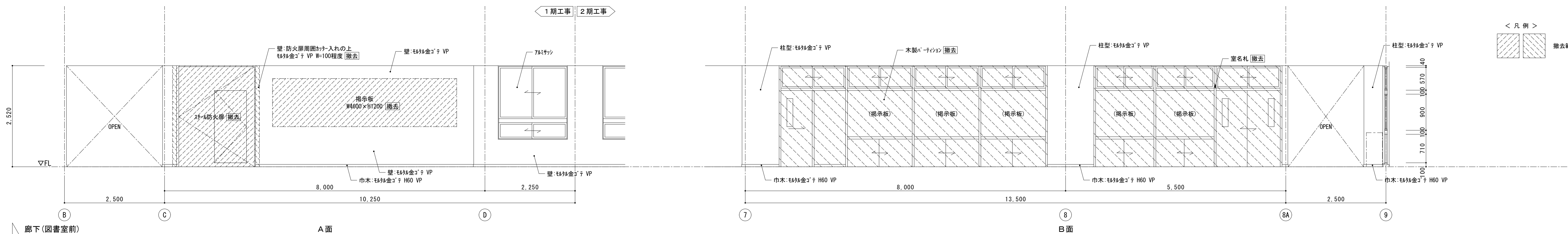



C面

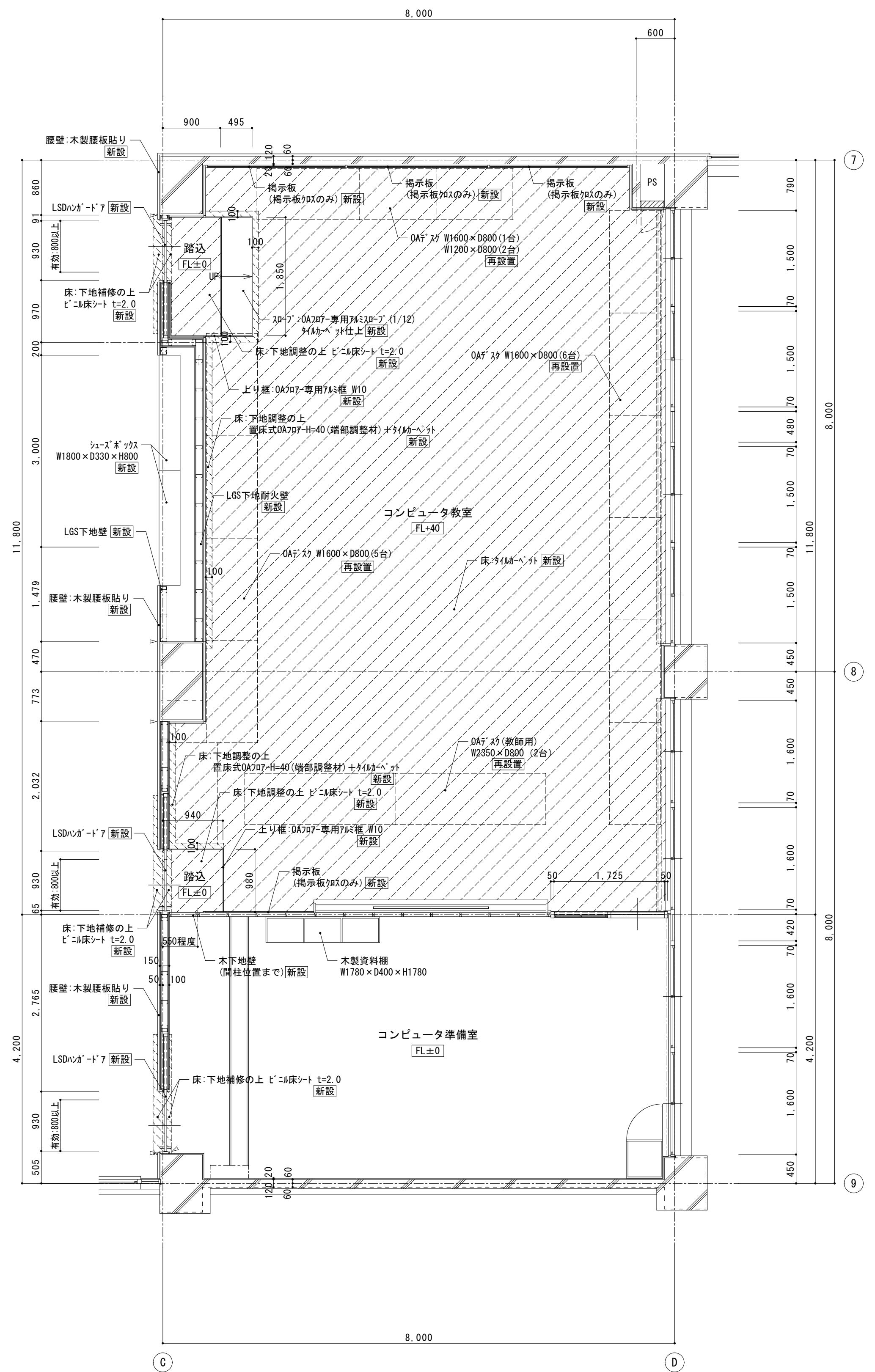
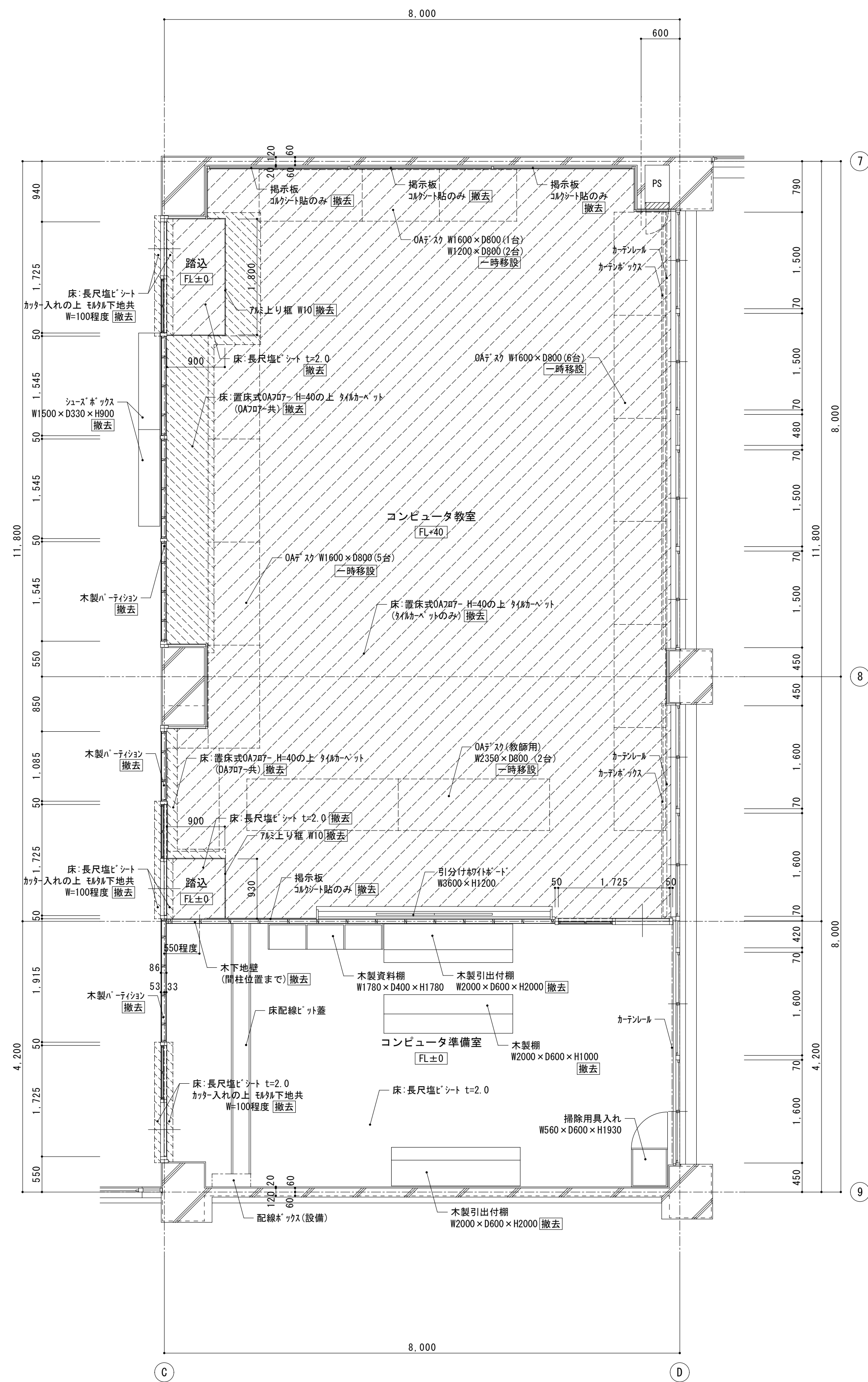
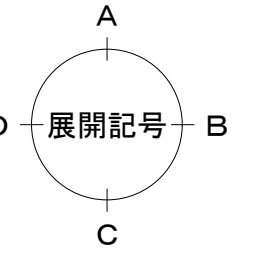
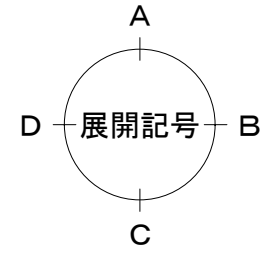

**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)


市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

図名	中央棟1階 廊下 展開図	図面種別	A
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号	22



 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11)183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	資料番号 17-137 設計部長 松園 担当 製図	日付 2018年3月	図面名 中央棟1階 廊下(図書室前) 展開図 【改修前・後】	図面種類 A 図面番号 23
	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図		縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	



< 凡例 >  
床撤去範囲

< 凡例 >  
床新設範囲

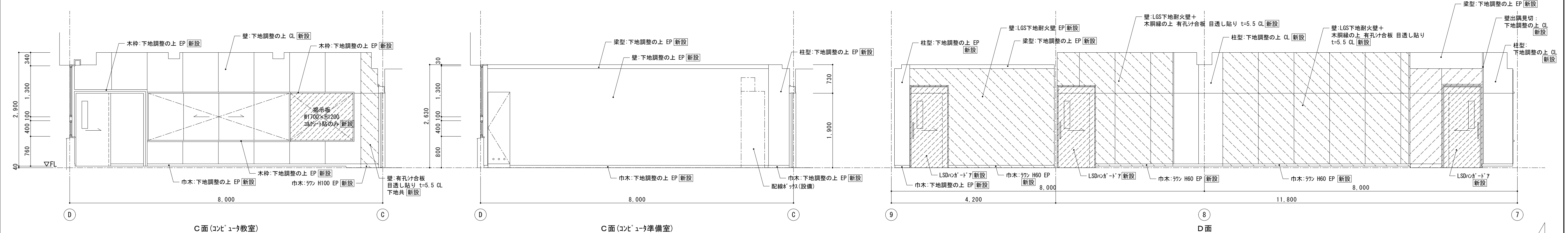
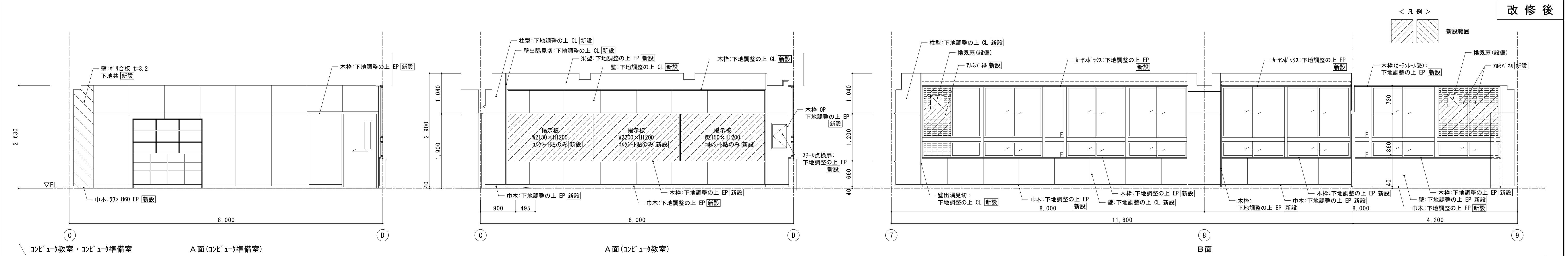
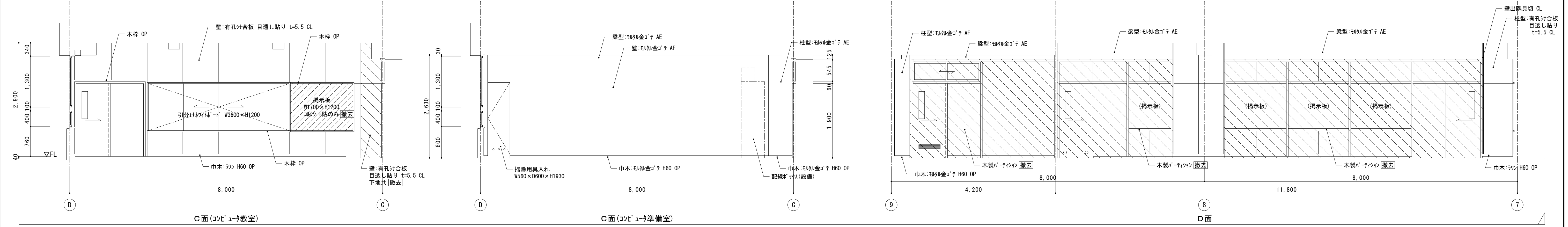
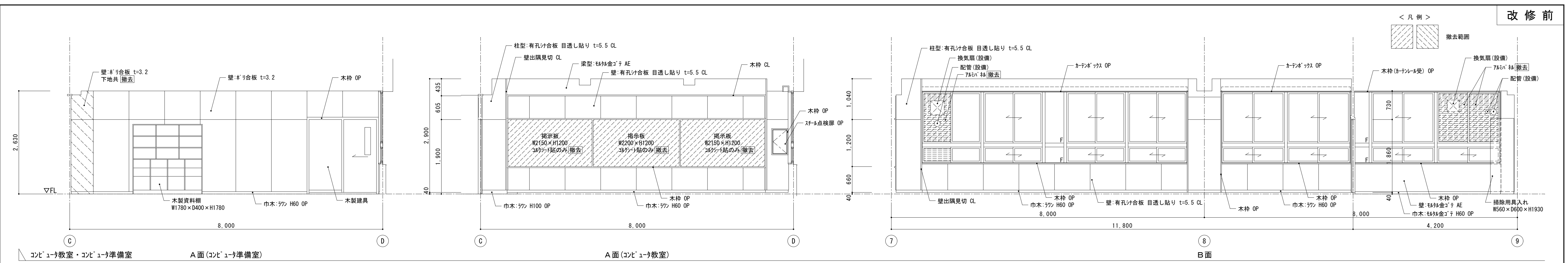
シート材 (RC-LGS壁取合等)



**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	松園	担当	松園

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

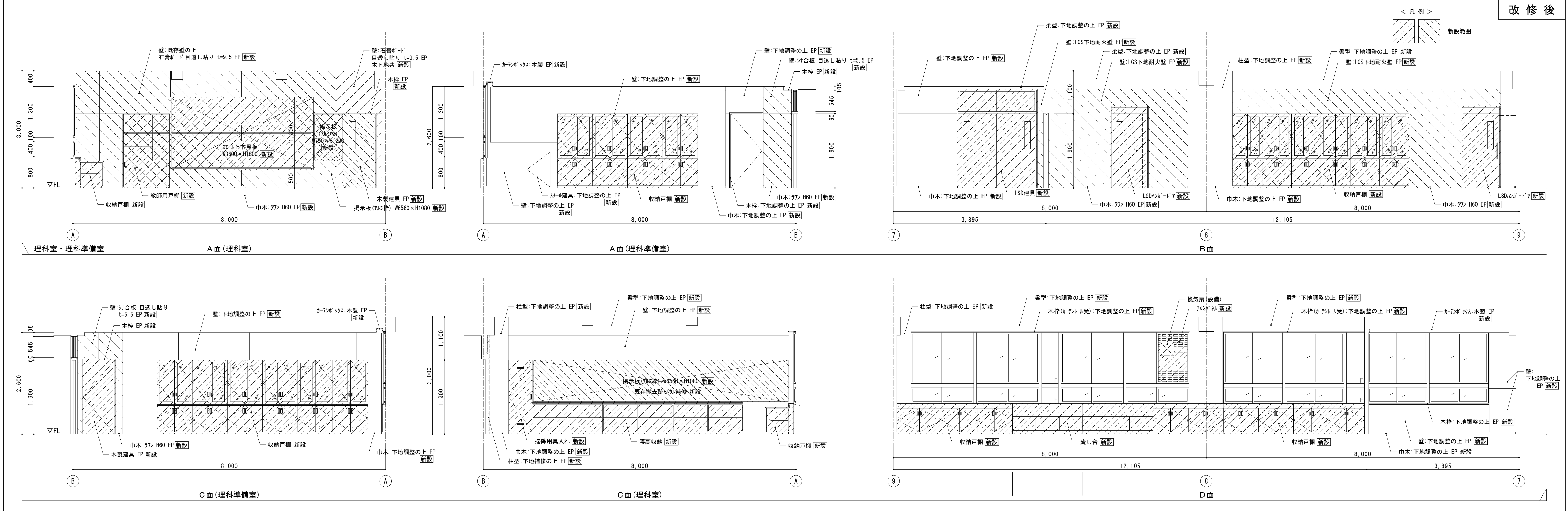
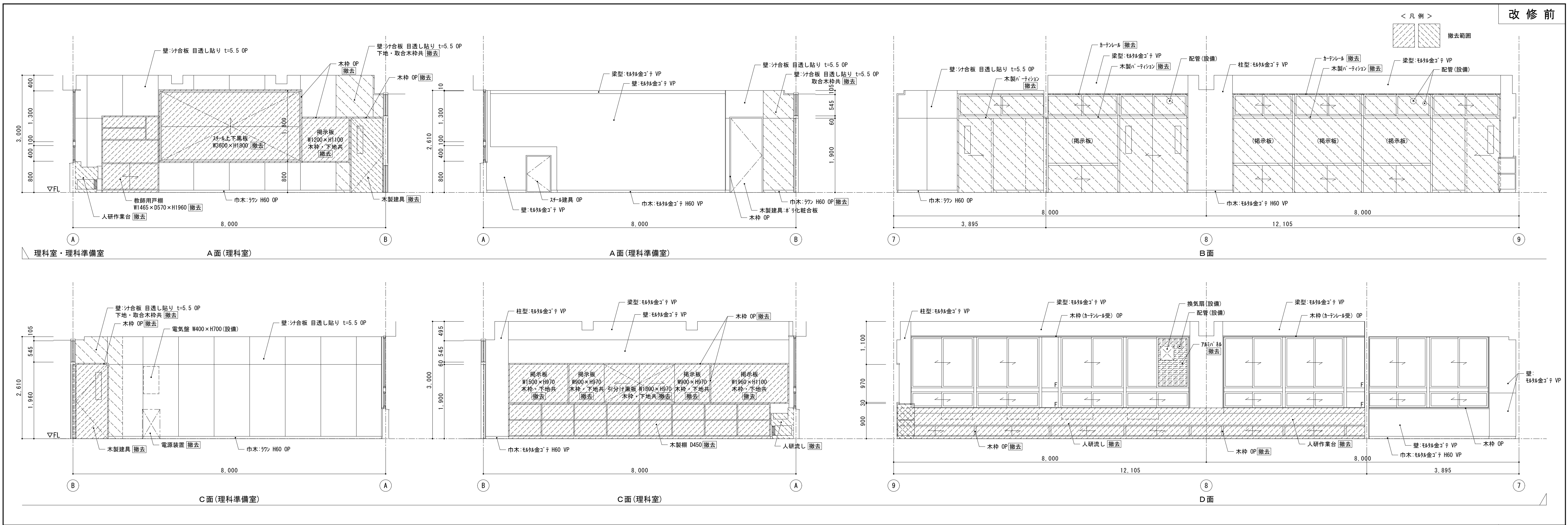
図面名	中央棟2階コンピュータ教室廻り 平面詳細図	図面種別	A
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号	24



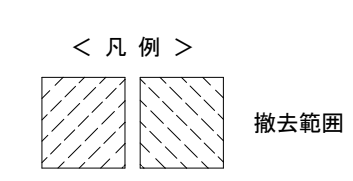
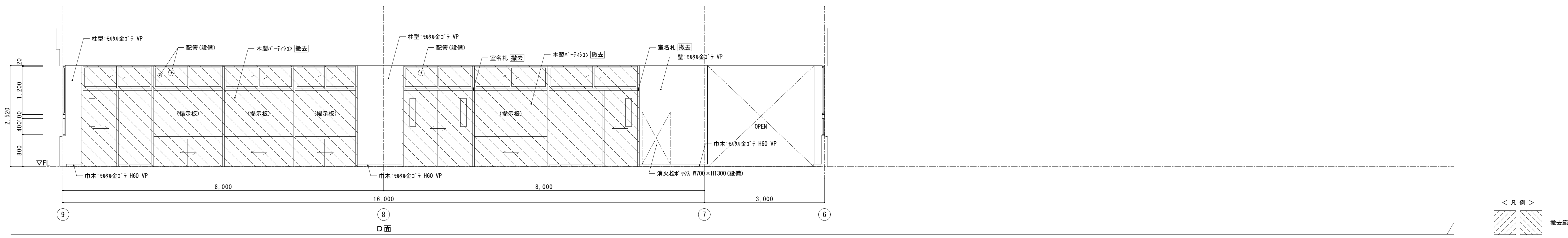
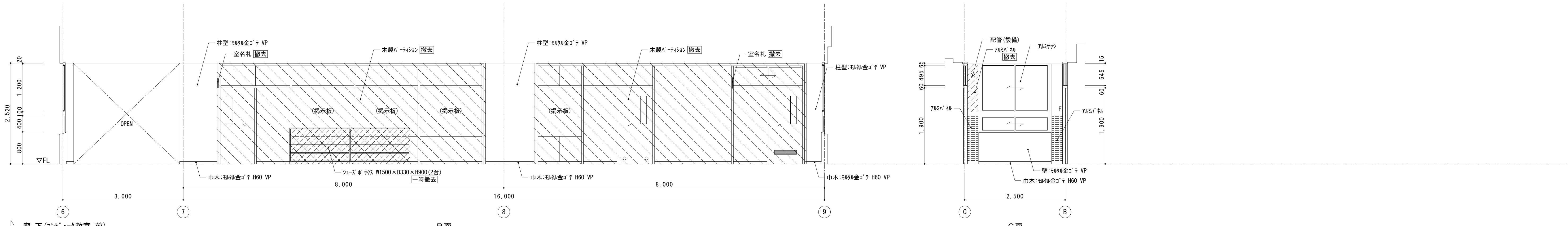
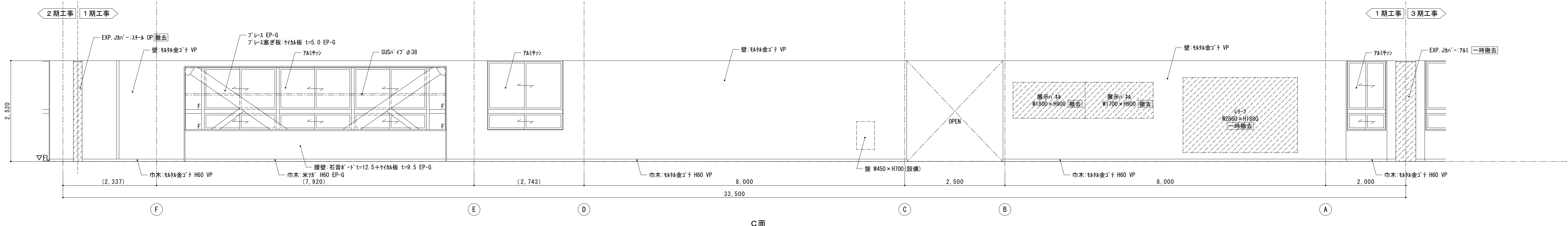
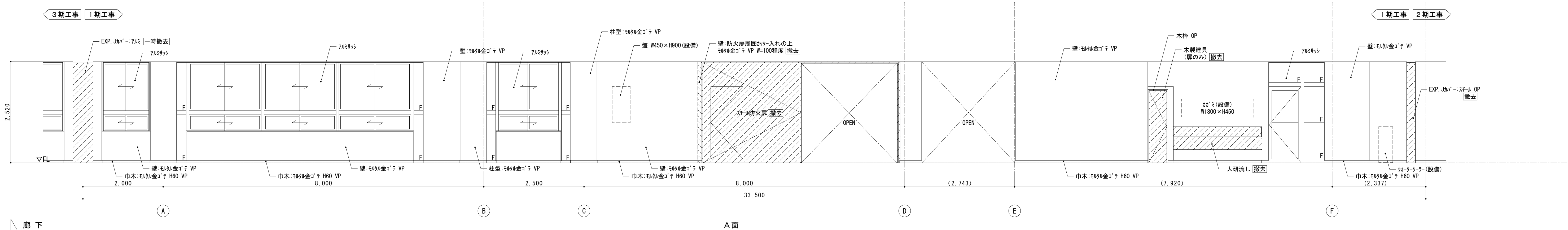
 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録 (11) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下充孝 (一級建築士登録 59420)	委託番号 17-137 設計部長 横岡 担当 製図	日付 2018年3月	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】	設計図	図面名 中央棟2階 コンピュータ教室廻り 展開図 【改修前・後】	図面種類 A 図面番号 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	25
	図面名 中央棟2階 コンピュータ教室廻り 展開図 【改修前・後】 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)						



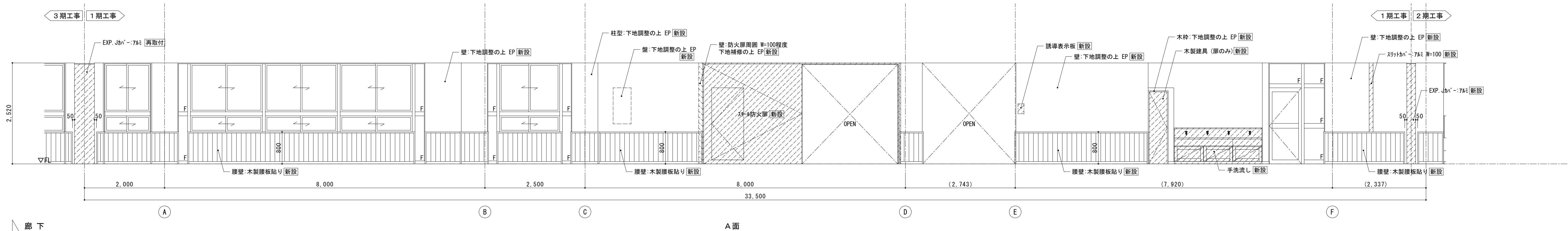




 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録 (11) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下充孝 (一級建築士登録 59420)	委託番号 17-137 設計部長 横園	日付 2018年3月 担当 製図	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】	設計図	図面名 中央棟2階 理科室廻り 展開図 【改修前・後】	図面種別 A 図面番号 27
	縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)					

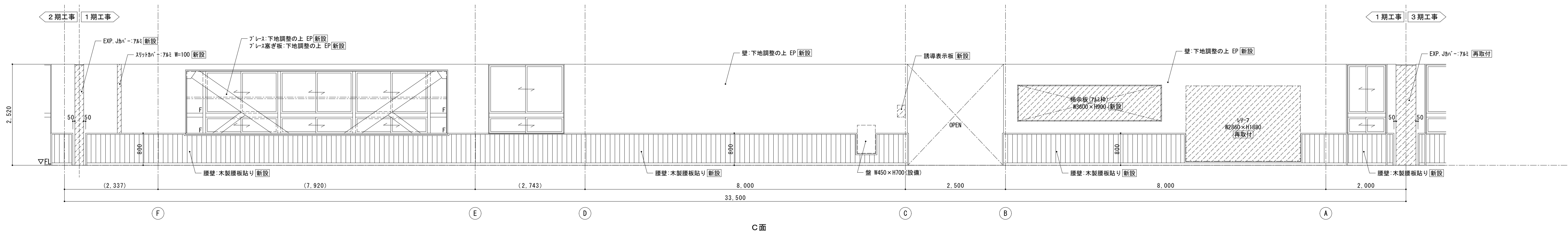


 株式会社 松下設計 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	資料番号 17-137 設計部長 横田 担任 製図	日付 2018年3月 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図	図面名 中央棟2階 廊下 展開図 図面種類 A 図面番号 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	改修前 28
	撤去範囲			

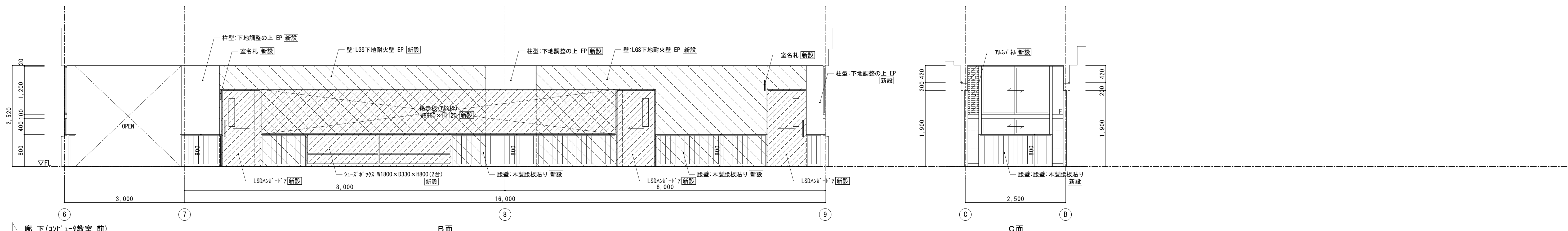


廊下

A面



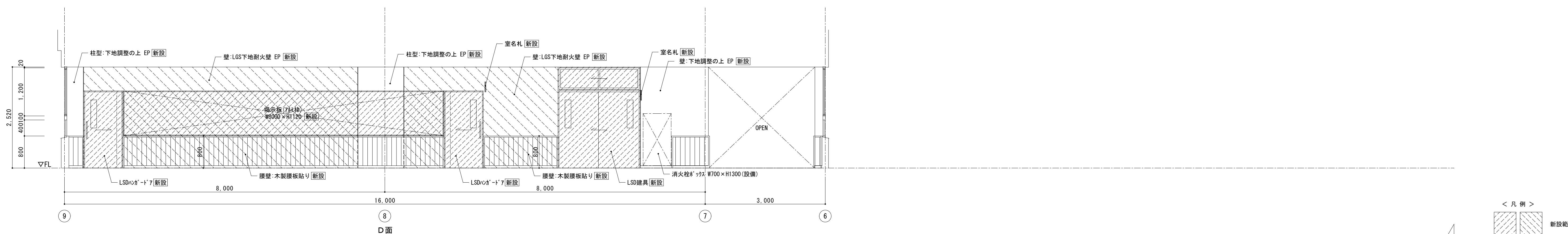
C面



廊下(コピー教室前)

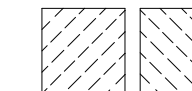
B面


C面



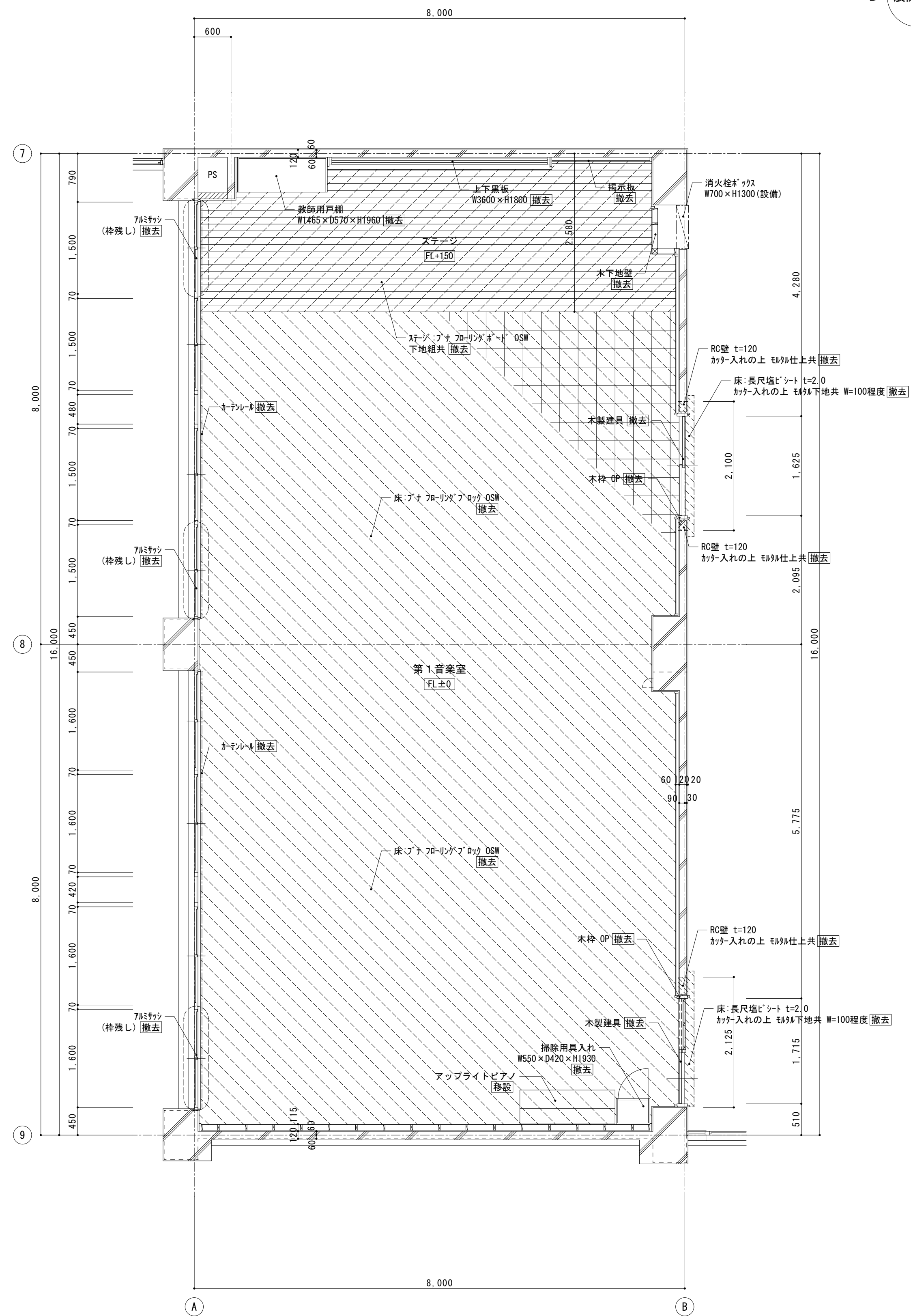
D面

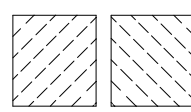
< 凡例 >

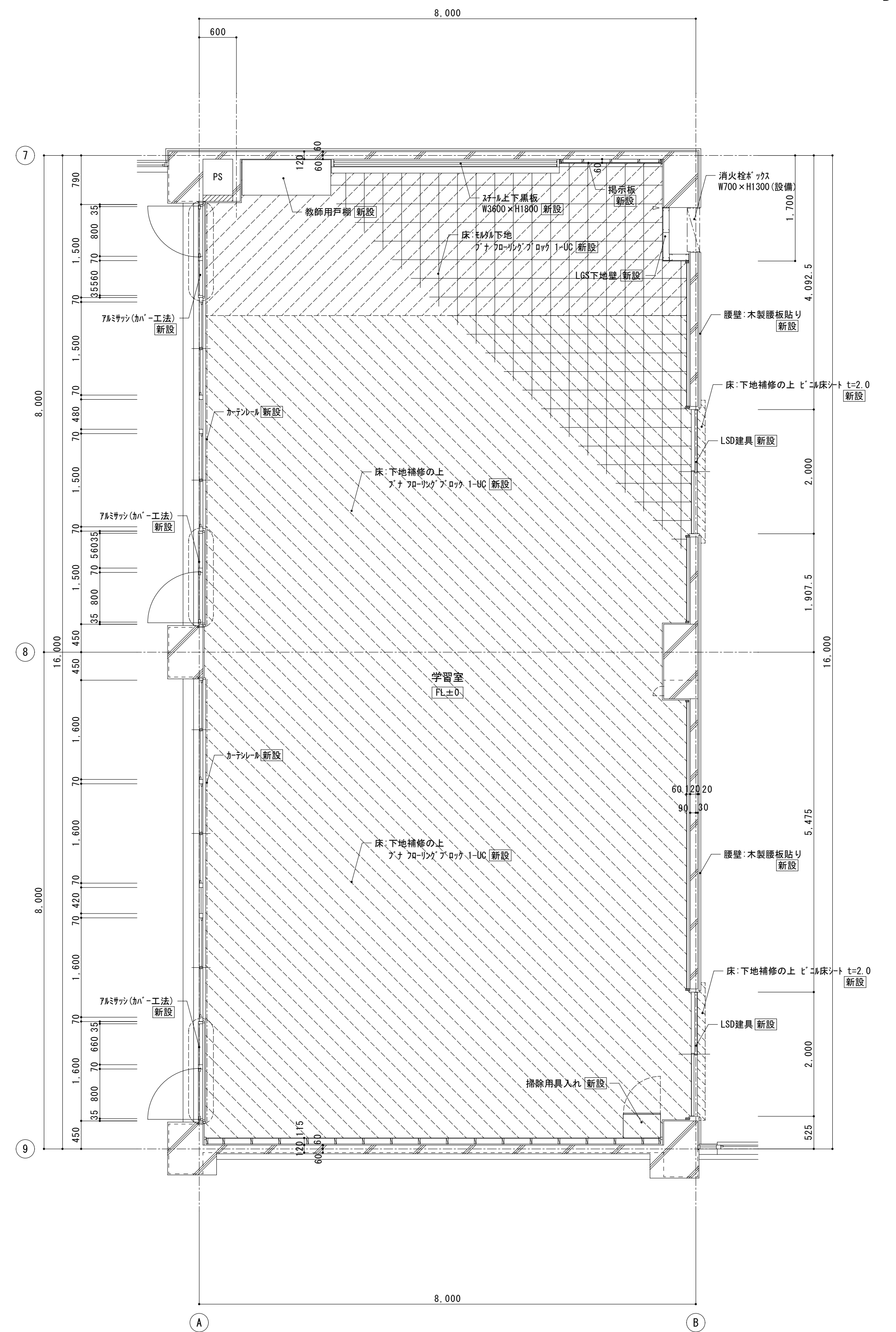


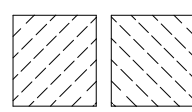
 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11)183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	案件番号 17-137 設計部長 横田 担任 目付 2018年3月 製図	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図	図面名 中央棟2階 廊下 展開図 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面種類 A 図面番号 29 【改修後】
	図面番号 17-137 2018年3月 設計部長 横田 担任 製図			





< 凡例 >  
 床撤去範囲



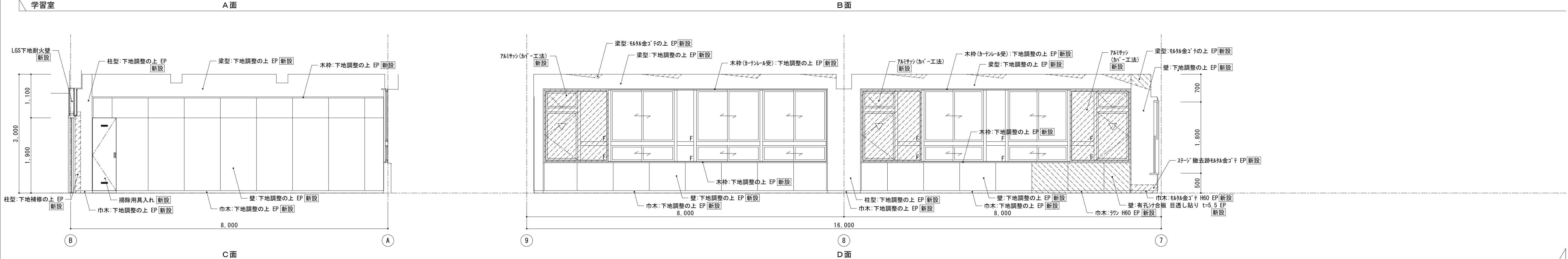
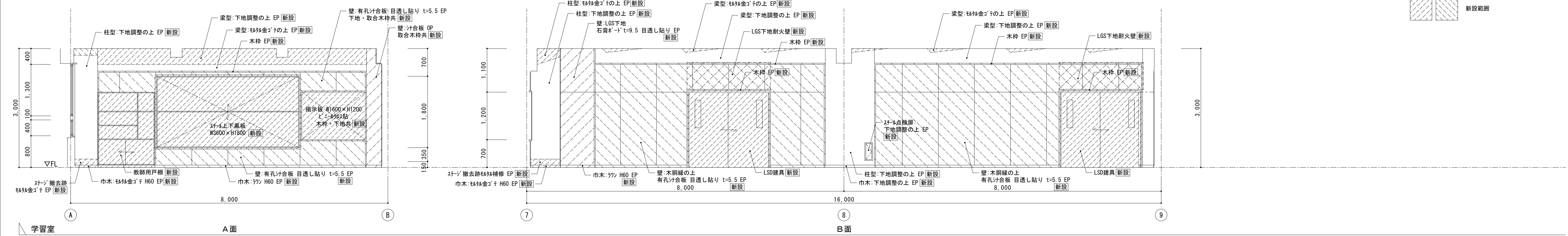
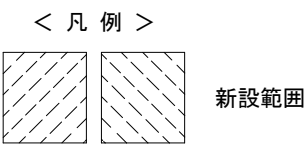
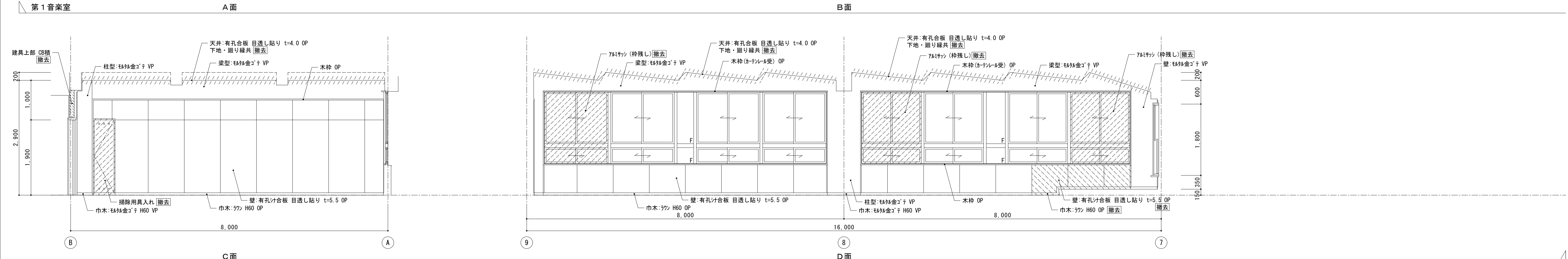
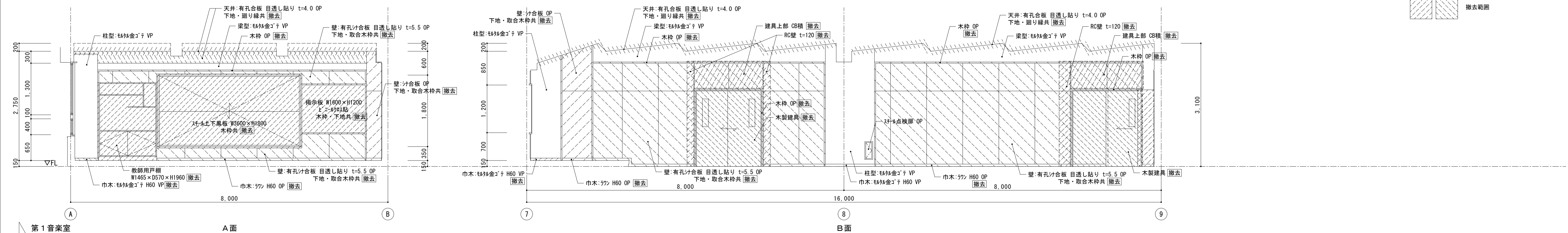
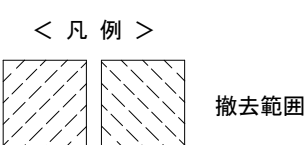
< 凡例 >  
 床新設範囲  
 ↳ リング (RC-LGS壁取合等)


株式会社 **松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

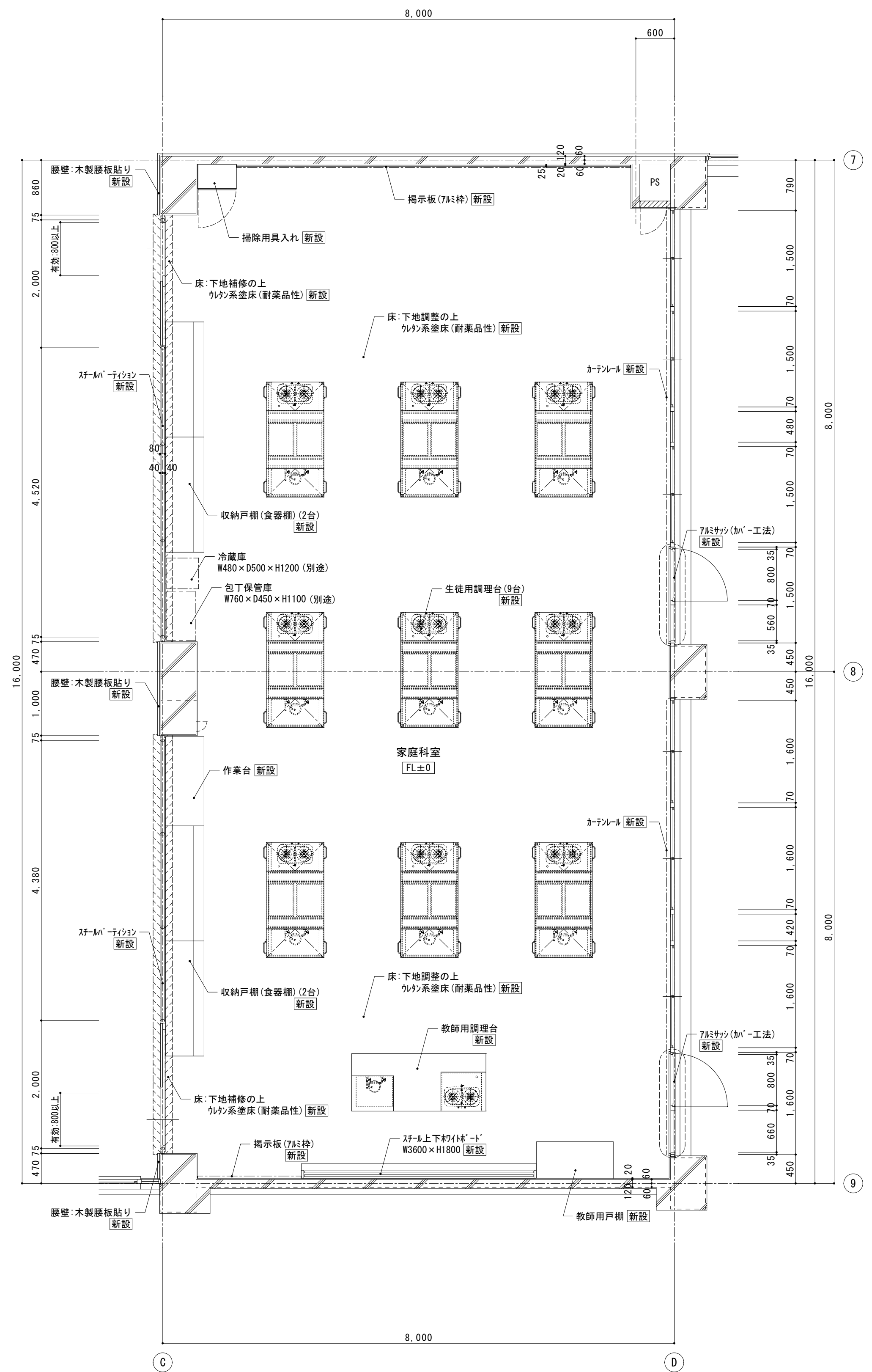
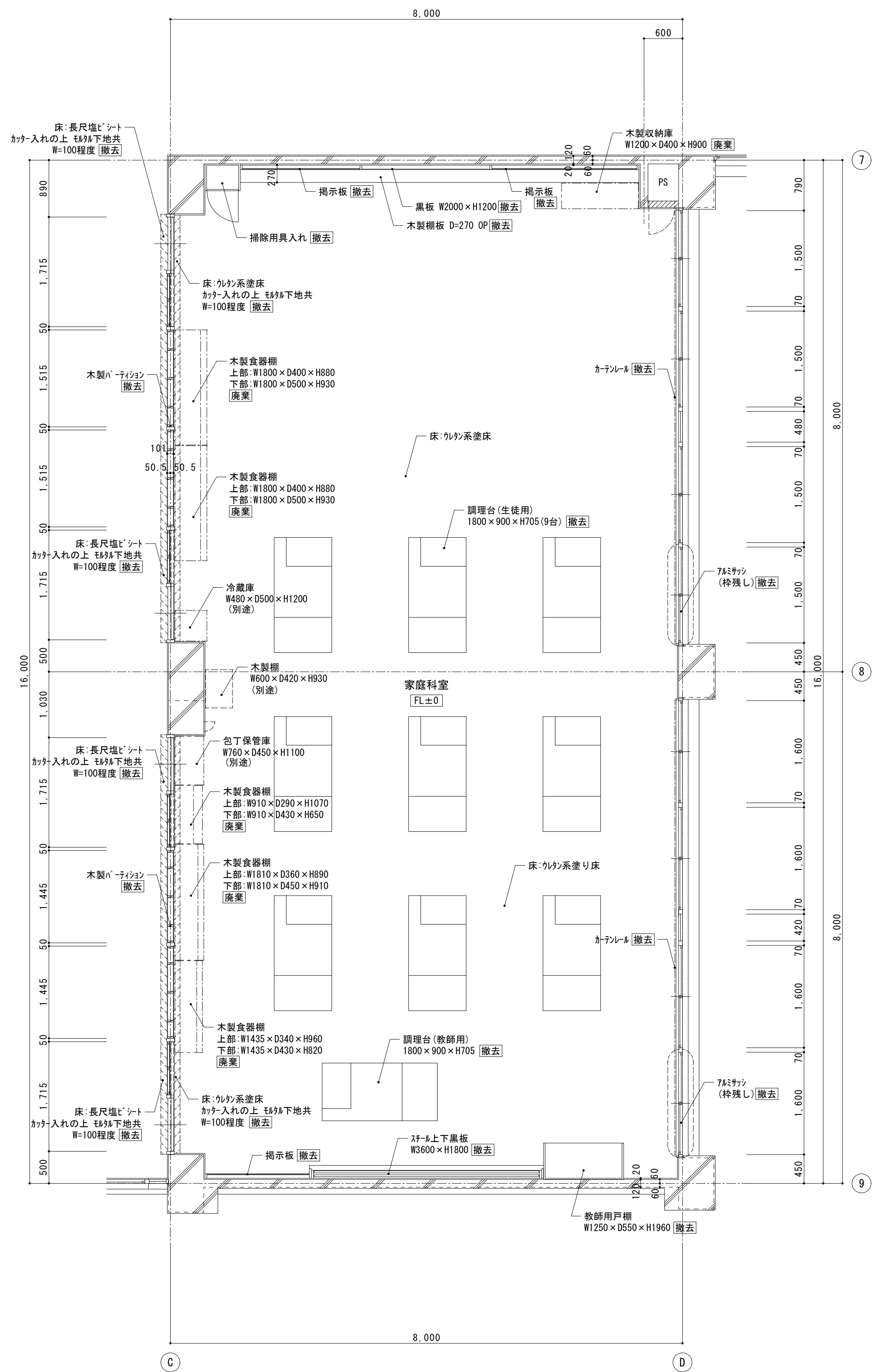
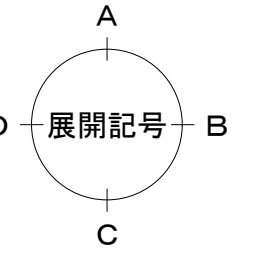
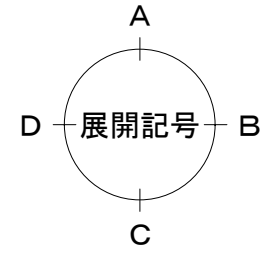
委託番号 17-137	日付 2018年3月
設計部長 横岡	担当 製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

図面名 中央棟3階 学習室 平面詳細図	図面種別 A
縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号 30



<p>株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録 (11) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)</p>	<p>図面番号 17-137 設計部長 橋岡 担当 製図</p>	<p>図名 中央棟3階 学習室 展開図</p>	<p>図面種類 A</p>
	<p>設計図 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】</p>	<p>【改修前・後】 S=1:50 (A3版 50%縮小)</p>	<p>図面番号 31</p>



< 凡例 >  
床撤去範囲

< 凡例 >  
床新設範囲  
シーリング (RO-LGS壁取合 等)

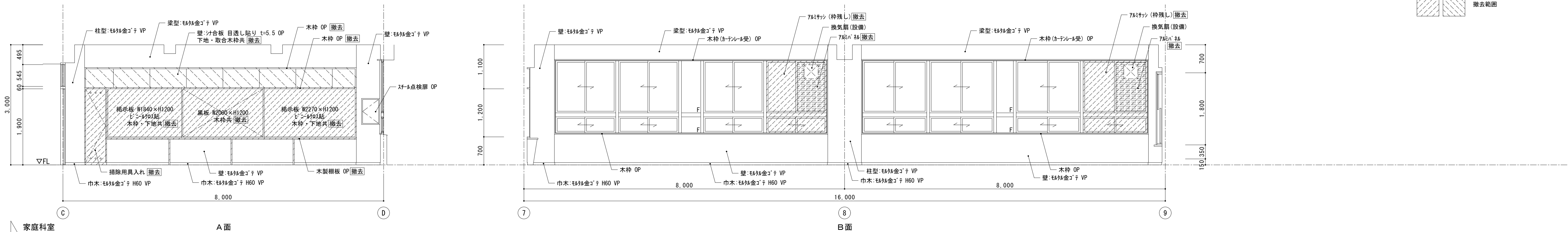

**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	松園	担当	松園

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

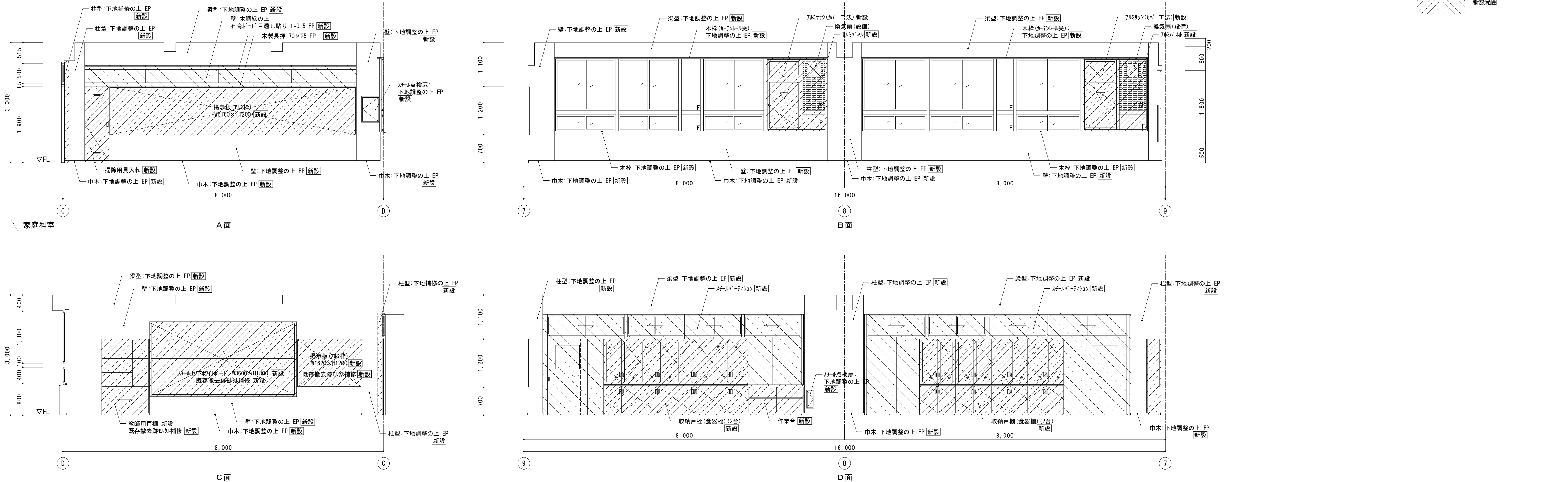
図面名	中央棟3階 家庭科室 平面詳細図	図面種別	A
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号	32

< 凡例 >  
撤去範囲



家庭科室

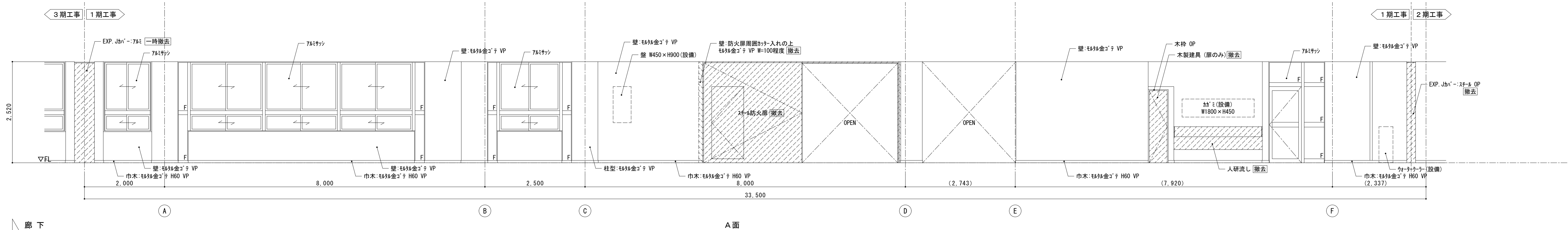
< 凡例 >  
新設範囲



家庭科室

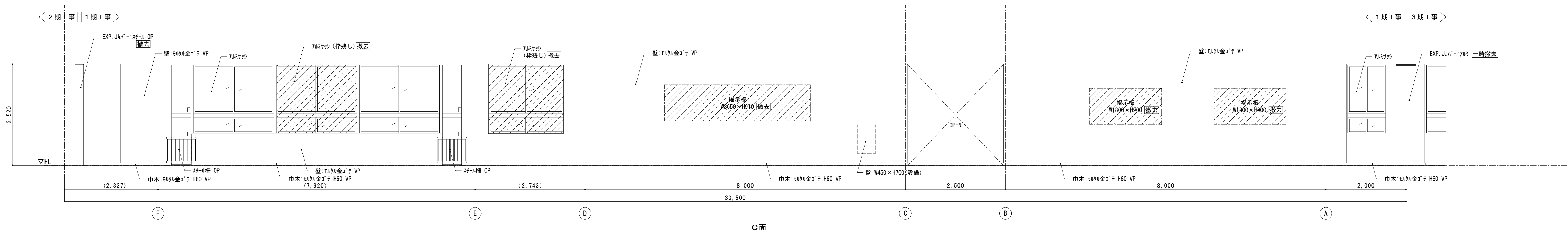
 <p>株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録 (11) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)</p>	委託番号 17-137 設計部長 横田 担当 製図	日付 2018年3月	図面名 中央棟3階 家庭科室 展開図 図面番号 【改修前・後】 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面種類 A 図面番号 33
	市立瀨瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】		設計図	



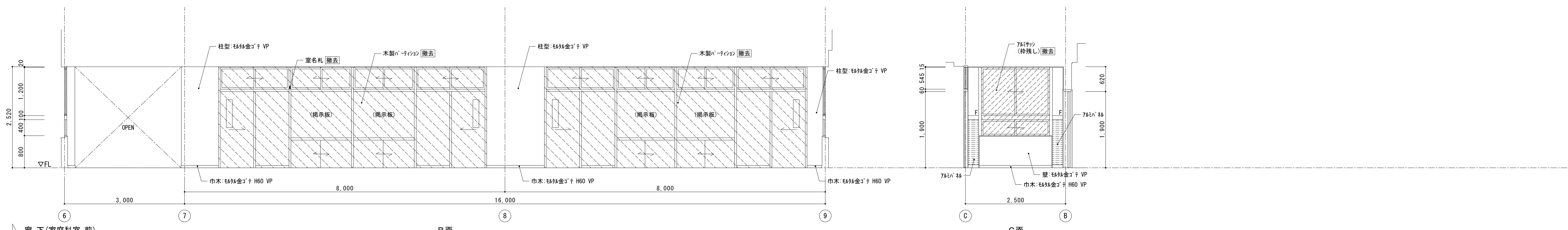


廊下

A面



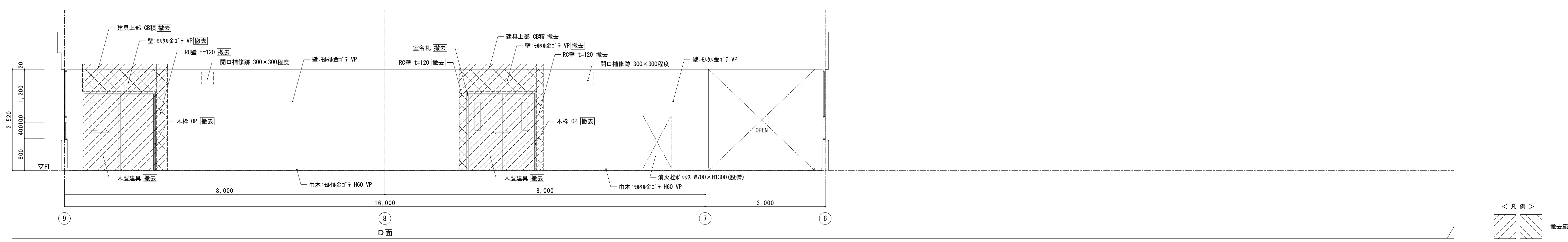
C面



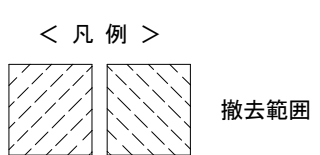
廊下(家庭科室前)

B面

C面

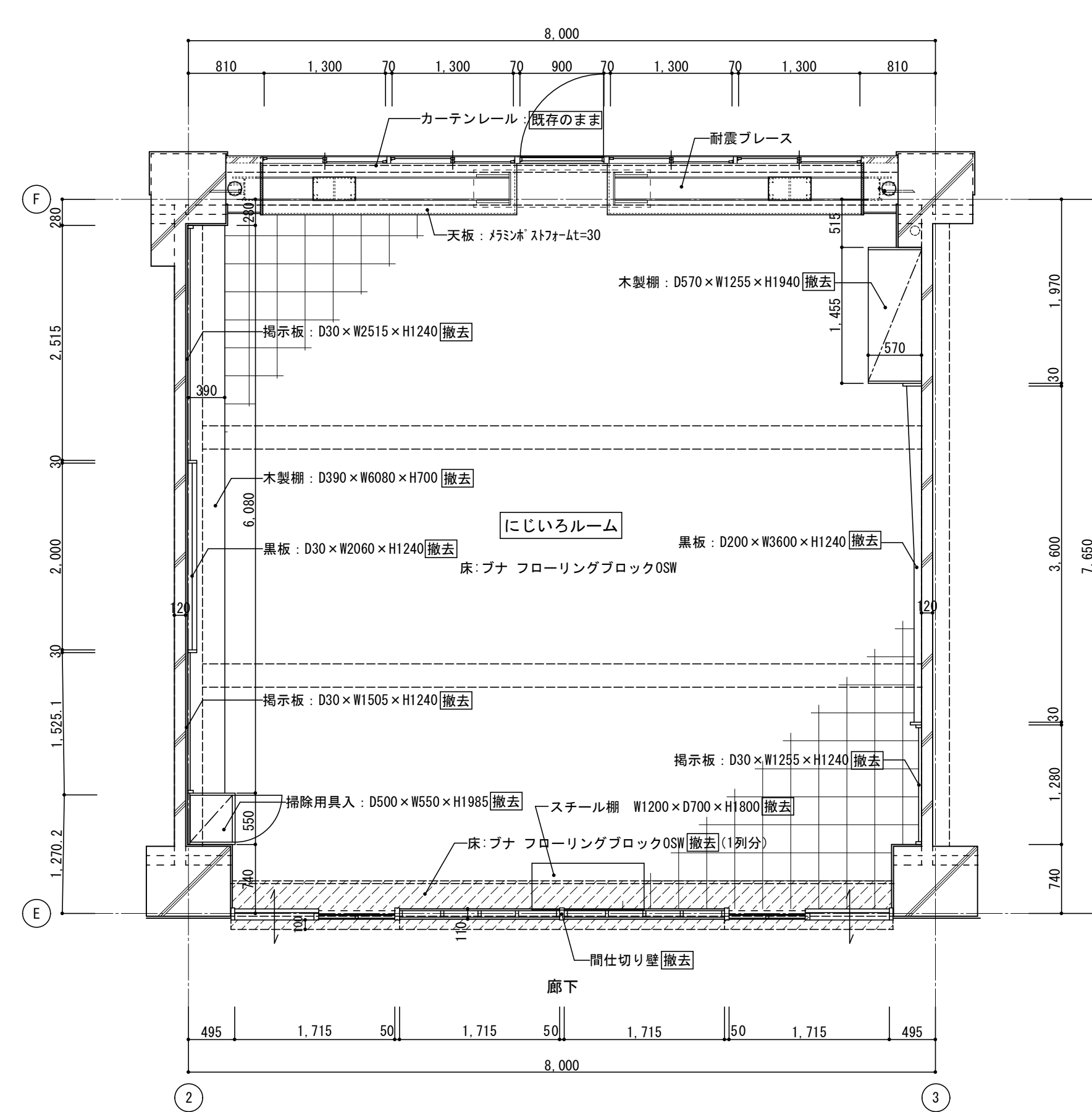


D面

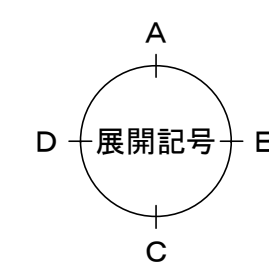


 <p>株式会社 松下設計 一級建築士事務所        埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号        TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103        管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)</p>	図面番号 17-137 設計部長 横田 担当 製図	日付 2018年3月	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図	図面名 中央棟3階 廊下 展開図	図面種別 A
	縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)			図面番号 34	備考 【改修前】

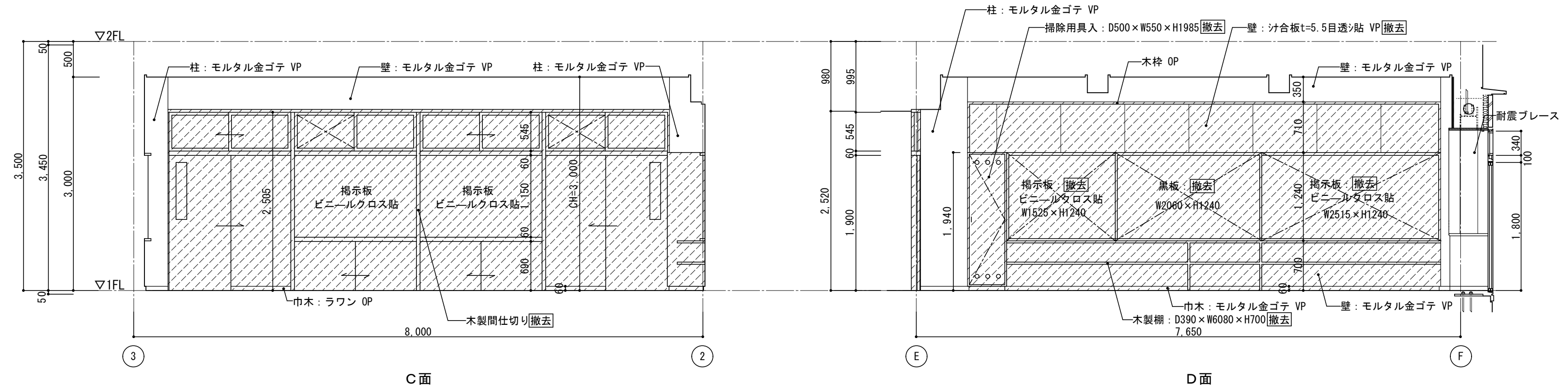
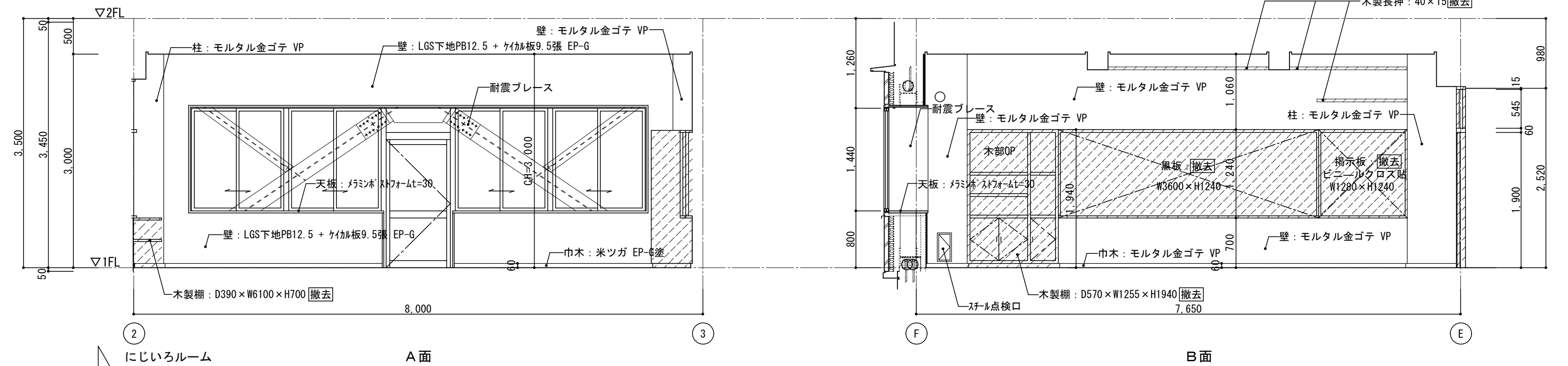




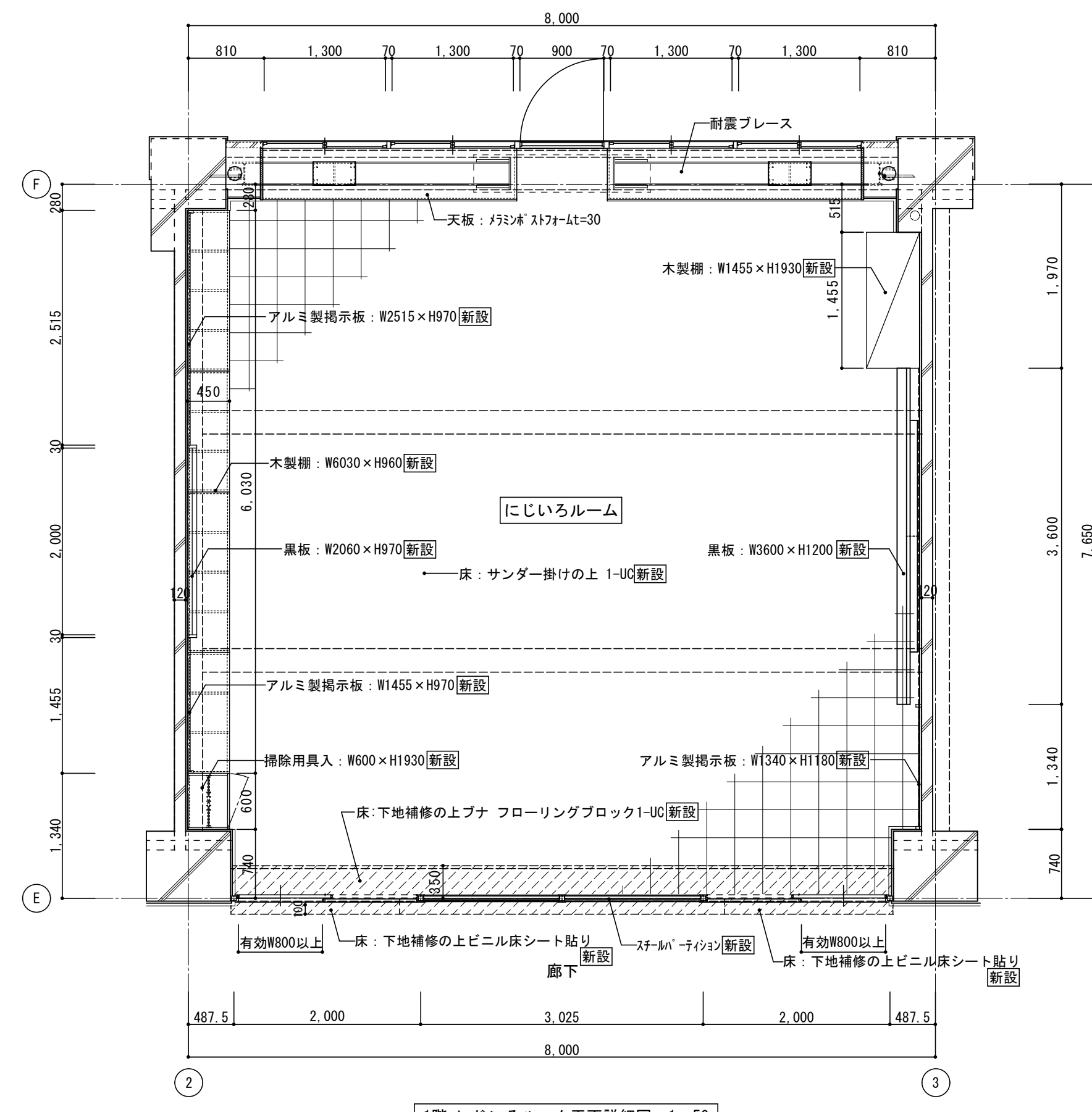
1階 にじいろルーム平面詳細図 1:50



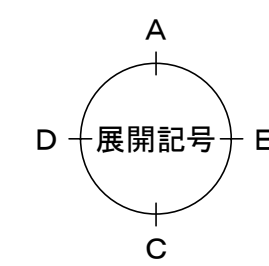
< 凡例 >  
 撤去範囲を示す



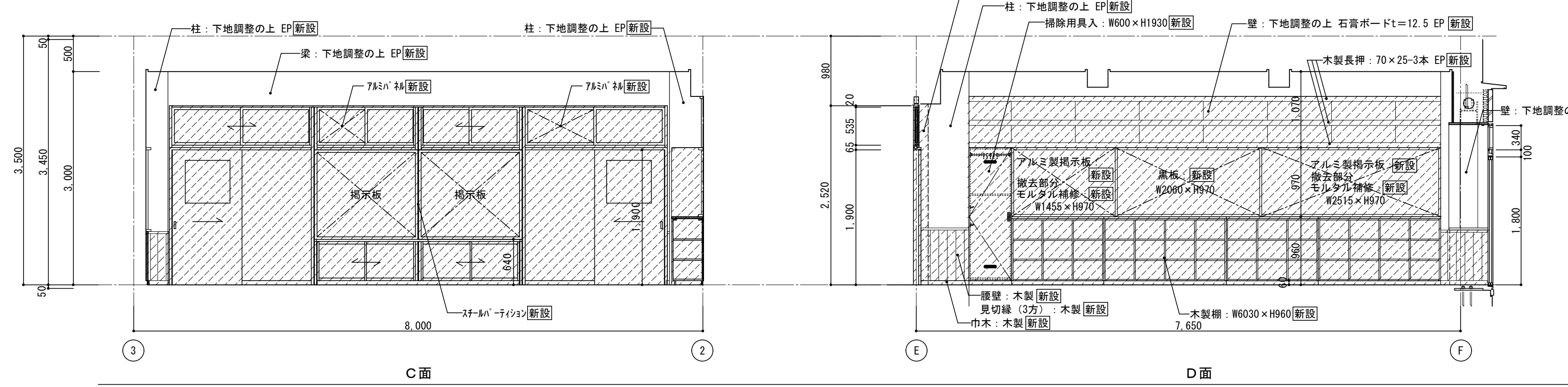
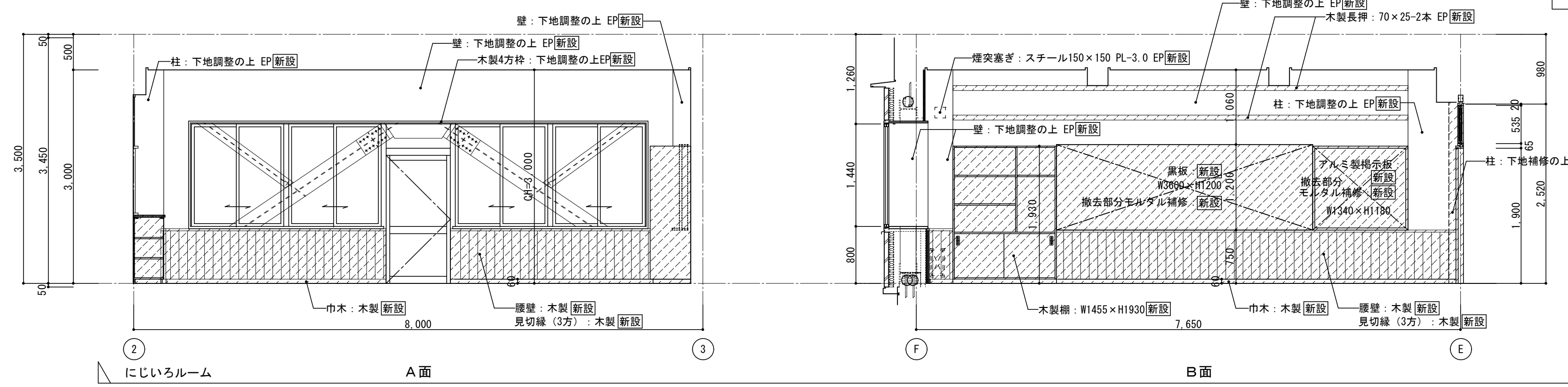
1階 にじいろルーム展開図 1:50



1階 にじいろルーム平面詳細図 1:50



< 凡例 >  
 新設範囲を示す



1階 にじいろルーム展開図 1:50

【註記】: 内装制限の為、使用材は 準不燃以上とする。



株式会社 松下設計 一級建築士事務所  
 登録(11)183  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

受託番号 17-137 日付 2018年3月  
 設計部長 松岡 担当 製図

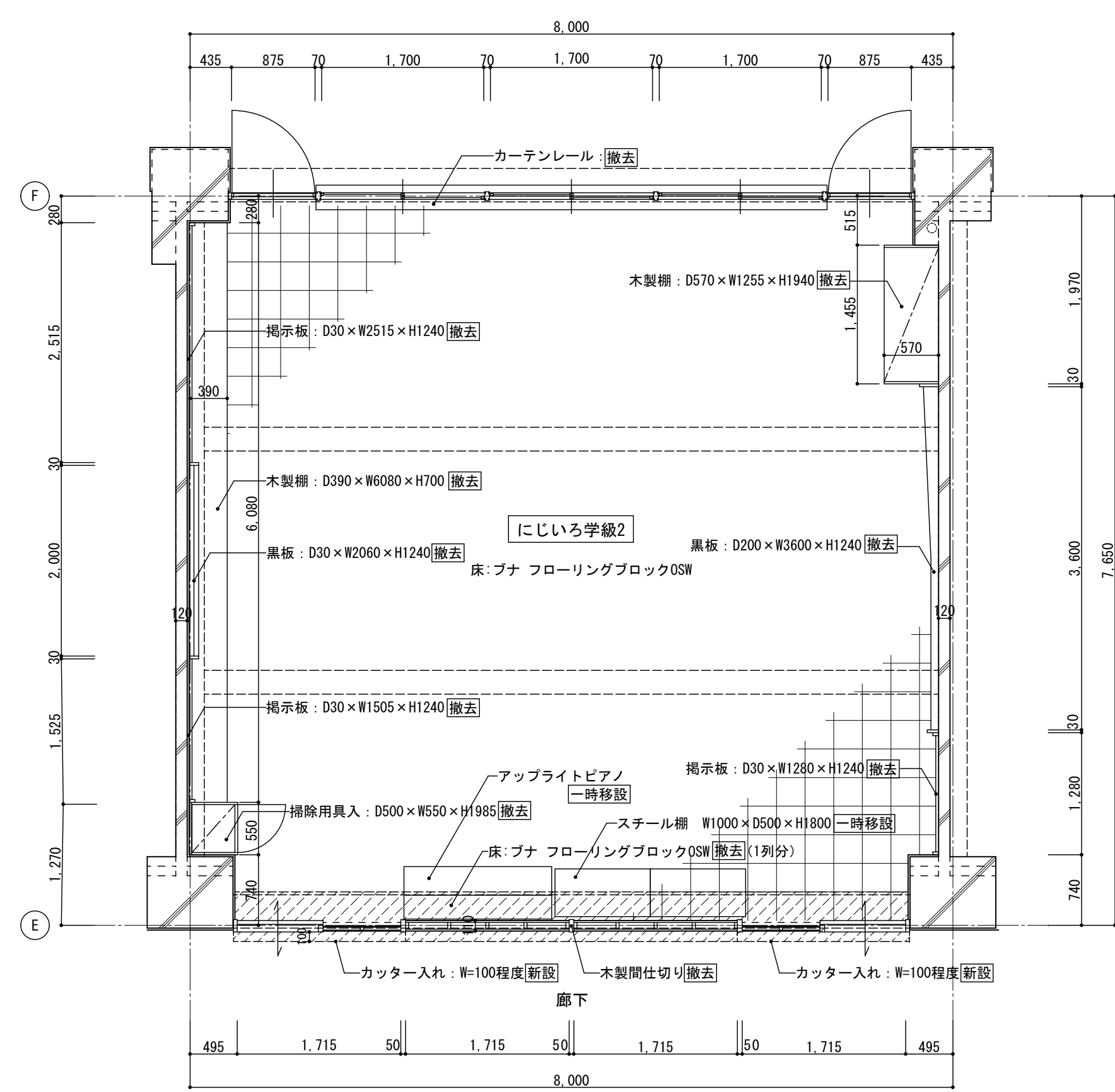
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】

設計図

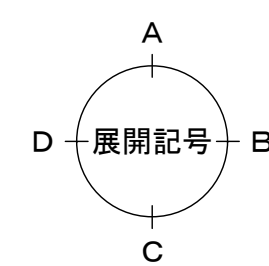
図面名 中央棟普通教室詳細図(1階にじいろルーム) 【改修前・後】  
 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)

図面種別 A  
 図面番号 36

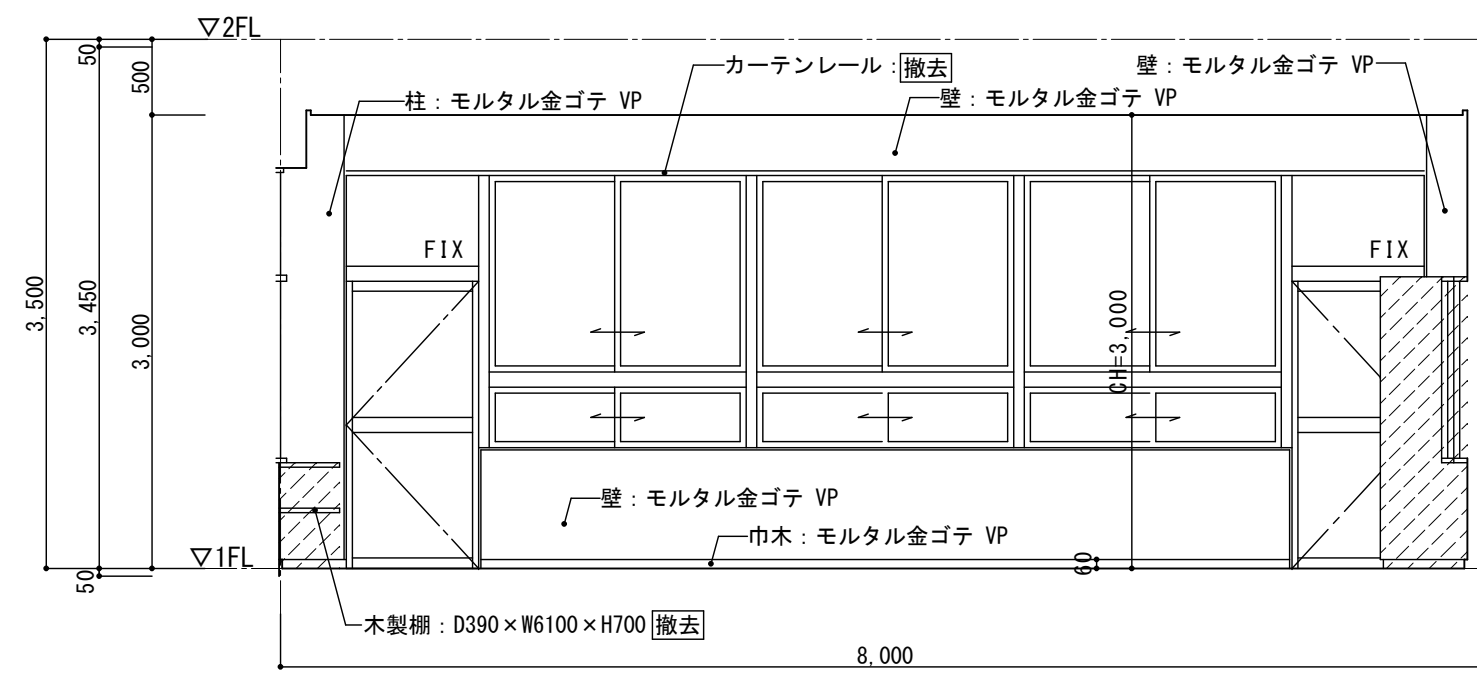




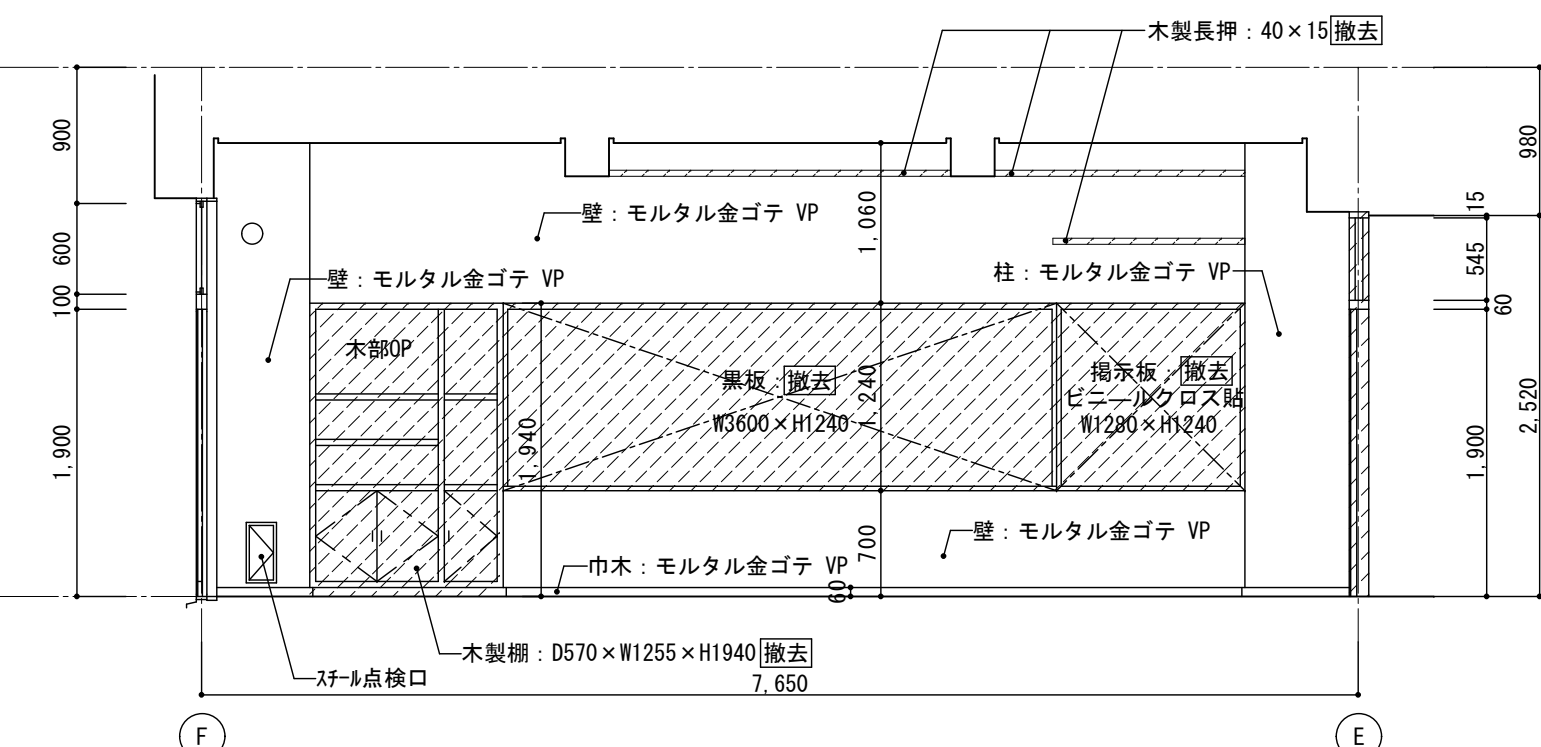
1階 にじいろ学級2平面詳細図 1:50



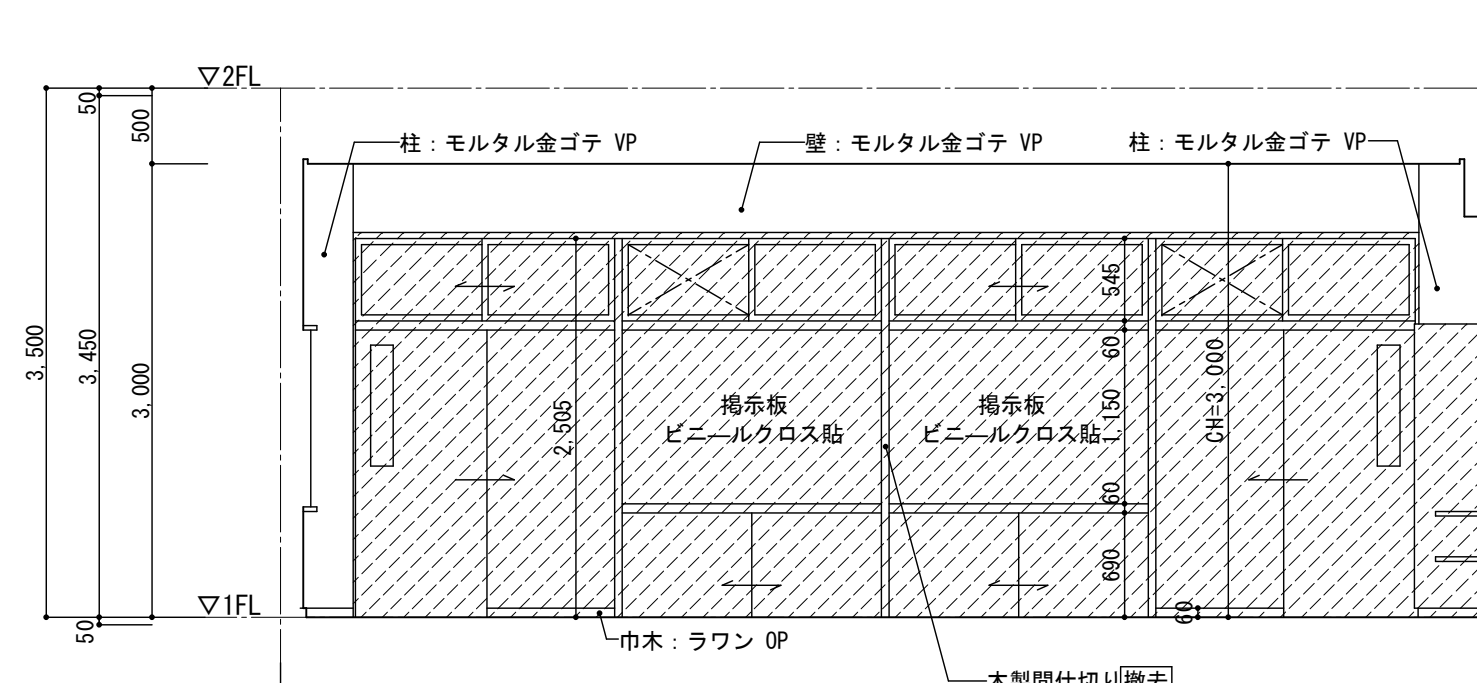
< 凡例 >  
撤去範囲を示す



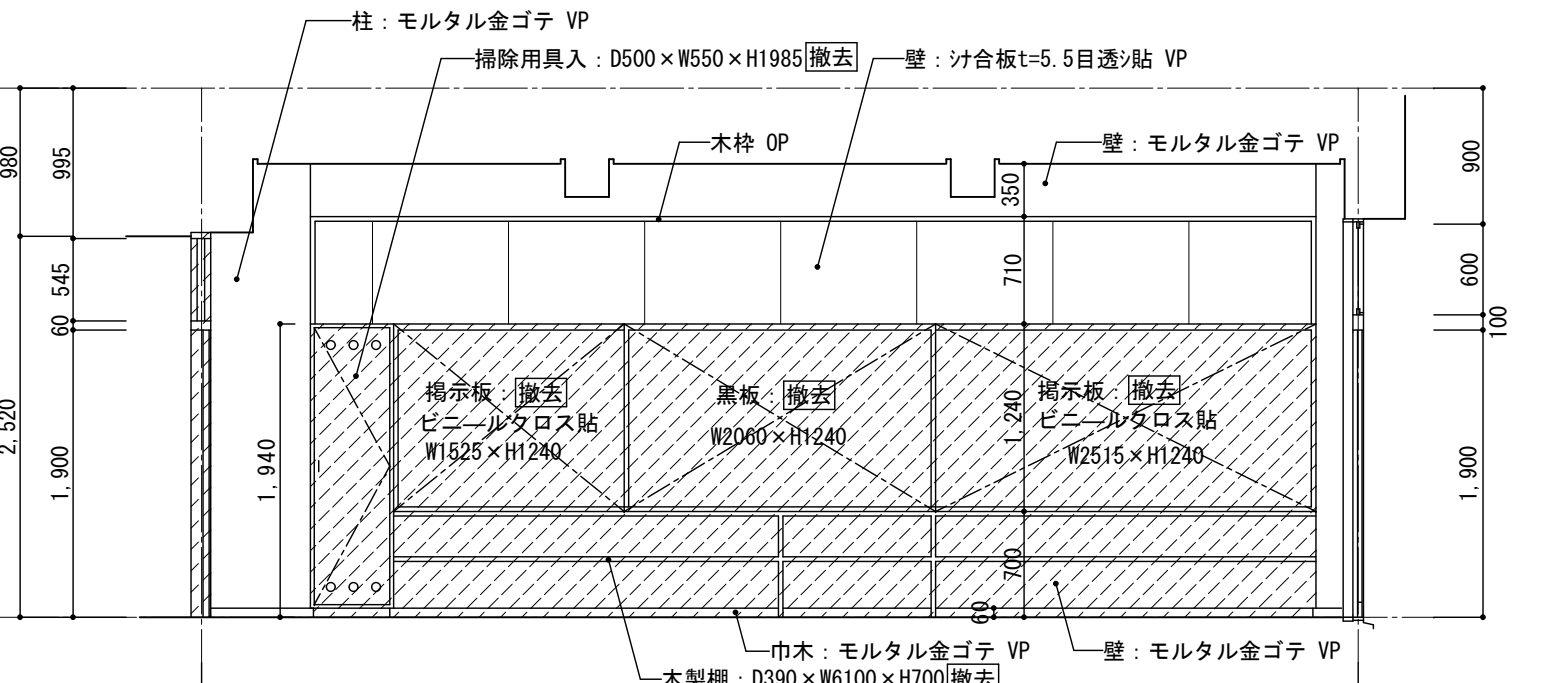
A面



B面

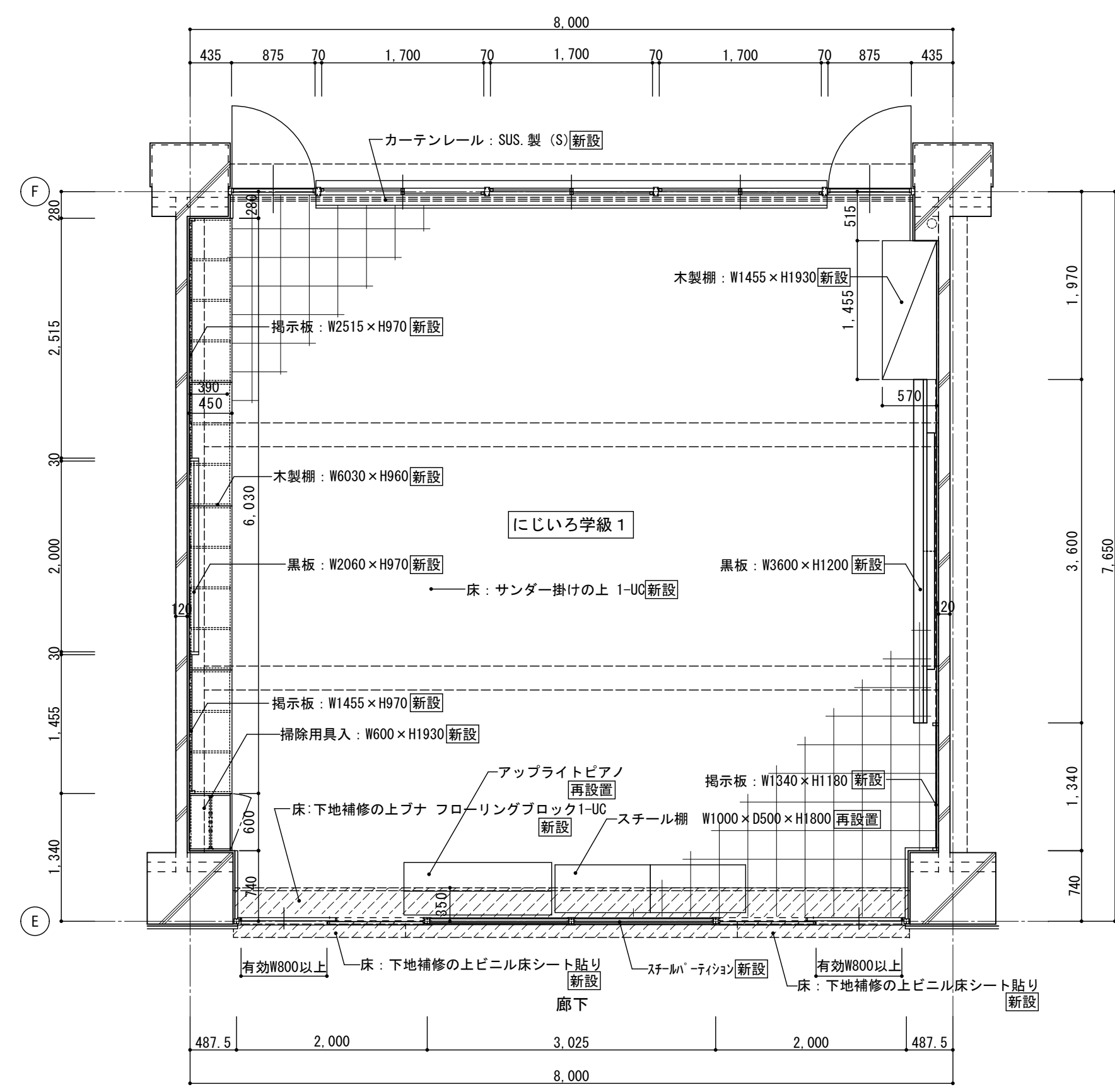


C面

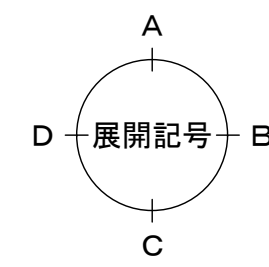


D面

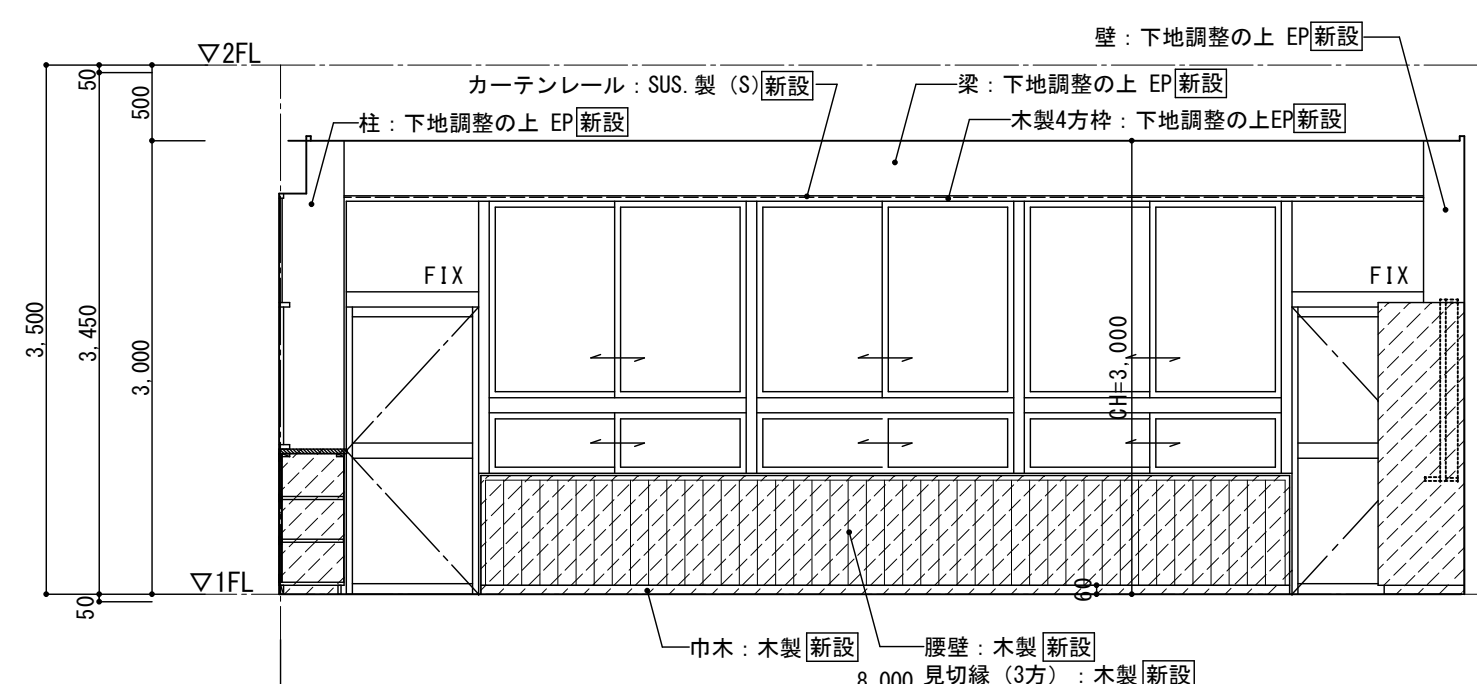
1階 にじいろ学級2展開図 1:50



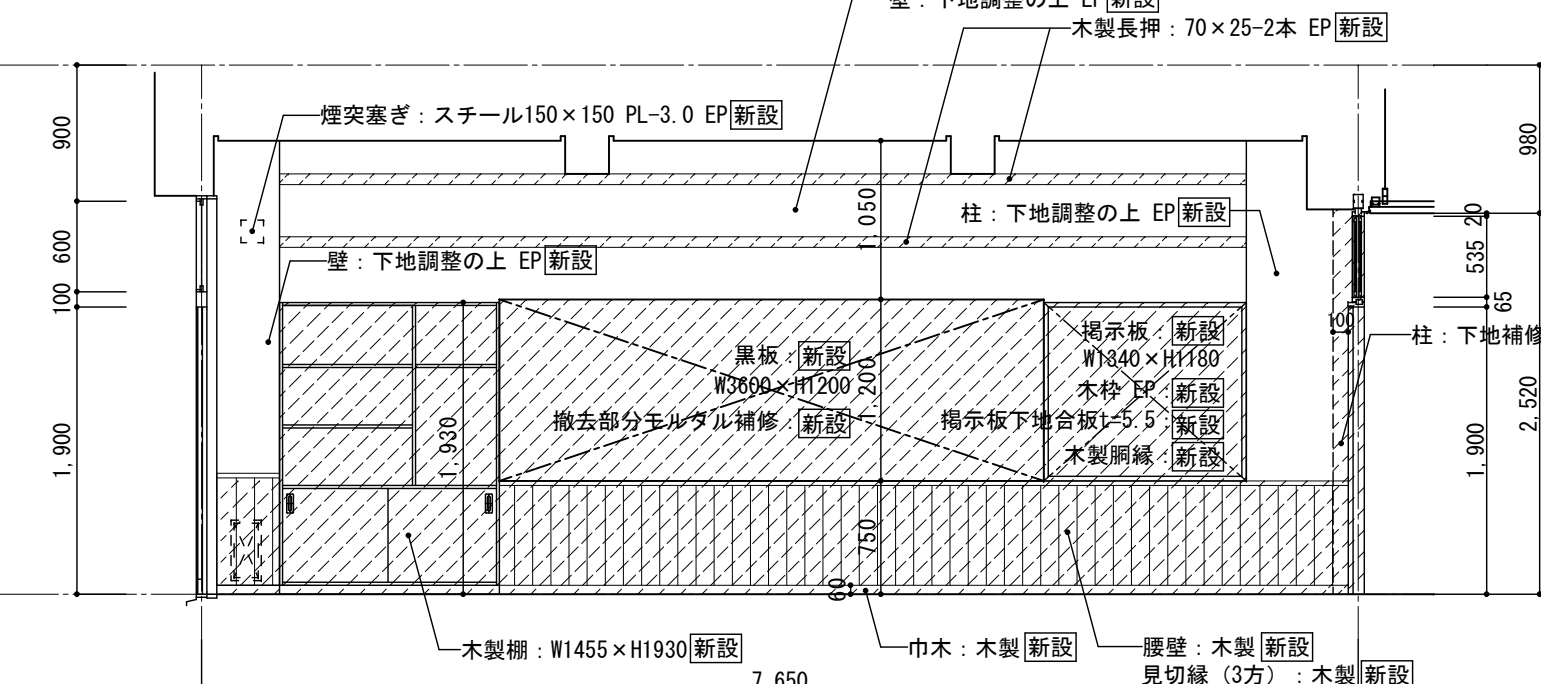
1階 にじいろ学級1平面詳細図 1:50



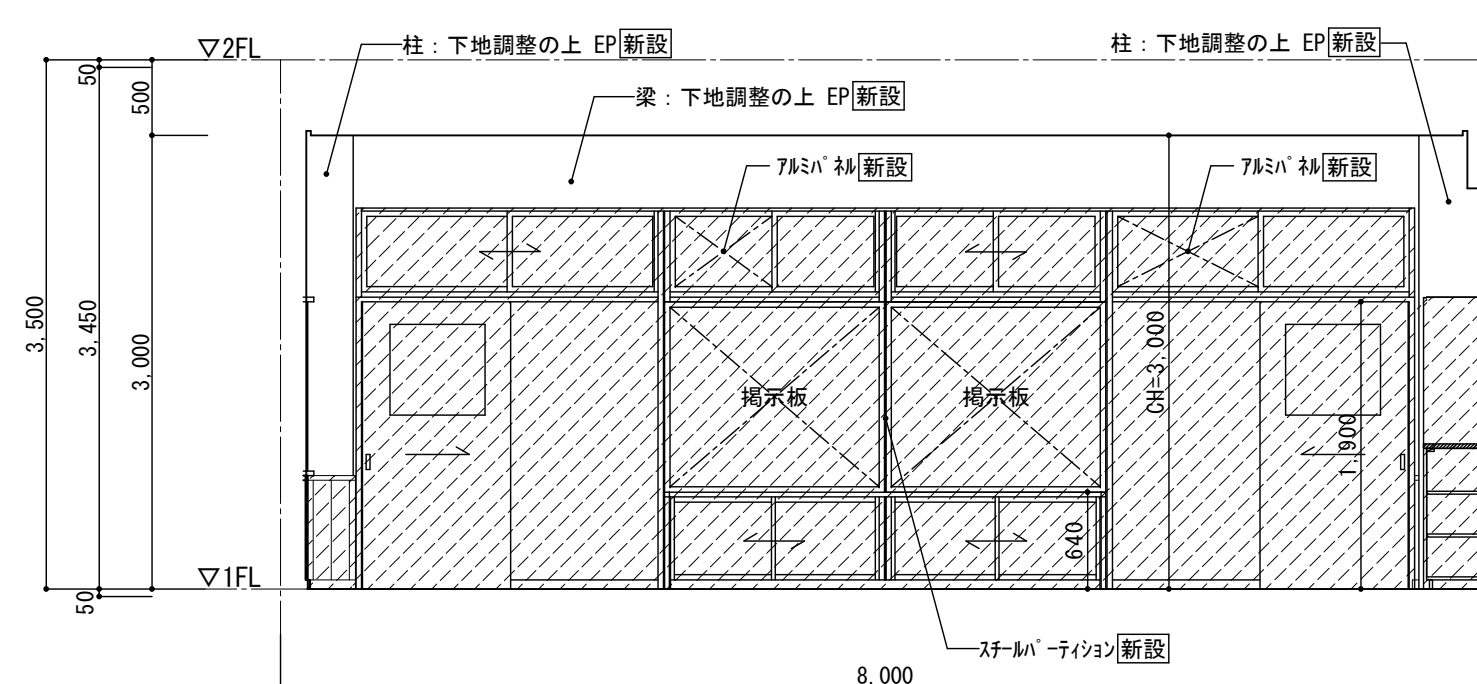
< 凡例 >  
新設範囲を示す



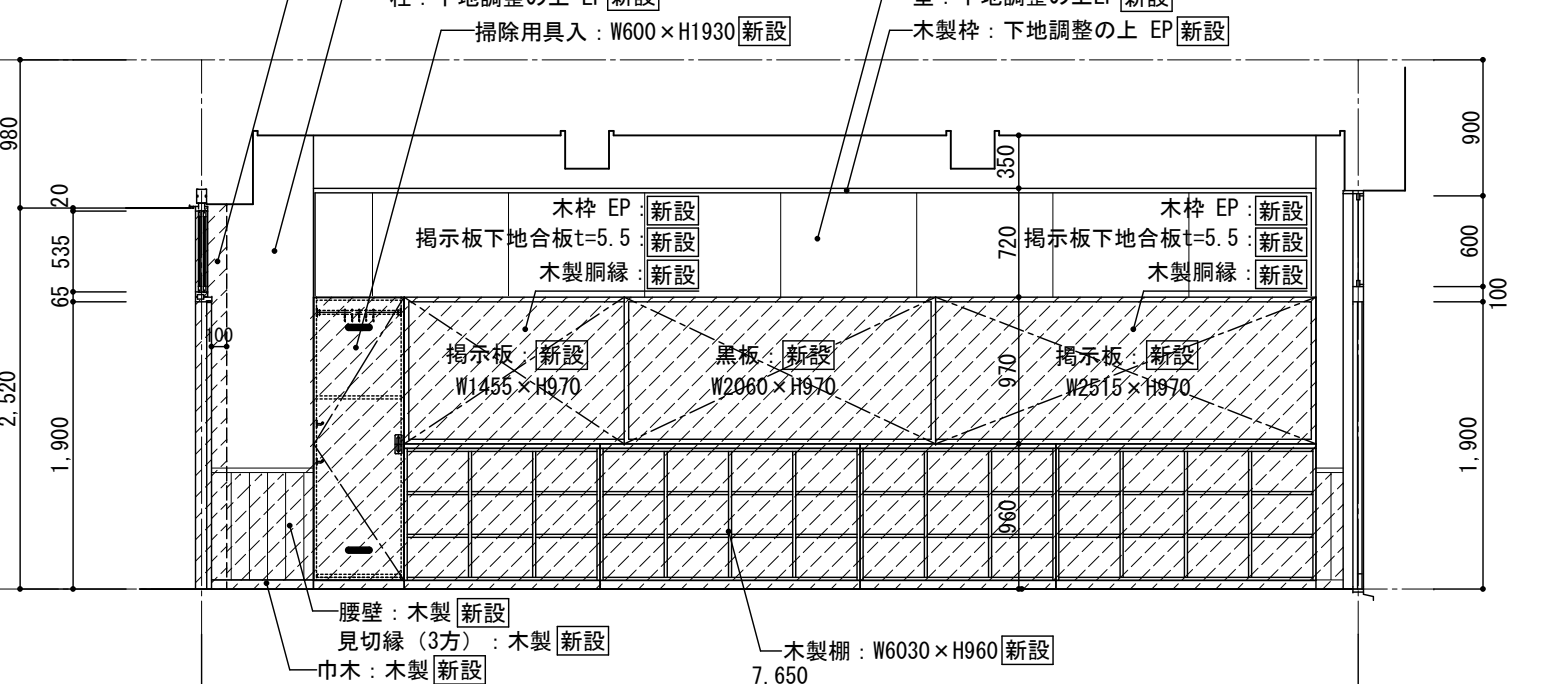
A面



B面

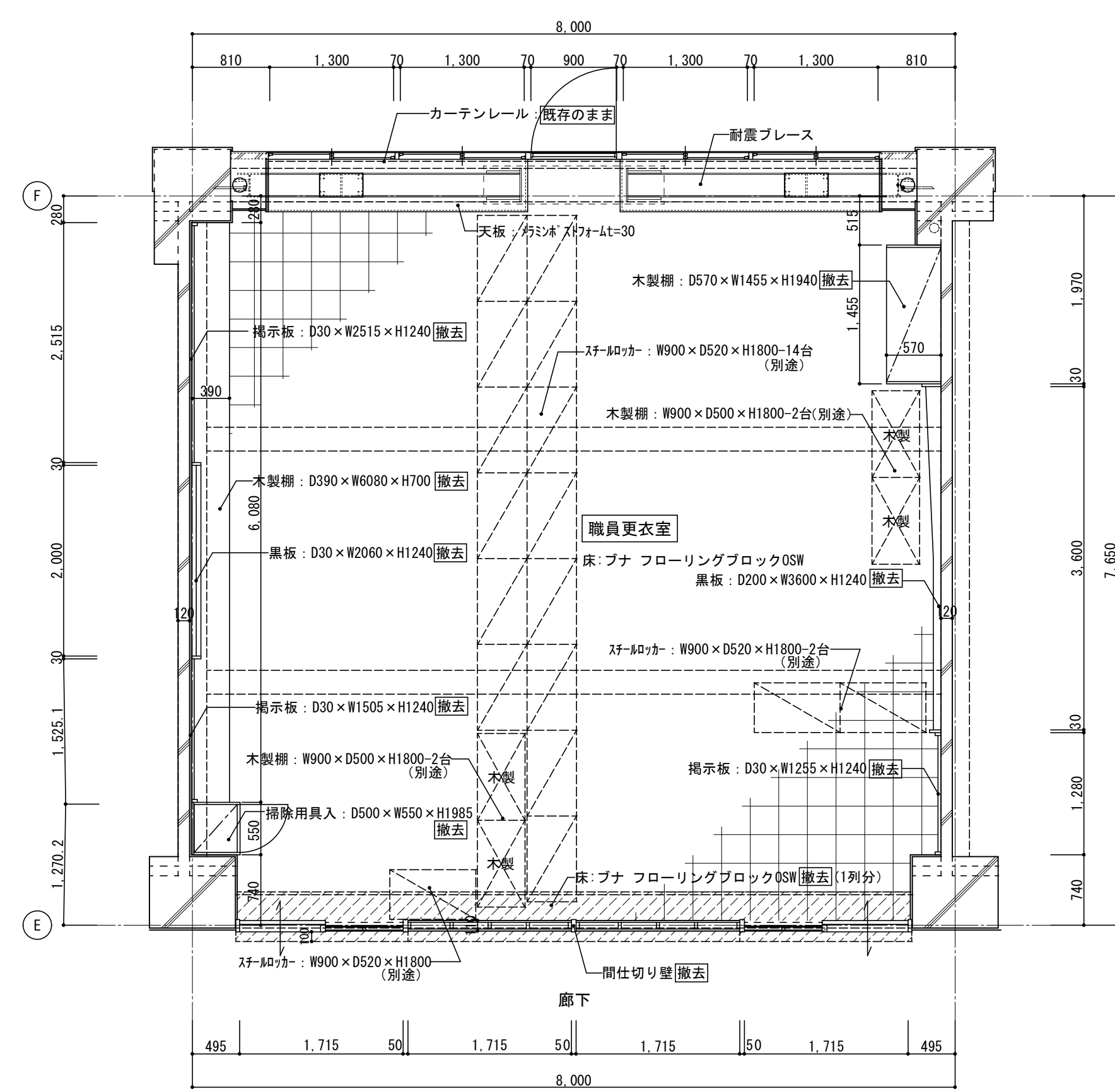


C面

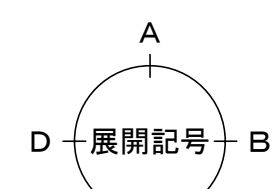


D面

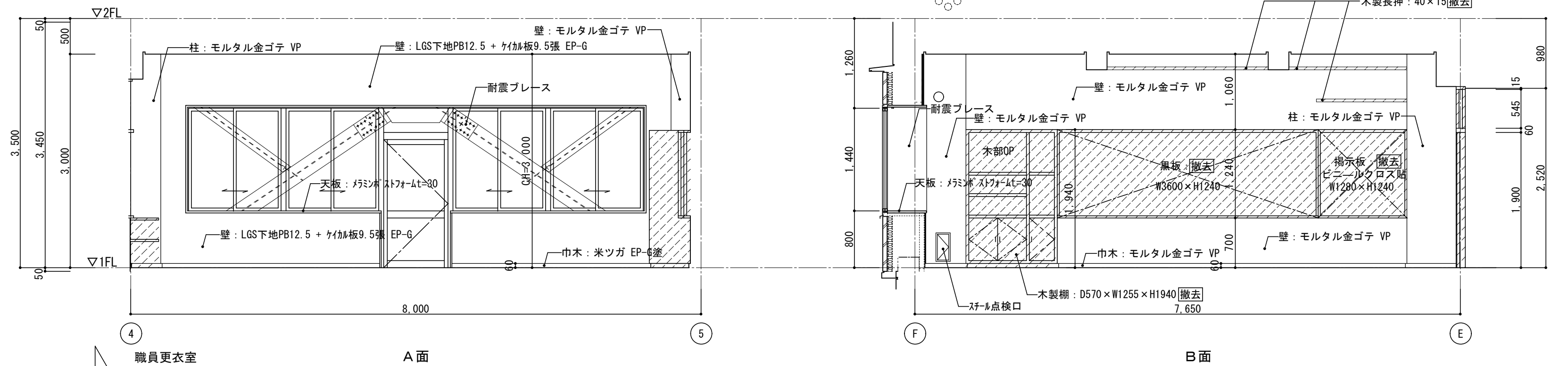
1階 にじいろ学級1展開図 1:50



1階 職員更衣室平面詳細図 1:50

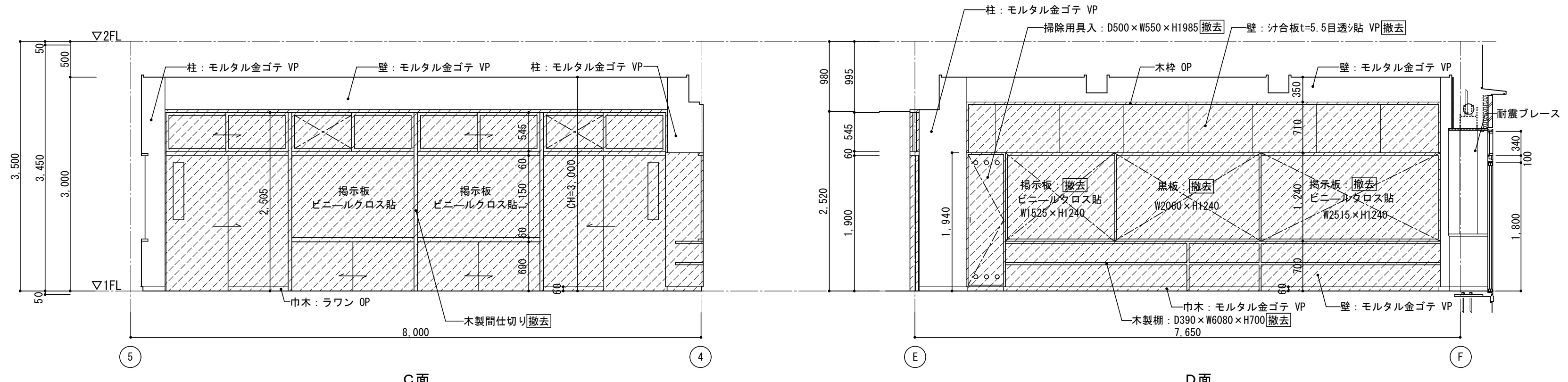


凡例  
撤去範囲を示す



職員更衣室 A面

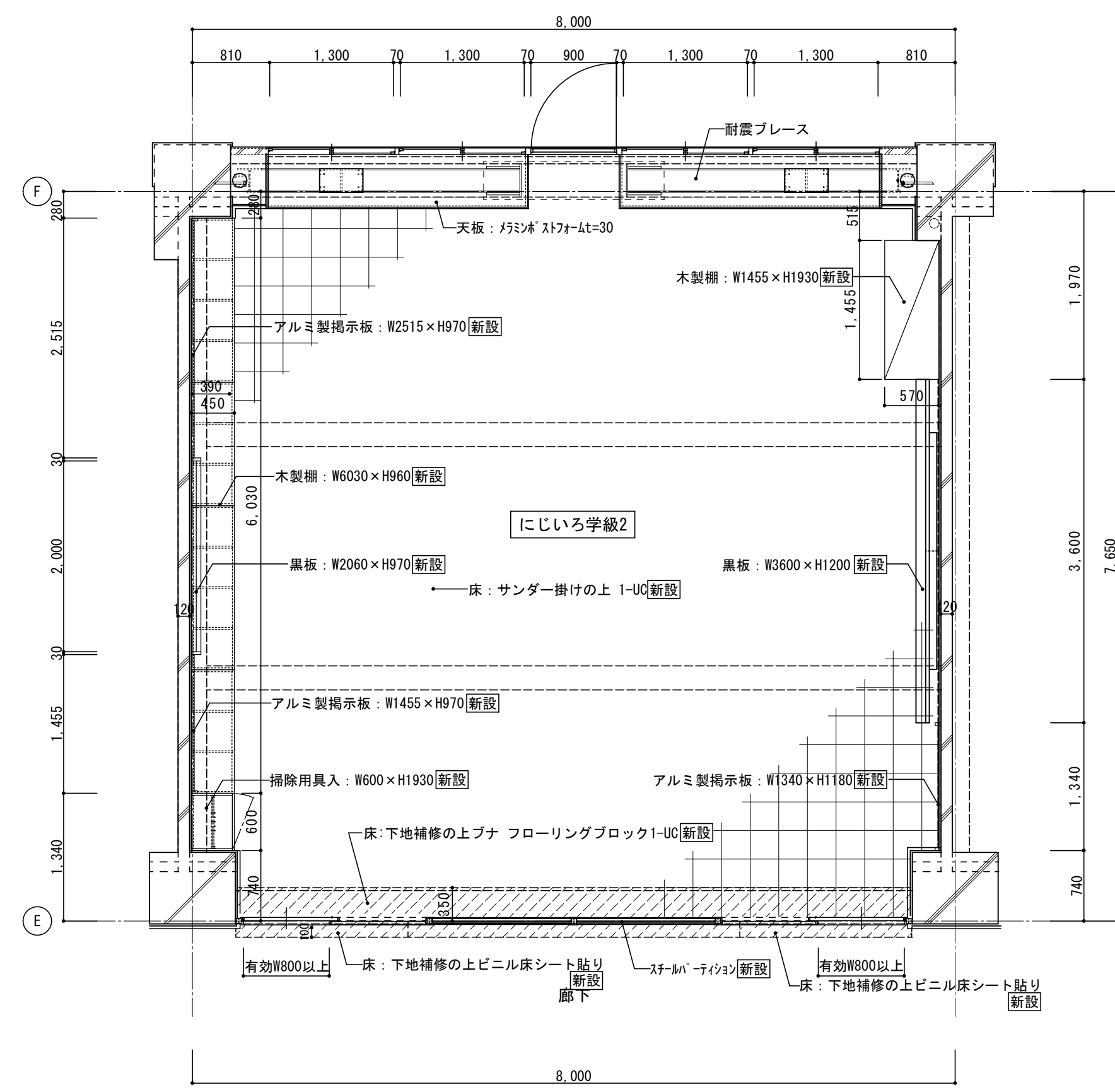
B面



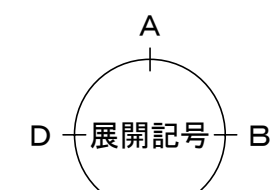
C面

D面

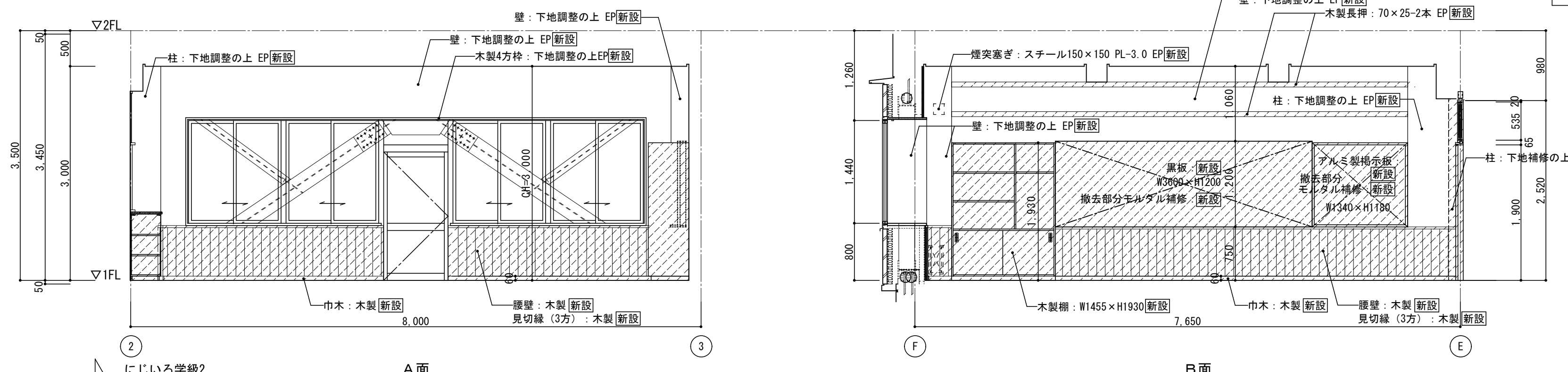
1階 職員更衣室 展開図 1:50



1階 にじいろ学級2 平面詳細図 1:50

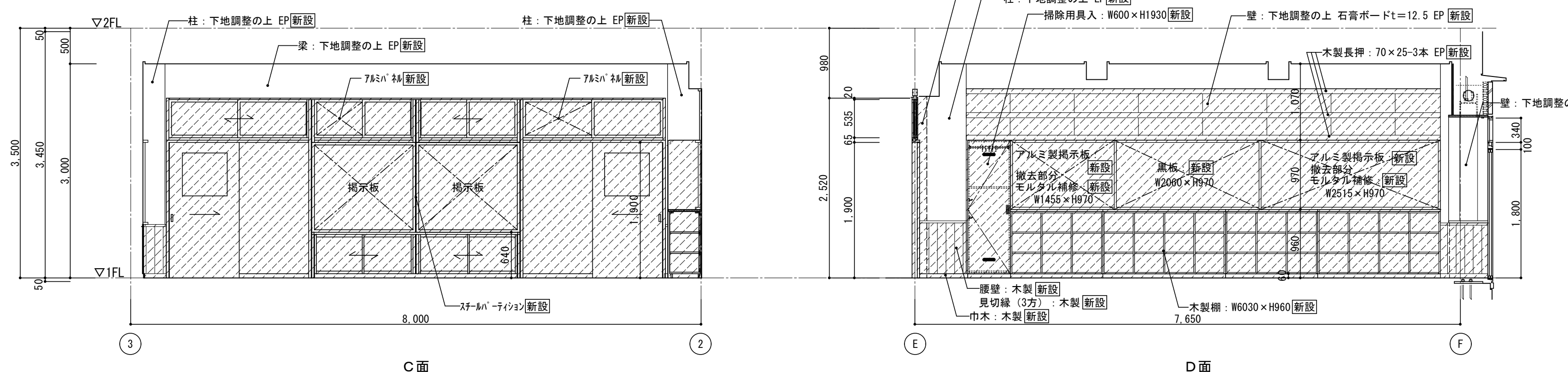


凡例  
新設範囲を示す



にじいろ学級2 A面

B面



C面

D面

1階 にじいろ学級2 展開図 1:50

【註記】：内装制限の為、使用材は 準不燃以上とする。



株式会社 松下設計 一級建築士事務所  
登録(11)183  
埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

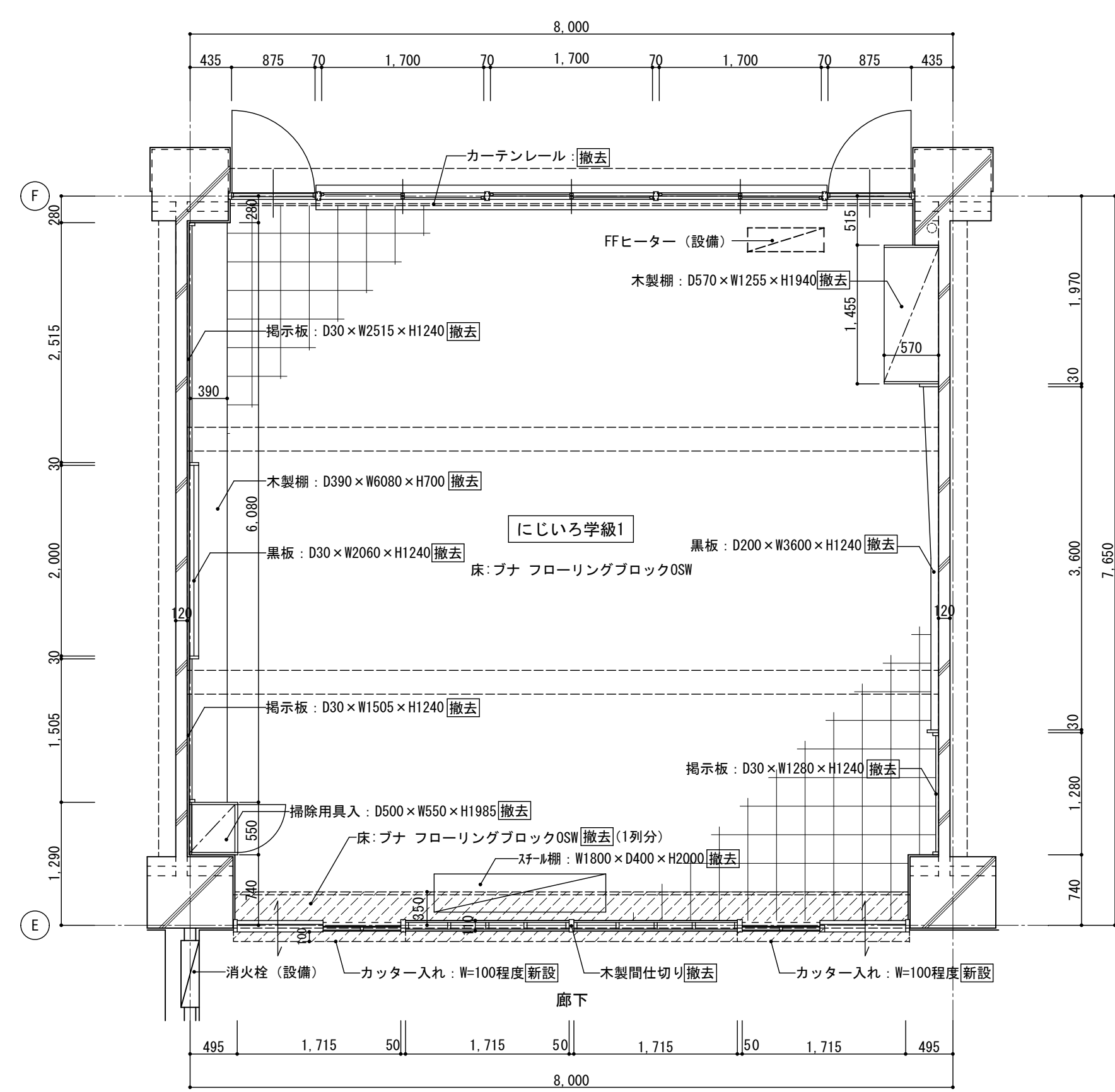
契約番号 17-137 日付 2018年3月  
設計部長 松岡 担当 製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】

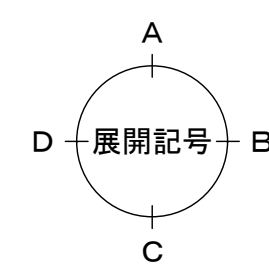
設計図

図面名 中央棟普通教室詳細図(1階にじいろ学級2) 【改修前・後】  
図面番号 A  
縮尺 S:1:50 (A3版 50%縮小)

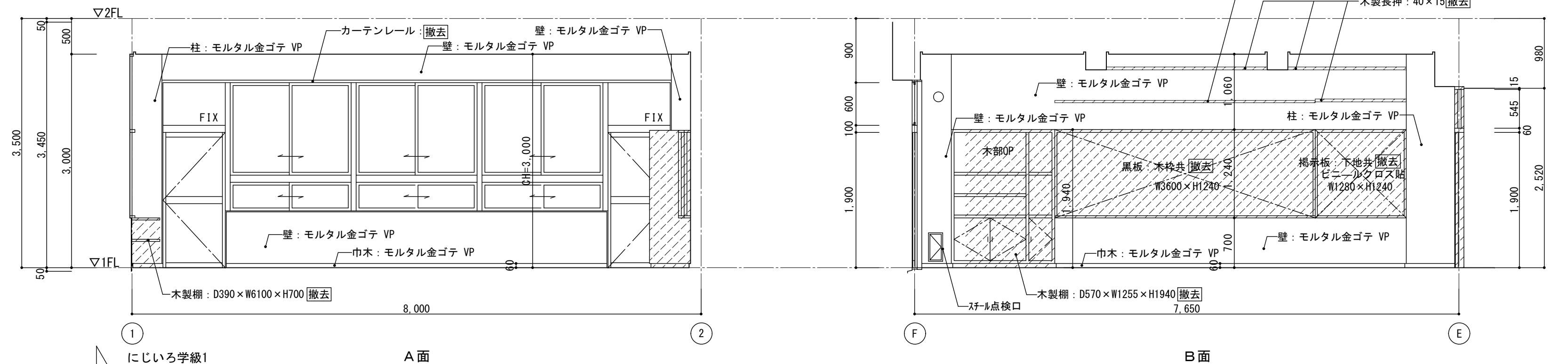
図面種別 A  
図面番号 38



1階 にじいろ学級1平面詳細図 1:50

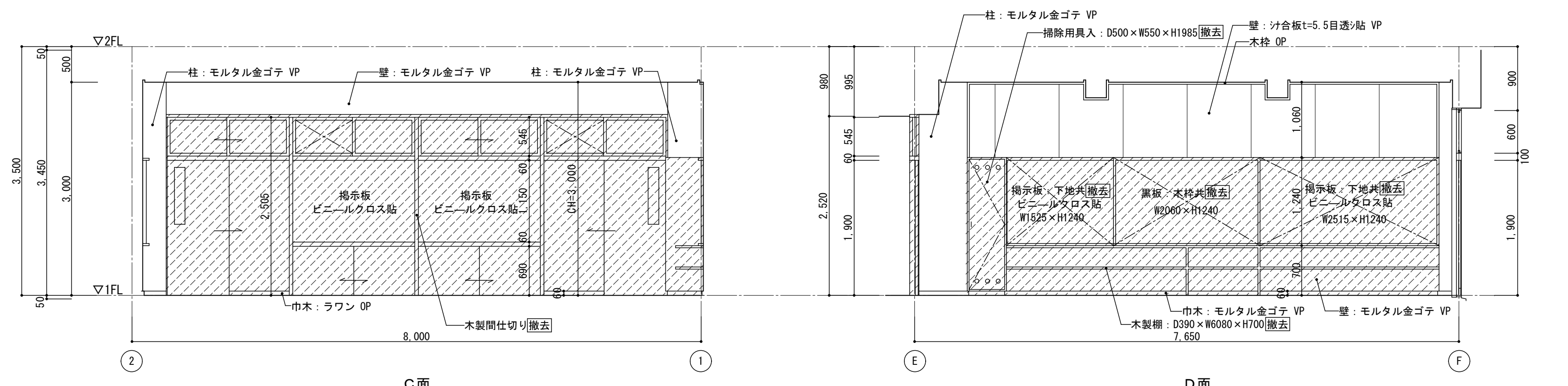


< 凡例 >  
撤去範囲を示す



にじいろ学級1 A面

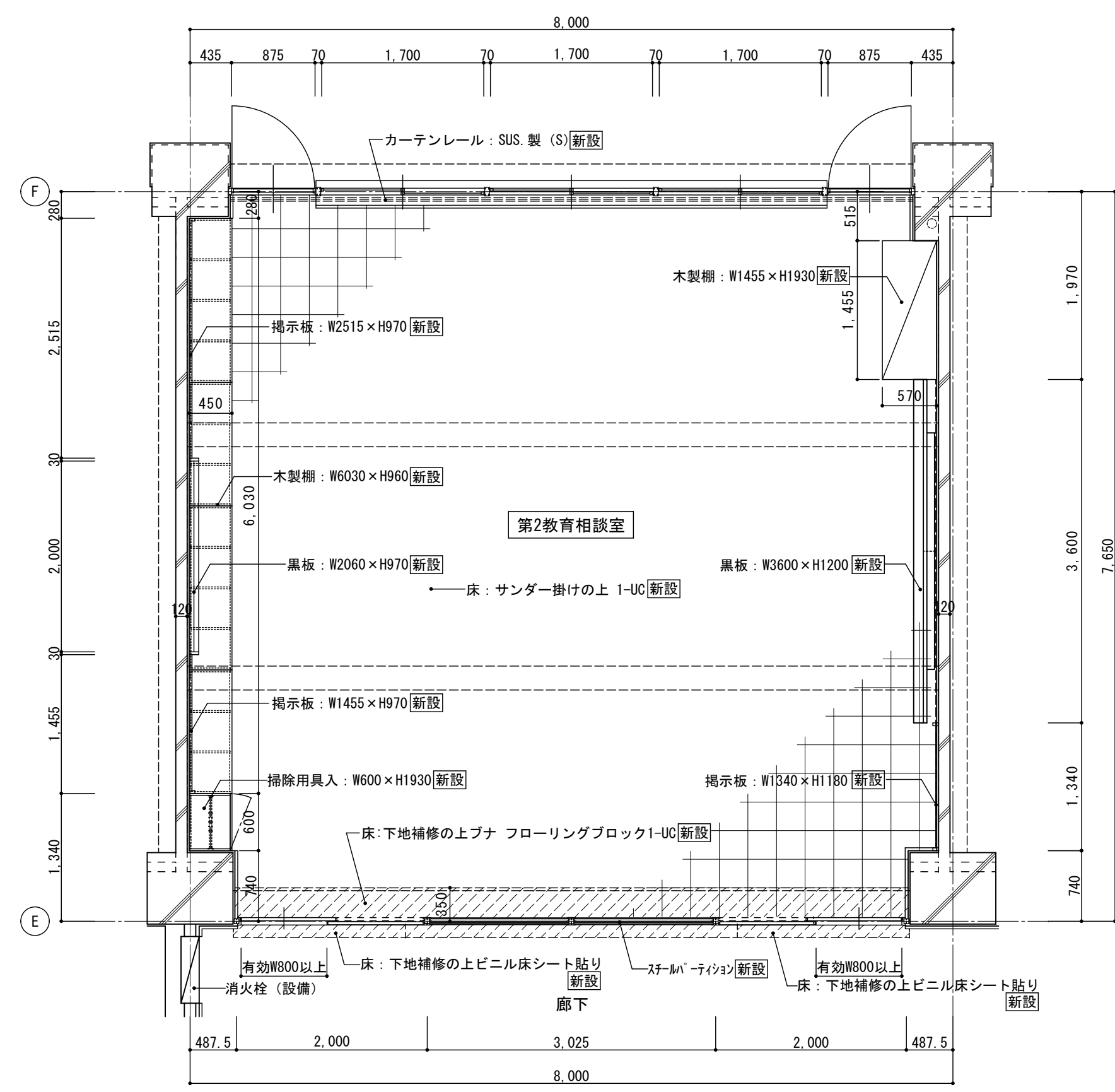
B面



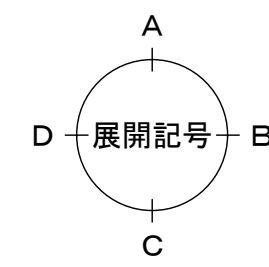
C面

D面

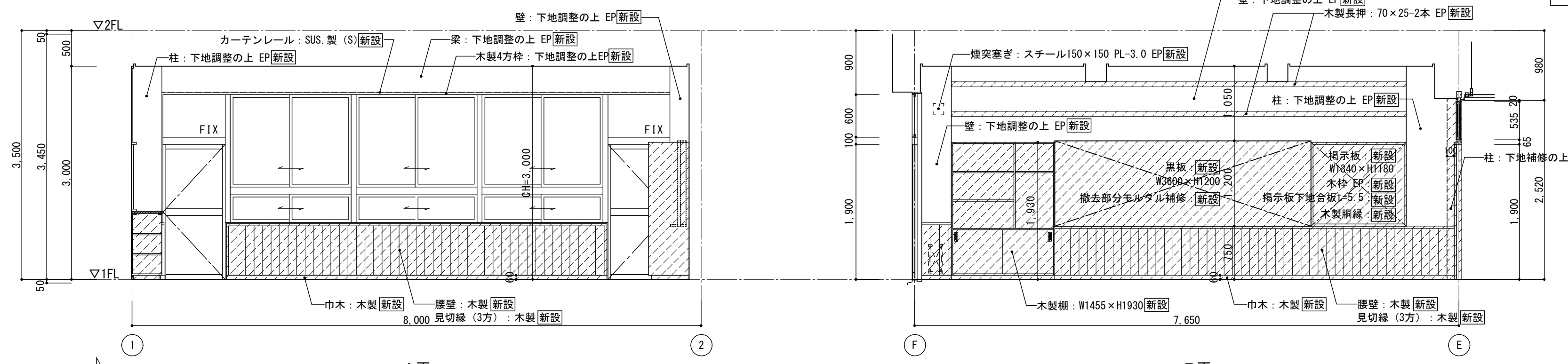
1階 にじいろ学級1展開図 1:50



1階 第2教育相談室平面詳細図 1:50

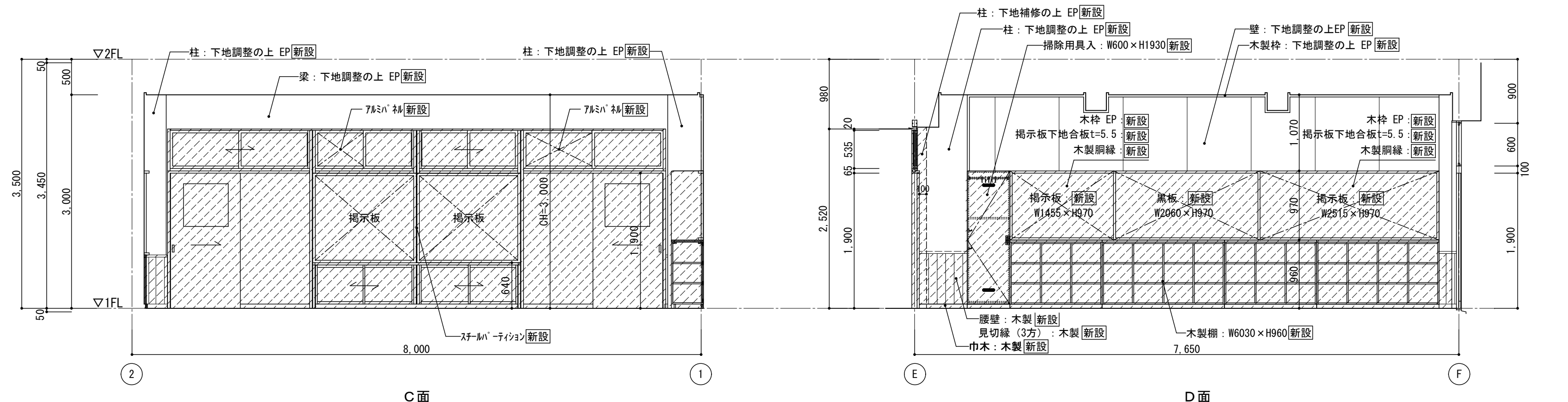


< 凡例 >  
新設範囲を示す



第2教育相談室 A面

B面

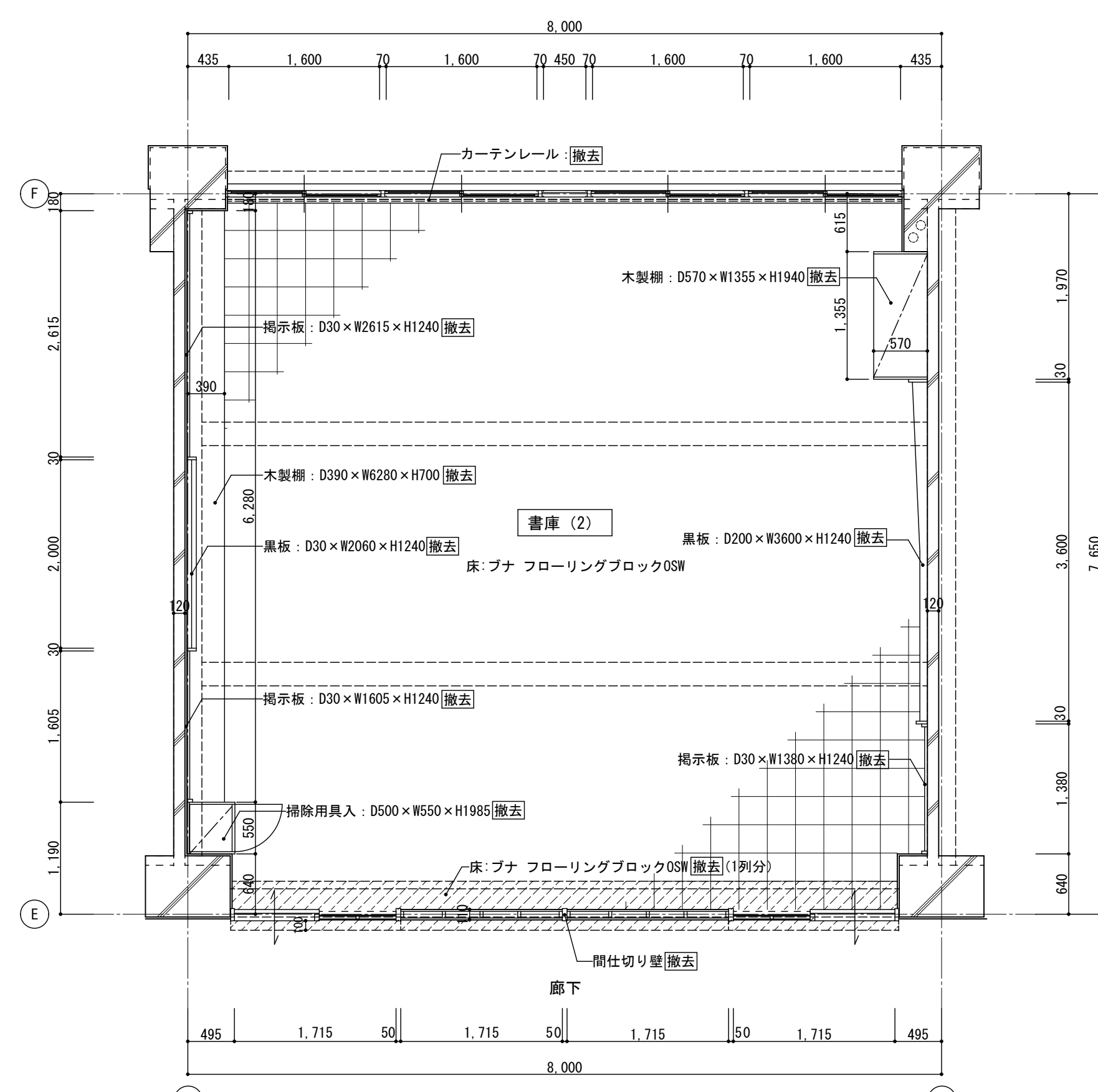


C面

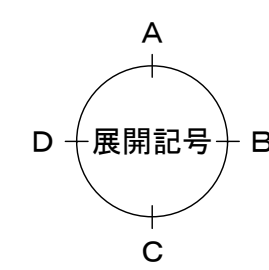
D面

1階 第2教育相談室展開図 1:50

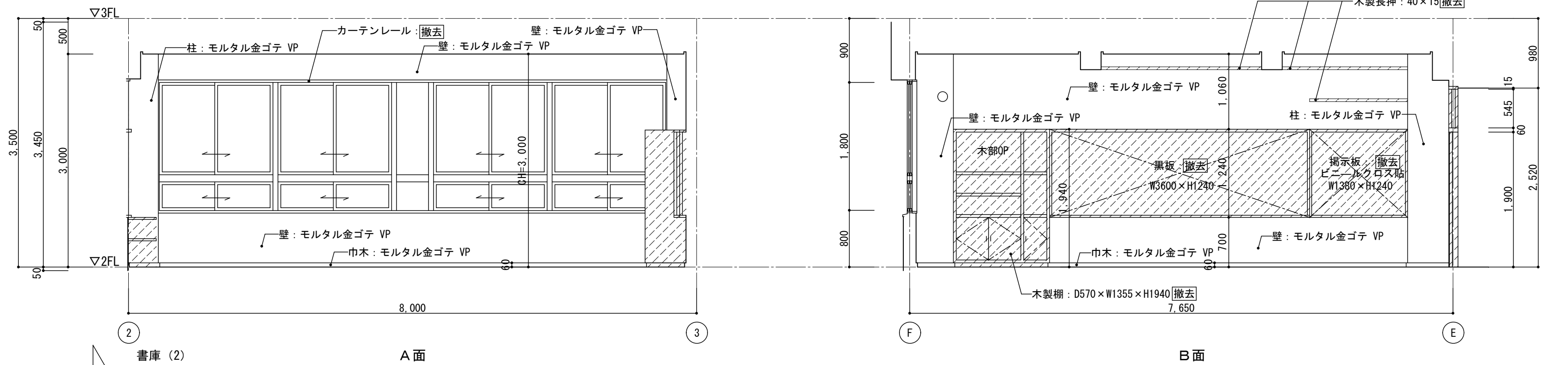




2階書庫(2)平面詳細図 1:50

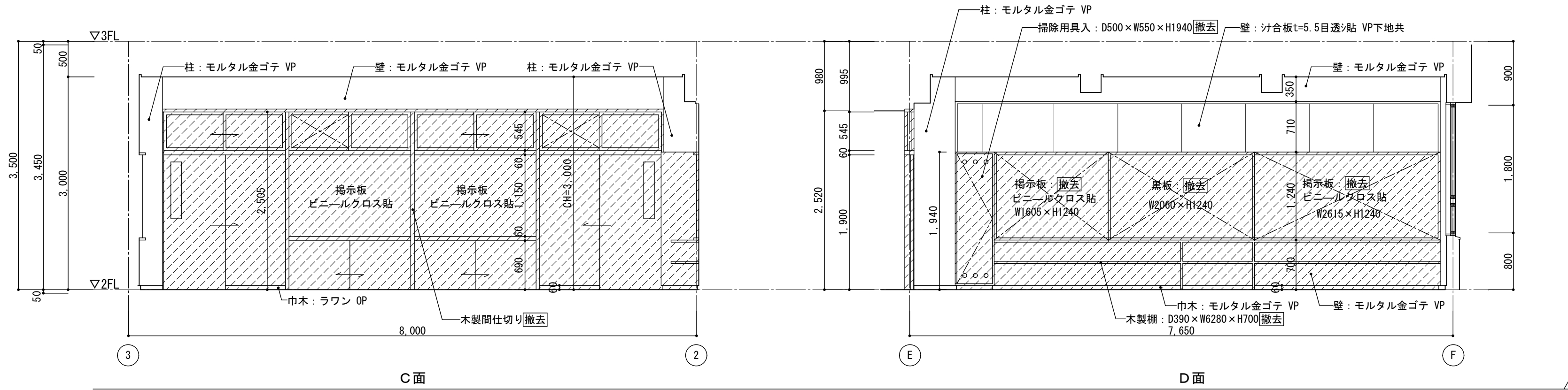


<凡例>  
撤去範囲を示す



2階書庫(2)展開図 A面

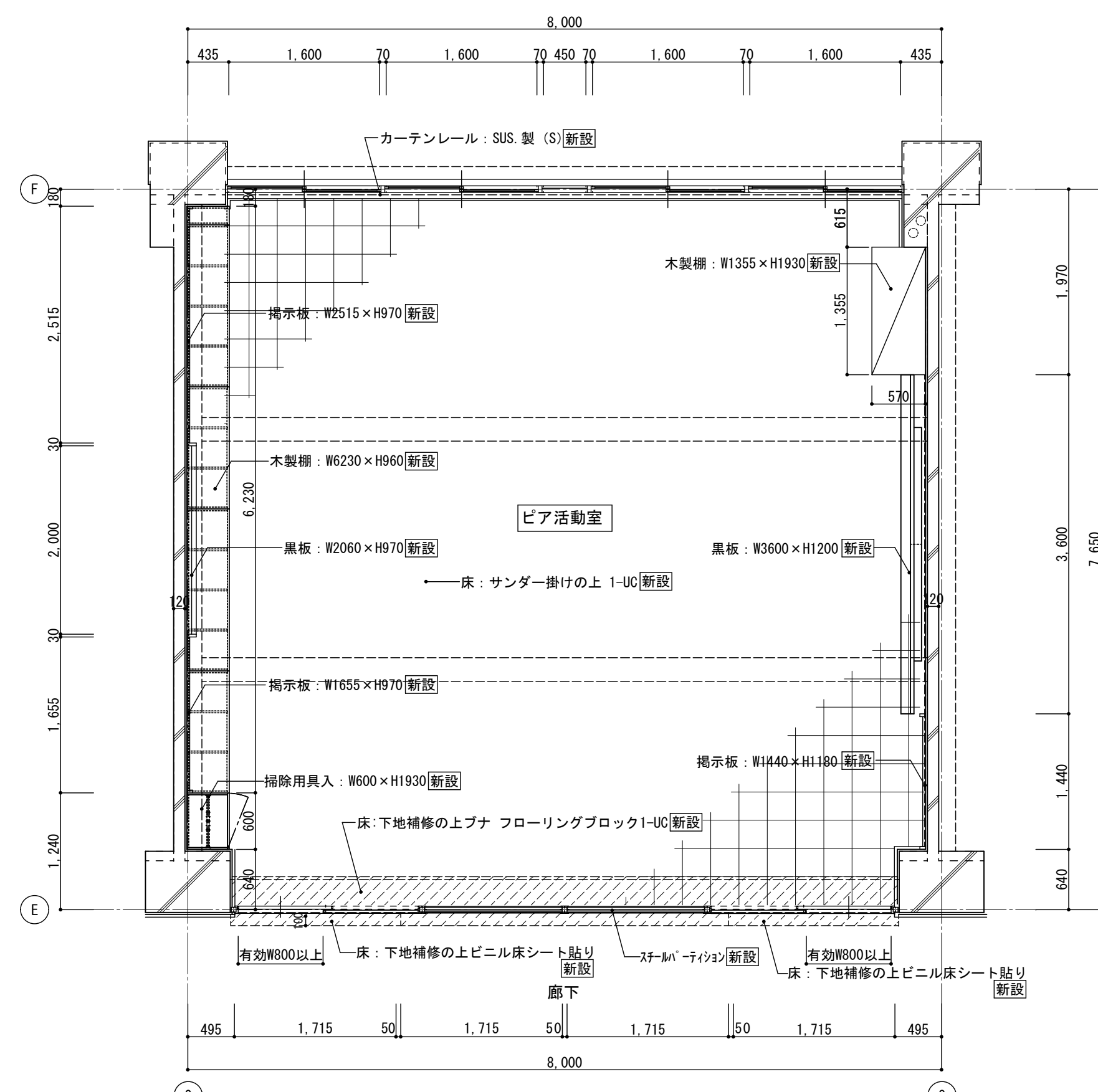
2階書庫(2)展開図 B面



2階書庫(2)展開図 C面

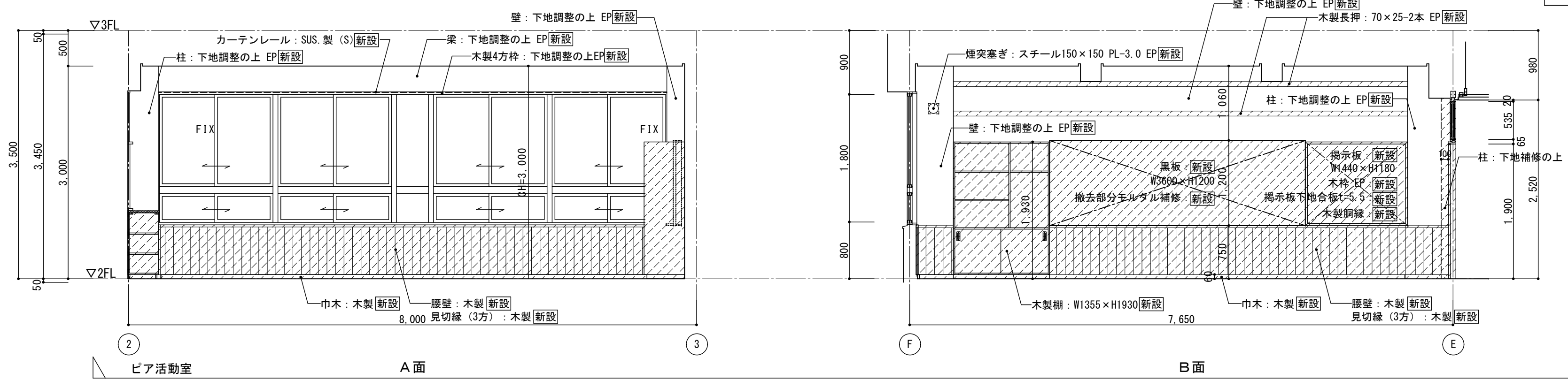
2階書庫(2)展開図 D面

2階書庫(2)展開図 1:50



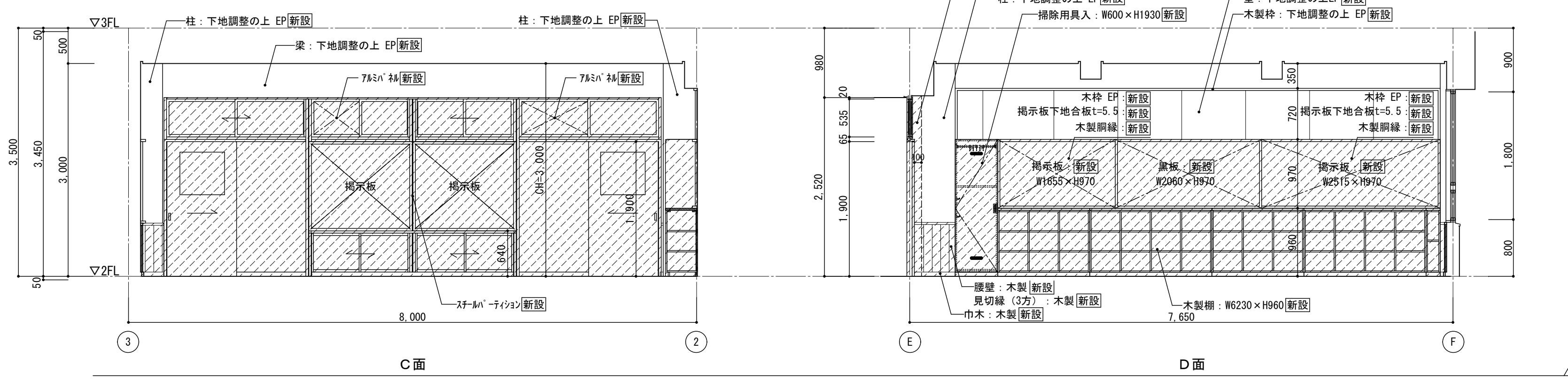
2階ピア活動室平面詳細図 1:50

<凡例>  
新設範囲を示す



2階ピア活動室 A面

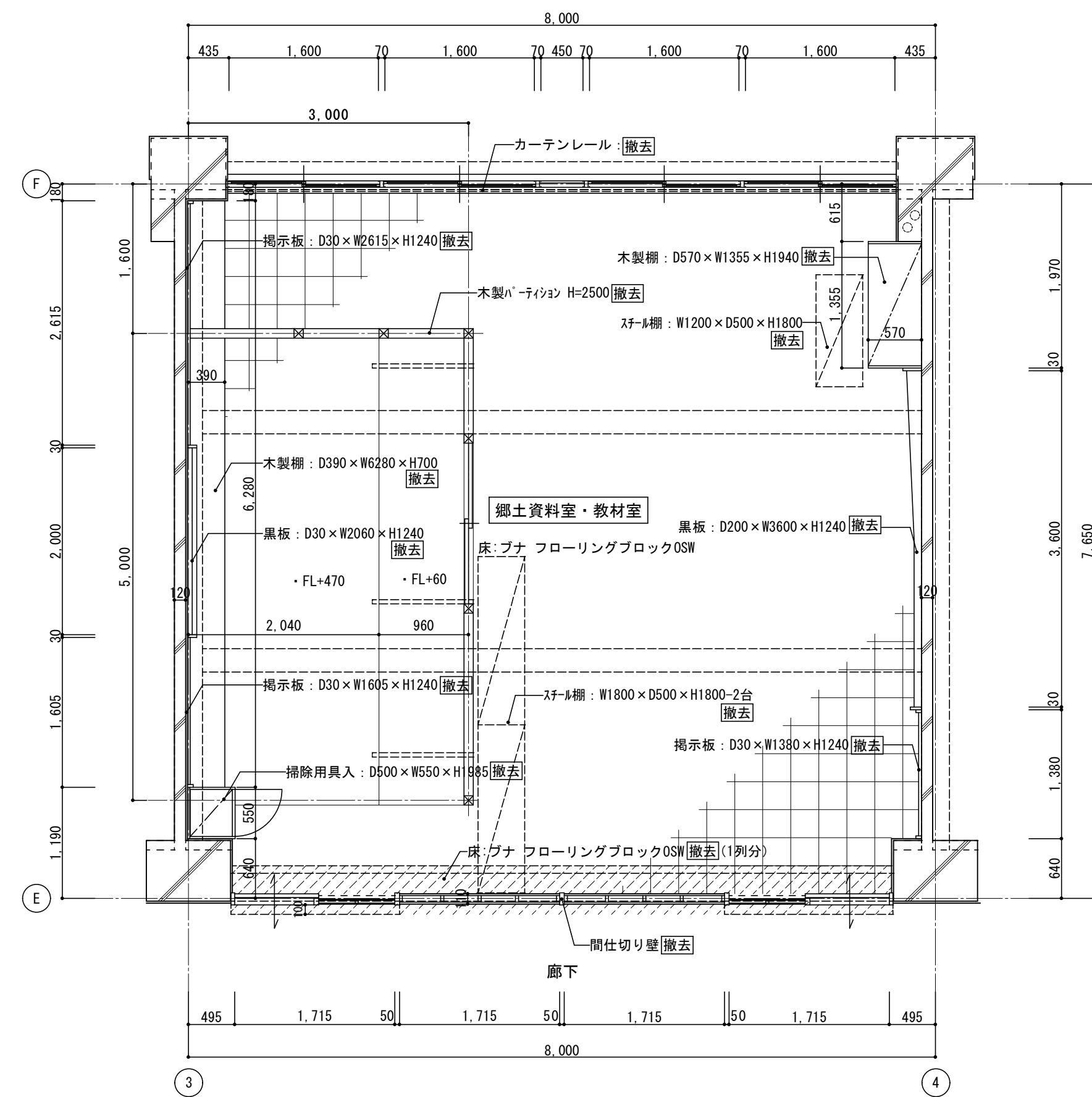
2階ピア活動室 B面



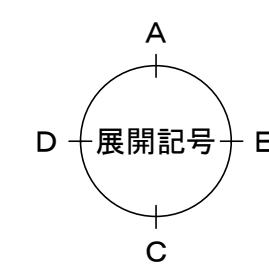
2階ピア活動室 C面

2階ピア活動室 D面

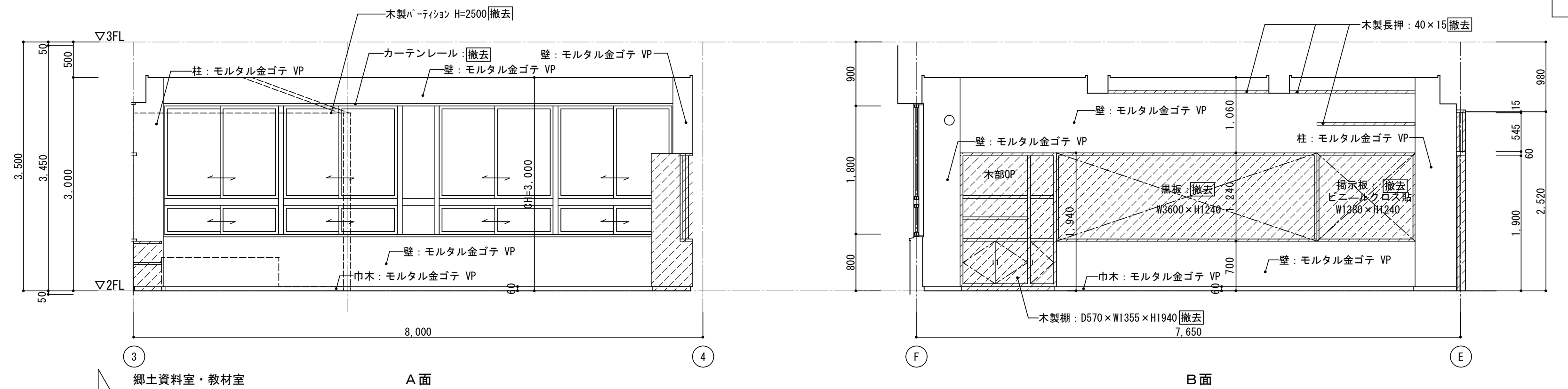
2階ピア活動室 展開図 1:50



2階 郷土資料室・教材室 平面詳細図 1:50

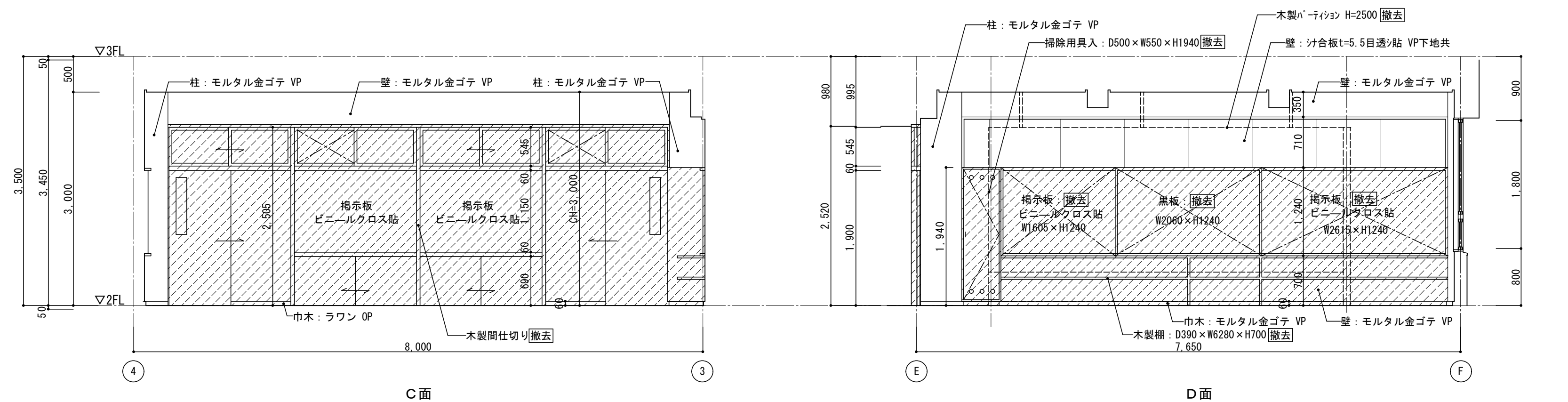


< 凡例 >  
 撤去範囲を示す



郷土資料室・教材室 A面

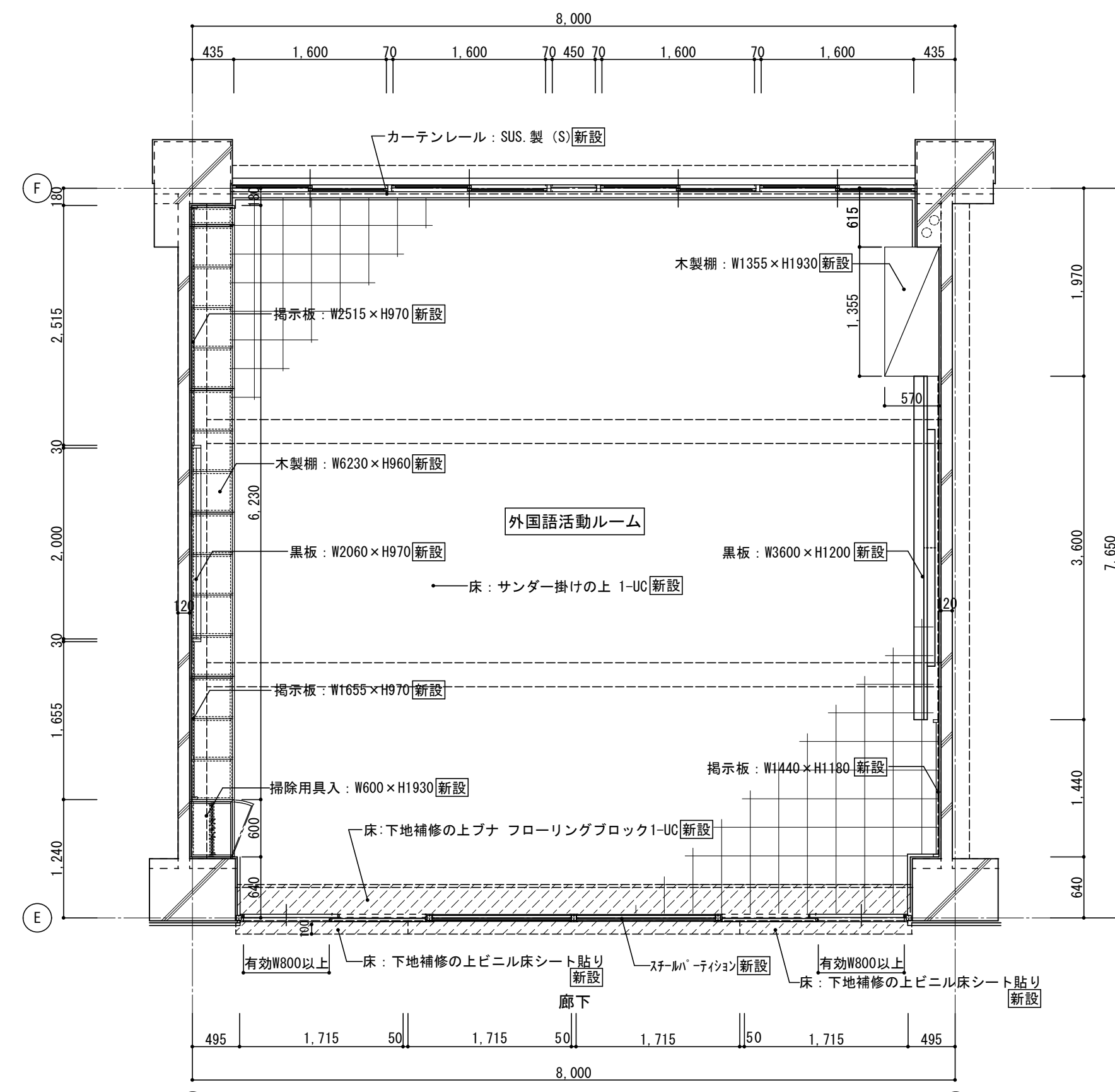
B面



C面

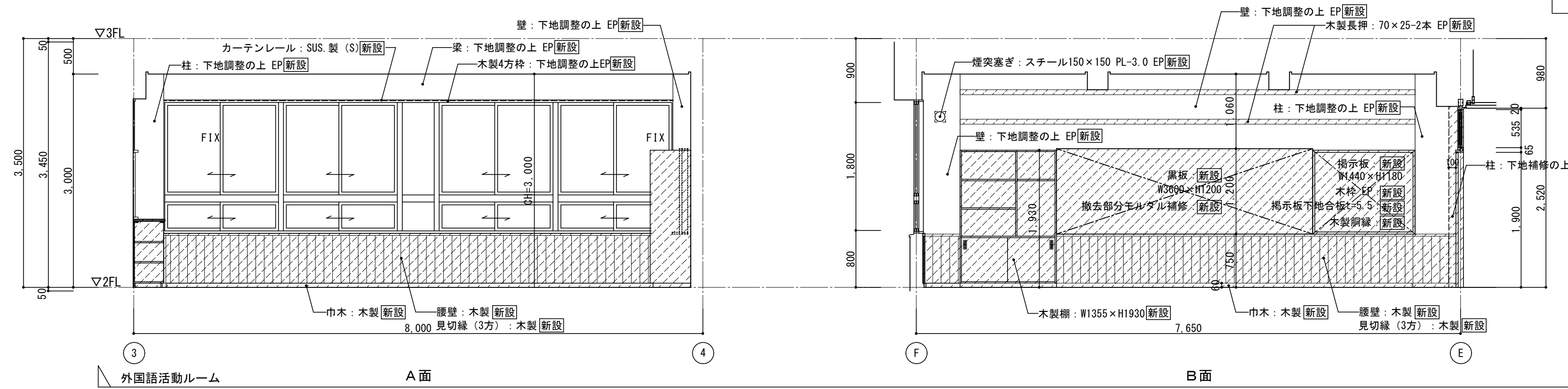
D面

2階 郷土資料室・教材室 展開図 1:50



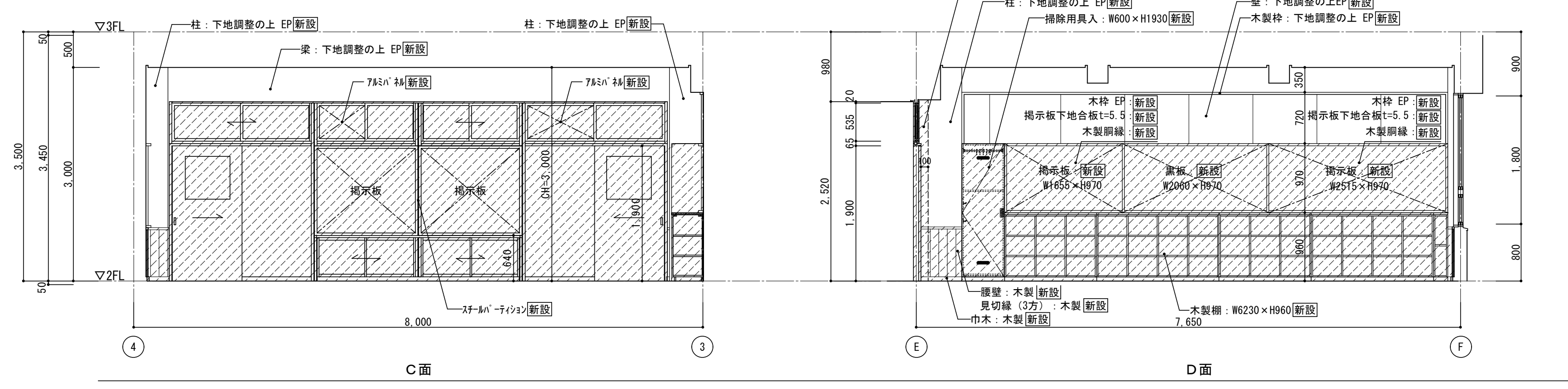
2階 外国語活動ルーム 平面詳細図 1:50

< 凡例 >  
 新設範囲を示す



外国語活動ルーム A面

B面



C面

D面

2階 外国語活動ルーム 展開図 1:50



株式会社 松下設計  
 一級建築士事務所  
 登録 (11) 183  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

図面番号 17-137  
 設計部長 松岡 担任 製図  
 発行 2018年3月

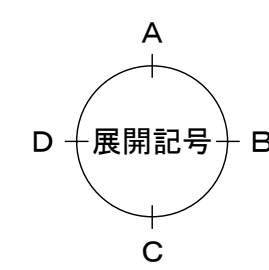
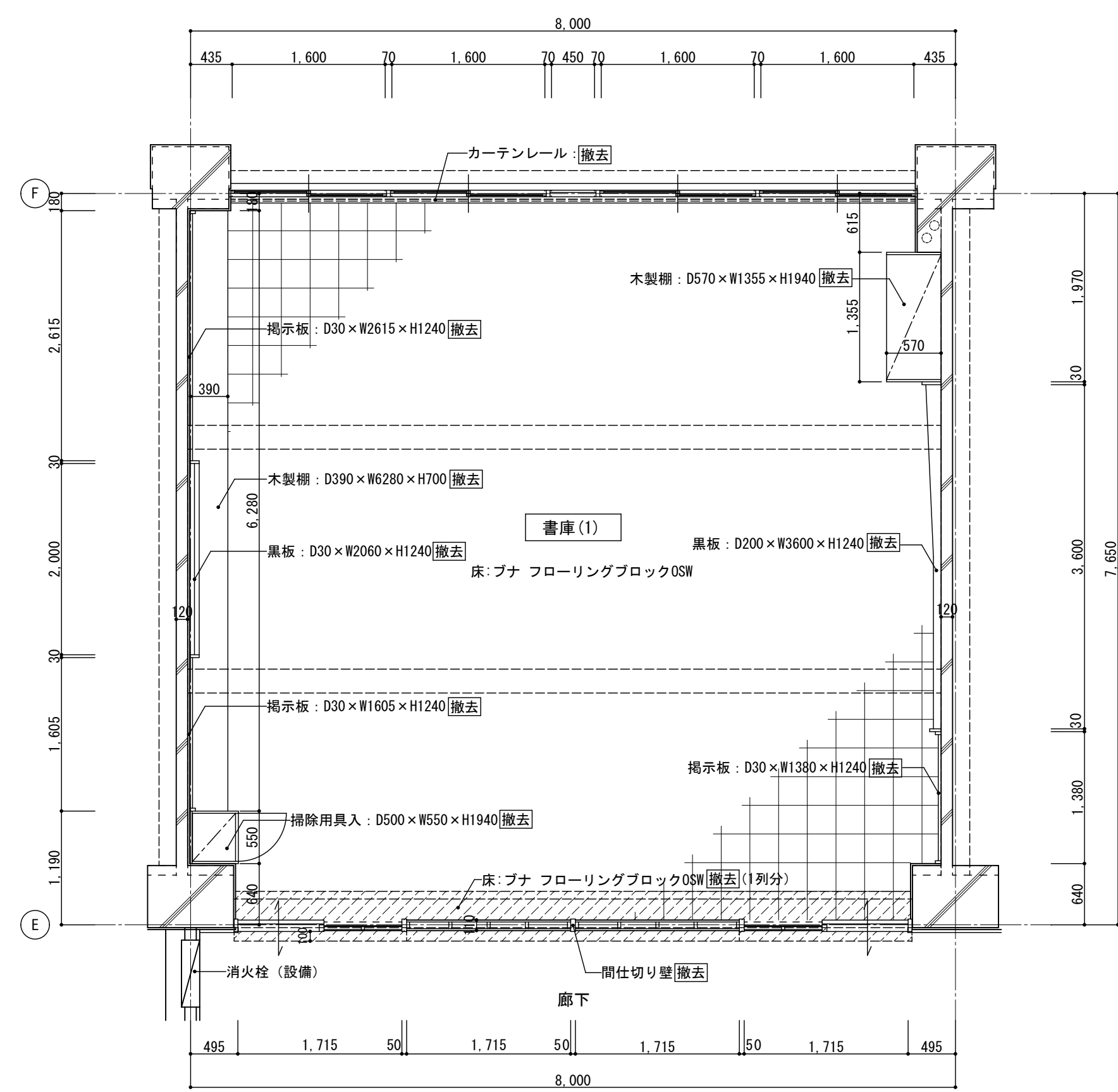
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】

設計図

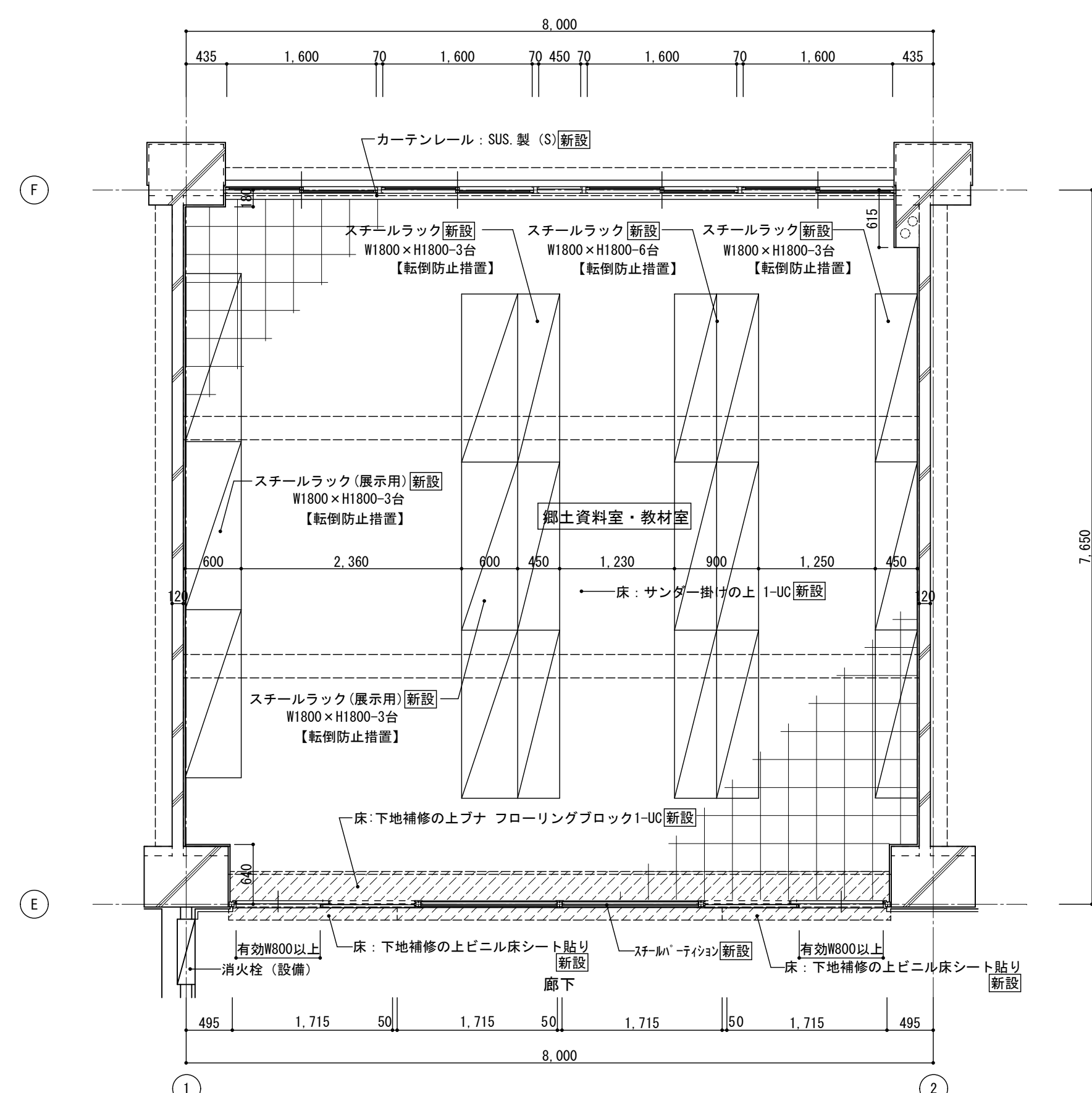
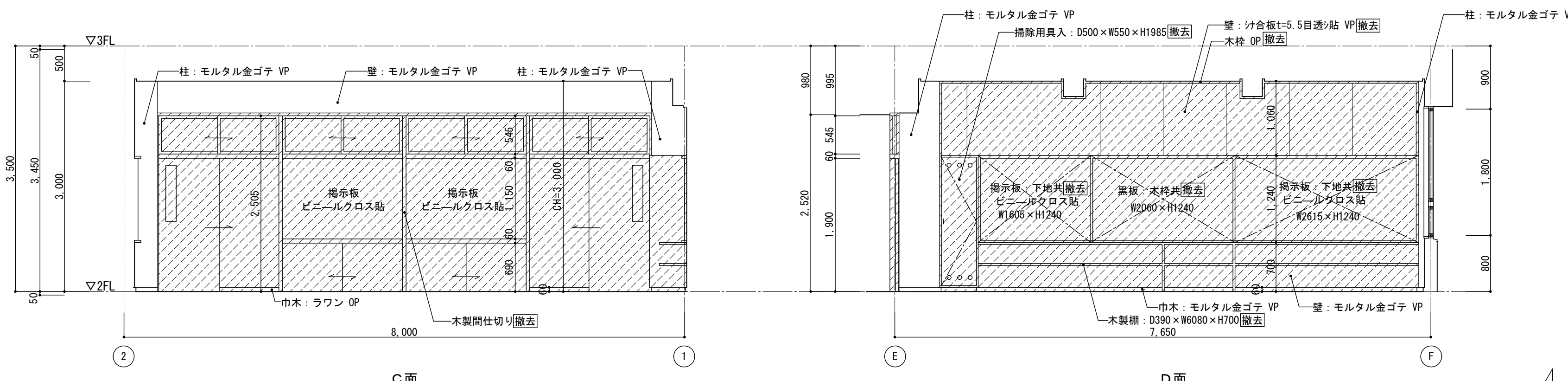
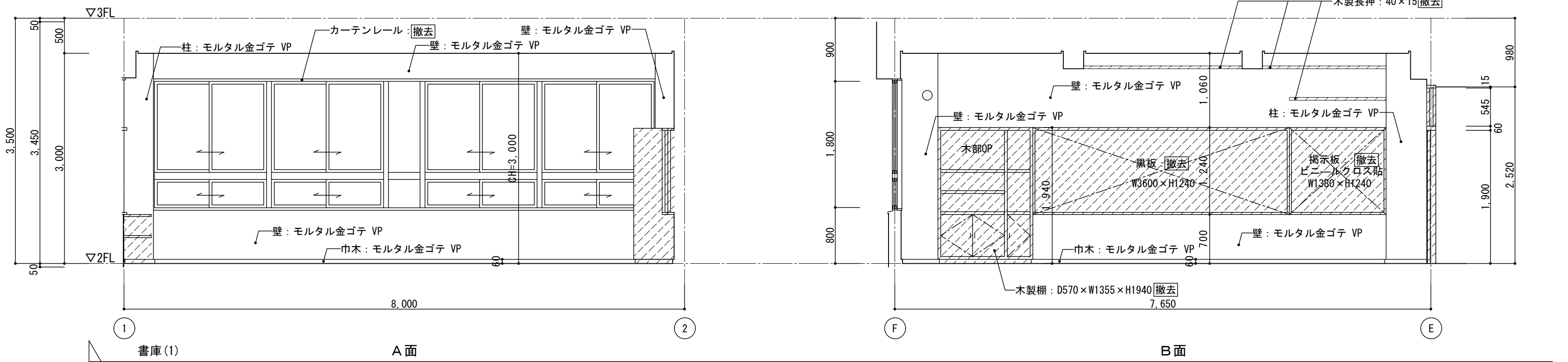
図面名 中央棟普通教室詳細図(2階外国語活動ルーム)  
 【改修前・後】  
 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)

図面種別 A  
 図面番号 41

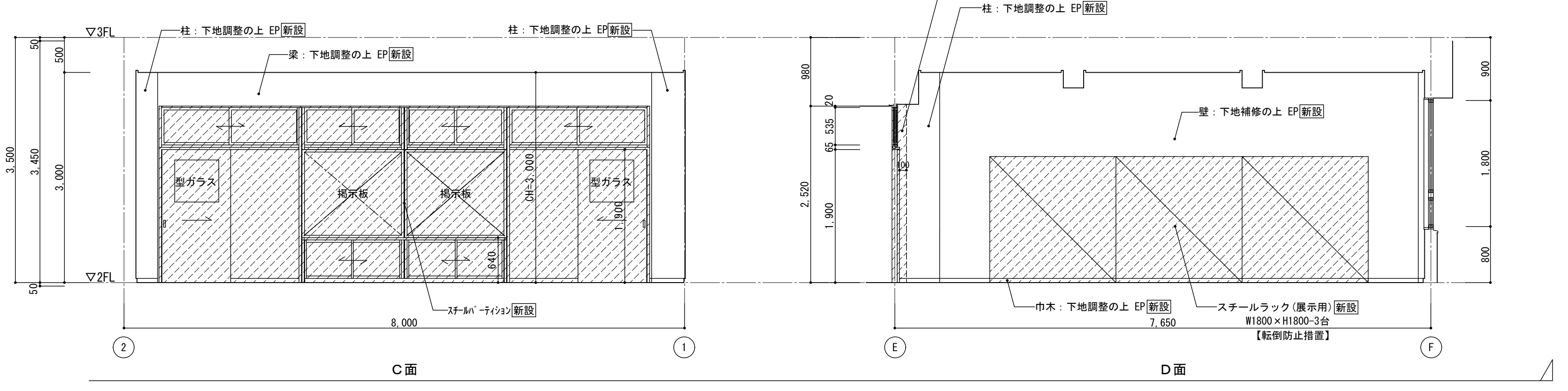
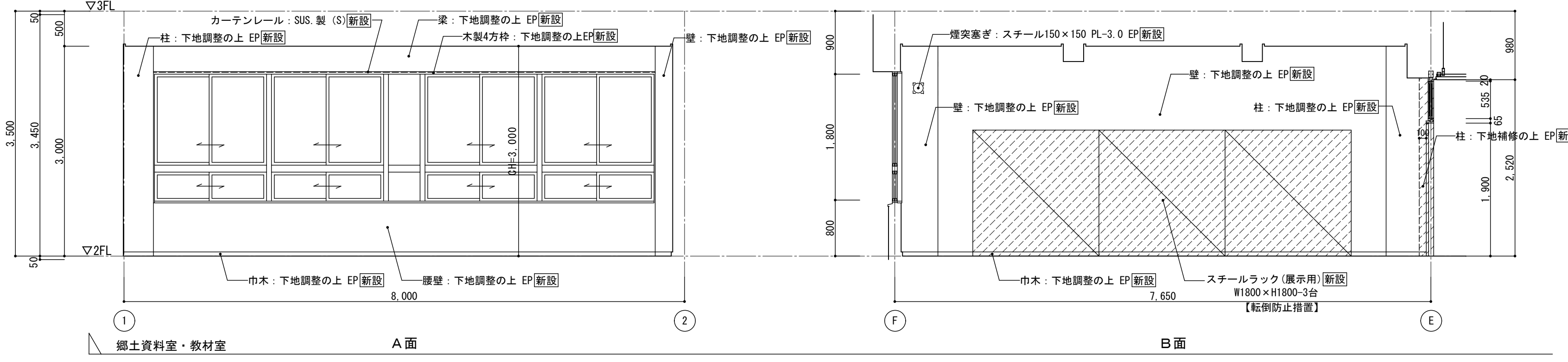


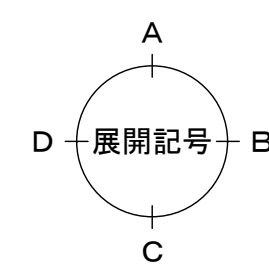
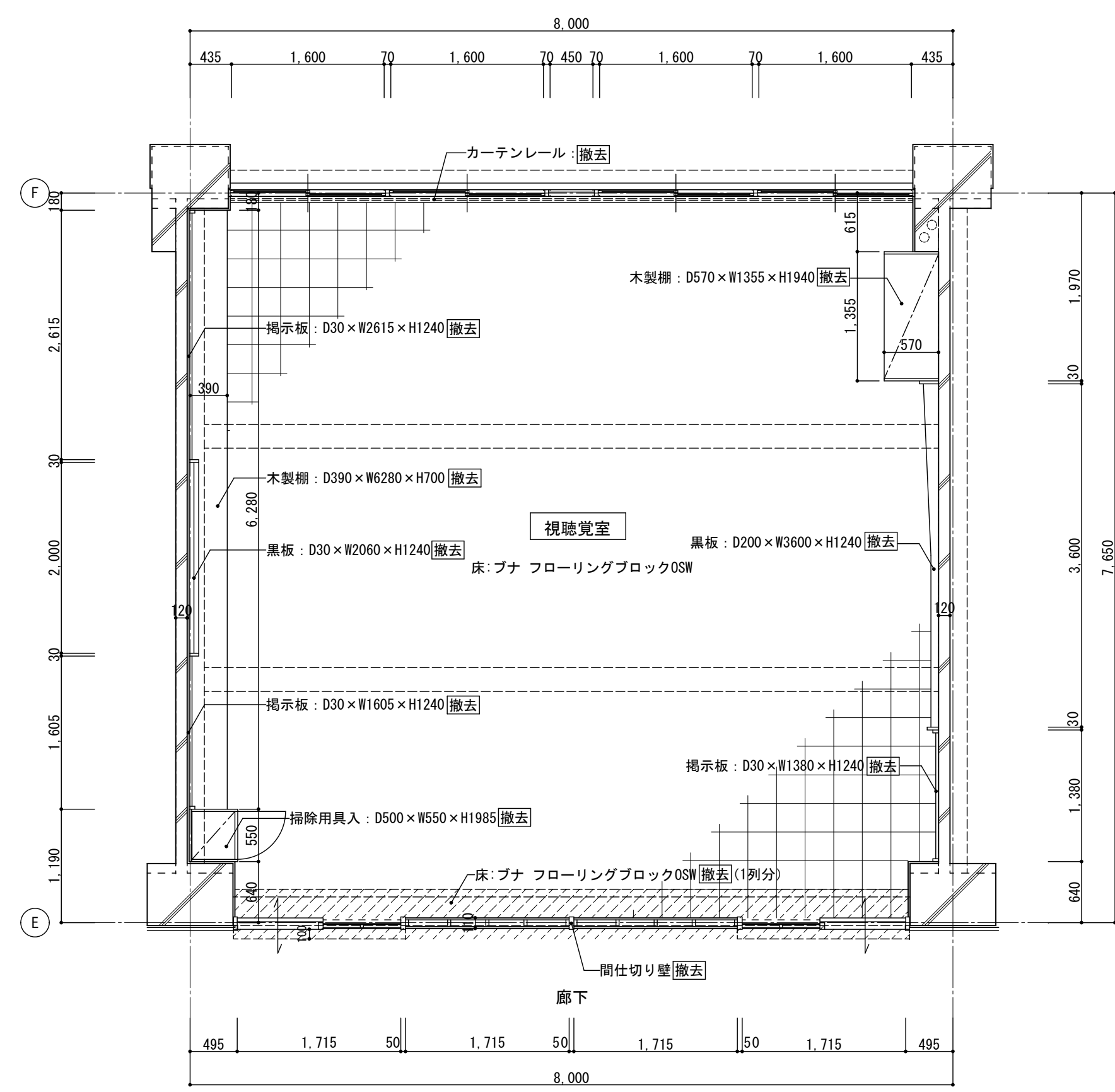


< 凡例 >  
撤去範囲を示す

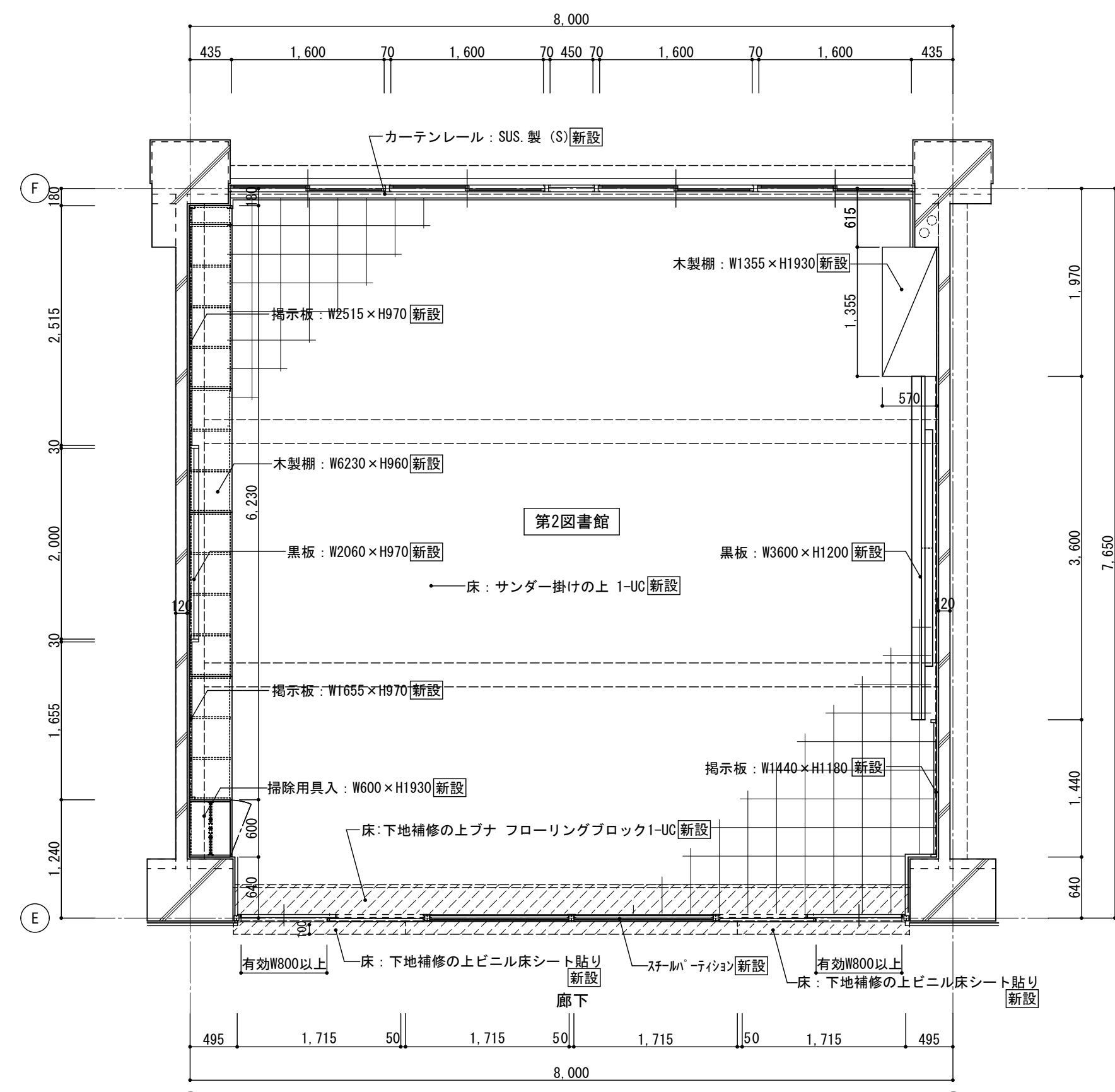
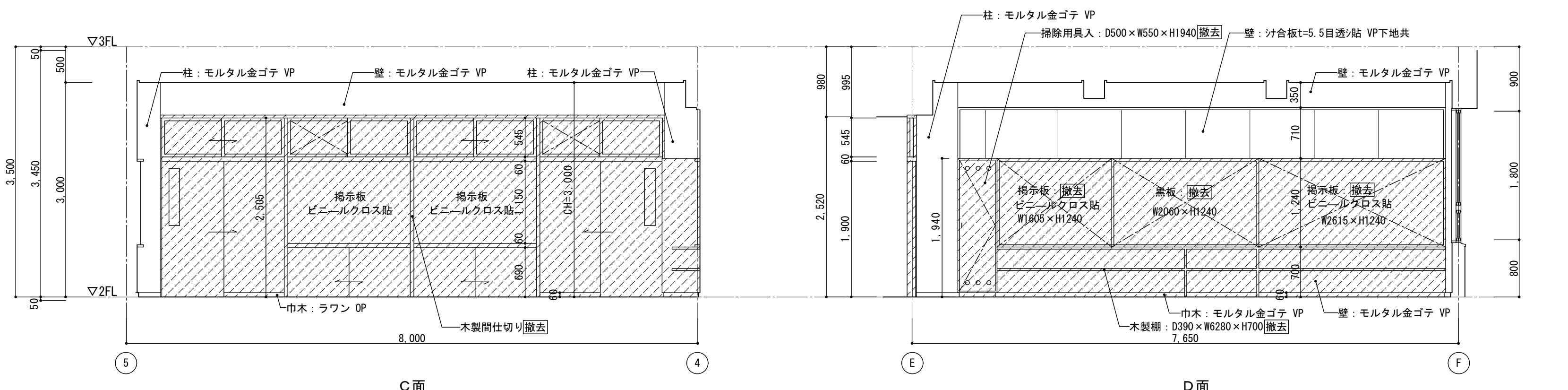
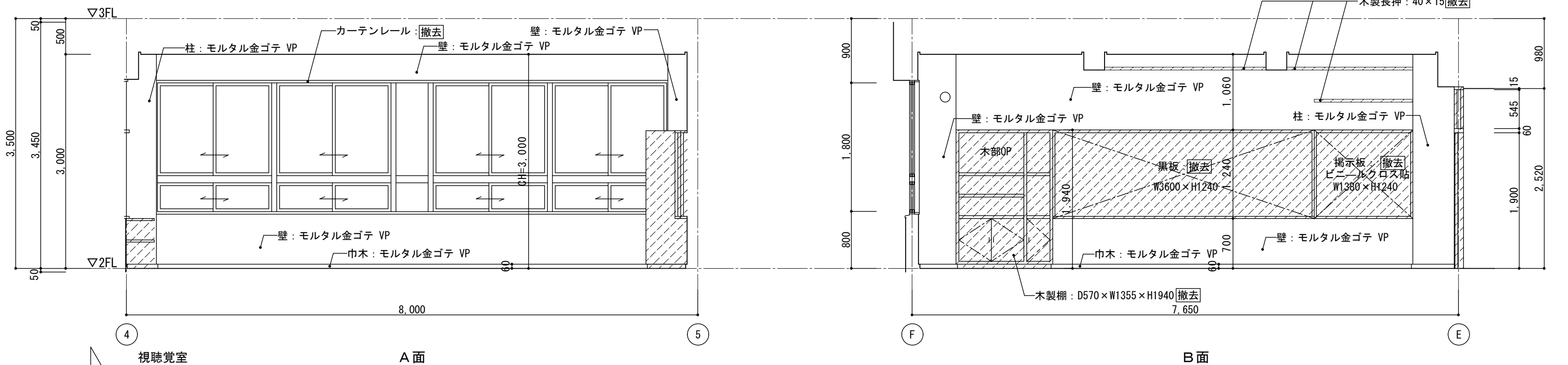


< 凡例 >  
新設範囲を示す

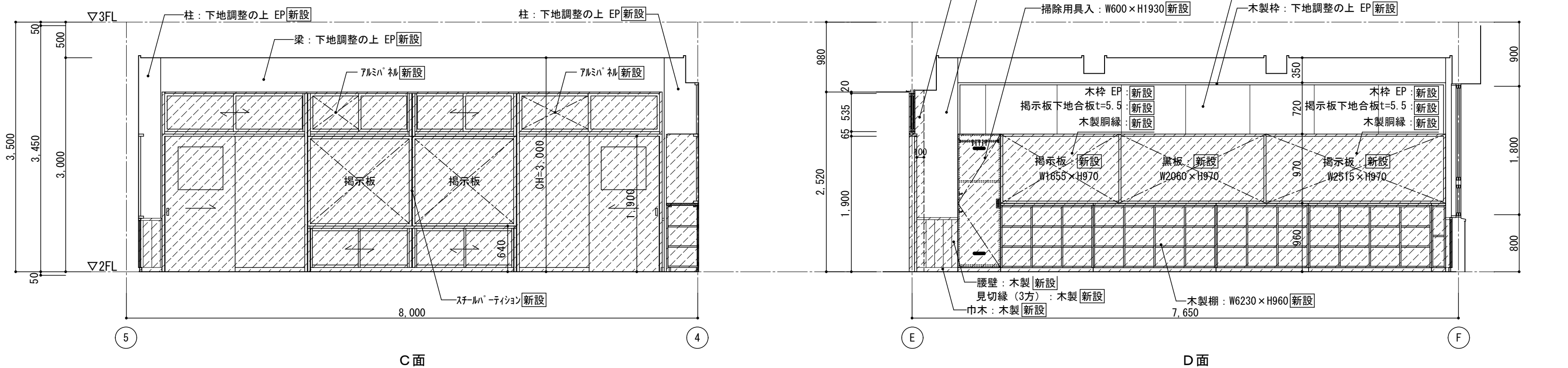
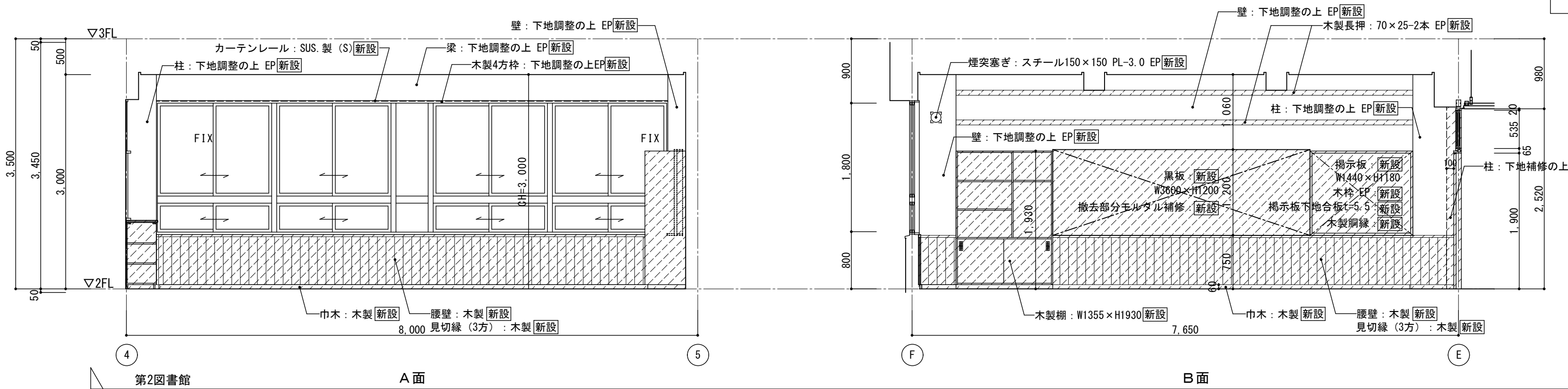




< 凡例 >  
撤去範囲を示す



< 凡例 >  
新設範囲を示す



株式会社 松下設計 一級建築士事務所  
登録(11)183  
埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

受託番号 17-137 日付 2018年3月  
設計部長 松岡 担当 製図

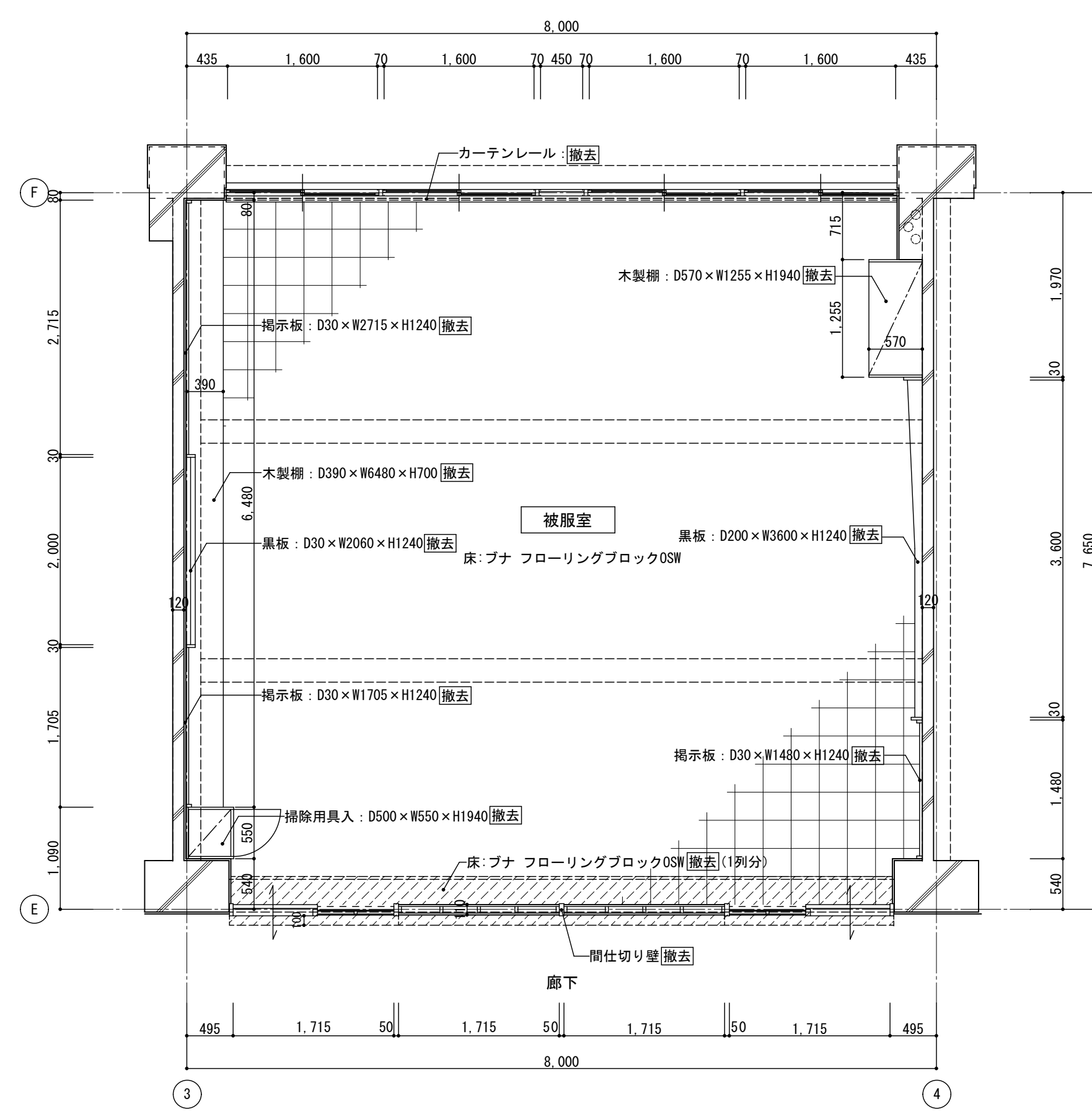
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】

設計図

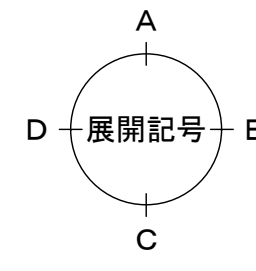
図面名 中央棟普通教室詳細図(2階第2図書館)  
【改修前・後】

縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)

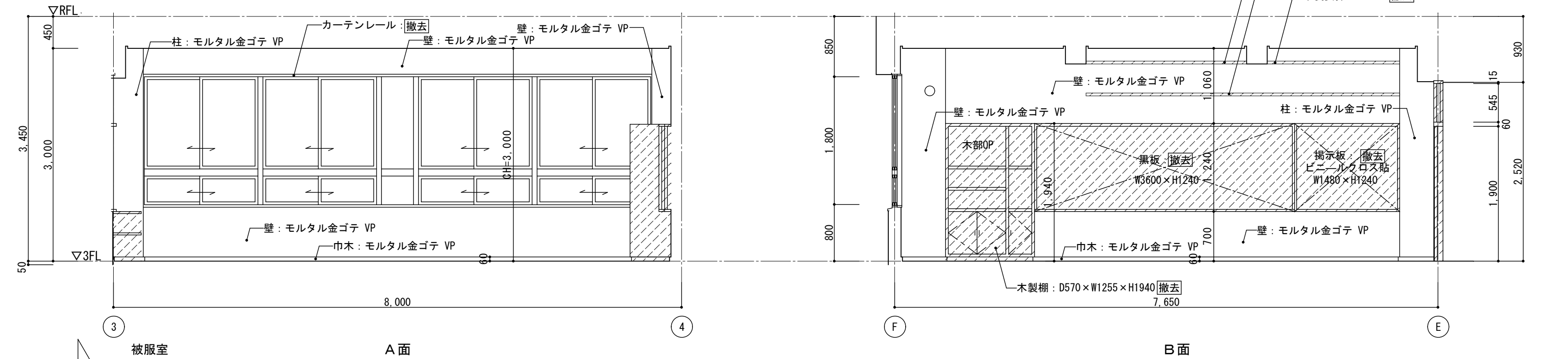
図面種類 A  
図面番号 43



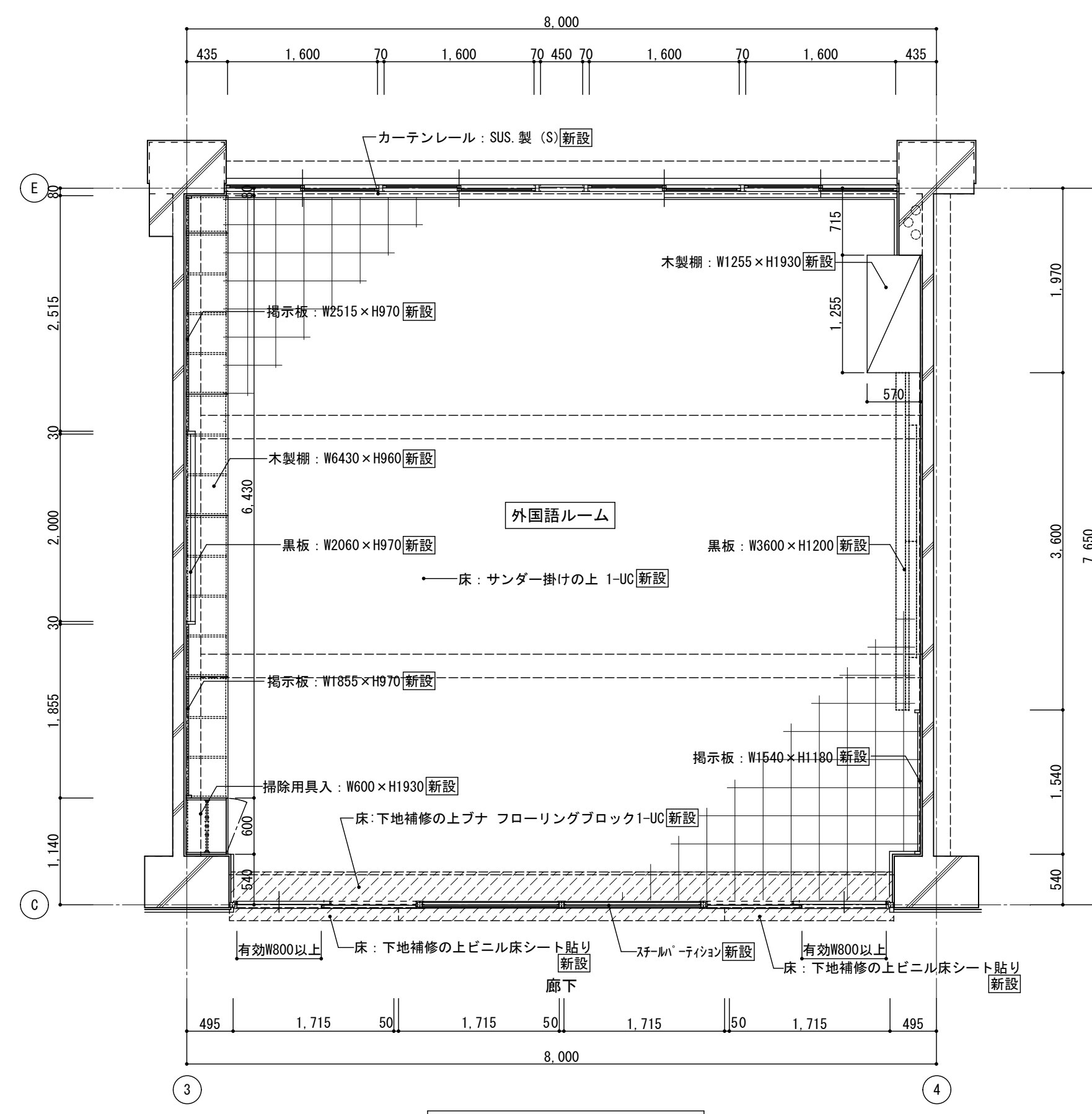
3階 被服室 平面詳細図 1:50



< 凡例 >  
撤去範囲を示す

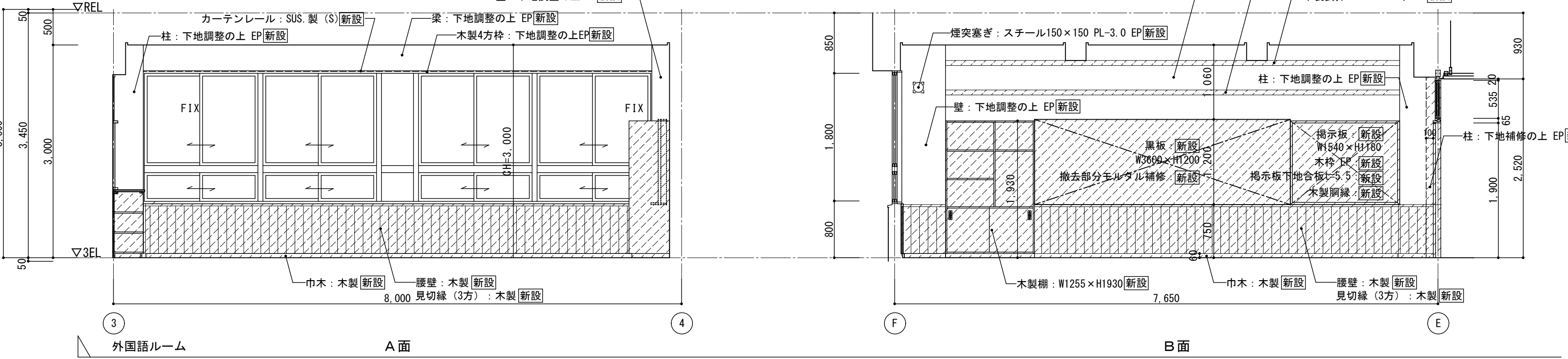


3階 被服室 展開図 1:50



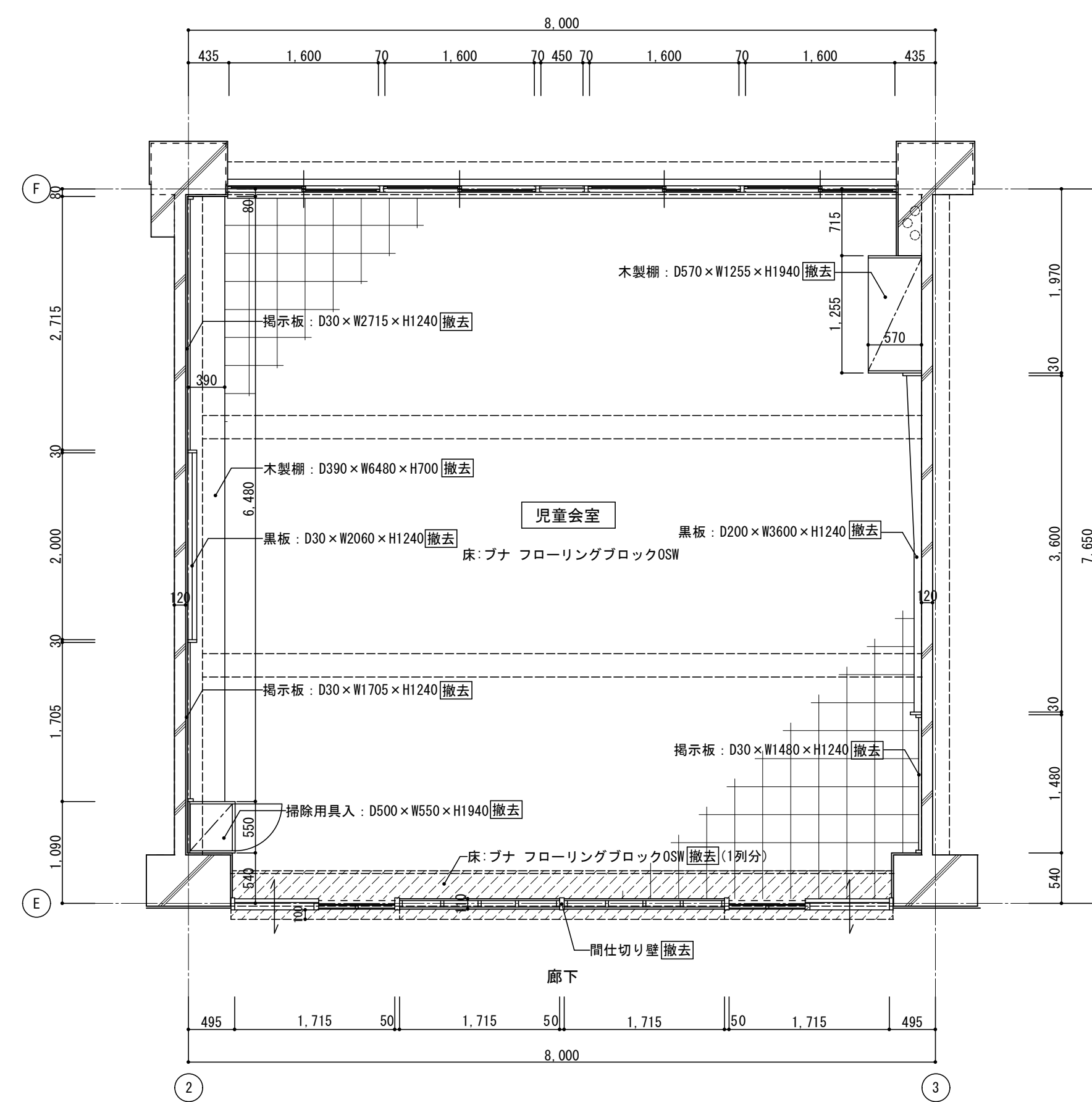
3階 外国語ルーム 平面詳細図 1:50

< 凡例 >  
新設範囲を示す

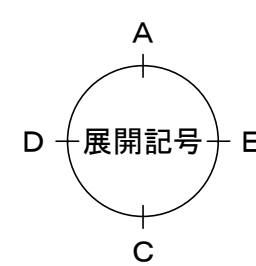


3階 外国語ルーム 展開図 1:50

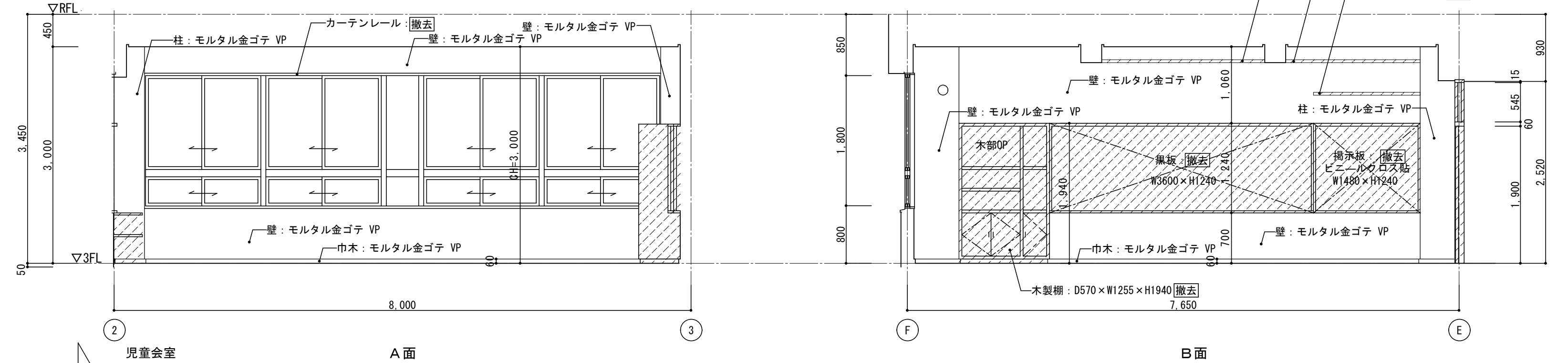




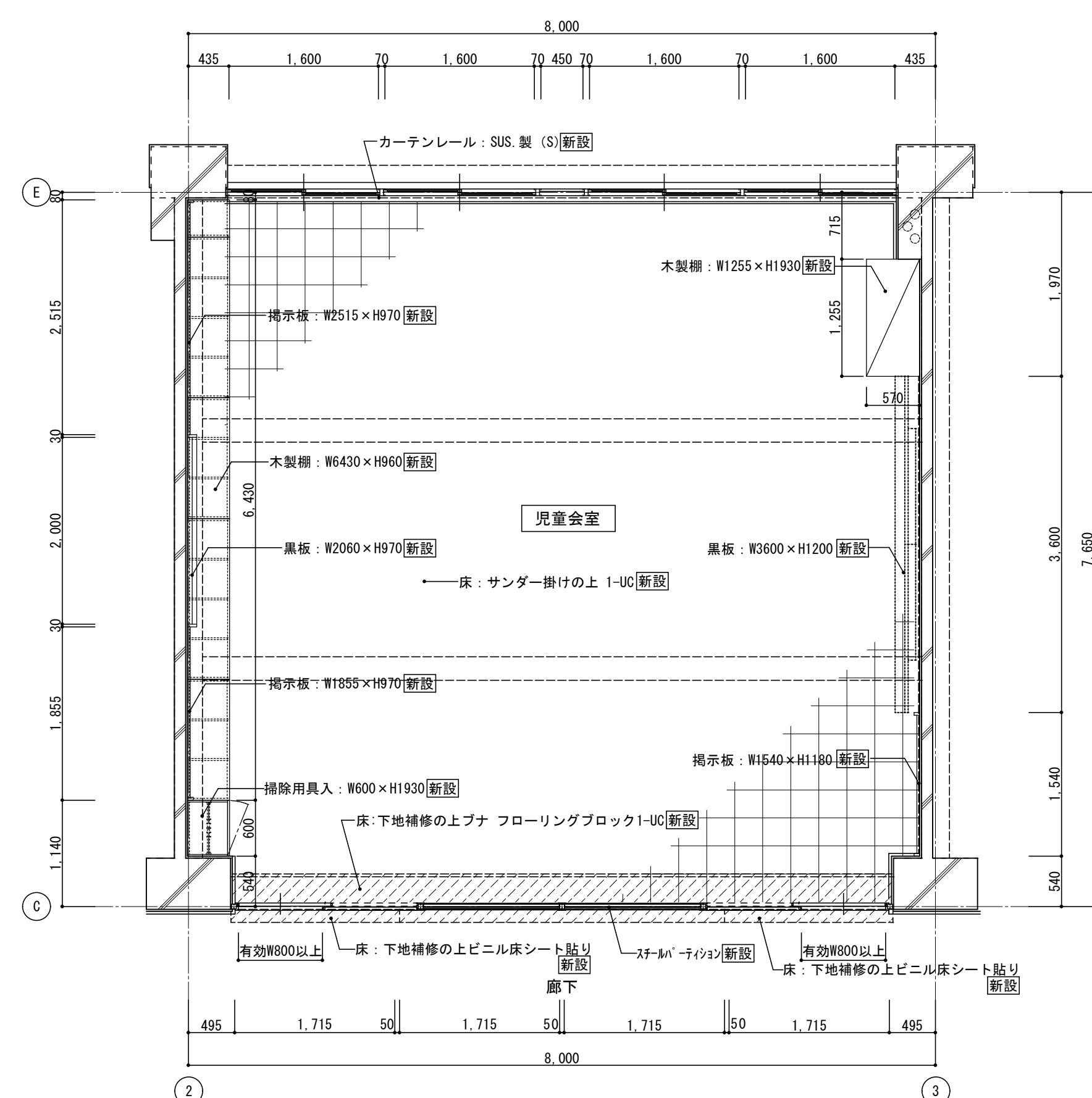
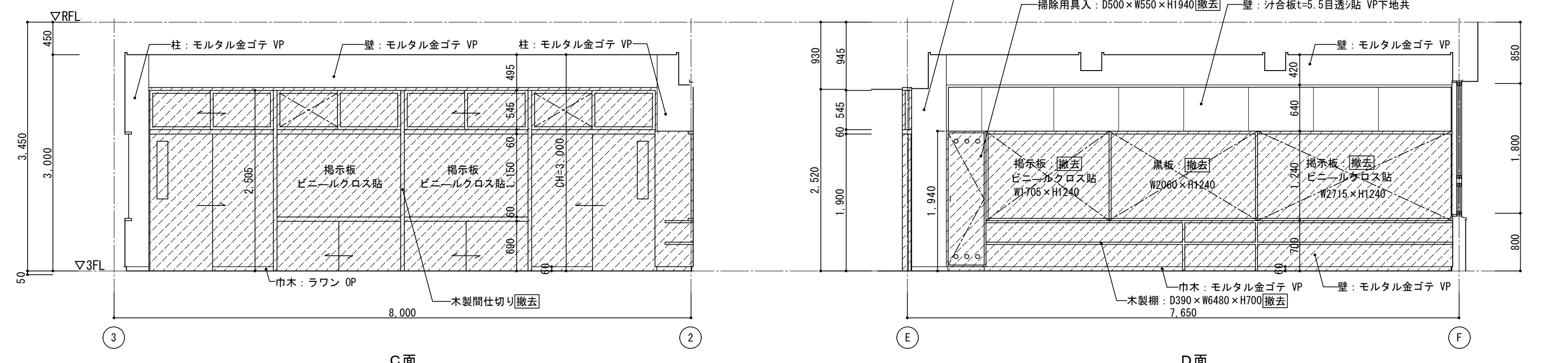
3階 児童会室 平面詳細図 1:50



< 凡例 >  
撤去範囲を示す

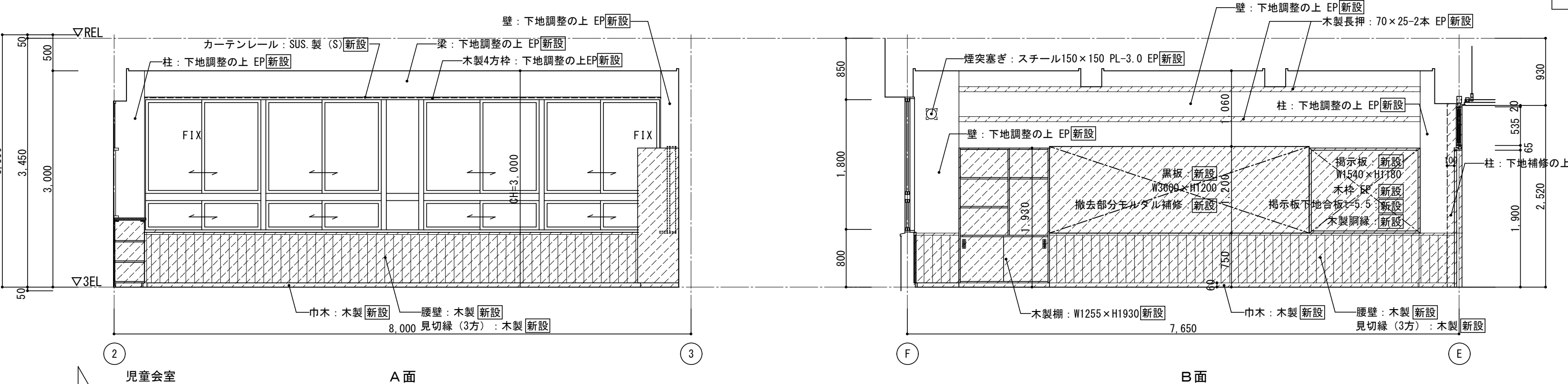


3階 児童会室 展開図 1:50

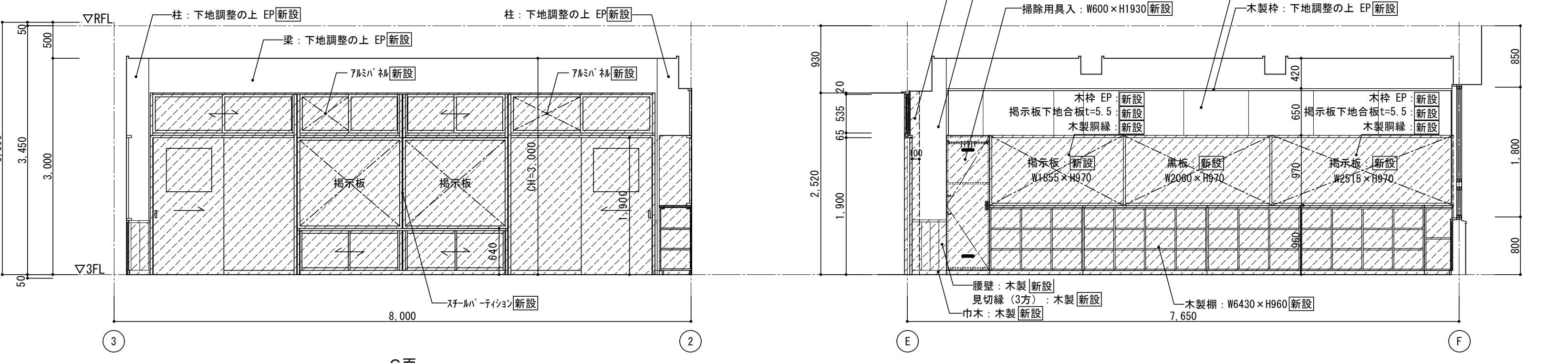


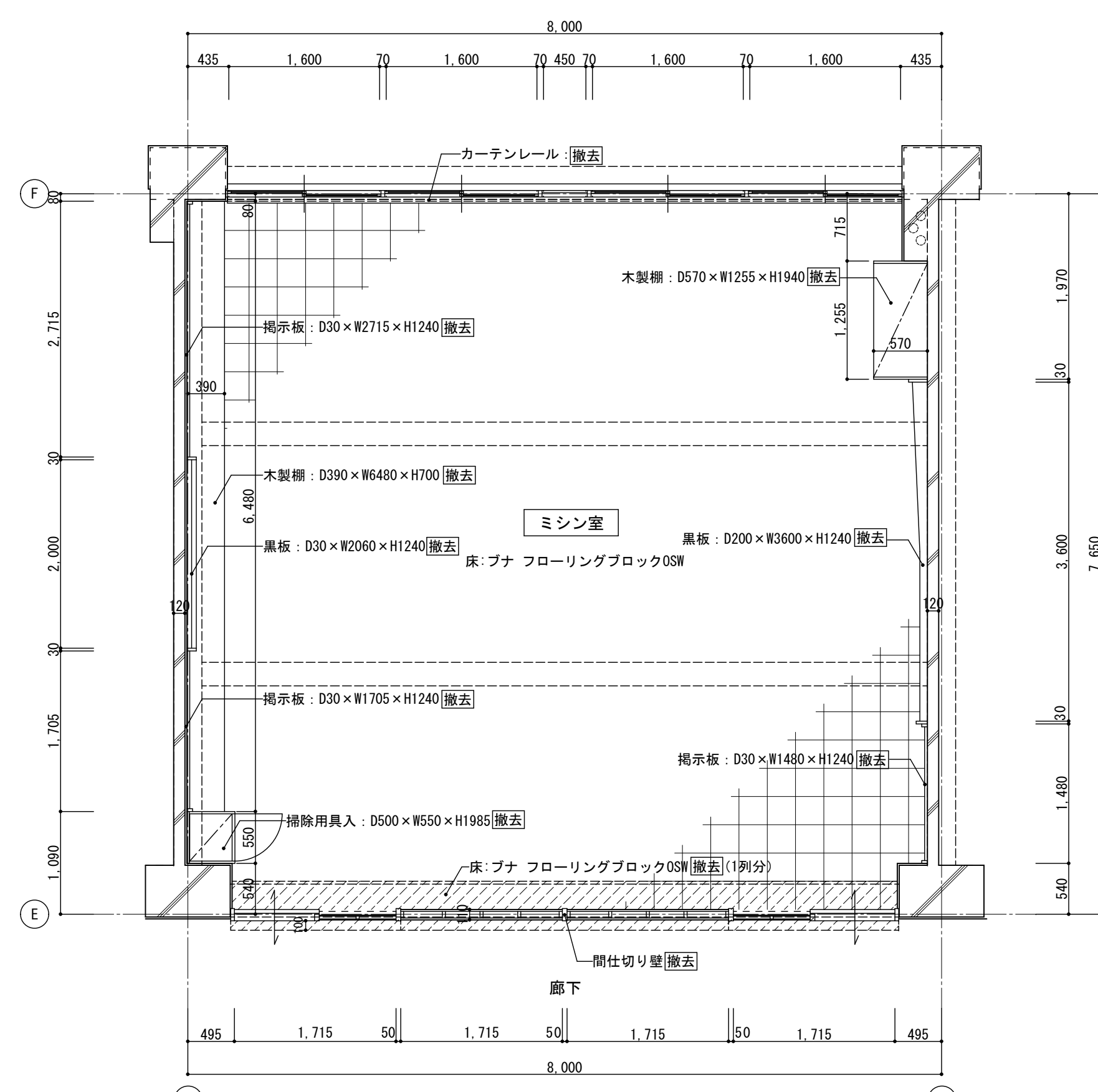
3階 児童会室 平面詳細図 1:50

< 凡例 >  
新設範囲を示す

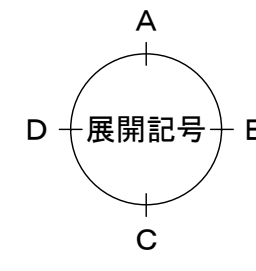


3階 児童会室 展開図 1:50

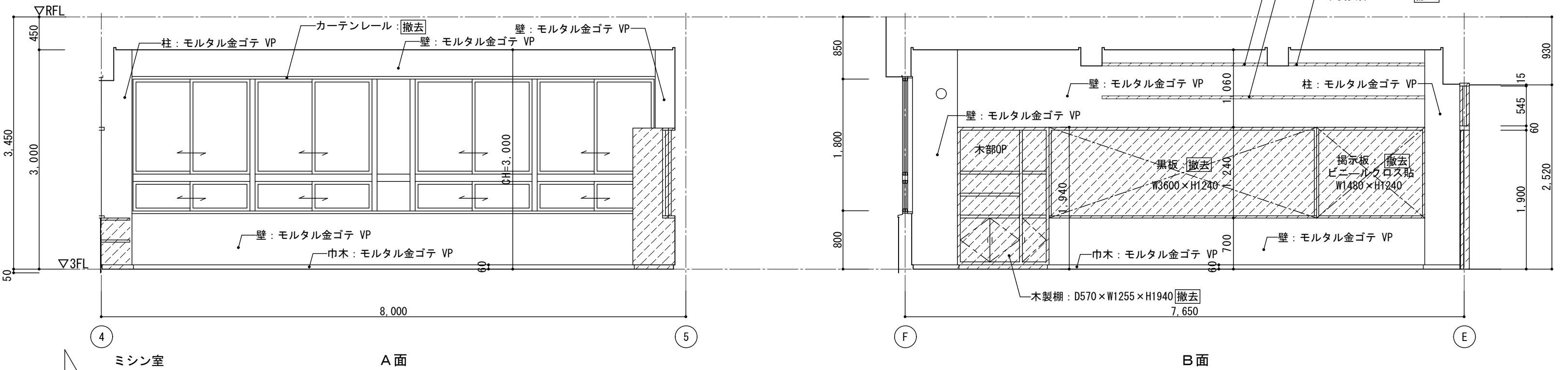




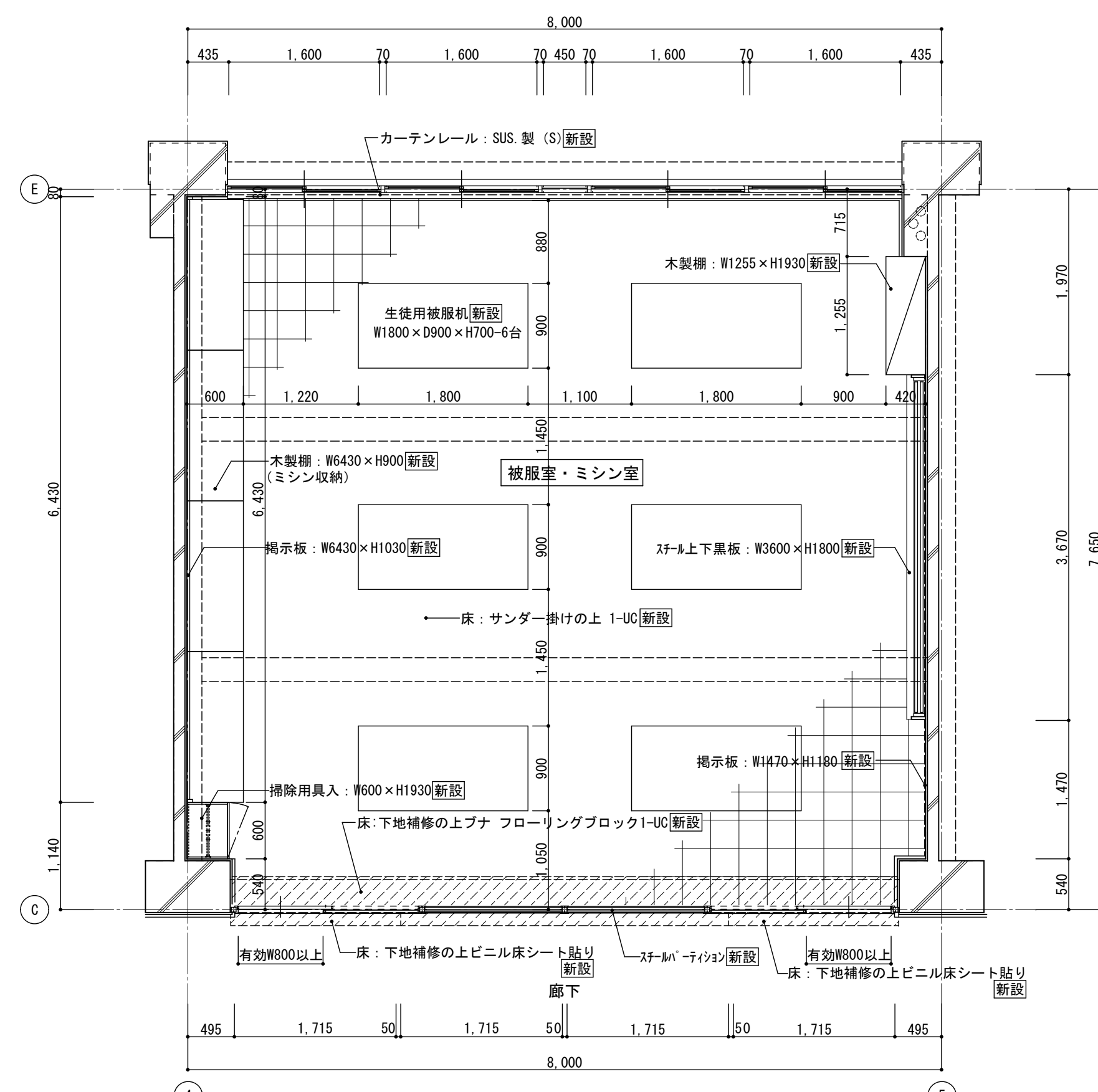
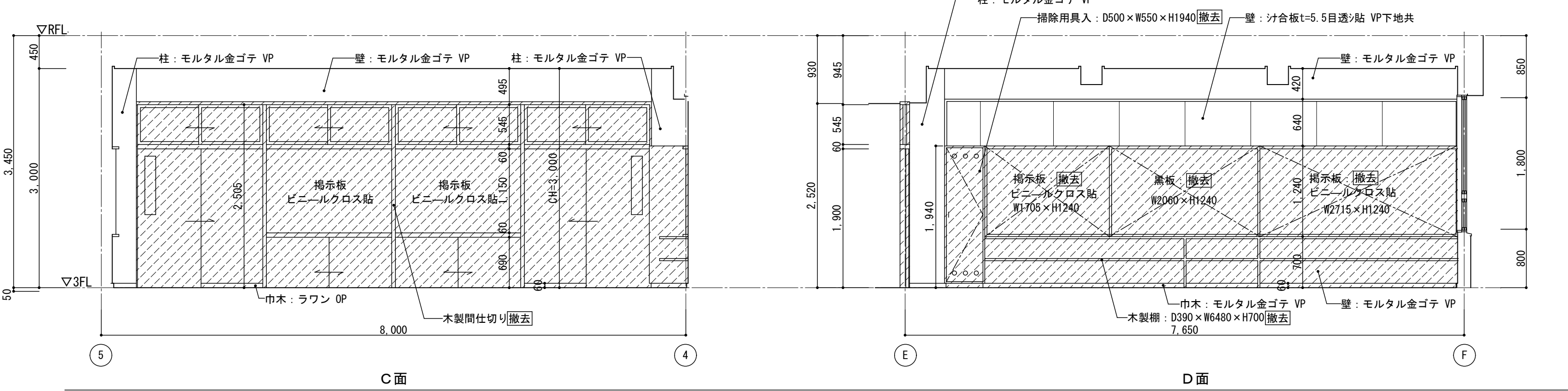
3階 ミシン室 平面詳細図 1:50



< 凡例 >  
撤去範囲を示す

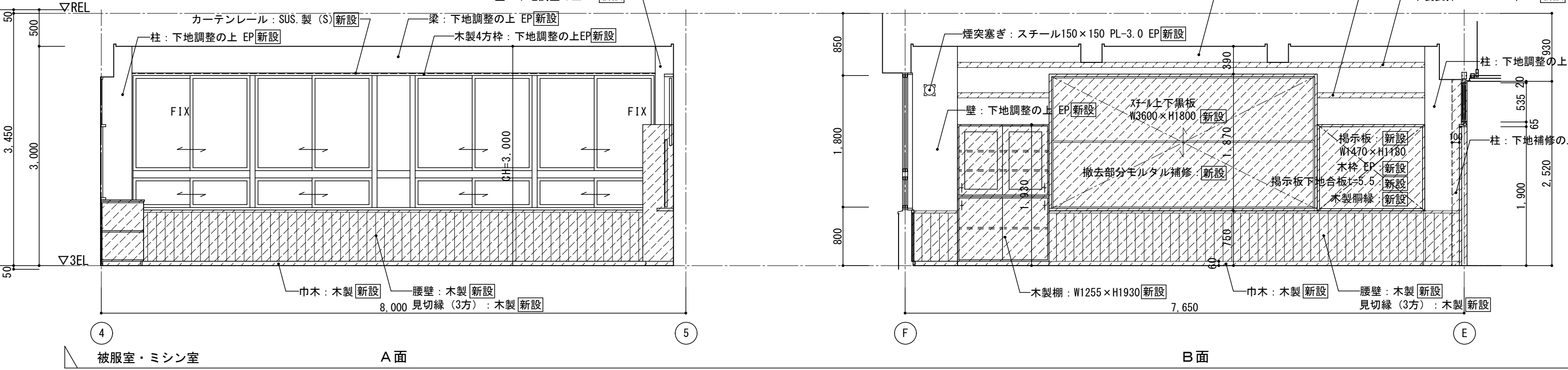


3階 ミシン室 展開図 1:50

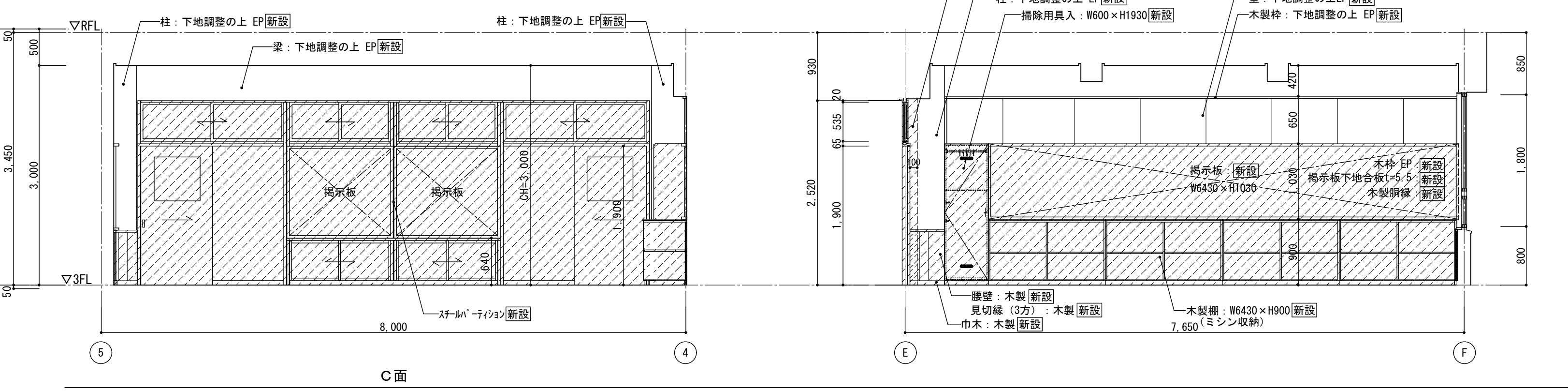


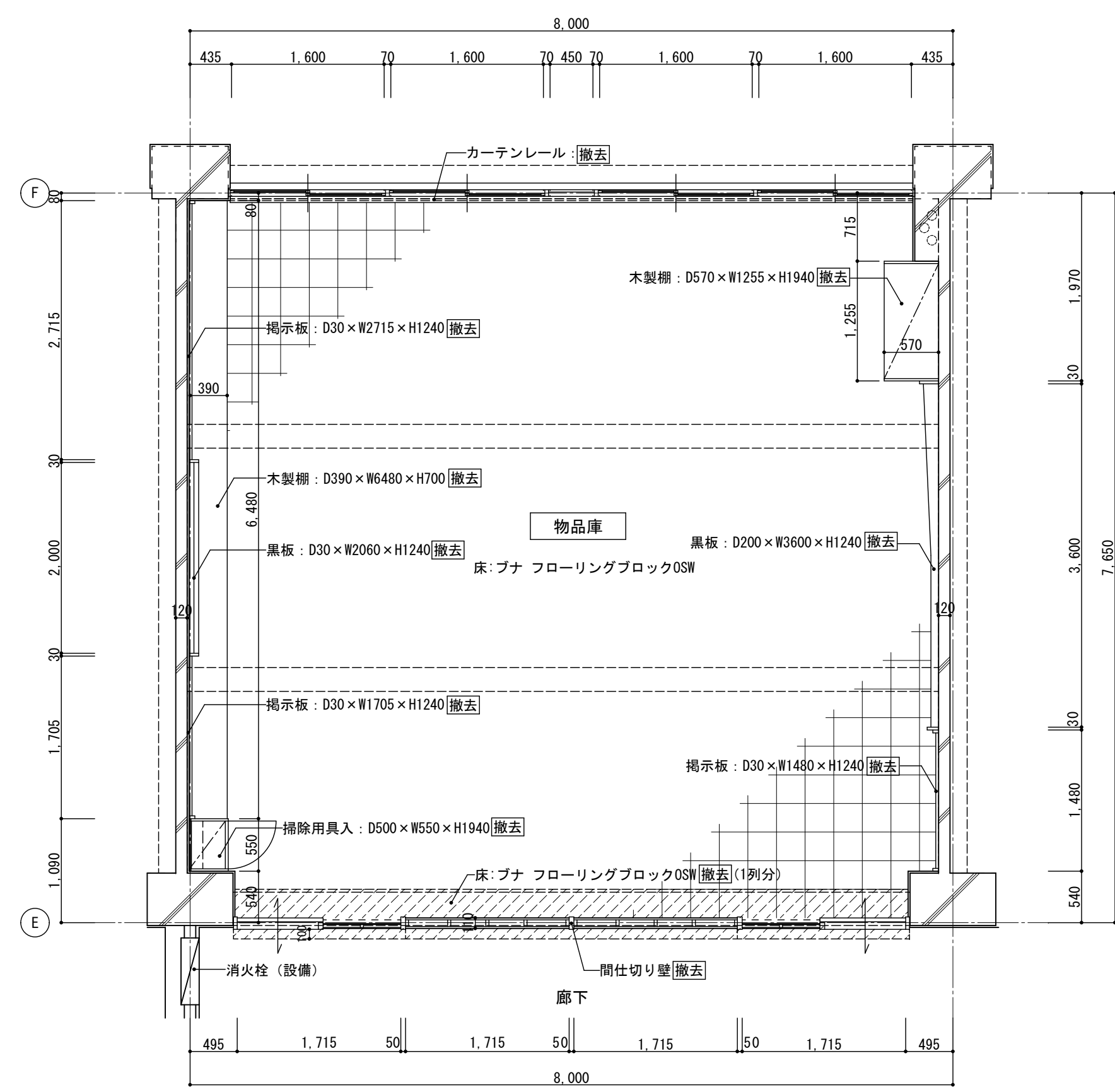
3階 被服室・ミシン室 平面詳細図 1:50

< 凡例 >  
新設範囲を示す

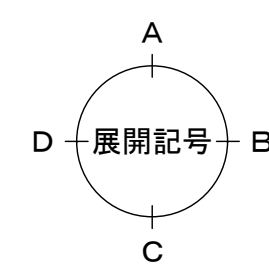


3階 被服室・ミシン室 展開図 1:50

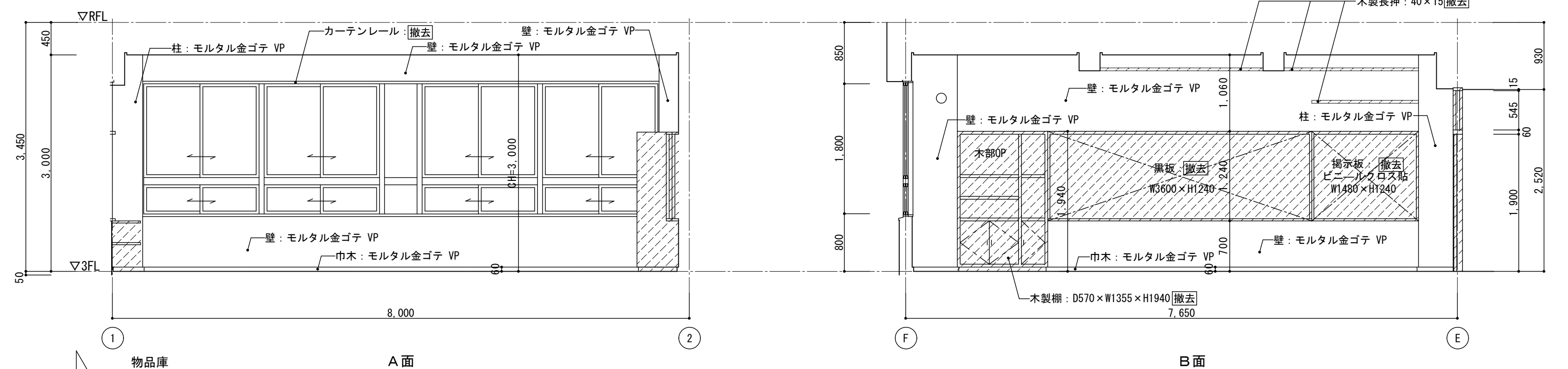




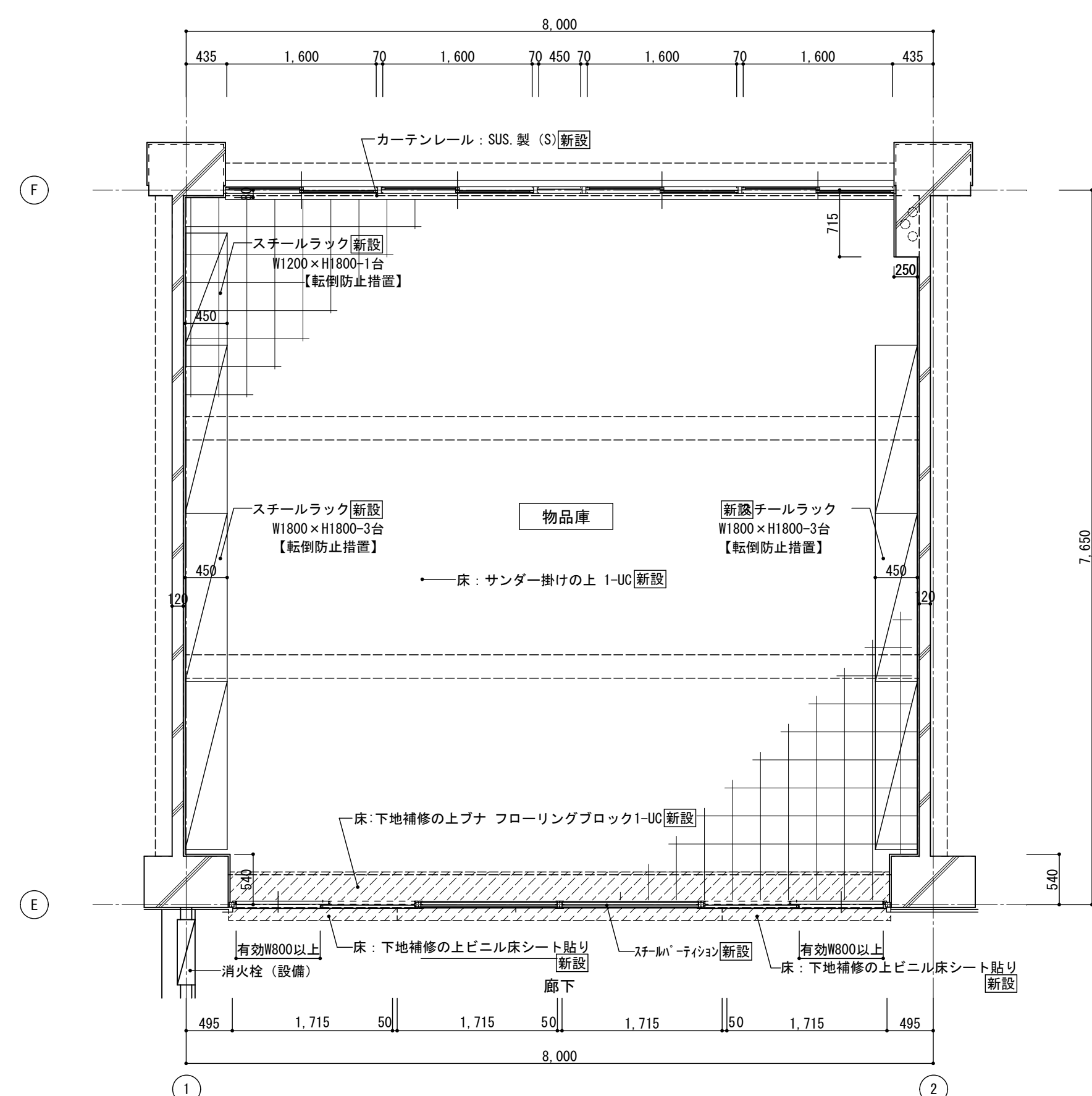
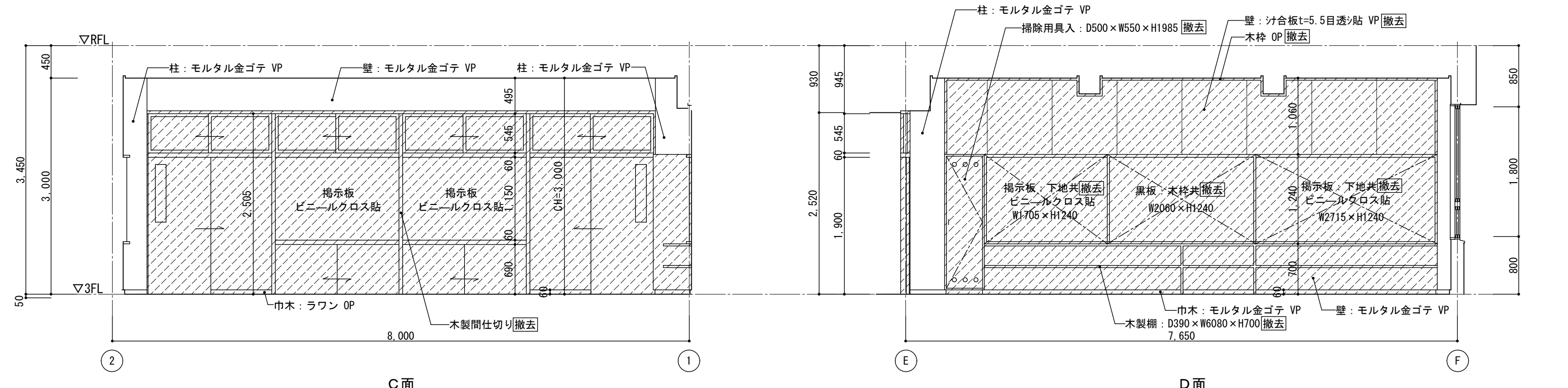
3階 物品庫 平面詳細図 1:50



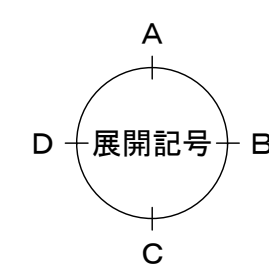
< 凡例 >  
撤去範囲を示す



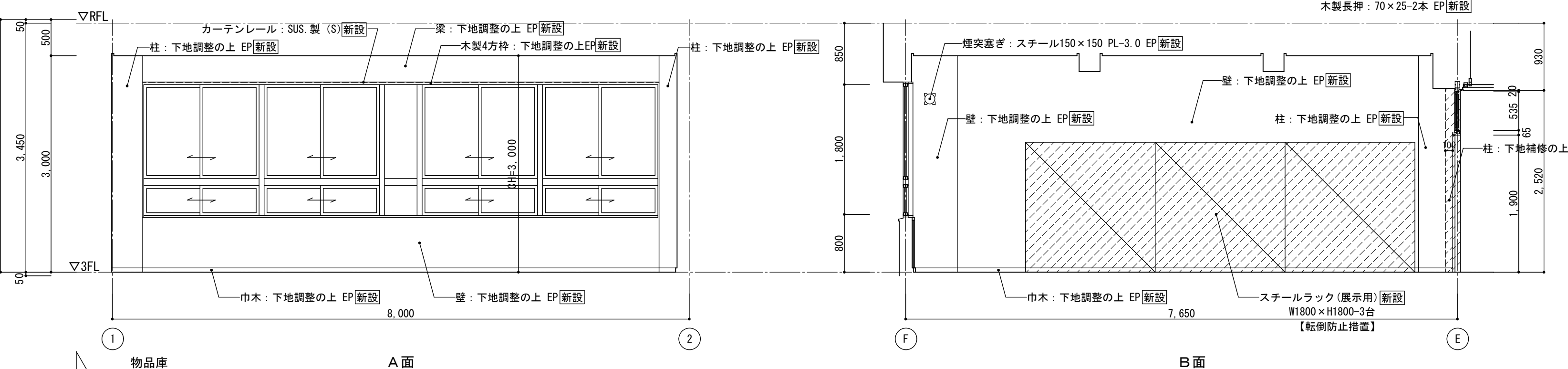
3階 物品庫 展開図 1:50



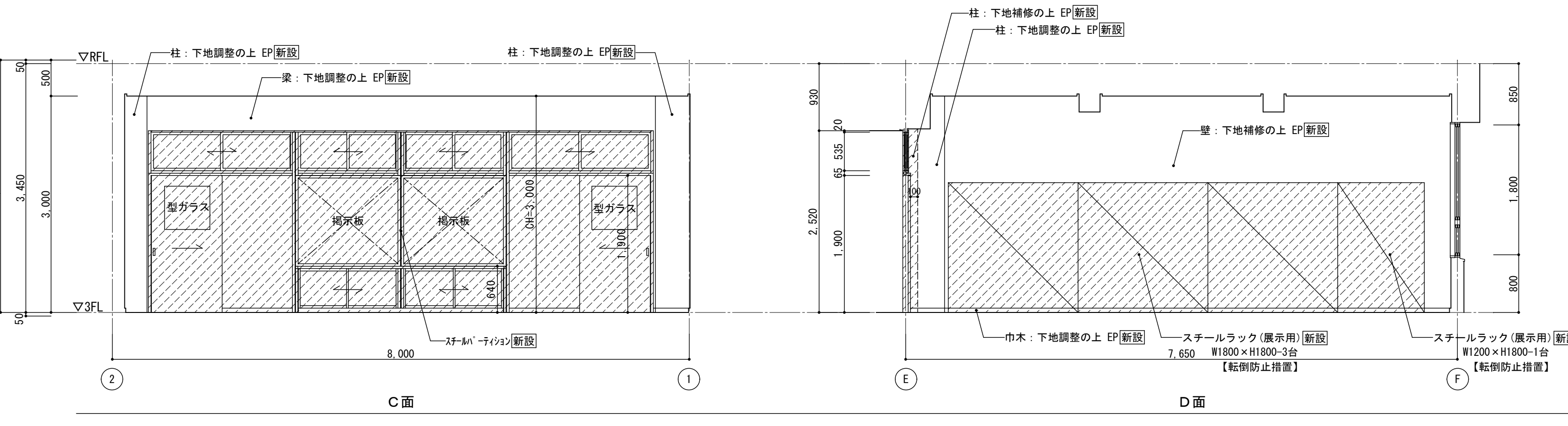
3階 物品庫 平面詳細図 1:50



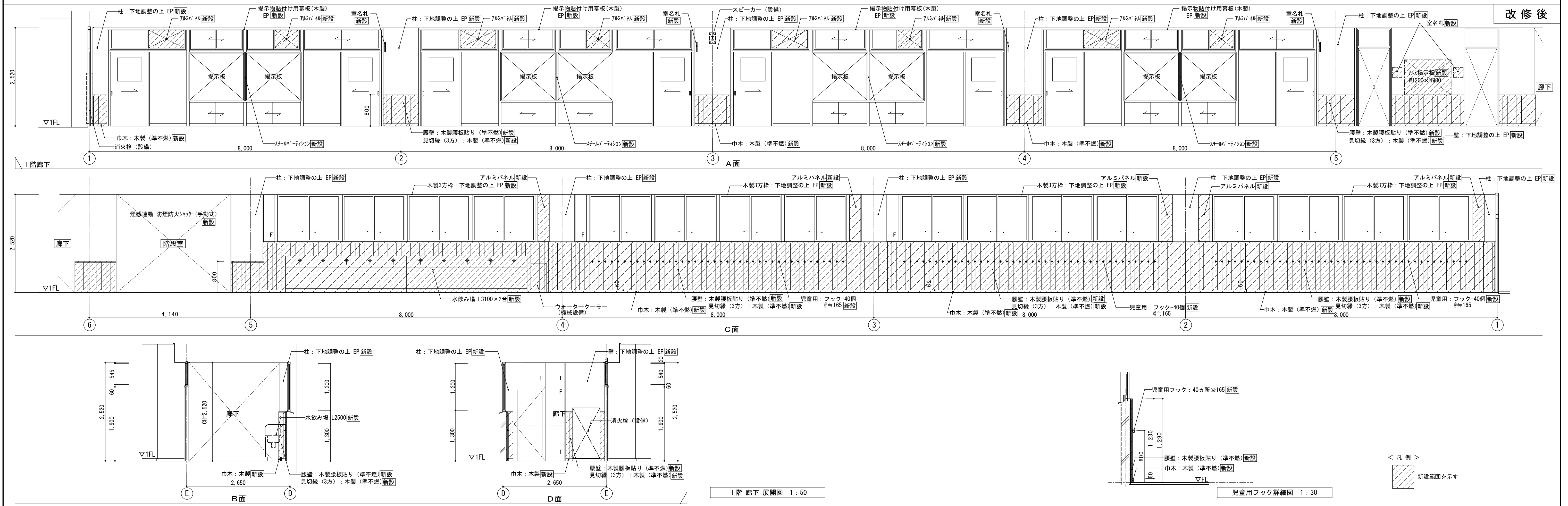
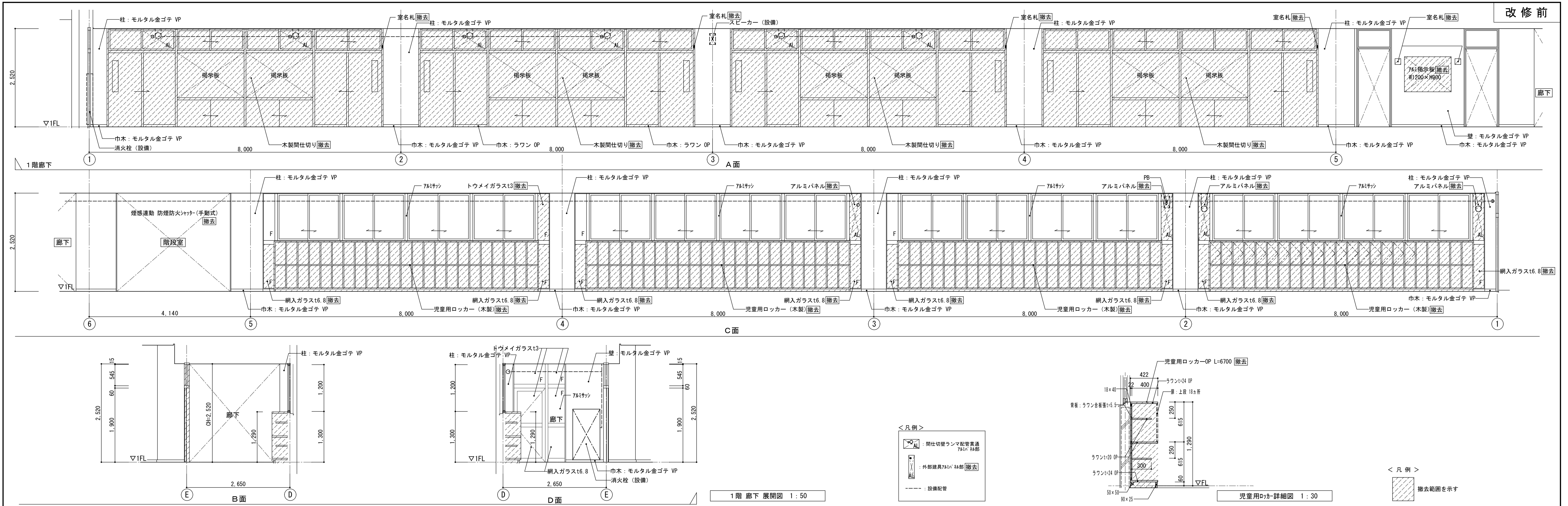
< 凡例 >  
新設範囲を示す



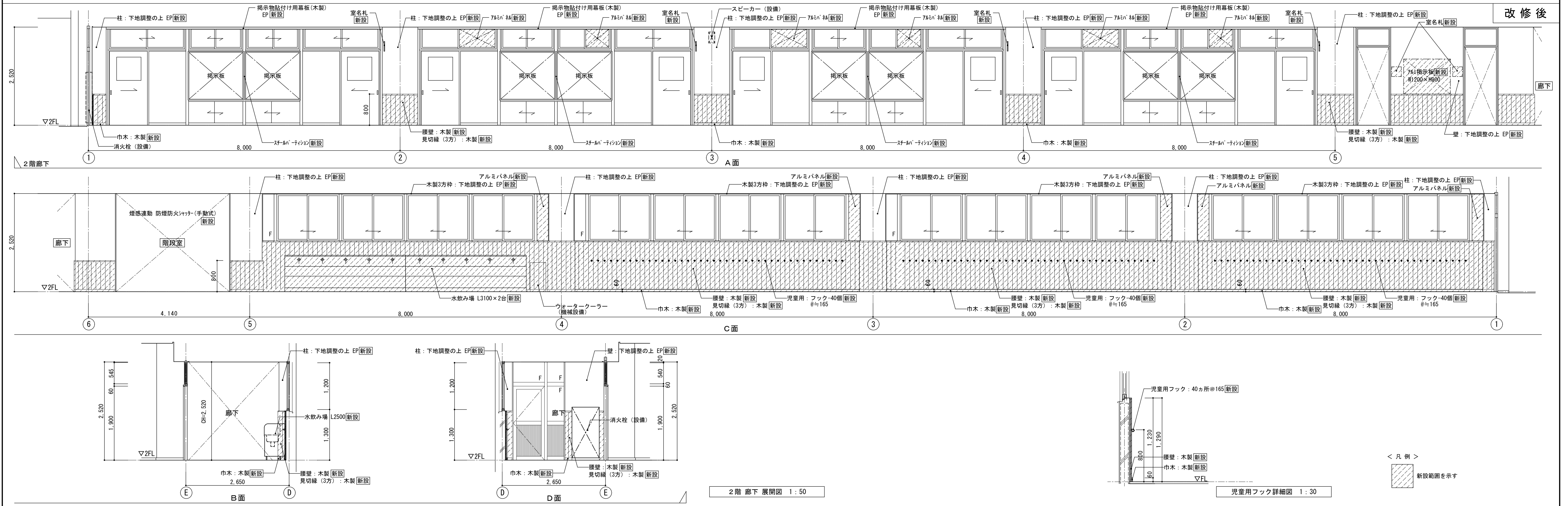
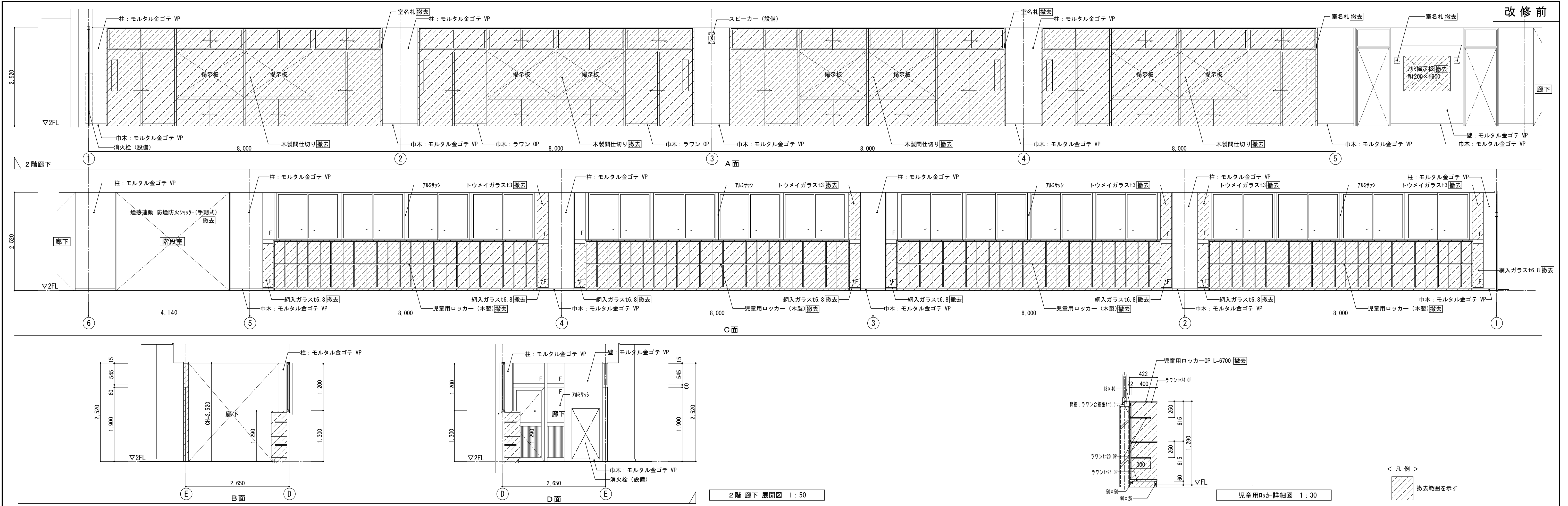
3階 物品庫 展開図 1:50








 <b>株式会社 松下設計</b> 一級建築士事務所 登録 (11) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	図名 <b>中央棟1階廊下展開図 (教室前)</b> <b>【改修前・後】</b>	図面種類 <b>A</b>
	縮尺 <b>S=1:50・30 (A3版 50%縮小)</b>	図面番号 <b>48</b>



 <b>株式会社 松下設計</b> 一級建築士事務所 登録(11)183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	図面番号 17-137	日付 2018年3月	図面名 中央棟2階廊下展開図(教室前)	図面種別 A
	設計部長 松本 隆	検閲 松本 隆	担当 松本 隆	縮尺 S=1:50・30(A3版 50%縮小)





凡例 <特記部以外仕上げ・下地・廻り縁全て：【撤去】(1を除く)>

	仕上	下地	廻り縁
(A)	化粧石膏ボード t=9.0	木製 (LGS)	塩ビ製
(B)	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910)	木製	塩ビ製
(C)	有孔合板 t=5.5 目隠し張り OP	木製	塩ビ製
(D)	有孔合板 t=5.5 目隠し張り OP(910×910)	木製	塩ビ製
(E)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 EP	木製	塩ビ製
(F)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 目隠し張り EP	木製	塩ビ製
(G)	有孔合板 t=4.0 目隠し張り OP(1800×910)	木製	塩ビ製
(H)	石膏ボード t=9.0+ロックウール吸音板 t=9.0	LGS	塩ビ製
(I)	プラスター塗り EP	木製	塩ビ製
(J)	化粧石膏ボード	LGS	塩ビ製
(K)	フレキシブルボード t=5.0「★」目隠し張り VP	木製	塩ビ製
(L)	杉桎合板敷目板貼り	木製	木製
(M)	合板 OP	木製	塩ビ製
[a]	エキスパンションジョイントカバー スチール製 【撤去】		
[b]	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【撤去】		
カーテンBOX	木製 W=120 【撤去】		
☒ ☒	天井点検口：600×600、450×450アルミ製額縁タイプ 【撤去】		
内部床型	モルタル金ゴテVP (全室共通)		
外部 [ア]	梁型：コンクリート打放しフジコート吹付けの上吹付タイル(E) 【撤去】 軒裏：コンクリート打放しAEPの上吹付タイル(E) 【撤去】		
【共通事項】	1) 凡例符号「ア」「★」アスベスト含有建材 2) 外壁部アスベスト含有建材撤去については立面図による		



改修範囲外を示す

1階天井伏図 S=1/200



凡例 <特記部除き仕上げ・下地・廻り縁全て：新設>

	仕上	下地	廻り縁
A	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
B	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
C	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) (910×910)	LGS	塩ビ製
D	化粧石膏ボード t=9.5	LGS	塩ビ製
E	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910)	LGS	塩ビ製
F	石膏ボードt=9.5+ロックウール吸音板 t=9.0	LGS	塩ビ製
G	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔一部なし (前面黒板上表面より1800程度の範囲)	LGS	塩ビ製
H	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
I	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
J	ケイ酸カルシウム板 t=5.0 目透し貼り EP	LGS	塩ビ製
K	下地調整の上 EP	-	-

a	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【新設】
b	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【新設】
カーテンBOX	木製 【新設】
天井点検口	600×600、450×450アルミ製額縁タイプ
内部梁型	下地調整の上 EP (全室共通)
外部軒裏	劣化部補修の上下地調整材(一洗水性多機能型カチオンシーラー)の上 水性反応硬化形軒天塗替え専用仕上塗材
梁型	劣化部補修の上下地調整材C-2の上防水型覆層塗材E

1階天井伏図 S=1/200

改修範囲外を示す



凡例 <仕上げ・下地・廻り縁全て：【撤去】(Iを除く)>

	仕上	下地	廻り縁
(A)	化粧石膏ボード t=9.0	木製 (LGS)	塩ビ製
(B)	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910)	木製	塩ビ製
(C)	有孔合板 t=5.5 目透し張り OP	木製	塩ビ製
(D)	有孔合板 t=5.5 目透し張り OP(910×910)	木製	塩ビ製
(E)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 EP	木製	塩ビ製
(F)	有孔石膏ボード t=9.0「★」目透し張り EP	木製	塩ビ製
(G)	有孔合板 t=4.0 目透し張り OP(1800×910)	木製	塩ビ製
(H)	石膏ボードt=9.0+ロックウール吸音板 t=9.0	LGS	塩ビ製
(I)	プラスター塗り EP	木製	塩ビ製
(J)	化粧石膏ボード	LGS	塩ビ製
(K)	フレキシブルボード t=5.0「★」目透し張り VP	木製	塩ビ製
(L)	杉桎合板敷目板貼り	木製	木製
(M)	合板 OP	木製	塩ビ製
[a]	エキスパンションジョイントカバー スチール製 【撤去】		
[b]	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【残置】		
カーテンBOX	木製 W=120 【撤去】		
☒ ☒	天井点検口：600×600、450×450アルミ製額縁タイプ 【撤去】		
内部梁型	モルタル金ゴテVP (全室共通)		
外部 [ア]	梁型：コンクリート打放しフジコート吹付けの上吹付タイル (E) 【撤去】 軒裏：コンクリート打放しAEPの上吹付タイル (E) 【撤去】		
【共通事項】	1) 凡例符号「ア」「★」アスベスト含有建材 2) 外壁部アスベスト含有建材撤去については立面図による		



改修範囲外を示す

2階天井伏図 S=1/200

凡例 <仕上げ・下地・廻り縁全て：新設>

	仕 上	下 地	廻り縁
A	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
B	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
C	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) (910×910)	LGS	塩ビ製
D	化粧石膏ボード t=9.5	LGS	塩ビ製
E	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910)	LGS	塩ビ製
F	石膏ボード t=9.5 ロックウール吸音板 t=9.0	LGS	塩ビ製
G	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔一部孔なし (前面黒板上表面より1800程度の範囲)	LGS	塩ビ製
H	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
I	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
J	ケイ酸カルシウム板 t=5.0 目隠し貼り EP	LGS	塩ビ製
K	下地調整の上 EP	-	-
a	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【新設】		
b	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【既存のまま】		
カーテンBOX	木製 【新設】		
天井	天井点検口：600×600、450×450アルミ製縦線タイプ		
内部床型	下地調整の上 EP (全室共通)		
外部軒裏	劣化部補修の上下地調整材(一液水性多機能型カチオンシーラー)の上 水性反応硬化形軒天塗替え専用仕上げ塗材		
床型	劣化部補修の上下地調整材C-2の上防水型複層塗材E		



2階天井伏図 S=1/200

凡例 <仕上げ・下地・廻り縁全て：【撤去】(Iを除く)>

	仕上	下地	廻り縁
(A)	化粧石膏ボード t=9.0	木製 (LGS)	塩ビ製
(B)	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910)	木製	塩ビ製
(C)	有孔合板 t=5.5 目透し張り OP	木製	塩ビ製
(D)	有孔合板 t=5.5 目透し張り OP(910×910)	木製	塩ビ製
(E)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 EP	木製	塩ビ製
(F)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 目透し張り EP	木製	塩ビ製
(G)	有孔合板 t=4.0 目透し張り OP(1800×910)	木製	塩ビ製
(H)	石膏ボードt=9.0+ロックウール吸音板 t=9.0	LGS	塩ビ製
(I)	プラスター塗り EP	木製	塩ビ製
(J)	化粧石膏ボード	LGS	塩ビ製
(K)	フレキシブルボード t=5.0「★」目透し張り VP	木製	塩ビ製
(L)	杉桎合板敷目板貼り	木製	木製
(M)	合板 OP	木製	塩ビ製

[a]	エキスパンションジョイントカバー スチール製 【撤去】
[b]	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【残置】
カーテンBOX	木製 W=120 【撤去】
☒ ☒	天井点検口：600×600、450×450アルミ製額縁タイプ 【撤去】
内部梁型	モルタル金ゴテVP (全室共通)
外部 [ア]	梁型：コンクリート打放しフジコート吹付けの上吹付タイル(E) 【撤去】 軒裏：コンクリート打放しAEPの上吹付タイル(E) 【撤去】
【共通事項】	1) 凡例符号「ア」「★」アスベスト含有建材 2) 外壁部アスベスト含有建材撤去については立面図による

R階天井伏図 S=1/200

3階天井伏図 S=1/200



改修範囲外を示す

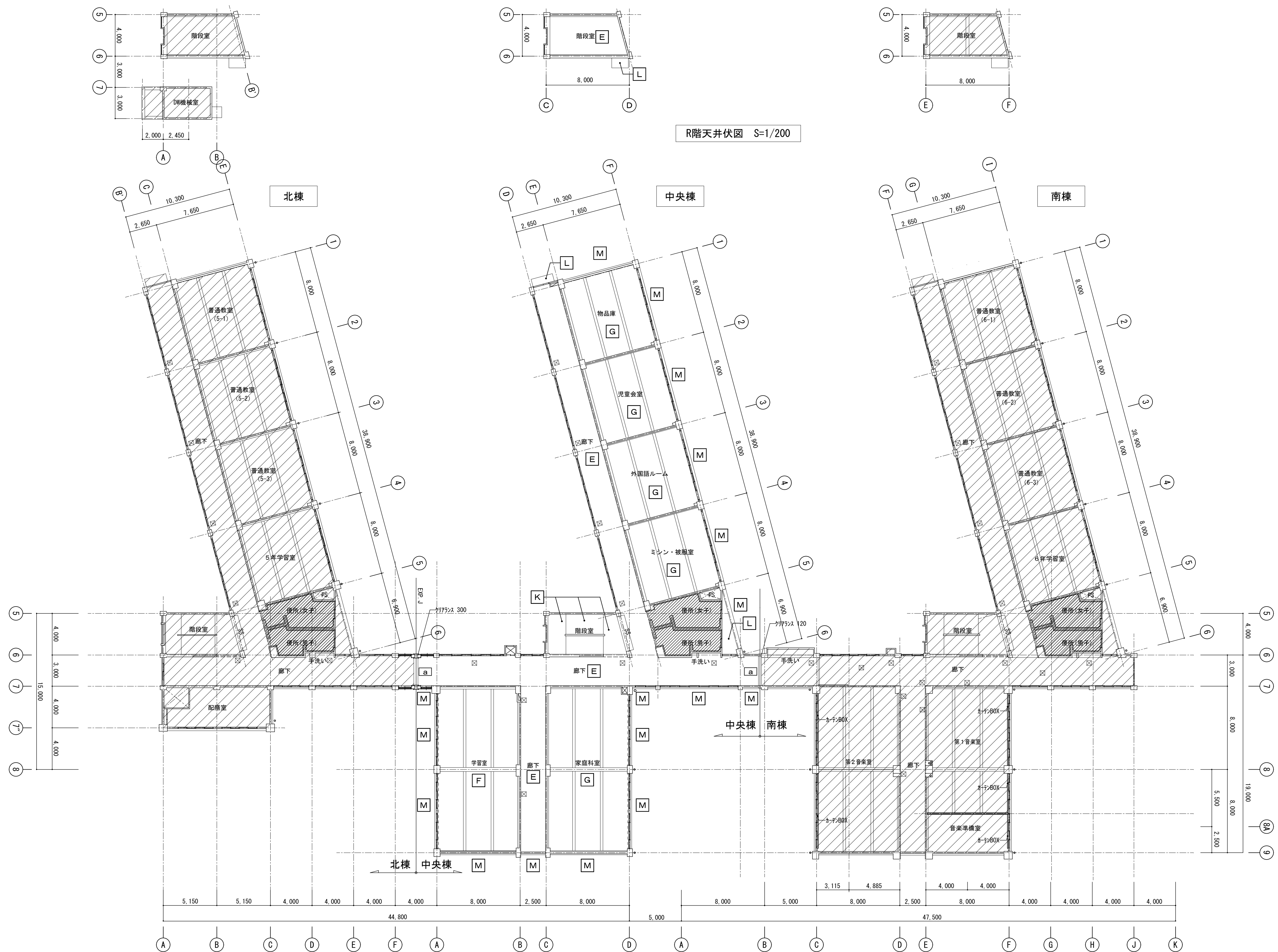


凡例 <仕上げ・下地・廻り縁全て：新設>

	仕上	下地	廻り縁
A	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
B	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
C	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) (910×910)	LGS	塩ビ製
D	化粧石膏ボード t=9.5	LGS	塩ビ製
E	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910)	LGS	塩ビ製
F	石膏ボードt=9.5ロックウール吸音板 t=9.0	LGS	塩ビ製
G	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔一部孔なし (前面黒板上表面より1800程度の範囲)	LGS	塩ビ製
H	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
I	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
J	ケイ酸カルシウム板 t=5.0 目隠し貼り EP	LGS	塩ビ製
K	下地調整の上 EP	-	-

a	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【新設】
b	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【既存のまま】

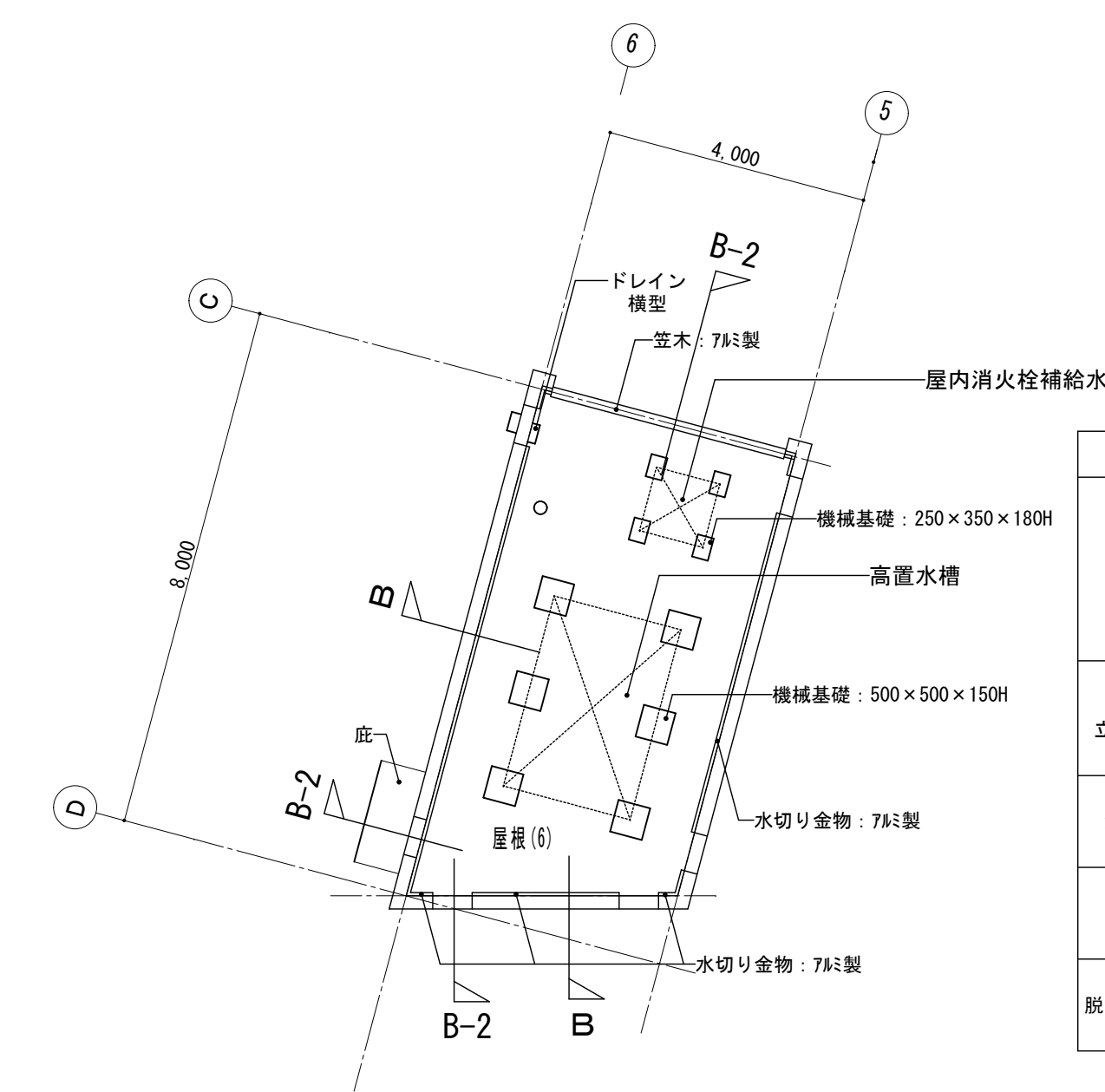
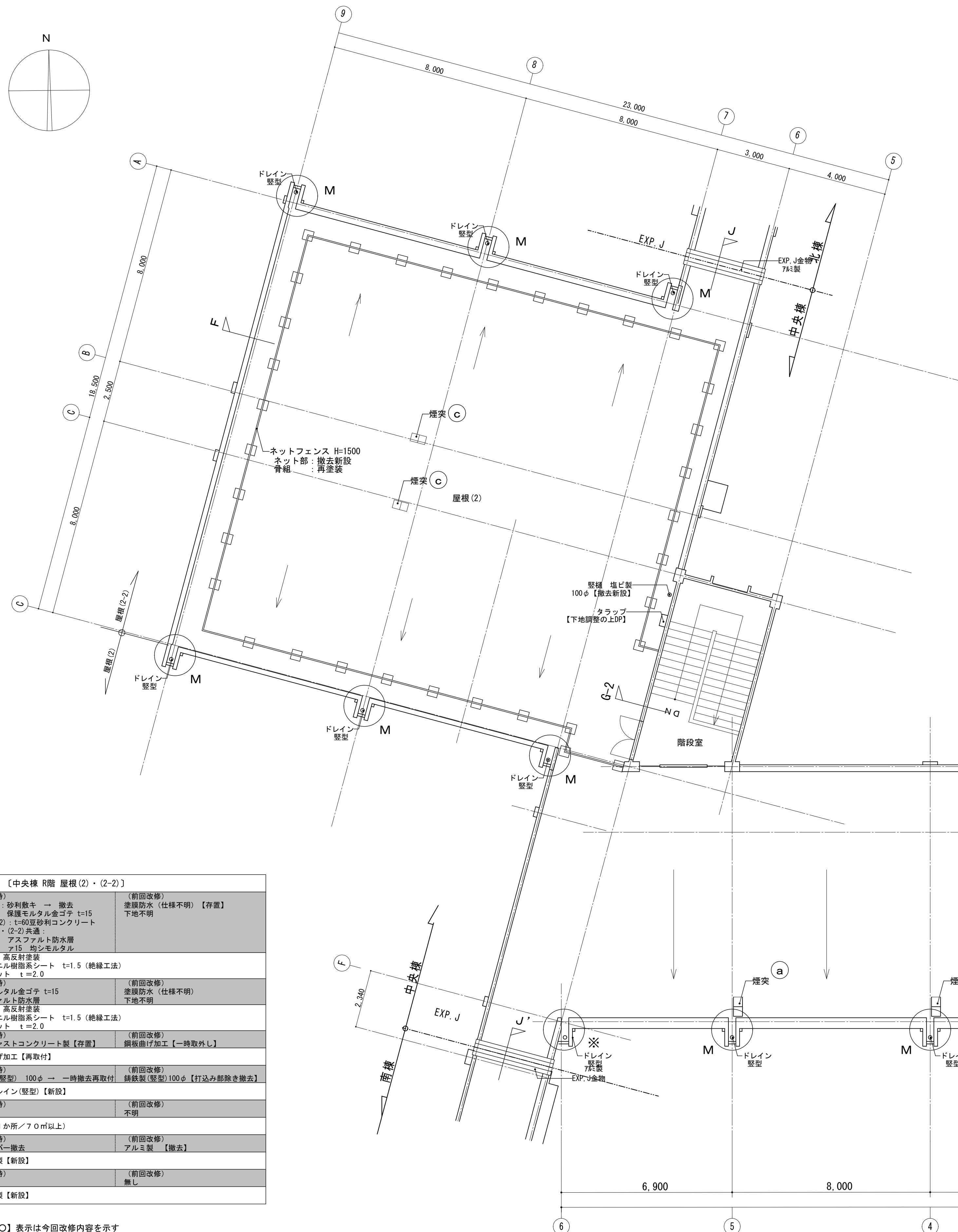
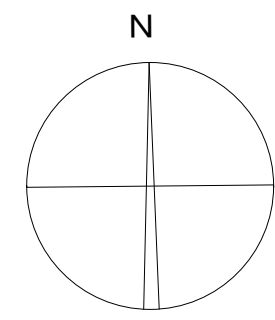
カーテンBOX	木製【新設】
☒☒	天井点検口：600×600、450×450アルミ製縦線タイプ
内部梁型	下地調整の上 EP (全室共通)
外部軒裏	劣化部補修の上下地調整材(一液水性多機能型カチオンシーラー)の上 水性反応硬化形軒天塗替え専用仕上げ塗材
梁型	劣化部補修の上下地調整材C-2の上防水型複層塗材E



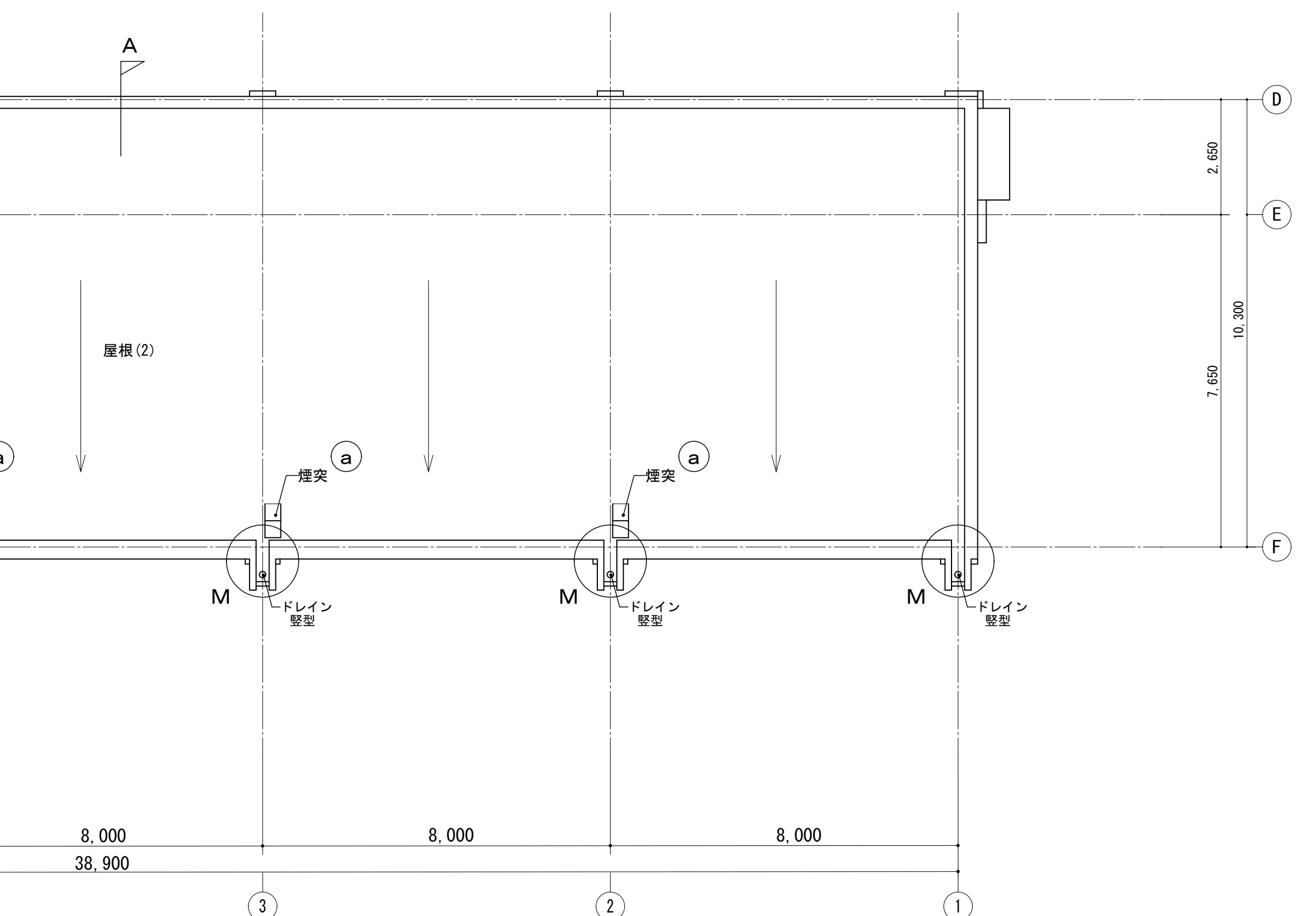
R階天井伏図 S=1/200

3階天井伏図 S=1/200

改修範囲外を示す



中央棟 PHR階屋根伏図 S=1/100



中央棟 R階屋根伏図 S=1/100

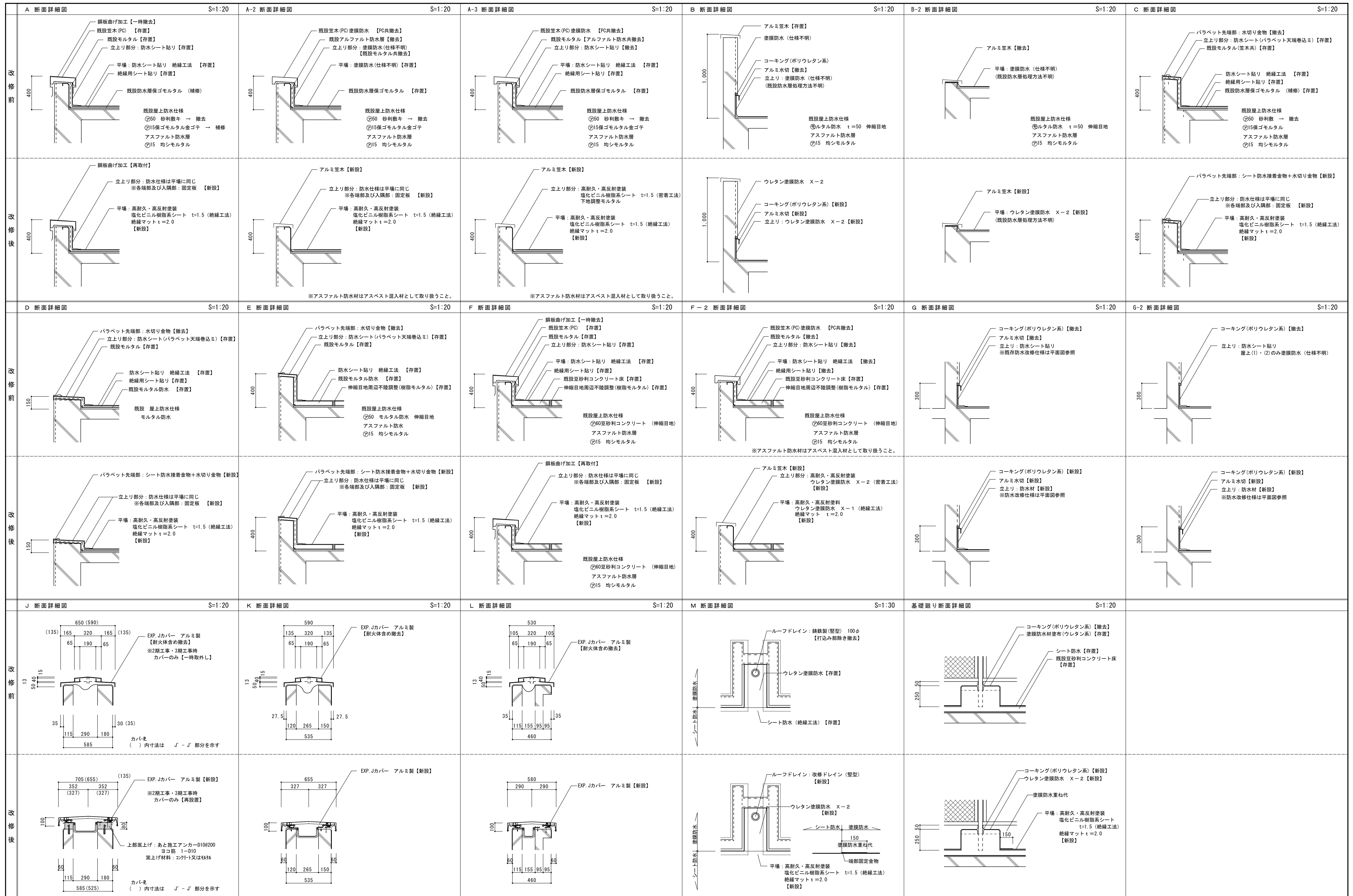
■ 防水改修仕様 [中央棟 PHR階 屋根(6)]			
平面	改修前	(建設時) モルタル防水 t=50 伸縮目地 アスファルト防水層 A15 均シモルタル	(前回改修) 塗膜防水 (仕様不明) 【存置】 下地不明
	改修後	ウレタン塗膜防水 X-2 高圧洗浄	
立上り	改修前	(建設時) 保護モルタル金ゴテ アスファルト防水層	(前回改修) 塗膜防水 (仕様不明) 【存置】 下地不明
	改修後	ウレタン塗膜防水 X-2 高圧洗浄	
笠木	改修前	(建設時) 無し	(前回改修) アルミ製・銅板曲げ加工 (仕様不明) 【撤去】
	改修後	アルミ製【新設】	
ドレ	改修前	(建設時) 鋳鉄製(横型) 100φ → 一時撤去再取付	(前回改修) 鋳鉄製(横型) 100φ 【打込み部除き撤去】
	改修後	改修ドレイン(縦型)【新設】	
脱気装置	改修前	無し	不明
	改修後	新設 (1か所/70㎡以上)	

■ 防水改修仕様 [R]			
平面	改修前	(建設時) モルタル防水	(前回改修)
	改修後	ウレタン塗膜防水 X-2 高圧洗浄	

■ 防水改修仕様 [中央棟 R階 屋根(2)・(2-2)]			
平面	改修前	(建設時) 屋根(2) : 砂利敷キ → 撤去 保護モルタル金ゴテ t=15 屋根(2-2) : t=60豆砂利コンクリート 屋根(2)・(2-2)共通: アスファルト防水層 A15 均シモルタル	(前回改修) 塗膜防水 (仕様不明) 【存置】 下地不明
	改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	
立上り	改修前	(建設時) 保護モルタル金ゴテ t=15 アスファルト防水層	(前回改修) 塗膜防水 (仕様不明) 下地不明
	改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	
笠木	改修前	(建設時) プレキャストコンクリート製【存置】	(前回改修) 銅板曲げ加工【一時取外し】
	改修後	銅板曲げ加工【再取付】	
ドレ	改修前	(建設時) 鋳鉄製(横型) 100φ → 一時撤去再取付	(前回改修) 鋳鉄製(縦型) 100φ 【打込み部除き撤去】
	改修後	改修ドレイン(縦型)【新設】	
脱気装置	改修前	無し	不明
	改修後	新設 (1か所/70㎡以上)	
EXP. J	改修前	(建設時) 既存カバー撤去	(前回改修) アルミ製【撤去】
	改修後	アルミ製【新設】	
水切金物 [壁面]	改修前	(建設時) 不明	(前回改修) 無し
	改修後	アルミ製【新設】	

※共通事項  
 1、改修前欄内【〇〇】表示は今回改修内容を示す  
 2、シート防水絶縁固定金物：免震性ディスク仕様





図面名	部分詳細図 (防水、屋根関連)
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:20・30 (A3版 50%縮小)

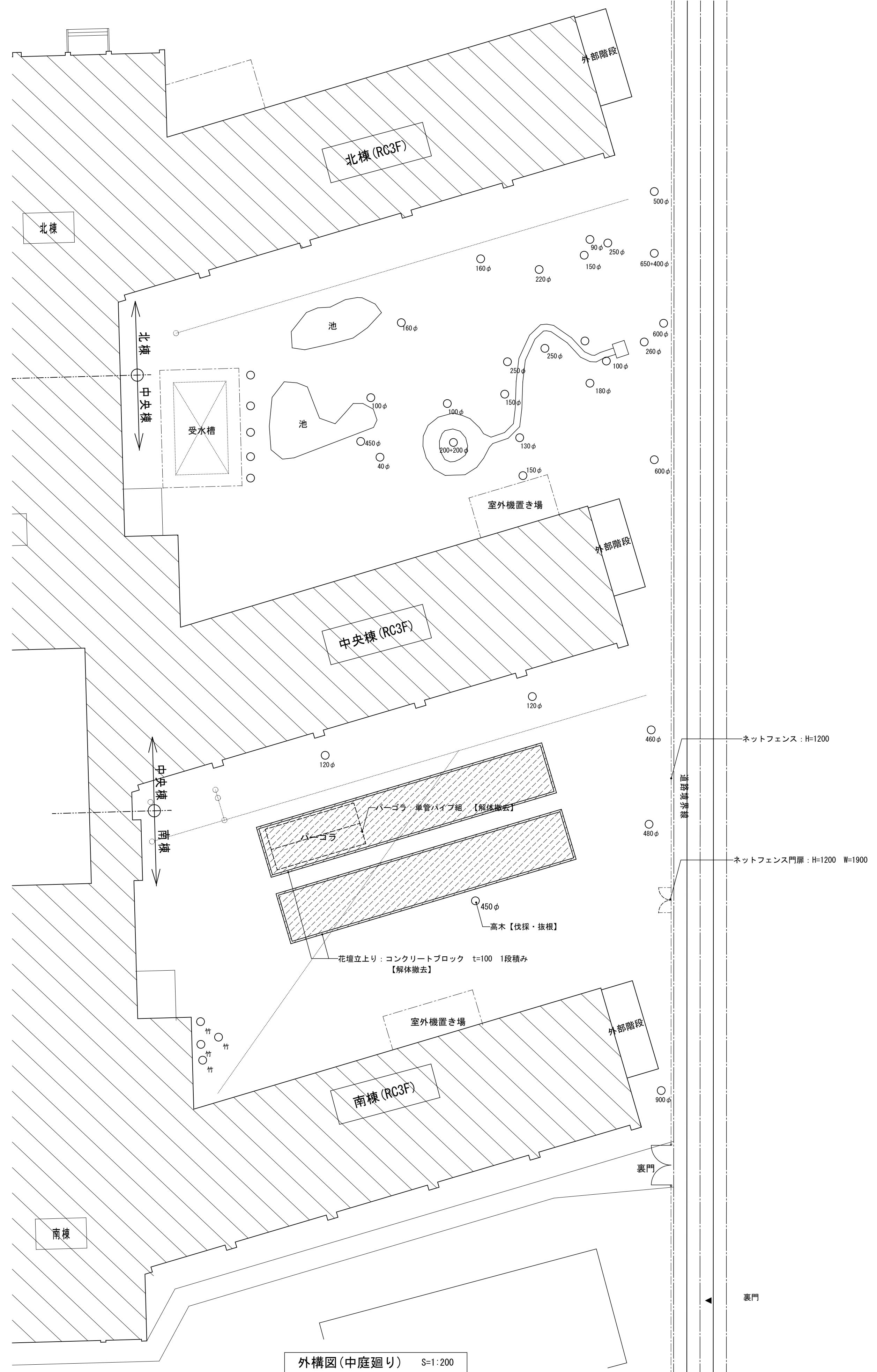

**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 登録 (11) 183  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)


委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	橋岡	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

図面名	部分詳細図 (防水、屋根関連)
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:20・30 (A3版 50%縮小)
ページ番号	58

改修前	煙突廻り詳細図 TYPE-a (普通教室上) S=1:20 <p>W × D 北棟 4ヶ 350 × 450 中央棟 4ヶ 410 × 660 南棟 4ヶ 310 × 600</p> <p>笠: 鋼板折り曲げ加工(中央棟のみ) フレキシブルボード t=8.0 AEP ★ 【撤去】</p> <p>煙突: 吹付タイル(E) 【存置】</p> <p>注記) ★アスベスト含有建材を示す</p>	煙突廻り詳細図 TYPE-b (特別教室上) S=1:20 <p>W × D 中央棟 2ヶ 830 × 400 南棟 1ヶ 1370 × 450 南棟 2ヶ 610 × 360</p> <p>笠: 鋼板折り曲げ加工(中央棟のみ) フレキシブルボード t=8.0 AEP ★ 【撤去】</p> <p>煙突: 吹付タイル(E) 【存置】</p> <p>注記) ★アスベスト含有建材を示す</p>	煙突廻り詳細図 TYPE-c (屋上(3)) S=1:30 <p>南棟 2ヶ</p> <p>笠: 鋼板折り曲げ加工(中央棟のみ) フレキシブルボード t=8.0 AEP ★ 【撤去】</p> <p>煙突: 吹付タイル(E) 【存置】</p> <p>注記) ★アスベスト含有建材を示す</p>	キュービクル基礎廻り詳細図 S=1:30 <p>キュービクル(設備)</p> <p>H=294×200×8×12 溶融亜鉛メッキ</p> <p>あと施工アンカー 12-M12(接着系) エポキシ</p> <p>2,400</p> <p>1,500</p> <p>あと施工アンカー M12(接着系) エポキシ</p> <p>※寸法は設備と調整を行うこと</p>		
	改修後	<p>煙突蓋: ステンレス製 t=1.5</p>	<p>煙突蓋: ステンレス製 t=1.5</p>	<p>煙突蓋: ステンレス製 t=1.5</p>	<p>キュービクル(設備)</p> <p>H=294×200×8×12 溶融亜鉛メッキ</p> <p>あと施工アンカー M12(接着系) エポキシ</p> <p>レベル調整モルタル</p>	
改修前	PH階段廻り詳細図(北棟) S=1:30 <p>手摺: スチール製 【存置】</p> <p>階段: スチール製 【撤去】</p>	廊下DS廻り詳細図(中央棟・南棟) S=1:20 <p>コンクリートブロック 【撤去】</p>				
	改修後	<p>手摺: スチール製 下地調整の上SOP</p> <p>階段: スチール製 【新設】 ササラ: 200×50×4.0 踏板: 鋼板 t=6.0</p> <p>基礎: コンクリート製 【新設】 (配筋: タテ・ヨコ D10 #150)</p> <p>緩衝マット</p>	<p>PL-6</p> <p>C-100x50x20x2.3 #600</p> <p>A L C版 t=50 防水形複層塗材 E</p> <p>L-75x75x6</p> <p>あと施工アンカー-M12(接着系) ショートタイプ</p> <p>埋込深さ80mm</p> <p>断面図</p> <p>あと施工アンカー-M12(接着系) ショートタイプ #600</p> <p>M12</p> <p>C-100x50x20x2.3</p> <p>L-75x75x6</p> <p>A L C版 t=50 防水形複層塗材 E</p> <p>600</p> <p>※鋼材は全て錆び止め塗装を行う事</p>			
改修前	腰壁詳細図① S=1:10 <p>窓枠: 木製 OP</p> <p>壁: モルタル金ゴテ下地 VP</p> <p>巾木: モルタル金ゴテ下地 VP</p>	腰壁詳細図② S=1:10 <p>壁: モルタル金ゴテ下地 VP</p> <p>巾木: モルタル金ゴテ下地 VP</p>	腰壁詳細図③ S=1:10 <p>生徒手ロッカー: 木製 【撤去】</p>			
	改修後	<p>窓枠: 下地調整の上 EP</p> <p>見切り枠: ヒノキ(上小節) UC</p> <p>腰壁: 杉(上小節) UC t=12.0 ※一部準不燃仕様</p> <p>木調線下地</p> <p>巾木: ヒノキ(上小節) H=60 UC</p>	<p>シーリング材充填</p> <p>見切り枠: ヒノキ(上小節) UC</p> <p>腰壁: 杉(上小節) UC t=12.0 ※一部準不燃仕様</p> <p>木調線下地</p> <p>巾木: ヒノキ(上小節) H=60 UC</p>	<p>見切り枠: ヒノキ(上小節) UC</p> <p>腰壁: 杉(上小節) UC t=12.0 ※一部準不燃仕様</p> <p>木調線下地</p> <p>巾木: ヒノキ(上小節) H=60 UC</p> <p>床ロッカー撤去跡: モルタル金ゴテ下地 ビニル床シート t=2.0</p>		
<p>株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11)183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)</p>			<p>図面番号 17-137 日付: 2018年3月</p> <p>設計部長 横田 担当 製図</p>	<p>市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図</p>	<p>図面名 部分詳細図(1)</p> <p>図面種類 A</p> <p>図面番号</p> <p>縮尺 S= 図示(A3版 50%縮小)</p>	<p>図面種類 A</p> <p>図面番号</p> <p>59</p>





**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	松園	担当	松園

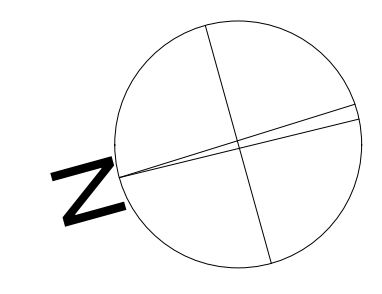
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図  
 縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)

図面名	外構図(中庭廻り)	図面種別	A
		図面番号	60
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)		

北棟

中央棟

南棟



1階平面図 S=1/200

- 凡例
- 建具記号
  - 建具記号右下の「A」は、網戸新設の建具を示す
  - 改修範囲外を示す


**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	梅園 担当	製図	

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

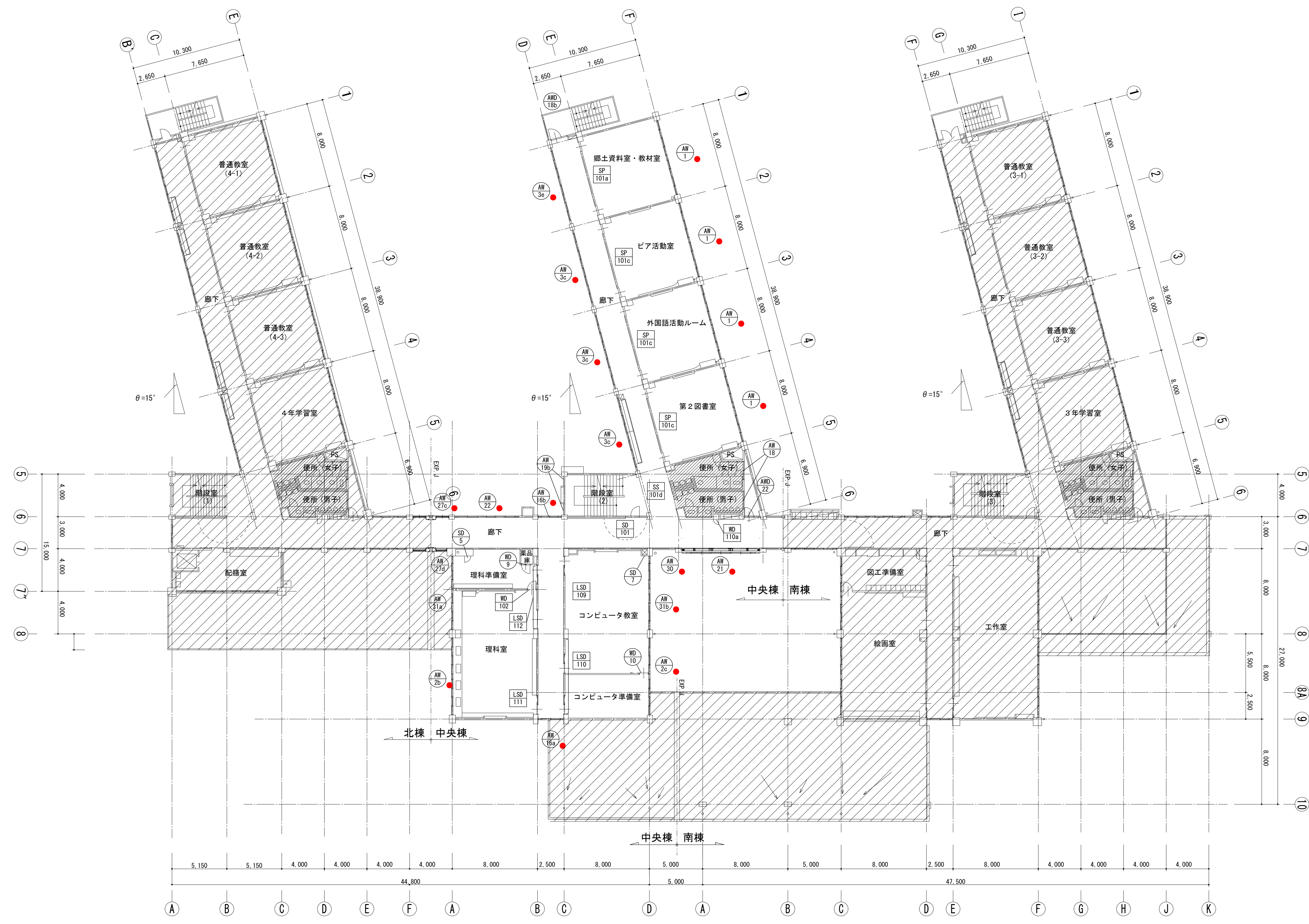
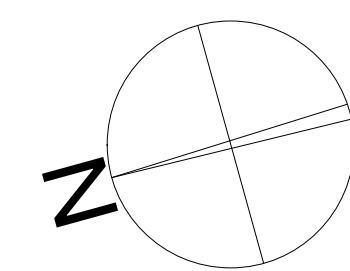
図面名	建具キープラン 1階平面図	図面種別	A
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号	61



北棟

中央棟

南棟



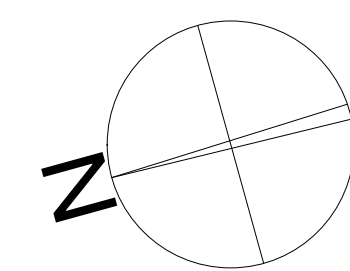
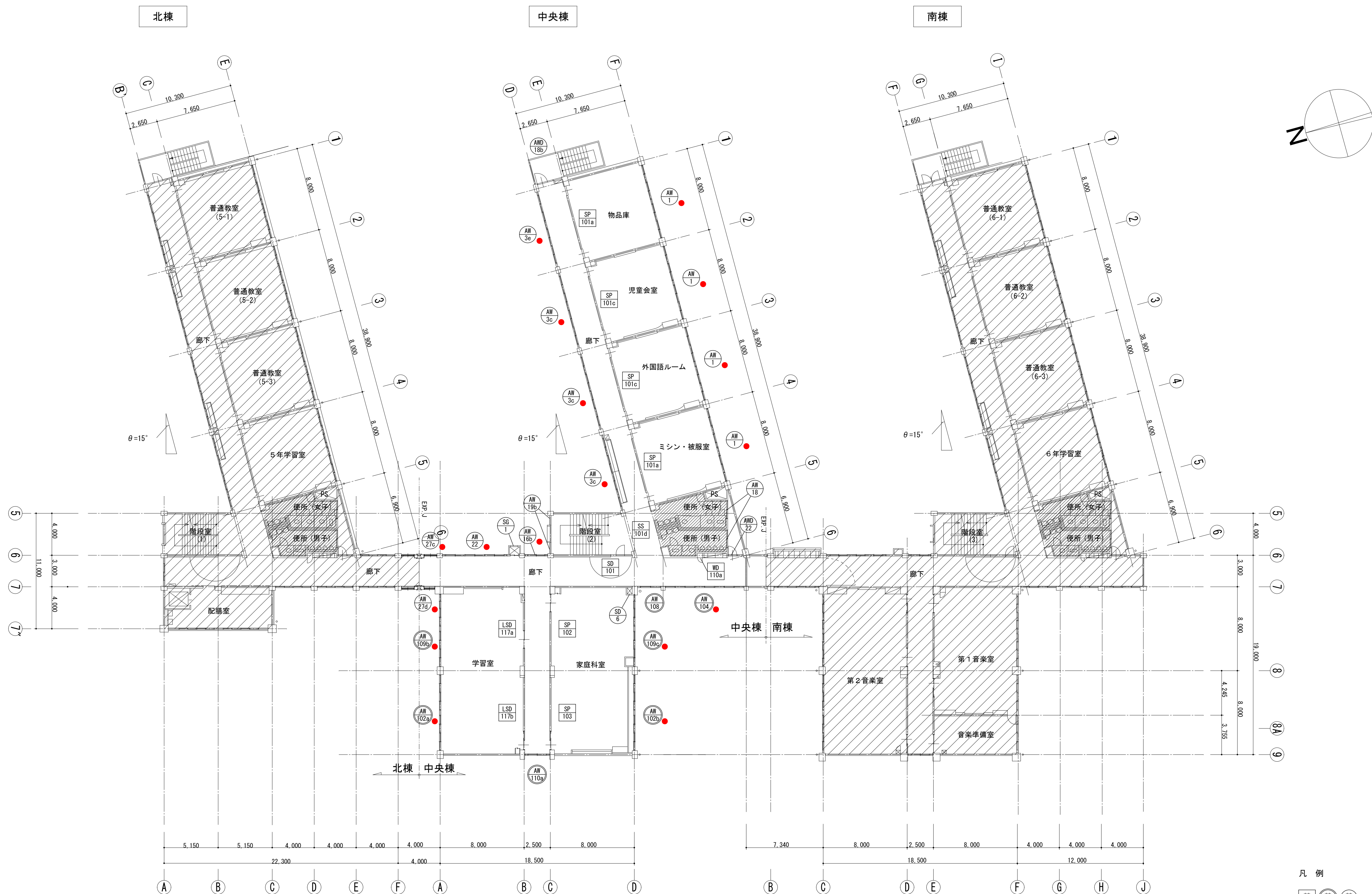
2階平面図 S=1/200

開口制限金物新設数量表  
【第1期工事 2階】

建具名	建具数量	箇所/建具	設置数量
AW 1	4	4	16
AW 3e	1	4	4
AW 3c	3	4	12
AW 27c	1	2	2
AW 22	1	6	6
AW 16b	1	2	2
AW 2b	1	4	4
AW 16a	1	2	2
AW 2c	1	4	4
AW 31b	1	3	3
AW 30	1	2	2
AW 21	1	6	6
計			63

- 凡例
- 建具記号
  - 建具記号右下の「ア」は、網戸新設の建具を示す
  - 建具記号右下の「●」は、開口制限金物新設の建具を示す
  - 改修範囲外を示す



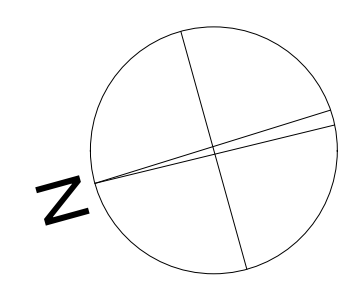
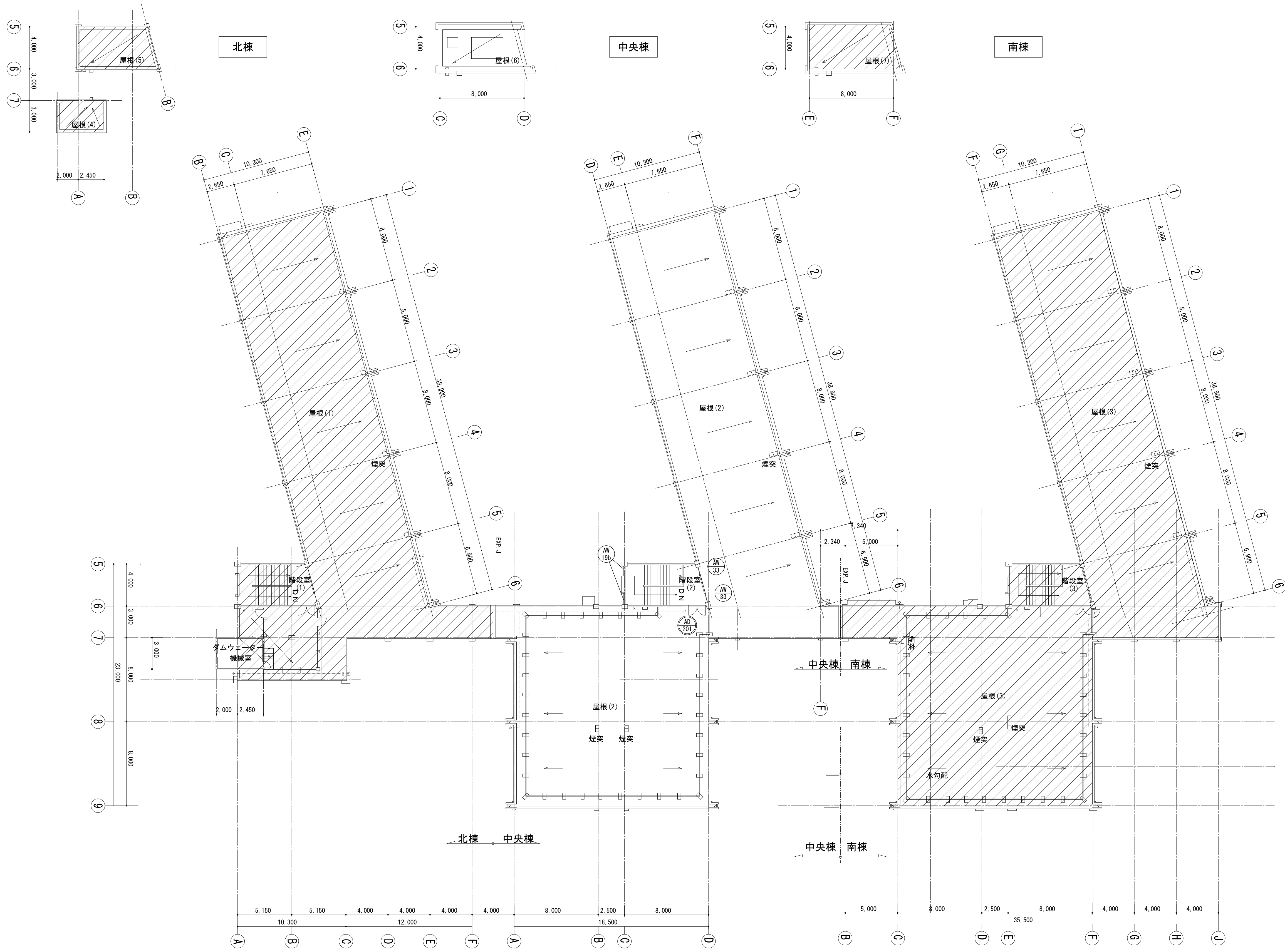


開口制限金物新設数量表  
【第1期工事 3階】

建具名	建具数量	箇所/建具	設置数量
AW 1	4	4	16
AW 3e	1	4	4
AW 3c	3	4	12
AW 27c	1	2	2
AW 22	1	6	6
AW 16b	1	2	2
AW 27d	1	2	2
AW 109b	1	2	2
AW 102a	1	3	3
AW 102b	1	3	3
AW 109c	1	3	3
AW 104	1	4	4
計			59

- 凡例
- 建具記号
  - 建具記号右下の「ア」は、網戸新設の建具を示す
  - 建具記号右下の「●」は、開口制限金物新設の建具を示す
  - 改修範囲外を示す

3階平面図 S=1/200



- 凡例
- 建具記号
  - 建具記号右下の「A」は、網戸新設の建具を示す
  - 改修範囲外を示す

R・PH階平面図 S=1/200

改修前	記号・材料・形式	SS-101d 煙感運動 防煙防火シャッター(手動式)	SD-101 煙感運動 潜戸付自閉式防火戸(180度開閉)	
	姿図			
	位置・数量	階段室(2) 3	階段室(2) 3	
	仕上・見込	スチール 錆止めの上 EP	スチール EP 扉:40(枠:100)	
	備考	SUSガイドレール、座板、シャッターケース:スチール EP、附属金物 障害物感知装置、電気式自動閉鎖装置	オートハンジ(防火戸用)、ケースハンドル、附属金物 随時閉鎖式特定防火設備(遮煙)、感知器運動装置	
改修後	記号・材料・形式	SS-101d 煙感運動 防煙防火シャッター(手動式)(レールカバー工法)	SD-101 煙感運動 潜戸付自閉式防火戸(180度開閉)	
	姿図			
	位置・数量	階段室(2) 3	階段室(2) 3	
	仕上・見込	スチール 錆止めの上 EP	スチール EP 扉:40(枠:100)	
	備考	SUSガイドレール、座板、シャッターケース:スチール EP、附属金物 障害物感知装置、電気式自動閉鎖装置	オートハンジ(防火戸用)、ケースハンドル、附属金物 随時閉鎖式特定防火設備(遮煙)、感知器運動装置	
改修前	記号・材料・形式	LSD-101 ランマ・地窓引違い 片引きドア付 木製パネーション	LSD-102 ランマ・地窓引違い 引違いドア付 木製パネーション	LSD-103a LSD-103b ランマ引違い 片開きドア付 木製パネーション
	姿図			
	位置・数量	図書室 1	図書室 1	消耗品室、印刷室 LSD-103a:1・LSD-103b:1
	仕上・見込	木製 OP 120	木製 OP 120	木製 OP 120
	備考	戸車、彫込引手、矽締め錠 揭示板(廊下側 片面)	戸車、彫込引手、矽締め錠 揭示板(廊下側 片面)	丁番、ドアコーザ、握り玉、シリコン錠、矽締め錠
改修後	記号・材料・形式	LSD-101 片引きハガ-ドア(壁内蔵タイプ)	LSD-102 片引きハガ-ドア(壁内蔵タイプ)	LSD-103a LSD-103b ランマFIX 片開きドア
	姿図			
	位置・数量	図書室 1	図書室 1	消耗品室、印刷室 LSD-103a:1・LSD-103b:1
	仕上・見込	軽量鋼板 焼付(木目近似色) 扉:40(枠:170)	軽量鋼板 焼付(木目近似色) 扉:40(枠:170)	軽量鋼板 焼付(木目近似色) 扉:40(枠:170)
	備考	ハガ-レール、取手:SUSφ25、引き戸錠、戸先ゴム、戸当り、附属金物	ハガ-レール、取手:SUSφ25、引き戸錠、戸先ゴム、戸当り、附属金物	SUS丁番、ドアコーザ、握り玉、シリコン錠、附属金物


LSD-104~108 欠番

LSD-104~108 欠番



改修前	記号・材料・形式	LSD110 ランマ引違い 片引きドア付 木製ハーフション	LSD111 ランマ引違い 片引きドア付 木製ハーフション	LSD112 ランマ引違い 引違い・片引きドア付 木製ハーフション		LSD117a 引違いドア	LSD117b 片引きドア	
	姿図				LSD-113~116 欠番			
	位置・数量	コンピュータ教室 1	理科室 1	理科室・理科準備室 1		学習室 1	学習室 1	
	仕上・見込	木製 OP 120	木製 OP 120	木製 OP 120		木製 OP 36	木製 OP 36	
	ガラス	トリプル t3	トリプル t3	トリプル t3		トリプル t3	トリプル t3	
金物	戸車、影込引手、杉締り錠	戸車、影込引手、杉締り錠	戸車、影込引手、杉締り錠		戸車、影込引手	戸車、影込引手		
備考	掲示板(廊下側 片面)							
改修後	記号・材料・形式	LSD110 片引きハングドア(壁内蔵タイプ) (2カ所)	LSD111 片引きハングドア(壁内蔵タイプ)	LSD112 片引きハングドア(壁内蔵タイプ) + ランマ引違い 引違いドア		LSD117a 引違いドア	LSD117b 引違いドア	
	姿図				LSD-113~116 欠番			
	位置・数量	コンピュータ教室 (片引きハングドア×2) 1組	理科室 1	理科室・理科準備室 (片引きハングドア+引違いドア) 1組		学習室 1	学習室 1	
	仕上・見込	軽量鋼板 焼付(木目近似色) 扉:40(枠:170)	軽量鋼板 焼付(木目近似色) 扉:40(枠:170)	軽量鋼板 焼付(木目近似色) 片引き扉:40・引違い扉:32(枠:170)		軽量鋼板 焼付(木目近似色) 扉:32(枠:170)	軽量鋼板 焼付(木目近似色) 扉:32(枠:170)	
	ガラス	学校用強化ガラス t4	学校用強化ガラス t4	理科室:学校用強化ガラス t4、理科準備室:型板強化ガラス t4		学校用強化ガラス t4	学校用強化ガラス t4	
金物	ハングレール、取手:SUSφ25、引き戸錠、戸先ゴム、戸当り、附属金物	ハングレール、取手:SUSφ25、引き戸錠、戸先ゴム、戸当り、附属金物	ハングレール、取手:SUSφ25、引き戸錠、戸先ゴム、引手、杉締り錠、附属金物		SUSレール、影込引手、引き戸錠、附属金物	SUSレール、影込引手、引き戸錠、附属金物		
備考								
改修前	記号・材料・形式	WD101 引違い障子	WD102 片開きドア	WD106 片開きドア	WD107 片開きドア	WD108 3本建て襖	WD109 4本建て押入襖	WD110a 片開き扉
	姿図							
	位置・数量	機械機器保管庫(旧 校務員室) 1	理科準備室 1	機械器具保管庫 1	機械機器保管庫(旧 校務員室) 1	機械機器保管庫(旧 校務員室) 1	機械機器保管庫(旧 校務員室) 1	(1~3F 廊下) 掃除用具入れ 3
	仕上・見込	木製 33	合板 EP 36	合板 EP 36	合板 EP 36	木製 新鳥の子(枠:カシュー塗) 27	木製 新鳥の子(裏面:雲華紙)(枠:カシュー塗) 27	合板 EP(裏面:素地) 27
	ガラス	ワロンシート	型ガラス t4	型ガラス t4	型ガラス t4			
金物	引手	丁番、ドアカギ、握り玉、シロッコ錠	丁番、ドアカギ、握り玉、シロッコ錠	丁番、ドアカギ、握り玉、シロッコ錠、附属金物	丁番、ドアカギ、握り玉、シロッコ錠	引手	引手	丁番、取手、ドアカギ
備考								
改修後	記号・材料・形式	WD101 引違いドア	WD102 片開きドア	WD106 片開きドア				WD110a 片開き扉
	姿図							
	位置・数量	機械機器保管庫 1	理科準備室 1	機械器具保管庫 1				(1~3F 廊下) 掃除用具入れ 3
	仕上・見込	合板 EP 36	合板 EP 36	合板 EP 36				合板 EP(裏面:素地) 27
	ガラス	型ガラス t4	学校用強化ガラス t4	型ガラス t4				
金物	SUSレール、影込引手、附属金物	丁番、ドアカギ、握り玉、シロッコ錠、附属金物	丁番、ドアカギ、握り玉、シロッコ錠、附属金物				丁番、取手、ドアカギ	
備考								

図面名	建具表(2) <<LSD・WD>>
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)


**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

設計者 松園 樹園  
 担当者 松園 樹園  
 製図者 松園 樹園

2018年3月  
 設計 松園 樹園

図面種類	A
図面番号	66

図面名	建具表(2) <<LSD・WD>>
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)
図面種類	A
図面番号	66

改修前	記号・材料・形式	SP101a ラマ・地窓引違い 片引きドア付 木製ﾊﾞｰﾚｰｼﾞｮﾝ	SP101b ラマ・地窓引違い 片引きドア付 木製ﾊﾞｰﾚｰｼﾞｮﾝ	SP101c ラマ・地窓引違い 片引きドア付 木製ﾊﾞｰﾚｰｼﾞｮﾝ	SP102 ラマ・地窓引違い 片引きドア付 木製ﾊﾞｰﾚｰｼﾞｮﾝ	SP103 ラマ・地窓引違い 片引きドア付 木製ﾊﾞｰﾚｰｼﾞｮﾝ
	姿図					
	位置・数量	郷土資料室・教材室、物品庫、ﾐｯｼﾝ・被服室 3	第2教育相談室、にじいろﾙｰﾑ、にじいろ学級 1 3	にじいろ学級2、ﾋﾞﾌﾞ活動室、外国語活動ﾙｰﾑ、第2図書室 児童会室、外国語ﾙｰﾑ 6	家庭科室 1	家庭科室 1
	仕上・見込	木製 OP 120	木製 OP 120	木製 OP 120	木製 OP 120	木製 OP 120
	ガラス	ﾄﾞﾗｲ t3	ﾄﾞﾗｲ t3 (一部 ｱﾙﾐﾊﾞｰﾙ)	ﾄﾞﾗｲ t3	ﾄﾞﾗｲ t3	ﾄﾞﾗｲ t3
	備考	戸車、彫込引手、ﾈｯﾄﾞ締め	戸車、彫込引手、ﾈｯﾄﾞ締め	戸車、彫込引手、ﾈｯﾄﾞ締め	戸車、彫込引手、ﾈｯﾄﾞ締め	戸車、彫込引手、ﾈｯﾄﾞ締め
改修後	記号・材料・形式	SP101b ラマ・地窓引違い 片引きドア付 ｽﾃｰﾙﾊﾞｰﾚｰｼﾞｮﾝ	SP101b ラマ・地窓引違い 片引きドア付 ｽﾃｰﾙﾊﾞｰﾚｰｼﾞｮﾝ	SP101c ラマ・地窓引違い 片引きドア付 ｽﾃｰﾙﾊﾞｰﾚｰｼﾞｮﾝ	SP102 ラマ引違い 片引きドア付 ｽﾃｰﾙﾊﾞｰﾚｰｼﾞｮﾝ	SP103 ラマ引違い 片引きドア付 ｽﾃｰﾙﾊﾞｰﾚｰｼﾞｮﾝ
	姿図					
	位置・数量	郷土資料室・教材室、物品庫、ﾐｯｼﾝ・被服室 3	第2教育相談室、にじいろﾙｰﾑ、にじいろ学級 1 3	にじいろ学級2、ﾋﾞﾌﾞ活動室、外国語活動ﾙｰﾑ、第2図書室 児童会室、外国語ﾙｰﾑ 6	家庭科室 1	家庭科室 1
	仕上・見込	垂鉛ﾏｯﾁ鋼板 焼付 80	垂鉛ﾏｯﾁ鋼板 焼付 80	垂鉛ﾏｯﾁ鋼板 焼付 80	垂鉛ﾏｯﾁ鋼板 焼付 80	垂鉛ﾏｯﾁ鋼板 焼付 80
	ガラス	学校用強化ｶﾞﾗｽ t4	学校用強化ｶﾞﾗｽ t4 (一部 ｱﾙﾐﾊﾞｰﾙ)	学校用強化ｶﾞﾗｽ t4 (一部 ｱﾙﾐﾊﾞｰﾙ)	学校用強化ｶﾞﾗｽ t4	学校用強化ｶﾞﾗｽ t4
	備考	SUS引き戸ﾚｰﾙ、SUS彫込引手、引き戸錠、戸先ｺﾞﾑ、戸当り、壁面ｲﾝﾄﾞｶﾞｰ、附属金物 掲示板(室内側・廊下側 両面):7ﾙﾐｽﾞ、ﾊﾞｰﾝﾞ下地 掲示板ｸﾞﾙｰﾌﾟ貼(掲示板下不燃間仕切対応仕様)	SUS引き戸ﾚｰﾙ、SUS彫込引手、引き戸錠、戸先ｺﾞﾑ、戸当り、壁面ｲﾝﾄﾞｶﾞｰ、附属金物 掲示板(室内側・廊下側 両面):7ﾙﾐｽﾞ、ﾊﾞｰﾝﾞ下地 掲示板ｸﾞﾙｰﾌﾟ貼(掲示板下不燃間仕切対応仕様)	SUS引き戸ﾚｰﾙ、SUS彫込引手、引き戸錠、戸先ｺﾞﾑ、戸当り、壁面ｲﾝﾄﾞｶﾞｰ、附属金物 掲示板(室内側・廊下側 両面):7ﾙﾐｽﾞ、ﾊﾞｰﾝﾞ下地 掲示板ｸﾞﾙｰﾌﾟ貼(掲示板下不燃間仕切対応仕様)	SUS引き戸ﾚｰﾙ、SUS彫込引手、引き戸錠、戸先ｺﾞﾑ、戸当り、壁面ｲﾝﾄﾞｶﾞｰ、附属金物 掲示板(廊下側 片面):7ﾙﾐｽﾞ、ﾊﾞｰﾝﾞ下地 掲示板ｸﾞﾙｰﾌﾟ貼(掲示板下不燃間仕切対応仕様)	SUS引き戸ﾚｰﾙ、SUS彫込引手、引き戸錠、戸先ｺﾞﾑ、戸当り、壁面ｲﾝﾄﾞｶﾞｰ、附属金物 掲示板(廊下側 片面):7ﾙﾐｽﾞ、ﾊﾞｰﾝﾞ下地 掲示板ｸﾞﾙｰﾌﾟ貼(掲示板下不燃間仕切対応仕様)
改修前	記号・材料・形式	AW101 欠番	AW102a 中央FIX 左右2段引違い連窓	AW102b 中央FIX 左右2段引違い連窓	AW103 欠番	AW104 両袖FIX 2段引違い連窓
	姿図					
	位置・数量	学習室 1	家庭科室 1	家庭科室 1	3F 廊下 1	3F 廊下 1
	仕上・見込	7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ 60	7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ 60	7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ 60	7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ 60	7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ 60
	ガラス	ﾄﾞﾗｲ t3	ﾄﾞﾗｲ t3 (一部 ｱﾙﾐﾊﾞｰﾙ)	ﾄﾞﾗｲ t3 (一部 ｱﾙﾐﾊﾞｰﾙ)	ﾄﾞﾗｲ t3 (腰部分:網入ﾄﾞﾗｲ t3)	ﾄﾞﾗｲ t3 (腰部分:網入ﾄﾞﾗｲ t3)
	備考					
改修後	記号・材料・形式	AW102a 中央FIX 左右2段引違い連窓+排煙窓付片開き窓(ｶﾊﾞｰ工法)	AW102b 中央FIX 左右2段引違い連窓+排煙窓付片開き窓(ｶﾊﾞｰ工法)	AW103 欠番	AW104 両袖FIX 2段引違い連窓+片開き窓(ｶﾊﾞｰ工法)	AW104 両袖FIX 2段引違い連窓+片開き窓(ｶﾊﾞｰ工法)
	姿図					
	位置・数量	学習室 1	家庭科室 1	家庭科室 1	3F 廊下 1	3F 廊下 1
	仕上・見込	新設サッシ:7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ 70	新設サッシ:7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ 70	新設サッシ:7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ 70	新設サッシ:7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ 70	新設サッシ:7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ 70
	ガラス	新設サッシ:学校用強化ｶﾞﾗｽ t4、既存サッシ:学校用強化ｶﾞﾗｽ t4	新設サッシ:学校用強化ｶﾞﾗｽ t4 及び 7ﾙﾐｽﾞ ｱﾙﾐﾄﾞ t3、既存サッシ:学校用強化ｶﾞﾗｽ t4	新設サッシ:学校用強化ｶﾞﾗｽ t4	新設サッシ:学校用強化ｶﾞﾗｽ t4、既存サッシ:学校用強化ｶﾞﾗｽ t4	新設サッシ:学校用強化ｶﾞﾗｽ t4、既存サッシ:学校用強化ｶﾞﾗｽ t4
	備考	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ﾊﾝﾄﾞﾙのみ) 排煙ﾊﾞﾚｰﾀﾞｰ(露出) 新設	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ﾊﾝﾄﾞﾙのみ) 排煙ﾊﾞﾚｰﾀﾞｰ(露出) 新設	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ﾊﾝﾄﾞﾙのみ) 排煙ﾊﾞﾚｰﾀﾞｰ(露出) 新設	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ﾊﾝﾄﾞﾙのみ)	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ﾊﾝﾄﾞﾙのみ)

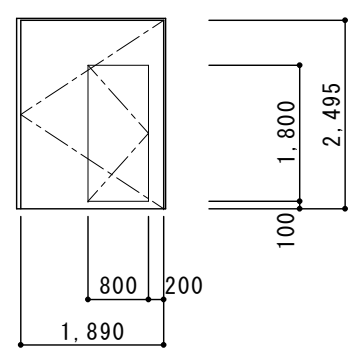
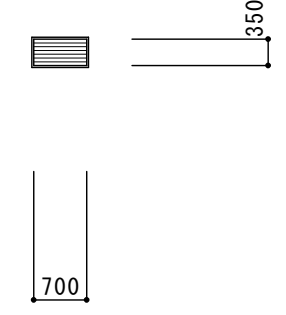


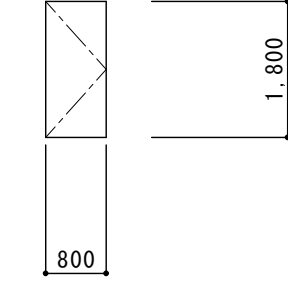
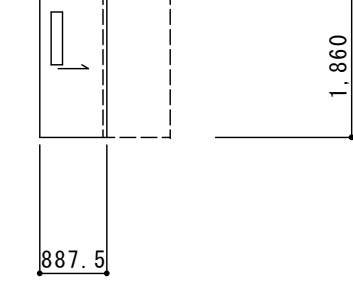
改修前	記号・材料・形式	AW-105 2段引違い窓	AW-109b 中央FIX 左右2段引違い連窓	AW-109c 中央FIX 左右2段引違い連窓	AW-110a 両袖FIX 2段引違い窓
	姿図	AW-105~107 欠番 	AW-109b 	AW-109c 	AW-110a 
	位置・数量	3F 廊下 1	学習室 1	家庭科室 1	3F 廊下 1
	仕上・見込	7&M アルマイト 60	7&M アルマイト 60	7&M アルマイト 60	7&M アルマイト 60
	ガラス	トウメイ t3	トウメイ t3	トウメイ t3 (一部 7&M 枠)	トウメイ t3 (一部 7&M 枠)
金物	附属金物	附属金物	附属金物	附属金物	
備考					
改修後	記号・材料・形式	AW-108 2段引違い窓+片開き窓(か'-工法)	AW-109b 中央FIX 左右2段引違い連窓+排煙窓付片開き窓(か'-工法)	AW-109c 中央FIX 左右2段引違い連窓+排煙窓付片開き窓(か'-工法)	AW-110a 両袖FIX 2段引違い窓+片開き窓(か'-工法)
	姿図	AW-105~107 欠番 	AW-109b 	AW-109c 	AW-110a 
	位置・数量	3F 廊下 1	学習室 1	家庭科室 1	3F 廊下 1
	仕上・見込	7&M アルマイト 70	新設サッシ:7&M アルマイト 70	新設サッシ:7&M アルマイト 70	新設サッシ:7&M アルマイト 70
	ガラス	新設サッシ:学校用強化ガラス t4	新設サッシ:学校用強化ガラス t4、既存サッシ:学校用強化ガラス t4	新設サッシ:学校用強化ガラス t4 及び 7&M 枠 t3、既存サッシ:学校用強化ガラス t4	新設サッシ:学校用強化ガラス t4、既存サッシ:学校用強化ガラス t4
金物	新設サッシ:附属金物	新設サッシ:附属金物、既存サッシ:戸車・クレセントの交換	新設サッシ:附属金物、既存サッシ:戸車・クレセントの交換	新設サッシ:附属金物	
備考	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ハンドルのみ)	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ハンドルのみ) 排煙ペレター(露出) 新設	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ハンドルのみ) 排煙ペレター(露出) 新設	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ハンドルのみ)	
改修前	記号・材料・形式	AWD-151 ランマ付片開きドア+袖FIX引違い窓	AD-201 額入両開きドア		
	姿図				
	位置・数量	機械器具保管庫 1	階段室(2) 1		
	仕上・見込	7&M アルマイト 70	7&M アルマイト 60		
	ガラス	型板ガラス t4 (一部 7&M 枠)	トウメイ t3		
金物	附属金物	附属金物			
備考					
改修後	記号・材料・形式	AWD-151 ランマ付片開きドア+袖FIX引違い窓	AD-201 額入両開きドア		
	姿図				
	位置・数量	機械器具保管庫 1	階段室(2) 1		
	仕上・見込	新設ドア:7&M アルマイト 70	新設ドア:7&M アルマイト 70		
	ガラス	新設ドア:型板強化ガラス t4、既存サッシ:型板強化ガラス t4	新設ドア:強化ガラス t4		
金物	新設ドア:SUS丁番 ドアノブ-握り玉 シリンド-錠 附属金物 既存サッシ:戸車・クレセントの交換 網戸(レール共)の新設	新設ドア:SUS丁番 ドアノブ-握り玉 シリンド-錠 附属金物			
備考					

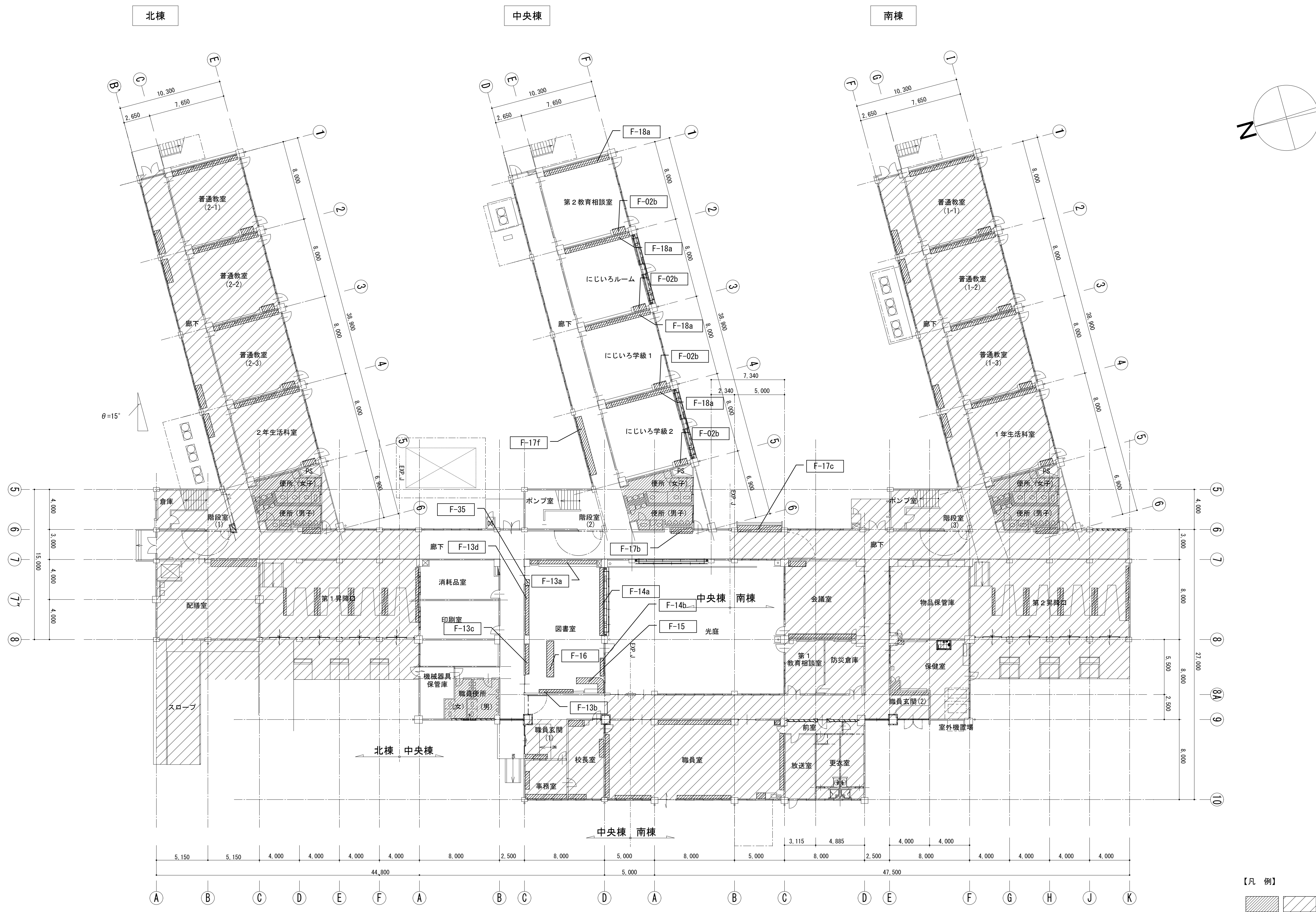
<p>記号・材料・形式 AW-1 中央FIX 左右2段引違い連窓</p> <p>改修内容 ・ 1/4 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・ 戸車とクレットの交換 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 郷土資料室・教材室、びろ活動室、外国語活動1-4、第2図書室、物品庫、児童会室、外国語1-4、シン・被服室 8</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:1/4 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p> <p>備考</p>	<p>記号・材料・形式 AW-2c 中央FIX 左右2段引違い連窓</p> <p>改修内容 ・ 1/4 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・ 7mm t3 撤去の上 7mm t3 (設備開口加工) 新設(図中の斜線部分) ・ 戸車とクレットの交換 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 理科室 1</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:1/4 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p> <p>備考</p>	<p>記号・材料・形式 AW-2c 中央FIX 左右2段引違い連窓</p> <p>改修内容 ・ 1/4 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・ 7mm t3 撤去の上 7mm t3 (設備開口加工) 新設(図中の斜線部分) ・ 戸車とクレットの交換 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 コンピュータ教室 1</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:1/4 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p> <p>備考</p>	<p>記号・材料・形式 AW-3c, AW-3d, AW-3e, AW-3f 両袖FIX 引違い連窓</p> <p>改修内容 ・ 1/4 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・ 網入ガラス t6.8 を、7mm t3 に交換する(図中の斜線部分) ・ 戸車とクレットの交換 ・ 網戸(レール共)の新設(4所) ※網戸設置建具は建具メーカー参照 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 廊下 AW-3c:7・AW-3d:2・AW-3e:2・AW-3f:1 60</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:1/4 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:腰部分:網入ガラス t6.8) 7mm t3 に交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換、網戸(レール共)の新設</p> <p>備考</p>	<p>AW-4~6 欠番</p>	
<p>記号・材料・形式 AW-7 上下引違い FIX 連窓</p> <p>改修内容 ・ 1/4 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・ 網入ガラス t6.8部分のガラス交換 ・ 戸車とクレットの交換 ・ 網戸(レール共)の新設 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 1F 廊下 1</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:1/4 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:腰部分:網入ガラス t6.8) 網入ガラス交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換、網戸(レール共)の新設</p> <p>備考</p>	<p>AW-8~11 欠番</p>	<p>記号・材料・形式 AW-12 両袖FIX 2段引違い連窓</p> <p>改修内容 ・ 網戸(レール共)の新設 ・ 調整及び清掃</p> <p>位置・数量 図書室 1</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 70</p> <p>ガラス (既存:学校用強化ガラス t4 (一部 7mm t3))</p> <p>金物 (既存:附属金物) 網戸(レール共)の新設</p> <p>備考</p>	<p>AW-13, 14 欠番</p>	<p>記号・材料・形式 AW-15 腰FIX 2段引違い窓</p> <p>改修内容 ・ 網戸(レール共)の新設 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 1F 廊下 1</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 70</p> <p>ガラス (既存:学校用強化ガラス t4 (腰部分:網入ガラス t6.8))</p> <p>金物 (既存:附属金物) 網戸(レール共)の新設</p> <p>備考</p>	<p>記号・材料・形式 AW-16a 両袖FIX 2段引違い窓</p> <p>改修内容 ・ 1/4 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・ 7mm t3 撤去の上 7mm t3 (設備開口加工) 新設(図中の斜線部分) ・ 上記以外の7mm t3部分のガラス交換 ・ 戸車とクレットの交換 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 2F 廊下 1</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:1/4 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:7mm t3) 既存7mm t3利用部分のガラス交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p> <p>備考</p>
<p>記号・材料・形式 AW-16c 両袖FIX 2段引違い窓</p> <p>改修内容 ・ 1/4 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・ 網入ガラス t6.8部分のガラス交換(図中の斜線部分) ・ 戸車とクレットの交換 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 2、3F 廊下 2</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:1/4 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:腰部分:網入ガラス t6.8) 既存ガラス利用部分のガラス交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p> <p>備考</p>	<p>記号・材料・形式 AW-17 上下引違い FIX窓</p> <p>改修内容 ・ 1/4 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・ 網入ガラス t6.8部分のガラス交換 ・ 戸車とクレットの交換 ・ 網戸(レール共)の新設 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 1F 廊下 1</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:1/4 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:腰部分:網入ガラス t6.8) 既存ガラス利用部分のガラス交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換、網戸(レール共)の新設</p> <p>備考</p>	<p>記号・材料・形式 AW-18 3段FIX窓</p> <p>改修内容 ・ 調整及び清掃</p> <p>位置・数量 1~3F 便所 6</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:網入型板ガラス t6.8 (一部 7mm t3))</p> <p>金物 (既存:附属金物) 網戸(レール共)の新設</p> <p>備考</p>	<p>記号・材料・形式 AW-19b 横軸回転窓+FIX窓+ガラス</p> <p>改修内容 ・ 可動部をFIX(半-工法)に改修(図中の斜線部分)(AW-19bのみ) ・ ガラス交換 ・ 調整及び清掃 ・ 破損ガラス交換(階段室(2):1箇所)</p> <p>位置・数量 階段室(2) 2</p> <p>仕上・見込 7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス 網入ガラス t6.8</p> <p>金物 附属金物</p> <p>備考</p>	<p>AW-20 欠番</p>	<p>記号・材料・形式 AW-21 両袖FIX 2段引違い連窓</p> <p>改修内容 ・ 網戸(レール共)の新設(1箇所) ※網戸設置建具は建具メーカー参照 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 1、2F 廊下 2</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 70</p> <p>ガラス (既存:学校用強化ガラス t4)</p> <p>金物 (既存:附属金物) 網戸(レール共)の新設</p> <p>備考</p>
<p>記号・材料・形式 AW-22 両袖FIX 2段引違い連窓</p> <p>改修内容 ・ 1/4 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・ 網入ガラス t6.8部分のガラス交換 ・ 戸車とクレットの交換 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 2、3F 廊下 2</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:1/4 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:腰部分:網入ガラス t6.8) 既存ガラス利用部分のガラス交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p> <p>備考</p>	<p>AW-23~25 欠番</p>	<p>記号・材料・形式 AW-26 引違い連窓</p> <p>改修内容 ・ 型板ガラス t4 撤去の上 型板強化ガラス t4 新設 ・ 戸車とクレットの交換 ・ 網戸(レール共)の新設 ・ 調整及び清掃</p> <p>位置・数量 機械器具保管庫 1</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:型ガラス t4) 型板強化ガラス t4 に交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換、網戸(レール共)の新設</p> <p>備考</p>	<p>記号・材料・形式 AW-27c 2段引違い窓</p> <p>改修内容 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 2、3F 廊下 2</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 70</p> <p>ガラス (既存:学校用強化ガラス t4)</p> <p>金物 (既存:附属金物)</p> <p>備考</p>	<p>記号・材料・形式 AW-27d 2段引違い窓</p> <p>改修内容 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 2、3F 廊下 2</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 70</p> <p>ガラス (既存:学校用強化ガラス t4)</p> <p>金物 (既存:附属金物)</p> <p>備考</p>	<p>記号・材料・形式 AW-30 2段引違い窓</p> <p>改修内容 ・ 1/4 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・ 戸車とクレットの交換 ・ 調整及び清掃</p> <p>● 建具メーカーの開口制限金物位置を示す</p> <p>位置・数量 2F 廊下 1</p> <p>仕上・見込 (既存:7mm 7mm) 60</p> <p>ガラス (既存:1/4 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換</p> <p>金物 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p> <p>備考</p>



記号・材料・形式	AW-31a 中央FIX 左右2段引違い連窓	AW-31b 中央FIX 左右2段引違い連窓	AW-32 欠番	AW-33 上部突出しFIX窓			
改修内容	・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・戸車とクレントの交換 ・調整及び清掃	・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・7&8の枠撤去の上 7&8の枠 t3(設備開口加工)新設(図中の斜線部分) ・上記以外の7&8の枠部分のガラス交換 ・戸車とクレントの交換 ・調整及び清掃		・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・クレントの交換 ・調整及び清掃			
位置・数量	理科室・理科準備室 1	コンピュータ教室 1		RF 階段室 2			
仕上・見込	(既存:7&8 7&8) 60	(既存:7&8 7&8) 60		(既存:7&8 7&8) 70			
ガラス	(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換	(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:7&8の枠) 既存7&8の枠利用部分のガラス交換		(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換			
金物	(既存:附属金物) 戸車・クレントの交換	(既存:附属金物) 戸車・クレントの交換		(既存:附属金物) クレントの交換			
備考		● 建具への開口制限金物位置を示す					
記号・材料・形式	AWD-1 両袖ランマ付片開きドア 2段引違い連窓	AWD-2 中央ランマ付片開きドア 左右引違い連窓	AWD-3~6 欠番	AWD-7 ランマ付片開きドア 3段引違い連窓	AWD-8~13 欠番		
改修内容	・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・7&8の枠部分のガラス交換 ・戸車とクレントの交換 ・網戸(レール共)の新設 ・調整及び清掃	・網戸(レール共)の新設 ・調整及び清掃		・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・網戸(レール共)の新設 ・調整及び清掃	・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・網戸(レール共)の新設 ・調整及び清掃		
位置・数量	にじいろ学級1、第2教育相談室 2	にじいろルーム、にじいろ学級2 2		図書室 1			
仕上・見込	(既存:7&8 7&8) 60	(既存:7&8 7&8) 70		(既存:7&8 7&8) 60			
ガラス	(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:腰部分:7&8の枠) 既存7&8の枠利用部分のガラス交換	(既存:学校用強化ガラス t4 (一部 7&8の枠))		(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換、(既存:網戸) 網戸 t6.8 7&8の枠 t3 に交換 (既存:腰部分:7&8の枠) 既存7&8の枠利用部分のガラス交換			
金物	(既存:附属金物) 戸車・クレントの交換、網戸(レール共)の新設	(既存:附属金物) 網戸(レール共)の新設		(既存:附属金物) 戸車・クレントの交換、網戸(レール共)の新設			
備考							
記号・材料・形式	AWD-14 袖FIX ランマ付片開きドア	AWD-15~17 欠番	AWD-18a 袖付両開きドア	AWD-19~21 欠番	AWD-22 袖FIX ランマ付片開きドア		
改修内容	・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・7&8の枠撤去の上 7&8の枠 t3(設備開口加工)新設 ・腰部分網戸(レール共) t6.8のガラス交換 ・錠前の交換 ・調整及び清掃		・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・7&8の枠部分のガラス交換 ・錠前の交換 ・調整及び清掃		・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・網戸(レール共) t6.8部分のガラス交換 ・錠前の交換 ・調整及び清掃		
位置・数量	1F 廊下 1		1~3F 廊下 AWD-18a:1・AWD-18b:2 60		1~3F 廊下 3		
仕上・見込	(既存:7&8 7&8) 70		(既存:7&8 7&8) 60		(既存:7&8 7&8) 70		
ガラス	(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:腰部分:網戸(レール共) t6.8) 既存ガラス利用部分のガラス交換		(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:腰部分:7&8の枠) 既存7&8の枠利用部分のガラス交換		(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:腰部分:網戸(レール共) t6.8) 既存ガラス利用部分のガラス交換		
金物	(既存:附属金物) 錠前の交換		(既存:附属金物) 錠前の交換		(既存:附属金物) 錠前の交換		
備考							
記号・材料・形式	SD-2 片開きアングルドア	SD-3 欠番	SD-4 片開きアングルドア	SD-5 片開きアングルドア	SD-6 片開き点検扉	SD-7 片開き点検扉	
改修内容	・扉及び枠 EP塗装 ・調整		・扉及び枠 EP塗装 ・調整	・扉及び枠 EP塗装 ・調整	・扉及び枠 EP塗装 ・調整	・扉及び枠 EP塗装 ・調整	
位置・数量	1F グラスコート(外部) 1		ホール室 1	理科準備室 1	家庭科室 1	コンピュータ教室 1	
仕上・見込	スチール OP 扉:40(枠:100)		スチール OP 扉:40(枠:100)	スチール OP 扉:40(枠:100)	スチール OP 40	スチール OP 40	
ガラス							
金物	丁番、握り玉、シリンダー錠、附属金物		丁番、握り玉、シリンダー錠、附属金物	丁番、ロック錠、附属金物	丁番、ロック錠、附属金物	丁番、ロック錠、附属金物	
備考							
株式会社 松下設計		一級建築士事務所 登録(11)183		委託番号 17-137		設計: 2018年3月	
埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号		TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103		設計部長 松園 樹		担当 製図	
管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)				市立瀨瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】		設計図	
				図面名 建具表(6) <<AW・AWD・SD>>		図面種別 A	
				縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小)		図面番号 70	

記号・材料・形式	SD 8 煙感連動 潜戸付自閉式防火戸 (90度開閉)	SG 1 換気ガリ
姿 図	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調整及び清掃</li> </ul> 	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 扉及び枠 DP塗替</li> <li>・ 調整</li> </ul> 
位置・数量	職員玄関(1)前 廊下 1	排気塔(外部) 1
仕上・見込	スチール EP 扉:40(枠:100)	スチール OP 60
ガラス		
金 物	オートロック(防火戸用)、ケースハンドル、附属金物	附属金物
備 考	随時閉鎖式特定防火設備(遮煙)、感知器連動装置	

記号・材料・形式	WD 9 片開きド7	WD 10 片引きド7
姿 図	<p>WD-1~8 欠番</p> <p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調整及び清掃</li> </ul> 	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調整及び清掃</li> </ul> 
位置・数量	理科準備室 1	コンピュータ準備室 1
仕上・見込	ホリ化粧合板 36	ホリ化粧合板 36
ガラス		型板ガラス t4
金 物	丁番、ドアカーラー、握り玉、シリンダー錠、附属金物	SUS引き戸レール、SUS彫込取手、引き戸錠、附属金物
備 考		



1階平面図 S=1/200

【凡例】  
 改修範囲外を示す


**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

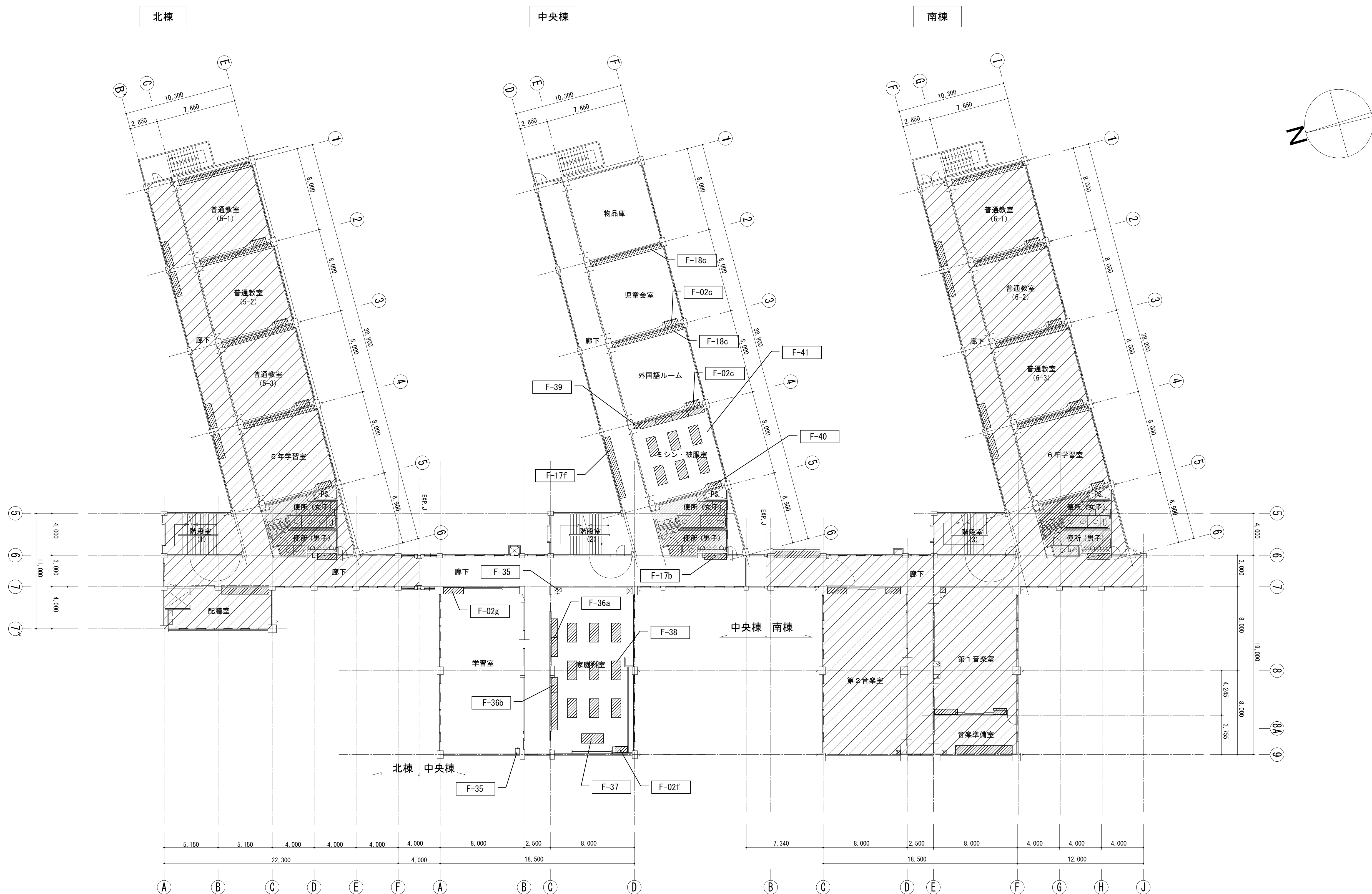
案件番号 17-137 設計部長 横園 担当 製図	日付 2018年3月
---------------------------------	---------------

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図  
 縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)

図面名 家具キープラン 1階平面図 縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面種類 A 図面番号 72
--	-------------------------







3階平面図 S=1/200

【凡例】  
 改修範囲外を示す

 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11)183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	委託番号 17-137 設計部長 横園 担当 製図	日付 2018年3月	図面名 家具キープラン 3階平面図	図面種類 A
	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図			図面番号 74
	縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)			

共通仕様

造作家具 共通仕様 「特記なき場合は下記仕様とする」

A仕様	
天板	家具図表記とする。
本体・主材	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
扉・引違戸	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料） 枠組 扉にガラスが入る時は透明強化ガラス t4mmとする
引手	国産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
棚板	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
側板	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
背板	ポリエステル化粧板
地板	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
支輪・台輪	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
塗装	UC：ウレタン塗装仕上げF☆☆☆☆
接着剤	※接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとす。

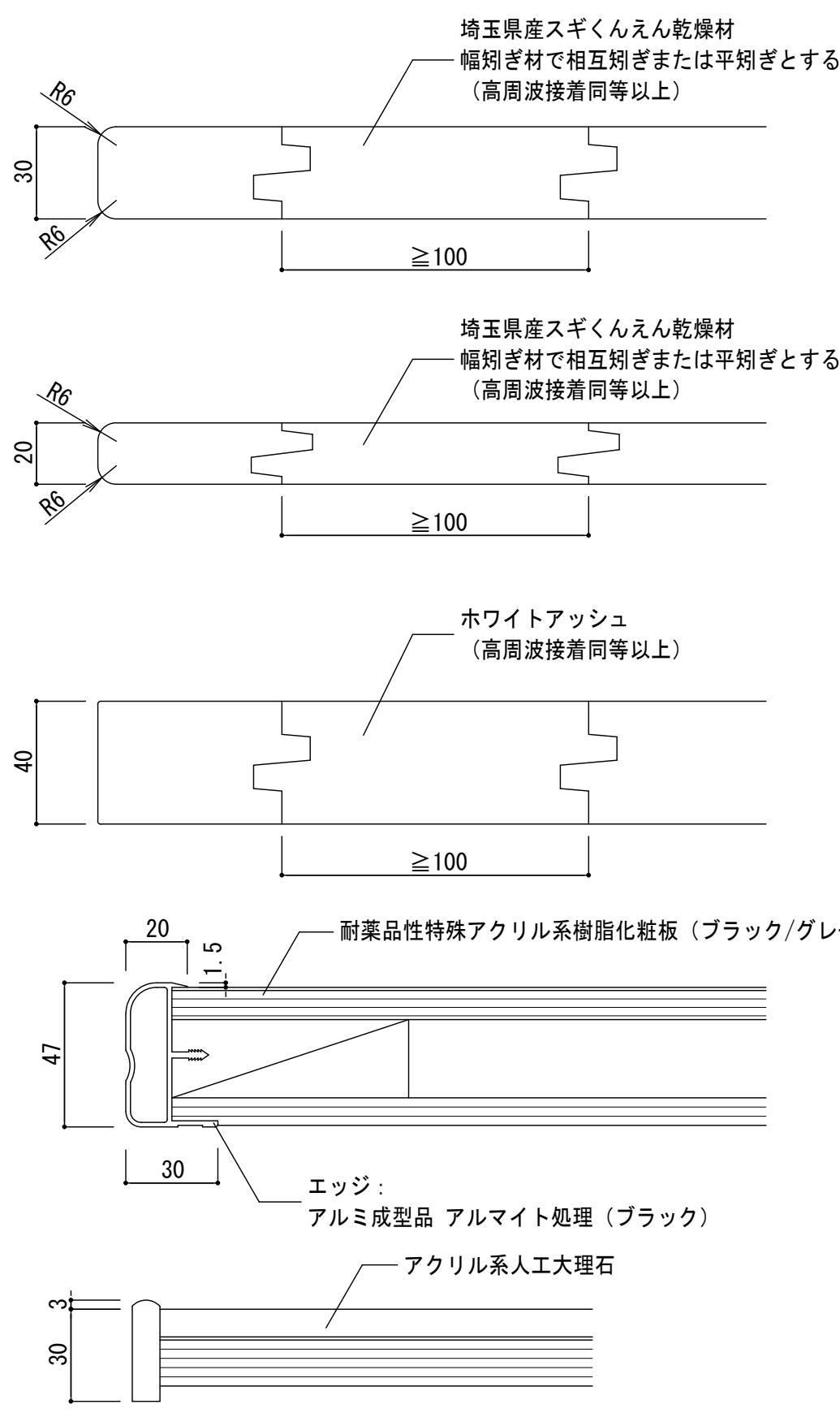
B仕様	
天板	家具図表記とする。
本体・主材	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
扉・引違戸	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り 扉にガラスが入る時は透明強化ガラス t4mmとする
引手	国産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
棚板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
側板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
背板	ポリエステル化粧板
地板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
台輪	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
接着剤	※接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとす。

C仕様	
天板	家具図表記とする。
本体・主材	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
扉・引違戸	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り 扉にガラスが入る時は透明強化ガラス t4mmとする
引手	国産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
棚板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
側板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
背板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
地板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
台輪	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
接着剤	※接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとす。

D仕様	
家具図表記とする。	

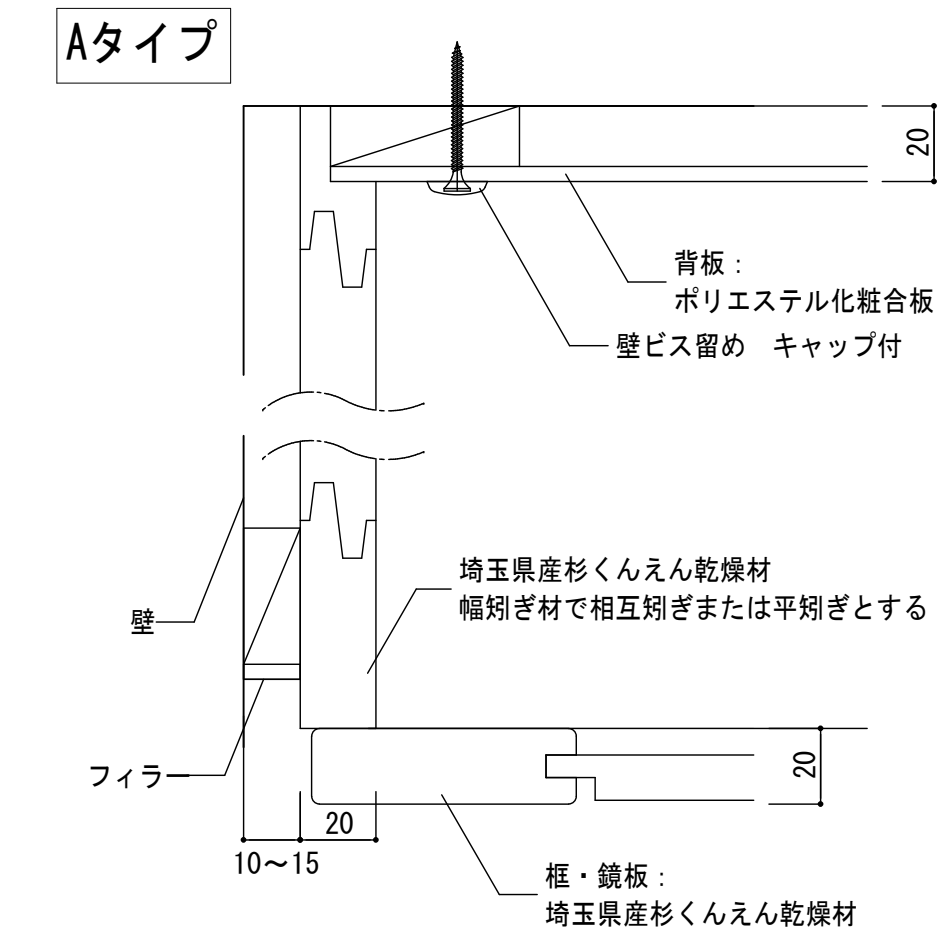
※ 施工前に家具施工図を作成し監督者に提出、承認を受けた後、製作、施工すること。  
 ※ 埼玉県産スギくんえん乾燥材の出荷証明書等は施工前に監督者に提出する。  
 ※ 製作については品質確保のためISO9001認定取得の国内工場とする。  
 ※ 造作家具の埼玉県産スギ材については、以下の条件を満たすものとする。  
 ※ 生木製材からロット番号管理を行い、含水率の推移を記録した乾燥履歴を保管すること。  
 ※ 乾燥工程では、全乾重量法に基づいた含水率計測を行うこと。  
 ※ 抜けそうな節（抜け節）はあらかじめ除去し、無垢材によって埋め木処理を行うこと。  
 ※ 写真で工程を説明できる資料と、埋め木材と乾燥材のサンプルを速やかに提出できること。  
 ※ 乾燥工程は品質確保のため、以下の要領によって行われていること。  
 ・約40～50℃の中低温のくんえん乾燥にて予備乾燥を行う。  
 ・次に約65℃前後で蒸気乾燥炉にて約一週間温度調整し、含水率を10%前後にする。  
 ・湿度調整後に養生期間を設けて含水率を12%程度まで戻した後、含水率を保持するためビニールで梱包する。  
 ・くんえん乾燥には天然木を燃焼させて発生させた煙を利用すること。  
 ※ メーカー選定の際には、仕様通りの実物サンプルを提出し、監督者承認後決定とする。

天板



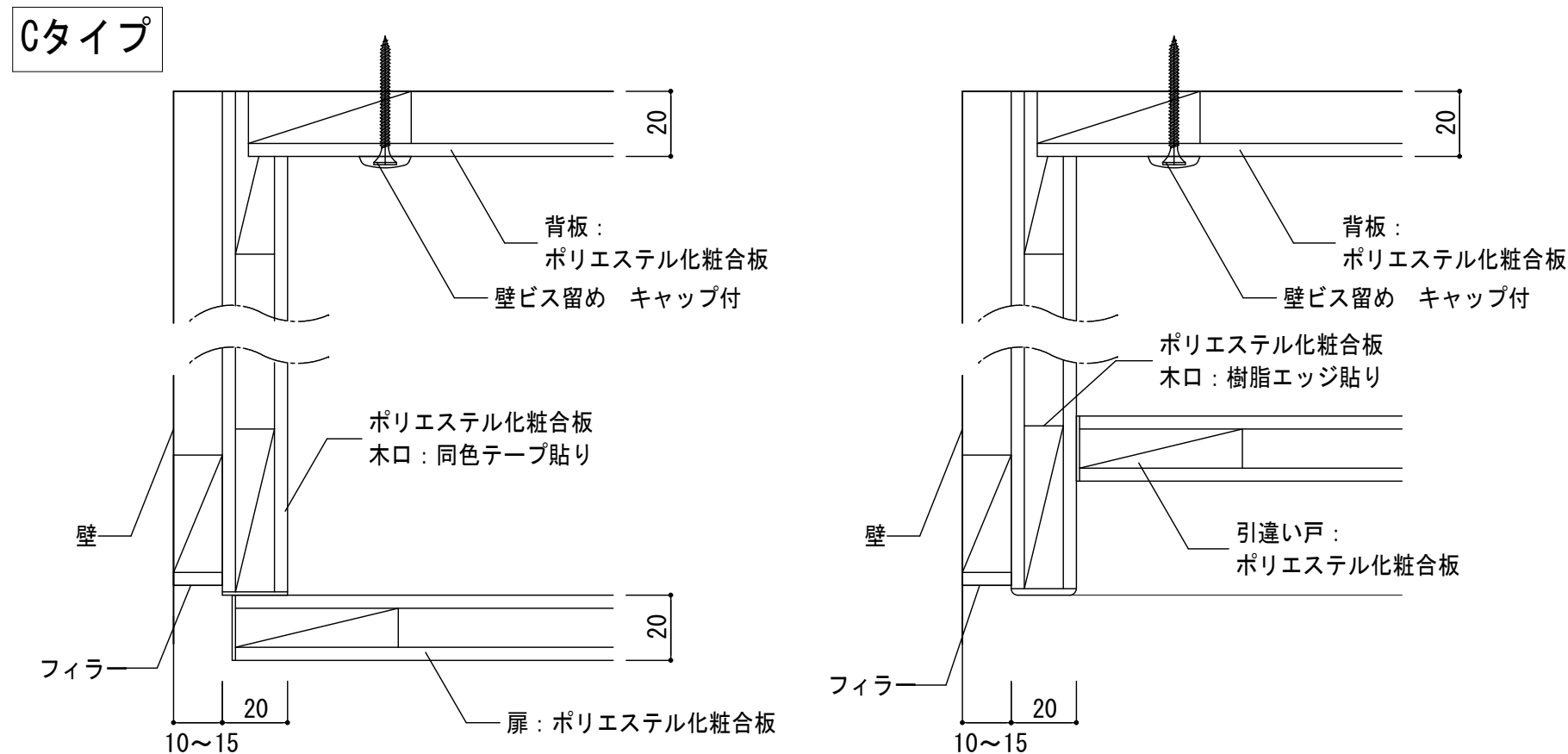
本体

※ 本体各部材の接合に関しては、いたずら防止と強度確保のため、部外者が安易に外せるロックダウン金物の使用は禁止とする。  
 ※ 造作家具は危険防止の為、床または壁面に取付・固定すること。  
 ※ 本体は、フィラー、支輪の現場加工取付込みとする。

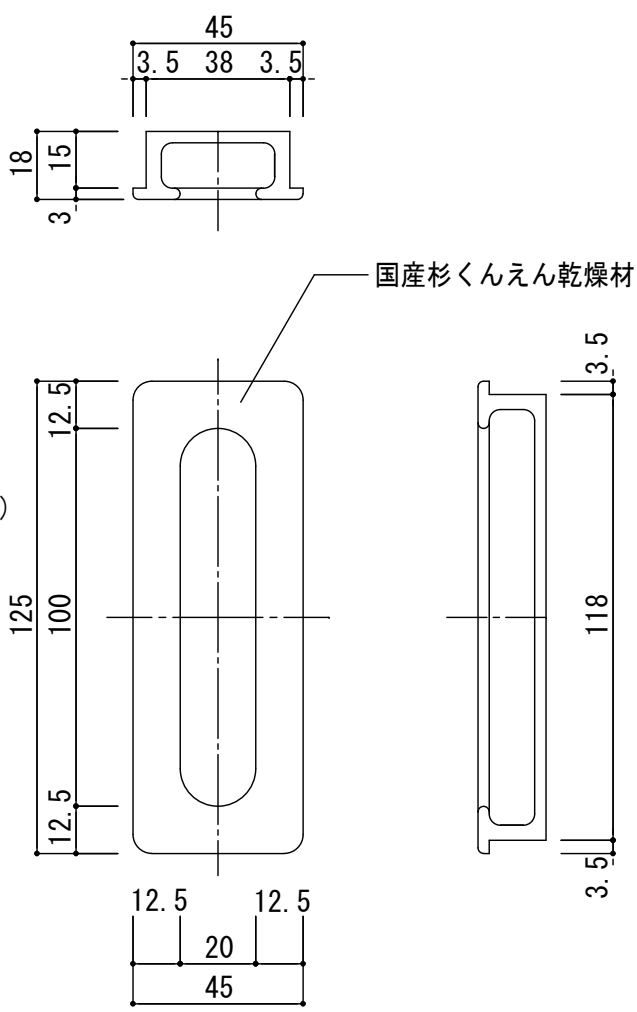


Bタイプ

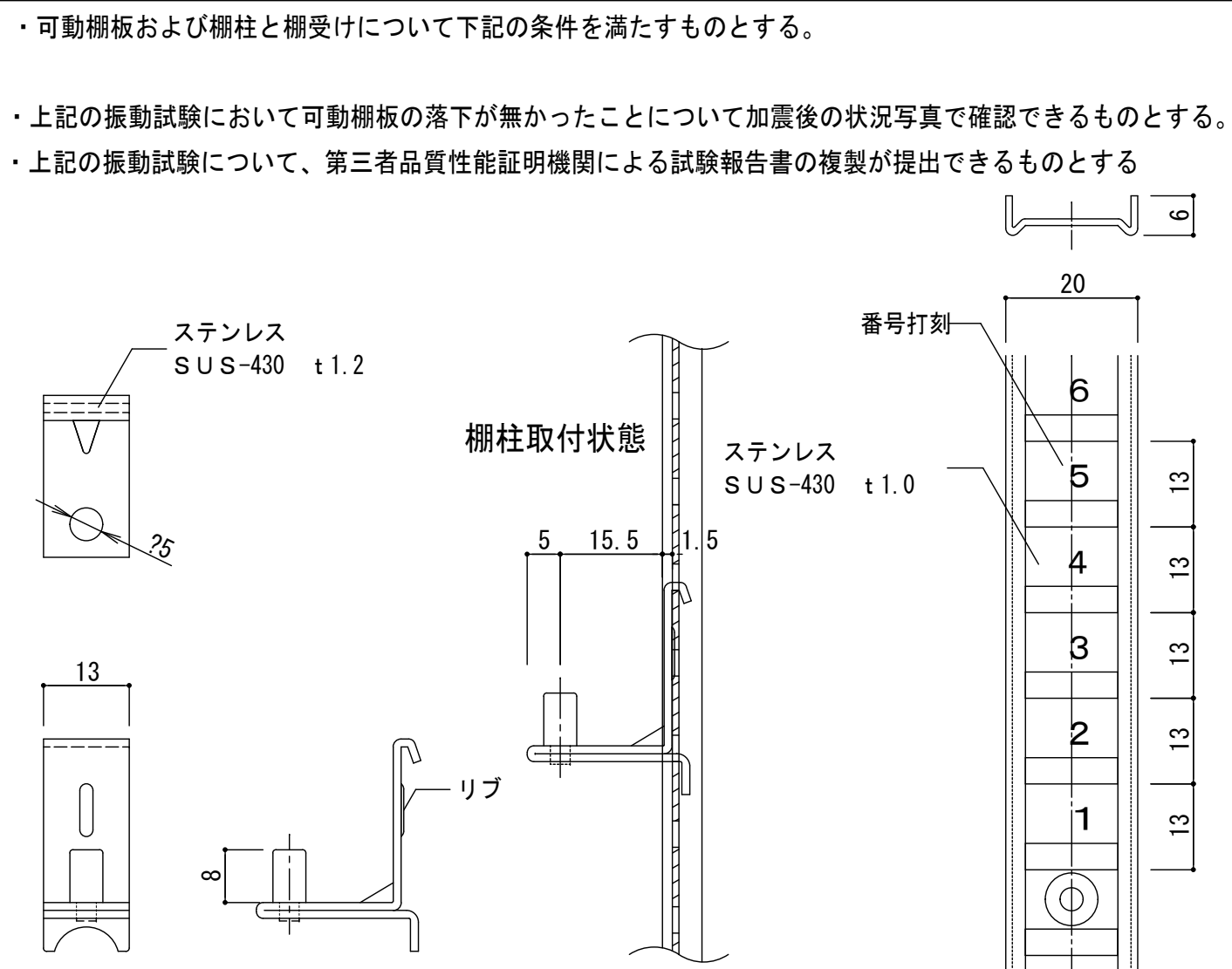
Cタイプ



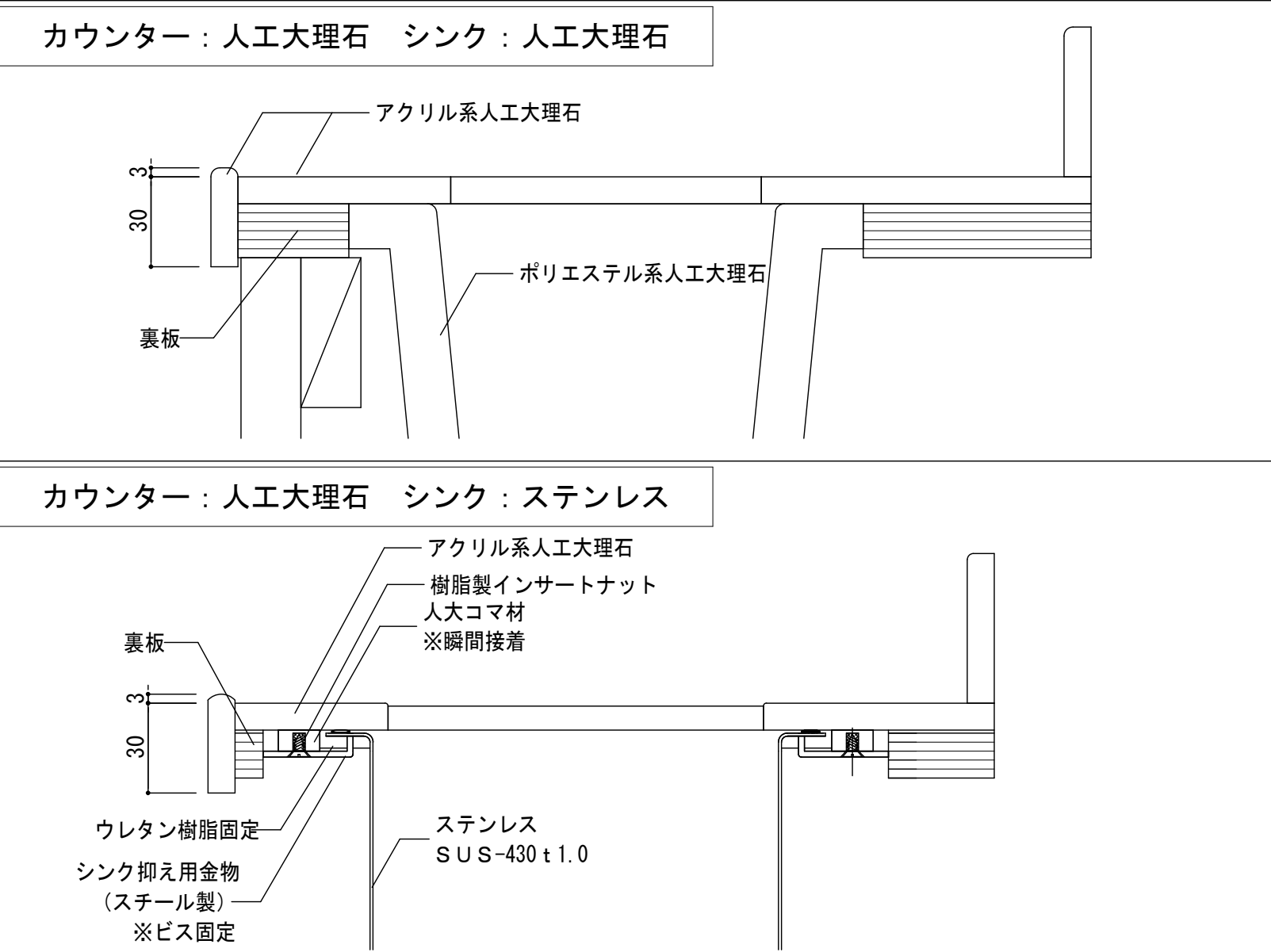
掘り込み引手



ステンレス製耐震棚受・棚柱



水まわり カウンター仕様・形状



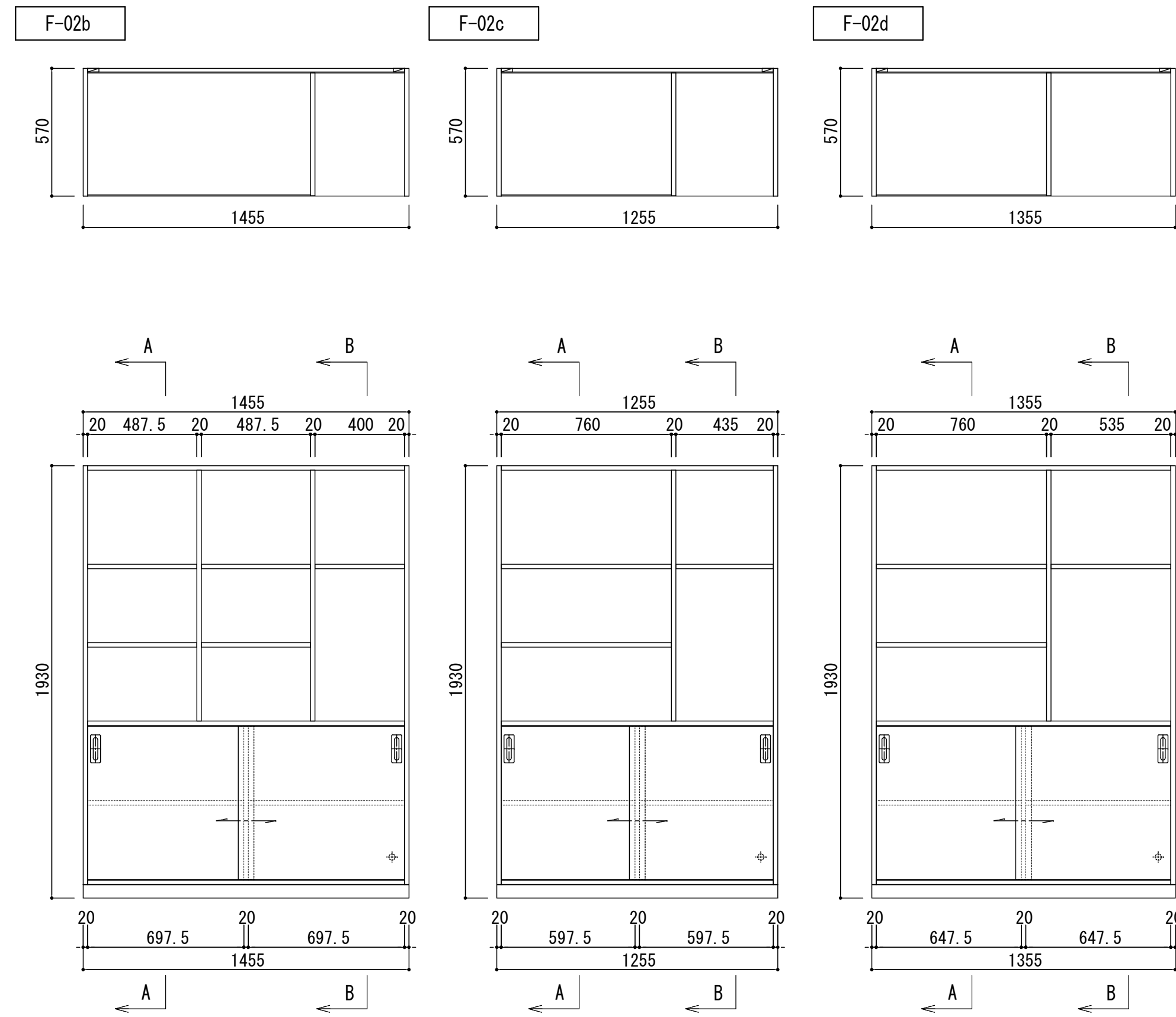

株式会社 松下設計 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	松園	担当	松園

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】

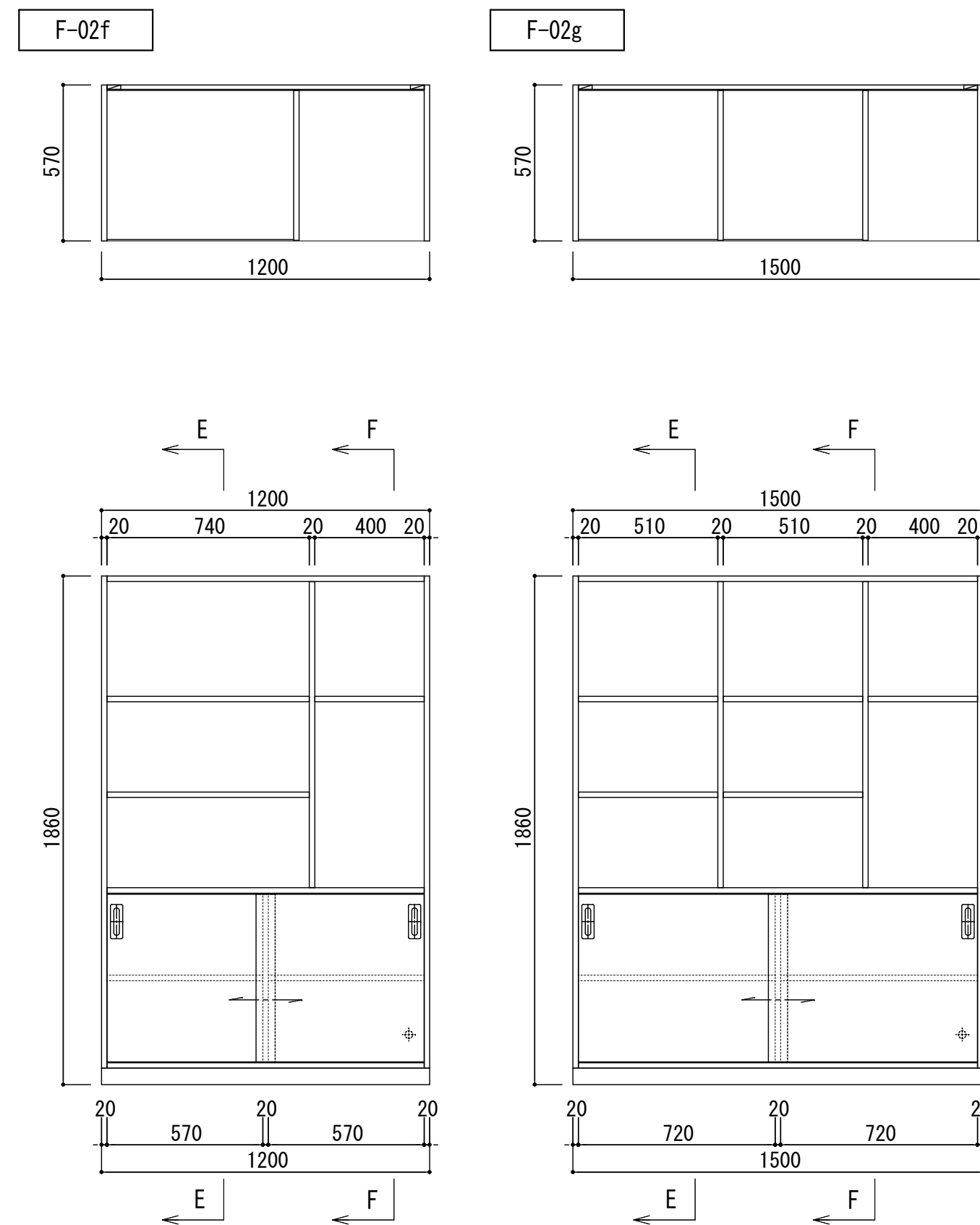
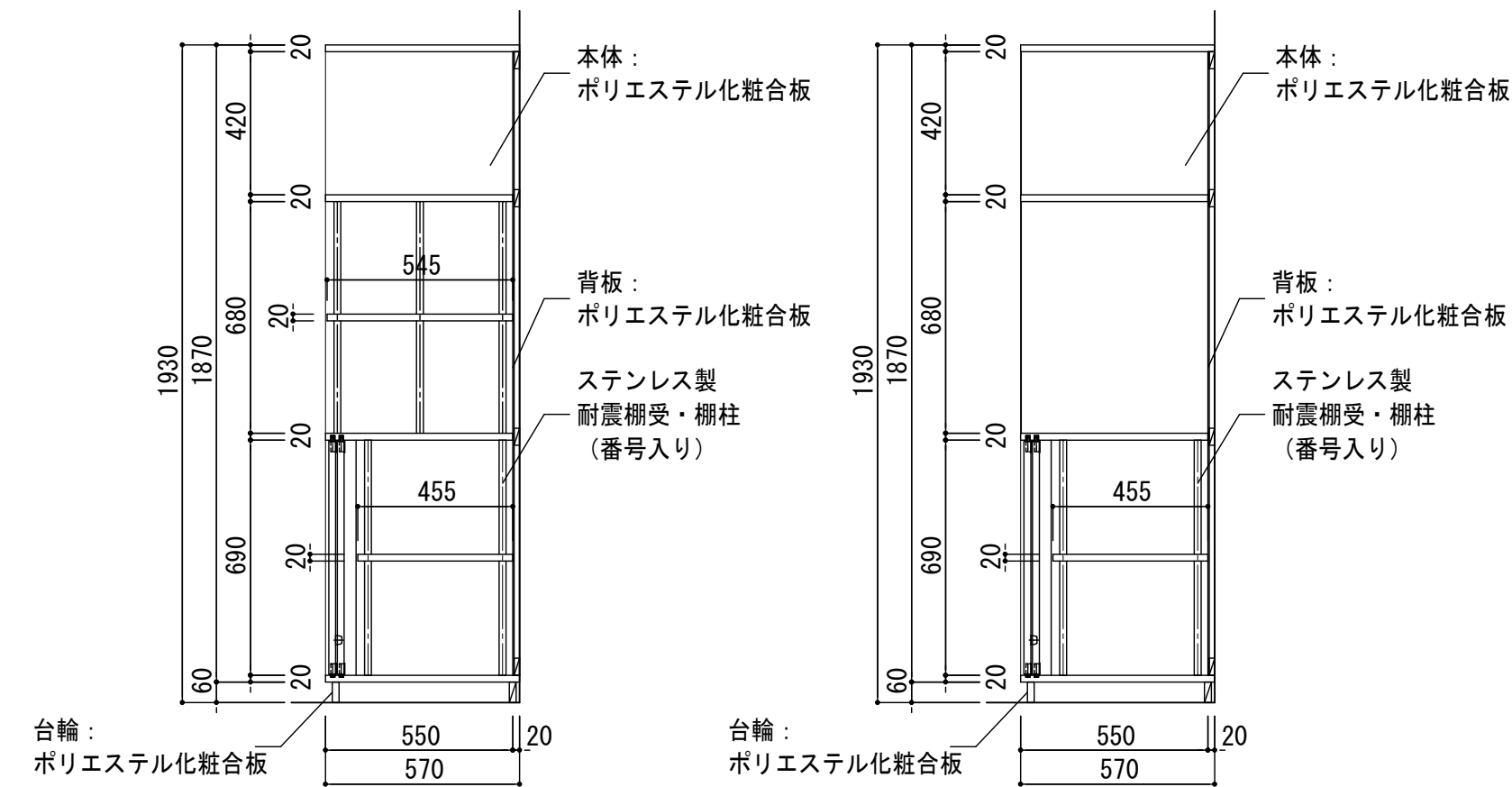
設計図

図面名	特記仕様書・家具図(1)	図面種別	A
縮尺	S=1:20(A3版 50%縮小)	図面番号	75



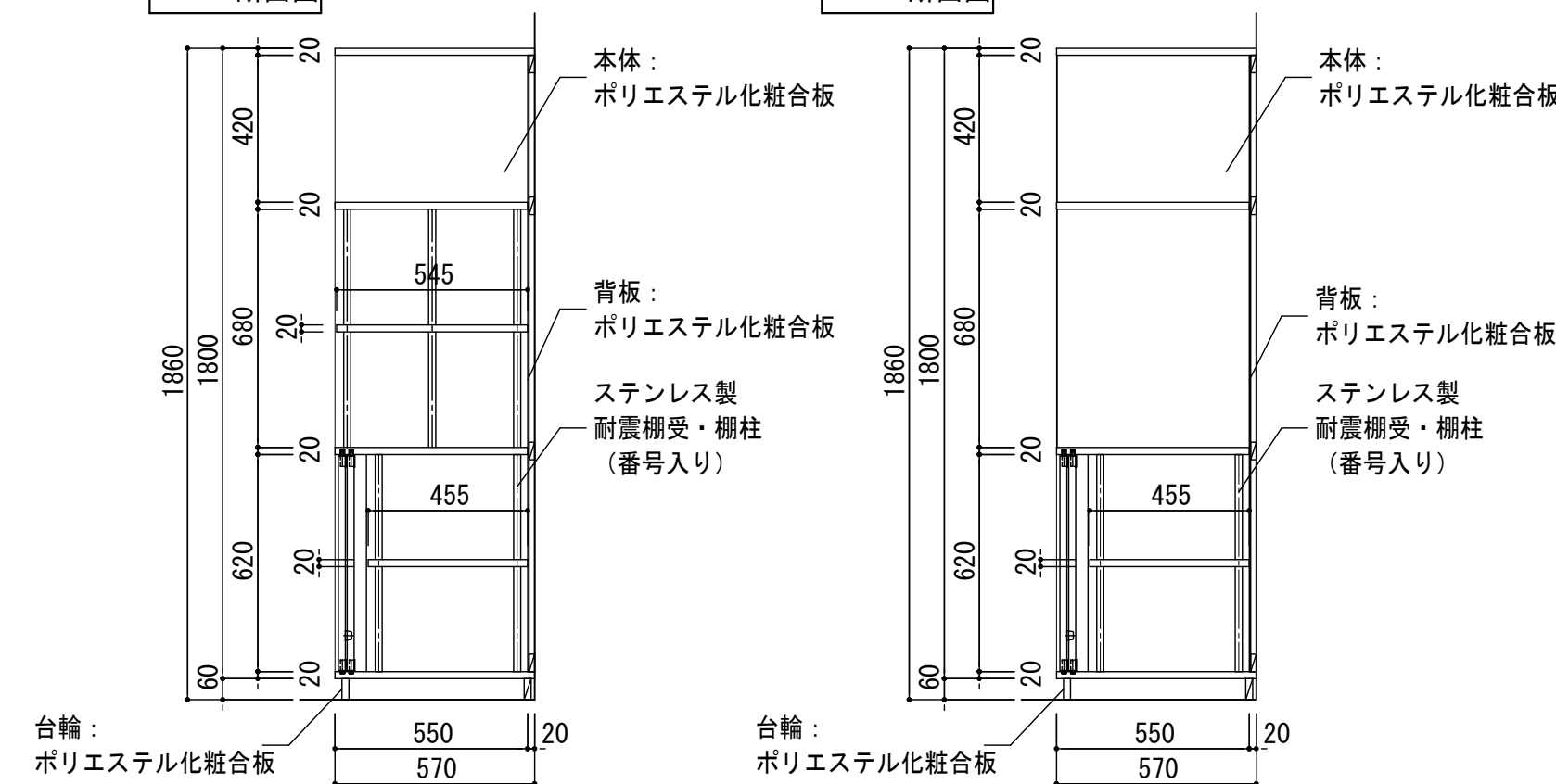
A-A断面図

B-B断面図



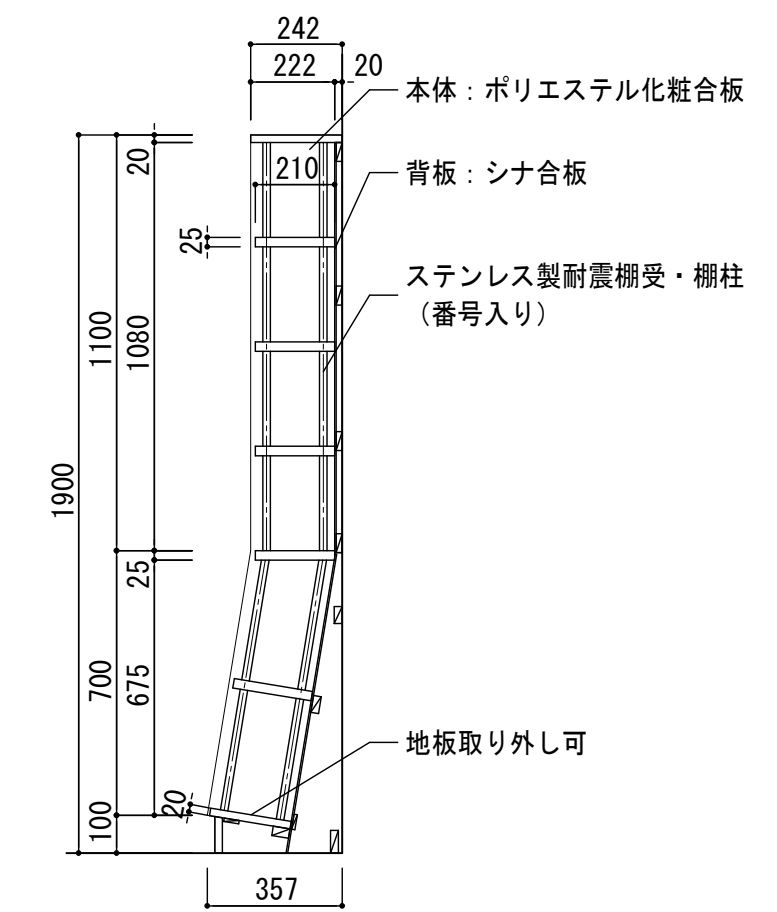
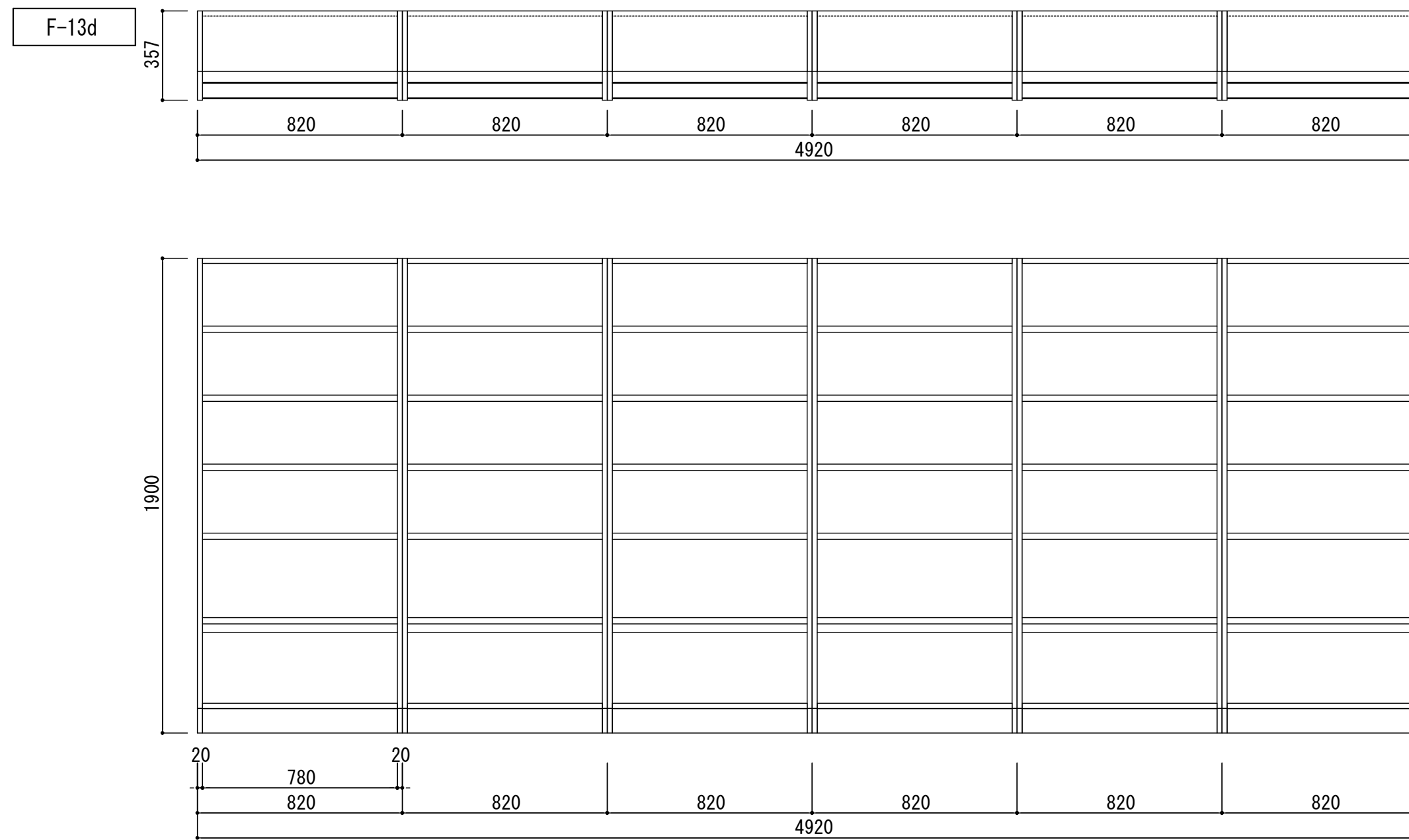
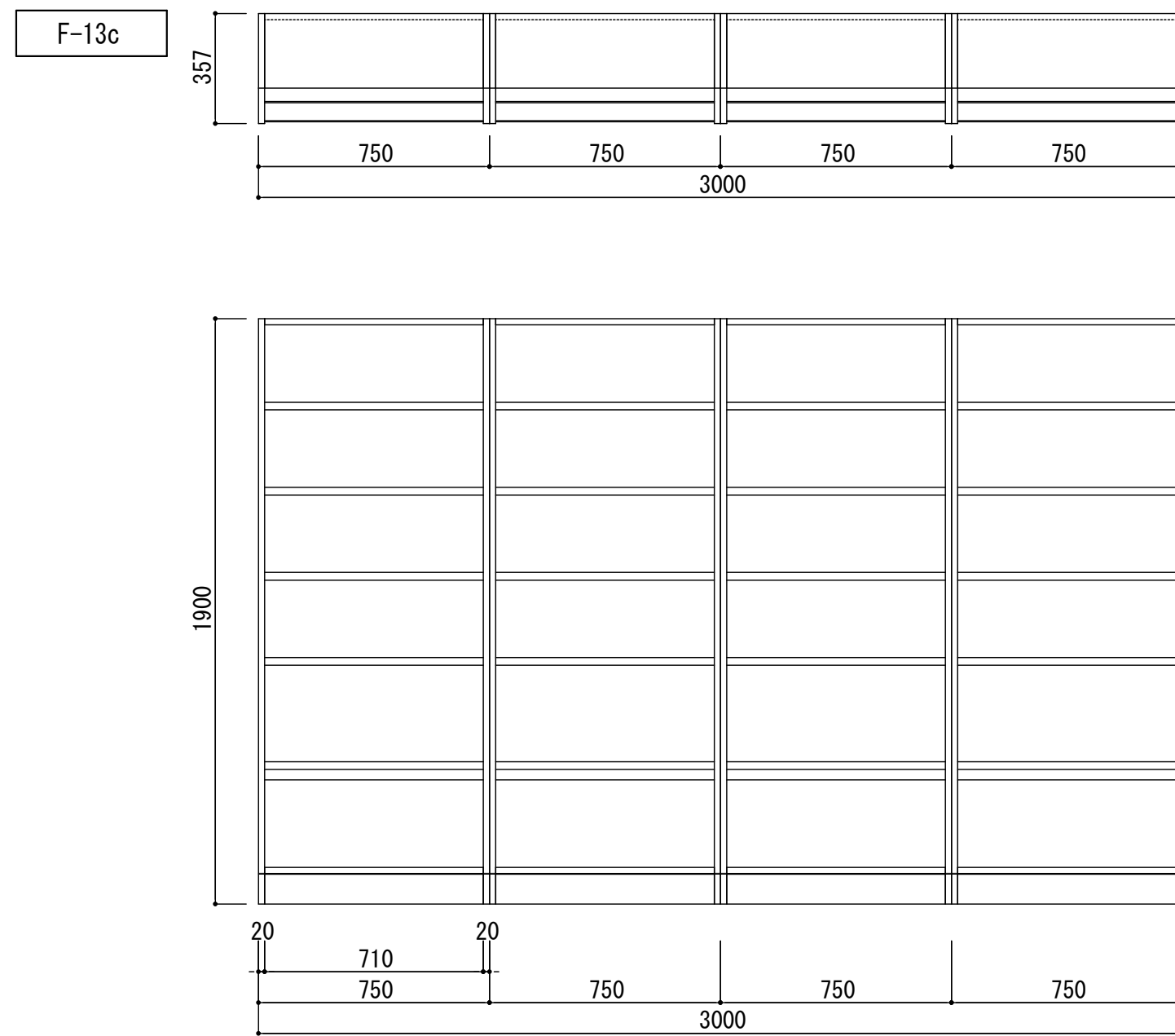
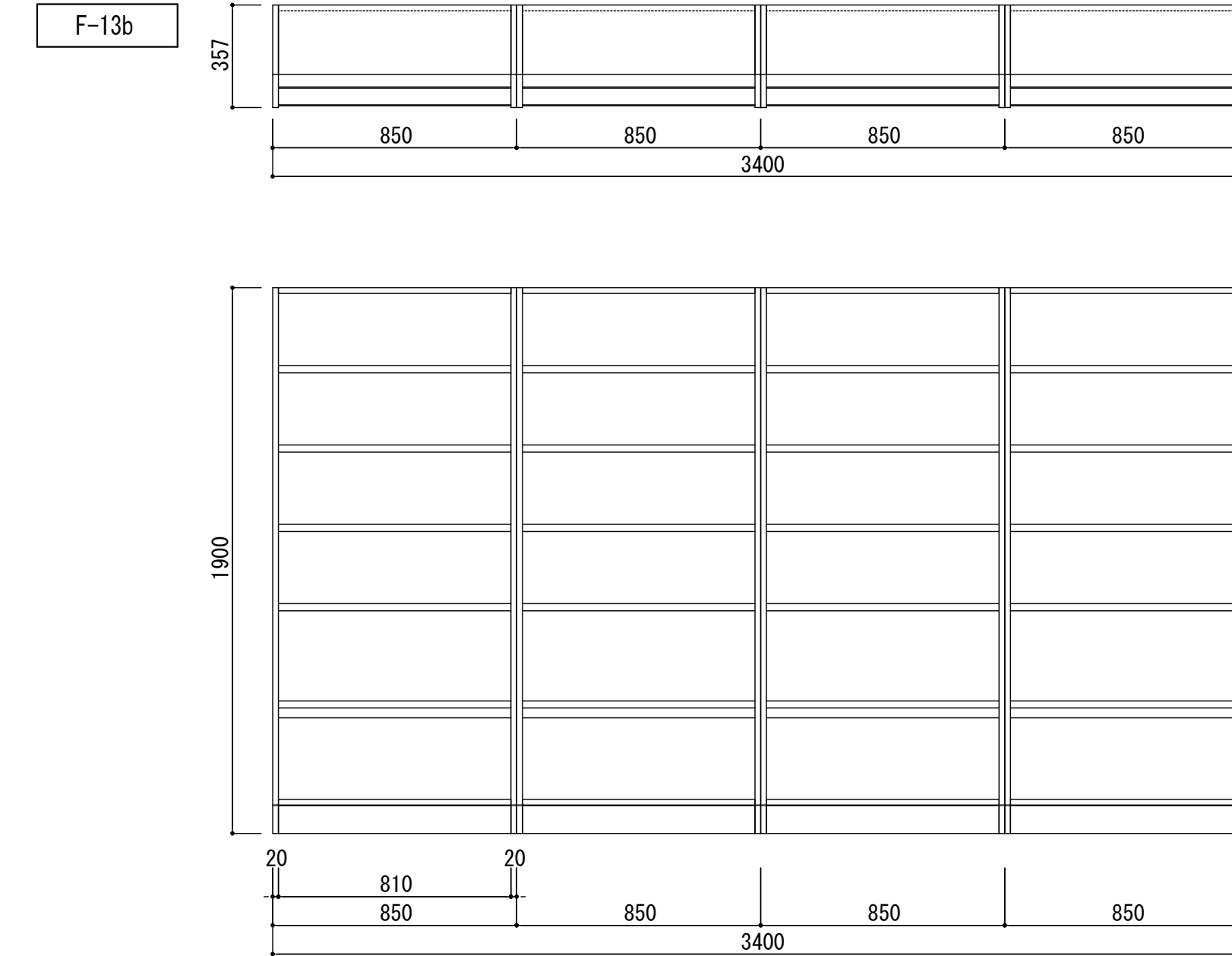
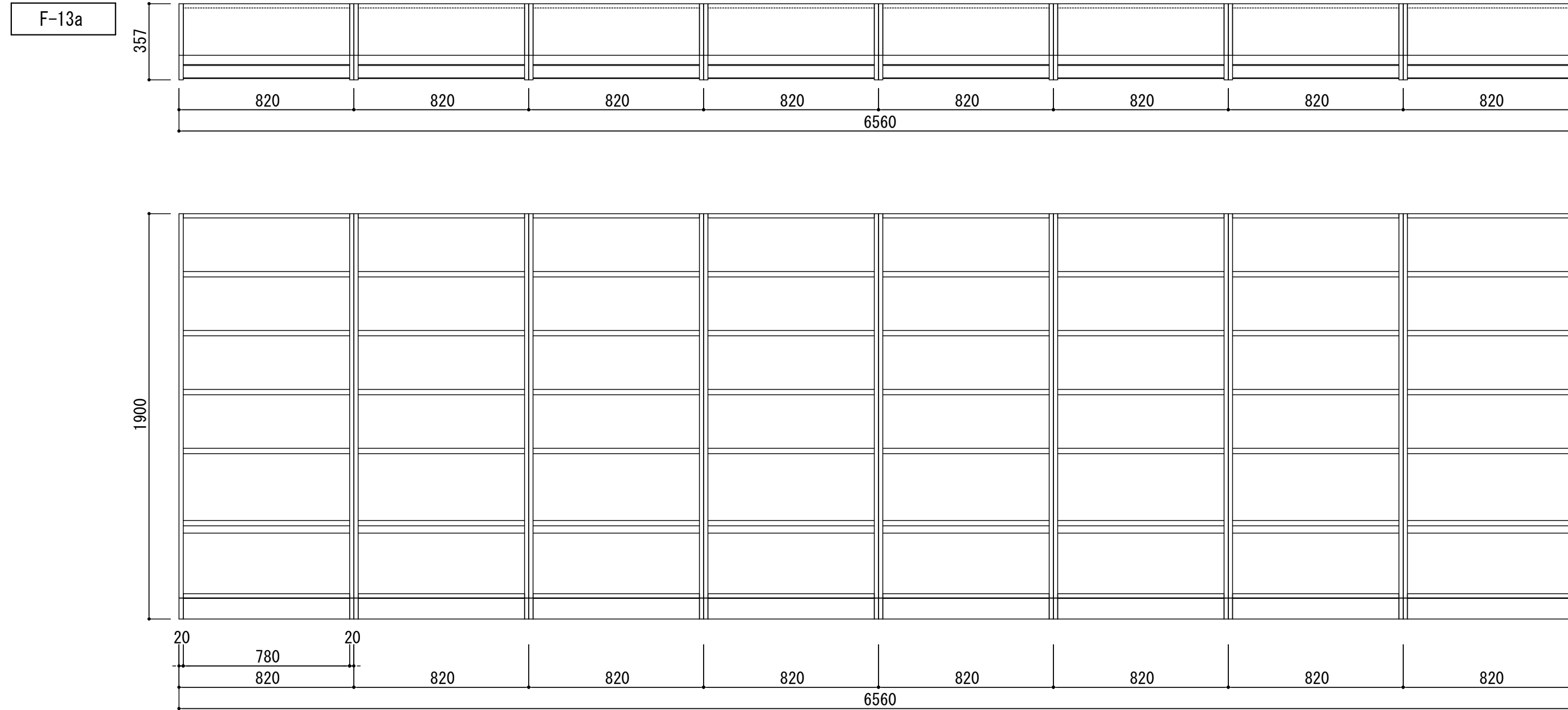
E-E断面図

F-F断面図

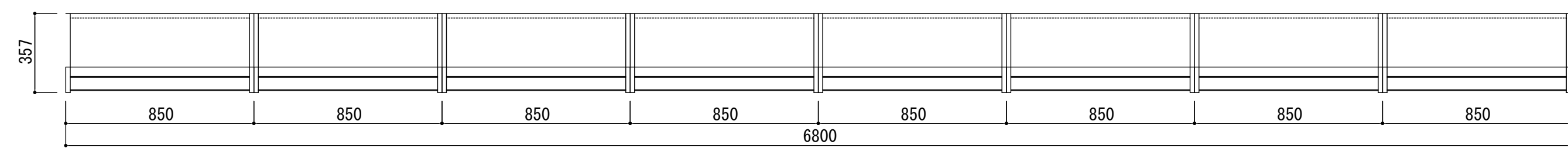


家具番号	室名	カ所数
F-02b	中央棟 1階	第2教育相談室 1
		にじいろルーム 1
		にじいろ学級1 1
		にじいろ学級2 1
F-02c	中央棟 3階	児童会室 1
		外国語ルーム 1
F-02d	中央棟 2階	ビア活動室 1
		外国語活動ルーム 1
		第2図書室 1
F-02f	中央棟 2階	理科室 1
	中央棟 3階	家庭科室 1
F-02g	中央棟 3階	学習室 1
合計		12

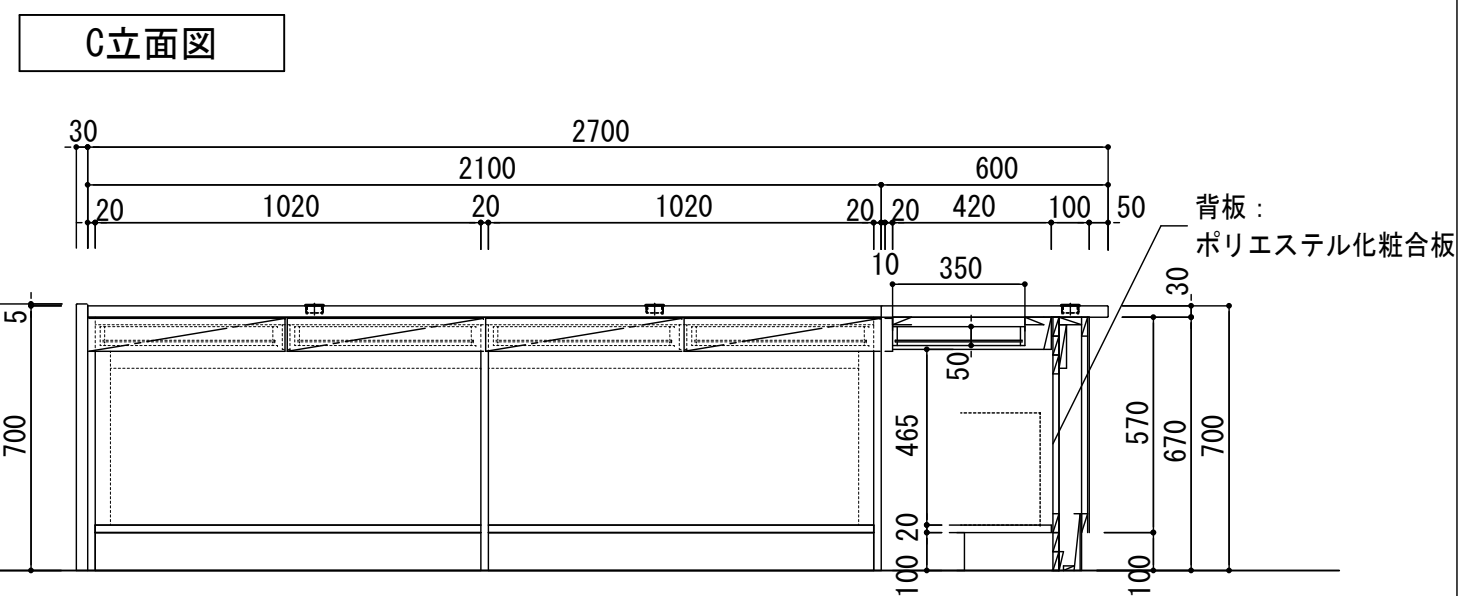
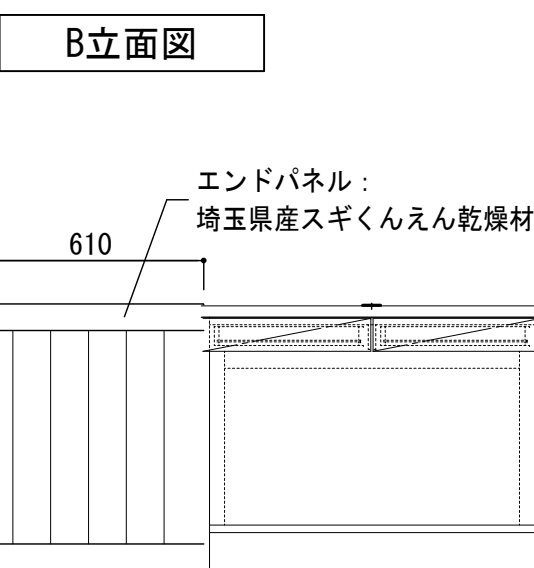
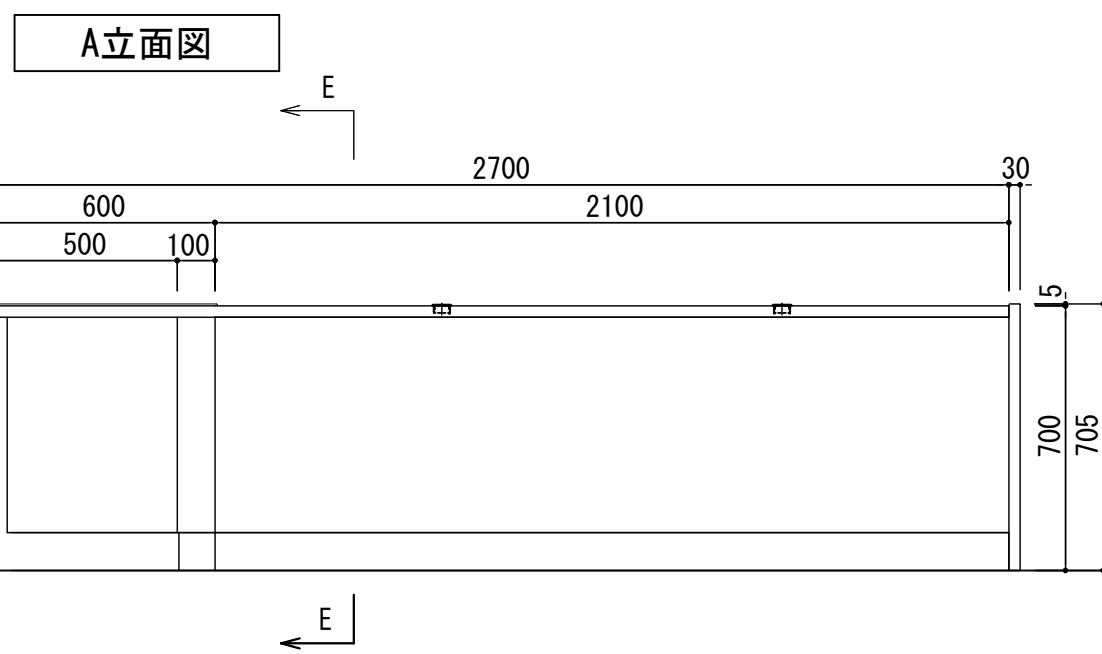
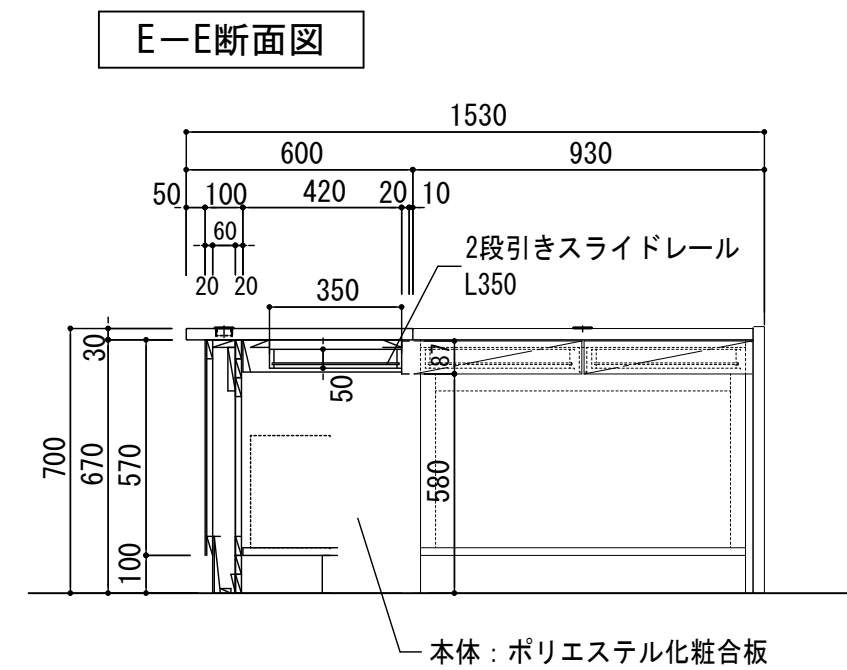
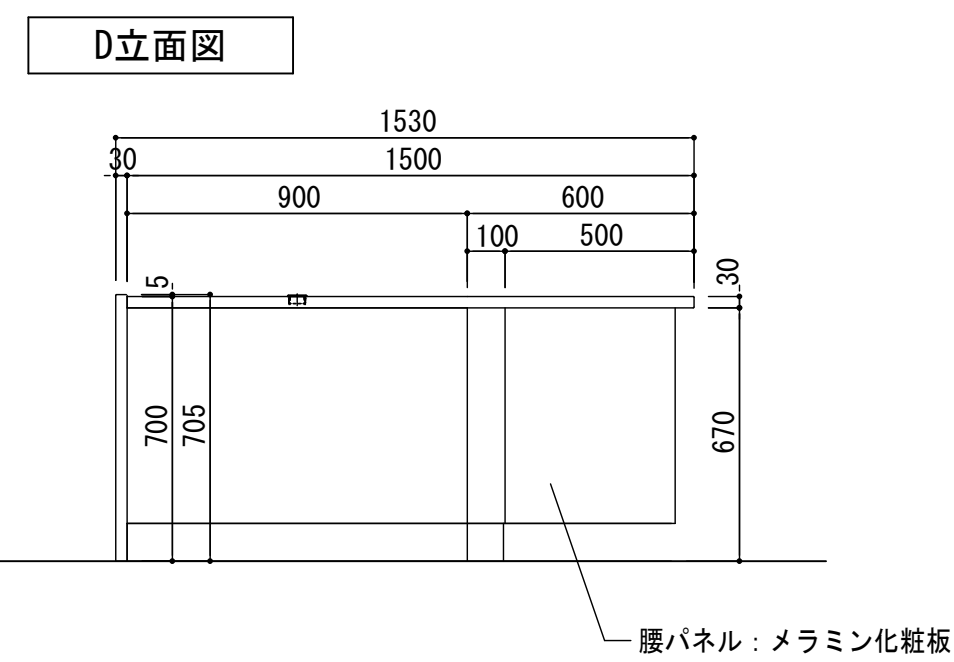
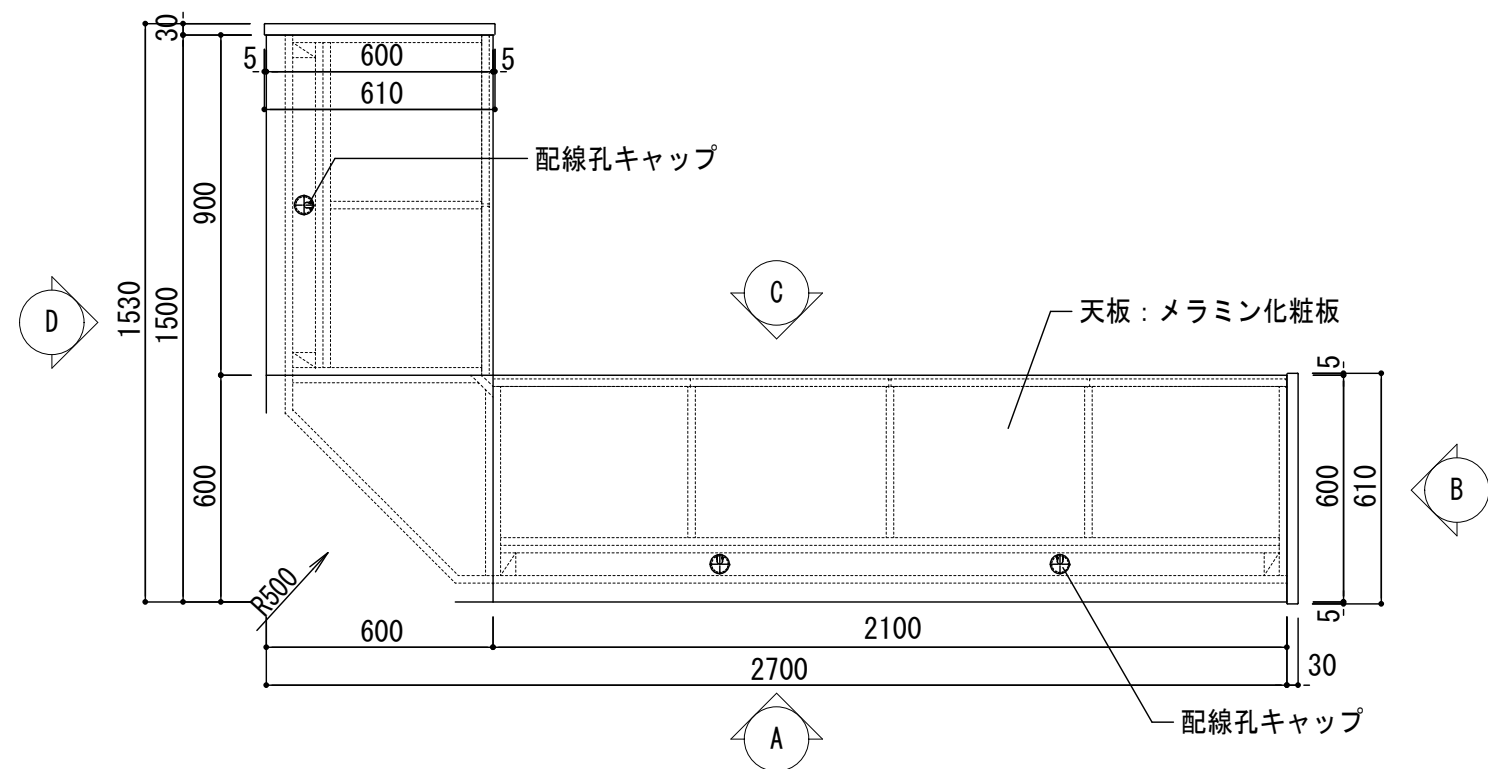
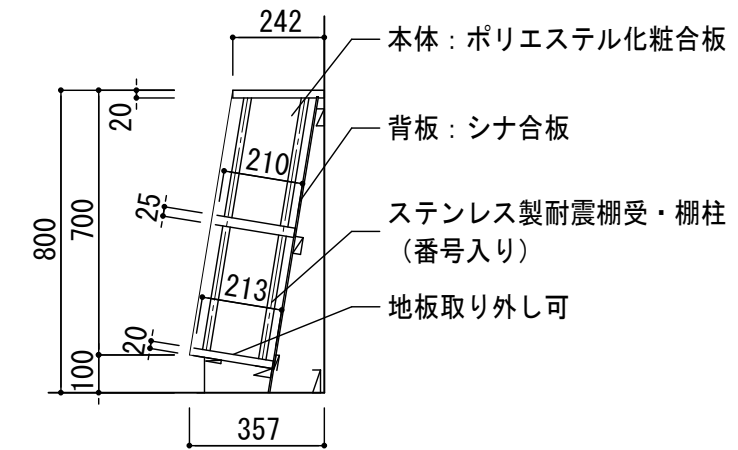
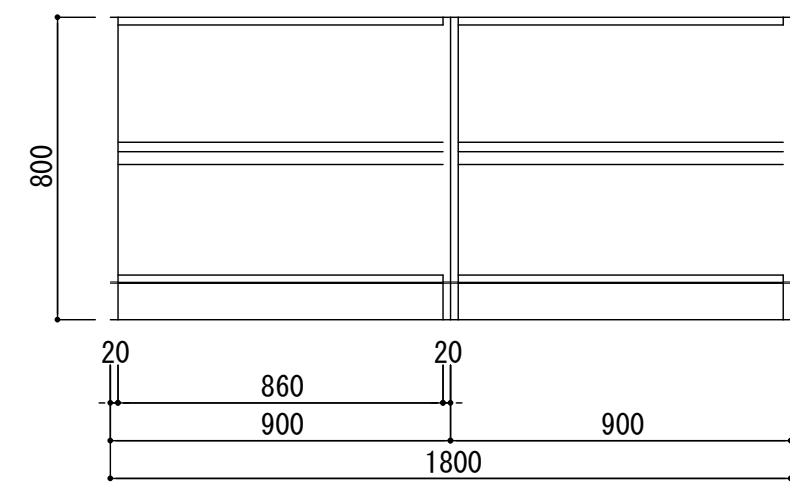
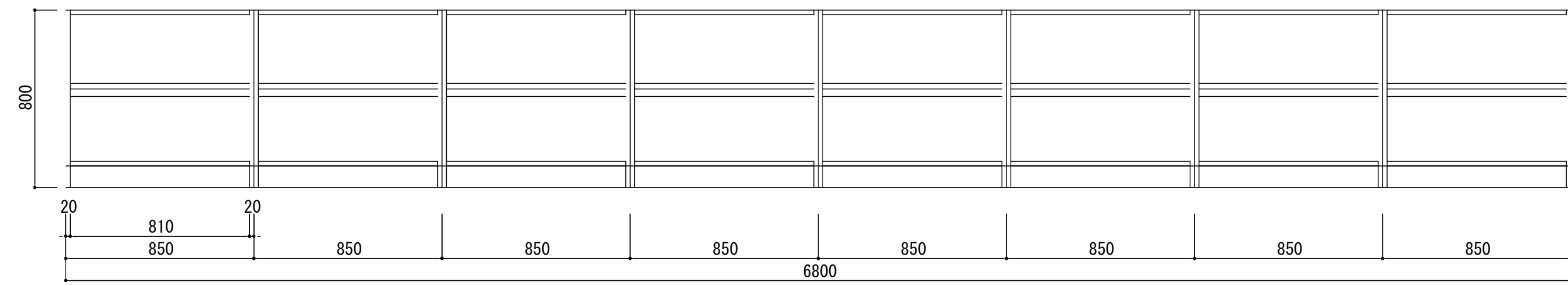
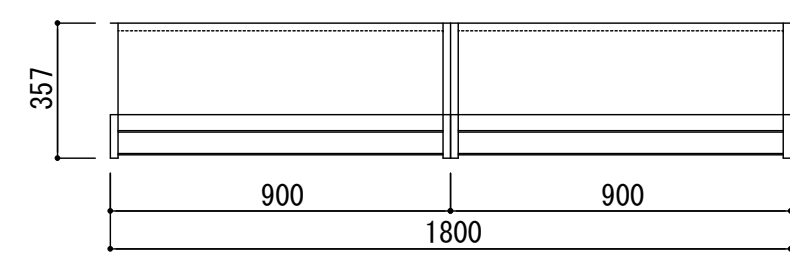
共通事項：背板コンセント用開口2カ所（位置は電気設備と調整を行う事）



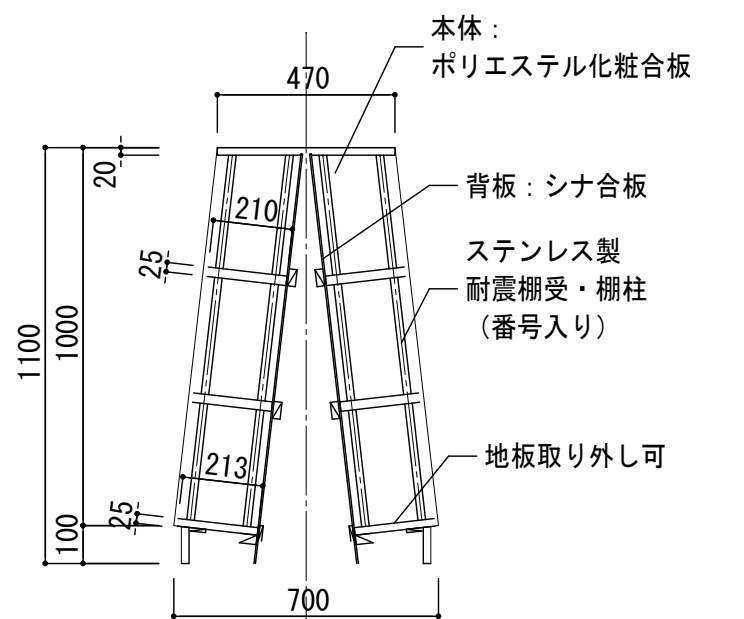
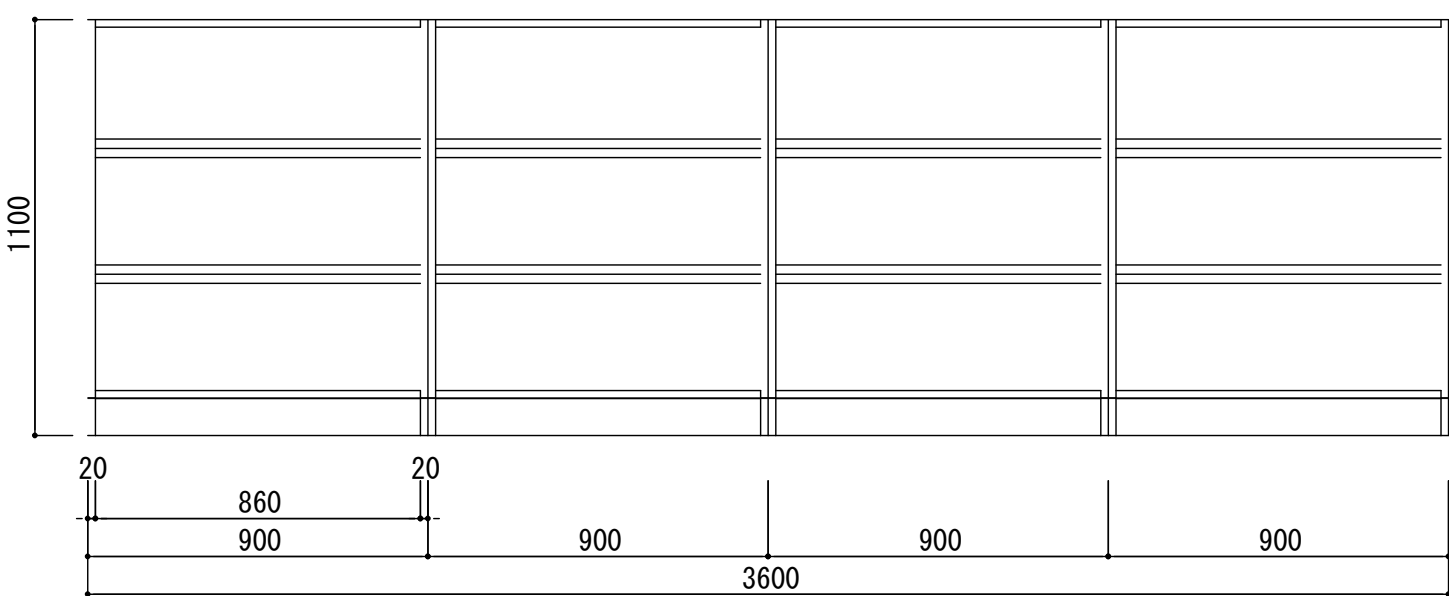
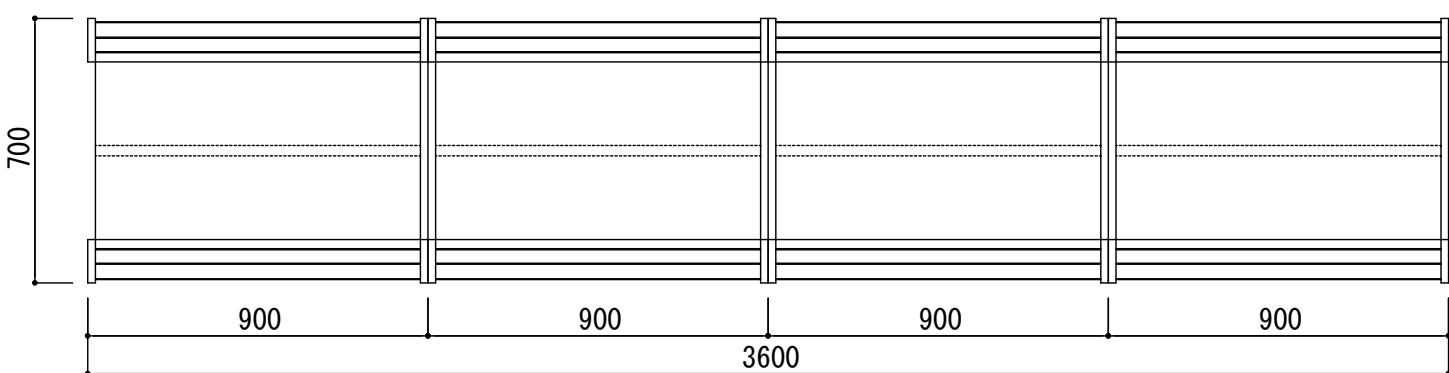
F-14a



F-14b



特記事項: 固定は別途工事

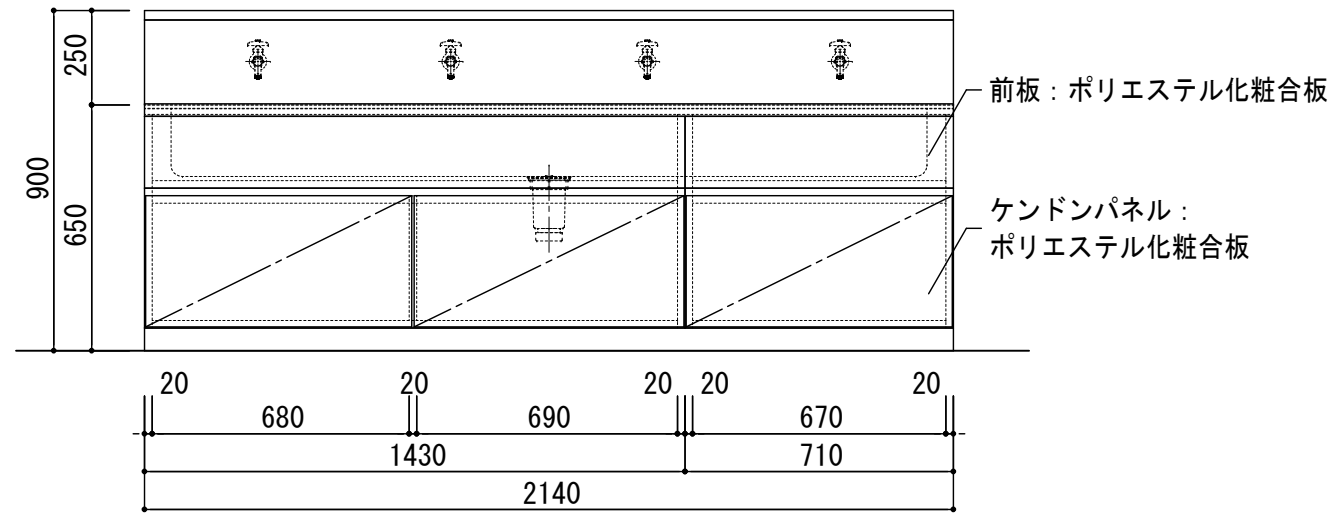
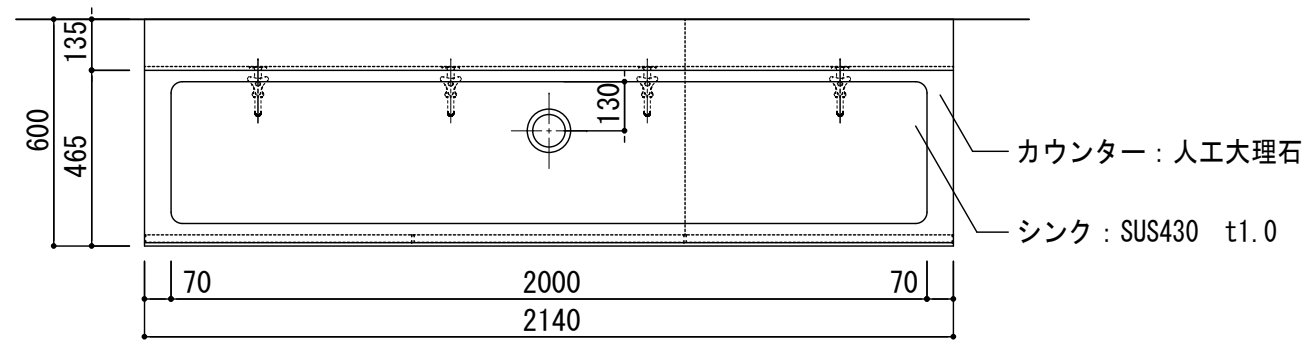


特記事項: 固定は別途工事

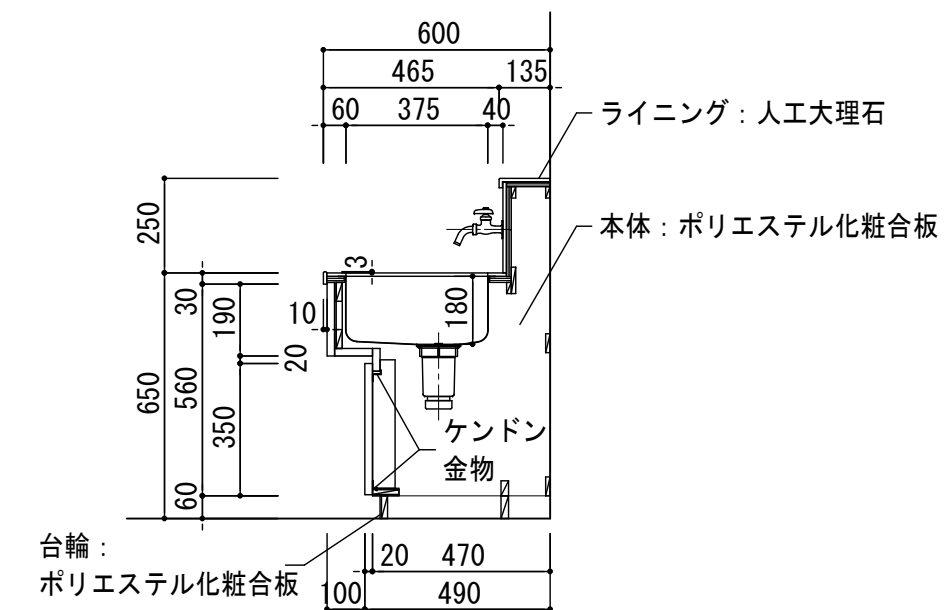
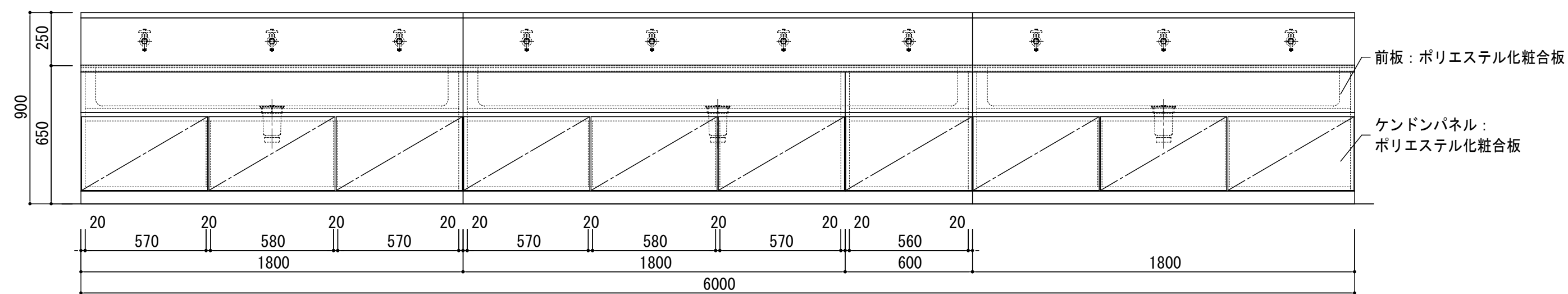
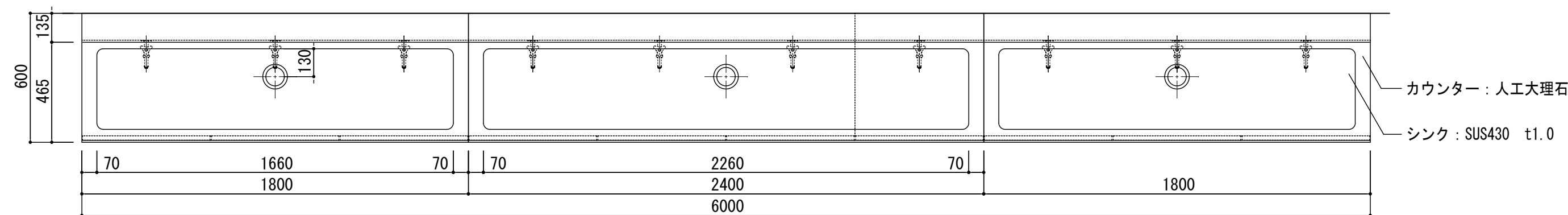
家具番号	室名		カ所数
F-17b	中央棟 1階	廊下	1
	中央棟 2階	廊下	1
	中央棟 3階	廊下	1
F-17f	中央棟 1階	教室前廊下	1
	中央棟 2階	教室前廊下	1
	中央棟 3階	教室前廊下	1
合計			6

水栓金具・排水トラップ・シール及び接続配管等は家具工事外

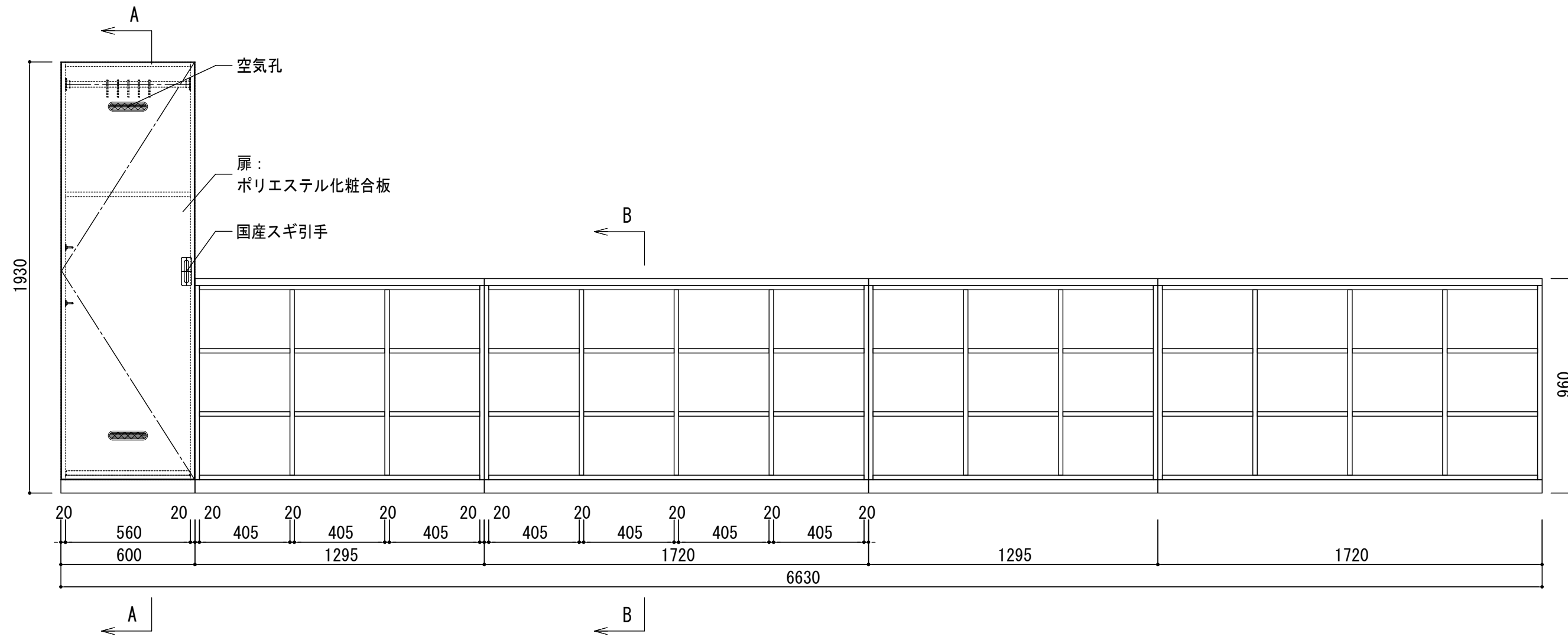
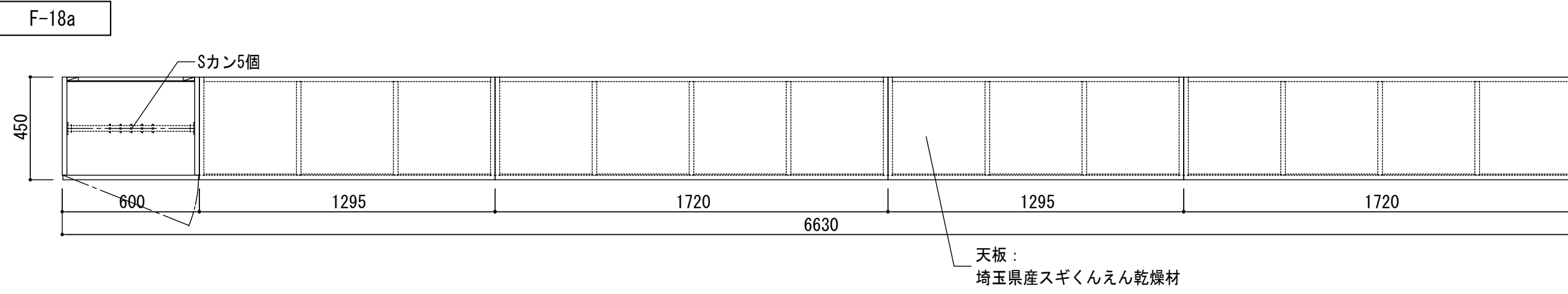
F-17b



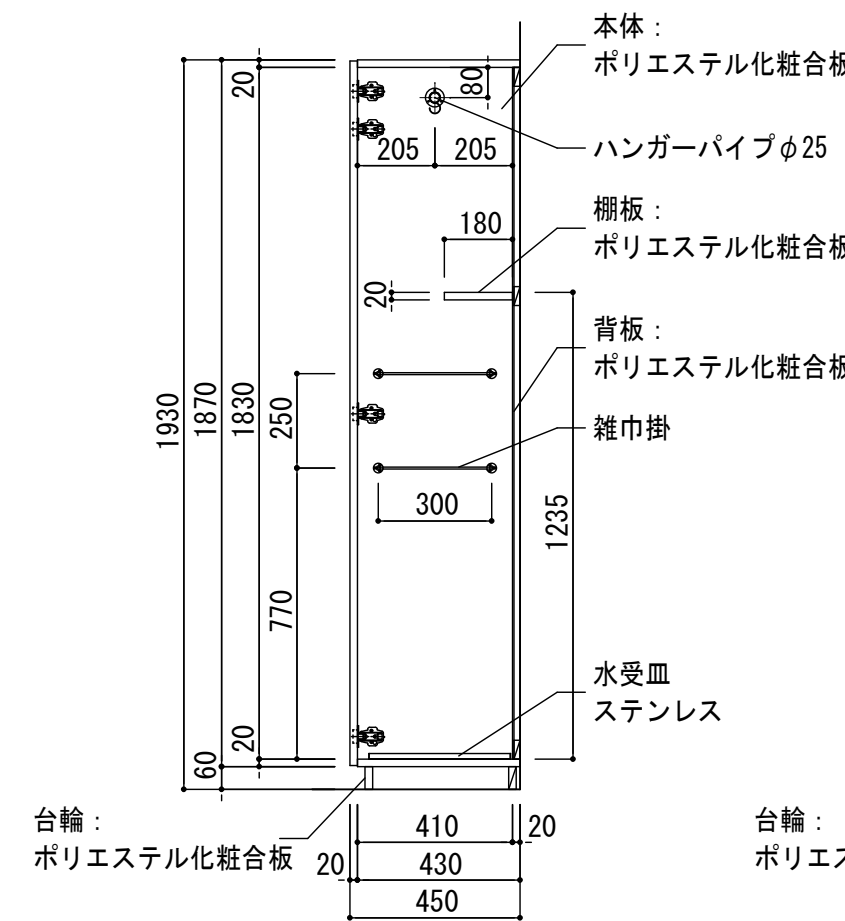
F-17f



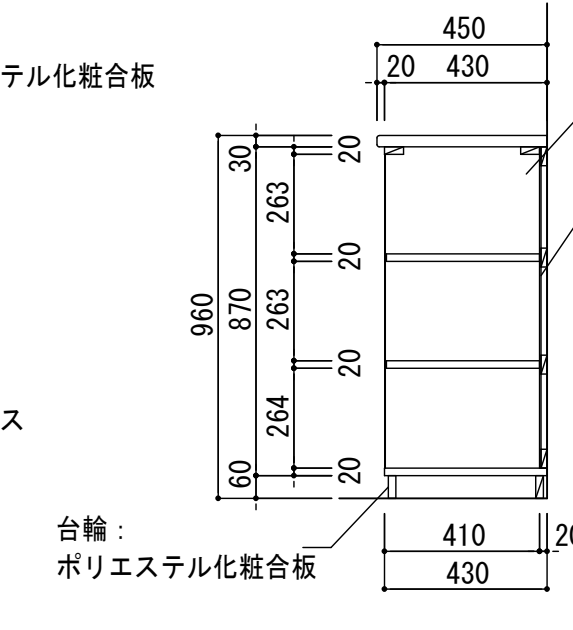
家具番号	室名	カ所数
F-18a	中央棟 1階	
	第2教育相談室	1
	にじいろルーム	1
	にじいろ学級1	1
F-18b	中央棟 2階	
	にじいろ学級2	1
	ピア活動室	1
F-18c	中央棟 3階	
	外国語活動ルーム	1
合計		9



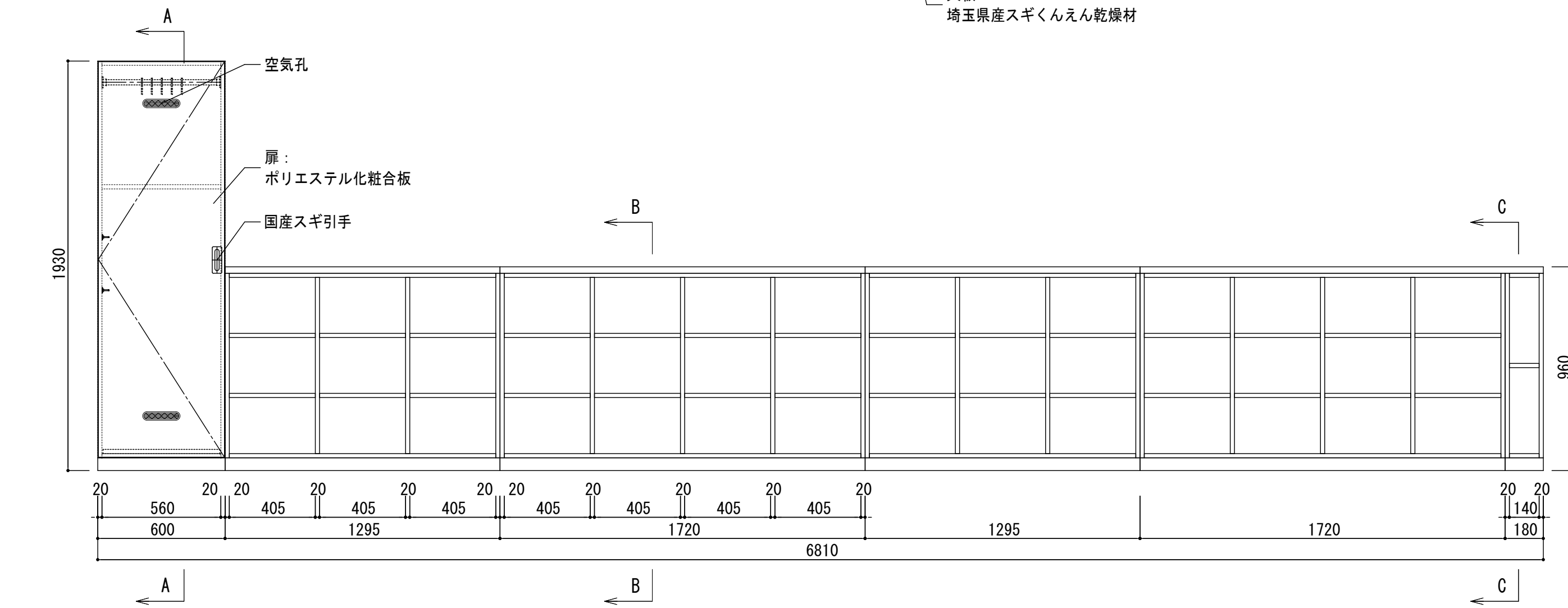
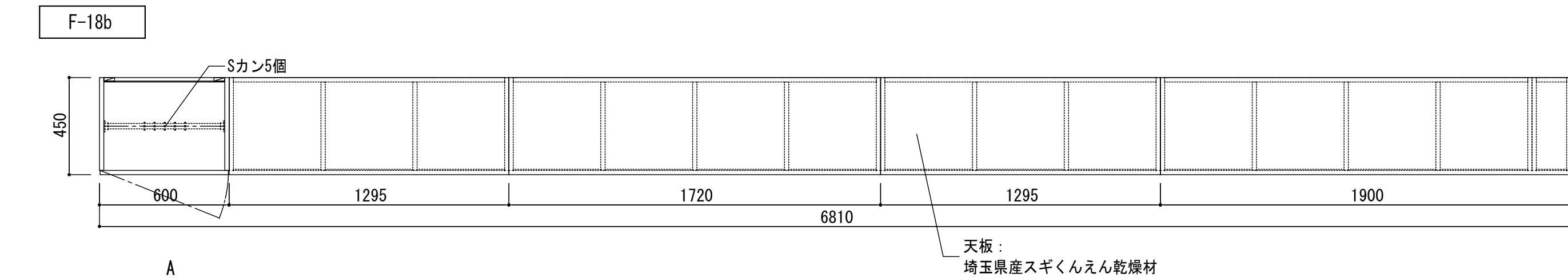
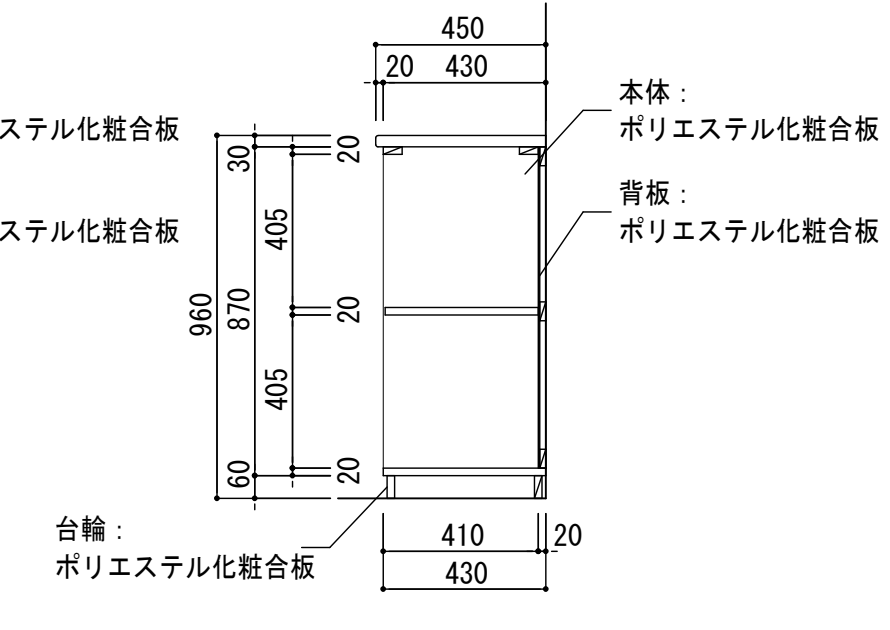
A-A断面図



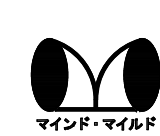
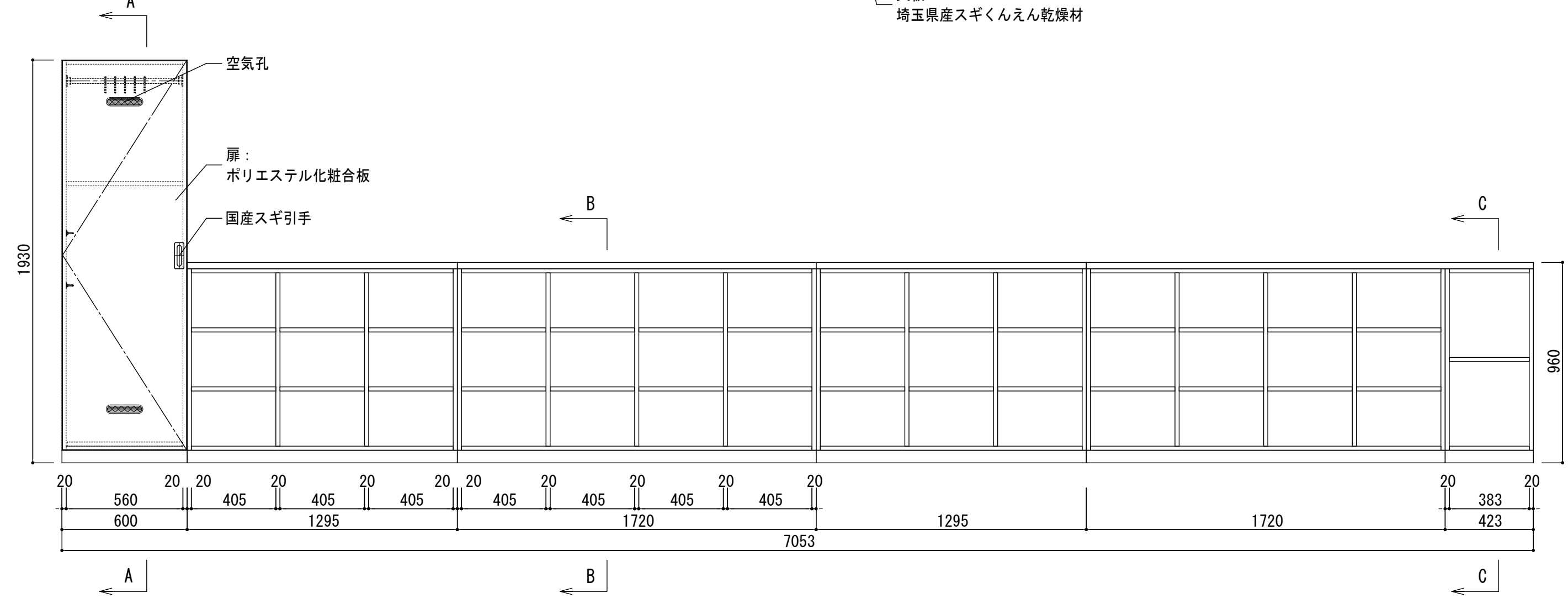
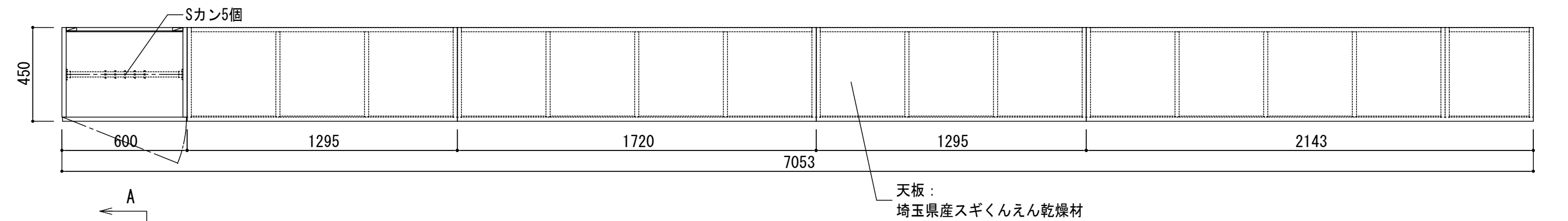
B-B断面図



C-C断面図



F-18c



株式会社 松下設計 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号 17-137 日付: 2018年3月  
 設計部長 榎園 担当 製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】

設計図

図面名

家具図(6)

縮尺

S=1:20(A3版 50%縮小)

図面種別

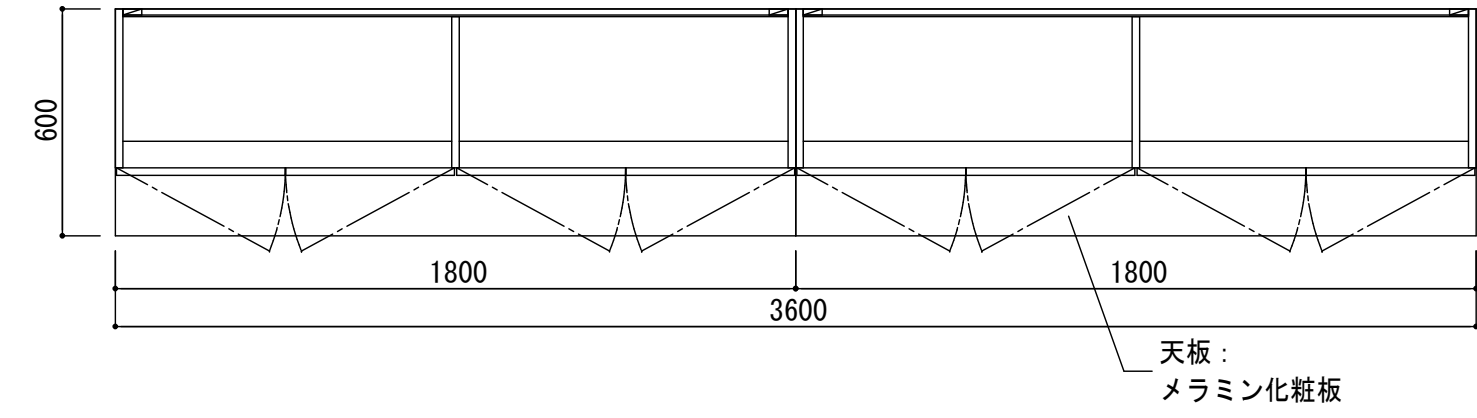
A

図面番号

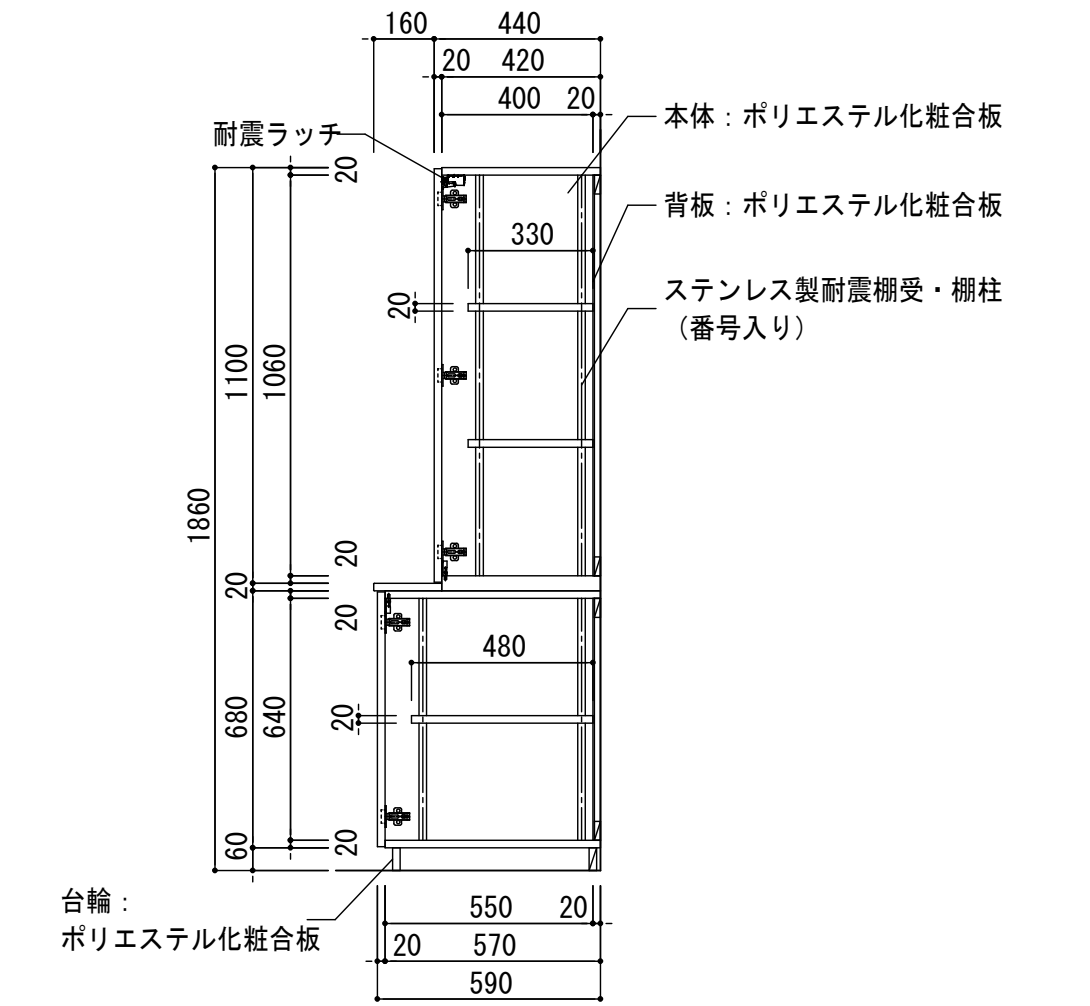
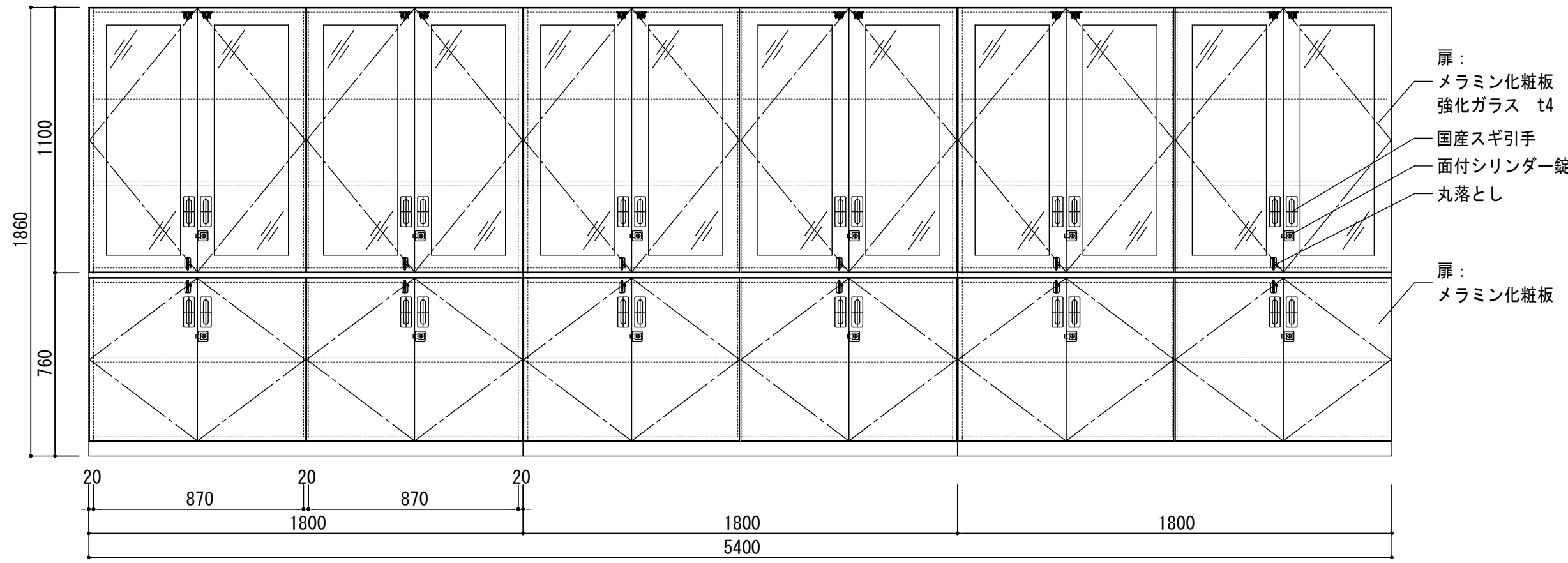
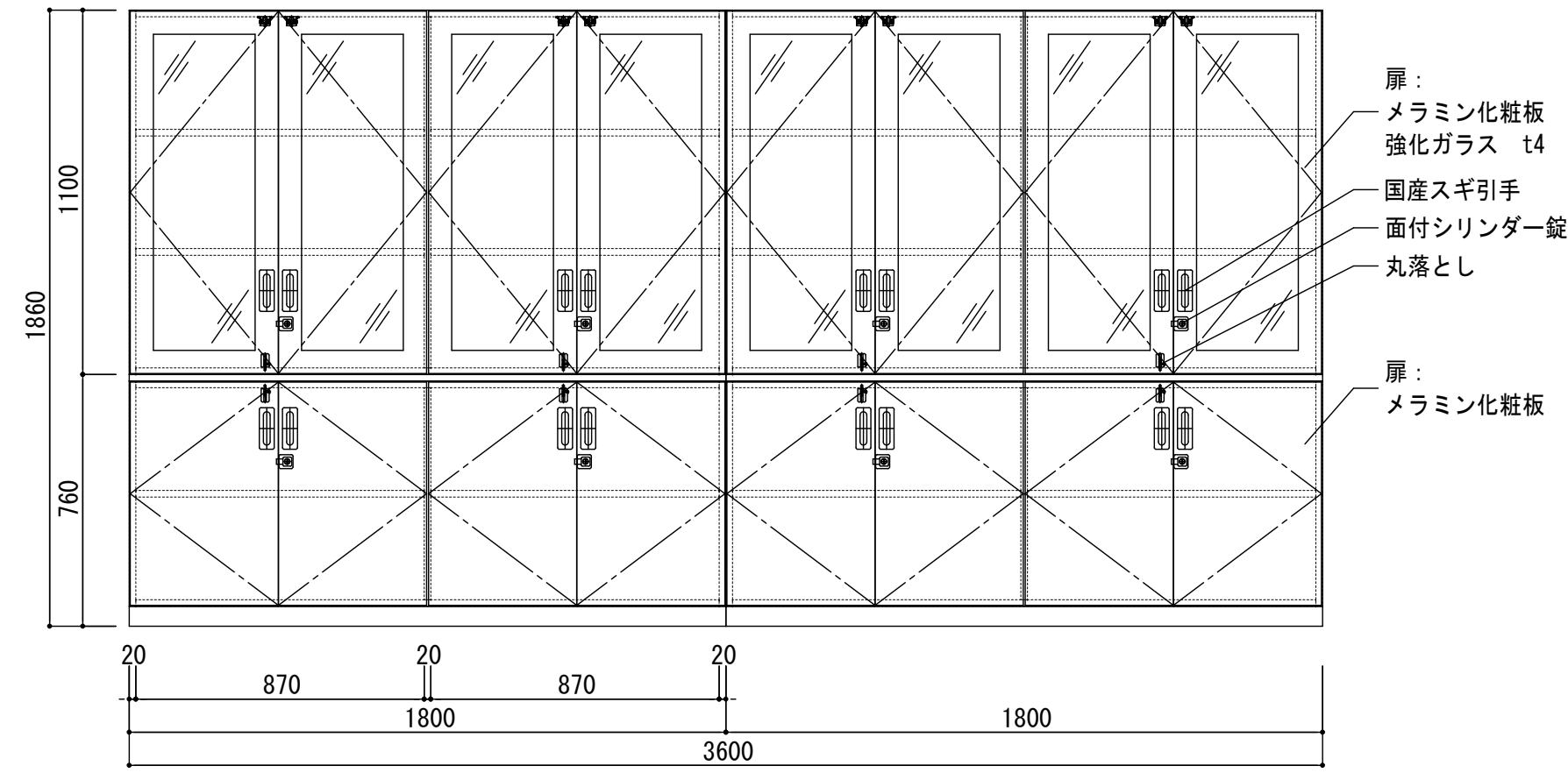
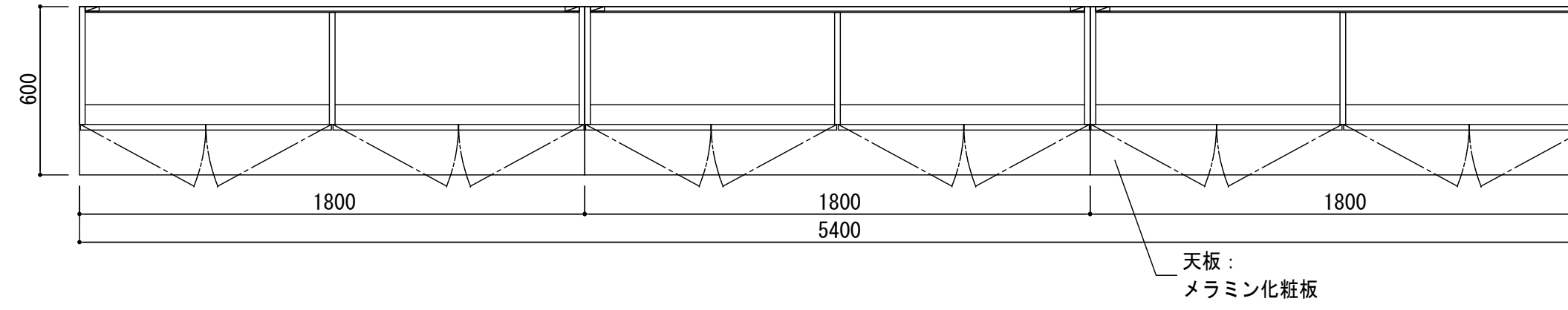
80



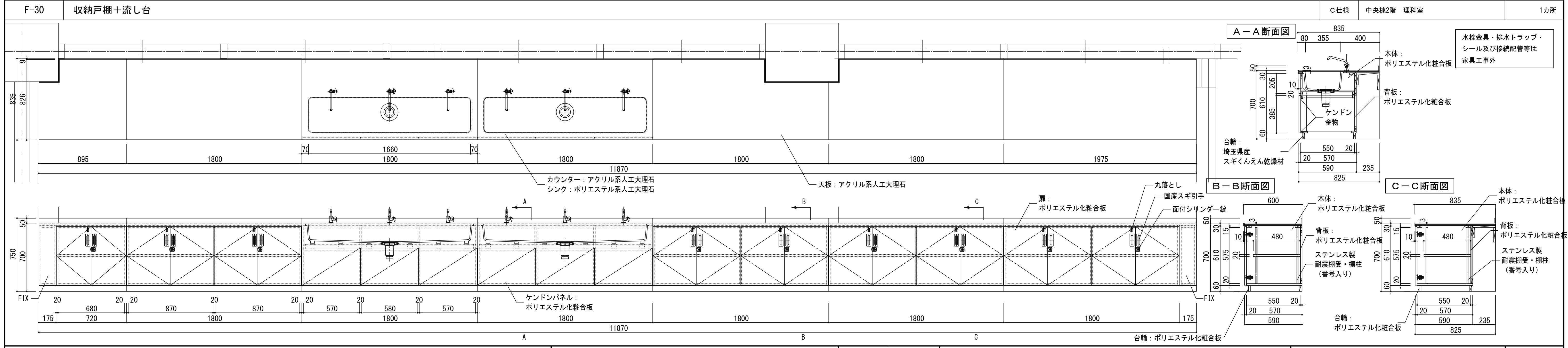
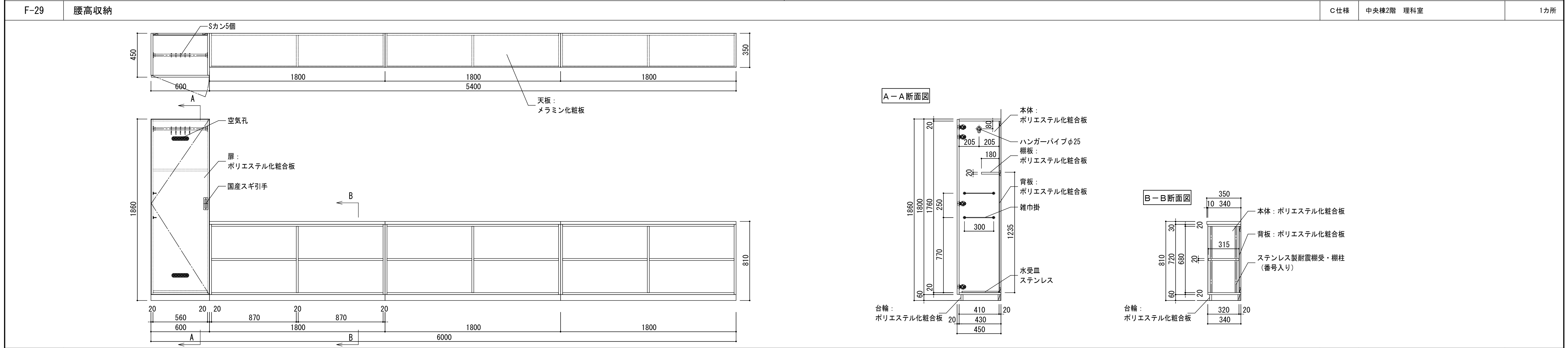
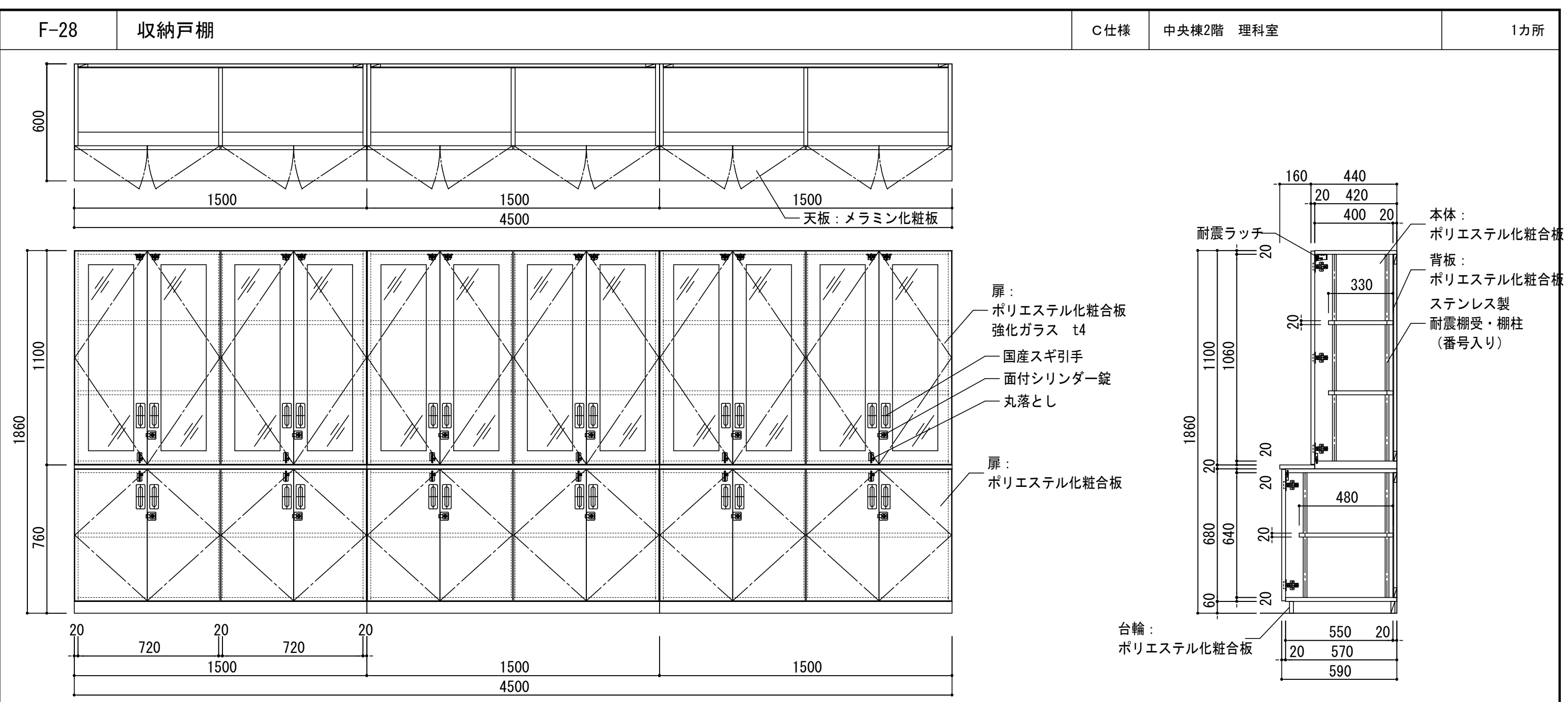
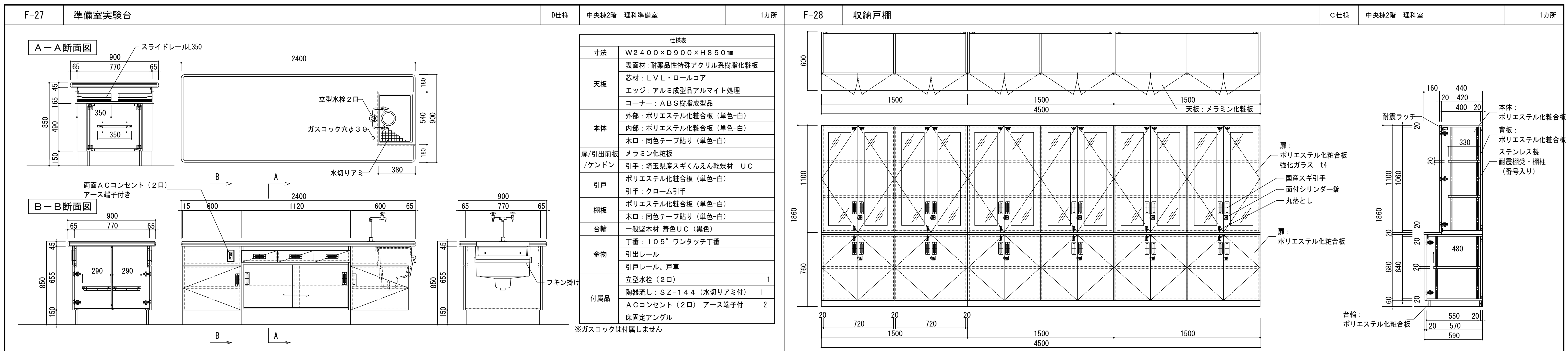
F-26a

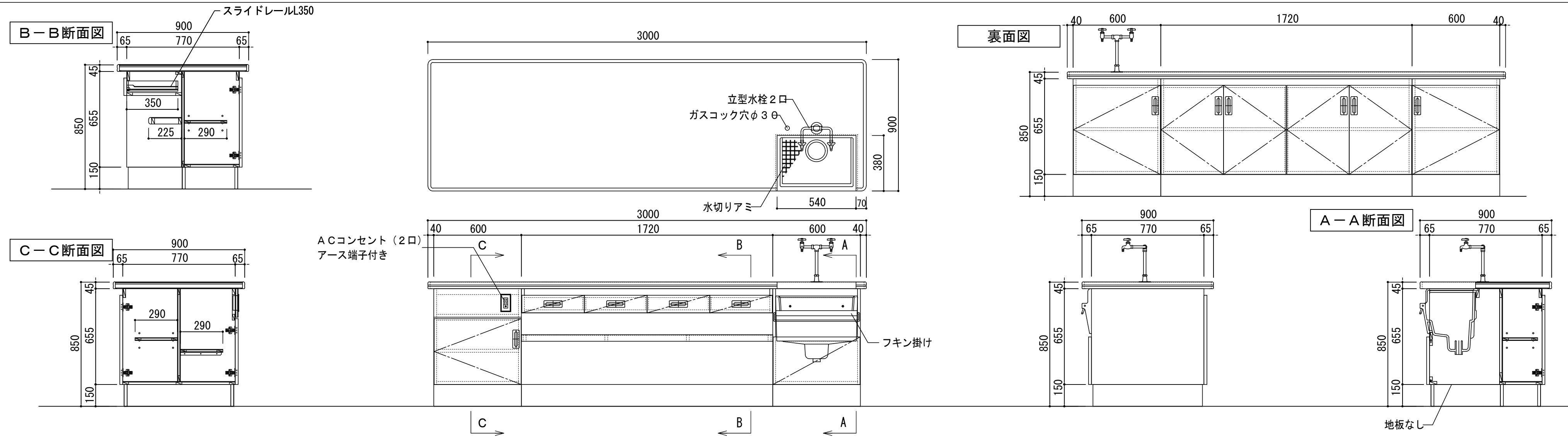


F-26b



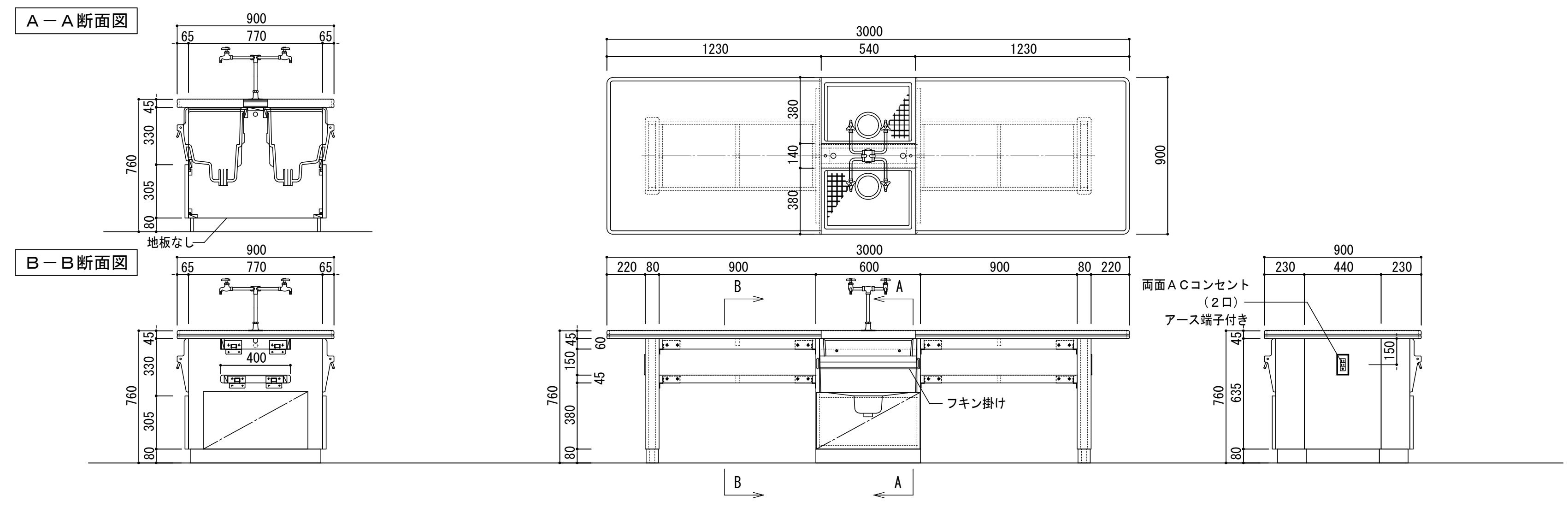






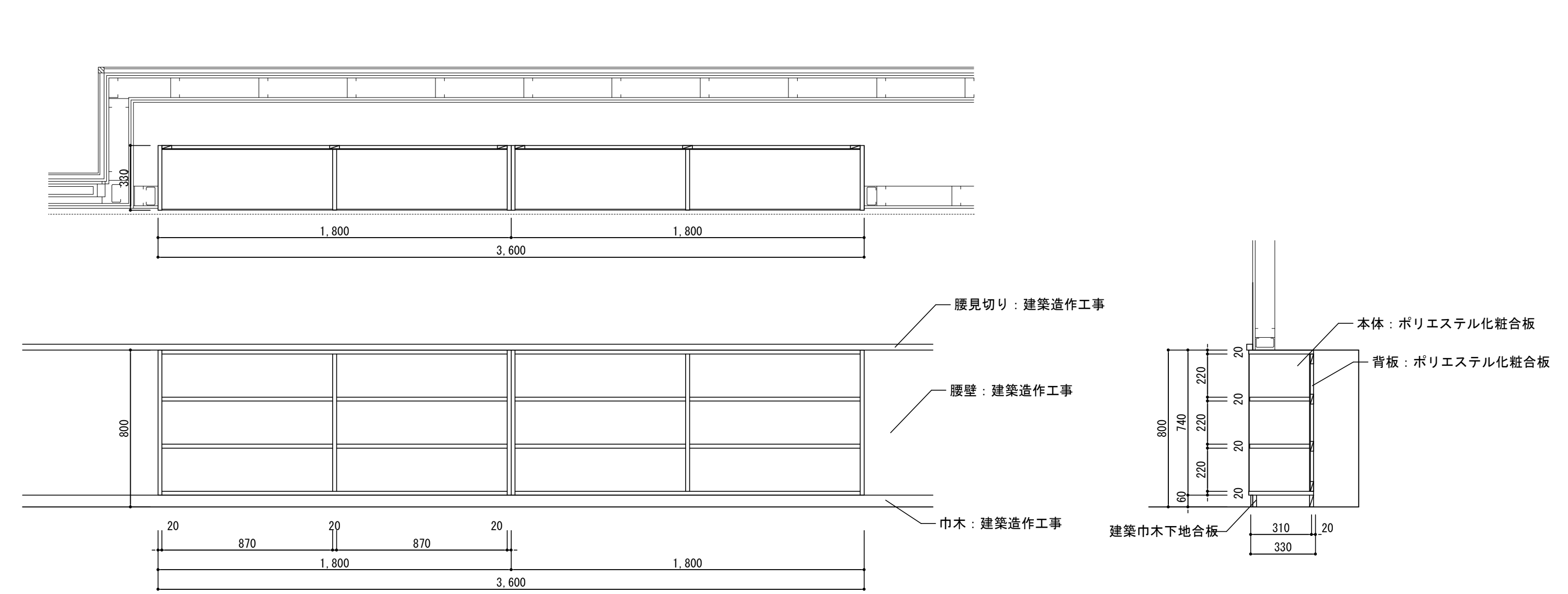
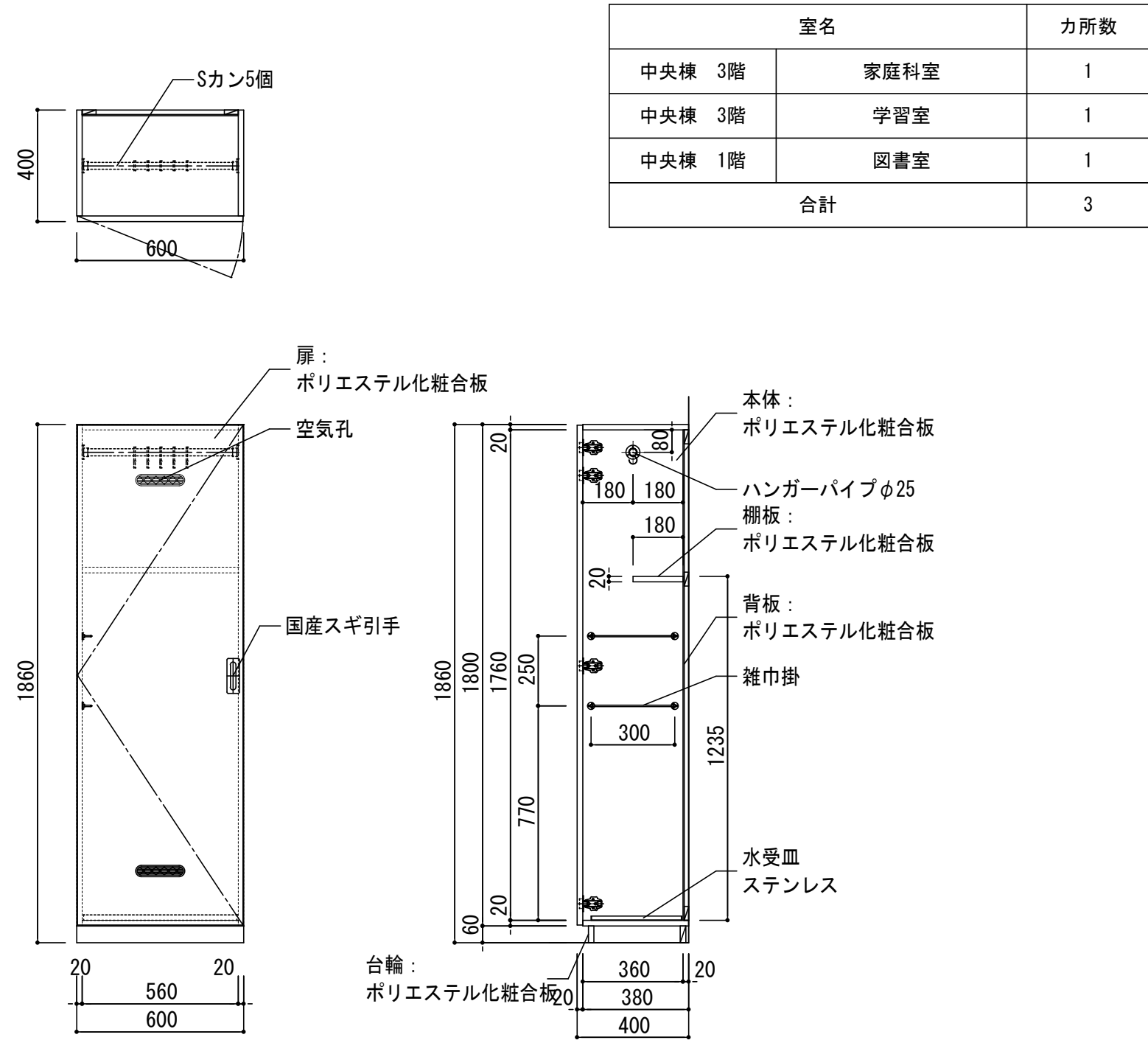
仕様表	
寸法	W3000×D900×H850mm
天板	表面材: 耐薬品性特殊アクリル系樹脂化粧板
	芯材: LVL・ロールコア
	エッジ: アルミ成型品アルマイト処理
本体	コーナ: ABS樹脂成型品
	外部: ポリエステル化粧板 (単色-白)
棚板	内部: ポリエステル化粧板 (単色-白)
	木口: 同色テープ貼り (単色-白)
扉/引出前板/ケンドン	ポリエステル化粧板
引手	埼玉県産スギくんえん乾燥材 UC
金物	丁番: 105°ワンタッチ丁番
付属品	スライドレールL350
	立型水栓 1
	陶器流し: SZ-144 (水切りアミ付) 1
	ACコンセント (2口) アース端子付 1
	床固定アングル

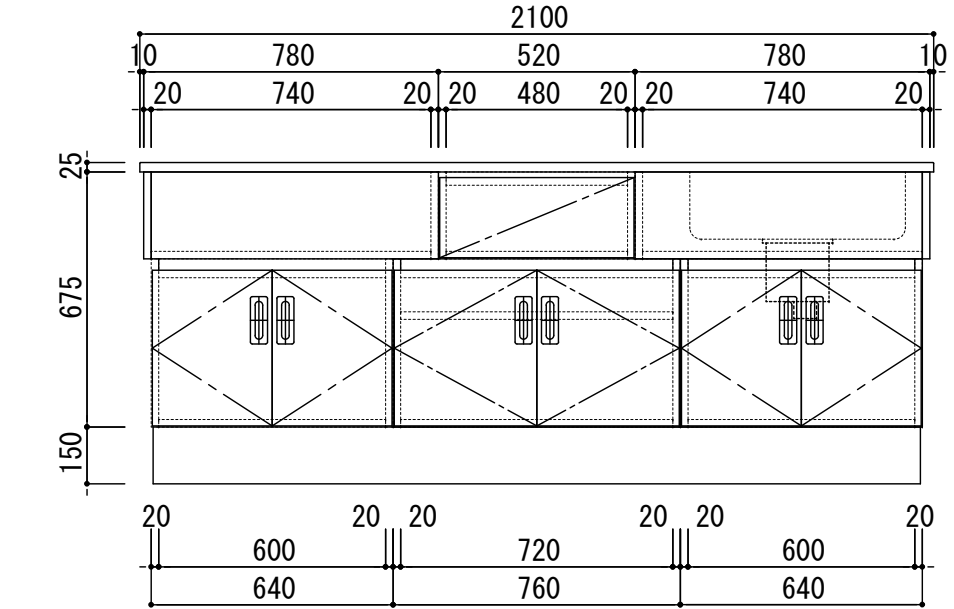
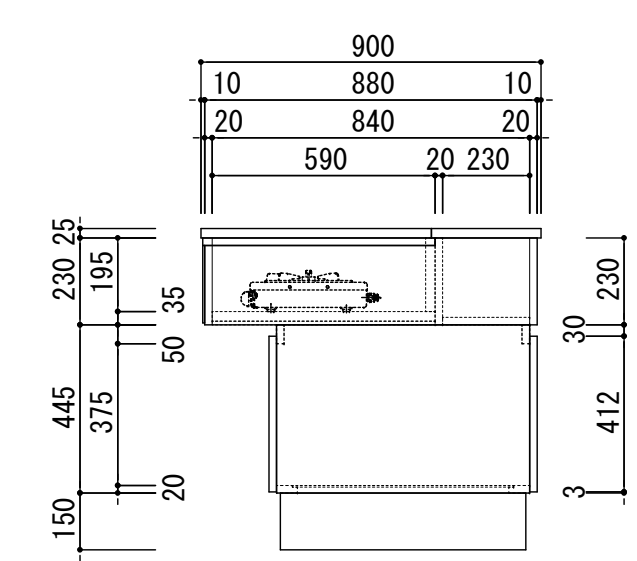
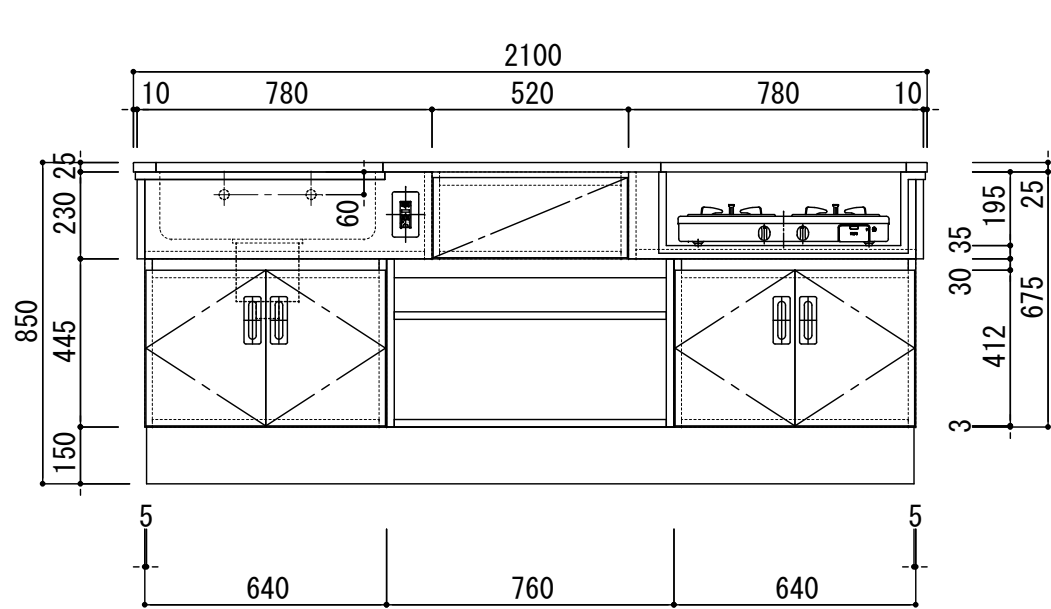
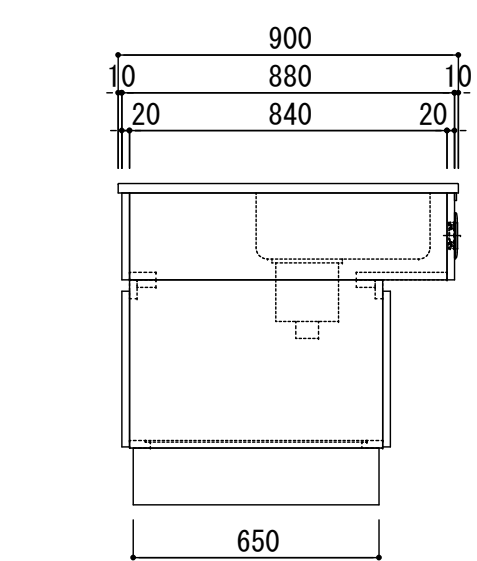
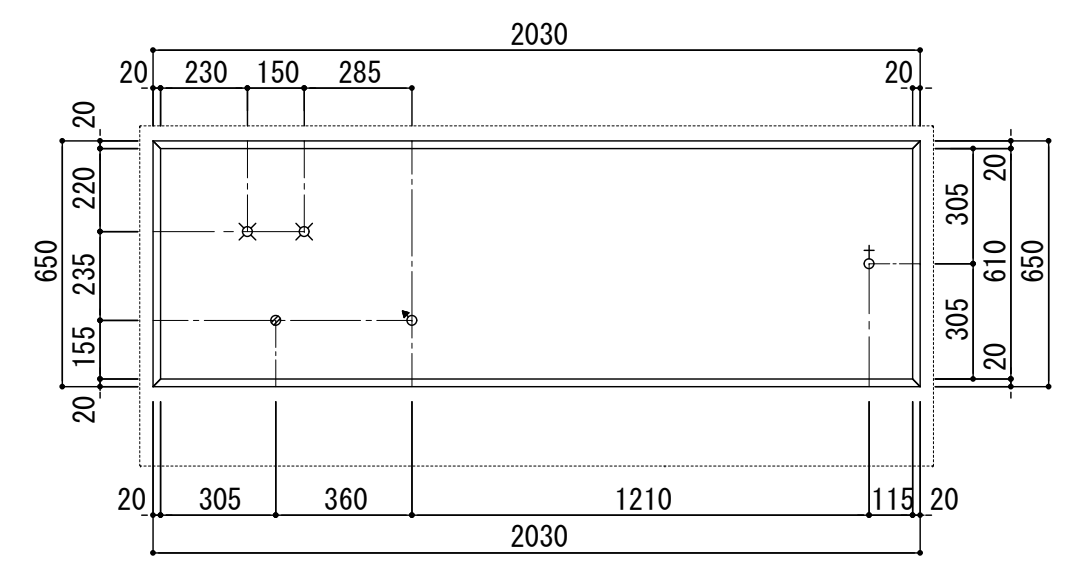
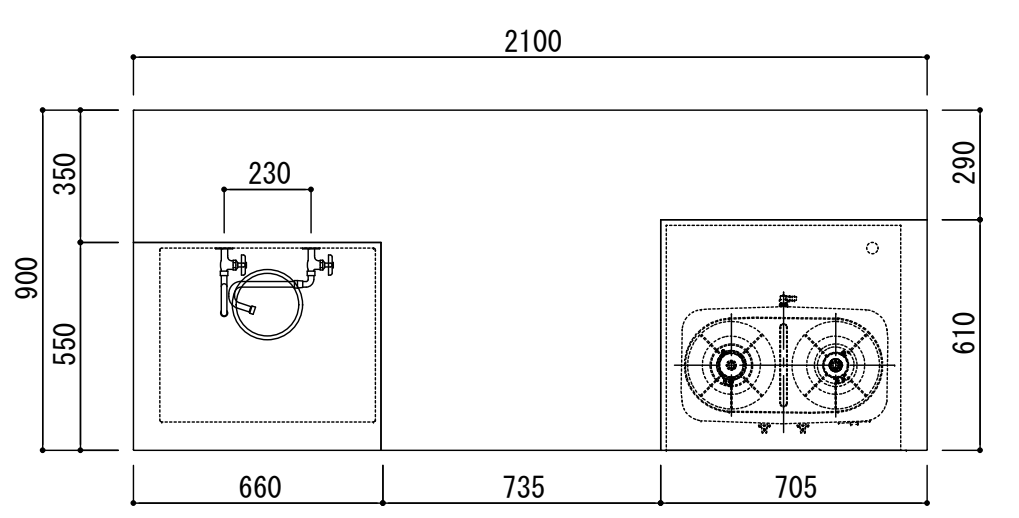
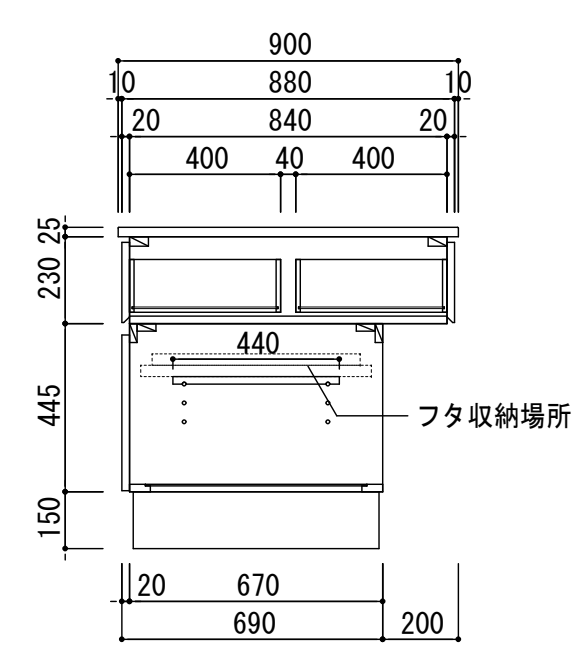
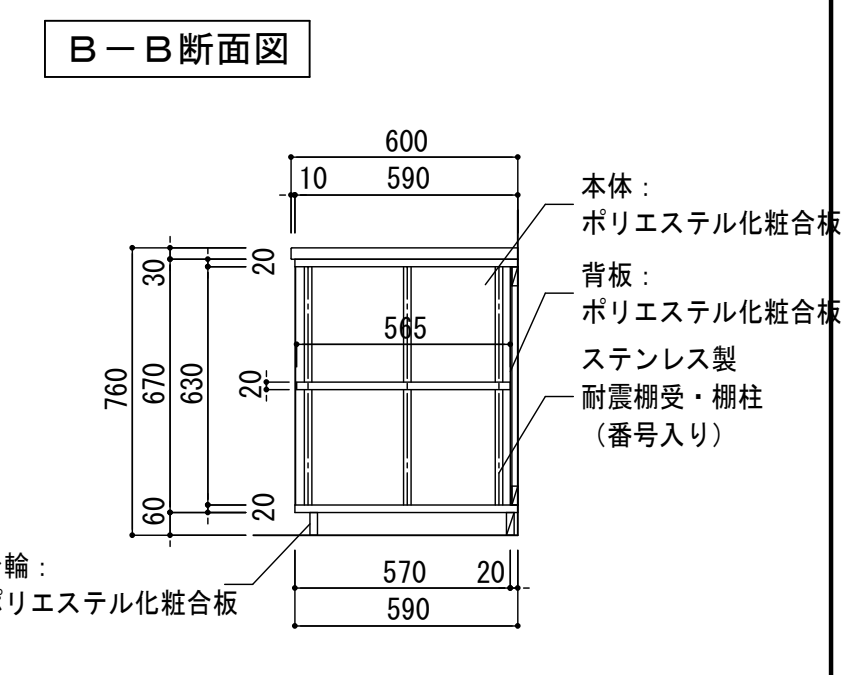
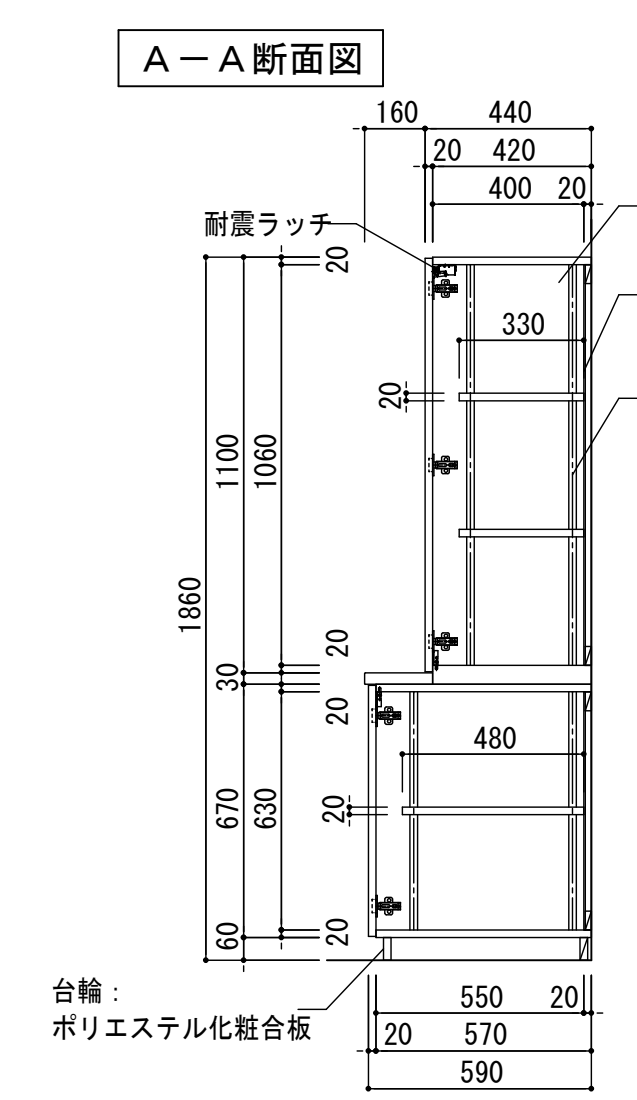
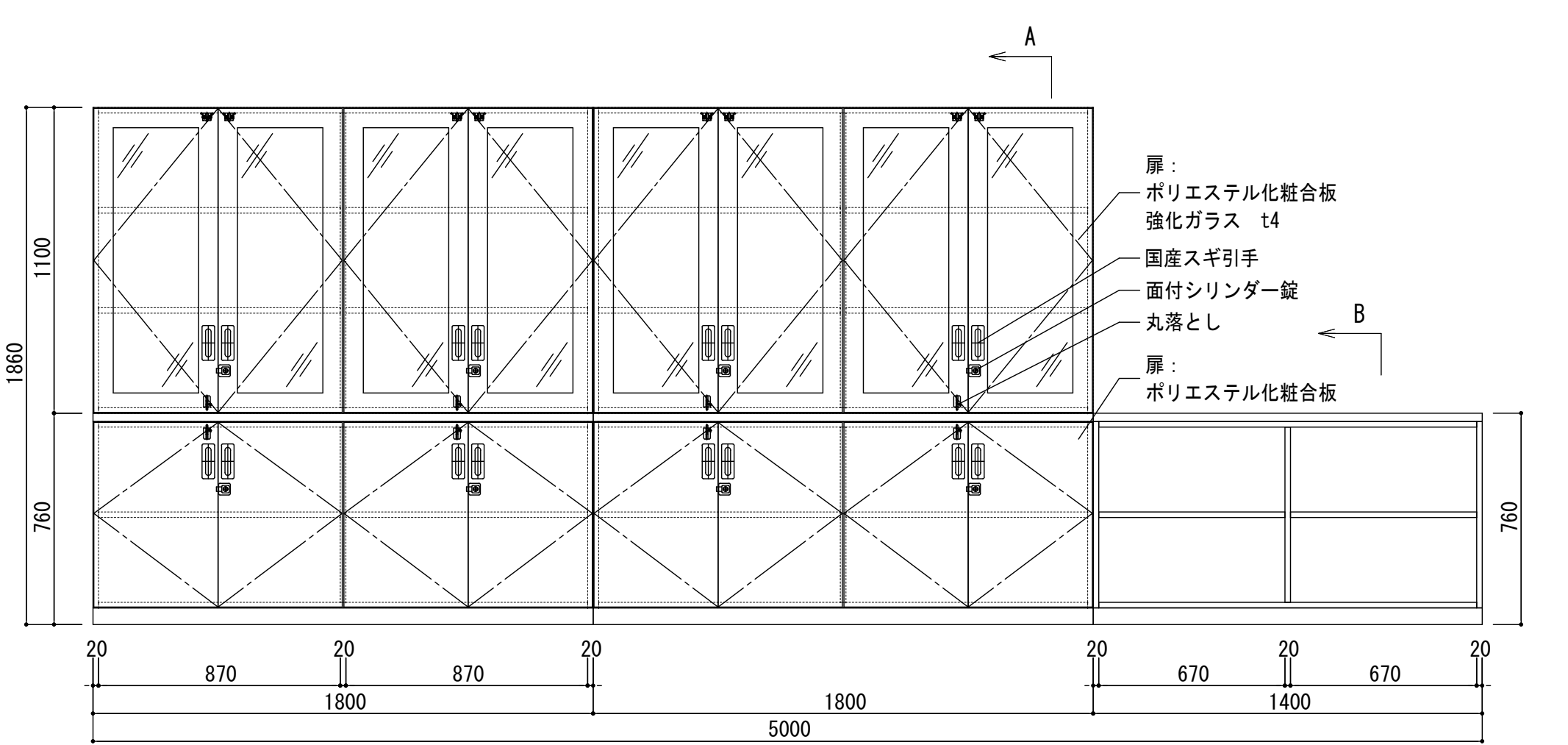
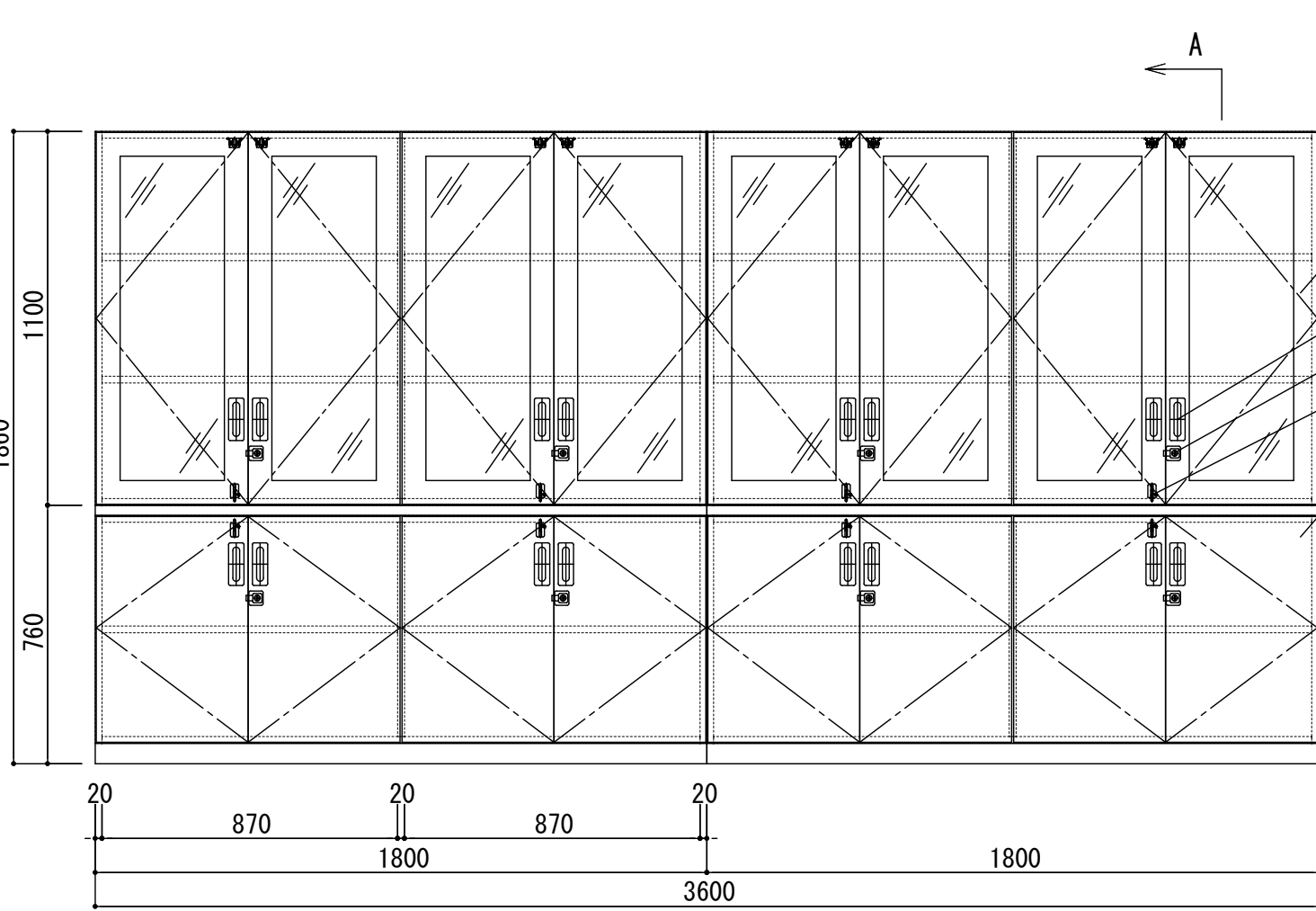
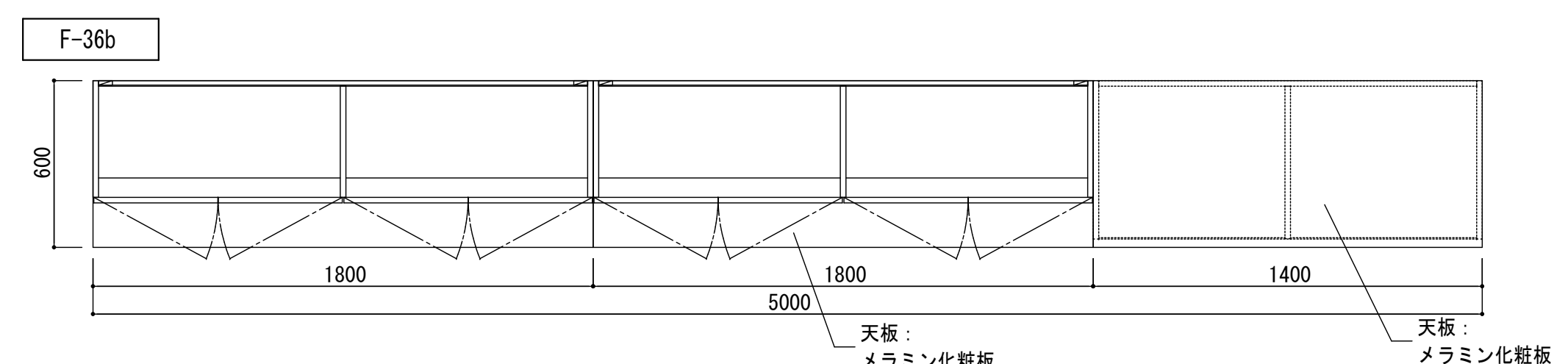
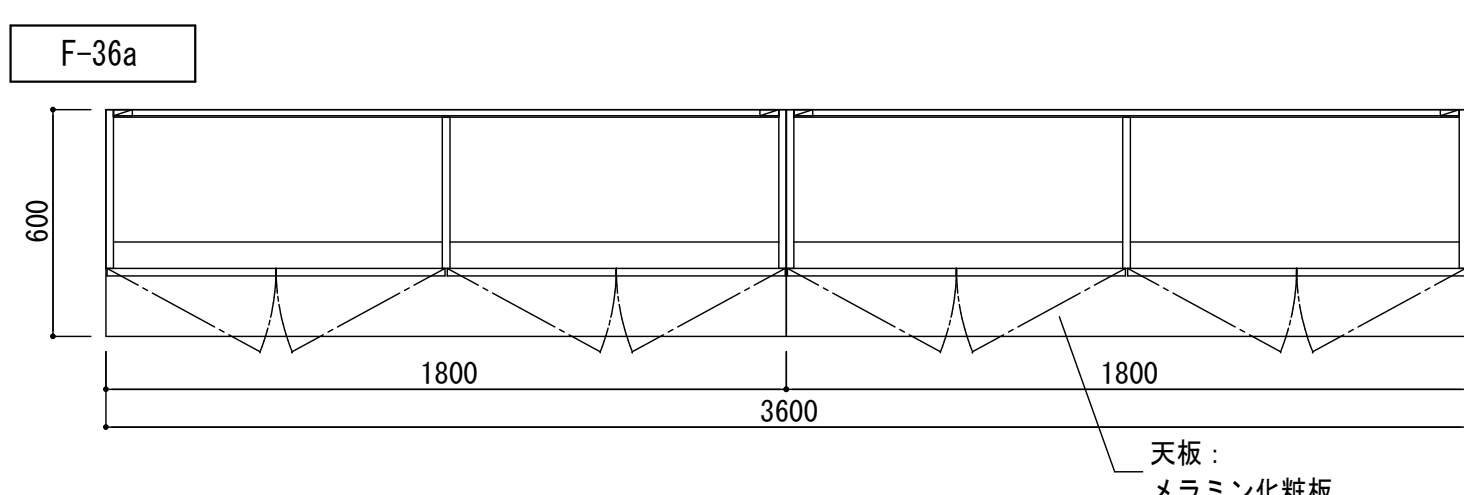
※ガスコックは付属しません



仕様表	
寸法	W3000×D900×H760mm
天板	表面材: 耐薬品性特殊アクリル系樹脂化粧板
	芯材: LVL・ロールコア
	エッジ: アルミ成型品アルマイト処理
本体	コーナ: ABS樹脂成型品
	外部: ポリエステル化粧板 (単色-白)
ケンドン	内部: ポリエステル化粧板 (単色-白)
	木口: 同色テープ貼り (単色-白)
パネル脚	ポリエステル化粧板
棚板	ポリエステル化粧板 (単色-白)
木口	UC塗装仕上 (単色-白)
台輪	木製 塗装 (黒)
金物	補強金具
付属品	立型水栓 (4口) 1
	陶器流し: SZ-144 (水切りアミ付) 2
	ACコンセント (2口) アース端子付 2
	床固定アングル

※ガスコックは付属しません





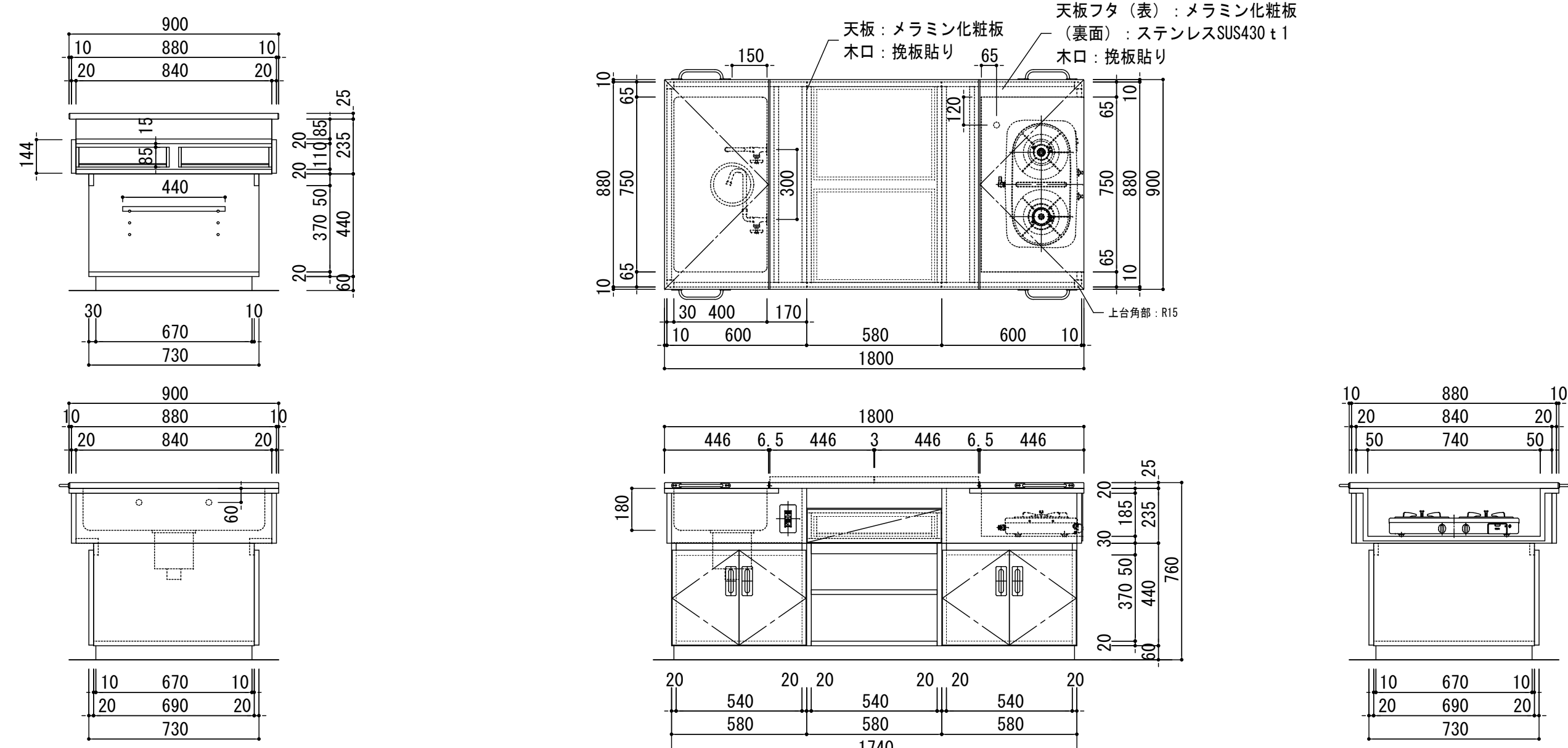
配管立ち上がり

× (給水) 冷水	15A型 (1/2)
× (給水) 温水	15A型 (1/2)
○ (排水)	40VP型
⊖ (ガス)	15A型 (1/2)
⊕ (電気)	100V 15A

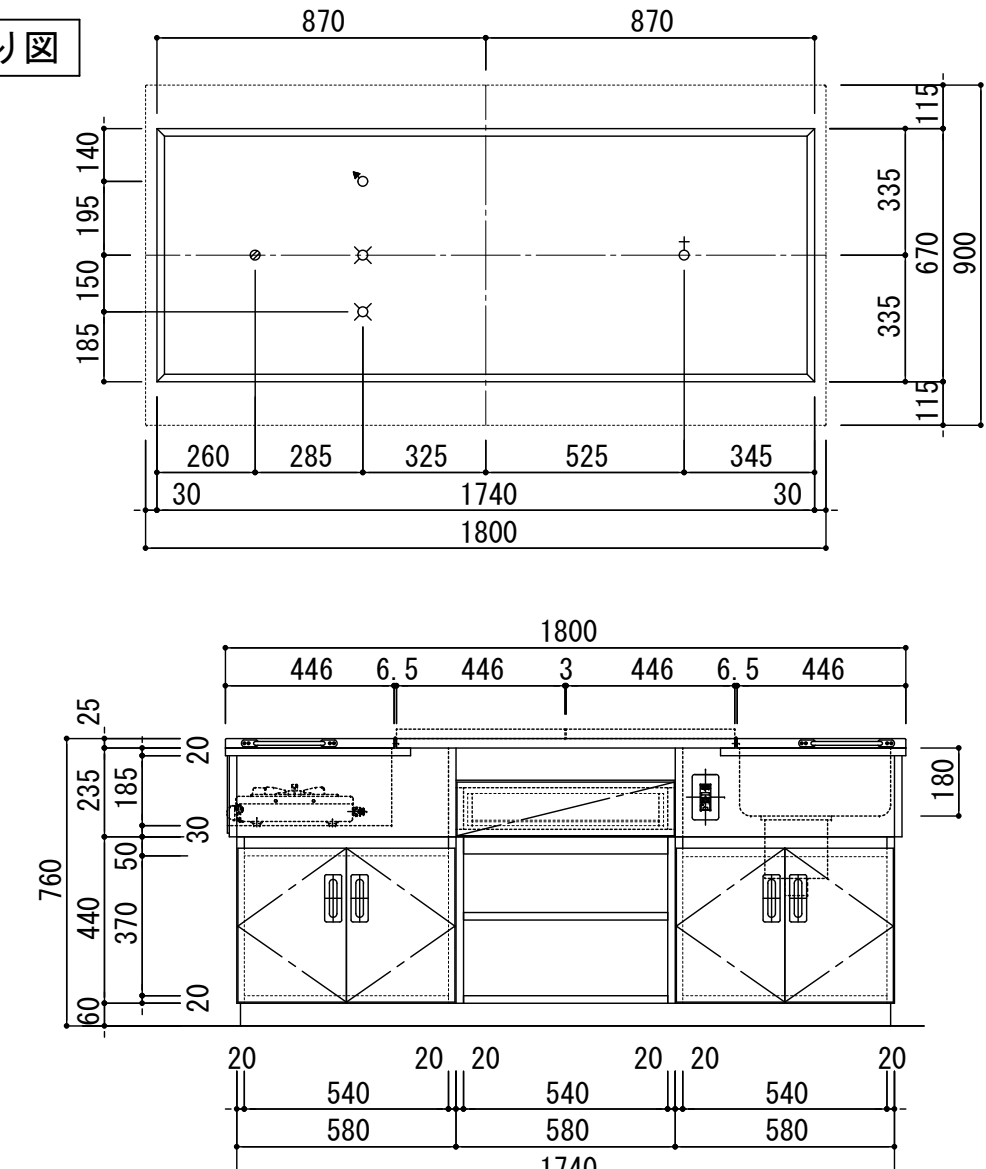
立ち上がりは、床上90mm以内

仕様表	
寸法	W2100×D900×H850mm
天板	メラミン樹脂化粧板 t25mm 木口: 挽板貼り
フタ	表面: メラミン樹脂化粧板 t25mm 裏面: ステンレス SUS430 t1.0mm 木口: 挽板貼り
流し	ステンレス SUS430 t1.0mm
本体	ポリエステル化粧板 木口: 同色テープ貼り 上台角部: 木製加工 UC
引出前板	ポリエステル化粧板
棚板	ポリエステル化粧板 木口: 同色テープ貼り
扉	ポリエステル化粧板
引手	埼玉県産スギくんえん乾燥材 UC
台輪	木製 塗装 (グレー)
金物	丁番: 105° ワンタッチ丁番 スライドレール L400
付属品	棚タボ 排水トラップφ186mm ゴミ収納器付×1 コンセント: AC用2口アース端子付×1 床固定アンクル×2

調理器具 2口ガステーブル (全口センサー)  
ガスロック・ゴムホースは付属しません



配管立ち上がり図

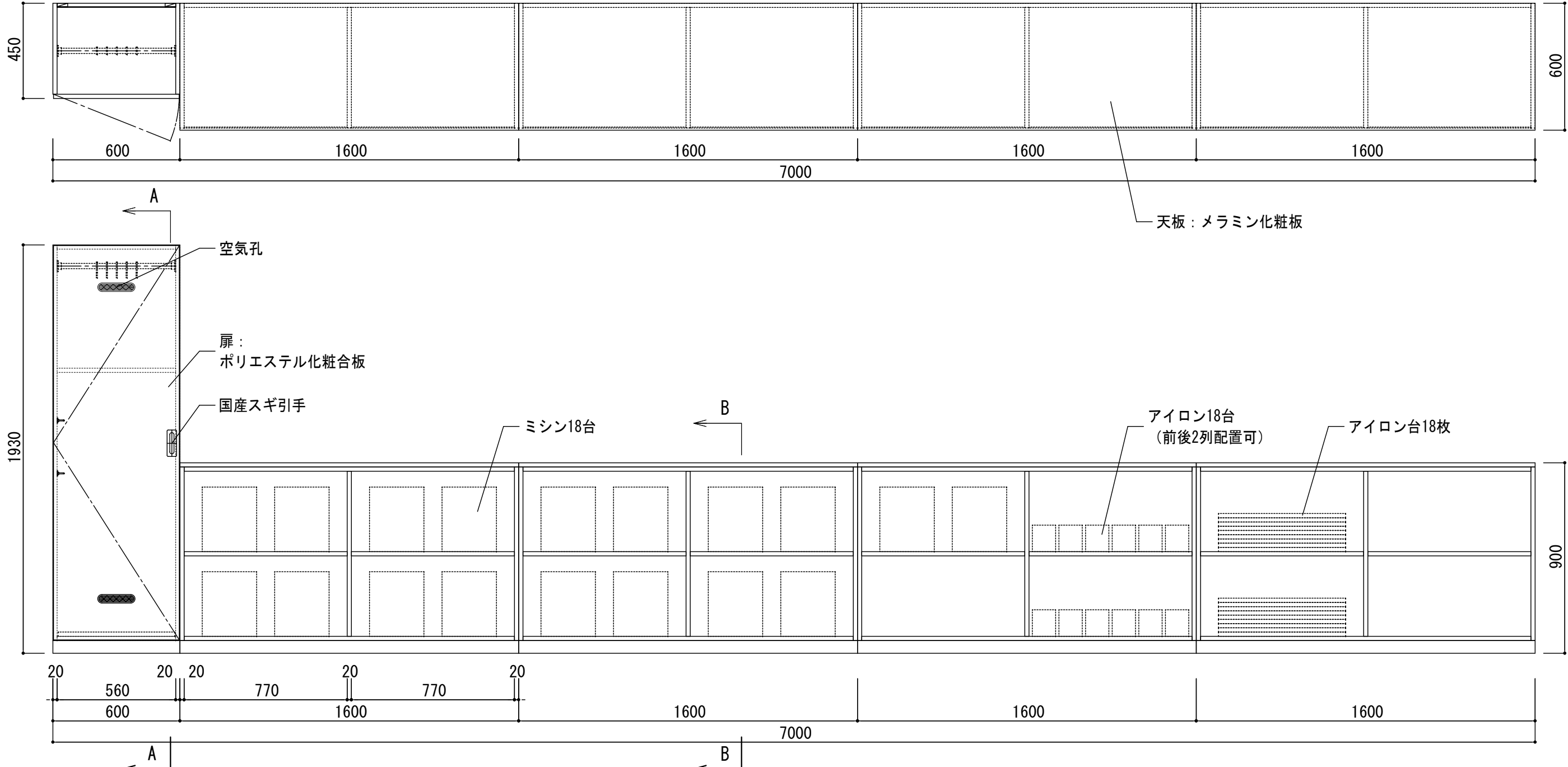


× (給水) 冷水	15A型 (1/2)
× (給水) 温水	15A型 (1/2)
○ (排水)	40VP型
◇ (ガス)	15A型 (1/2)
⊕ (電気)	100V 15A

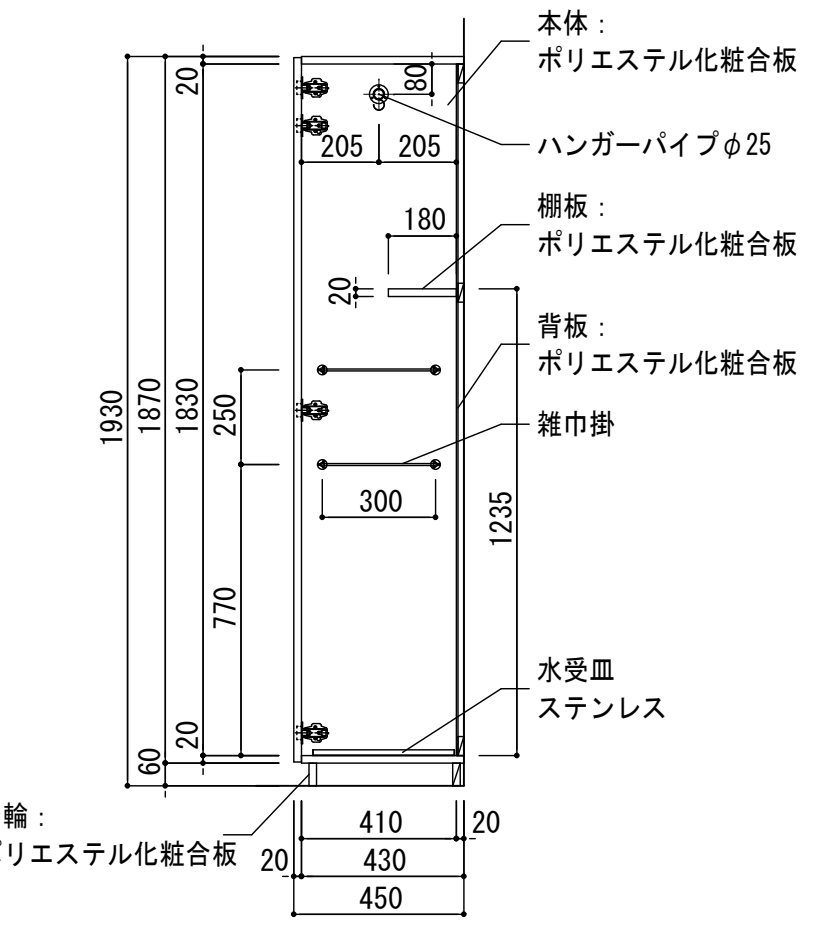
立ち上がりは、床上90mm以内

寸法	W1800×D900×H760mm
天板	メラミン樹脂化粧板 t25mm 木口：挽板貼り 裏面：ステンレスSUS430 t1.0mm
流し	ステンレスSUS430 t1.0mm
本体	ポリエステル化粧板 木口：同色テープ貼り 上台角部：木製加工 UC
引出前板	ポリエステル化粧板
棚板	ポリエステル化粧板 木口：同色テープ貼り
扉	ポリエステル化粧板
引手	埼玉県産スギくんえん乾燥材 UC
台輪	木製 塗装 (グレー)
金物 付属品	丁番：105°ワンタッチ丁番
	スライドレールL400
	棚ダボ
	排水トラップφ186mm ゴミ収納器付×1 コンセント：AC用2ロアース端子付×2 床固定アンクル×2
調理器具	2ロガステーブル (全ロセンサー)

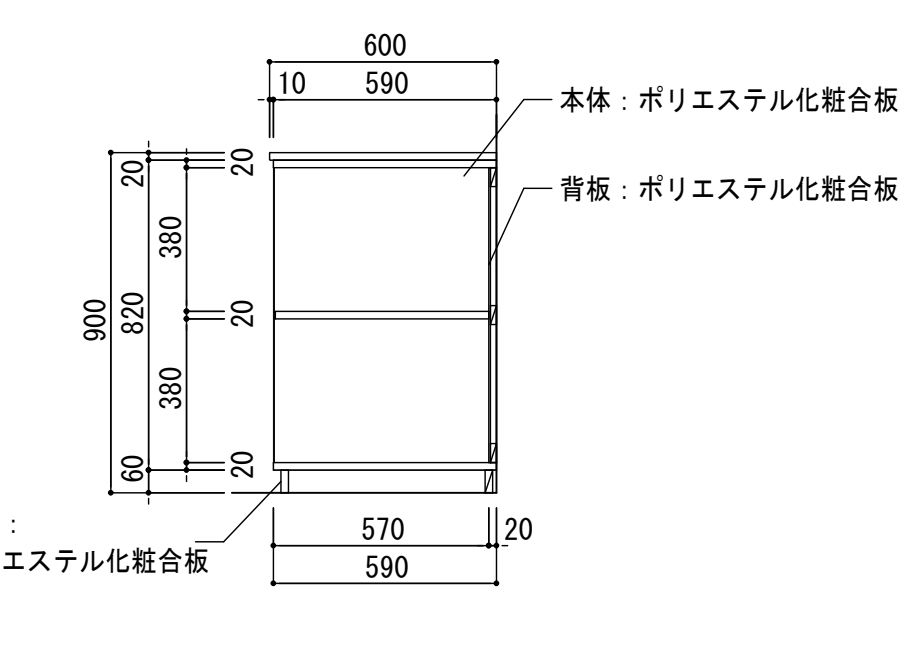
ガスロック・ゴムホースは付属しません



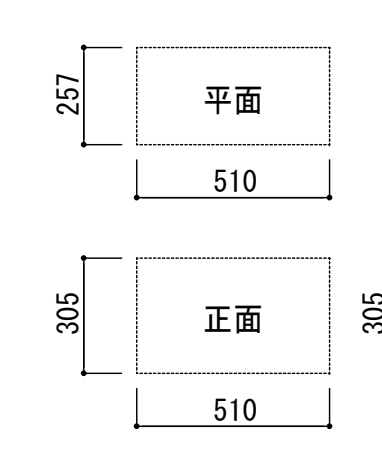
A-A断面図



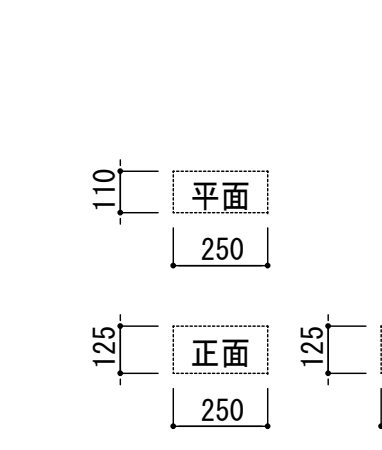
B-B断面図



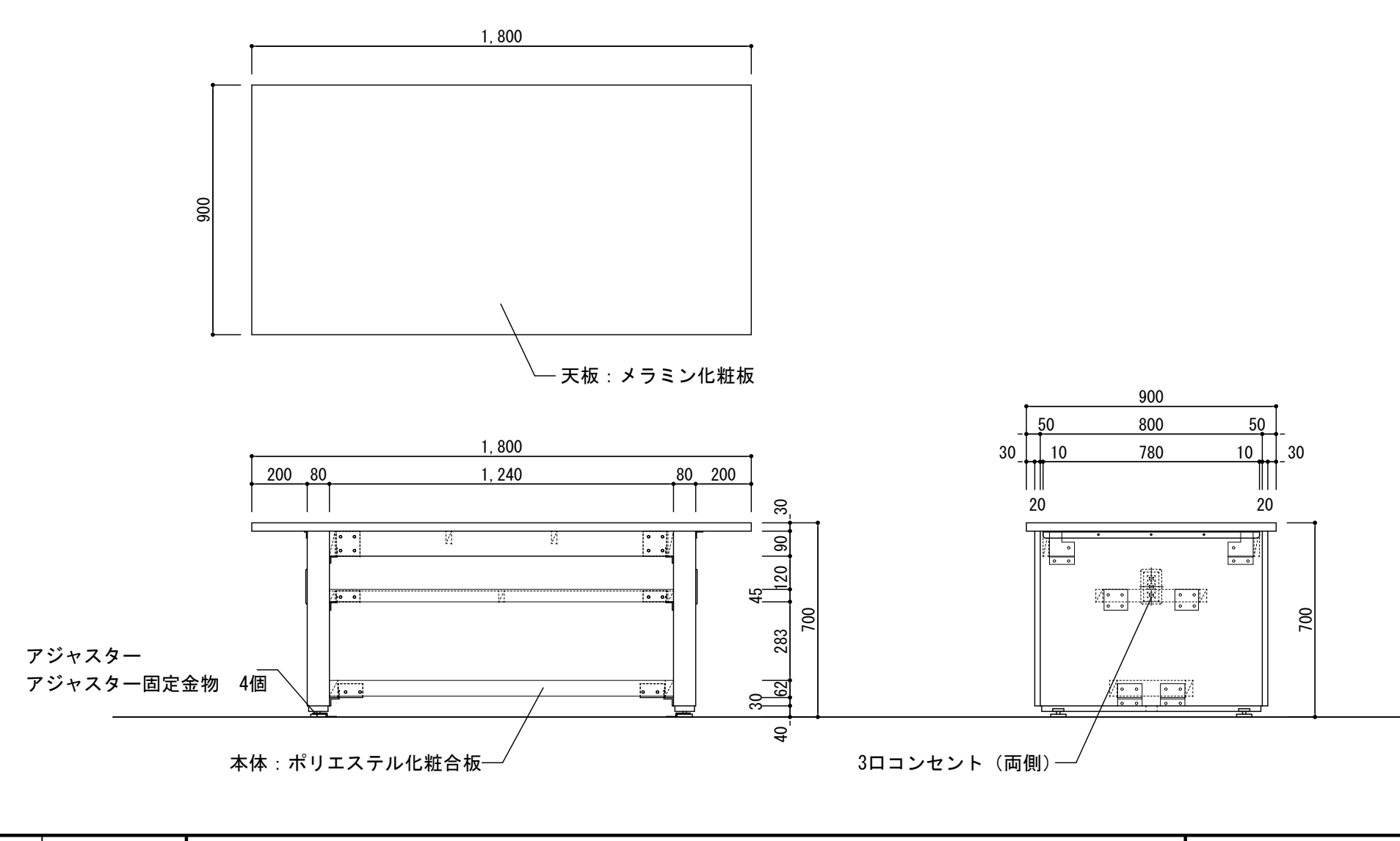
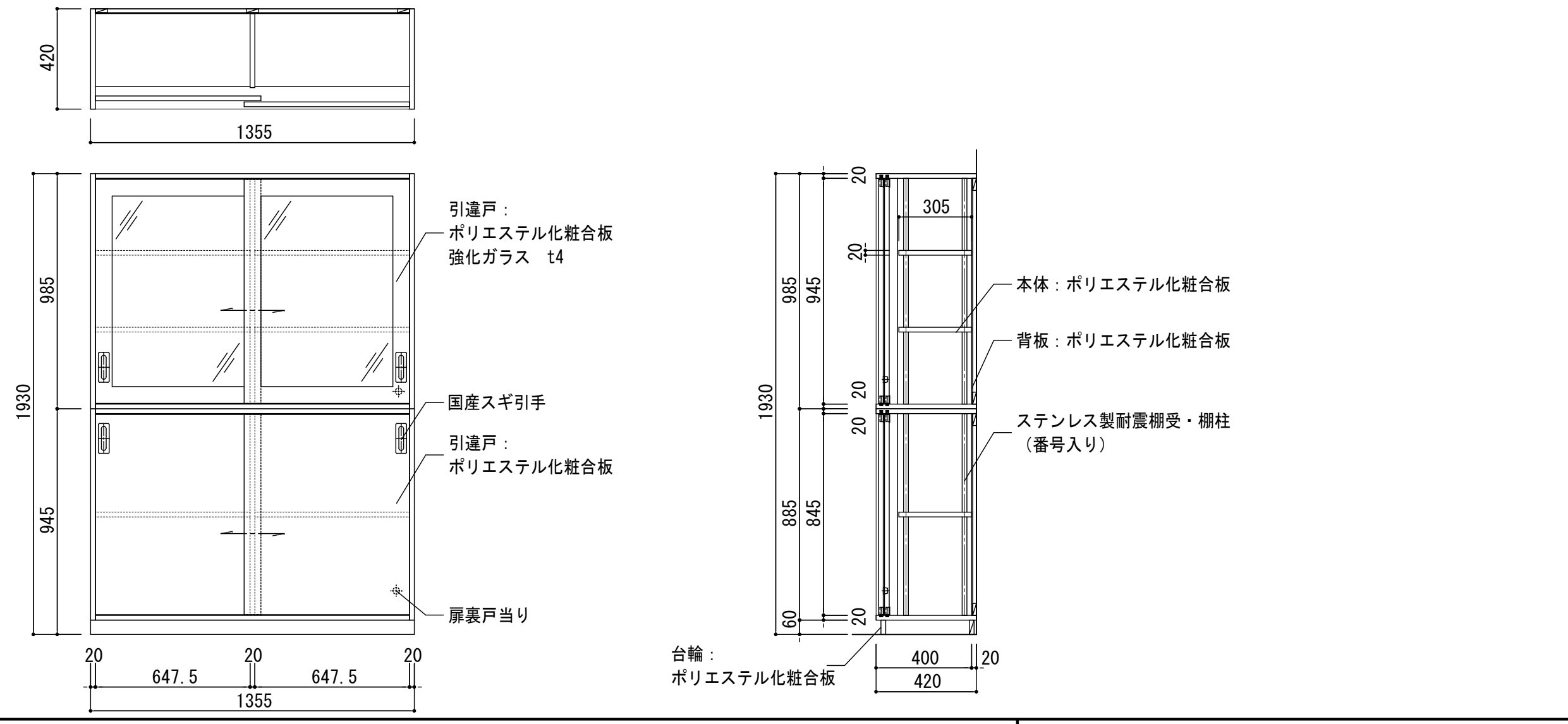
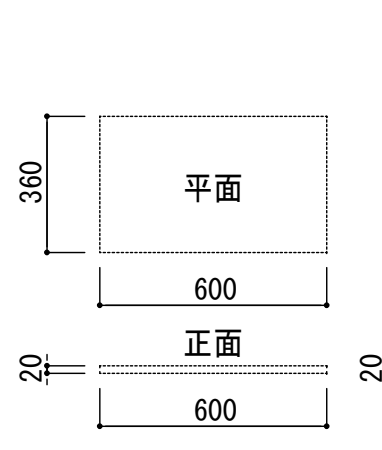
ミシンケース参考寸法



アイロン参考寸法



アイロン台参考寸法

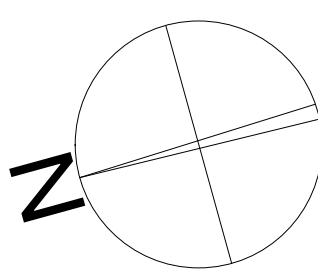
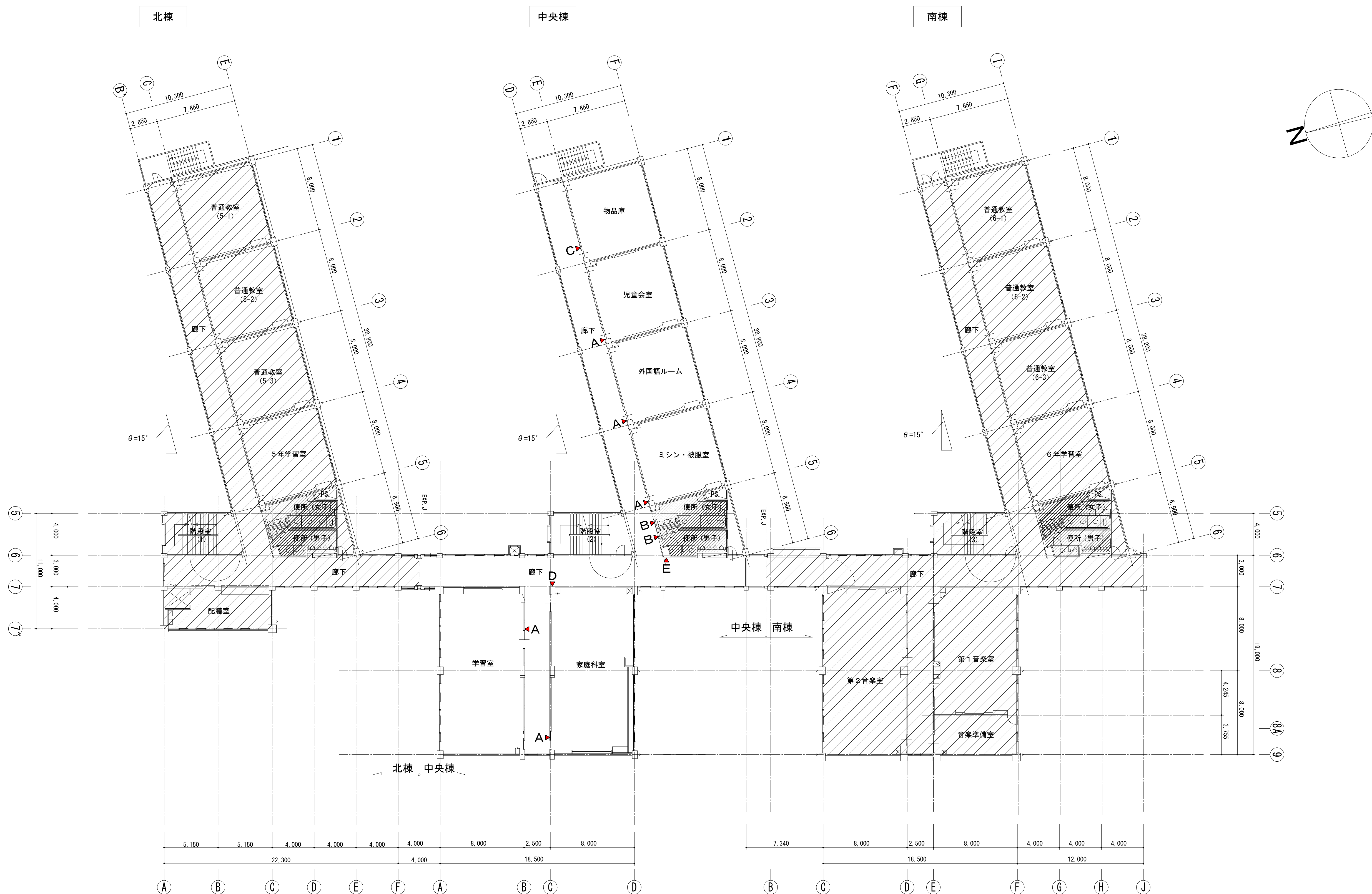












3階平面図 S=1/200

- 【凡例】
- 改修範囲外を示す
  - サイン位置・タイプを示す


**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

案件番号 17-137	日付 2018年3月
設計部長 横岡	担当 製図

**市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】** 設計図

図面名 サインキープラン 3階平面図	図面種別 A
縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号 88



**A 室名表示(木製) 突出** 縮尺 1/4 数量 20ヶ所

スイング式(スプリング可動)  
 プラケット: アルミ型材加工/焼付塗装  
 フレーム: タモ材加工 OSCL塗装/クリア艶消し  
 表示基板: アクリル3.0t加工  
 表示: インクジェット印刷フィルム貼り/指定色

マグネット0.8t  
 スチール複合板3.0t

※スイング可能角度 180°

階	設置場所	数量
3F	外国語ルーム、ミシン・被服室、児童会室、家庭科室、学習室	5
2F	ピア活動室、外国語活動ルーム、第2図書室、理科室、理科準備室、コンピュータ教室、郷土資料室・教材室、コンピュータ準備室	8
1F	第2教育相談室、にじいろルーム、にじいろ学級1、にじいろ学級2、図書室×2、校長室	7
	合計	20

平面図 S=1/4  
 正面図 S=1/4  
 側面図 S=1/4

**B 室名表示(木製) 平付** 縮尺 1/4 数量 6ヶ所

フレーム: タモ材加工 OSCL塗装/クリア艶消し  
 ペニヤ3.0t  
 マグネット0.8t

表示基板: アクリル3.0t加工  
 表示: インクジェット印刷フィルム貼り/指定色

階	設置場所	数量
3F	便所(男)、便所(女)	2
2F	便所(男)、便所(女)	2
1F	便所(男)、便所(女)	2
	合計	6

平面図 S=1/4  
 正面図 S=1/4

**C 室名表示 平付** 縮尺 1/4 数量 5ヶ所

表示基板: 樹脂板 0.3t /UV印刷  
 本体: ABS樹脂成形品/塗装仕上

表示基板: アクリル3.0t加工  
 表示: インクジェット印刷フィルム貼り/指定色

フレーム: タモ材加工 OSCL塗装/クリア艶消し

表示基板: アクリル3.0t加工  
 表示: インクジェット印刷フィルム貼り/指定色

階	設置場所	数量
3F	物品庫	1
2F		
1F	消耗品室、印刷室	4
	職員便所(男)、職員便所(女)	4
	合計	5

平面図 S=1/3  
 正面図 S=1/3  
 断面図 S=1/3

**D 誘導表示板(大)** 縮尺 1/4 数量 4ヶ所

表示基板: アクリルマット板 t3  
 表示: 塩ビシート切り文字貼り/指定色  
 ベース: スライドロック機構 \*脱着式

階	設置場所	数量
3	廊下	1
2	廊下	1
1	廊下	2
	合計	4

平面図 S=1/4  
 正面図 S=1/4  
 側面図 S=1/4

**E 誘導表示板(小)** 縮尺 1/4 数量 3ヶ所

表示基板: アクリルマット板 t3  
 表示: 塩ビシート切り文字貼り/指定色  
 ベース: スライドロック機構 \*脱着式

階	設置場所	数量
3	廊下	1
2	廊下	1
1	廊下	1
	合計	3

平面図 S=1/4  
 正面図 S=1/4  
 側面図 S=1/4

**F 室名表示 シート 切り文字** 縮尺 1/2 数量 1ヶ所

表示: 塩ビシート切り文字貼り/指定色

正面図 S=1/2

**I 総合案内板** 縮尺 1/3 1/10 数量 1ヶ所

フレーム: タモ材 加工OSCL塗装/クリア艶消し仕上  
 ペニヤ 3.0t  
 スチール複合板 3.0t  
 表示基板: アクリル 5.0t加工/指定色  
 マグネット0.8t

階	設置場所	数量
1	職員玄関(1)	1
	合計	1

平面図 S=1/3  
 正面図 S=NS

- サイン特記仕様
- [1] 使用材料
- 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応) とする。
  - アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (アルミ押出型材)
  - アクリル : JIS-K-6718
  - ステンレス : JIS-G4305 SUS304、HL仕上
- [2] フォント
- 書体については、U-D新ゴpro「M」を基準とする。  
 ※ただし、監督員・管理者より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。
- [3] ビクトグラム
- 図柄については、原稿を作成し監督員・管理者の承認を受けること。
- [4] 取付位置・方法
- 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
  - 取付方法については、取付位置の地下などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
  - 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。
- [5] その他
- 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。
  - サイン計画については、当施設他工事と充分に調整協議をすること。
  - サインについては、塩害対策がなされている材料を使用すること。

図面名	サイン詳細図
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1: 図示 (A3版 50%縮小)

株式会社 松下設計 一級建築士事務所  
 登録(11)183  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	松園	担当	松園
		製図	

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

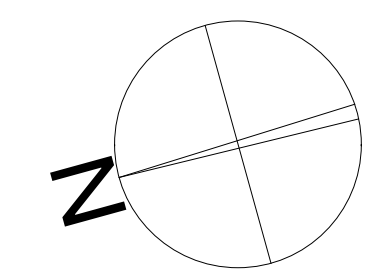
図面名	サイン詳細図
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1: 図示 (A3版 50%縮小)
	89



北棟

中央棟

南棟



(凡例)

記号	品名
K-1	アルミ枠ホーローグリーン暗線入UD曲面黑板
K-2	アルミ枠ホーローグリーン暗線入上下黑板
K-3	アルミ枠ナノホワイト平面白板
K-4	アルミ枠ビニールクロス掲示板
K-5	木枠(カギ型)ホーローグリーン平面黑板
K-6	木枠(カギ型)ナノホワイト平面白板
K-7	アルミ枠ナノホワイト上下白板



1階平面図 S=1/200

【凡例】

改修範囲外を示す



**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

図面番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横園	担当	製図

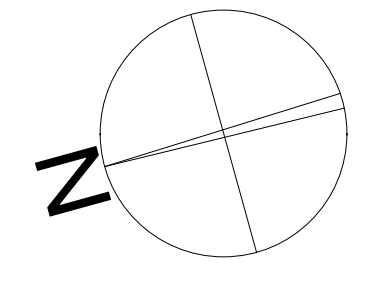
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図  
 縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)

図面名	黑板・掲示板キープラン 1階平面図	図面種別	A
図面番号			90

北棟

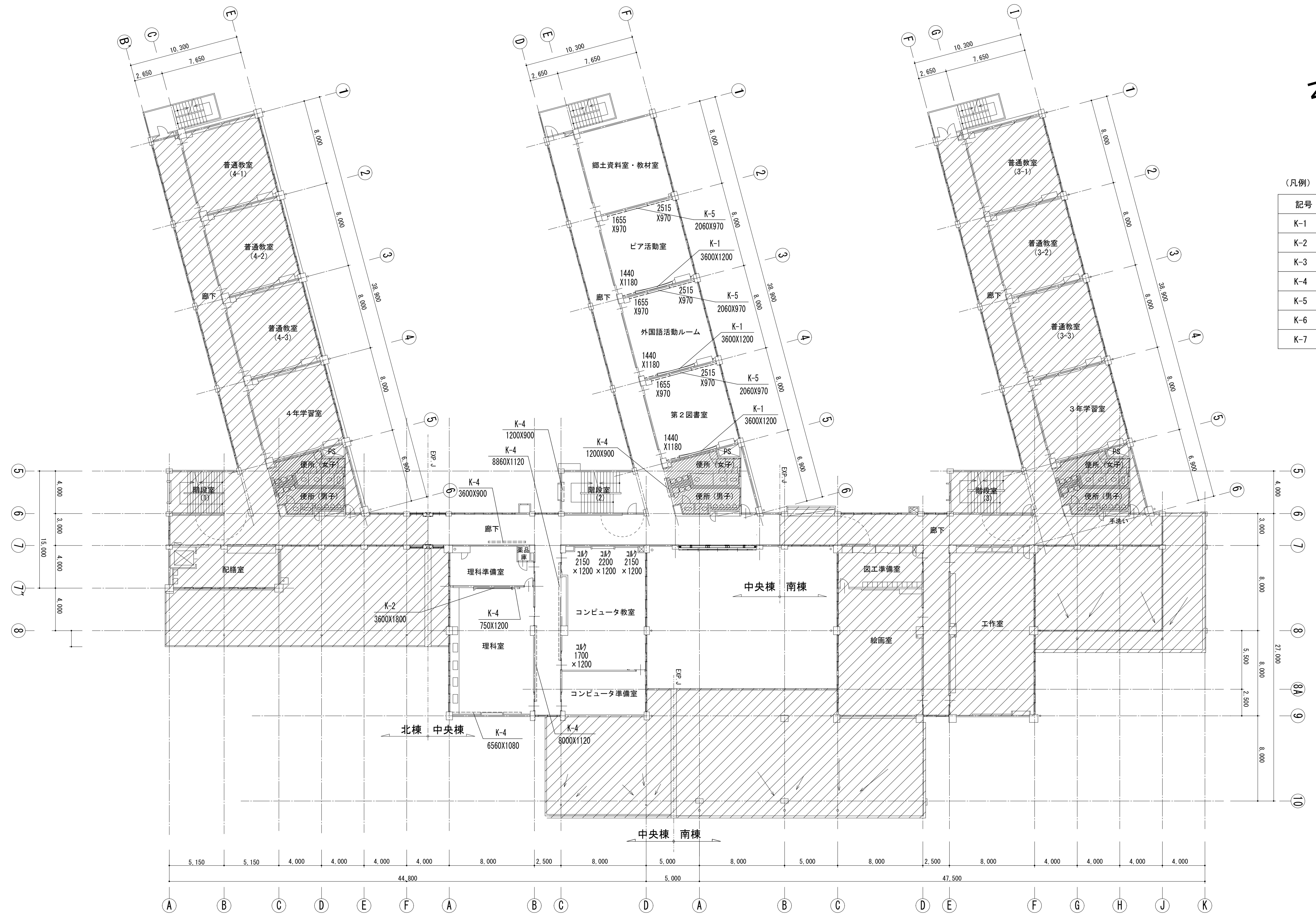
中央棟

南棟



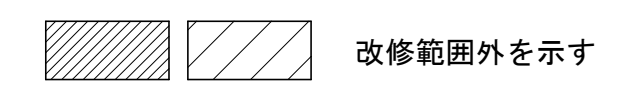
(凡例)

記号	品名
K-1	アルミ枠ホーローグリーン暗線入UD曲面黑板
K-2	アルミ枠ホーローグリーン暗線入上下黑板
K-3	アルミ枠ナノホワイト平面白板
K-4	アルミ枠ビニールクロス掲示板
K-5	木枠(カギ型)ホーローグリーン平面黑板
K-6	木枠(カギ型)ナノホワイト平面白板
K-7	アルミ枠ナノホワイト上下白板




2階平面図 S=1/200

(凡例)



改修範囲外を示す

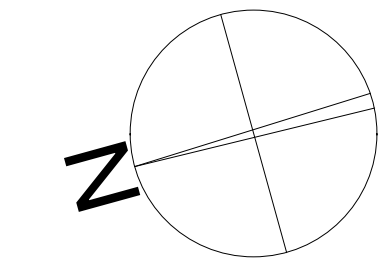
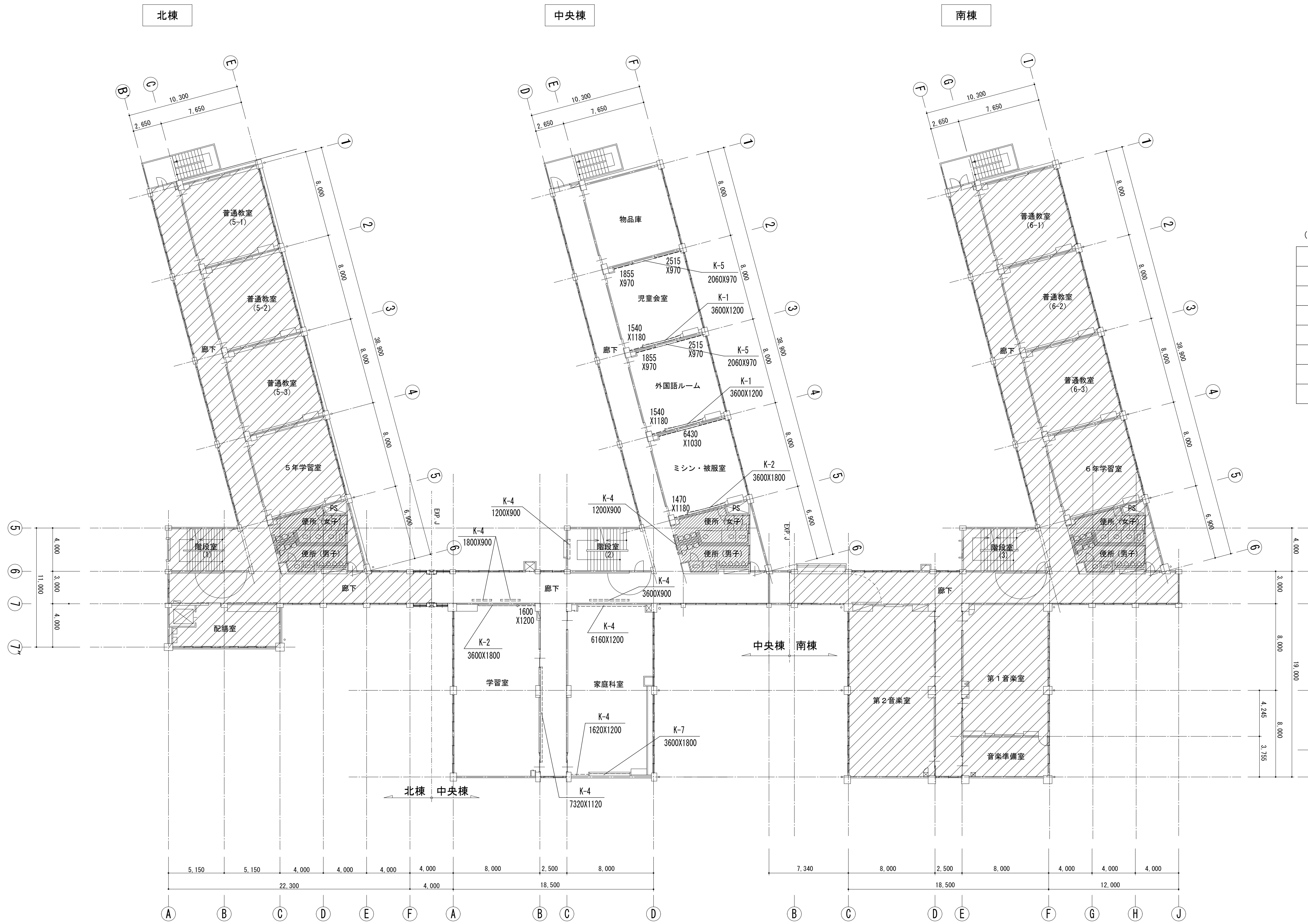
図面名	黑板・掲示板キープラン 2階平面図
図面種別	A
図面番号	9 1
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)


**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 登録 (11) 183  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

資料番号	17-137	設計	2018年3月
設計部長	榎園	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

図面名	黑板・掲示板キープラン 2階平面図
図面種別	A
図面番号	9 1
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)



(凡例)

記号	品名
K-1	アルミ枠ホーローグリーン暗線入UD曲面黑板
K-2	アルミ枠ホーローグリーン暗線入上下黑板
K-3	アルミ枠ナノホワイト平面白板
K-4	アルミ枠ビニールクロス掲示板
K-5	木枠(カギ型)ホーローグリーン平面黑板
K-6	木枠(カギ型)ナノホワイト平面白板
K-7	アルミ枠ナノホワイト上下白板

【凡例】  
 改修範囲外を示す

3階平面図 S=1/200



K-1 アルミ枠ホーローグリーン暗線入U曲面黒板

1/4・1/40

階	室名	W X H	数量	備考
1	にじいろルーム にじいろ学級、第2教育相談室	3600X1200	4	
2	外国語活動ルーム ピア活動室、第2図書室	3600X1200	3	
3	外国語ルーム、児童会室	3600X1200	2	

※取付高さは標準の場合を示す。

K-2 アルミ枠ホーローグリーン暗線入上下黒板

K-7 アルミ枠ナノホワイト上下白板

1/4・1/40

【K-2】

階	室名	W X H	数量	備考
2	理科室	3600X1800	1	
3	学習室、ミシン・被服室	3600X1800	2	

【K-7】

階	室名	W X H	数量	備考
3	家庭科室	3600X1800	1	

K-4 アルミ枠ビニールクロス掲示板

K-4-2

階	室名	W X H	数量	備考
1	図書室	1400X1120	1	
	にじいろ学級2	1340X1180	2	
	にじいろルーム	1455X970	2	
	廊下	2515X970	2	
	廊下	7200X1200	2	
	廊下	1200X900	1	
2	廊下	10540X1120	1	
	廊下	4400X1200	1	
	廊下	2400X1200	1	
	理科室	2150X1120	1	
	廊下	750X1200	1	
	廊下	6560X1080	1	
3	廊下	1200X900	1	
	廊下	3600X900	1	
	家庭科室	8860X1120	1	
	廊下	8000X1120	1	
	廊下	1620X1200	1	
	廊下	6160X1200	1	
階段室(2)	1200X900	2		

K-5 木枠(カギ型)ホーローグリーン平面黒板

K-6 木枠(カギ型)ナノホワイト平面白板

1/4・1/40

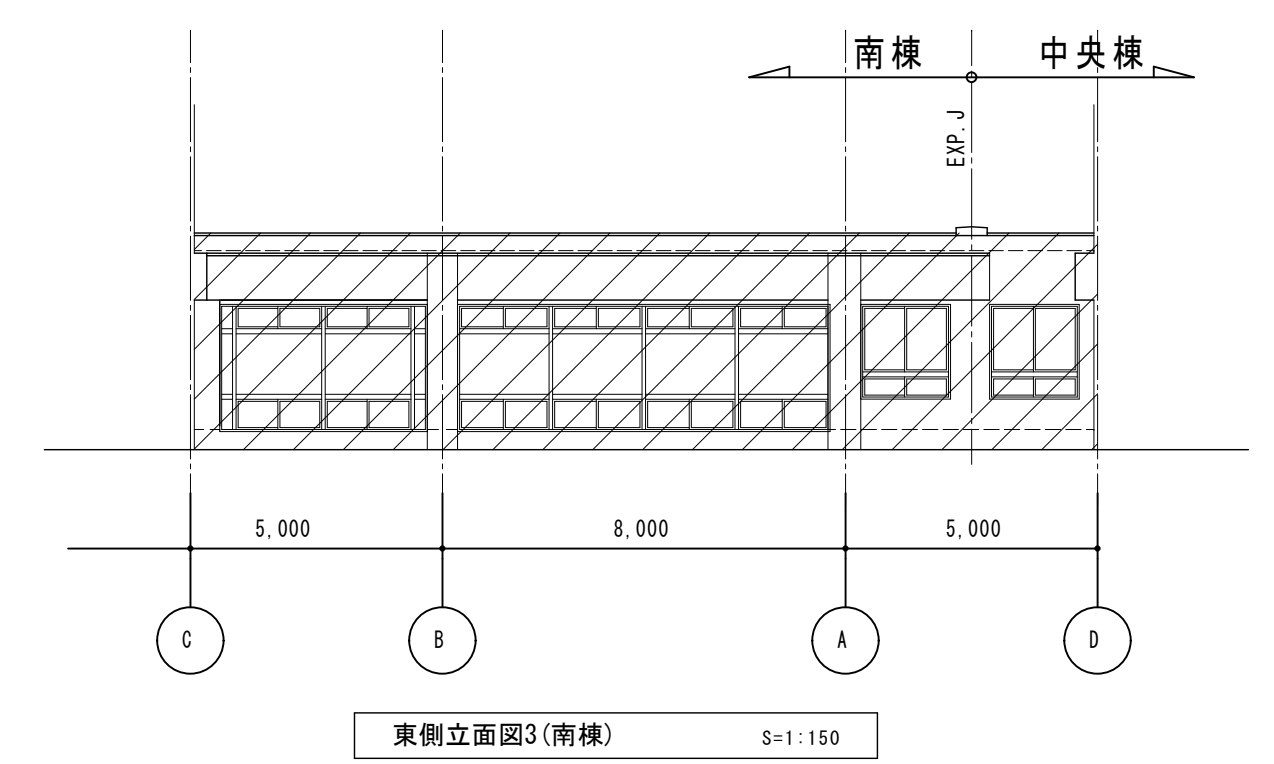
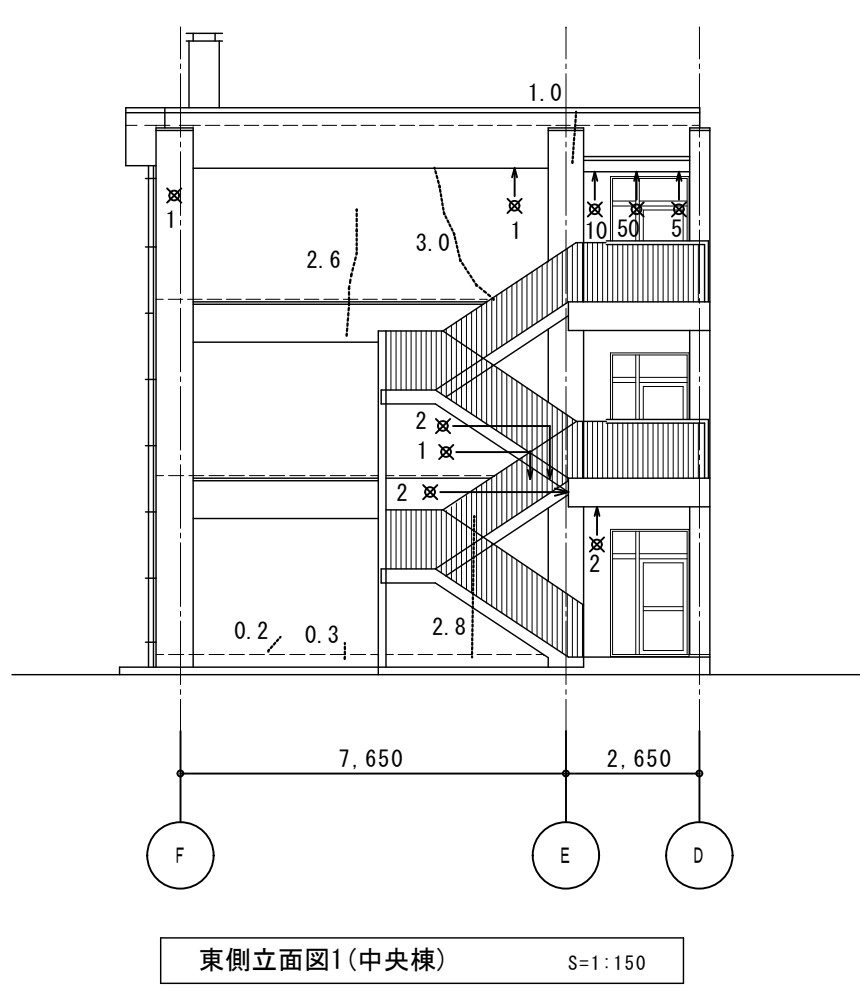
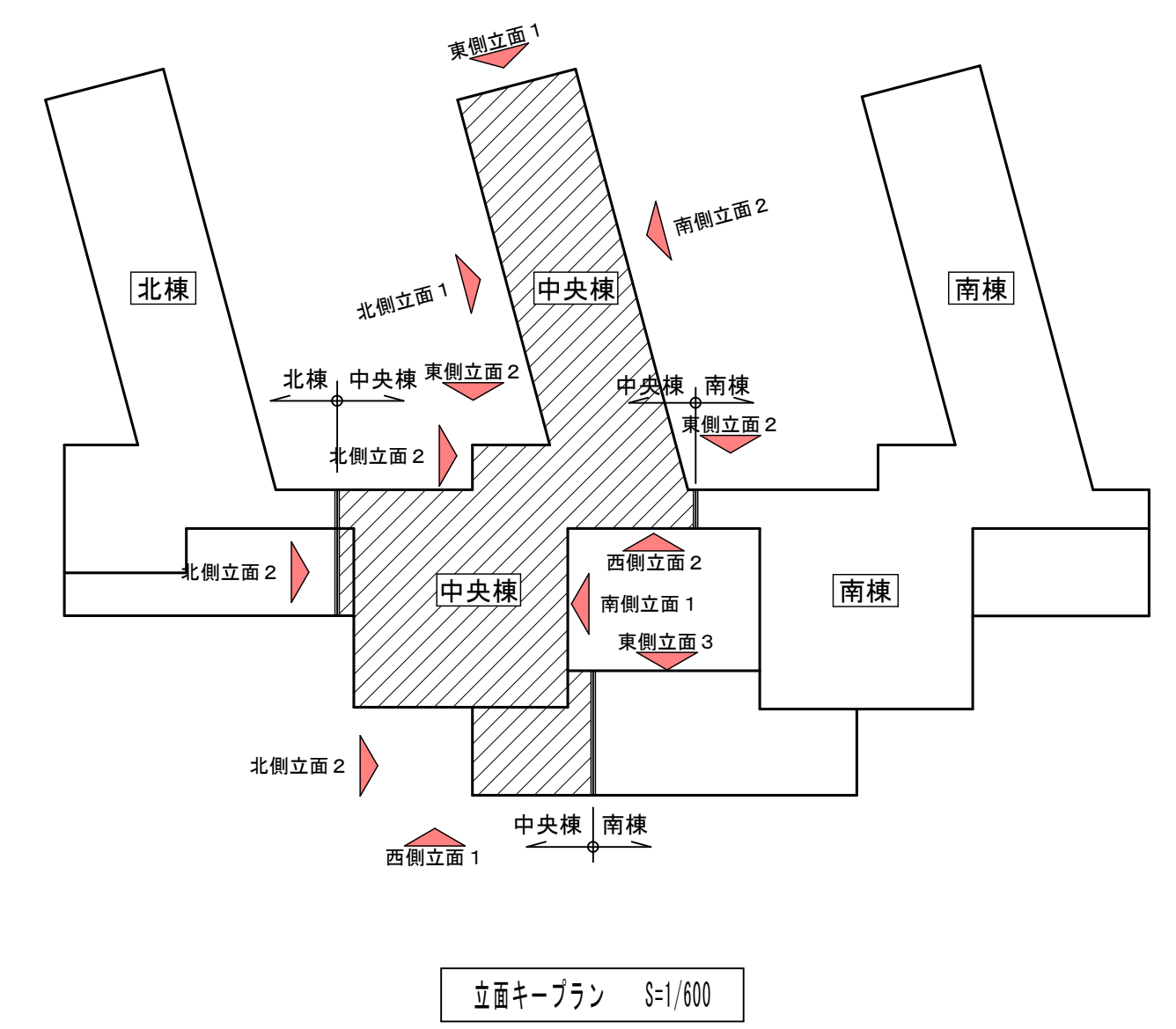
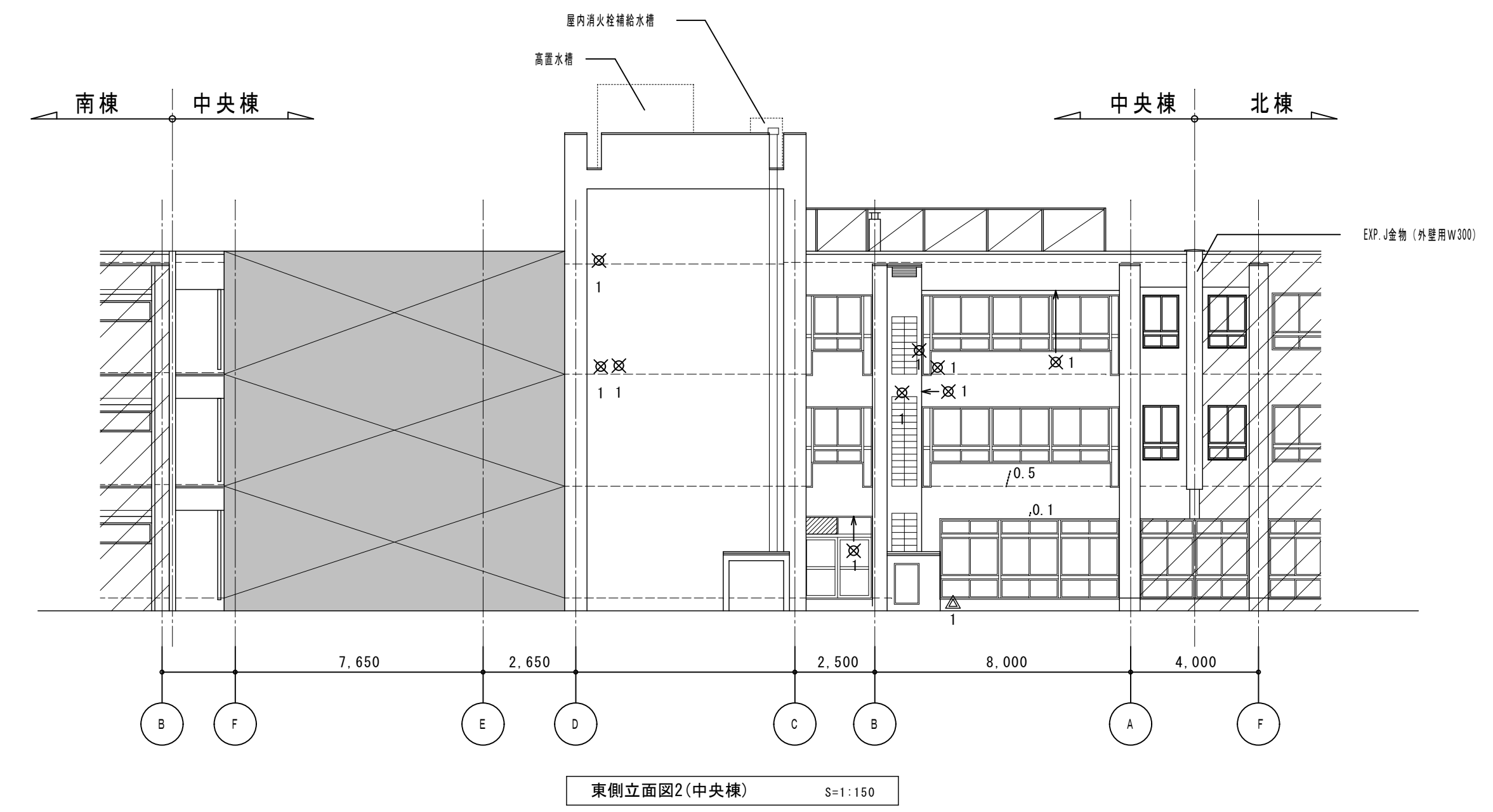
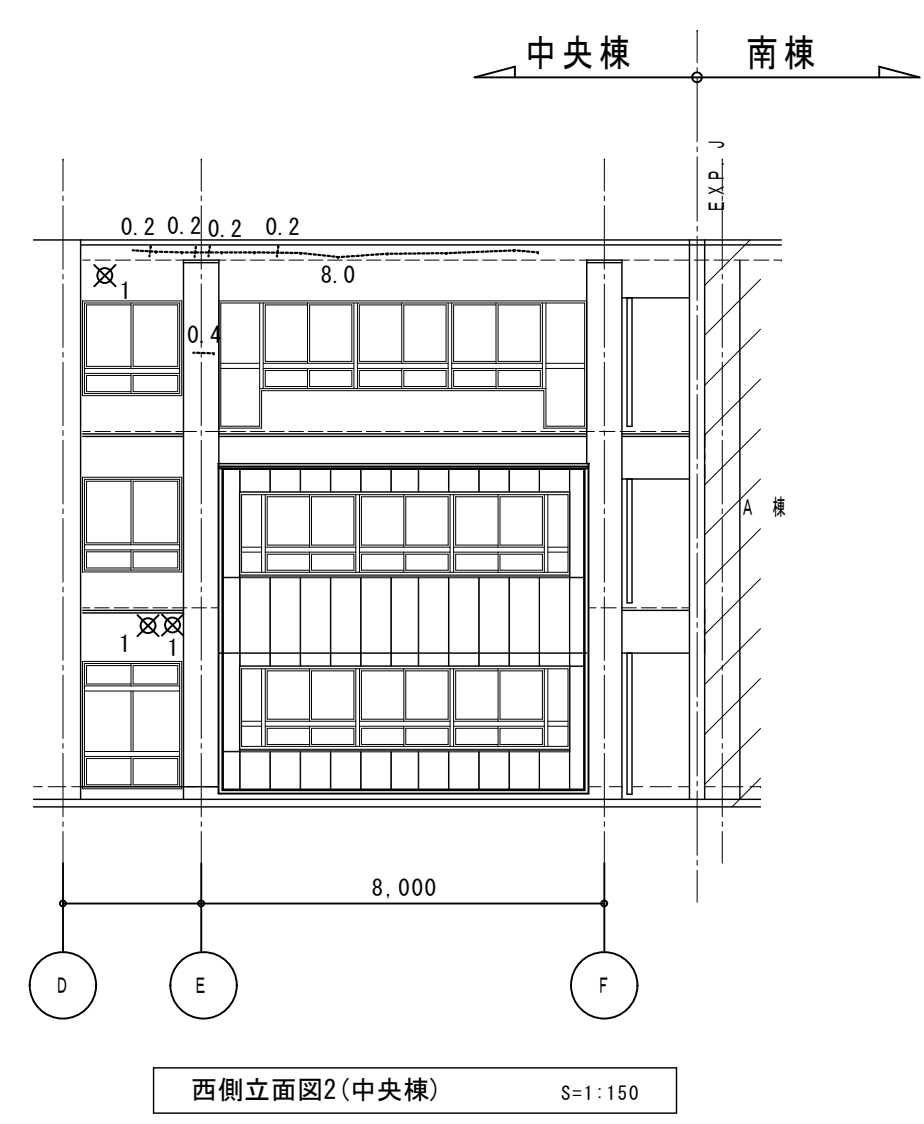
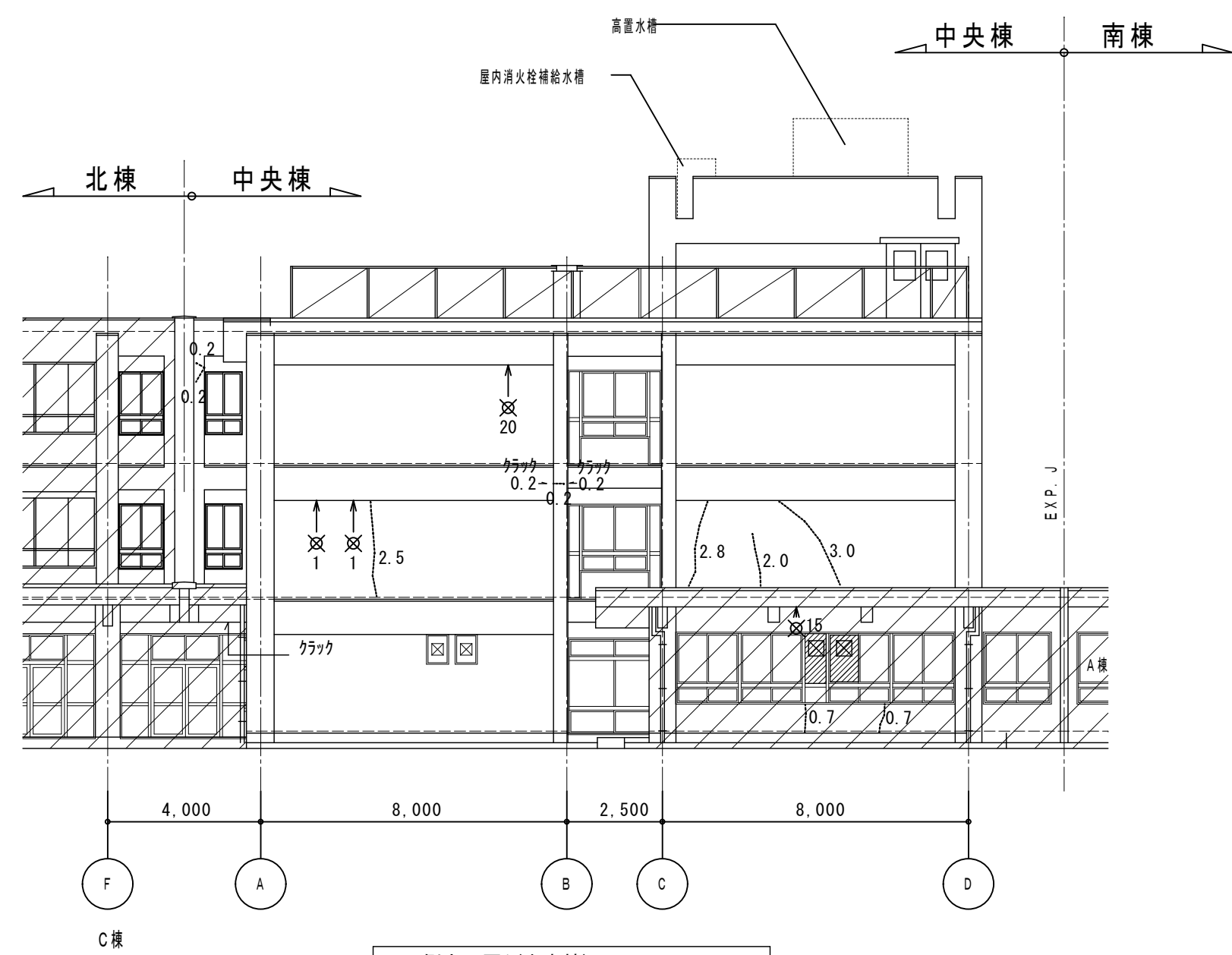
【K-5】

階	室名	W X H	数量	備考
1	にじいろルーム にじいろ学級、第2教育相談室	2060X970	4	
2	外国語活動ルーム ピア活動室、第2図書室	2060X970	3	
3	外国語ルーム、児童会室	2060X970	2	

黒板・白板・掲示板 共通仕様

- 黒板・白板・掲示板：黒板・白板・掲示板は黒板JIS規格(JIS S 6007)認定工場で作成する。
- 表面材：黒板・白板の表面材は焼付鋼板を使用する。  
板面色については色見本を提出の上決定とする。  
掲示板の表面材については見本を提出の上決定とする。
- 粉塗：黒板消し・白板用ラーフルが傾かせた状態で置けるものとする。(有効巾約80mm)
- 取付：取付壁・下地別に施工図を作成し、承認を受けて施工すること。
- その他：環境配慮のため、製作はISO 14001取得企業とする。  
品質確保のため、製作はISO 9001取得企業とする。  
木材利用促進法に基づき、黒板・白板・掲示板の下地合板は国産杉芯合板 t5.8とする。  
製作にあたり、事前に製品の品質証明書および材料及び接合の安全データシートを提出し承認を受ける。





- 【凡例】
- クラック (0.2mm以上)
  - × 爆裂
  - △ 欠損
  - ▨ 改修範囲外を示す

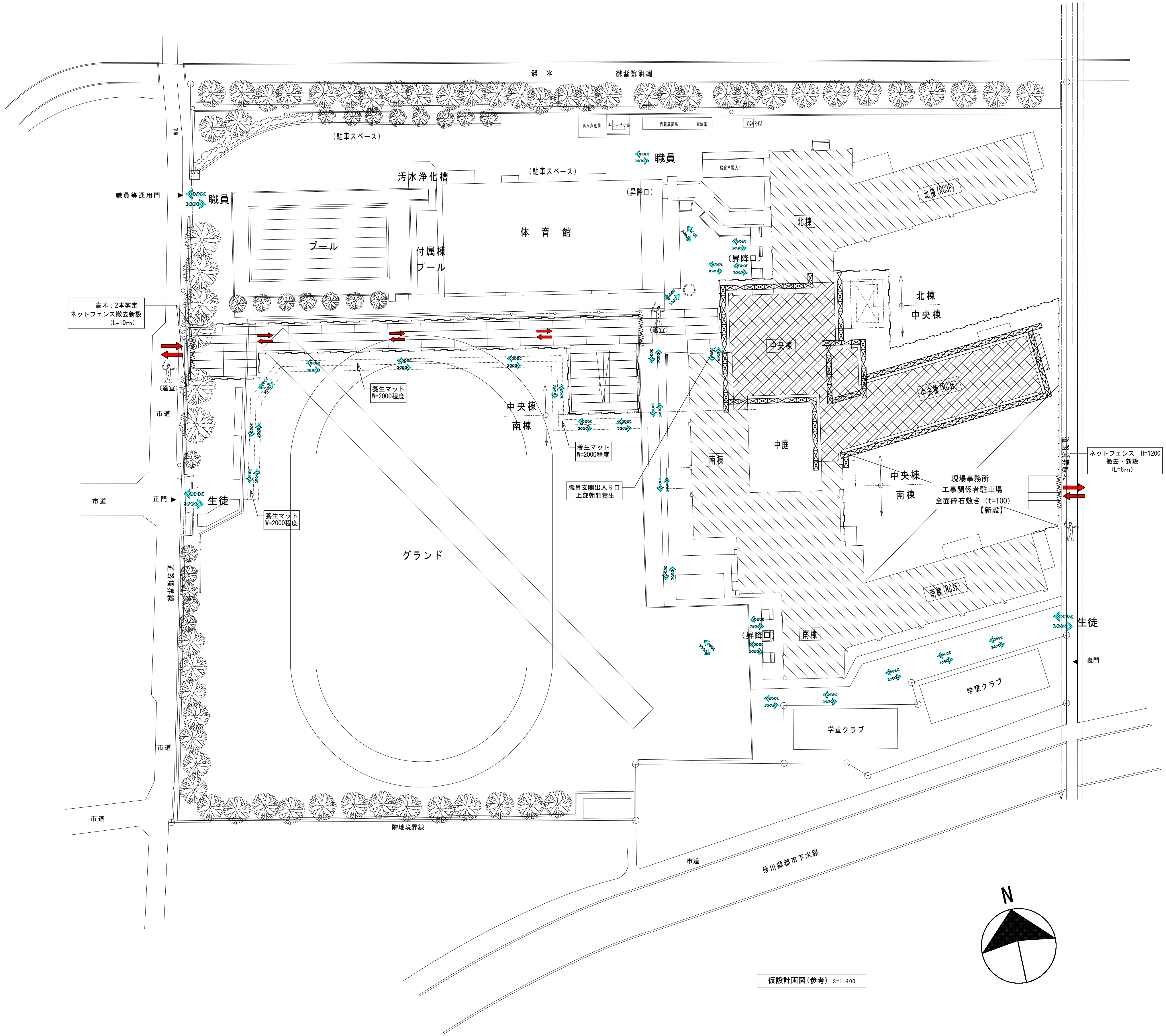
		<b>株式会社 松下設計</b> 一級建築士事務所 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)		委託番号 17-137 設計部長 横岡 担当 製図	日付 2018年3月
---	--	--	--	------------------------------	------------

<b>市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】</b>		<b>設計図</b>	
--------------------------------	--	------------	--

図面名 <b>外壁・軒裏劣化位置図(2)</b> (中央棟)	図面種類 A
縮尺 S=1:150 (A3版 50%縮小)	図面番号 95

図面名 <b>外壁・軒裏劣化位置図(2)</b> (中央棟)	図面種類 A
縮尺 S=1:150 (A3版 50%縮小)	図面番号 95





仮設計画図(参考) S=1:400

凡 例	
	改修建築物を示す
	改修建築物範囲を示す
	仮囲い：φド径×H=1800×H=1800
	キャスターゲート W=6000×H=2000
	敷き鉄板T=22
	仮設足場
	生徒・職員動線
	工事車両等の進入口を示す。
	交通誘導員

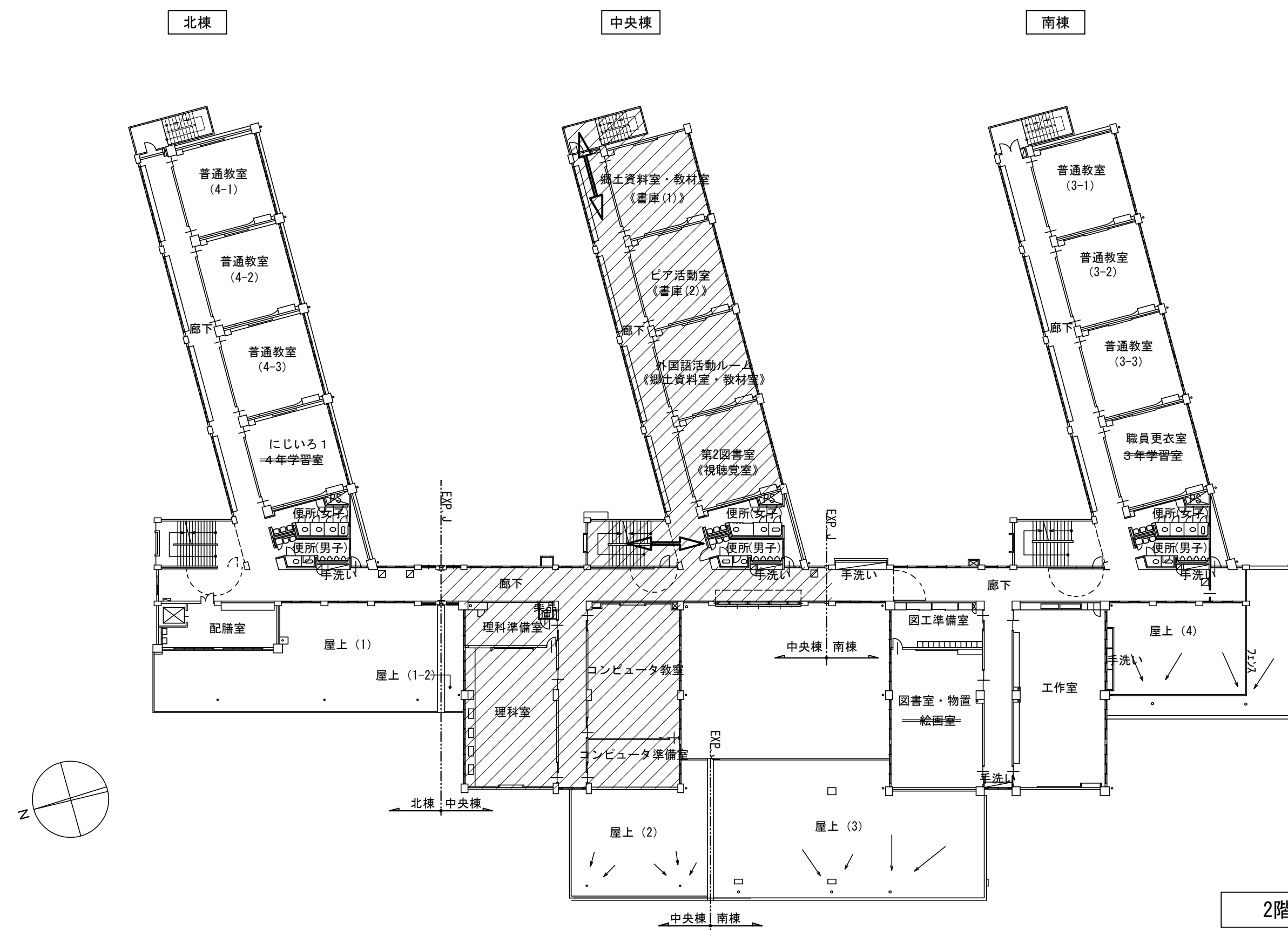

**株式会社 松下設計** 一級建築士事務所  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

案件番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横田	担当	製図

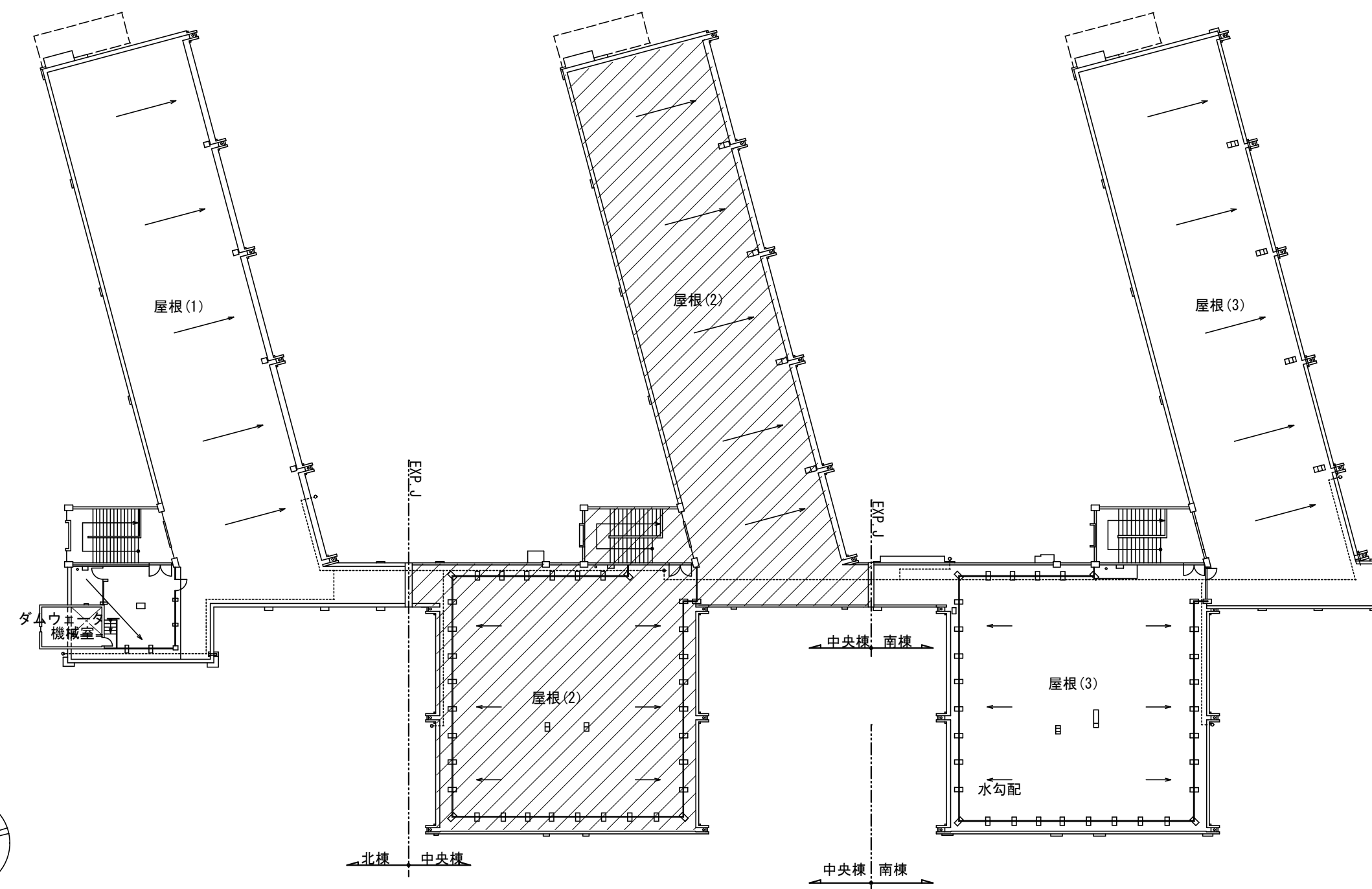
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図

図面名	仮設計画図(参考)【第1期：中央棟】	図面種別	A
縮尺	S=1:400 (A3版 50%縮小)	図面番号	96

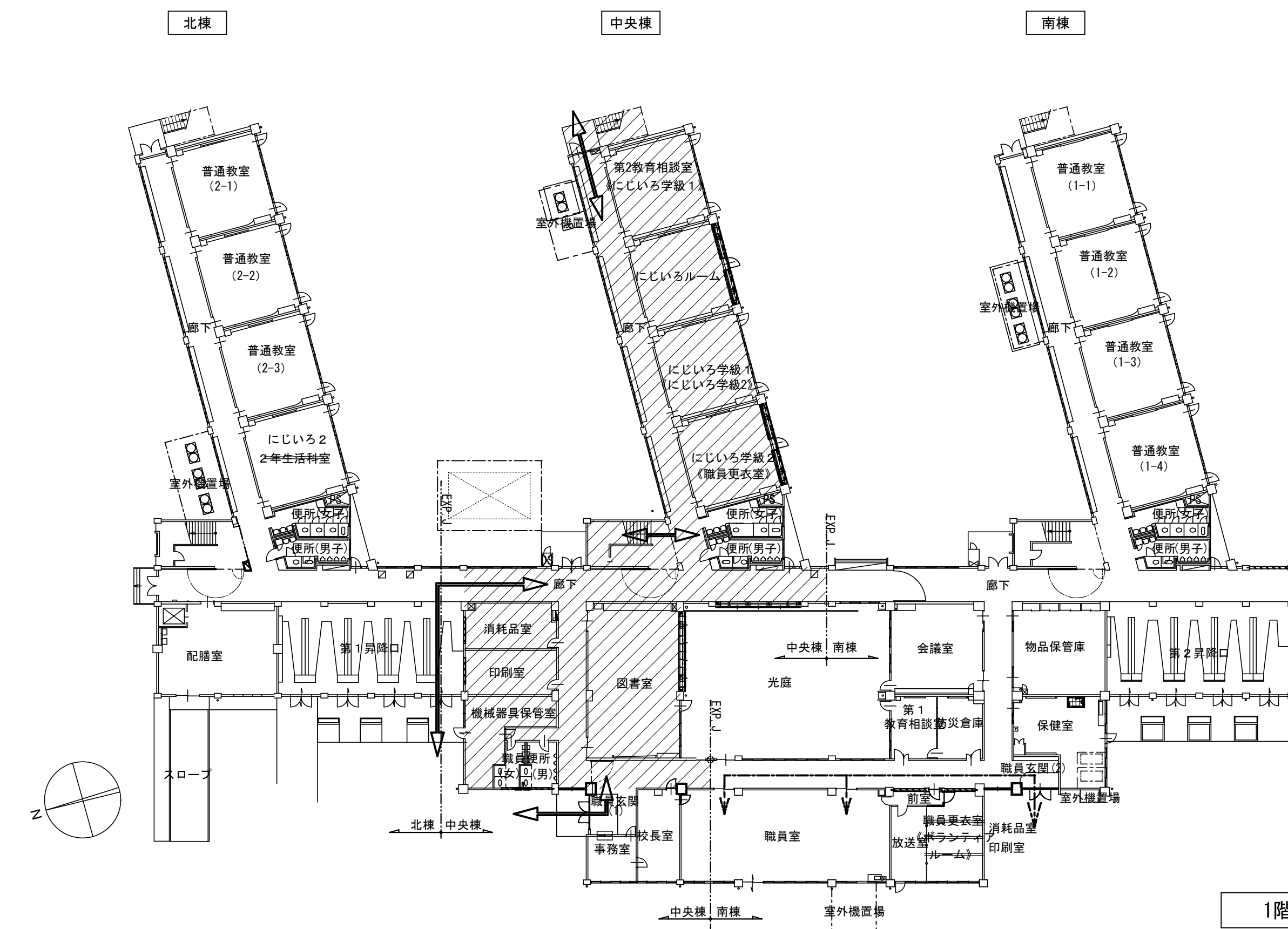




2階平面図

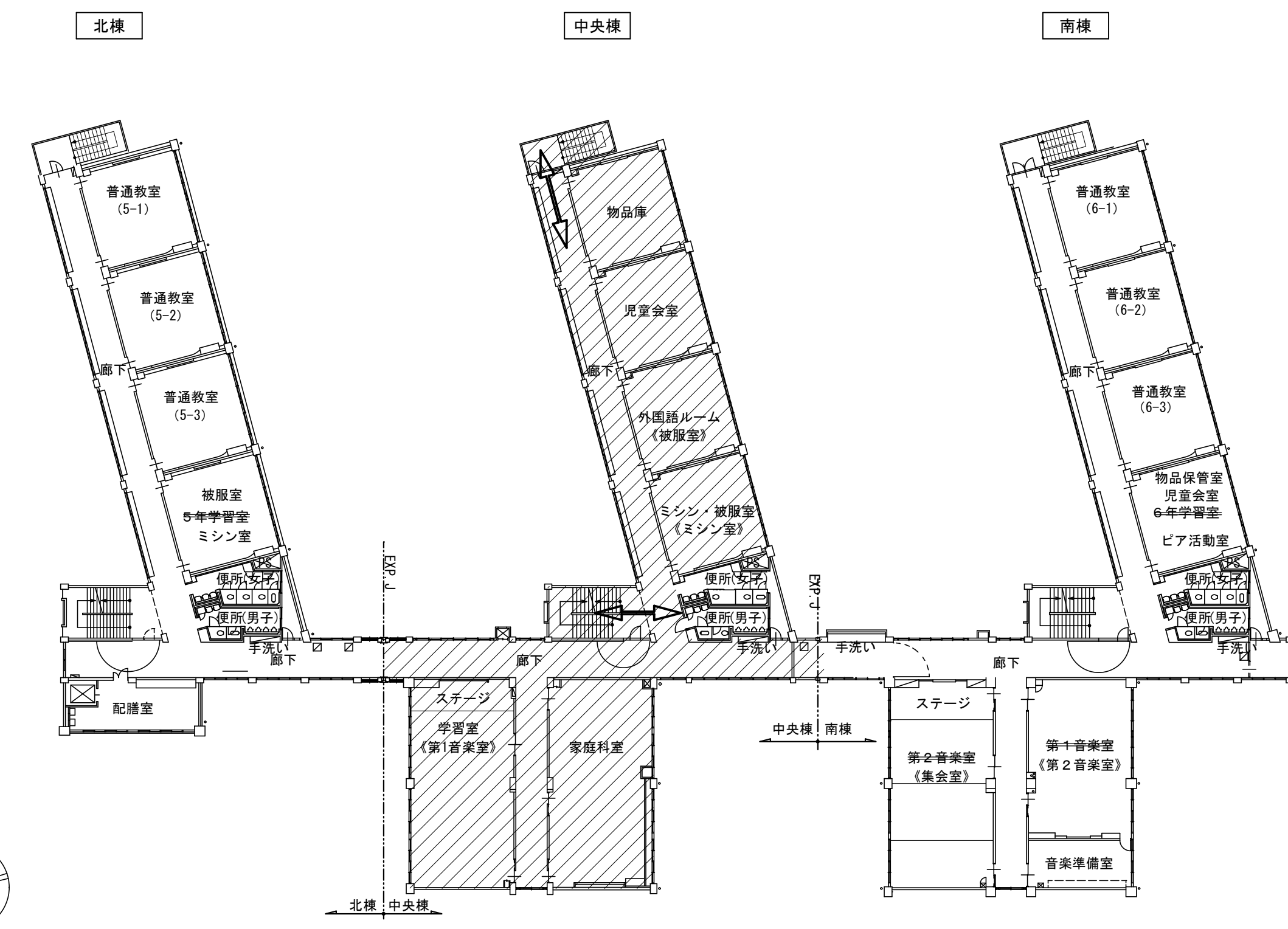


R・PH階平面図



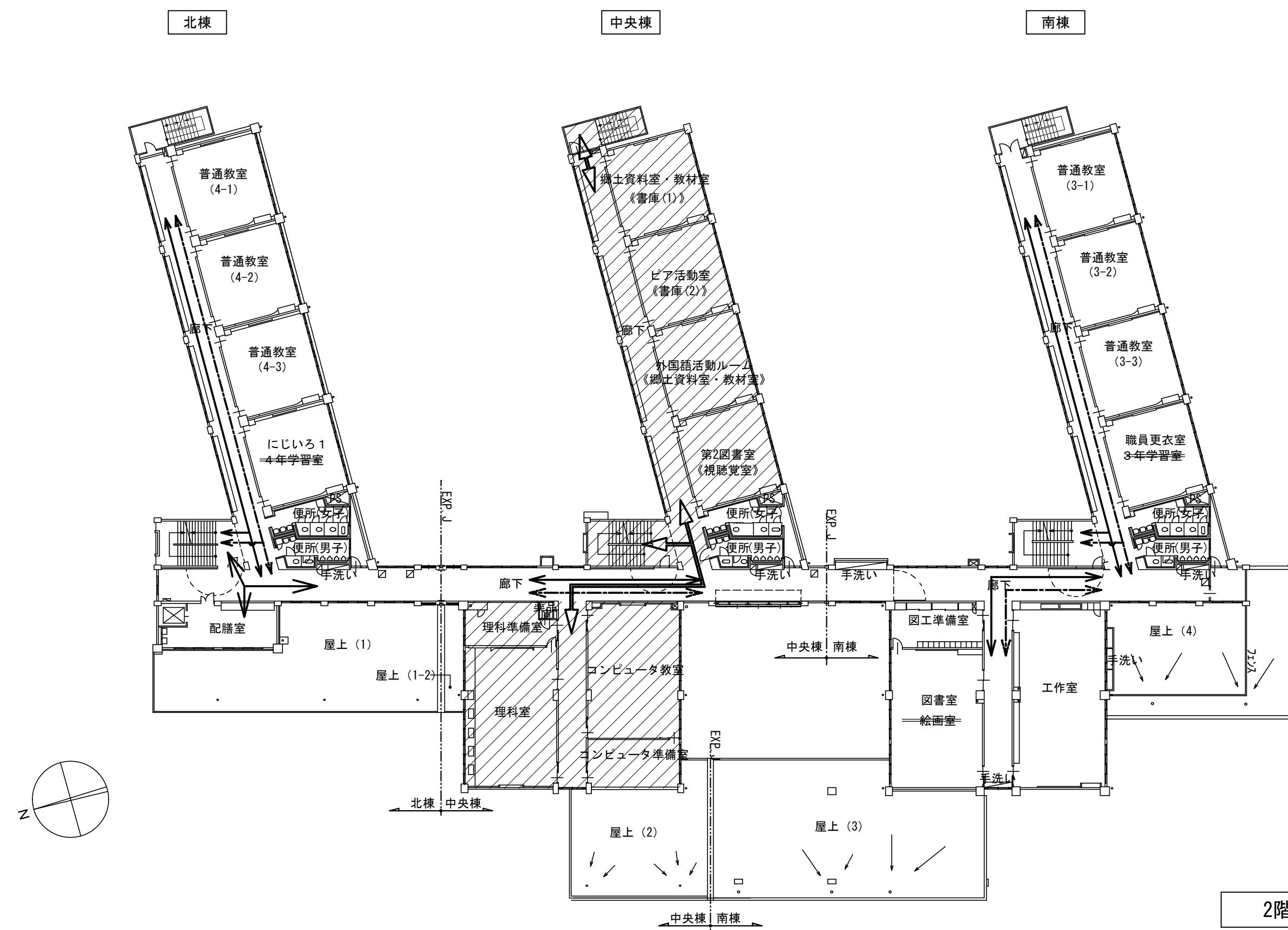
1階平面図

- 【R例】
- 工事エリアを示す
  - 生徒主動線
  - 教職員主動線
  - 工事関係者主動線
  - (室名) 仮設教室名を示す
  - ⊗(番号)

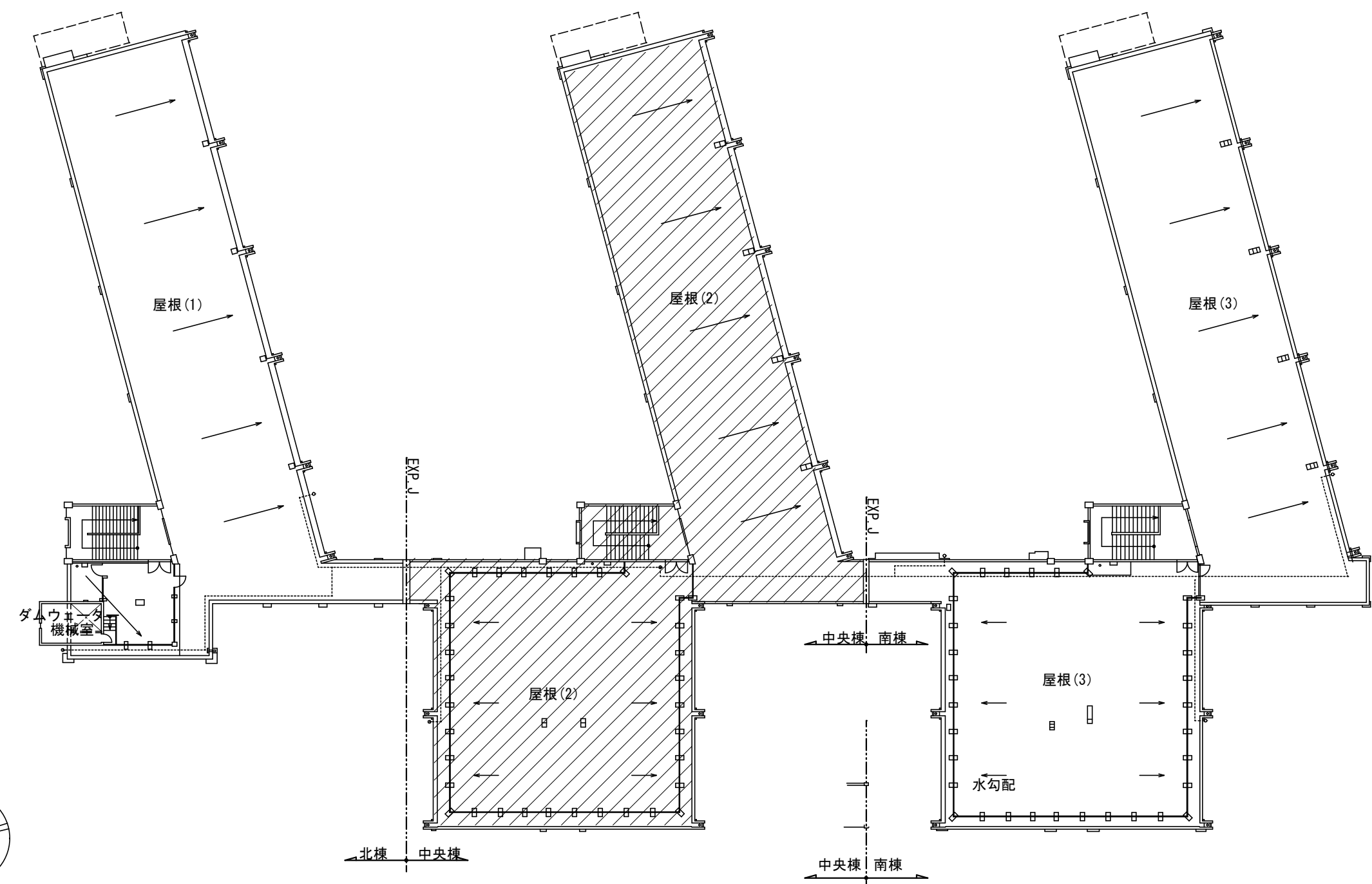


3階平面図

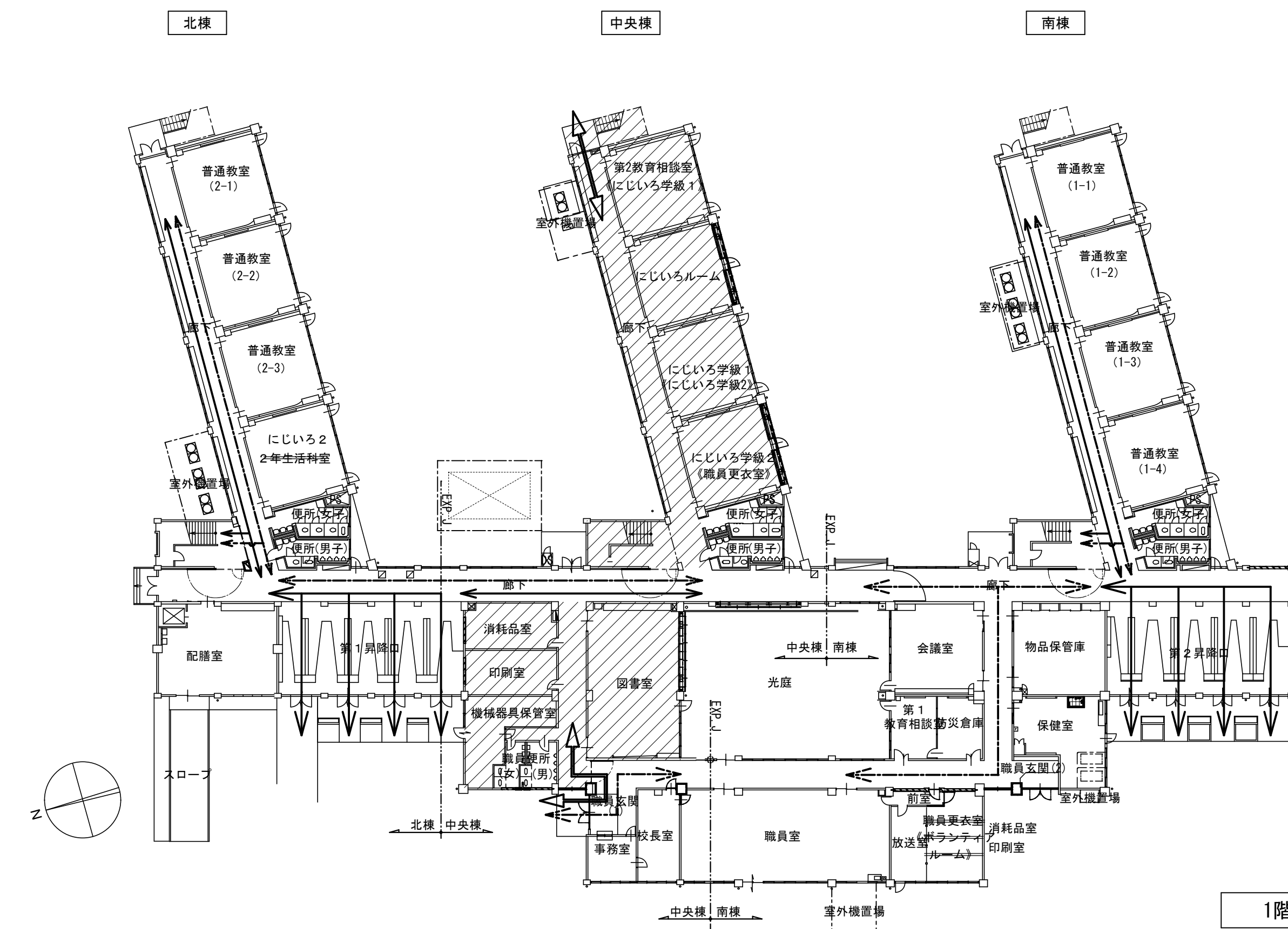




2階平面図

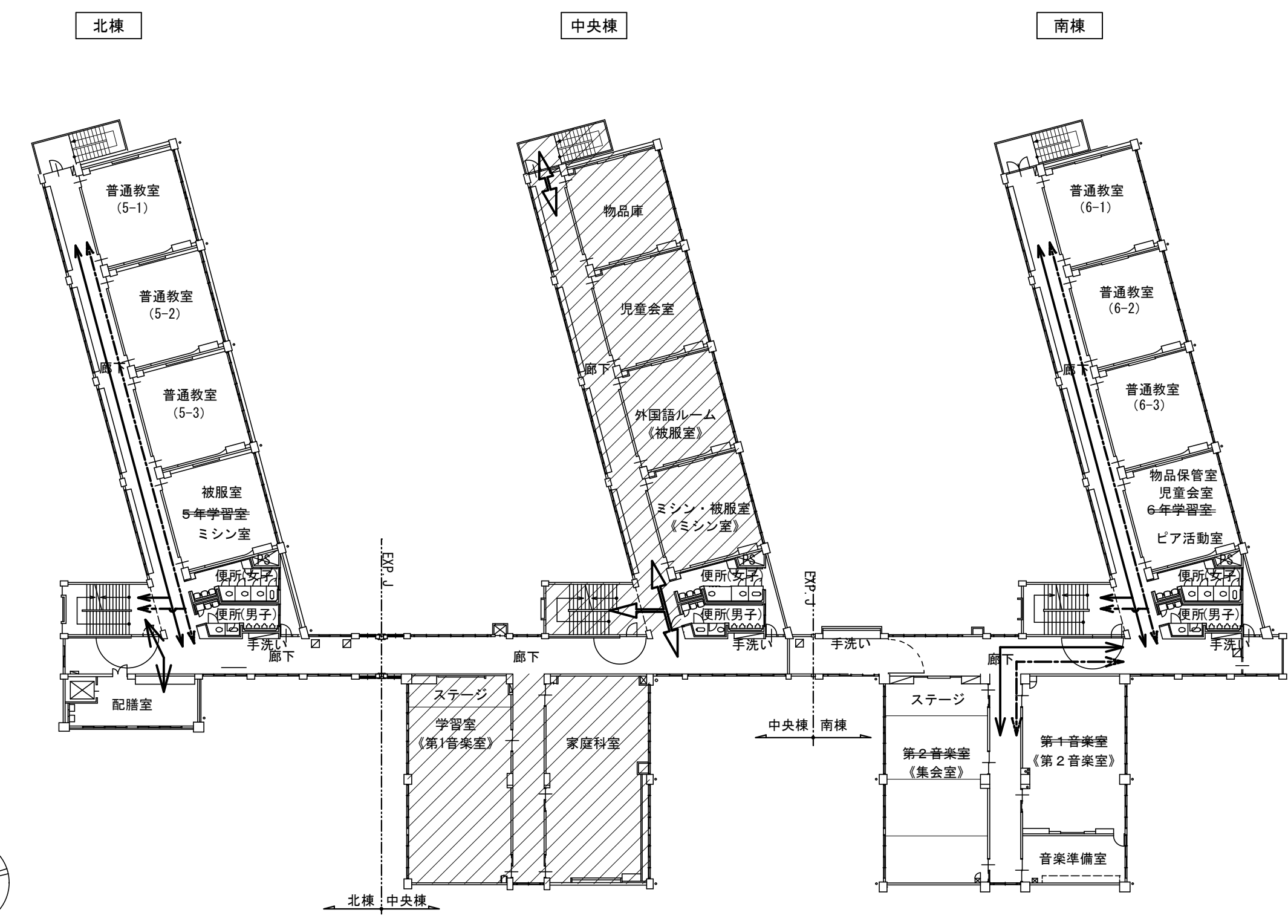


R・PH階平面図



1階平面図

- 【R例】
- 工事エリアを示す
  - 生徒主動線
  - 教職員主動線
  - 工事関係者主動線
  - (室名)
  - ⊙(番号)



3階平面図

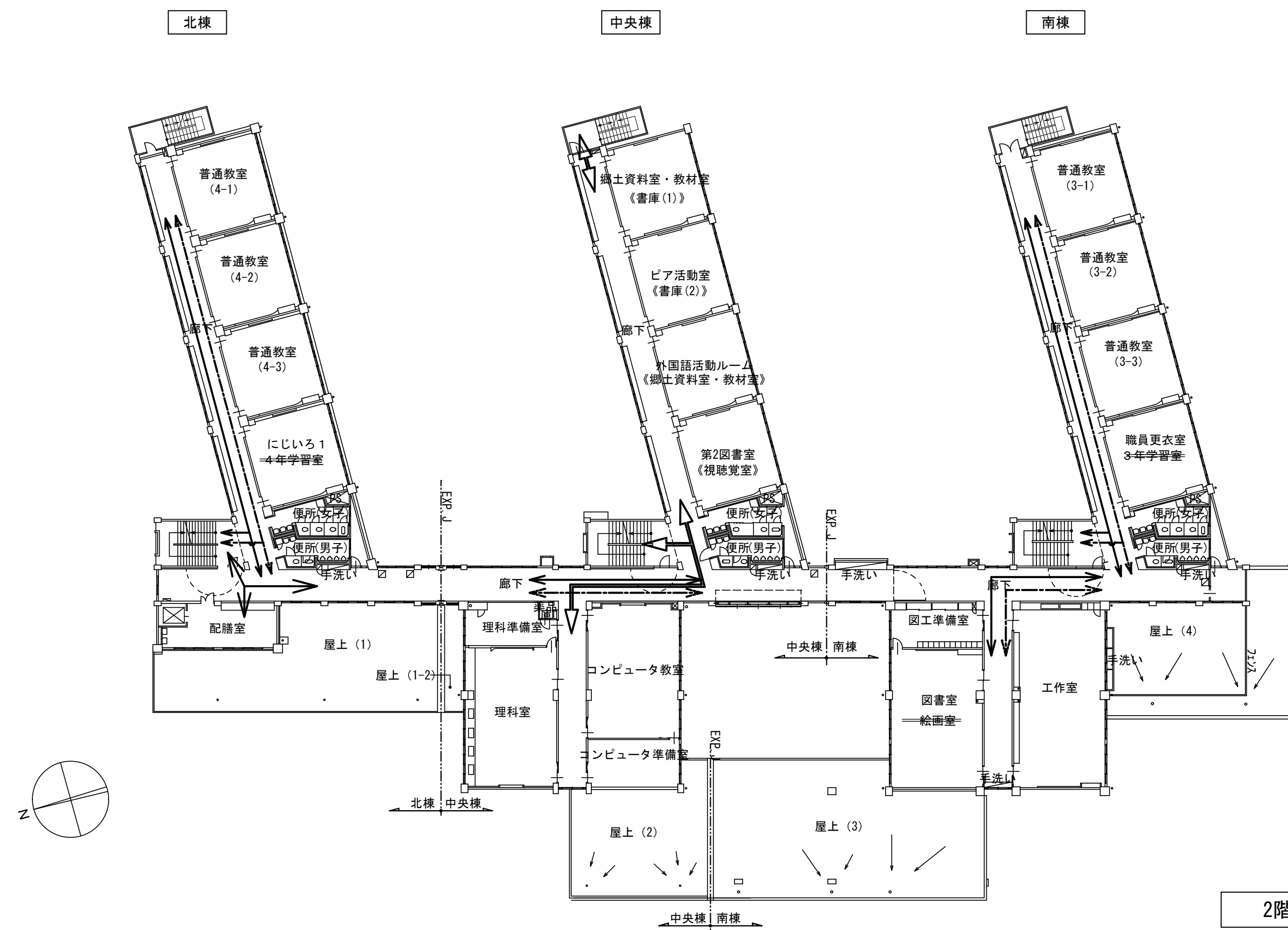


**株式会社 松下設計**  
 一級建築士事務所  
 登録 (11) 183  
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号  
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103  
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

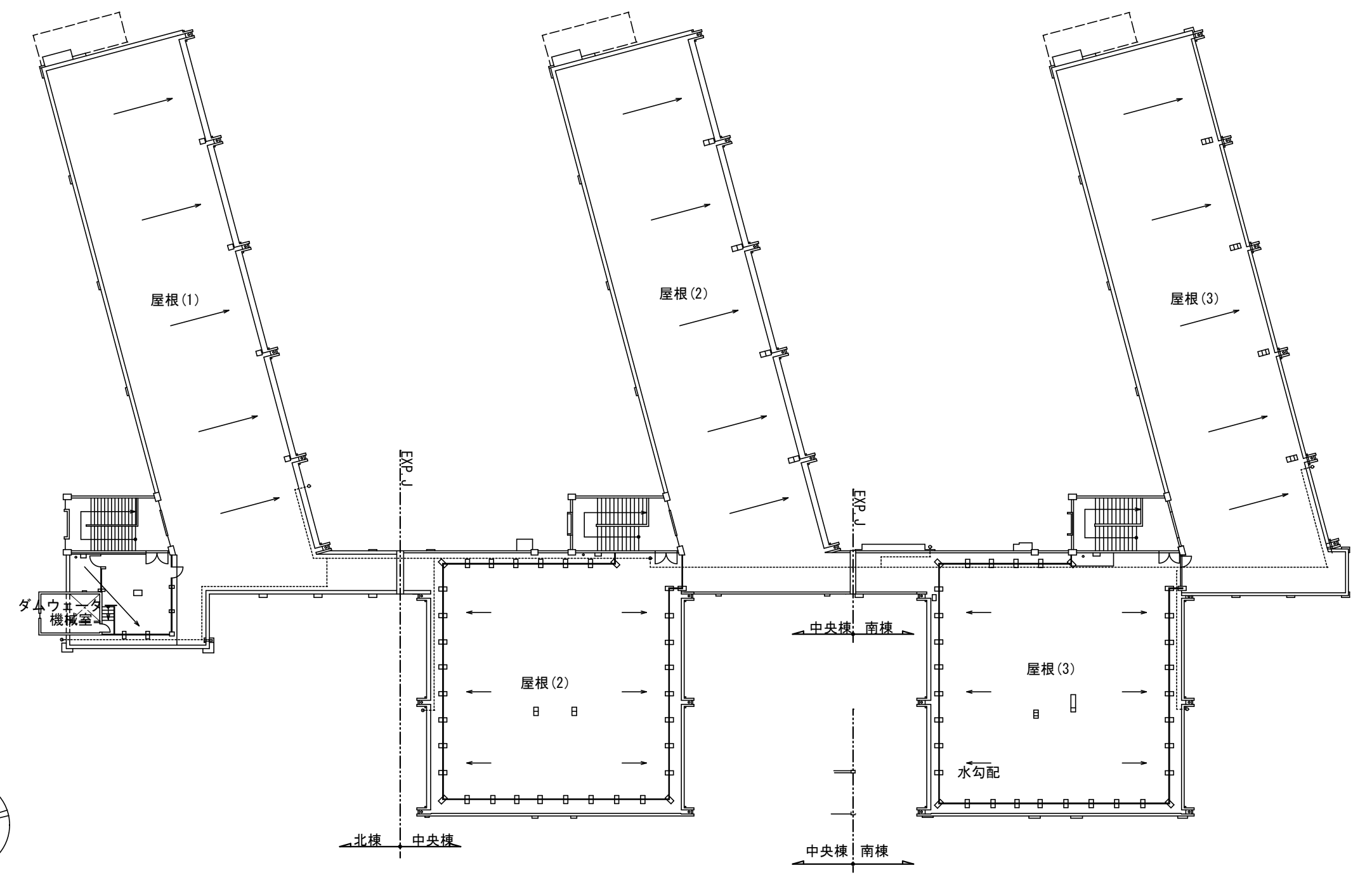
受託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	松園	担当	松園
製図	松園	製図	松園

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第1期工事】 設計図  
 図面名 屋内工事計画図(2) <夏休み前>  
 縮尺 S=1:350(A3版 50%縮小)

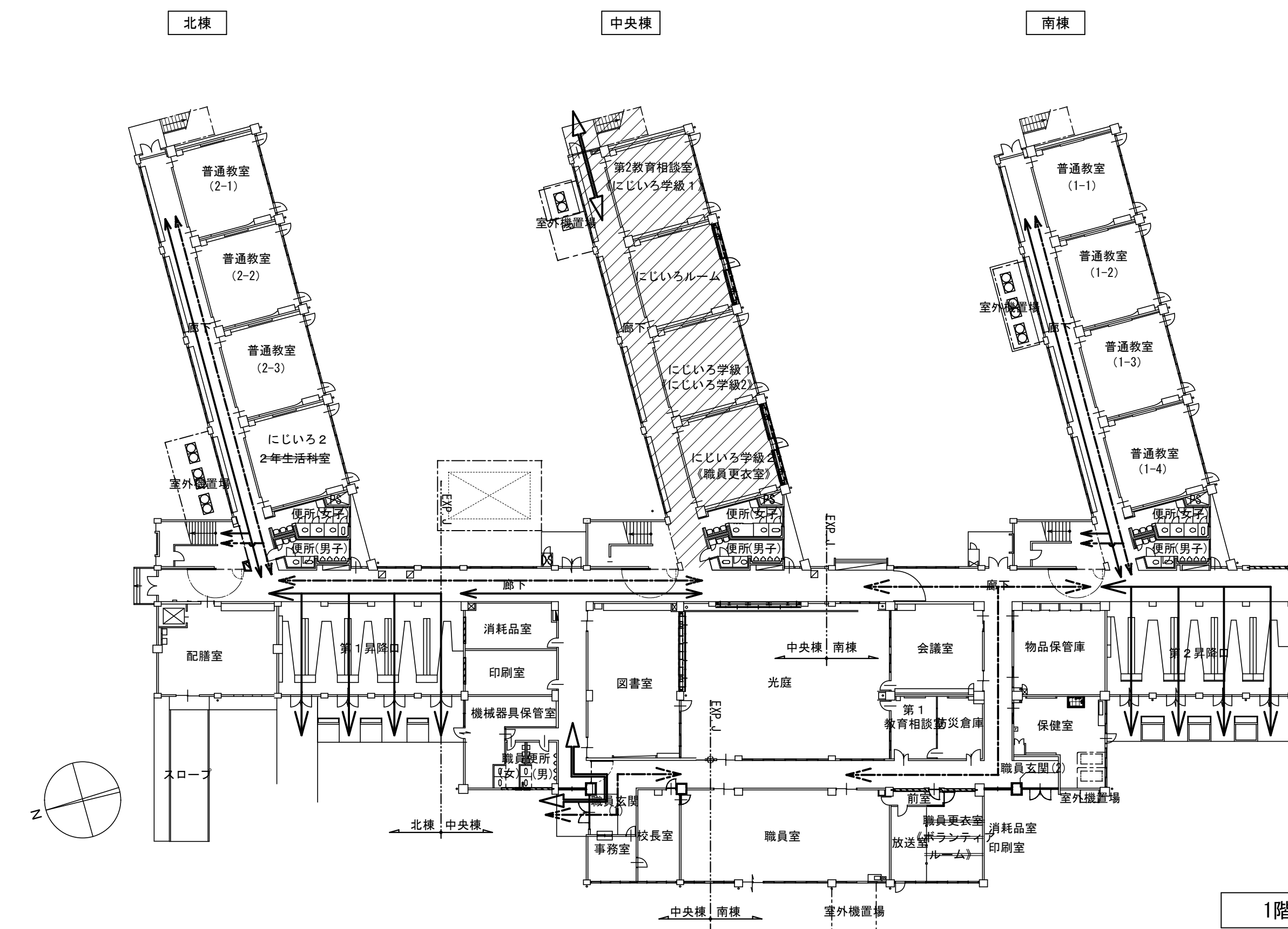
図面種類	A
図面番号	98



2階平面図

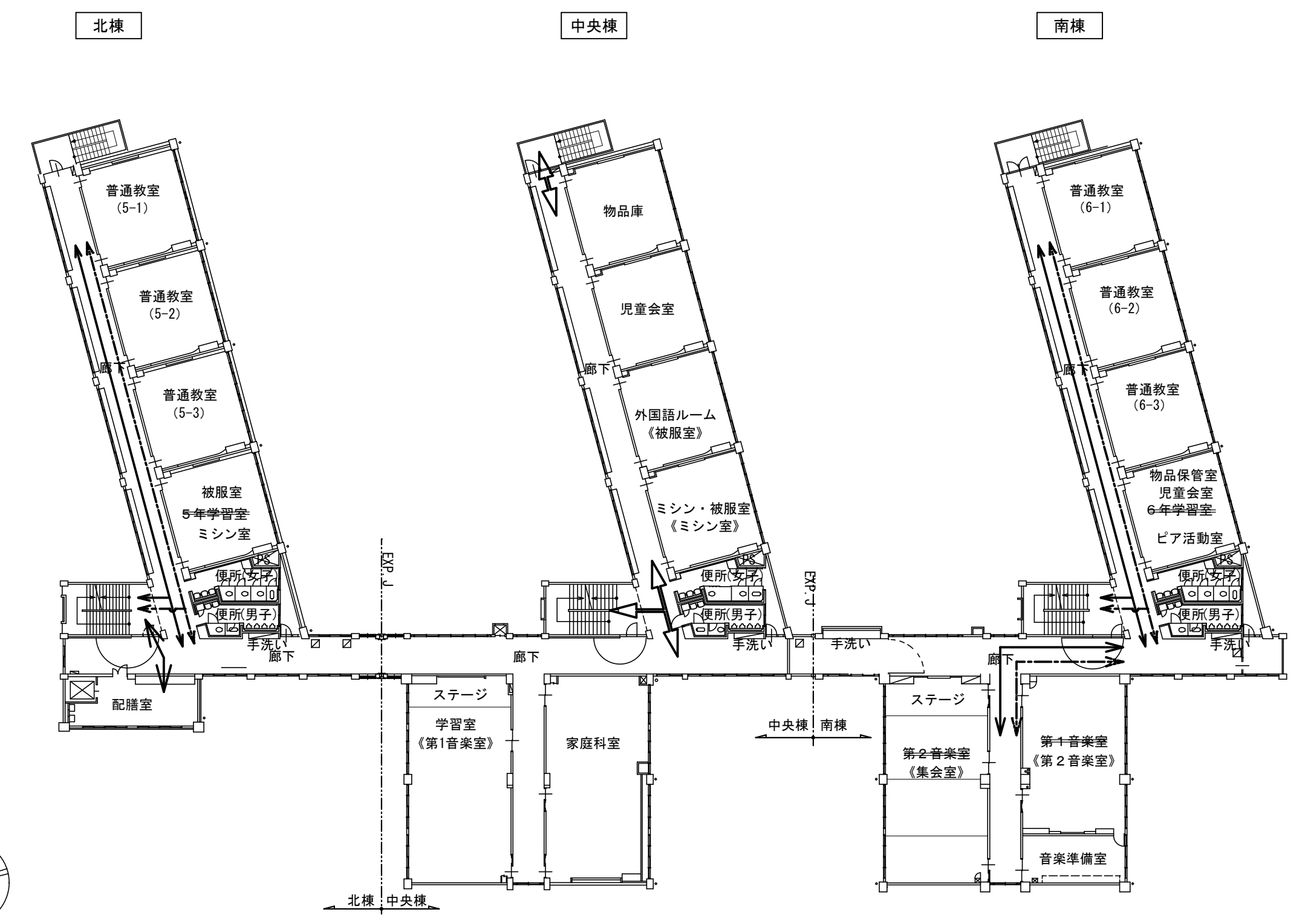


R・PH階平面図



1階平面図

- 【R例】
- 工事エリアを示す
  - 生徒主動線
  - 教職員主動線
  - 工事関係者主動線
  - (室名) 仮設教室名を示す
  - ⊗(番号)



3階平面図